#### 6.1. 評価の進め方

#### 6.1.1. 評価方針

ダム等管理フォローアップ制度は、適切なダム管理を行っていく重要性を鑑み、事業の効果や環境への影響等を分析、評価し、必要に応じて改善措置を講じる取り組みである。各ダムで5年ごとに過去の調査結果の分析・評価を行い、定期報告書を作成する。

ここでは、室生ダムの河川水辺の国勢調査の結果を活用し、生物に関する評価としてダム 湖及びその周辺の環境特性の把握を行い、生物の生息・生育状況に変化が生じているかどう かを整理した。

検証、評価する項目は以下のとおりである。

生物の生息・生育状況の変化の検証

生物の生息・生育状況の変化の評価

## 6.1.2. 評価手順

生物に関する評価の手順は、図 6.1.2-1 に示すとおり、収集した資料をもとに基礎情報としてダム湖及びその周辺の環境の把握を行った。

次に区域ごとに生物の生息・生育状況の変化の把握を行った。それぞれ、環境条件の変化 やそれに伴う生物の生息・生育状況の変化を把握し、その変化がダムによる影響を受けてい るか検証した。その結果を受け、生物の生息・生育状況の変化に対する評価を行った。

#### (1)資料の収集

(2)ダム湖及びその周辺の環境の把握

(3)ダム湖及びその周辺の環境の変化の把握

区域ごとに把握(ダム湖内、流入河川、下流河川、ダム湖周辺)

- 1 環境条件の変化の把握
- 2 生物の生息・生育状況の変化の把握
- 3 ダムによる影響の検証

# (4)生物の生息・生育状況の変化の評価

図 6.1.2-1 生物の評価の手順

# 6.1.3. 資料の収集

# 1)資料の収集

室生ダム及びその周辺に生息・生育する動植物の整理にあたっては、平成4年度から平成20年度までに実施されている「河川水辺の国勢調査報告書(ダム湖版)」を使用した。使用した文献のリストは、表6.1.3-1に示すとおりである。

表 6.1.3-1 使用文献一覧

<del></del>	Г 1	衣 0.1.3-1 使用入瞅一見	Γ
資料 番号	区分	資料名	発行年月
資料-1		貯水池魚介類調査(その2)報告書 室生ダム	平成5年2月
資料-2		名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務報告書 室生ダム	平成6年3月
資料-3		名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務 (植物調査、陸上昆虫類等調査)報告書 室生ダム	平成7年3月
資料-4		名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務(底生動物調査)報告書 室生ダム	平成8年3月
資料-5		名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務(魚介類調査)報告書 室生ダム	平成9年3月
資料-6		名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務(鳥類調査)報告書 室生ダム	平成 10 年 3 月
資料-7		名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査 (両生類・爬虫類・哺乳類調査・陸上昆虫類等調査) 室生ダム 報告書	平成 11 年 3 月
資料-8		平成 11 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査業務 報告書	平成 12 年 3 月
資料-9		平成 11 年度 名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務報告書 (室生ダム・植物調査)	平成 12 年 1 月
資料-10	国勢	平成 12 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査業務 (室生ダム・底生動物)報告書	平成 13 年 3 月
資料-11	調査	平成 13 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(室生ダム) (魚介類調査)報告書	平成 14 年 3 月
資料-12		平成 14 年度 河川水辺の国勢調査 (鳥類調査) 報告書 室生ダム	平成 15 年 3 月
資料-13		平成 15 年度 河川水辺の国勢調査 (室生ダム) (陸上昆虫類等)報告書	平成 16 年 3 月
資料-14		平成 15 年度 河川水辺の国勢調査(室生ダム) (両生類・爬虫類・哺乳類調査)報告書	平成 16 年 3 月
資料-15		木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(その3)報告書	平成 17 年 3 月
資料-16		平成 16 年度 河川水辺の国勢調査 (室生ダム) (陸上植物調査)報告書	平成 17 年 3 月
資料-17		平成 17 年度 河川水辺の国勢調査 (室生ダム) (底生動物調査)報告書	平成 18 年 2 月
資料-18		平成 18 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(その 2)(室生ダム) (鳥類調査)報告書	平成 19 年 6 月
資料-19		平成 19 年度 本津川ダム 河川水辺の国勢調査(その 2)(室生ダム) (魚類調査)報告書	平成 20 年 3 月
資料-20		平成 20 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(その 2)(室生ダム) (底生動物調査)報告書	平成 21 年 3 月
資料-21	他	平成 18 年度 木津川ダム湖水質調査(その 2)業務 報告書	平成 19 年 3 月

# (2)調査実施状況の整理

これまでに実施されている生物調査の実施状況は、表 6.1.3-2 に示すとおりであり、水域に係る調査としては、魚介類、底生動物、動植物プランクトン、陸域に係る調査としては、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等が実施されている。

表 6.1.3-2 調査実施年度一覧

		农 0.1.3-2 四县大肥叶皮 9	린		対象	食生物			
調査 年度		資 料 名	魚介類	底生動物	プランク 動植物	植物	鳥類	哺乳類・	」 陸 類 上 ま 虫 虫
H4	1	貯水池魚介類調査(その2)報告書 室生ダム							
H5	2	名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務報告書 室生 ダム							
H6	3	名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務 (植物調査、陸上昆虫類等調査)報告書 室生ダム							
H7	4	名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務(底生動物調 査)報告書 室生ダム							
Н8	5	名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務(魚介類調査) 報告書 室生ダム							
Н9	6	名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務(鳥類調査)報 告書 室生ダム							
H10	7	名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査 (両生類・爬虫類・哺乳類調査・陸上昆虫類等調査) 室生ダム 報告書							
H11	8	平成 11 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査業務 報 告書							
H11	9	平成 11 年度 名張川上流ダム群 河川水辺の国勢調査業務 報告書(室生ダム・植物調査)							
H12	10	平成 12 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査業務 (室生ダム・底生動物)報告書							
H13	11	平成 13 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(室生ダム)(魚介類調査)報告書							
H14	12	平成 14 年度 河川水辺の国勢調査(鳥類調査)報告書 室生 ダム							
H15	13	平成 15 年度 河川水辺の国勢調査(室生ダム)(陸上昆虫類 等)報告書							
H15	14	平成 15 年度 河川水辺の国勢調査(室生ダム) (両生類・爬虫類・哺乳類調査)報告書							
H16	15	木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(その3)報告書							
H16	16	平成 16 年度 河川水辺の国勢調査(室生ダム)(陸上植物調 査)報告書							
H17	17	平成 17 年度 河川水辺の国勢調査(室生ダム)(底生動物調 査)報告書							
H18	18	平成 18 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(その 2) (室生ダム)(鳥類調査)報告書							
H18	19	平成 18 年度 木津川ダム湖水質調査(その 2)業務 報告書				_			
H19	20	平成 19 年度 木津川ダム 河川水辺の国勢調査(その 2) (室生ダム)(魚類調査)報告書							
H20	21	平成 20 年度 木津川ダム群 河川水辺の国勢調査(その 2) (室生ダム)(底生動物調査)報告書							

# (3)調査内容の整理

これまでに実施されている生物調査の調査内容は表6.1.3-3に、調査位置は図6.1.3-2に、調査の区域区分を図6.1.3-1に示す。

室生ダム定期報告書 6章 生物

表 6.1.3-3(1)	調査内容一覧:魚介類
7C 0.1.0 0(1)	明白门口 晃·杰八瑟

	調査地区										調査内容				
区分		H4		H5		H8	H1:			119	H4	H5	H8	H13	H19
調査番号		1		2		5	11	1		19	1	2	5	11	20
下流 河川					No.1	下流河川 (宇陀川)	St.1 下	流河川	淀室下 1	ダムサイト 直下	-	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 80 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 150 分、 セルびん 4 個、 はえなわ 4 本、潜水観察 0.5h	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、 セルびん 4 個、どう2 個、 カゴ網 2 個、潜水観察 2h
	St.2	湖心	St.3	湖底の 平らな部分	No.2	湖内湾入部	St.2	湖肢	淀室湖 2	湖岸部	刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(18mm)中層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 セルびん 10 個、はえなわ 4 本、 カニカゴ 4 個、どう 4 個	刺網(15mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 セルびん 2 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
									淀室湖 3	宇陀川流入部	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
							St.9 清	河川 流入部	淀室湖 6	深谷川流入部	-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚·中層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 1 枚、 投網(12mm)10 回 (18mm)20 回、 タモ網 140 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
ダム 湖	St.3	天満川 流入部	St.2 (1)	天満川 流入部	No.3	河川流入点 (天満川)	St.3	河川 充入部	淀室湖 7	天満川 流入部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 投網(12mm)20 回・(18mm)15 回、 タモ網 120 分、セルびん 15 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚·中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 2 枚、 投網(12mm)20 回·(18mm)10 回、 タモ網 110 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本	投網(12mm)10 回·(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m·中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
<i>/</i> P5	St.4	宇陀川 流入部	St.1(1) St.1(2)	宇陀川 流入部	No.5	河川流入点 (宇陀川)	St.5 ダ	′ム湖内			刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個。 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個 投網:(12mm)10 回・(18mm)10 回。 潜水 30 分	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表層 180m、 投網(12mm)17 回・(18mm)18 回、 タモ網 120 分、セルびん 16 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚、 タモ網 20 分	
	St.1-1	ダムサイト									刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	-	-	-	-
	St.1-2	ダムサイト (船着場)									モンドリ、目視	-	-	-	-
		(201, 11, 20)					St.7 量	最深部			-	-	-	刺網(15mm)表層 2 枚·中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 1 枚	-
								河川 充入部			-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚、底層 1 枚 刺網(50mm)表層 2 枚、 投網(12mm)15 回・(18mm)25 回、 タモ網 90 分、セルびん 4 個、 はえなわ 1 本	
							St.10 流	入河川	淀室入 1	流入河川 深谷川	-	-	-	投網(18mm)21 回、タモ網 75 分、 セルびん 4 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
流入 河川	St.6	流入河川	St.2 (2)	天満川 流入部	No.4	流入河川 (天満川)	St.4 流	入河川	淀室入 2	流入河川 天満川	投網(12mm)3 回	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 60 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 70 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回・(18mm)2 回、 タモ網 105 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
	St.5	宇陀川 (高倉橋 付近)			No.6	流入河川 (宇陀川)	St.6 流.	入河川	淀室入3	流入河川宇陀川	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回 タモ網	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 60 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)25 回 · (18mm)26 回、 タモ網 120 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本、潜水観察 20 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
その 他									淀室他 1	水質保全ダ ム 湛水域	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
		-		-		-	-		初	夏季	-	-	-	-	H19.6.5 ~ 9
時期		夏季		-		夏季	夏季	季	Ē	季	H4.8.12 ~ 14	-	H8.7.23 ~ 24, 29 ~ 30	H13.7.31、8.1~6	H19.8.27 ~ 29
		秋季		秋季	<u> </u>	秋季	秋雪	季		-	H4.10.12 ~ 14	H5.9.20 ~ 22	H8.10.16 ~ 18	H13.10.23 ~ 31	<u> </u>

室生ダム定期報告書 6 章 生物

表 6.1.3-3(2) 調査内容一覧:底生動物

	調査	 年度	H5	Н7	H12	H17	H20
	調査	番号	2	4	10	17	21
	下流河川	下流河川	放水口	(定量・定性)No.1	(定量・定性)No.1	(定量・定性)St .1	淀室下 1
調査	X	ダム湖内	網場,湖心,県取水口	(定点)No.2,No.3,No.4 (定性)1,2,3,4,5	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7,8	淀室湖 1,淀室湖 2,淀室湖 3, 淀室湖 6,淀室湖 7
地点	分	流入河川	天満川(早瀬,植物帯), 高倉橋(平瀬,植物帯), 内牧川(平瀬,植物帯)	(定量・定性)No.5,No.6,No.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	淀室入 1,淀室入 2,淀室入 3
		その他	-	-	-	-	淀室他 1(水質保全ダム)
	定点調査	点調査		エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5 回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回程度	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回
調査 方法	定	性調査	採泥器等による採取   (0.25m²) 	ハンドネット(0.5mm 目程度)	  ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)
	定	置調査		サーバーネット(25cm×25cm)	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×6回
		夏季	-	H7.7.20~21、8.23	H12.7.19 ~ 21	H17.10.19~20	H20.8.25 ~ 26
調査		冬季	-	H7.12.20 ~ 21	H12.11.8~9	H18.1.14 ~ 15	-
時期	<u></u>	早春季	-	H8.2.21 ~ 22	H13.1.12~13	H17.7.2~3	H20.4.21 ~ 22
	その他		H5.9.21	-	-	-	-

表 6.1.3-3(3) 調査内容一覧:動植物プランクトン

	調査年	度	H5	H11	H16	H18
	調査番	号	2	8	15	19
調		下流 河川	放水口	No . 1	No1(放水口)	淀室下-1
查地点	区分	ダム 湖内	網場,湖心,県取水口	No.2,No.3,No.4,	No.2(網場),No.3(湖 心),No.4(赤人橋)	淀室湖-1
只		流入 河川	天満川,内牧川,高倉橋	No.5, No.6, No.7	No.5(天満川),No.6(内 牧川),No.7(宇陀川)	-
植物プラ	調査	数量	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	パンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m
ľ		春季	H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23
	調査	夏季	H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15
ŀ	時期	秋季	H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14
ン		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26 H17.2.7		H19.2.6
動物プランク	加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加		バンドーン型採水器、 丸川式中層ブランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4層	バンドーン型採水器 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4 層	バンドーン型採水器 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4 層	バンドーン型採水器 、丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4層
ΙĹ	春季		H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23
ľシ	調査		H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15
	~ 時期		H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14
		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26	H17.2.7	H19.2.6

表 6.1.3-3(4) 調査内容一覧:植物

訂	曹查	丰度	H6	H11	H16	
訓	都查	番号	3	9	16	
		下流河川	-	-	植物相調査(6 下流河川) 群落組成調査(No.23)	
		流入河川	-	-	植物相調查(7流入河川) 群落組成調查(No.27)	
調査 地点	区分	ダム湖 周辺	植物相調査, 植生分布調査, 群 落 組 成 調 査 (No.1 ~ No.27)	植物相調査, 植生分布調査, 群 落 組 成 調 査 (No.1 ~ No.27)	植物相調査 (1スギ-ヒノキ植林,2コナラ群落,3 アカマツ群落,4 林縁部,5 林縁部 -2,8沢筋,その他) 植生分布調査, 群落組成調査 (No.1~No.22,No.24~No.26)	
	i	調査数量	ルート:29.2km	ルート:21.2km	ルート:18.1km	
植物相	調	春季	H6.4.28、6.1~4	H11.5.28~30	H16.5.23 ~ 24	
調査	調査時	夏季	-	H11.8.13、15	H16.8.6~11	
	期	秋季	H6.10.21 ~ 22、28、 11.3 ~ 4	-	H16.10.11~13、15	
	Ì	調査数量	面積:741.89ha	面積:741.25ha	面積:770.46ha	
植生分布	調	春季	H6.4.28、6.24	-	-	
調査	追 時	夏季	-	-	H16.8.9~11	
	期	秋季	-	H11.10.12~14	-	
	i	調査数量	27 地点	27 地点	27 地点	
群落組成 調査	調査	夏季	H6.8.22~25	H11.8.10~13、15	H16.8.7~11	
H. 3.	調査時期	秋季	-	-	H16.10.11 ~ 12	

表 6.1.3-3(5) 調査内容一覧:鳥類

 調査年度				夜0.1.		N合一見. 与恕	1110 10
				H5	H9	H14	H18 • 19
1	調査番号		7.01	2	6	12	18
		下流		-	-	ラインセンサス(5-1)	スポットセンサス(淀室下 1)
		ダム		定点記録(P1~P3)	定点記録(P1 ~ P3)	定点記録(P-1~P-3)	船上センサス(淀室湖 8)
調査 地点	区分	流入: ダム	湖周辺	- ラインセンサス (R-1~R-3)	- ラインセンサス (R-1~R-3)	ラインセンサス(5-2) ラインセンサス+定位記録法 (1,2,3,6) ラインセンサス(4-1,4-2)	スポットセンサス(淀室入3) ラインセンサス+スポットセンサス (淀室周1~淀室周3) 定点センサス(淀室周4,淀室周5)
				夜間調査、移動中 	を間調査、移動中 	夜間調査、移動中	夜間調査、移動中
		調査数	数量	7.2km (2回×1~2日)	7.2km (2回×1日)	3.9km (2回×2~3日)	-
ラインセ	ァンサマ	調	春季	H5.5.28	H9.5.8	H14.5.8 ~ 10	-
7170		查時	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.11	H14.6.13~14	-
		期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.8	H14.10.8~9	-
		+	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.27	H15.1.28、30	-
		調査数	数量	-	-	-	センサス 2.1km+スポット 9 地点 (スポット 1 箇所 10 分)
ラインセ	zンサス ₊	調	春季	-	-	-	H19.5.16 ~ 17
スポット	・ センサス	查時	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23
		期	秋季	-	-	-	H18.10.12~13
			冬季	-	-	-	H19.1.30~31
		調査数	数量	-	-	-	9 地点(1 箇所 10 分)
		調	春季	-	-	-	H19.5.16 ~ 17
スポット	センサス	査時	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23
		期	秋季	-	=	-	H18.10.12~13
			冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数量		=	-	1.3km+80 分	-
環境に応		調	春季	-	-	H14.5.8~10	-
	ラインセンサス法 +		夏季	-	-	H14.6.13~14	-
定位記		查時期	秋季	-	-	H14.10.8~9	-
			冬季	-	-	H15.1.28、30	-
		調査数量		-	-	-	1 箇所 30 分
		調	春季	-	-	-	H19.5.16
定点セ	ンサス	査	夏季	-	-	-	H18.6.22
		時期	秋季	-	-	-	H18.10.13
			冬季	=	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数	数量	1箇所[30分×3回]	1箇所[30分×3回]	1 箇所[30 分×3 回]	-
			春季	H5.5.28 ~ 29	H9.5.7	H14.5.8~10	-
定位記	己録法	調査時期	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.12	H14.6.13~14	-
		期期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.9	H14.10.8~9	-
			冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.26	H15.1.28~30	-
		調査数	数量	-	-	-	2人×1日(80~85分)
		≘田	春季	-	-	-	H19.5.16
船上セ	ンサス	調査	夏季	-	-	-	H18.6.22
		時期	秋季	-	-	-	H18.10.12
			冬季	-	-	-	H19.1.30
		調査数		2人×1日	2人×1日	2人×1日	3人×1日(180分)
			春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.15
夜	間	調査	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.23
		時期	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.10
			冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28~30	H19.1.29
		調査数		3人×1日	3人×1日	2人×2日	2人×2日
			春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.16~17
移動中	の確認	調査時	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.22 ~ 23
		時期	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.12~13
		,,,,	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	H19.1.30 ~ 31
		1			l .	1	

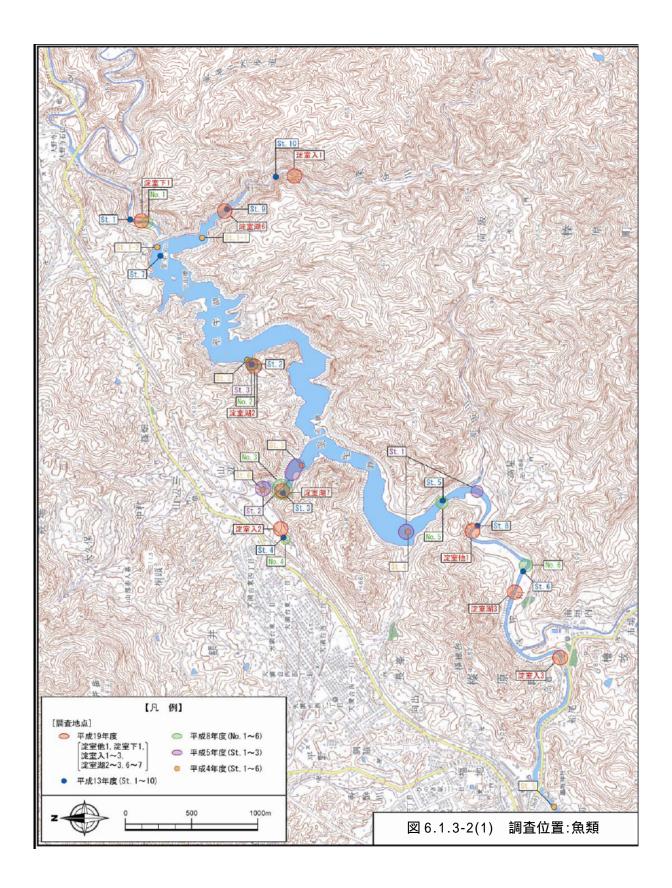
表 6.1.3-3(6) 調査内容一覧:両生類・爬虫類・哺乳類

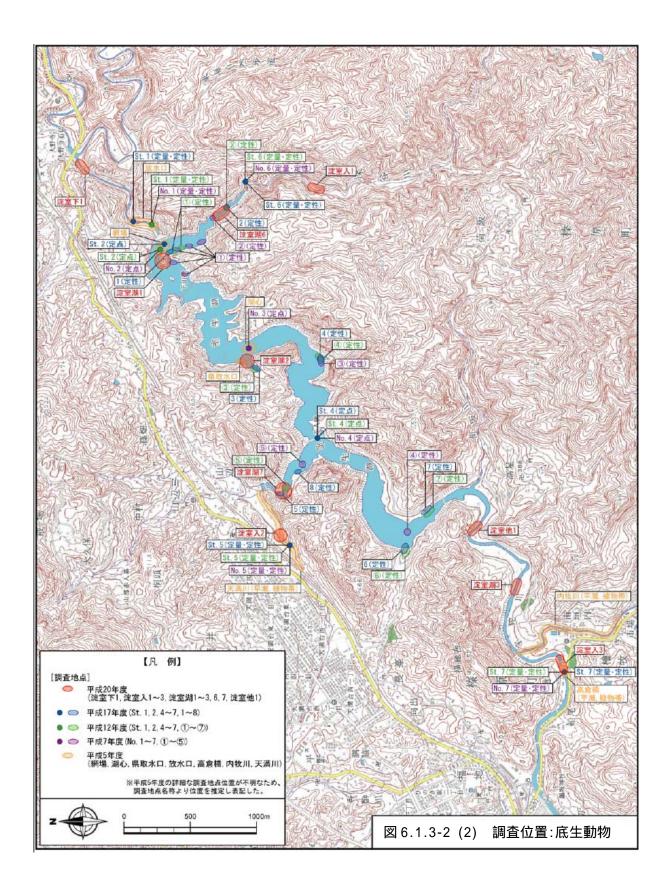
	Apr	· /			1:0 0(0) MEF3D	克. 门工员 // 工员	1145		
		年度			H5	H10	H15		
	調査	番号			2	7	14		
			<b>充河</b>		=	-	5-1 河畔(流出河畔)		
調査		流》	入河.		-	-	5-2 河畔(流入河畔),その他(深谷川))		
地点	区分					フィールドサイン・目撃法、	1 スギ-ヒノキ群落,2 コナラ群落,		
- DAM		ダム		辺	フィールドサイン・目撃法 ,   トラップ法 : 地点 1 ~ 地点 3	│ カメカゴ(No1~No.4)   トラップ法(No1~No4)	3 アカマツ群落,4-1 林縁部,4-2 林縁部,		
					「フラフル・地無し 地無る	自動撮影法(No1~No2)	6 沢筋,7-2 その他(荷阪川)		
		-	調査	<b>上数量</b>	ルート延長:22.0km	ルート延長:26.0km	ルート延長:18.5km		
<del>工</del>	_			春季	H5.5.28~29	H10.5.14~16	H15.5.19~22		
両生類 爬虫類				フィールド サイン法		夏季	H5.8.24~26	H10.8.6~8	H15.8.4~6
哺乳類	日	ンル 撃法	査時	秋季	H5.9.28 ~ 30	H10.10.12~14	H15.10.14~16		
אַטנינוויי			季	冬季	H6.1.25~26	H11.1.21~22	H16.1.20 ~ 22		
				<b>学</b>	(哺乳類調査のみ)	(哺乳類調査のみ)	(哺乳類調査のみ)		
			調配	<b>S数量</b>	-	-	1 地点(20 個)		
			÷⊞	春季	-	-	H15.5.19 ~ 22		
	墜落	<b>落缶</b>	調査	夏季	-	-	-		
			時	秋季	-	-	H15.10.14~16		
両生類			期	冬季	-	-	-		
爬虫類			調音		-	3 地点(1 地点 1 個)	4 地点(1 地点 1 個)		
				春季	_	H10.5.14~15	H15.5.19~22		
		カゴ	調査時	夏季	_	H10.8.6~7	-		
	(カメトラップ)		自時	秋季		1110.0.0 7	H15.10.14~16		
			期	冬季	-	-	1113.10.14 - 10		
		Ī	1	令子	- 春 2 地点、	-	-		
		<b> </b>	調፤	查数量	-   -   -   -   -   -   -   -	3 地点(1 地点 30 個)	8 地点(1 地点 30 個)		
		トラップ		春季	H5.5.28 ~ 30	H10.5.14~16	H15.5.19 ~ 22		
		ッス	調査時	夏季	H5.8.24 ~ 26	-	-		
		17	1 177	1 177	ブヘ	秋季	H5.9.28 ~ 30	H10.10.12~14	H15.10.14~16
			期	冬季	H6.1.25 ~ 27	-	-		
	<u> </u>		調配	<b>S数量</b>	-	1 地点(5 対)	1地点(春1個、秋9個)		
	フッ	ᅡᆍ		春季	-	-	H15.5.19 ~ 22		
	゚゚゚゚゚゚゚	トラップ	調査時期	夏季	-	-	-		
	法	プラ	莳	秋季	-	H10.10.13~14	H15.10.14~16		
哺乳類	トラップ法調査		期	冬季	-	-	-		
<b>咿</b> 孔炽	_ <del>_</del>		調査	查数量	春 2 地点、 夏・秋・冬 3 地点 (1 地点 1 個)	-	3 地点 1 地点(春 10 個、秋 5 個)		
		カ	<u> </u>	春季	H5.5.28~30	-	H15.5.19 ~ 22		
		カ ゴ 罠	調査時期	夏季	H5.8.24 ~ 26	-	-		
			詩	秋季	H5.9.28 ~ 30	-	H15.10.14 ~ 16		
	l		期	冬季	H6.1.25 ~ 27	-	-		
		<u> </u>	調音	<u>支数量</u>	-	2 地点	3 地点		
		自動		春季	-	-	H15.5.19~22		
	調査	撮	調杏	夏季	-	-	-		
	当	自動撮影法	調査時期	秋季	-	H10.10.13~14	H15.10.14~16		
		法	期	冬季	-	H11.1.21 ~ 22	-		
	!					モリアオガエル補足調査			
						(H10.6.11)			
	そ	の他			-	オオサンショウウオ夜間	-		
						調査   (H10.8.6~7、10.12、			
						H11.1.21)			
					•	•			

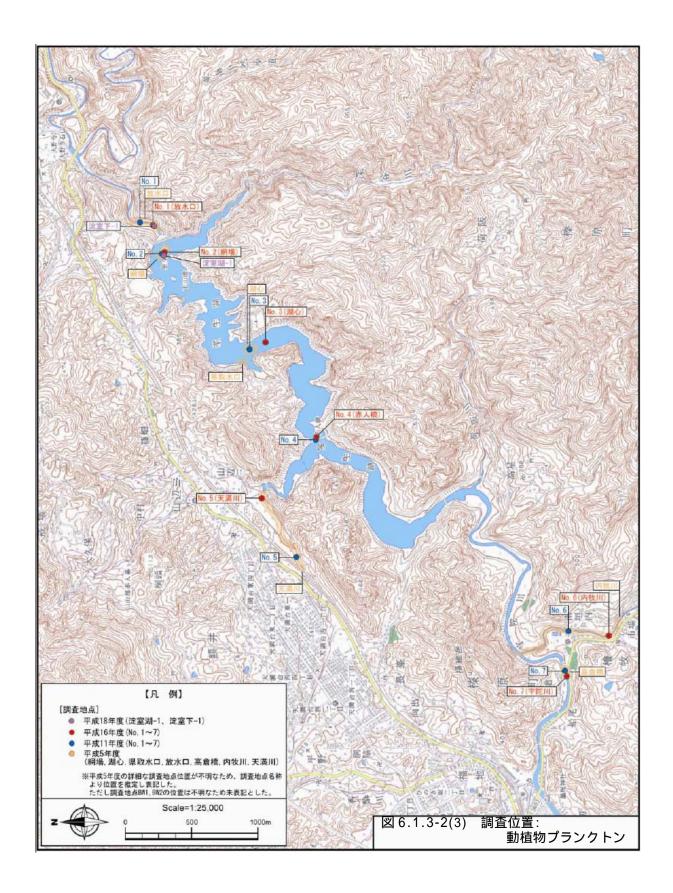
表 6.1.3-3(7) 調査内容一覧:陸上昆虫類等

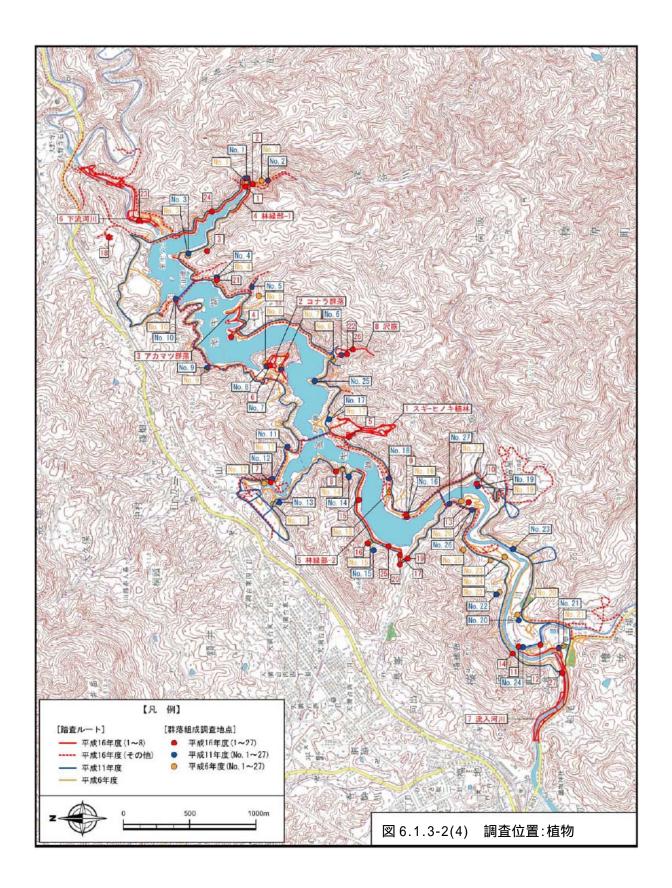
	調査年	=度		H6	H10	H15
	調査番	号		3	7	13
		下流河	Ш	-	-	5-1 河畔(流出河畔)
		流入河川		-	-	5-2 河畔(流入河畔)
調査地点	区分	ダム湖暦	辺	任意採集(R-1~R-3) トラップ(B-1~B4,L-1~L-3)	任意採集(R-1~R-3) トラップ(B-1~B4,L-1~L-3)	1 スギ-ヒノキ群落, 2 コナラ群落, 3 アカマツ群落, 4-1 林縁部,4-2 林縁部, 6 沢筋,その他(荷阪川)
		調査数	量	3ルート	3ルート	8ルート
   任意採集	Ē.		春季	H6.5.25	H10.5.11 ~ 14	H15.5.19~22
	ς	調査時期	夏季	H6.7.15	H10.7.28 ~ 31	H15.7.28~31
			秋季	H6.10.6	H10.10.6~9	H15.10.7~9
		調査数量		4 地点 (ビニールコップ 120 個)	3 地点 (ビニールコップ 90 個)	8 地点 (ビニールコップ 240 個)
ピットフォ トラップ		<i> </i>		H6.5.22 ~ 25	H10.5.11 ~ 14	H15.5.19~22
FJ92	,	調査時期	夏季	H6.7.14 ~ 17	H10.7.28 ~ 31	H15.7.28 ~ 31
			秋季	H6.10.5~8	H10.10.6~9	H15.10.6~9
		調査数量		3 地点(ボックス法 3 個)	3 地点 (カーテン法 3 個、 ボックス法 3 個)	8 地点 (カーテン法夏のみ 1 個、 ボックス法 8 個)
ライトトラ	ップ		春季	H6.5.22 ~ 24	H10.5.11 ~ 14	H15.5.19~22
		調査時期	夏季	H6.7.14~16	H10.7.28 ~ 31	H15.7.28~31
			秋季	H6.10.5~7	H10.10.6~9	H15.10.6~9
その他				-	ゲンジボタル補足調査 H10.6.11~12	ライトトラップ(カーテン法) は夏季調査のみ1地点実施。 任意採集は既定8ルートのほ か範囲全域を対象とした調査 を毎回実施

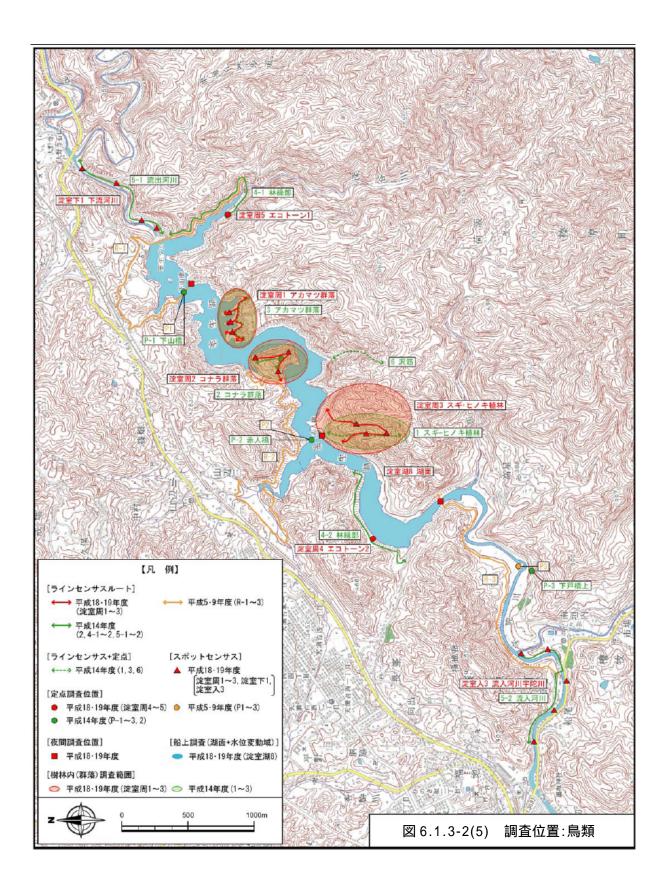


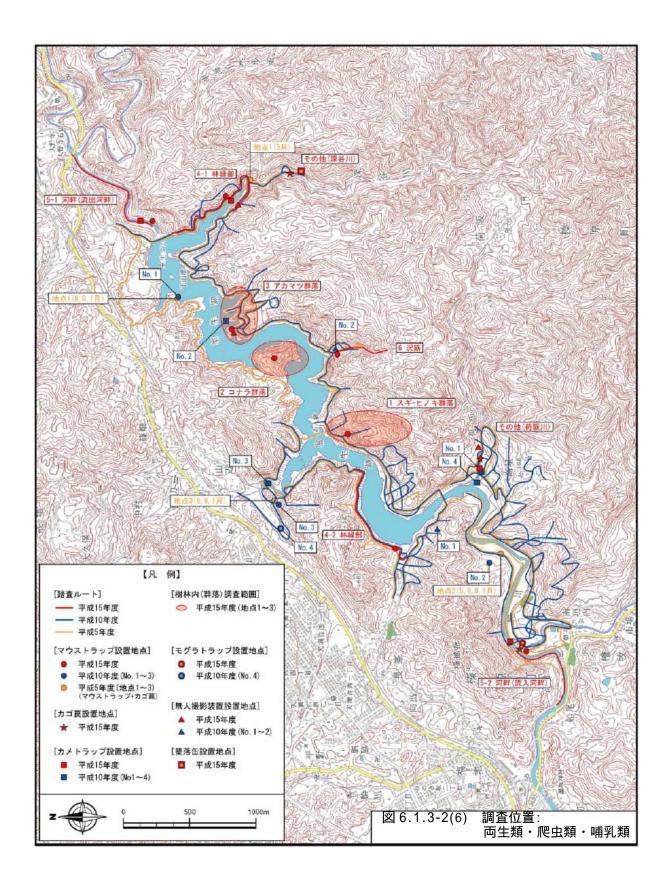


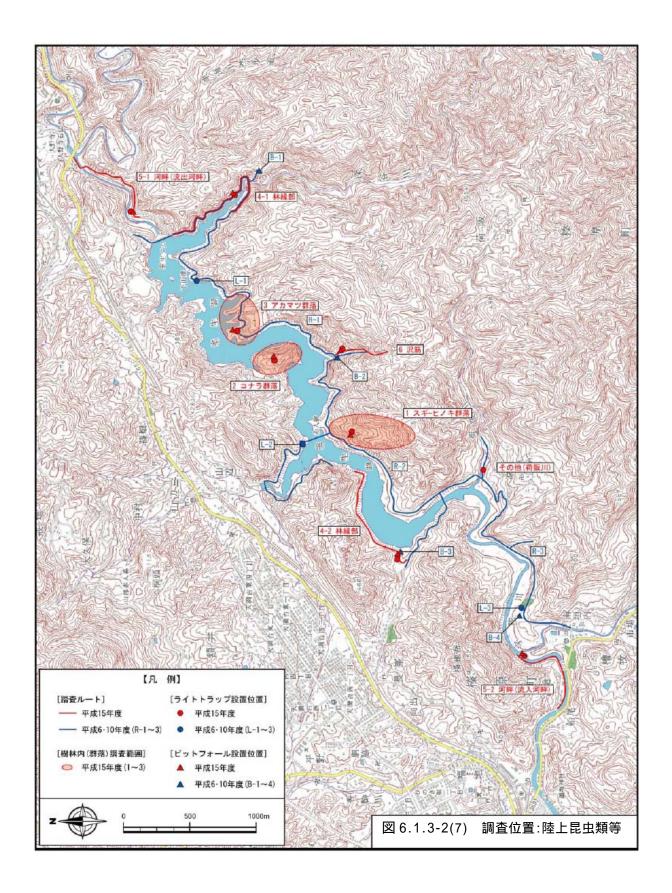












### (4)調査地点・定線等の設定方法の変更について

「河川水辺の国勢調査(ダム湖版)」では、平成13年度から植物・動物と生息・生育環境(場)との関係を目的に含めることとして、陸域部分(植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等)の調査について、調査地点・定線等の設定方法を変更している。

具体的には、植物群落については、ダム湖及びその周辺を代表する環境として、既往の現存植生図から読み取った調査範囲内の植物群落別面積のうち、面積の大きな群落等区分(開放水面を除く)の上位 1~3 位を抽出し、調査対象環境として設定している。また、群落以外については、以下に示すように、開放水面、林縁部、河畔、沢筋の環境に区分し、調査を実施している。

なお、これまでに実施されている調査対象環境は 表 6.1.3-4、環境の概要は 表 6.1.3-5 に示すとおりである。

・開放水面:開放水面(ダム湖)(鳥類調査のみ対象)

・林 縁 部:道路沿いや木本植物群落の境界等の林縁環境

・河 畔 :流入河川沿い、下流河川沿いの環境

・沢 筋 :原則として、ダム湖に流入する沢沿いの環境

表 6.1.3-4 調査対象環境一覧

		20111	· 10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1	11-41-70 9-		
	調査項目		植物調査 (植物相調査)	鳥類調査	両生類・爬虫類哺 乳類調査	陸上昆虫類等 調査
調査対	調査対象環境環境の形態			H14、H18・19	H15	H15
植物群落	第1位群落	面				
	第2位群落	面				
	第3位群落	面				
群落以外	開放水面	面	-		-	-
	林縁部	線				
	河畔	線				
	沢筋	線				

注)1. :調査環境 -:対象外

表 6.1.3-5 調査対象環境の概要

調査対	象環境名	調査対象区域名	調査地点概要
植物群落	第一位群落	スギ - ヒノキ植林	赤人橋右岸側の樹高 15m 程度のスギ・ヒノキ植林。西向きの斜面の山腹に比較的広い面積で成立しており、適度に手入れされているが、林内はやや暗い。土壌は適潤性~湿性である。低木層にはクロモジ、ヤマウルシ等がみられる。
	第二位群落	コナラ群落	下山橋と赤人橋の中程、左岸側の半島に分布するコナラ林で、コナラ、ヤマザクラ、ネジキ等がみられる。北向きの斜面は比較的緩やかであるため、土壌が発達しているが、東、南、西の各斜面は急傾斜となっており、土壌の発達は不良である。林内は適度に手入れされている。半島尾根部はアカマツが分布するが、大半が枯れている。
	第三位群落	アカマツ群落	下山橋上流左岸側の入り組んだ地形に分布するアカマツ林で、アカマツ、コナラ、ソヨゴ等がみられるが、規模は大きくない。土壌は乾性である。松枯れが進んでおり、林内にアカマツの倒木が点在している。
群落以外	林縁部	林縁 - 1	山側斜面には小規模ながら谷地形が多く、急斜面であるため道路脇には崩積土がみられ土壌は礫質である。また、両側を尾根に囲まれているため暗い。山側斜面の大半をコナラ林が占め、植生はイヌシデやイヌビワ、アケビ等のマント群落やカラムシ、アカソ、イタドリ等のソデ群落がみられる。
		林縁 - 2	山腹斜面を切り通して造られた狭い道のため、両側は樹林となって おり、比較的薄暗い。山側の斜面にはスギが植林された緩やかな傾 斜もみられるが、大半は急傾斜の崖状になっている。植生は草本類 が少なく木本類が多くみられる。平地にはイタチハギ等が繁茂して いる。
	河畔	下流河川	両岸は急傾斜の山付となっており、河床に大礫が多い。上流側にある管理用道路は明るく、河畔にはアカメガシワ、ネコヤナギ等の樹林やツルヨシ等の草地がみられるが、下流側はスギ・ヒノキ植林になっており、日当たりも悪い。
		流入河川	河川周辺には人家や耕作地が多く、比較的開けた環境にあり、日当たりは良い。河床は礫~砂質であり、ツルヨシやオギ、ミゾソバ等の草地が多くみられる。堤防上には遊歩道があり、水辺にも降りられるなど、親水的な整備が行われている。下流域には「平成榛原子供のもり公園」があり、湖畔がレクリエーション整備されている。
	特殊な環境	沢筋	赤人橋より上流右岸側のスギ植林内の沢筋で、大きな崖地があり、イワタバコ等がみられる。比較的流量の少ない沢であり、伏流している箇所もみられる。林内は余り手入れされておらず林内は薄暗いものの、林床にはシダ植物が多く、ゼンマイ、シケチシダ、ジュウモンジシダ等がみられる。沢の上流側は岩盤が露出し、沢筋のやや上部にはミカエリソウ、ヤハズアジサイ等がみられる。
その他の区	보或		ダム湖沿いの道路は、ほとんど山地帯に接しており、全体的に山地帯の環境が多くみられる。ダム湖の北側には水田地帯が広がっているほか、流入河川沿いは比較的明るい草地が形成されている。

#### 6.2. ダム湖及びその周辺の環境の把握

#### 6.2.1. 流域の概況

室生ダムは奈良県宇陀市室生区(旧・宇陀郡室生村)大野地先、淀川水系木津川左支名張川の小左支川である宇陀川に位置し、淀川水系木津川上流総合開発の一環として、名張川支川宇陀川中流部に昭和49年竣工した堤高63.5m、堤頂長175mの重力式コンクリートダムで、洪水調節、灌漑、発電、上水道用水の補給を目的として建設された多目的ダムである。

また、ダム湖へ流入する宇陀川は、室生火山群や高見山地の山岳地帯に端を発し、室生川と合流する。なお、淀川水系である木津川は、布引山地を源とし、上野盆地を通過した後、鈴鹿、布引山地を源とする柘植川、服部川と合流して岩倉峡を右流し、大河原地点で左支川の名張川と合流した後、笠置、加茂を経て八幡付近で淀川に合流する流域面積 1,596km²の一級河川である。

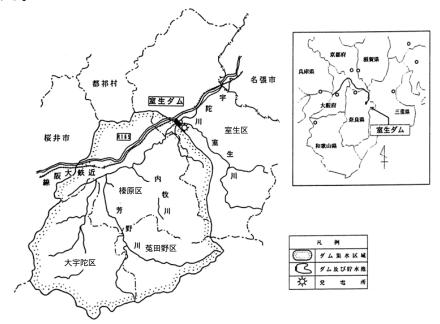


図 6.2.1-1 宇陀川流域図

室生ダムは、「室生湖」と呼ばれており、コイ(平成 14 年度以降の放流は実施されていない) やゲンゴロウブナの放流が行われ、特にゲンゴロウブナ釣りが盛んである。また、外来種であるオオクチバス(ブラックバス)やブルーギルが生息している。

ダム湖周辺は、スギ・ヒノキ植林及び二次林として成立したコナラ群落が大半を占めており、草地はダム湖岸やダム湖上下流の宇陀川流域に小規模ながら形成されている。また、付近には高倉・南垣内・高星等の集落があり、いずれも小規模な集落がみられるなど、比較的人為の影響を受けた場所といえる。

このほか、下戸橋から下流のダム湖及びその周辺は、広く室生赤目青山国定公園に指定されている。

## (1)自然公園等の状況

室生ダム周辺には、「室生赤目青山国定公園」が分布している。室生赤目青山国定公園の概要を表 6.2.1-1、その位置を図 6.2.1-2 に示す。

関係自治体		奈良県桜井市	・奈良市	・宇陀市・	曽爾村・御	即杖村・東	吉野村、三重県	
沿革		昭和 45 年 12	月 28 日	室生赤目青	<b>与山国定公</b>	園指定		
地種別面積(	ha)	特別保護		特別	地域		普通地域	公園区域
201至701四7貝(	iia)	地区	第1種	第2種	第3種	合計	田坦	<b>公园区域</b>
	桜井市	=	-	1	56	57	-	57
	奈良市		ı	48	78	126	ı	126
	宇陀市	-	172	109	3,500	3,781	78	3,859
奈良県	曽爾村	36	240	744	2,930	3,914	248	4,198
	御杖村	=	ı	31	794	825	ı	825
	東吉野村	=	145	313	3,193	3,651	28	3,679
	小計	36	557	1,246	10,551	12,354	354	12,744
三重県		31	550	2,268	10,431	13,249	284	13,564
合計		37	1,107	3,514	20,982	25,603	638	26,308

表 6.2.1-1 室生赤目青山国定公園の概要

奈良県自然公園 HP によると、室生赤目青山国定公園は、奈良・三重の県境にまたがる室生 火山群の地形・景観、布引山系の丘陵景観及び高見山地の森林景観を保護し、その利用を増 進するため大和青垣国定公園とともに昭和 45 年末に指定された公園である。

公園区域は、大和高原南部地区(貝ヶ平山、額井岳)、室生火山群地域(倶留尊山、鎧岳、赤目渓谷)、高見山地(三峰山、高見山)、青山高原の四地域に大別され、地域ごとにそれぞれ地形地質学的に特異な景観をなしている。

大和高原南部地域は、初瀬宇陀川断層崖を構成する貝ヶ平山・香酔山・額井岳が山岳景観を呈し、室生火山群は、小太郎岩・鎧岳・兜岳・屏風岩・香落渓・赤目四十八滝等火山群を 代表する柱状節理の火山地形に優れている。

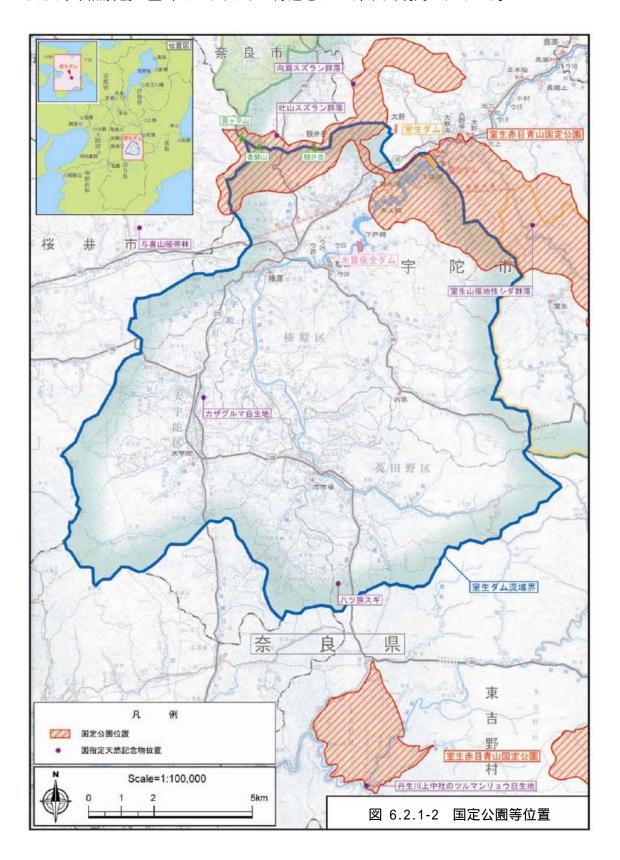
高見山地の高見山は、中央構造線に接して屹立する独立峰であり、これに続く台高山脈一帯は壮大な山岳景観をなし、また、奥香肌峡は渓谷美に優れたところでもある。

植生としては、高見山地にブナ・ツガ・ウラジロモミ等の原生林が残されている。また、 採草地や萱場として利用されてきた倶留尊高原・大洞山・青山高原の一部には草原が残され、 特に倶留尊山麓に広がるススキ草原は、特定植物群落に選定され、里人による火入れ等によ りその植生が維持されている。

本公園地域は、植物学上、暖帯性植物の北限地帯と高地性植物の南限地帯の交錯した位置にあり、室生山暖地性のシダ群落、丹生川上中社のツルマンリョウ自生地、吐山・向渕のスズラン群落等は天然記念物に指定されている。

注)1.出典:奈良県農林部森林保全課 自然公園 HP(http://www.pref.nara.jp/dd\_aspx\_menuid-2952.htm)

また、仏教美術の歴史的景観が残る室生寺・大野寺・奥山愛宕神社・北畠神社・戒長寺等の古社寺が多く、歴史的文化財に恵まれ、それらを結ぶように東海自然歩道も整備されているため、自然探勝・登山・ハイキングの好適地として、広く利用されている。



### (2)動植物

#### 1)魚介類

これまでに実施されている魚介類の調査内容を表 6.2.1-2 に示す。

#### (a) 魚類

#### a) 魚類の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、1 綱 6 目 10 科 31 種の魚類の生息が確認されている。確認種の一覧は、表 6.2.1-3 に示すとおりである。

近年に実施した調査においては、一般的に河川の上~中流域を生息場所とするカワムツ、カワヨシノボリや、中~下流を生息場所とするオイカワ、コウライニゴイ、コウライモロコ、ヌマチチブ、回遊魚であるアユ(放流されている)、ウキゴリ(湖沼等による陸封型も多い)、トウヨシノボリ(湖沼・ため池等による陸封型も多い)等が確認されている。

確認種をダム湖内や流入河川、下流河川といった環境区分別にみると、ほとんどの環境で出現している種は、オイカワ、コウライモロコ、ウキゴリ、トウヨシノボリであり、カワムツ、カワヨシノボリ等は流入河川で多く確認されている。また、少数ながらも流入河川やダム湖内でメダカやアマゴ等も確認されている。

このほか、平成20年2月7日に室生ダム湖内において、アユの再生産についての基礎情報を得ることを目的として、ダムサイト付近、天満川流入地点付近、宇陀川流入地点付近(水質保全ダム直上を含む)の3地点において、捕獲調査が実施されている。その結果、ダムサイト付近で1個体、天満川流入地点付近で58個体(目視を含めると158個体以上)のアユの仔魚が確認され、室生ダムにおいてはアユが再生していることが明らかとなったが、宇陀川流入地点及び水質保全ダム直上では仔アユは確認されていない。

なお、宇陀川漁業協同組合からの聞き取り調査によると、宇陀川流入地点にて琵琶湖 産のアユを放流しているとのことである。

室生ダム定期報告書 6章 生物

表 6.2.1-2 調查内容一覧: 魚介類

	調査地区														
区分		H4		H5		H8		H13	Н	119	H4	H5	H8	H13	H19
調査番号	2	1		2		5		11	,	19	1	2	5	11	20
下流河川					No.1	下流河川 (宇陀川)	St.1	下流河川	淀室下 1	ダムサイト 直下	-	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 80 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回 · (18mm)20 回、 タモ網 150 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本、潜水観察 0.5h	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、 セルびん 4 個、どう2 個、 カゴ網 2 個、潜水観察 2h
	St.2	湖心	St.3	湖底の 平らな部分	No.2	湖内湾入部	St.2	湖肢	淀室湖 2	湖岸部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(18mm)中層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 セルびん 10 個、はえなわ 4 本、 カニカゴ 4 個、どう 4 個	刺網(15mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 セルびん 2 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
									淀室湖 3	宇陀川 流入部	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
							St.9	河川流入部	淀室湖 6	深谷川 流入部	-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 投網(12mm)10 回・(18mm)20 回、 タモ網 140 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
ダム 湖	St.3	天満川 流入部	St.2 (1)	天満川 流入部	No.3	河川流入点 (天満川)	St.3	河川流入部	淀室湖 7	天満川 流入部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 投網(12mm)20 回・(18mm)15 回、 タモ網 120 分、セルびん 15 個、 はえなり 4本、カニカゴ 8 個、 どう4 個	刺網(15mm)表層 1 枚·中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 2 枚、 投網(12mm)20 回・(18mm)10 回、 タモ網 110 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本	投網(12mm)10 回 · (18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m · 中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
iah	St.4	宇陀川流入部	St.1(1) St.1(2)	流入部	No.5	河川流入点 (宇陀川)	St.5	ダム湖内			刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個 投網:(12mm)10 回・(18mm)10 回、 潜水 30 分	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表層 180m、 投網(12mm)17 回・(18mm)18 回、 タモ網 120 分、セルびん 16 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 3 枚、刺網(50mm)表層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚、 タモ網 20 分	
	St.1-1	ダムサイト									刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	-	-	-	-
	St.1-2	ダムサイト (船着場)									モンドリ、目視	-	-	-	-
		(阳伯物)					St.7	最深部			-	-	-	刺網(15mm)表層 2 枚·中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 1 枚	-
							St.8	河川流入部			-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚、底層 1 枚 刺網(50mm)表層 2 枚、 投網(12mm)15 回 (18mm)25 回、 タモ網 90 分、セルびん 4 個、 はえなわ 1 本	
							St.10	流入河川	淀室入 1	流入河川 深谷川	-	-	-	投網(18mm)21 回、タモ網 75 分、 セルびん 4 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
流入 河川	St.6	流入河川	St.2 (2)	天満川 流入部	No.4	流入河川 (天満川)	St.4	流入河川	淀室入 2	流入河川 天満川	投網(12mm)3 回	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 60 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 70 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回 · (18mm)2 回、 タモ網 105 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
	St.5	宇陀川 (高倉橋 付近)			No.6	流入河川 (宇陀川)	St.6	流入河川	淀室入3	流入河川 宇陀川	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回 タモ網	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 60 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)25 回 · (18mm)26 回、 タモ網 120 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本、潜水観察 20 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
その 他									淀室他 1	水質保全ダ ム 湛水域	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
		-		-		-		-	初!	夏季	-	-	-	-	H19.6.5 ~ 9
期		夏季		-		夏季		夏季	夏	季	H4.8.12 ~ 14	-	H8.7.23 ~ 24, 29 ~ 30	H13.7.31、8.1~6	H19.8.27 ~ 29
		秋季	Ì	秋季	1	秋季		秋季		-	H4.10.12 ~ 14	H5.9.20 ~ 22	H8.10.16 ~ 18	H13.10.23 ~ 31	-

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)		į	調査年度	Ę	
110.	세핑 니	нц	11 11	1 = LI (1 LI /	H4	H5	H8	H13	H19
1	硬骨魚	コイ	コイ	コイ					
2				ゲンゴロウブナ					
3				ギンブナ					
4				ニゴロブナ					
5				オオキンブナ					
-				フナ属					
6				ワタカ					
7				ハス					
8				オイカワ					
9				カワムツ					
10				モツゴ					
11				タモロコ					
12				ホンモロコ					
13				カマツカ					
14				コウライニゴイ					
15				ニゴイ					
-				ニゴイ属					
16				スゴモロコ					
17				コウライモロコ					
-				スゴモロコ属					
18			ドジョウ	ドジョウ					
19		ナマズ	ギギ	ギギ					
20			ナマズ	ナマズ					
21		サケ	アユ	アユ					
22			サケ	アマゴ					
23		ダツ	メダカ	メダカ					
24		タウナ ギ	タウナギ	タウナギ					
25		スズキ	ハゼ	スミウキゴリ					
26				ウキゴリ					
27				トウヨシノボリ					
28				カワヨシノボリ					
-				ヨシノボリ属					
29				ヌマチチブ					
30			サンフィッシ ュ	ブルーギル					
31				オオクチバス(ブラックバス)					
			1綱6目10科31	種	16 種	15 種	21 種	25 種	28 種

表 6.2.1-3 確認種一覧: 魚類

注)1.種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

# b) 魚類の放流状況

室生ダム及びその周辺における魚類の放流状況は、表 6.2.1-4 に示すとおり、室生漁業協同組合及び宇陀川漁業共同組合によって、毎年度定期的に実施されている。

平成元年度以降に放流されている種は、アユ、ゲンゴロウブナ、コイの3種であり、コイは平成14年度以降の放流は実施していない。また、アユは主に流入河川及び下流河川、ゲンゴロウブナ及びコイは主にダム湖内に放流している。放流位置を図6.2.1-3に示す(平成元年度から平成3年度の放流位置は不明のため未表記とした)。

表 6.2.1-4 (1) 室生ダム及びその周辺における魚類の放流実績

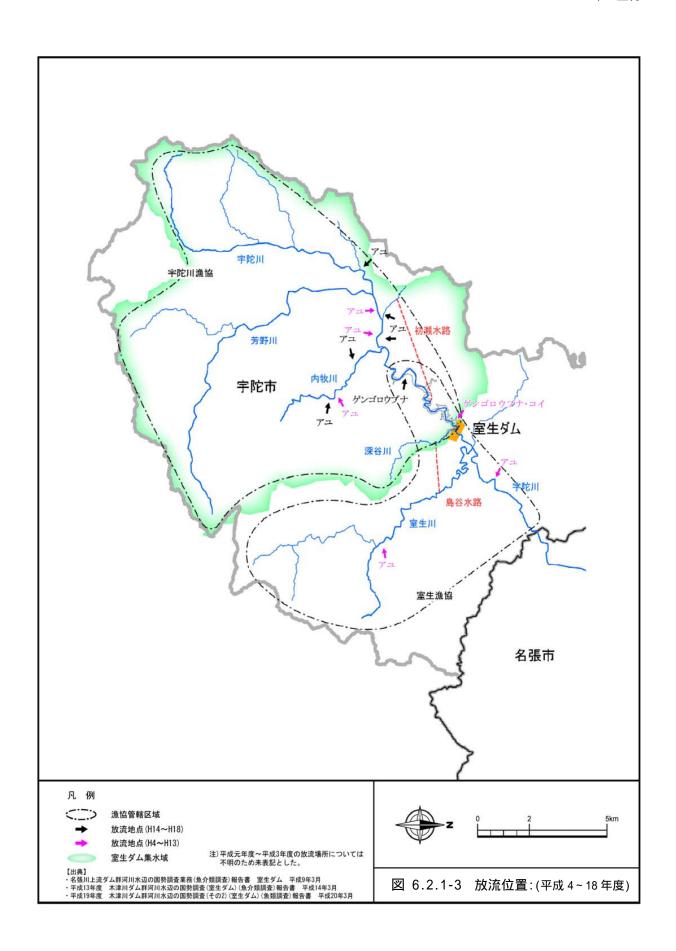
種名	放流場所					放流年度				
(和名)	ガメガルン物で	H1	H2	НЗ	H4	H5	H6	H7	Н8	Н9
アユ	流入河川	500	500	500	500	500	500	250	250	350
	下流河川	100	100	100	100	200	100	100	100	
	位置不明									
ゲンゴロ ウブナ	ダム湖内	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
コイ	ダム湖内	300	300	300	300	300	300	300	300	300
	合計	1900	1900	1900	1900	2000	1900	1650	1650	1650

注)1.放流量の単位は kg/年である。

表 6.2.1-4 (2) 室生ダム及びその周辺における魚類の放流実績

種名	放流場所					放流年度				
(和名)	ガメガル・物で	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
アユ	流入河川	350	350	350	350	60	60	60	60	60
	下流河川									
	位置不明					60	60	60	60	60
ゲンゴロ ウブナ	ダム湖内	1000	1000	1000	1000	600	600	600	600	600
コイ	ダム湖内	300	300	300	300				·	
	合計	1650	1650	1650	1650	720	720	720	720	720

注)1.放流量の単位は kg/年である。



# c)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-5 に示すとおり、7 科 13 種である。ただし、これらの種のうち、3 科 7 種は人為的な放流等が由来であると考えられ、自然分布と考えられる種は、5 科 6 種である。

選定基準 調査年度 分類 科名 種名(和名) No. 1 3 4 Н4 Н5 Н8 H13 H19 コイ ワタカ ΕN 郷土 1 2 ギギ ギギ 希少 3 サケ アマゴ NT メダカ メダカ VU 希少 I然分布 5 ハゼ ウキゴリ 希少 カワヨシノボ 6 希少 5科6種 2種 2種 3種 4種 5種 5種 0種 0種 3種 ゲンゴロウブ 7 コイ ΕN ニゴロブナ ΕN 8 放流等由来 9 ハス VU 10 ホンモロコ CR 11 スゴモロコ NT 12 アユ アユ NT 絶寸 タウナギ 13 タウナギ ΕN 7種 4種 3種 4種 6種 6種 3科7種 0種 0種 1種 7科13種 0種 10 種 6種 5種 0種 6種 7種 10 種 11種

表 6.2.1-5 重要種一覧: 魚類

注)1.分類 自然分布 - 自然分布であると考えられる重要種。

放流等由来 - 釣りの対象として放流されたり、アユ等の放流に混雑してきた可能性が高いと考えられる種。

#### 【選定基準】

- ·1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号) 特別-特別天然記念物 天然-天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号) 国内 - 国内希少野生動植物種 国際 - 国際希少野生動植物種 緊急 - 緊急指定種
- ・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 汽水・淡水魚類 」 (環境省 2007年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧IA類 EN 絶滅危惧IB類
  - VU 絶滅危惧II類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・4:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 脊椎動物編~」 (奈良県農林部森林保全課 2007年)

絶滅 - 絶滅種 絶寸 - 絶滅寸前種 危惧 - 絶滅危惧種 希少 - 希少種

不足-情報不足種 注目-注目種 郷土-郷土種

# d)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-6 に示すとおり、2 科 3 種である。

表 6.2.1-6 外来種一覧: 魚類

Na	11 dz	<b>廷</b> 农/玑农\	選定	基準		į	調査年度	Ē	
No.	科名	種名(和名)	1	2	H4	H5	Н8	H13	H19
1	タウナギ	タウナギ							
2	サンフィッシュ	ブルーギル	特定						
3	3 オオクチバス(ブラックバス)		特定						
	2 科 3 種		2種	3種	3種	3種	2種	2種	2種

#### 【選定基準】

- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年 法律第78号) 特定 - 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種) 注意 - 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年) - 掲載されている種

# (b)エビ・カニ・貝類

a)エビ・カニ・貝類の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、3 綱 4 目 8 科 11 種のエビ・カニ・貝類の生息が確認されている。確認種の一覧は、表 6.2.1-7 に示すとおりである。 近年に実施した調査においては、ダム湖内や流入河川ではスジエビやテナガエビ、下流河川ではカワニナ等のマキガイ類が多く確認されている。

表 6.2.1-7 確認種一覧:エビ・カニ・貝類

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)		調査	年度	
NO.	河山	пп	11111	1重日(14日)	H4	H5	Н8	H13
1	マキガイ	ニナ	タニシ	オオタニシ				
2				ヒメタニシ				
3			カワニナ	カワニナ				
4				チリメンカワニナ				
5		モノアラガ イ	モノアラガイ	モノアラガイ				
6	ニマイガイ	マルスダレ ガイ	シジミ	マシジミ				
7	甲殼	エビ	テナガエビ	テナガエビ				
8				スジエビ				
9			ヌマエビ	ミナミヌマエビ				
10			アメリカザリガ ニ	アメリカザリガニ				
11			サワガニ	サワガニ				
		3綱4目	8科11種		4種	6種	9種	8種

### b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-8 に示すとおり、3 科 3 種である。

表 6.2.1-8 重要種一覧: エビ・カニ・貝類

No	科名	廷夕/和夕\		選定	基準			調査	年度	
No.	行台	種名(和名)	1	2	3	4	H4	H5	Н8	H13
1	タニシ	オオタニシ			NT					
2	モノアラガイ	モノアラガイ			NT					
3	シジミ	マシジミ			NT					
	3科3種		0種	0種	3種	0種	0種	1種	2種	1種

#### 【選定基準】

- ·1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号) 特別 - 特別天然記念物 天然 - 天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号) 国内 - 国内希少野生動植物種 国際 - 国際希少野生動植物種 緊急 - 緊急指定種
- ・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 汽水・淡水魚類 」 (環境省 2007年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧 IA類 EN 絶滅危惧 IB類
  - VU 絶滅危惧II類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・4:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 脊椎動物編~」 (奈良県農林部森林保全課 2007年)

絶滅 - 絶滅種 絶寸 - 絶滅寸前種 危惧 - 絶滅危惧種 希少 - 希少種

不足-情報不足種 注目-注目種 郷土-郷土種

#### c)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-9 に示すとおり、1 科 1 種である。

表 6.2.1-9 外来種一覧:エビ・カニ・貝類

No	£1 67	<b>毛</b> 农(10农)	選定基	準	調査年度					
	科名	種名(和名)	1	2	H4	H5	Н8	H13		
1	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	注意							
	1科1種		1種	1種	0種	1種	1種	1種		

#### 【選定基準】

- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年 法律第78号) 特定 - 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種) 注意 - 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年)
  - 掲載されている種

#### 2)底生動物

これまでに実施されている底生動物の調査内容を表 6.2.1-10 に示す。

#### (a)底生動物の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、13 綱 27 目 112 科 321 種の底生動物の生息が確認されている。確認された底生動物の分類群毎の集計結果は、表 6.2.1-10 に示すとおりである。また、確認種の一覧については資料編に添付した。

近年に実施した調査においては、ダム湖内の湖岸部では底生動物の確認種数は少なく、そのなかで比較的多数確認されたのは八工目である。また、流入部ではスジエビ、テナガエビといったエビ類やユスリカ科等が多く、その他に少数ではあるものの、アオサナエやホンサナエといった種が確認されている。また、流入河川である天満川は、住宅地を流れる主要な流入河川であり、アカマダラカゲロウやミツオミジカオフタバコカゲロウ等が多く確認されている。同様に流入河川である深谷川は、山地を流れる渓流で、人為的な影響をほとんど受けておらず、その環境を反映して主に渓流に生息するカゲロウ目、トビケラ目等が多く確認されている。一方、下流河川ではアカマダラカゲロウや H コカゲロウ、カワニナ属等が多く確認されている。そのほか、水質保全ダム上流ではスジエビやユスリカ科等が確認されている。

H7 H12 H17 H20 合計 綱名 目名 科数 | 種数 | 科数 | 種数 | 科数 | 種数 科数 種数 科数 | 種数 | 科数 | 種数 普通海綿 ザラカイメン 無鞘 ヒドロ虫 ウズムシ ウズムシ ひも(紐)形動物門 線形動物門 マキガイ ニナ モノアラガイ ニマイガイ イシガイ マルスダレガイ ミミズ オヨギミミズ ナガミミズ ヒル ノドビル クモ 甲殼 ワラジムシ ヨコエビ エビ 昆虫 カゲロウ トンボ カワゲラ カメムシ アミメカゲロウ トビケラ チョウ 八工 コウチュウ コケムシ 掩喉 櫛口 13 綱 27 目 112 科 321 種 23 科 45 種 50 科 124 種 88 科 180 種 94 科 211 種 82 科 199 種 112 科 322 種

表 6.2.1-10 分類群別確認種数一覧:底生動物

表 6.2.1-11 調査内容一覧:底生動物

				· · ·			
	調査な	年度	H5	H7	H12	H17	H20
	調査	番号	2	4	10	17	21
		下流河川	放水口	(定量・定性)No.1	(定量・定性)No.1	(定量・定性)St .1	淀室下 1
調査	X		網場,湖心,県取水口	(定点)No.2,No.3,No.4 (定性)1,2,3,4,5	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7,8	淀室湖 1,淀室湖 2,淀室湖 3, 淀室湖 6,淀室湖 7
地点	分	流入河川	天満川(早瀬,植物帯), 高倉橋(平瀬,植物帯), 内牧川(平瀬,植物帯)	(定量・定性)No.5,No.6,No.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	淀室入 1,淀室入 2,淀室入 3
		その他	-	-	-	-	淀室他 1(水質保全ダム)
	定	点調査	採泥器等による採取	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回程度	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5 回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6回
調査 方法	定	性調査	がル語号によるが収 (0.25m²)	ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)
	定	2量調査		サーバーネット(25cm×25cm)	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×6回
		夏季	-	H7.7.20~21、8.23	H12.7.19~21	H17.10.19~20	H20.8.25 ~ 26
調査		冬季	-	H7.12.20 ~ 21	H12.11.8~9	H18.1.14~15	-
時期		早春季	-	H8.2.21 ~ 22	H13.1.12~13	H17.7.2~3	H20.4.21 ~ 22
	-	その他	H5.9.21	-	-	-	-

#### (b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-12 に示すとおり、8 科 12 種である。

表 6.2.1-12 重要種一覧:底生動物

No.	科名	種名(和名)		選定	基準				調査年度	芰	
NO.	111	作出口(作中口)	1	2	3	4	H5	H7	H12	H17	H20
1	タニシ	オオタニシ			NT						
2	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ			NT						
3	シジミ	マシジミ			NT						
4	ムカシトンボ	ムカシトンボ				希少					
5	ヤンマ	マルタンヤンマ				希少					
6	サナエトンボ	ミヤマサナエ				希少					
7		キイロサナエ				希少					
8		ホンサナエ				希少					
9		アオサナエ				希少					
10	コオイムシ	コオイムシ			NT	希少					
11		オオコオイムシ				希少					
12	ホタル	ゲンジボタル				郷土					
	8 科 12 種			0種	4種	9種	0種	4種	6種	5種	7種

#### 【選定基準】

- ・1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)
  - 特別 特別天然記念物 天然 天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)
  - 国内-国内希少野生動植物種 国際-国際希少野生動植物種 緊急-緊急指定種
- ・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 昆虫類・貝類・その他の無脊椎動物 」 (環境省 2006・2007年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧 IA類 EN 絶滅危惧 IB類
  - VU 絶滅危惧II類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・4:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 植物・昆虫類編~」 (奈良県農林部森林保全課 2008年)

絶滅 - 絶滅種 絶寸 - 絶滅寸前種 危惧 - 絶滅危惧種 希少 - 希少種

不足-情報不足種 注目-注目種 郷土-郷土種

#### (c)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-13 に示すとおり、3 科 3 種である。

表 6.2.1-13 外来種一覧:底生動物

No.	科名	種名(和名)	選定	基準		1	周査年度	Ŧ Ž	
NO.	1111	作	1	2	H5	H7	H12	H17	H20
1	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ							
2	サカマキガイ	サカマキガイ							
3	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	注意						
	3科3種			3種	1種	2種	2種	2種	3種

#### 【選定基準】

- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年 法律第78号) 特定 - 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種)
  - 注意 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年)
  - 掲載されている種

# 3)動植物プランクトン

これまでに実施されている動植物プランクトンの調査内容を表 6.2.1-14 に示す。

## (a)植物プランクトン

#### a)植物プランクトンの状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、8 綱 16 目 39 科 148 種の 植物プランクトンの生息が確認されている。確認された植物プランクトンの分類群毎の 集計結果を表 6.2.1-15 に示す。また、確認種の一覧については資料編に添付した。

近年に実施した調査においては、植物プランクトンは放水口及び湖内の網場、湖心に多く、流入河川では少ない確認となっており、最も種数が多いのは珪藻網、次いで緑藻網となっている。

調査年度 H5 H11 H16 H18 調査番号 2 8 15 19 下流 放水口 No.1 No1(放水口) 淀室下-1 河川 查 ダム No.2(網場),No.3(湖 区分 地 網場,湖心,県取水口 No.2, No.3, No.4, 淀室湖-1 湖内 心), No.4(赤人橋) 点 No.5(天満川).No.6(内 流入 天満川,内牧川,高倉橋 No.5, No.6, No.7 河川 牧川), No.7(宇陀川) 植 バンドーン型採水器 バンドーン型採水器 バンドーン型採水器 バンドーン型採水器 物 調査数量 各1/0.5、2.5、5.0、 各1/0.5、2.5、5.0、 各1/0.5、2.5、5.0、 各1 / 0.5、2.5、5.0、 ブ 10.0, 25.0m 10.0, 25.0m 10.0, 25.0m 10.0, 25.0m ラン 春季 H5.4.21, 5.20  $H11.5.19 \sim 20$ H16.5.25 H18.5.23 ク 夏季 H5.7.22、8.18 H11.8.18~19 H16.8.17 H18.8.15 調査 -時期 秋季 H5.10.16 H11.11.18~19 H16.11.16 H18.11.14 冬季 H6.2.25 H12.1.20, 26 H17.2.7 H19.2.6 バンドーン型採水器、 バンドーン型採水器、 バンドーン型採水器、 バンドーン型採水器 丸川式中層プランクト 丸川式中層プランクト 丸川式中層プランクト 丸川式中層プランクト 動 ン・ネット(定量用開閉式、 ン・ネット(定量用開閉式、 ン・ネット(定量用開閉式、 ・ネット(定量用開閉式 物 調査数量 口径 30cm、NXX 25) 口径 30cm、NXX 25) 口径 30cm、NXX 25) 口径 30cm、NXX 25) J 各1 /0.5、2.5、5.0、 各1 /0.5、2.5、5.0、 各1/0.5、2.5、5.0、 各1/0.5、2.5、5.0、 ラ 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4層 10.0, 25.0m 10.0, 25.0m 10.0、25.0m ンク 1/4、2/4、3/4、4/4層 1/4、2/4、3/4、4/4層 1/4、2/4、3/4、4/4層 H5.4.21, 5.20 春季 H16.5.25  $H11.5.19 \sim 20$ H18.5.23 -調査夏季 H5.7.22、8.18 H11.8.18~19 H16.8.17 H18.8.15 時期 秋季 H5.10.16 H11.11.18~19 H16.11.16 H18.11.14 冬季 H6.2.25 H12.1.20, 26 H17.2.7 H19.2.6

表 6.2.1-14 調査内容一覧:動植物プランクトン

12 0.2.1-13 万段計別唯心行往致 見.但初ノフノノーフ											
綱名	目名	H5		H11		H16		H18		合計	
		科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
藍藻	クロオコックス	1	4	1	6	1	3	1	4	1	9
	ネンジュモ	2	4	2	5	2	3	2	3	2	12
紅藻	アクロカエチウム	1	1							1	1
クリプト藻	クリプトモナス	1	2	1	2	1	2	1	2	1	3
渦鞭毛藻	ペリディニウム	2	2	3	4	3	3	2	2	4	7
黄金色藻	オクロモナス	1	1	2	7	2	4	1	2	2	7
珪藻	中心	3	12	4	14	2	11	3	8	4	16
ミドリムシ藻	ミドリムシ	1	2	1	3	1	1			1	3
珪藻	羽状	5	23	5	38	4	20	4	10	5	55
緑藻	オオヒゲマワリ	2	6	2	6	2	6	2	4	2	9
	ヨツメモ	2	2	1	1			1	1	2	2
	クロロコックム	7	13	9	26	6	12	6	8	9	31
	ヒビミドロ	2	2	1	1					2	3
	カエトフォラ	1	1	1	1					1	2
	サヤミドロ			1	1					1	1
	ホシミドロ	1	2	1	5	1	3	1	2	1	9
8綱16目39科152種		32科	77種	35科	120種	25科	68種	24科	46種	39科	170種

表 6.2.1-15 分類群別確認科種数一覧:植物プランクトン

# b)重要種の状況

これまでの調査の結果、重要種は確認されていない。

# c)外来種の状況

これまでの調査の結果、外来種は確認されていない。

# (b)動物プランクトン

# a)動物プランクトンの状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、11 綱 16 目 37 科 96 種の動物プランクトンの生息が確認されている。確認された動物プランクトンの分類群毎の集計結果は、表 6.2.1-16 に示すとおりである。

近年に実施した調査においては、動物プランクトンは、単生殖巣綱(輪虫類)の種数が 最も多く、次いで葉脚綱が多く確認されている。

	12 0.2.1-10 /	大只有十刀、	1 4年 中心 1	11±×∧	元・主	カカン		' /			
綱名	目名	Н	15	Н	11	H1	16	Η′	18	台	`計
	日白	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
藍藻	クロオコックス	1	4	1	6	1	3	1	4	1	9
	ネンジュモ	2	4	2	5	2	3	2	3	2	12
紅藻	アクロカエチウム	1	1							1	1
クリプト藻	クリプトモナス	1	2	1	2	1	2	1	2	1	3
渦鞭毛藻	ペリディニウム	2	2	3	4	3	3	2	2	4	7
黄金色藻	オクロモナス	1	1	2	7	2	4	1	2	2	7
珪藻	中心	3	12	4	14	2	11	3	8	4	16
ミドリムシ藻	ミドリムシ	1	2	1	3	1	1			1	3
珪藻	羽状	5	23	5	38	4	20	4	10	5	55
緑藻	オオヒゲマワリ	2	6	2	6	2	6	2	4	2	9
	ヨツメモ	2	2	1	1			1	1	2	2
	クロロコックム	7	13	9	26	6	12	6	8	9	31
	ヒビミドロ	2	2	1	1					2	3
	カエトフォラ	1	1	1	1					1	2
	サヤミドロ			1	1					1	1
	ホシミドロ	1	2	1	5	1	3	1	2	1	9
8綱16	目39科152種	32科	77種	35科	120種	25科	68種	24科	46種	39科	170種

表 6.2.1-16 分類群別確認科種数一覧:動物プランクトン

## b)重要種の状況

これまでの調査の結果、重要種は確認されていない。

#### c)外来種の状況

これまでの調査の結果、外来種は確認されていない。

## 4)植物

これまでに実施されている植物の調査内容を表 6.2.1-17 に示す。

#### (a)植物相

## a)植物相の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、141 科 1042 種の植物種の 生育が確認されている。確認された植物の分類群毎の集計結果は、表 6.2.1-18 に示すと おりである。また、確認種の一覧については資料編に添付した。

調査対象区域のほぼすべては、スギ・ヒノキ植林、コナラ群落やアカマツ群落といった代償植生となっているが、近年の調査において、ヤブツバキクラスの標徴種である常緑広葉樹のアラカシ、シロダモ、ヒサカキ、ヤブツバキ、常緑性シダ類のベニシダ、ヤマイタチシダ、襲速紀(そはやき)要素(小泉源一の造語で九州山地一帯から豊予海峡を経て四国から紀伊半島にかけて分布している植物)であるヤハズアジサイ、モチツツジ等が確認されている。

表 6.2.1-17 調査内容一覧:植物

訓	間査な	丰度	Н6	H11	H16		
訂	間査	番号	3	9	16		
		下流河川	-	-	植物相調査(6 下流河川) 群落組成調査(No.23)		
		流入河川	-	-	植物相調査(7 流入河川) 群落組成調査(No.27)		
	区分	# / HB	植物相調査, 植生分布調査, 群落組成調査(No.1~No.27)	植物相調査, 植生分布調査, 群落組成調査 (No.1~No.27)	植物相調査 (1 スギ-ヒノキ植林,2 コナラ群落,3 アカマツ群落,4 林縁部,5 林縁部-2,8 沢筋,その他) 植生分布調査, 群落組成調査 (No.1 ~ No.22,No.24 ~ No.26)		
	調査数量		ルート:29.2km	Jレート:21.2km	ルート:18.1km		
植物相	調	春季	H6.4.28、6.1~4	H11.5.28~30	H16.5.23 ~ 24		
調査	調査時間	夏季	-	H11.8.13、15	H16.8.6~11		
	期	秋季	H6.10.21 ~ 22、28、 11.3 ~ 4	-	H16.10.11~13、15		
		調査数量	面積:741.89ha	面積:741.25ha	面積:770.46ha		
植生分布	調	春季	H6.4.28、6.24	-	-		
調査	道 時	夏季	-	-	H16.8.9~11		
	期	秋季	-	H11.10.12 ~ 14	-		
		調査数量	27 地点	27 地点	27 地点		
群落組成 調査	調査	夏季	H6.8.22~25	H11.8.10~13、15	H16.8.7~11		
	査時期	秋季	-	-	H16.10.11 ~ 12		

表 6.2.1-18 分類群別確認科種数一覧:植物

	COLOR STANDARD THE SAME OF THE IS											
				米古	Н	6	Ή	11	Ή	16	合	計
	分 類 			科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
高等	植物	]			123	617	128	683	137	845	141	1042
	シケ	が植物	J		18	59	18	74	21	100	21	118
	種子植物			105	558	110	609	116	745	120	924	
		裸子	Z植物	)	5	7	4	6	4	6	5	9
		被子	Z植物	Ŋ	100	551	106	603	112	739	115	915
			双五	<b>子葉植物</b>	87	436	92	464	95	538	96	673
	離弁花類		59	286	63	298	66	342	67	422		
				合弁花類	28	150	29	166	29	196	29	251
	単子葉植物		13	115	14	139	17	201	19	242		

# b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-19 に示すとおり、47 科 90 種である。

表 6.2.1-19 (1) 重要種一覧:植物

N.	刊石	任权(机权)			選定	基準			調査年度		
No.	科名	種名(和名)	1	2	3	4	5	6	H6	H11	H16
1	イワヒバ	イワヒバ									
2	シノブ	シノブ									
3	シシラン	シシラン									
4	チャセンシダ	ホウビシダ						希少			
5		アオガネシダ						希少			
6	オシダ	ミドリカナワラビ					Α	危惧			
7		メヤブソテツ					準				
8		ミヤコヤブソテツ						希少			
9	ヒメシダ	イワハリガネワラビ						希少			
10	ウラボシ	イワヤナギシダ									
11	ニレ	コバノチョウセンエノキ					С				
12	イラクサ	ミヤコミズ				VU	準	注目			
13	キンポウゲ	ハンショウヅル						希少			
14		シロバナハンショウヅル					準	希少			
15		トウゴクサバノオ									
16	ウマノスズクサ	ホソバウマノスズクサ						希少			
17		ミヤコアオイ									
18	モウセンゴケ	モウセンゴケ						希少			
19	アブラナ	コイヌガラシ				NT	С	希少			
20	ユキノシタ	ヤハズアジサイ									
21		チャルメルソウ									
22		タコノアシ				NT	С	危惧			
23		ジンジソウ									
24		ダイモンジソウ						希少			
25	バラ	エドヒガン						不足			
26		ヤマイバラ						希少			
27		ユキヤナギ					準	希少			
28	マメ	ヒメノハギ					Α				
29		イタチササゲ					Α				
30	カタバミ	エゾタチカタバミ						希少			
31	フウロソウ	ヒメフウロ					С				
32	ニシキギ	サワダツ						希少			
33	ブドウ	ヤマブドウ						希少			
34	シナノキ	ヘラノキ					С				
35	ジンチョウゲ	コショウノキ						希少			
36	グミ	ナツグミ						不足			
37	スミレ	ナガバノスミレサイシン						絶寸			
38		アケボノスミレ					Α	絶寸			
39	ウリ	ゴキヅル						希少			
40	ミソハギ	ミズマツバ				VU	С	希少			
41	セリ	カノツメソウ					準	希少			
42	イチヤクソウ	ギンリョウソウ									
43		イチヤクソウ						希少			

表 6.2.1-19(2) 重要種一覧:植物

		衣 0.2.1-	13(2)	主女1	理一頁 選定	· 但 1勿 法基準				調査年度 H6 H11 H16			
No.	科名	種名(和名)	1	2	3	4	5	6			H16		
44	ツツジ	コバノミツバツツジ	<u> </u>						110	1	1110		
45	リンドウ	リンドウ											
46		センブリ											
47	ガガイモ	イケマ						危惧					
48	ムラサキ	サワルリソウ					準	危惧					
49	シソ	カワミドリ						危惧					
50		ミズトラノオ				VU	Α	7615					
51		マネキグサ				NT	準	希少					
52		メハジキ					'	希少					
53		ラショウモンカズラ						希少					
54		イヌゴマ						希少					
55	ゴマノハグサ	コシオガマ						危惧					
56	_ ,,,,,,	オオヒナノウスツボ						絶寸					
57		オオヒキヨモギ				VU	準	危惧					
58	キツネノマゴ	スズムシバナ					A						
59	イワタバコ	イワタバコ											
60	キキョウ	バアソブ				VU	Α	不足					
61	キク	ヌマダイコン						希少					
62		オケラ					С	絶寸					
63	オモダカ	ヘラオモダカ						危惧					
64	ユリ	ショウジョウバカマ											
65		ノカンゾウ						希少					
66		イワギボウシ											
67		ササユリ						希少					
68		コオニユリ											
69		ホトトギス						危惧					
70		ヤマホトトギス						希少					
71	ミズアオイ	ミズアオイ				NT	Α	絶滅					
72	アヤメ	ヒオウギ						危惧					
73	ヒナノシャクジョ ウ	ヒナノシャクジョウ					В	危惧					
74	イネ	コゴメカゼクサ					Α	絶寸					
75		コメガヤ						希少					
76		ウキシバ					С	危惧					
77	ガマ	コガマ					С	希少					
78	カヤツリグサ	ヤブスゲ					Α						
79		シロガヤツリ					Α	希少					
80		コアゼテンツキ					В						
81	ラン	シュンラン						危惧					
82		ツチアケビ						希少					
83		ミヤマウズラ						希少					
84		ムヨウラン						危惧					
85		ジガバチソウ					С	危惧					
86		クモキリソウ											
87		コクラン						希少					
88		オオバノトンボソウ						希少					
89		カヤラン						希少					
90		クモラン						希少					
	47 科	90 種	0種	0種	28 種	9種	31 種	62 種	47 種	26 種	52 種		

## 【選定基準】

- ・1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)
  - 特別 特別天然記念物 天然 天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号) 国内 - 国内希少野生動植物種 国際 - 国際希少野生動植物種 緊急 - 緊急指定種
- ・3:「国立、国定公園特別地区内 指定植物図鑑 南関東・東海・北近畿編 」 (環境庁 1983年)
  - 「室生赤目青山国定公園」において、指定植物に指定されているもの
- ・4:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 植物 I 」(環境省 2007年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧 IA類 EN 絶滅危惧 IB類
  - VU 絶滅危惧II類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・5:「改訂・近畿地方の保護上重要な植物 レッドデータブック近畿2001 」

(レッドデータブック近畿研究会偏 2001年)

絶:絶滅種 A:絶滅危惧種A B:絶滅危惧種B C:絶滅危惧種C

準:準絶滅危惧種

・6:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 植物・昆虫類編~」 (奈良県農林部森林保全課 2008年)

絶滅 - 絶滅種 絶寸 - 絶滅寸前種 危惧 - 絶滅危惧種 希少 - 希少種

不足-情報不足種 注目-注目種 郷土-郷土種

# c)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-20 に示すとおり、33 科 105 種である。

表 6.2.1-20 (1) 外来種一覧:植物

	e 1 -		選定	基準		調査年度		
No.	科名	種名(和名)	1	2	Н6	H11	H16	
1	ミズワラビ	ホウライシダ						
2	イラクサ	ナンバンカラムシ						
3	タデ	シャクチリソバ						
4		ヒメスイバ						
5		アレチギシギシ						
6		ナガバギシギシ						
7		エゾノギシギシ	注意					
8	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ						
9	ザクロソウ	クルマバザクロソウ						
10	ナデシコ	オランダミミナグサ						
11		コハコベ						
12	アカザ	アカザ						
13		アリタソウ						
14	ヒユ	ホソバツルノゲイトウ						
15		ホソアオゲイトウ						
16		ホナガアオゲイトウ						
17	フウチョウソウ	セイヨウフウチョウソウ						
18	アブラナ	オランダガラシ	注意					
19	ベンケイソウ	ツルマンネングサ						
20	マメ	イタチハギ	注意					
21		アレチヌスビトハギ						
22		アメリカヌスビトハギ						
23		コメツブウマゴヤシ	\2_ <del>**</del>					
24		ハリエンジュ	注意					
25		コメツブツメクサ						
26		ムラサキツメクサ						
27	± 5 10° -	シロツメクサ	\2 <del>*</del>					
28	カタバミ	ムラサキカタバミ	注意					
29	トウダイグサ	オッタチカタバミ						
30	トリタイクリ	オオニシキソウ						
31		コニシキソウ						
32		ナンキンハゼ						
33	ニガキ スミレ	シンジュ アメリカスミレサイシン						
35	ウリ	アレチウリ	特定			1		
36								
37	アカバナ	メマツヨイグサ オオマツヨイグサ	注意					
38		マツヨイグサ						
39	キョウチクトウ	ツルニチニチソウ						
40	アカネ	メリケンムグラ						
41	ヒルガオ	アメリカネナシカズラ	注意			1		
42	_,,,,,,	マメアサガオ	, <u></u> / <u></u> \					
43		アサガオ				1		
44	ムラサキ	コンフリー						
45	クマツヅラ	ヤナギハナガサ						
-₹-0	, , , , , ,	121/12/39	i					

表 6.2.1-20 (2) 外来種一覧:植物

		18 0.2.1-20 (2)	選定				
No.	科名	種名(和名)	1	2	H6	調査年度 H11	H16
46	シソ		'		110	1111	1110
47	ナス	アメリカイヌホオズキ					
48	7.7	テリミノイヌホオズキ					
49	フジウツギ	フサフジウツギ					
50	ゴマノハグサ	ツタバウンラン					
51	1 ( ) / ( ) 9	マツバウンラン					
52		タケトアゼナ					
53		アメリカアゼナ					
54		オオカワヂシャ	特定				
55		タチイヌノフグリ					
56		オオイヌノフグリ					
57	オミナエシ	ノヂシャ					
58	キク	ブタクサ	注意				
59		オオブタクサ	注意				
60		オオホウキギク					
61		ヒロハホウキギク					
62		ホウキギク					
63		アメリカセンダングサ	注意				
64		アレチノギク					
65		オオアレチノギク	注意				
66		ベニバナボロギク					
67		アメリカタカサブロウ					
68		ダンドボロギク					
69		ヒメムカシヨモギ	注意				
70		ケナシヒメムカシヨモギ					
71		ハキダメギク					
72		チチコグサモドキ					
73		ウスベニチチコグサ キクイモ	沙辛				
74 75		オオハンゴンソウ	注意				
76		ノボロギク	初足				
77		セイタカアワダチソウ	注意				
78		オニノゲシ	/工心				
79		ヒメジョオン	注意				
80		セイヨウタンポポ	注意				
81		オオオナモミ	注意				
82	トチカガミ	オオカナダモ	注意				
83	ミズアオイ	ホテイアオイ	注意				
84	アヤメ	キショウブ	注意				
85		ニワゼキショウ					
86		ヒメヒオウギズイセン					
87	イグサ	コゴメイ					
88	イネ	コヌカグサ					
89		メリケンカルカヤ	注意				
90		ヒメコバンソウ					
91		イヌムギ	\				
92		カモガヤ	注意				
93		シナダレスズメガヤ	注意				
94		オオニワホコリ					
95		コスズメガヤ	计卒				
96 97		オニウシノケグサネズミムギ	注意				
97		オオクサキビ	注意				
უგ		カカソリヤに					

表 6.2.1-20(3) 外来種一覧:植物

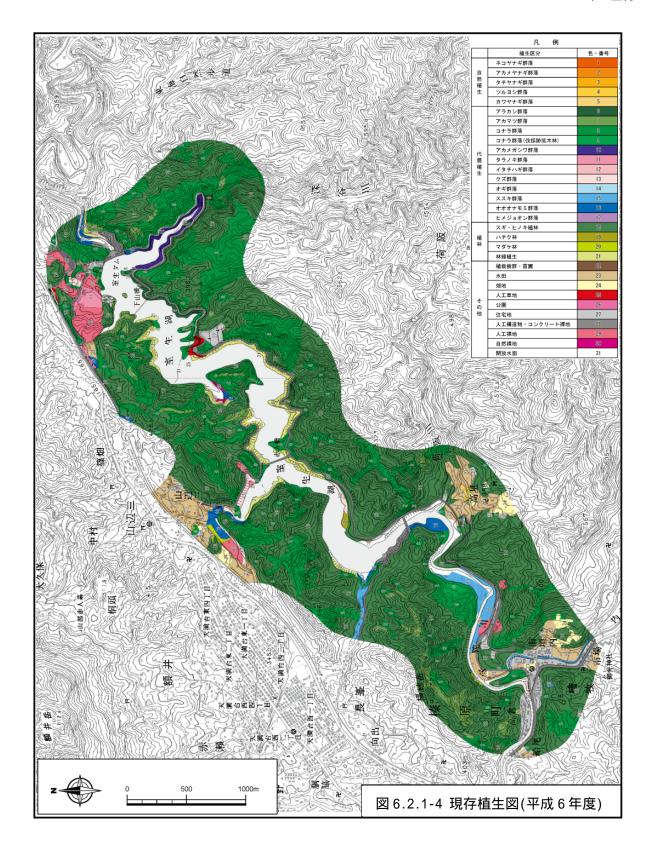
No.	科名	孫夕/和夕)	選定	基準	調査年度			
NO.	171 <b>5</b>	種名(和名)	1	2	H6	H11	H16	
99	イネ	シマスズメノヒエ						
100		キシュウスズメノヒエ	注意					
101		モウソウチク						
102		ナガハグサ						
103		オオスズメノカタビラ						
104		セイバンモロコシ						
105		ナギナタガヤ						
	33 科 105 種		29 種	105 種	53 種	55 種	82 種	

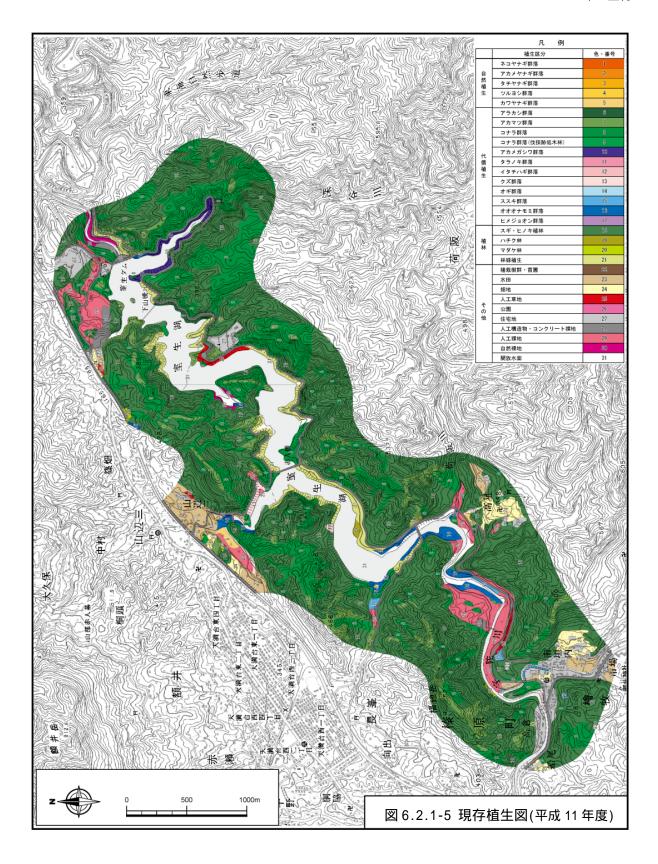
#### 【選定基準】

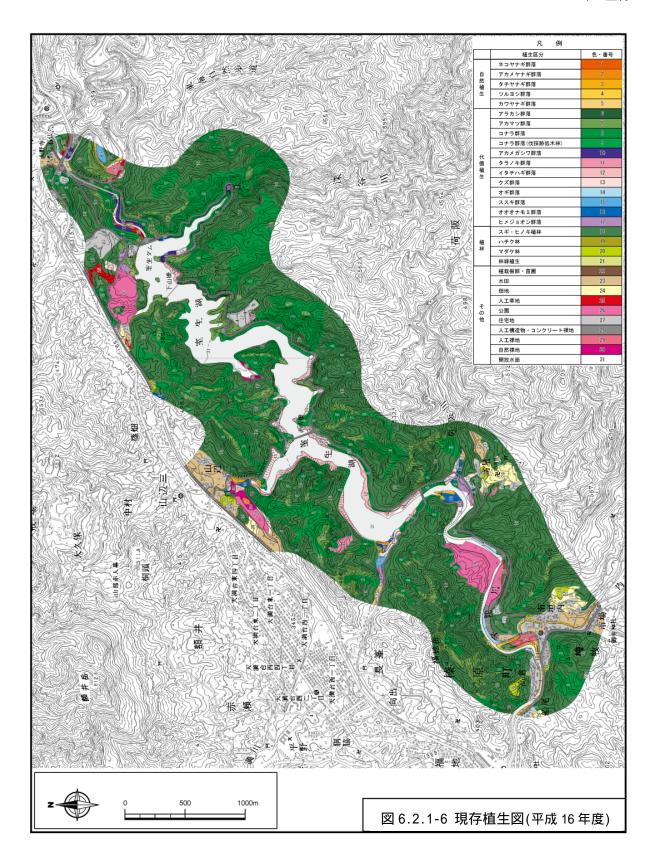
- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年 法律第78号)
  - 特定 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種)
  - 注意 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年)
  - 掲載されている種

## (b)植生分布

室生ダム周辺は、日本の植生体系としてはヤブツバキクラス域に属し、常緑広葉樹林の生育域に該当する。しかし、現況の植生は人為的な影響により、常緑広葉樹林は一部にアラカシ群落が確認できるのみであり、最も広域に分布しているのはスギ・ヒノキ植林である。次いで広域に分布しているのは斜面の中腹を中心に分布しているコナラ群落で、斜面上部や尾根部周辺にはアカマツ群落が分布している。これら3群落で対象範囲全体の約70%を占めている。このほか自然植生としてネコヤナギ群落、アカメヤナギ群落、ツルヨシ群落等が、代償植生としてアカメガシワ群落、タラノキ群落、ススキ群落等がわずかながら分布している。図6.2.1-4~図6.2.1-6に現存植生図を示す。







#### 5)鳥類

これまでに実施されている鳥類の調査内容を表 6.2.1-21 に示す。

#### (a)鳥類の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、16 目 36 科 107 種の鳥類の 生息が確認されている。確認種の一覧は、表 6.2.1-22 に示すとおりである。

近年に実施した調査においては、ダム湖周辺のスギ・ヒノキ植林やコナラ群落ではヒヨドリ、エナガ、ウグイス、ヤマガラ等、アカマツ群落では半島状に突き出た地形のごく狭い林分で、エナガ、ヒヨドリ、シジュウカラ等が確認されている。また、ダム湖内では湖面上空を飛翔する鳥類も含め、カワウ、マガモ、カルガモ、コシアカツバメ等が確認されている。流入河川周辺では、カルガモ、イワツバメ、ホオジロ等、下流河川ではキセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、カワガラス等が確認されており、流入、下流河川沿いには集落や農耕地も広がり、水辺から樹林に至る多様な環境を反映して鳥類相も豊かになっている。

表 6.2.1-21 調査内容一覧: 鳥類

	調査年度			ue.			1140 40
				H5	Н9	H14	H18 • 19
	調査番号			2	6	12	18
		下流		-	-	ラインセンサス(5-1)	スポットセンサス(淀室下 1)
		ダム		定点記録(P1~P3)	定点記録(P1 ~ P3)	定点記録(P-1~P-3)	船上センサス(淀室湖 8)
調査	区分	流入	미川	-	-	ラインセンサス(5-2)	スポットセンサス(淀室入3)
地点				ラインセンサス	ラインセンサス	ラインセンサス+定位記録法 (1,2,3,6)	ラインセンサス+スポットセンサス (淀室周 1 ~ 淀室周 3)
		ダム	湖周辺	(R-1~R-3) 夜間調査、移動中	(R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス(4-1,4-2)	定点センサス(淀室周4,淀室周5)
						夜間調査、移動中	夜間調査、移動中
		調査数	数量	7.2km	7.2km (2回×1日)	3.9km	-
			春季	(2回×1~2日) H5.5.28	(2回×1日) H9.5.8	(2回×2~3日) H14.5.8~10	_
ラインt	センサス	調査時	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.11	H14.6.13~14	-
		一時	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.8	H14.10.8~9	-
		期	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.27	H15.1.28, 30	-
							センサス 2.1km+スポット 9 地点
		調査数	双重	-	-	-	(スポット 1 箇所 10 分)
	センサス	調	春季	-	-	-	H19.5.16 ~ 17
	+ センサス	査時	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23
	•	期	秋季	-	-	-	H18.10.12~13
			冬季	-	-	-	H19.1.30~31
		調査数	数量	-	-	-	9 地点(1 箇所 10 分)
		調	春季	-	-	-	H19.5.16 ~ 17
スポット	センサス	調査時	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23
		期	秋季	-	-	-	H18.10.12~13
			冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数	数量	-	-	1.3km+80 分	-
	じた確認	調	春季	-	-	H14.5.8 ~ 10	-
	.フリス <u>ホ</u> +	直時	夏季	-	-	H14.6.13~14	-
定位記	己録法	期	秋季	-	-	H14.10.8~9	-
			冬季	-	-	H15.1.28、30	-
		調査数	数量	-	-	-	1 箇所 30 分
		調査	春季	-	-	-	H19.5.16
定点セ	ンサス	日時	夏季	-	-	-	H18.6.22
		期	秋季	-	-	-	H18.10.13
			冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数	1	1箇所[30分×3回]	1箇所[30分×3回]	1箇所[30分×3回]	-
<u> </u>		調	春季	H5.5.28 ~ 29	H9.5.7	H14.5.8 ~ 10	-
定位記	己録法	查時	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.12	H14.6.13 ~ 14	-
		期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.9	H14.10.8~9	-
		+D -+ "	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	
		調査数		-	-	-	2人×1日(80~85分)
放八 ∟ ♣→	· > / ++ · 7	調	春季	-	-	-	H19.5.16
加上亿	ンサス	上 監 時 期	夏季	-	-	-	H18.6.22
		期	秋季	-	-	-	H18.10.12
		卸本*	を 参	2   1	2   1	2   1   1	H19.1.30
		調査	春季	2人×1日 H5.5	2人×1日 H9.5.7	2 人×1 日 H14.5.8~10	3 人×1 日(180 分) H19.5.15
瓳	間	調査	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.23
1	9	時	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.10
		期	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	H19.1.29
		調査数		3人×1日	3人×1日	2人×2日	2人×2日
			春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.16~17
移動中	の確認	調査	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.22 ~ 23
		時	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8 ~ 9	H18.10.12 ~ 13
		期	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	H19.1.30 ~ 31
		1			<u> </u>	1	•

表 6.2.1-22(1) 確認種一覧:鳥類

No.	目名	科名	種名(和名)		調査	——— 年度	
NO.	H 1	1715	(本)	H5	Н9	H14	H18 • 19
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ				
2			アカエリカイツブリ				
3	ペリカン	ウ	カワウ				
4	コウノトリ	サギ	ゴイサギ				
5			ササゴイ				
6			アマサギ				
7			ダイサギ				
8			チュウサギ				
9			コサギ				
10			アオサギ				
11	カモ	カモ	オシドリ				
12			マガモ				
13			カルガモ				
14			コガモ				
15			ヒドリガモ				
16			カワアイサ				
17	タカ	タカ	ミサゴ				
18			ハチクマ				
19			トビ				
20			オオタカ				
21			ツミ				
22			ハイタカ				
23			オオノスリ				
24			ノスリ				
25			サシバ				
26			クマタカ				

表 6.2.1-22(2) 確認種一覧:鳥類

No	日夕	科名	番夕(和夕)		調査	年度	
No.	目名	146	種名(和名)	H5	Н9	H14	H18 · 19
27	キジ	キジ	コジュケイ				
28			キジ				
29			ヤマドリ				
30	ツル	クイナ	バン				
31	チドリ	チドリ	コチドリ				
32			イカルチドリ				
33		- 18	ケリ				
34		シギ	キアシシギ				
35			イソシギ				
36			ヤマシギ				
37	1) L	1) L	オオジシギ				
38 39	ハト	ハト	キジバト   アオバト				
	カッコウ	カッコウ	カッコウ				
40	リカション	リカション	ツツドリ				
42			ホトトギス				
43	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク				
44	7707		アオバズク				
45	}		フクロウ				
46	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ				
47	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ				
48	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ				
49			カワセミ				
50	キツツキ	キツツキ	アオゲラ				
51			アカゲラ				
52			オオアカゲラ				
53			コゲラ				
54	スズメ	ツバメ	ツバメ				
55			コシアカツバメ				
56			イワツバメ				
57		セキレイ	キセキレイ				
58			ハクセキレイ				1
59			セグロセキレイ				
60			ビンズイ				
61		サンショウク イ	サンショウクイ				
62		ヒヨドリ	ヒヨドリ				
63		モズ	モズ				1
64		カワガラス	カワガラス				
65		ミソサザイ	ミソサザイ				1
66		イワヒバリ	カヤクグリ				1
67		ツグミ	ルリビタキ				
68			ジョウビタキ				
69			ノビタキ				
70	}		トラツグミ				
71			アカハラ				
72			シロハラ				
73			ツグミ				1

表 6.2.1-22(3) 確認種一覧:鳥類

No	日夕	£\\ <b>4</b> 7	孫夕(和夕)		調査	年度	
No.	目名	科名	種名(和名)	H5	H9	H14	H18 · 19
74	スズメ	ウグイス	ヤブサメ				
75			ウグイス				
76			メボソムシクイ				
77			センダイムシクイ				
78			キクイタダキ				
79		ヒタキ	キビタキ				
80			オオルリ				
81			サメビタキ				
82			エゾビタキ				
83			コサメビタキ				
84		カササギヒタキ	サンコウチョウ				
85		エナガ	エナガ				
86		シジュウカラ	コガラ				
87			ヒガラ				
88			ヤマガラ				
89			シジュウカラ				
90		メジロ	メジロ				
91		ホオジロ	ホオジロ				
92			カシラダカ				
93			ミヤマホオジロ				
94			アオジ				
95			クロジ				
96		アトリ	アトリ				
97			カワラヒワ				
98			マヒワ				
99			ベニマシコ				
100			ウソ				
101			イカル				
102			シメ				
103		ハタオリドリ	スズメ				
104		ムクドリ	ムクドリ				
105		カラス	カケス				
106			ハシボソガラス				
107			ハシブトガラス				
-			カラス属				
		16目36科1	107 種	77 種	75 種	75 種	68 種
	도ク <b>.</b>		<b>州の廷と憲海する可能性がまる</b>				

注)1.種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

# (b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-23 に示すとおり、22 科 53 種である。

表 6.2.1-23(1) 重要種一覧:鳥類

		<del>₹</del> ₹ 0.2.1	-23(1		宝宝基	一見:	ふり大只		 調査	年度	
No.	科名	種名(和名)	1	2	3	<u>∓</u> 4	5	H5	H9	+皮 H14	H18 • 19
1	サギ	ゴイサギ			Ü		注目	110			
2		ササゴイ				準絶	不足				
3		チュウサギ			NT	準絶	不足				
4	カモ	オシドリ			DD	準絶	注目				
5		カワアイサ					希少				
6	タカ	ミサゴ			NT		危惧				
7		ハチクマ			NT	危惧	危惧				
8		オオタカ		国内	NT		希少				
9		ツミ					希少				
10		ハイタカ			NT		希少				
11		ノスリ					希少				
12		サシバ			VU	危惧	危惧				
13		クマタカ		国内	EN	危惧	準絶				
14	チドリ	コチドリ				準絶					
15		イカルチドリ				準絶	希少				
16	シギ	キアシシギ				危惧					
17		イソシギ				準絶	希少				
18		ヤマシギ					希少				
19		オオジシギ			NT						
20	ハト	アオバト				準絶	希少				
21	カッコウ	カッコウ				準絶	希少				
22		ツツドリ				準絶	希少				
23		ホトトギス				準絶					
24	フクロウ	オオコノハズク					危惧				
25		アオバズク				準絶	希少				
26		フクロウ				危惧	希少				
27	ヨタカ	ヨタカ			VU	準絶	危惧				
28	カワセミ	ヤマセミ					希少				
29	キツツキ	アオゲラ				準絶					
30		アカゲラ				準絶	希少				
31		オオアカゲラ				準絶	希少				
32	セキレイ	ビンズイ					希少				
33	サンショウクイ	サンショウクイ			VU		危惧				
34	カワガラス	カワガラス					希少				
35	イワヒバリ	カヤクグリ					危惧				

		衣 6.2.1	-23 (	<u>(</u> 2) <u> </u>	里安性	見	. 馬親				
No.	科名	種名(和名)		į	建定基準	隼			調査	年度	
NO.	1111	11 11 (11 11)	1	2	3	4	5	H5	Н9	H14	H18 · 19
36	ツグミ	ルリビタキ					希少				
37	ウグイス	メボソムシクイ				準絶	希少				
38		センダイムシク イ				準絶	希少				
39		キクイタダキ				準絶	危惧				
40	ヒタキ	キビタキ				準絶	希少				
41		オオルリ				準絶					
42		サメビタキ				準絶	不足				
43		エゾビタキ				準絶					
44		コサメビタキ				準絶	希少				
45	カササギヒタ	サンコウチョウ				準絶	希少				
46	シジュウカラ	コガラ				準絶	希少				
47	ホオジロ	ミヤマホオジロ				準絶	希少				
48		アオジ					準絶				
49		クロジ				準絶	危惧				
50	アトリ	ベニマシコ				準絶					
51		ウソ				準絶					
52		イカル					郷土				
53		シメ				準絶					
	22 科 53	 3種	0種	2種	11 種	35 種	43 種	33 種	31 種	32 種	31 種
【選	定基準】										

表 6.2.1-23 (2) 重要種一覧:鳥類

・1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)

特別 - 特別天然記念物 天然 - 天然記念物

・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)

国内-国内希少野生動植物種 国際-国際希少野生動植物種 緊急-緊急指定種

・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて - 鳥類 - 」(環境省 2006年)

EX - 絶滅 EW - 野生絶滅 CR - 絶滅危惧 IA類 EN - 絶滅危惧 IB類

VU - 絶滅危惧II類 NT - 準絶滅危惧 DD - 情報不足

LP - 絶滅のおそれのある地域個体群

・4:「近畿地区鳥類レッドデータブック 絶滅危惧種判定システムの開発」

(江崎保男・和田 岳編著 2002年)

近畿地方に生息する鳥類のうち、繁殖個体群、越冬個体群、通過個体群に分けて奈良県に おける希少性判定を行ったもの

・5:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 脊椎動物編~」 (奈良県農林部森林保全課 2007年)

絶滅 - 絶滅種 絶寸 - 絶滅寸前種 危惧 - 絶滅危惧種 希少 - 希少種

不足-情報不足種 注目-注目種 郷土-郷土種

## (c)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-24に示すとおり、1科1種である。

表 6.2.1-24 外来種一覧:鳥類

No	科名 種名(和名)		選定基準		調査年度				
	竹石	科名 種名(和名)		2	H5	Н9	H14	H18 • 19	
1	キジ	コジュケイ							
	1科1種		0種	1種	1種	1種	1種	1種	

#### 【選定基準】

- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号) 特定 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種)
  - 注意 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年)
  - 掲載されている種

## 6)両生類・爬虫類・哺乳類

これまでに実施されている両生類・爬虫類・哺乳類の調査内容を表 6.2.1-25 に示す。

#### (a)両生類

## a)両生類の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、2目6科12種の両生類の生息が確認されている。確認種の一覧は、表6.2.1-26に示すとおりである。

近年に実施した調査においては、ダム湖周辺の林内に存在する沢筋では、タゴガエルやニホンヒキガエル等が確認されているが、その他の林床植生環境は乏しく、乾燥しているため確認数は少ない。また、周辺の水田地帯や河川沿いでヌマガエルとツチガエル等が確認されている。一方、流入河川の草地ではトノサマガエルやアマガエル等が確認され、下流河川では河川沿いでトノサマガエルやカジカガエル等が確認されている。

このほか、他項目の調査時には、流入河川の深谷川で国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオが確認されている。

表 6.2.1-25 調査内容一覧:両生類・爬虫類・哺乳類

	調査	年度			H5	H10	H15				
	調査	番号			2	7	14				
		下流	充河,		-	-	5-1 河畔(流出河畔)				
細木		流力	\河,		=	=	5-2 河畔(流入河畔),その他(深谷川))				
地点	調地     写史判       資本     生虫乳       資本     大       大     トラップ法調査       調告     3       大     トラップ法調査	ダム			フィールドサイン・目撃法, トラップ法:地点 1~地点 3	フィールドサイン・目撃法, カメカゴ(No1~No.4) トラップ法(No1~No4) 自動撮影法(No1~No2)	1 スギ-ヒノキ群落,2 コナラ群落, 3 アカマツ群落,4-1 林縁部,4-2 林縁部, 6 沢筋,7-2 その他(荷阪川)				
			調	<b>S数量</b>	ルート延長:22.0km	ルート延長:26.0km	ルート延長:18.5km				
両生類	フィ.	ールド	±⊞	春季	H5.5.28 ~ 29	H10.5.14~16	H15.5.19 ~ 22				
爬虫類	サイ	ン法	調査時	夏季	H5.8.24 ~ 26	H10.8.6~8	H15.8.4~6				
哺乳類	目3	<b>肇法</b>	時	秋季	H5.9.28 ~ 30	H10.10.12~14	H15.10.14~16				
			季	冬季	H6.1.25~26 (哺乳類調査のみ)	H11.1.21~22 (哺乳類調査のみ)	H16.1.20~22 (哺乳類調査のみ)				
			調	<b>監数量</b>	-	-	1 地点(20 個)				
			調	春季	-	-	H15.5.19 ~ 22				
	墜落	<b>落缶</b>	調査	夏季	-	-	-				
			時期	秋季	-	=	H15.10.14~16				
両生類				冬季	-	-	-				
爬田類			調了	<b>監数量</b>	-	3 地点(1 地点 1 個)	4 地点(1 地点 1 個)				
	+ 4	カゴ	諨	春季	-	H10.5.14~15	H15.5.19 ~ 22				
		·カコ ·ラップ)	調査時	夏季	-	H10.8.6~7	-				
		,	時期	秋季	-	-	H15.10.14~16				
			朔	冬季	-	-	-				
								查数量	春 2 地点、 夏・秋・冬 3 地点 (1 地点 20 個)	3 地点(1 地点 30 個)	8 地点(1 地点 30 個)
		トラップ	胼	春季	H5.5.28 ~ 30	H10.5.14~16	H15.5.19~22				
		プス	調査時	夏季	H5.8.24~26	-	-				
		-	時	秋季	H5.9.28 ~ 30	H10.10.12~14	H15.10.14~16				
	ı			冬季	H6.1.25 ~ 27	-	-				
	=		調宜	数量	-	1 地点(5 対)	1地点(春1個、秋9個)				
	้	투표	調	春季	-	-	H15.5.19 ~ 22				
	ノュ	トラップ	調査時期	夏季	-	-	-				
	調	フ ๋	期	秋季	-	H10.10.13~14	H15.10.14~16				
哺乳類	査			令子		-	-				
		+	調査	查数量	夏·秋·冬3地点 (1地点1個)	-	3 地点 1 地点(春 10 個、秋 5 個)				
		カ ゴ 罠	調	春季	H5.5.28~30	-	H15.5.19 ~ 22				
		罠	查	夏季	H5.8.24 ~ 26	-	-				
			調査時期	秋季	H5.9.28~30	-	H15.10.14 ~ 16				
				冬季	H6.1.25 ~ 27	- 12.2	-				
		自	調	数量	-	2 地点	3 地点				
	訓	目動 撮影法	調	春季	-	-	H15.5.19 ~ 22				
		撮影	調査時期	夏季	-	-	-				
		法	期	秋季	-	H10.10.13 ~ 14 H11.1.21 ~ 22	H15.10.14~16				
	ا ح	<b>の他</b>		<u>  २                                   </u>	_	モリアオガエル 補足調査 (H10.6.11) オオサンショウウオ 夜間調査 (H10.8.6~7、10.12、 H11.1.21)	-				

N.	<b></b>	111 67	<b>年夕</b> (和夕)		調査年度	
No.	目名	科名	種名(和名)	H5	H10	H15
1	サンショウウオ	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ			
2		イモリ	イモリ			
3	カエル	ヒキガエル	ニホンヒキガエル			
4		アマガエル	アマガエル			
5		アカガエル	タゴガエル			
6			ヤマアカガエル			
7			トノサマガエル			
8			ヌマガエル			
9			ウシガエル			
10			ツチガエル			
11		アオガエル	シュレーゲルアオガエル			
12			カジカガエル			
		2目6科12種		11 種	10 種	11 種

表 6.2.1-26 確認種一覧:両生類

注)1. :「平成 19 年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その 2)(室生ダム)(魚類調査)」 6月、8月調査時に確認された。

## b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-27 に示すとおり、3 科 3 種である。

No.	科名	種名(和名)		選定		i	調査年度			
NO.	1715	俚句(和句)	1	2	3	4	H5	H10	H15	
1	1 オオサンショウウオ オオサンショウウオ		特別	国際	VU	注目				
2	2 イモリ イモリ				NT					
3 ヒキガエル ニホンヒキガエル					危惧					
	3科3種			1種	2種	2種	2種	2種	3種	

表 6.2.1-27 重要種一覧:両生類

注)1. :オオサンショウウオは、平成 19 年度 魚類調査時に確認されている。 【選定基準】

- ・1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)
  - 特別 特別天然記念物 天然 天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)
  - 国内 国内希少野生動植物種 国際 国際希少野生動植物種
  - 緊急 緊急指定種
- ・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 爬虫類・両生類 」 (環境省 2006年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧 IA類 EN 絶滅危惧 IB類
  - VU 絶滅危惧 II 類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・4:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 脊椎動物編~」 (奈良県農林部森林保全課 2007年)
  - 絶滅 絶滅種 絶寸 絶滅寸前種 危惧 絶滅危惧種 希少 希少種
  - 不足-情報不足種 注目-注目種 郷土-郷土種

## c)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-28 に示すとおり、1 科 1 種である。

表 6.2.1-28 外来種一覧:両生類

No.	科名	名 種名(和名)	選定	基準		調査年度	
NO.	1111	作里口(作中口)	1	2	H5	H10	H15
1	カエル	ウシガエル	特定				
	1科1種		1種	1種	1種	1種	1種

#### 【選定基準】

- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年 法律第78号) 特定 - 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種)
  - 注意 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年)
  - 掲載されている種

### (b)爬虫類

#### a) 爬虫類の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、2 目 5 科 12 種の爬虫類の 生息が確認されている。確認種の一覧は、表 6.2.1-29 に示すとおりである。

近年に実施した調査においては、ダム湖周辺の林内に存在する沢筋では、ミシシッピアカミミガメ、イシガメ等、林縁部の草本群落ではトカゲ、カナヘビ等が確認されているが、その他の林床植生環境は乏しく、乾燥しているため確認数は少ない。また、林縁の路上ではシマヘビ、アオダイショウ等が確認されている。 一方、流入河川では確認個体数は少ないがクサガメやカナヘビ等が確認されている。

NI-		1167	年春 (IDA)		調査年度	
No.	目名	科名	種名(和名)	H5	H10	H15
1	カメ	イシガメ	クサガメ			
2			ミシシッピアカミミガメ			
3			イシガメ			
4	トカゲ	トカゲ	トカゲ			
5		カナヘビ	カナヘビ			
6		ヘビ	シマヘビ			
7			ジムグリ			
8			アオダイショウ			
9			シロマダラ			
10			ヒバカリ			
11			ヤマカガシ			
12		クサリヘビ	マムシ			
		2目5和	斗 12 種	12 種	10 種	10 種

表 6.2.1-29 確認種一覧: 爬虫類

## b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-30 に示すとおり、3 科 7 種である。

	状 0.2.1 00 主女住 克·八五叔											
	科名	種名(和名)		選定	基準			調査年度				
	1111	1里口(14口)	1	2	3	4	H5	H10	H15			
1	イシガメ	イシガメ			DD	危惧						
2	ヘビ	ジムグリ				不足						
3		アオダイショウ				希少						
4		シロマダラ				不足						
5		ヒバカリ				不足						
6		ヤマカガシ				希少						
7	クサリヘビ	マムシ				希少						
	3科7種			0種	1種	7種	7種	5種	5種			

表 6.2.1-30 重要種一覧:爬虫類

## 【選定基準】

- ・1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)
  - 特別 特別天然記念物 天然 天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号) 国内 - 国内希少野生動植物種 国際 - 国際希少野生動植物種

緊急 - 緊急指定種

- ・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 爬虫類・両生類 」 (環境省 2006年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧IA類 EN 絶滅危惧IB類
  - VU 絶滅危惧II類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・4:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 脊椎動物編~」 (奈良県農林部森林保全課 2007年)
  - 絶滅 絶滅種 絶寸 絶滅寸前種 危惧 絶滅危惧種 希少 希少種

不足 - 情報不足種 注目 - 注目種 郷土 - 郷土種

## c)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-31 に示すとおり、1 科 1 種である。

表 6.2.1-31 外来種一覧:爬虫類

No. 科·	科名	種名(和名)	選定基準 調査年	調査年度	度		
NO.	141	(14日)	1	2	H5	H10	H15
1	イシガメ	ミシシッピアカミミガメ					
	1科1種		0種	1種	1種	1種	1種

#### 【選定基準】

- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年 法律第78号) 特定 - 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種) 注意 - 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年) - 掲載されている種

### (c)哺乳類

#### a)哺乳類の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、7 目 11 科 20 種の哺乳類の生息が確認されている。確認種の一覧は、表 6.2.1-32 に示すとおりである。

近年に実施した調査においては、ダム湖周辺の林内ではシカやノウサギ、ニホンリス、タヌキ、イノシシ等の足跡、糞、食痕、掘り返し等が多く確認されている。また林縁部の道路上はフィールドサインが確認されやすいため、テンの糞や、草本群落ではシカ、ノウサギの食痕等が確認されている。一方、流入河川の河川敷砂地では、モグラ属の坑道が多数あり、コウベモグラが捕獲されている。また、水際の泥地ではタヌキやホンドジカ等の足跡が多く確認され、下流河川では河川沿い等でシカの食痕が多く確認されている。その他、高星地区の神社でムササビ、島谷導水路内でモモジロコウモリ、テングコウモリ、ユビナガコウモリ等も確認されている。

表 6.2.1-32 確認種一覧:哺乳類

No.	目名	科名	種名(和名)		調査年度	
NO.	日日	1111	作業日(作4日)	H5	H10	H15
1	モグラ	モグラ	ヒミズ			
2			コウベモグラ			
-			モグラ属			
3	コウモリ	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ			
4		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ			
5			ユビナガコウモリ			
6			テングコウモリ			
-			ヒナコウモリ科			
7	サル	オナガザル	ニホンザル			
8	ウサギ	ウサギ	ノウサギ			
9	ネズミ	リス	ニホンリス			
10			ムササビ			
11		ネズミ	アカネズミ			
12			ヒメネズミ			
13			カヤネズミ			
-			ネズミ科			
14	ネコ	イヌ	タヌキ			
15			キツネ			
16		イタチ	テン			
17			イタチ属			
18			アナグマ			
19	ウシ	イノシシ	イノシシ			
20		シカ	ホンドジカ			
		7目11科20月		11 種	17種	18種

注)1. 種名に「・・・属」「・・・科」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

## b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-33 に示すとおり、3 科 5 種である。

表 6.2.1-33 重要種一覧:哺乳類

No.	科名	徒女/和女\		選定	基準		È	調査年度	
NO.	171 <u>1</u>	種名(和名)	1	2	3	4	H5	H10	H15
1	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ				希少			
2	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ				希少			
3		ユビナガコウモリ				希少			
4		テングコウモリ			VU	危惧			
5	5 ネズミ カヤネズミ					希少			
	3科5種			0種	1種	5種	0種	4種	4種

#### 【選定基準】

- ・1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)
  - 特別 特別天然記念物 天然 天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)

国内 - 国内希少野生動植物種 国際 - 国際希少野生動植物種

緊急 - 緊急指定種

- ・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 哺乳類 」(環境省 2007年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧 IA類 EN 絶滅危惧 IB類
  - VU 絶滅危惧II類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・4:「大切にしたい奈良県の野生動植物 ~ 奈良県版レッドデータブック 脊椎動物編~」 (奈良県農林部森林保全課 2007年)

絶滅 - 絶滅種 絶寸 - 絶滅寸前種 危惧 - 絶滅危惧種 希少 - 希少種不足 - 情報不足種 注目 - 注目種 郷土 - 郷土種

## c)外来種の状況

これまでの調査の結果、外来種は確認されていない。

か範囲全域を対象とした調査

を毎回実施

## 7)陸上昆虫類等

これまでに実施されている陸上昆虫類等の調査内容を表 6.2.1-34 に示す。

#### (a)陸上昆虫類等の状況

これまでの調査の結果、室生ダム及びその周辺においては、24 目 406 科 2858 種の陸上昆虫類等の生息が確認されている。確認された陸上昆虫類等の分類群毎の集計結果は表 6.2.1-35 に示すとおりである。また、確認種の一覧については資料編に添付した。

近年に実施した調査においては、ダム湖周辺は樹林環境が多く、ヒロオビウスグロアツバやノコギリクワガタ等、樹林性のガ類やコウチュウ目が多く確認され、河川沿いやダム湖沿いに分布する草地ではショウリョウバッタ、ヒゲシロスズ、ツマグロオオヨコバイ、セアカゴミムシ等の草地性のカメムシ目やバッタ目等が確認されている。また、流入河川や下流河川では幼虫期を水中で過ごすカゲロウ目やトビケラ目が多く確認されたほか、トンボ目のオナガサナエ等水域環境に強く依存する種も確認されている。

調査年度 Н6 H10 H15 調査番号 3 7 13 下流河川 5-1 河畔(流出河畔) 流入河川 5-2 河畔(流入河畔) 1スギ-ヒノキ群落、 調査地点 区分 2コナラ群落、 任意採集(R-1~R-3) 任意採集(R-1~R-3) ダム湖周辺 3アカマツ群落. トラップ(B-1~B4,L-1~L-3) トラップ(B-1~B4,L-1~L-3) 4-1 林縁部, 4-2 林縁部, 6 沢筋, その他(荷阪川) 調査数量 3ルート 3ルート 8ルート 春季 H6.5.25 H10.5.11 ~ 14 H15.5.19 ~ 22 任意採集 調査時期 夏季 H6.7.15  $H10.7.28 \sim 31$  $H15.7.28 \sim 31$ H10.10.6~9 秋季 H6.10.6  $H15.10.7 \sim 9$ 4 地点 3 地点 8 地点 調査数量 (ビニールコップ 120 個) (ビニールコップ 90 個) (ビニールコップ 240 個) ピットフォール 春季  $H6.5.22 \sim 25$ H10.5.11 ~ 14 H15.5.19 ~ 22 トラップ 調查時期 夏季  $H6.7.14 \sim 17$  $H10.7.28 \sim 31$  $H15.7.28 \sim 31$ 秋季  $H6.10.5 \sim 8$  $H10.10.6 \sim 9$ H15.10.6~9 3地点 8地点 調查数量 3 地点(ボックス法 3 個) (カーテン法3個、 (カーテン法夏のみ1個、 ボックス法3個) ボックス法8個) ライトトラップ 春季  $H6.5.22 \sim 24$ H10.5.11~14 H15.5.19~22 調査時期 夏季  $H10.7.28 \sim 31$  $H15.7.28 \sim 31$  $H6.7.14 \sim 16$ 秋季  $H6.10.5 \sim 7$  $H10.10.6 \sim 9$  $H15.10.6 \sim 9$ ゲンジボタル補足調査 ライトトラップ(カーテン法) H10.6.11 ~ 12 け夏季調査のみ1地占宝施 その他 任意採集は既定8ルートのほ

表 6.2.1-34 調査内容一覧: 陸上昆虫類等

表 6.2.1-35 分類群別確認科種数一覧:陸上昆虫類

目名	H	6	H1	10	H1	15	合計		
日白	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
クモ	26	126	20	121	26	144	31	240	
トビムシ	5	7	7	9	9	11	10	17	
カマアシムシ	1	1					1	1	
コムシ	1	1					1	1	
イシノミ	1	1			1	2	1	2	
カゲロウ	5	7	6	7	7	11	9	16	
トンボ	5	16	9	22	7	24	9	30	
ゴキブリ	2	2	3	3	2	2	3	3	
カマキリ	1	2	2	4	1	2	2	5	
シロアリ			1	1	1	1	1	1	
ハサミムシ	1	1	2	2	3	3	3	4	
カワゲラ	2	5	3	3	4	5	6	10	
バッタ	8	38	8	40	10	60	11	77	
ナナフシ			1	1	1	2	1	2	
チャタテムシ			1	1	8	12	8	12	
カメムシ	32	148	36	136	39	178	45	287	
アザミウマ			1	1	2	2	3	3	
アミメカゲロウ	8	15	5	7	8	12	11	25	
シリアゲムシ	1	1	1	2	2	3	2	3	
トビケラ	16	27	14	20	20	27	21	37	
チョウ	39	397	38	376	50	507	59	819	
八工	39	130	47	165	46	113	60	273	
コウチュウ	42	323	46	288	62	483	65	771	
ハチ	18	99	21	110	42	125	43	219	
24目 406科 2858種	253 科	1347 種	272 科	1319 種	351 科	1729 種	406 科	2858 種	

# (b)重要種の状況

これまでの調査により確認された重要種は、表 6.2.1-36 に示すとおり、25 科 30 種である。

表 6.2.1-36 重要種一覧:陸上昆虫類

No.	科名	種名(和名)		選定	基準	調査年度			
NO.	171 <u>1</u>	性石(和石)	1	2	3	4	Н6	H10	H15
1	ミズグモ	ミズグモ			VU				
2	サナエトンボ	オグマサナエ			VU				
3	ムカシヤンマ	ムカシヤンマ				希少			
4	トンボ	ネキトンボ				希少			
5	コオロギ	カワラスズ				不足			
6	バッタ	カワラバッタ				希少			
7		ダイリフキバッタ				希少			
8	ハナカメムシ	ズイムシハナカメムシ			VU				
9	コオイムシ	コオイムシ			NT	希少			
10	シリアゲムシ	プライヤシリアゲ				注目			
11	アシエダトビケラ	コバントビケラ				希少			
12	フトヒゲトビケラ	フタスジキソトビケラ				希少			
13	クロツツトビケラ	クロツツトビケラ				希少			
14	シジミチョウ	シルビアシジミ本土亜種			CR+EN	絶寸			
15	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン			NT	希少			
16		オオウラギンスジヒョウモン				希少			
17		メスグロヒョウモン				希少			
18		クモガタヒョウモン				希少			
19	ヤガ	シロシタバ				希少			
20	オサムシ	アオヘリアオゴミムシ			CR+EN				
21		スナハラゴミムシ			NT				
22	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ			NT	危惧			
23	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズムシ			NT				
24	シデムシ	ヤマトモンシデムシ			NT				
25	センチコガネ	オオセンチコガネ				郷土			
26	コガネムシ	マルエンマコガネ				危惧			
27	タマムシ	ヤマトタマムシ				郷土			
28	ホタル	ゲンジボタル				郷土			
29	カミキリムシ	ヨツボシカミキリ			VU				
30	ベッコウバチ	アケボノベッコウ			DD				
	25 री	科 30 種	0種	0種	13 種	21 種	15 種	11 種	14 種

#### 【選定基準】

- ・1:「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)
  - 特別 特別天然記念物 天然 天然記念物
- ・2:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律第75号)
  - 国内 国内希少野生動植物種 国際 国際希少野生動植物種
  - 緊急 緊急指定種
- ・3:「環境省報道発表資料 レッドリストの見直しについて 昆虫類 」
  - (環境省 2007年)
  - EX 絶滅 EW 野生絶滅 CR 絶滅危惧 IA類 EN 絶滅危惧 IB類
  - VU 絶滅危惧 II 類 NT 準絶滅危惧 DD 情報不足
  - LP 絶滅のおそれのある地域個体群
- ・4:「大切にしたい奈良県の野生動植物
  - ~ 奈良県版レッドデータブック 植物・昆虫類編~」

(奈良県農林部森林保全課 2008年)

絶滅 - 絶滅種 絶寸 - 絶滅寸前種 危惧 - 絶滅危惧種 希少 - 希少種

不足-情報不足種 注目-注目種 郷土-郷土種

# (c)外来種の状況

これまでの調査により確認された外来種は、表 6.2.1-37 に示すとおり、20 科 23 種である。

表 6.2.1-37 外来種一覧:陸上昆虫類

No.	科名	種々(和々)	選定	基準	調査年度			
NO.	171 <u>1</u>	種名(和名)	1	2	H6	H10	H15	
1	コオロギ	カンタン						
2	ヒロズコガ	コクガ						
3	ハマキガ	ナシヒメシンクイ						
4	シロチョウ	モンシロチョウ						
5	ツトガ	シバツトガ						
6	メイガ	チャマダラメイガ						
7	チョウバエ	ホシチョウバエ						
8	ニセケバエ	ナガサキニセケバエ						
9	ショウジョウバエ	キイロショウジョウバエ						
10	コガネムシ	シロテンハナムグリ						
11	シバンムシ	タバコシバンムシ						
12	ナガシンクイムシ	ケヤキヒラタキクイムシ						
13	テントウムシ	クモガタテントウ						
14	キスイムシ	ウスバキスイ						
15	ケシキスイ	ウスチャデオキスイ						
16		クリイロデオキスイ						
17	ホソヒラタムシ	フタトゲホソヒラタムシ						
18	ゴミムシダマシ	ヒメゴミムシダマシ						
19	カミキリムシ	ツシマムナクボカミキリ						
20		ラミーカミキリ						
21	ハムシ	アズキマメゾウムシ						
22		ブタクサハムシ						
23	ゾウムシ	イネミズゾウムシ						
	20 科		0種	23 種	8種	11 種	13 種	

#### 【選定基準】

- ・1:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号) 特定 - 特定外来生物(第一次選定種・第二次選定種・第三次選定種)
  - 注意 要注意外来生物
- ・2:「外来種ハンドブック」(日本生態学会編 2003年)
  - 掲載されている種

## 6.3. 生物の生息・生育状況の変化の検証

ダムによる生物への影響について検証するため、これまで実施されてきた調査の結果を比較し、生物の生息・生育状況の変化を把握した。また、変化の把握にあたっては、種相の変化に着目するとともに、個体数の変化が把握できるものについては、一定の傾向を把握するために、その増減の推移の状況を把握した。ただし、調査は各実施年度によって、調査時期や調査地点数、調査手法等が異なり、単純に各調査年度で確認された種数・個体数の増減を比較することは困難な状況にあった。そのため、努力量が一定となるように留意し、比較を行った。

なお、比較に際しては、経年変化とともに調査地域をダム湖内、流入河川、下流河川及び ダム湖周辺の4つの区域に区分し、区域ごとの特徴の把握に努めた。

各区域における調査対象生物は表 6.3-1、調査地域の区分は図 6.3-1 に示すとおりである。

区域対象項目ダム湖内魚介類、底生動物、動植物プランクトン、鳥類<br/>魚介類、底生動物、動植物プランクトン、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等下流河川魚介類、底生動物、動植物プランクトン、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等ダム湖周辺植物、鳥類、哺乳類、爬虫類、両生類、陸上昆虫類等

表 6.3-1 各区域における調査対象生物



## 6.3.1. ダム湖内における変化の検証

#### (1)生物の生息・生育状況の変化の把握

#### 1)魚介類

## (a) 魚類

魚類の調査は、これまでに計 5 回実施されている。しかし、各調査年度ともに、実施した調査地点数や調査回数が異なっている。そのため、魚類の変化の整理にあたっては、調査地点数及び調査回数を考慮に入れて、1 地点/調査回あたりの確認個体数を算出し、比較することとした。

各調査年度におけるダム湖内の調査地点数、及び調査回数は表 6.3.1-1 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.3.1-2 に示すとおりであり、経年とともに調査手法に若干の違いがみられている。

また、調査実施時におけるダム湖内の水位を、図 6.3.1-1~図 6.3.1-5 に示す。調査実施時の貯水位は概ね 290m前後であり、平成 13 年度は他の年に比べ夏季の貯水位が低かった。

調査年度 調査年度 数量 Н5 H4 H13 H19 Н8 調査地点数 5 3 4 7 5 調査回数 1 調査時期 8月・10月 9月 7月・10月 8月・10月 6月・8月

表 6.3.1-1 調査実施状況一覧: 魚類

# 表 6.3.1-2 調査内容一覧: 魚介類

	調査地区 調査内容															
区分	区分 H4 H5			H8		H13	Н	119	H4	H5	H8	H13	H19			
調査番号		1		2		5		11	1	19	1	2	5	11	20	
下流河川					No.1	下流河川 (宇陀川)	St.1	下流河川	淀室下 1	ダムサイト 直下	-	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 80 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 150 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本、潜水観察 0.5h	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h, 定置網 2 統、 セルびん 4 個、どう2 個、 カゴ網 2 個、潜水観察 2h	
	St.2	湖心	St.3	湖底の 平らな部分	No.2	湖内湾入部	St.2	湖肢	淀室湖 2	湖岸部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(18mm)中層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 セルびん 10 個、はえなわ 4 本、 カニカゴ 4 個、どう 4 個	刺網(15mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 セルびん 2 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個	
									淀室湖 3	宇陀川 流入部	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個	
							St.9	河川 流入部	淀室湖 6	深谷川 流入部	-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚·中層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 1 枚、 投網(12mm)10 回·(18mm)20 回、 タモ網 140 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回·(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m·中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個	
ダム 湖	St.3	天満川 流入部	St.2 (1)	天満川 流入部	No.3	河川流入点 (天満川)	St.3	河川 流入部	淀室湖 7		刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 投網(12mm)20 回・(18mm)15 回、 タモ網 120 分、セルびん 15 個、 はえなり 4 本、カニカゴ 8 個、 どう4 個	刺網(15mm)表層 1 枚·中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 2 枚、 投網(12mm)20 回·(18mm)10 回、 タモ網 110 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本	投網(12mm)10 回 · (18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m · 中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個	
AЯ	St.4	宇陀川流入部	St.1(1) St.1(2)	流入部	No.5	河川流入点 (宇陀川)	St.5	ダム湖内			刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m· 刺網(50mm)底層 90m, タモ網 60 分、セルビン 9 個。 はえなわ 12 本 カニカゴ 2 個 投網:(12mm)10 回・(18mm)10 回。 潜水 30 分	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表層 180m、 投網(12mm)17 回・(18mm)18 回、 タモ網 120 分、セルびん 16 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 3 枚、刺網(50mm)表層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚、 タモ網 20 分		
	St.1-1	ダムサイト									刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	-	-		-	
	St.1-2	ダムサイト (船着場)									モンドリ、目視	-	-	-	-	
		(1311-11-20)					St.7	最深部			-	-	-	刺網(15mm)表層 2 枚·中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 1 枚	-	
							St.8	河川流入部			-	-		刺網(15mm)表層 1 枚、底層 1 枚 刺網(50mm)表層 2 枚、 投網(12mm)15 回 (18mm)25 回、 タモ網 90 分、セルびん 4 個、 はえなわ 1 本		
							St.10	流入河川	淀室入 1	流入河川 深谷川	-	-	-	投網(18mm)21 回、タモ網 75 分、 セルびん 4 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h	
流入 河川	St.6	流入河川	St.2 (2)	天満川 流入部	No.4	流入河川 (天満川)	St.4	流入河川	淀室入 2	流入河川 天満川	投網(12mm)3 回	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 60 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 70 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回 · (18mm)2 回、 タモ網 105 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h	
	St.5	宇陀川 (高倉橋 付近)			No.6	流入河川 (宇陀川)	St.6	流入河川	淀室入3	流入河川 宇陀川	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回 タモ網	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 60 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)25 回 · (18mm)26 回、 タモ網 120 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本、潜水観察 20 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h	
その 他									淀室他 1	水質保全ダ ム 湛水域	-	-	-	-	投網(12mm)10 回 · (18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m · 中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個	
		-		-		-		-	初!	夏季	-	-	-	-	H19.6.5 ~ 9	
時期		夏季		-		夏季		夏季	夏	[季	H4.8.12 ~ 14	-	H8.7.23 ~ 24, 29 ~ 30	H13.7.31、8.1~6	H19.8.27 ~ 29	
		秋季	1	秋季		秋季	1	秋季		-	H4.10.12 ~ 14	H5.9.20 ~ 22	H8.10.16 ~ 18	H13.10.23 ~ 31	_	

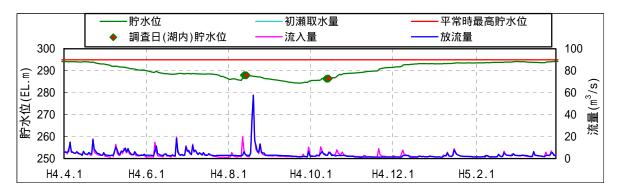


図 6.3.1-1 調査実施時の流況(平成 4年度)

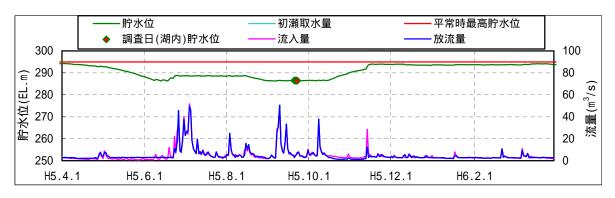


図 6.3.1-2 調査実施時の流況(平成 5年度)

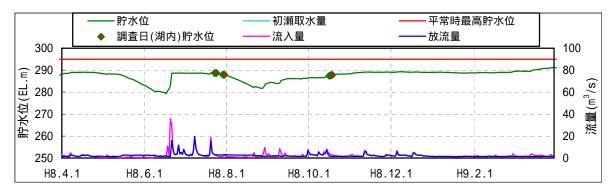


図 6.3.1-3 調査実施時の流況(平成 8 年度)

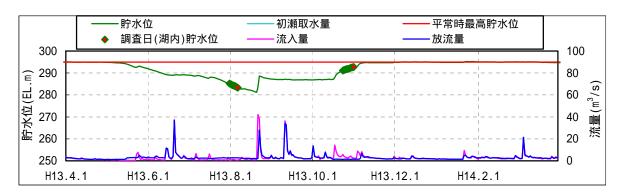


図 6.3.1-4 調査実施時の流況(平成 13年度)

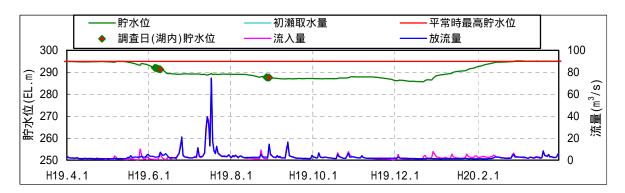


図 6.3.1-5 調査実施時の流況(平成 19 年度)

#### a) 魚類相の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された魚類の一覧は 表 6.3.1-3、またその推移は図 6.3.1-6~図 6.3.1-8に示すとおりである。なお、魚類相の変化にあたっては、目視確認による個体数は、不明瞭な点が大きいことから("+(1 個体未満/100m²)"や"++++(1000 個体程度以上/100m²)"と記載してある)、目視確認による個体を除外して整理することとした。

ダム湖内の魚類については、ゲンゴロウブナやギンブナ、ブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)等の主に止水環境を好む種が大半を占めており、このほかオイカワやカワムツ、ギギ、ナマズといった河川中流や緩やかな流れを好む種が確認されている。また、確認種数については、経年とともに増加する傾向がみられ、平成4年度から平成19年度にかけては、約2.5倍となっている。

個体数については、平成 5 年度は個体数が非常に多い状況にあったが、その他の調査年度は概ね 50~100 個体で推移している。なお、平成 5 年度に多く確認されているのはオイカワである。また、優占種の推移についてみると、平成 4 年度では 60%以上を占めていたギンブナが経年とともに減少傾向にある。また、平成 5 年度ではオイカワが多くなる傾向はあるが、以降は概ね 20%程度で推移している。また、トウヨシノボリやカワムツといった種が増加することはあるが、これらの種の増加は一時的なものとなっており、平成 13 年度から平成 19 年度にかけては、ウキゴリ、ブルーギルが急激に増加する傾向がみられている。

このほか、平成20年2月には、アユの再生産についての基礎情報を得ることを目的として、ダムサイト付近、天満川流入地点付近、宇陀川流入地点付近(水質保全ダム直上を含む)の3地点において、捕獲調査が実施されている。その結果、ダムサイト付近で1個体、天満川流入地点付近で58個体(目視を含めると158個体以上)のアユの仔魚が確認され、室生ダムにおいてはアユが再生していることが明らかとなったが、宇陀川流入地点及び水質保全ダム直上では仔アユは確認されていない。なお、宇陀川漁業協同組合からの聞き取り調査によると、琵琶湖産のアユを放流しているとのことである。

表 6.3.1-3 経年確認種一覧: 魚類

	<b>45.4</b>				2· ////		調査年度		
No.	綱名	目名	科名	種名(和名)	H4	H5	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	コイ	コイ	コイ	0.6	1.0	0.6	0.3	0.9
2				ゲンゴロウブナ	0.5		0.6	1.2	0.3
3				ギンブナ	30.0	30.0	14.8	0.8	4.6
4				ニゴロブナ				0.1	
5				オオキンブナ					0.3
-				フナ属			1.0		1.2
6				ワタカ			0.1		
7				ハス			0.8	0.9	0.5
8				オイカワ	9.8	84.7	17.5	12.4	10.5
9				カワムツ		2.3	6.1	19.2	0.5
10				モツゴ			0.1	0.1	0.1
11				タモロコ			0.1		1.0
12				ホンモロコ		32.0	3.1	1.1	0.1
13				カマツカ			2.6	1.1	0.5
14				コウライニゴイ					5.9
15				ニゴイ	0.6	13.7	5.1	2.9	
-				ニゴイ属					4.5
16				スゴモロコ	1.4	20.3			0.6
17				コウライモロコ			10.4	8.7	10.4
-				スゴモロコ属			8.8		0.4
18			ドジョウ	ドジョウ					0.6
19		ナマズ	ナマズ	ナマズ	0.2	2.0	1.0	0.2	0.6
20			ギギ	ギギ	0.4	2.3	0.4	1.9	1.3
21		サケ	サケ	アマゴ				0.1	
22			アユ	アユ		3.3	0.5	3.9	1.0
23		ダツ	メダカ	メダカ					0.3
24		タウナギ	タウナギ	タウナギ				0.1	0.1
25		スズキ	ハゼ	スミウキゴリ					0.3
26				ウキゴリ		0.3	0.5	2.1	13.3
27				トウヨシノボリ		22.7	23.6	4.7	1.6
28				カワヨシノボリ				2.1	
-				ヨシノボリ属	2.2				0.2
29				ヌマチチブ				3.2	4.6
30			サンフィッシュ	ブルーギル	2.5	1.3	0.5	0.4	9.2
31				オオクチバス	1.2	3.0	2.0	1.4	0.4
			11 種	14 種	20 種	23 種	26 種		
		1	綱6目10科31種	49.4	219.0	100.3	69.1	75.8	
	++ ~ **		··□*□++ 12 o /		個体	個体	個体	個体	個体

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

<sup>2.</sup>種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

<sup>3.</sup>平成20年2月に実施されている仔アユ調査の結果は含んでいない。

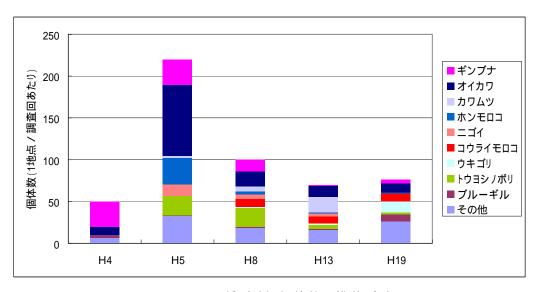


図 6.3.1-6 種別確認個体数の推移: 魚類

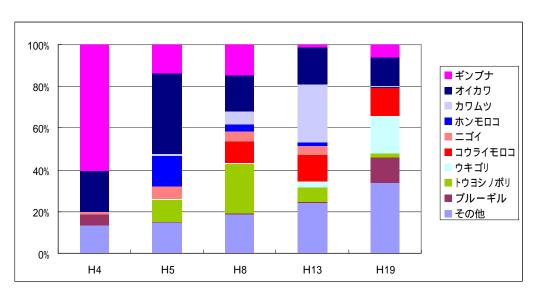


図 6.3.1-7 種別確認割合の推移: 魚類

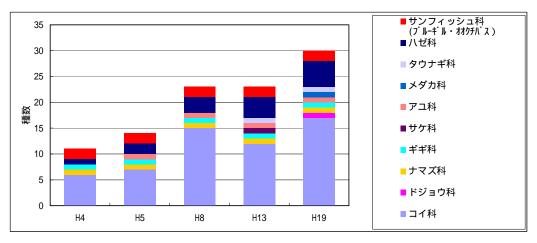


図 6.3.1-8 確認種数の推移: 魚類

#### b)ダム湖を主な生息環境とする魚類の変化の整理

ダム湖内を主な生息環境とする魚類の変化については、魚類相の変化の整理と同様に、 目視確認による個体数は不明瞭な点が大きいことから、目視確認による個体を除外して 整理することとした。また、ダム湖を主な生息場所とする種の変化は、ダム湖内及び流 入河川において生息が確認された種のうち、そのほとんど(90%以上)がダム湖内で確認され、かつ、回遊魚以外の種について整理を行った。

ダム湖内を主な生息場所とする種の一覧は表6.3.1-4、またその推移は図6.3.1-9~図6.3.1-11 に示すとおりである。

ダム湖内を主な生息場所とする種は、ゲンゴロウブナやギンブナ等のフナ属や、ホンモロコ、ニゴイ等のコイ科に属する種が多くを占めているほか、ナマズ、ブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)が継続的に確認されている。また、経年的な種数の変化は、平成4年度から平成8年度にかけて増加する傾向にあり、以降は横ばいの状態となっている。なお、調査開始から継続的に確認されているのは、ギンブナ、ナマズ、ブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)、及びニゴイ類の5種である。

個体数については、調査年度によって変動があり、平成4年度から平成5年度にかけては増加し、以降平成13年度までは減少している。この増減の要因は、主にギンブナ、ホンモロコ、ニゴイの個体数変動に拠る。また、平成13年度から平成19年度にかけては、増加に転じており、コウライニゴイや、ブルーギル等が増加傾向にある。

No	綱名	目名	科名	種名(和名)			調査年度		
		ни	11 🗀		H4	H5	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ	0.5		0.6	1.2	0.3
2				ギンブナ	30.0	30.0	14.8	0.8	4.6
3				ニゴロブナ				0.1	
-				フナ属			1.0		1.2
4				ワタカ			0.1		
5				ホンモロコ		32.0	3.1	1.1	0.1
6				コウライニゴイ					5.9
7				ニゴイ	0.6	13.7	5.1	2.9	
-				ニゴイ属					4.5
8				スゴモロコ属			8.8		0.4
9		ナマズ	ナマズ	ナマズ	0.2	2.0	1.0	0.2	0.6
10			サンフィッ シュ	ブルーギル	2.5	1.3	0.5	0.4	9.2
11				オオクチバス	1.2	3.0	2.0	1.4	0.4
					6種	6種	9種	8種	9種
	1 綱 2 目 3 科 11 種				35.0	82.0	37.0	8.2	27.2
	<del></del> 1 - 1/2 - 1		<del></del>	- 15 11 11 1 - 5	個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.1-4 経年確認種一覧:ダム湖内主な生息場所とする魚類

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

<sup>2.</sup>種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

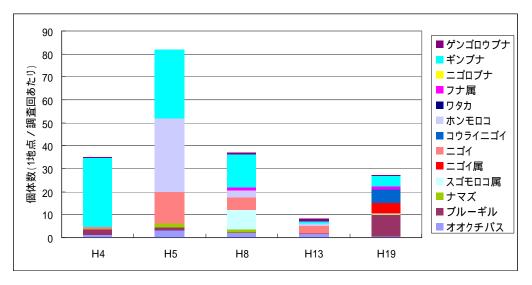


図 6.3.1-9 種別確認個体数の推移:ダム湖内を主な生息場所とする魚類

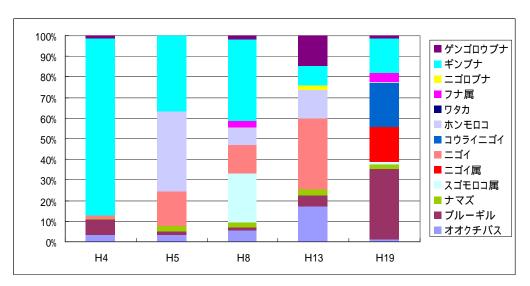


図 6.3.1-10 種別確認割合の推移:ダム湖内を主な生息場所とする魚類

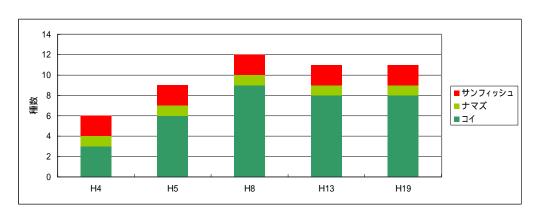


図 6.3.1-11 確認種数の推移:ダム湖内を主な生息場所とする魚類

#### c)回遊性魚類の変化の整理

回遊性魚類の変化については、魚類相の変化の整理と同様に、目視確認による個体数は、不明瞭な点が大きいことから、目視確認による個体を除外して整理することとした。

また、回遊性魚類の変化は、これまでの調査でダム湖内及び流入河川において生息が確認された種のなかで、繁殖形態等の生態的な条件から、本来であれば回遊性となる種について既存文献を参考に抽出し、これらの種について整理を行った。なお、抽出した種のほとんどは、ダム湖等の河川横断構造物がある場合は、容易に陸封する種であり、また平成19年度に実施した陸封アユ再生調査によると、室生ダムではアユの再生産が確認されている。加えて、平成4年度については、報告書の記載として"ヨシノボリ"が確認されているが、種名の特定が困難なため、本報告では「ヨシノボリ属」(回遊性は不明)として扱っている。

これまでの調査において、ダム湖内で確認された回遊性魚類の一覧は 表 6.3.1-5、またその推移は 図 6.3.1-12 ~ 図 6.3.1-14 に示すとおりである。

回遊性魚類については、アマゴといった遡河回遊魚や、アユ、スミウキゴリ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヌマチチブといった両側回遊魚がこれまでの調査で確認されている。確認種数については、平成 13 年度までは増加する傾向にあり、以降平成 19 年度までは横ばいの状態となっている。確認個体数については、平成 5 年度から平成 8 年度にかけては概ね横ばいの状態で、平成 12 年度に一度減少するものの、平成 19 年度にはまた増加に転じている。また、優占種の推移についてみると、平成 8 年度まではトウヨシノボリが確認割合の 85%以上を占めていたが、平成 13 年度には約 33%、平成 19 年度には約 8%にまで減少している。また、これに変わって平成 13 年度にはヌマチチブ及びウキゴリの個体数が増加し、平成 19 年度にはウキゴリが約 64%、ヌマチチブが約 22%を占める結果となっている。このほか、平成 5 年度から継続的に確認されているアユについては、流入河川である宇陀川やその支流となる内牧川において稚魚放流が実施されていることから、確認された個体は出水時等にダム湖内に流下してきた個体を確認したものと考えられる。

室生ダムは、平成 12 年度に主な流入河川である宇陀川の流入点付近に水質保全ダムが建設されている。この水質保全ダムには、魚道は設置されているものの、設置以前のような疎通状況にはなっていないものと考えられる。種相の変化がみられたのが平成 13 年度であることを勘案すると、それぞれの回遊性種の産卵時期の違いや、その年々の流量、魚道の状況等の違いによって、遡上・降河の条件が変化している可能性があると考えられる。なお、平成 17 年度に実施された水質保全ダムの魚道遡上調査では、アユをはじめ、オイカワ類、スゴモロコ類、ギギ、ナマズ等の魚類の遡上が確認された。

このほか、前述したとおり、室生ダム湖内においては、天満川流入地点付近をはじめ

としてダムサイトについてもアユの再生産が確認されているが、宇陀川流入地点及び水 質保全ダム直上では仔アユは確認されていない。

No	綱名	目名	科名	種名(和名)			調査年度		
	测白	П	1715	俚句(和句)	H4	H5	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	サケ	サケ	アマゴ				0.1	
2			アユ	アユ		3.3	0.5	3.9	1.0
3		スズキ	ハゼ	スミウキゴリ					0.3
4				ウキゴリ		0.3	0.5	2.1	13.3
5				トウヨシノボリ		22.7	23.6	4.7	1.6
6				ヌマチチブ				3.2	4.6
					0種	3種	3種	5種	5種
		1	0.0	26.3	24.6	14.1	20.8		
					個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.1-5 経年確認種一覧:回遊性魚類

<sup>2.</sup> 平成 20 年 2 月に実施されている仔アユ調査の結果は含んでいない。

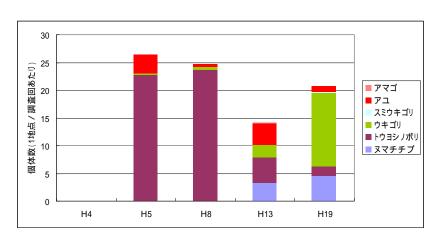


図 6.3.1-12 種別確認個体数の推移:回遊性魚類

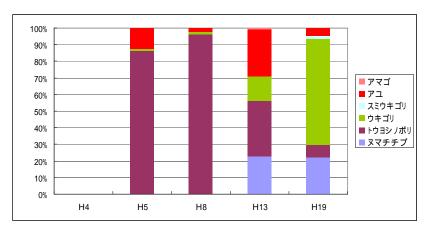


図 6.3.1-13 種別確認割合の推移:回遊性魚類

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

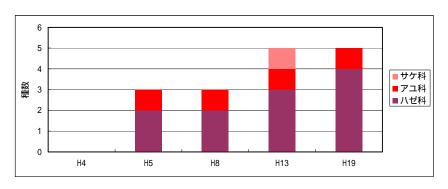


図 6.3.1-14 確認種数の推移:回遊性魚類

## d)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された重要種の一覧は、表 6.3.1-6、また その推移は 図 6.3.1-15~図 6.3.1-17 に示すとおりである。

ダム湖内における重要種については、自然分布と考えられる種は、平成 4 年度から平成 13 年度にかけては 1 種から 4 種へと増加し、以降平成 19 年度までは概ね横ばいとなっている。また、放流等が由来であると考えられる種は、経年とともに増加し平成 19 年度では 6 種が確認されている。

個体数については、自然分布と考えられる種のうち、ギギ及びウキゴリは経年とともに増加する傾向にあり、特にウキゴリについては、近年、急増する傾向にある。また、ワタカ、アマゴ、メダカ、カワヨシノボリは単年度の確認となっている。放流等が由来であると考えられる種については、ホンモロコが減少傾向にあり、アユやゲンゴロウブナは調査年度ごとにばらつきがある。なお、前述のとおり、室生ダムにおいては、アユの再生産が確認されている。

			12 0.5.1	O //i	퓨ᄤ	HO-1±	ء. عر	巨女性				
分類	No.	科名	種名(和名)		選定	基準				調査年度	ŧ	
刀炽	NO.	1111	1至日(14日)	1	2	3	4	H4	H5	Н8	H13	H19
	1	コイ	ワタカ			EN	郷土			1		
	2	ギギ	ギギ				希少	4	7	3	27	13
自	3	サケ	アマゴ			NT					2	
然	4	メダカ	メダカ			VU	希少					3
分	5	ハゼ	ウキゴリ				希少		1	4	30	133
布	6		カワヨシノボリ				希少				29	
113								1種	2種	3種	4種	3種
		5 科	∮6種	0種	0種	3種	5種	4	8	8	88	149
								個体	個体	個体	個体	個体
	7	コイ	ゲンゴロウブナ			EN		5		5	17	3
	8		ニゴロブナ			EN					2	
	9		ハス			VU				6	12	5
放	10		ホンモロコ			CR			96	25	16	1
放流等由来	11		スゴモロコ			NT		14	61			6
申	12	アユ	アユ				絶寸		20	4	155	16
来	13	タウナギ	タウナギ			EN					1	1
								2種	3種	4種	6種	6種
		3 科	17種	0種	0種	6種	1種	19	177	40	203	32
							個体	個体	個体	個体	個体	
								3種	5種	7種	10 種	9種
	7 科 13 種			0種	0種	9種	6種	23	185	48	291	181
								個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.1-6 経年確認種一覧:重要種

- 注)1.表中の数は、確認個体数を示す(目視・潜水観察による個体を含む)。
  - 2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB
  - 3.分類 自然分布 自然分布であると考えられる重要種。
    - 放流等由来 釣りの対象として放流されたり、アユ等の放流に混雑してきた 可能性が高いと考えられる種。
  - 4.平成20年2月に実施されている仔アユ調査の結果は含んでいない。

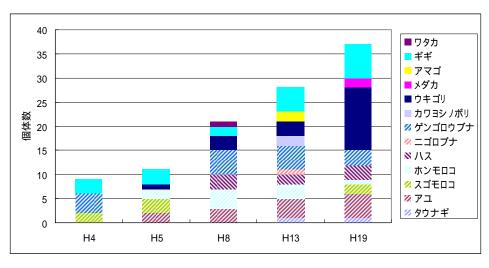


図 6.3.1-15 種別確認個体数の推移:重要種

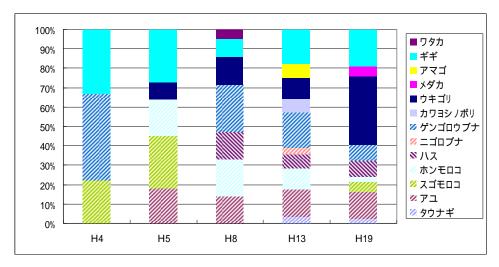


図 6.3.1-16 種別確認割合の推移:重要種

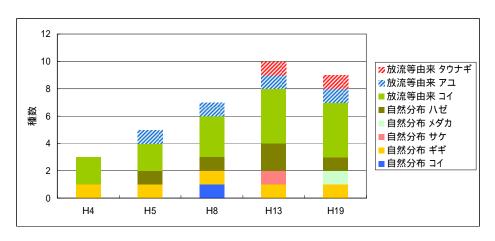


図 6.3.1-17 確認種数の推移:重要種

## e)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された外来種の一覧は、表 6.3.1-7、また その推移は 図 6.3.1-18~図 6.3.1-20 に示すとおりである。

ダム湖内における外来種の種数については、平成 4 年度から継続的にブルーギル及び オオクチバス(ブラックバス)が確認されているほか、平成 13 年度からは、タウナギが新 たに確認されている。

個体数については、オオクチバス(ブラックバス)については各調査年度ともに 4~7個体の範囲で推移しているが、ブルーギルについては変動がみられ、平成 4年度から平成5年度にかけては減少したものの、以降は徐々に増加、平成 19年度には急増し、20個体以上が確認されている。このほか、タウナギは平成 13年度、平成 19年度に各1個体が確認されている。

表 6.3.1-7 経年確認種一覧:外来科	重
-----------------------	---

No	科名	種名(和名)	選足	基準	調査年度					
	17 🛘	1 = 11 (1   11   11	1	2	H4	H5	Н8	H13	H19	
1	タウナギ	タウナギ						1	1	
2	サンフィッシュ	ブルーギル	特定		8	2	3	5	21	
3		オオクチバス	特定		6	4	4	7	5	
					2種	2種	2種	3種	3種	
	2科3種		2種	3種	14	6	7	13	27	
				個体	個体	個体	個体	個体		

- 注)1.表中の数は、確認個体数を示す。 2.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック
  - 3.確認個体数には、目視・潜水観察による個体を含む。

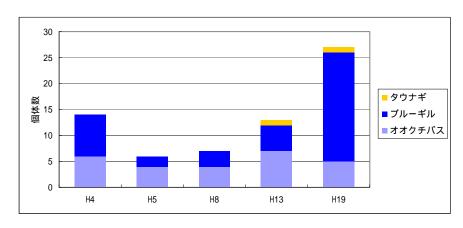


図 6.3.1-18 種別確認個体数の推移:外来種

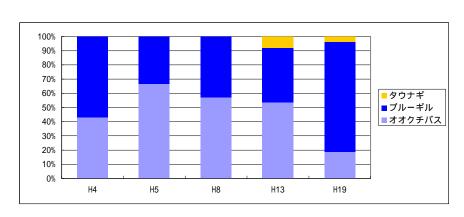


図 6.3.1-19 種別確認割合の推移:外来種

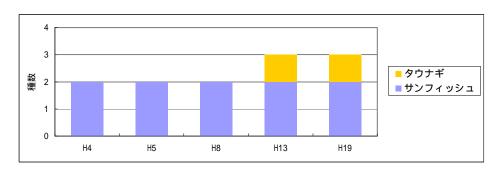


図 6.3.1-20 確認種数の推移:外来種

## (b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の調査は、これまでに計 4 回実施されている。しかし、各調査年度ともに、実施した調査地点数や調査回数が異なっている。そのため、エビ・カニ・貝類の変化の整理にあたっては、調査地点数及び調査回数を考慮に入れて、1 地点/調査回あたりの確認個体数を算出し、比較することとした。

各調査年度におけるダム湖内の調査地点数及び調査回数は表 6.3.1-8 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.1.3-3 に示すとおりであり、経年とともに調査手法に若干の違いがみられている。

なお、調査実施時におけるダム湖内の水位を、図 6.3.1-1~5 に示す。調査実施時の貯水位は概ね 290m 前後であり、平成 13 年度は夏季の貯水位が低かった。

			/						
調査年度		調査年度							
数量	H4	H5	H8	H13					
調査地点数	5	3	4	7					
調査回数	2	1	2	2					
調査時期	8月・10月	9月	7月・10月	8月・10月					

表 6.3.1-8 調査実施状況一覧:エビ・カニ・貝類

## a)エビ・カニ・貝類相の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認されたエビ・カニ・貝類の一覧は表 6.3.1-9、またその推移は 図 6.3.1-21~図 6.3.1-23 に示すとおりである。なお、エビ・カニ・貝類相の変化にあたっては、目視確認による個体数は、個体数が不明であることから、その個体を除外して整理することとした。

ダム湖内のエビ・カニ・貝類については、テナガエビやスジエビといったエビ類のほか、ヒメタニシやカワニナ、マシジミ等の貝類が確認されている。また、確認種数については、経年とともに増加する傾向がみられ、平成13年度では6種が確認されている。

個体数については、平成4年度から平成8年度にかけては、増加傾向にあったが、平成13年度には減少に転じている。なお、減少の主要因は、スジエビに起因している。

表 6.3.1-9	経年確認種一	·暫:エビ	・カニ・	目類
-----------	--------	-------	------	----

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)		調査	年度	
NO.	河口	П	171	1里口(111口)	H4	H5	Н8	H13
1	マキガイ	ニナ	タニシ	オオタニシ		1.0		
2				ヒメタニシ	0.2	4.0		
3			カワニナ	カワニナ		0.7	0.9	0.9
4		モノアラガイ	モノアラガイ	モノアラガイ			0.4	
5	ニマイガイ	マルスダレガイ	シジミ	マシジミ			0.1	0.1
6	甲殻綱	エビ	テナガエビ	テナガエビ	1.4	3.3	0.6	1.1
7				スジエビ	0.1	11.3	26.4	11.7
8			アメリカザリガニ	アメリカザリガニ				0.1
9			サワガニ	サワガニ			0.1	0.6
			•		3種	5種	6種	6種
	3 綱 4 目 7 科 9 種					20.3	28.5	14.6
					個体	個体	個体	個体

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

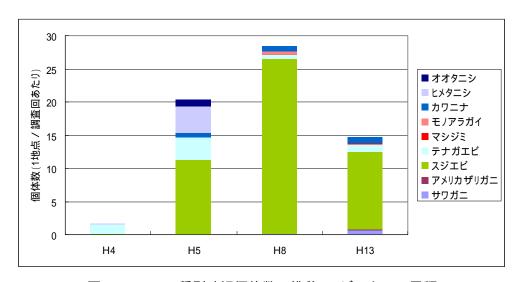


図 6.3.1-21 種別確認個体数の推移:エビ・カニ・貝類

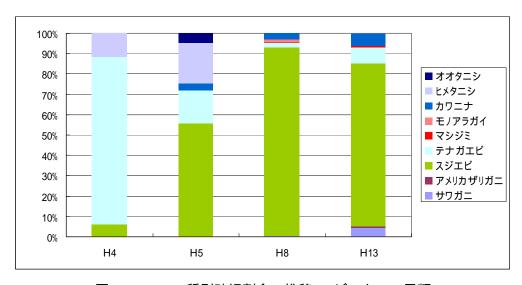


図 6.3.1-22 種別確認割合の推移:エビ・カニ・貝類

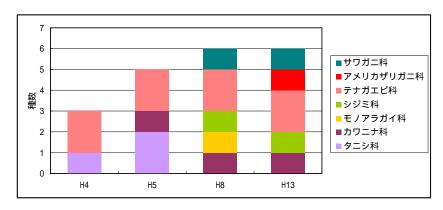


図 6.3.1-23 確認種数の推移:エビ・カニ・貝類

## b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された重要種の一覧は 表 6.3.1-10 に示すとおりである。

ダム湖内における重要種については、平成5年度にオオタニシが3個体、平成8年度にモノアラガイが3個体、マシジミが1個体、平成13年度にマシジミが2個体確認されている。

No.	科名	種名(和名)		選定	基準			調査	年度	
NO.	竹石	性石(和石)	1	2	3	4	H4	H5	Н8	H13
1	タニシ	オオタニシ			NT			3		
2	モノアラガイ	モノアラガイ			NT				3	
3	シジミ	マシジミ			NT				1	2
	3科3	0種	0種	3種	0種	0種	1種	2種	1種	

表 6.3.1-10 経年確認種一覧:重要種

#### c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された外来種の一覧は 表 6.3.1-11 に示すとおりである。

ダム湖内における外来種については、平成13年度にアメリカザリガニが2個体確認されているが、平成4年度、平成5年度、平成8年度では外来種は確認されていない。

No.	科名	種名(和名)	選定基準		調査年度			
NO.	111	作里口(作口)	1	2	H4	H5	H8	H13
1	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	要注意					2
	1科1和	<b>重</b>	1種	1種	0種	0種	0種	1種

表 6.3.1-11 経年確認種一覧:外来種

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

## 2)底生動物

底生動物の調査は、これまでに計5回実施されている。このうち、平成7年度、平成12年度、平成17年度調査については年3回の実施、平成20年度は年2回の実施、平成5年度は年1回の実施となっている。平成7年度から平成17年度にかけては、定性採集を実施した調査地点数が増加傾向にあるが、平成20年度は5箇所と減少している。なお、平成20年度調査結果には、水質保全ダムにおける調査結果を含む。

各調査年度におけるダム湖内の調査地点数、及び調査回数は 表 6.3.1-12 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.3.1-13 に示すとおりである。

また、調査実施時におけるダム湖内の水位を、図 6.3.1-24~図 6.3.1-27 に示す。調査 実施時の貯水位は概ね 290m程度である。貯水位と底生生物の個体数の関係については、調 査年によって定性採取の調査箇所数が異なっていることから、水位の影響については不明 である。

調査年度 調査年度 数量 H7 H17 H20 H5 H12 調査 定点採集 3 3 2 2 2 地点数 定性採集 5 7 8 5 調査回数 3 3 2 1 3 7月・11月 7月・10月 7~8月 4月・8月 調査時期 9月 12月・2月 1月 1月

表 6.3.1-12 調査実施状況一覧:底生動物

表 6.3.1-13 調査内容一覧:底生動物

				-tC 0.0.1 10			
	調査	年度	H5	H7	H12	H17	H20
	調査	番号	2	4	10	17	21
		下流河川	放水口	(定量・定性)No.1	(定量・定性)No.1	(定量・定性)St .1	淀室下 1
調査	X		網場,湖心,県取水口	(定点)No.2,No.3,No.4 (定性)1,2,3,4,5	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7,8	淀室湖 1,淀室湖 2,淀室湖 3, 淀室湖 6,淀室湖 7
地点	分	流入河川	天満川(早瀬,植物帯), 高倉橋(平瀬,植物帯), 内牧川(平瀬,植物帯)	(定量・定性)No.5,No.6,No.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	淀室入 1,淀室入 2,淀室入 3
		その他	-	-	-	-	淀室他 1(水質保全ダム)
	定	三点調査	採泥器等による採取	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回程度	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5 回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6回
調査 方法	定	性調査	(0.25m²) ハンドネット(0.5mm 目程度)		ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)
	定	呈量調査		サーバーネット(25cm×25cm)	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×6回
		夏季	-	H7.7.20~21、8.23	H12.7.19~21	H17.10.19~20	H20.8.25 ~ 26
調査		冬季	-	H7.12.20~21	H12.11.8~9	H18.1.14~15	-
時期	<u>.</u>	早春季	-	H8.2.21 ~ 22	H13.1.12~13	H17.7.2~3	H20.4.21 ~ 22
	-	その他	H5.9.21	-	-	-	-

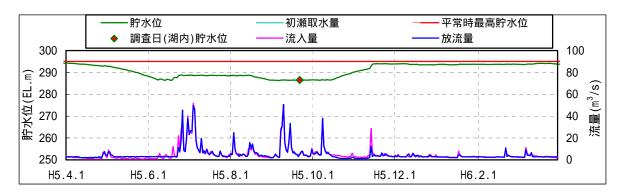


図 6.3.1-24 調査実施時の流況(平成 5年度)

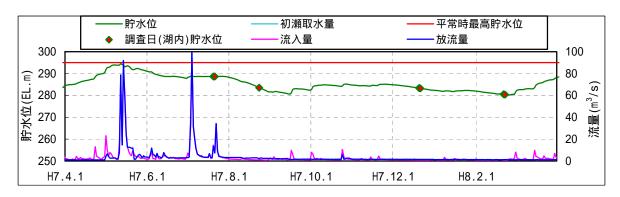


図 6.3.1-25 調査実施時の流況(平成7年度)

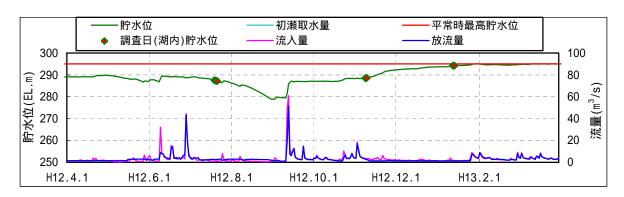


図 6.3.1-26 調査実施時の流況(平成 12 年度)

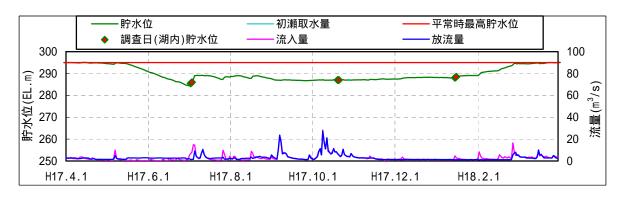


図 6.3.1-27 調査実施時の流況(平成 17 年度)

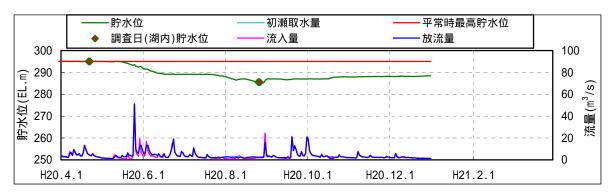


図 6.3.1-28 調査実施時の流況(平成 20 年度)

#### (a)底生動物相の変化の整理

これまでの調査においてダム湖内で確認された底生動物の綱目別科種数表は、表 6.3.1-14 に、またその推移は 図 6.3.1-29~図 6.3.1-30 に示すとおりである。

ダム湖内の底生動物については、八工目を中心として、カゲロウ目やトンボ目、コウチュウ目、カメムシ目、ナガミミズ目等が確認されている。また、確認種数については、平成5年度が5種と最も少なく、平成7年度では27種、平成12年度では71種と増加するが、平成17年度では44種、平成20年度では39種と平成12年度の半数程度にまで減少する結果となっている。また、この種数の増減について、分類群に着目して推移をみると、確認種数が最も多い平成12年度では、カゲロウ目、トンボ目、八工目といった分類群の出現種数が多い状況にあり、その多くはヒラタカゲロウ類やシマトビケラ類といった流水性種で占められていた。

綱名	目名	Н	5	Н	7	H1	12	H1	7	H2	20	合	計
利明石	H 15	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
マキガイ	ニナ			2	2	2	2	1	1			2	3
	モノアラガイ					1	1			1	1	2	2
ニマイガイ	マルスダレガイ									1	1	1	1
ミミズ	オヨギミミズ							1	1			1	1
	ナガミミズ	1	2	1	2	4	4	3	3	3	4	4	6
ヒル	ノドビル									1	1	1	1
甲殼	ワラジムシ			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	エビ			2	2	3	4	1	2	2	3	3	4
昆虫	カゲロウ	1	1	2	2	8	15	2	2	7	8	10	21
	トンボ			4	6	7	13	5	6	3	7	7	19
	カワゲラ					3	3	2	2			3	4
	カメムシ					2	4	5	7	2	2	5	8
	アミメカゲロウ					2	2					2	2
	トビケラ					3	4	1	1	1	1	4	5
	ハエ	1	2	1	12	4	14	3	12	1	10	5	28
	コウチュウ					3	4	2	6			3	9
6綱16目54	科 115 種	3科	5種	13 科	27 種	43 科	71 種	27 科	44 種	23 科	39 種	54 科	115 種

表 6.3.1-14 経年分類群別確認種数一覧:底生動物

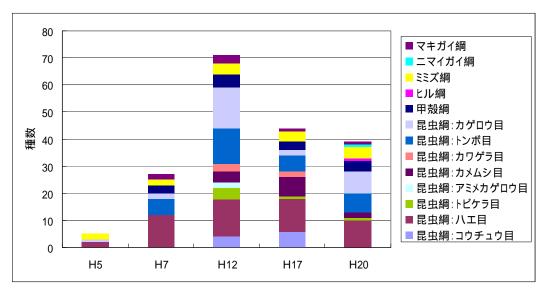


図 6.3.1-29 分類群別確認種数の推移:底生動物

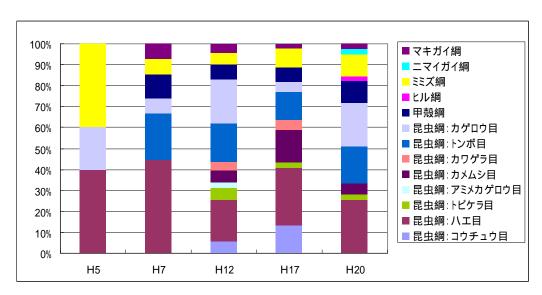


図 6.3.1-30 分類群別確認割合の推移:底生動物

#### (b)優占種の変化の整理

ダム湖内においては、平成7年度から平成17年度にかけて、最深部(基準点)及び中央部(赤人橋)の2箇所で定量調査を実施している。また、平成20年度では最深部(基準点)及び水質保全ダムの2箇所で定量調査を実施している。以下にこれらの調査地点ごとの優占種の変化を整理した。なお、平成20年度に実施されている水質保全ダムにおける調査は単年度のみの結果であるが、今後は継続的に調査が実施すると想定されることから、調査結果を記載することとした。

## a)最深部(基準点)

最深部(基準点)における優占種(定量採集)の一覧は表 6.3.1-15、また定量採集調査の結果の推移は図 6.3.1-31~図 6.3.1-32 に示すとおりである。

最深部(基準点)における生息量は減少傾向にあり、平成 12 年度では無生物状態となっている。なお、平成 7 年度ではユリミミズや Limnodrilus 属等のイトミミズ科のみの確認であったが、平成 17 年度にはイトミミズ科に加えて、Einfeldia 属等のユスリカ科、平成 20年では Corbicula 属、アカマダラカゲロウ、Cheumatopsyche 属、Tanytarsus 属が確認されている。ただし確認種は、強腐水性種の確認割合が高い状態となっている。

また、生活型別の出現個体数(m2 あたり)について着目すると(図 6.3.1-33~図 6.3.1-34 参照)、土砂が堆砂する湖沼環境を反映して、いずれの調査についても掘潜型が優占する結果となっている。

	夏	季				冬季			<u>!</u>	早春		
	種名	個体数	割合	指標	種名	個体数	割合	指標	種名	個体数	割合	指標
	ユリミミズ	163	100%	ps	ユリミミズ	52	100%	ps	Limnodrilus属	52	100%	ps
H7												
	確認なし				確認なし				確認なし			
H12												
	確認なし				イトミミズ科	9	25%	ps	イトミミズ科	9	100%	-
H17					Einfeldia属	27	75%	-				<u>.</u>
	Corbicula属	7	25%	-	未調査				イトミミズ科	37	100%	ps
H20	アカマダラカゲロウ	7	25%	m								
1120	Cheumatopsyche 属	7	25%									
	Tanytarsus 属	7	25%	-								

表 6.3.1-15 優占種の推移:底生動物(最深部)

注)上位3種までを計上している。また、個体数は m² あたりの個体数を示す。

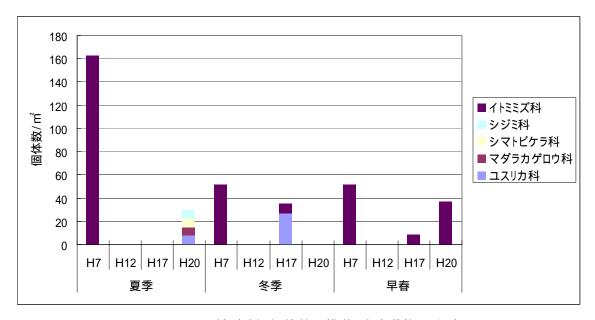


図 6.3.1-31 科別確認個体数の推移:底生動物(最深部)

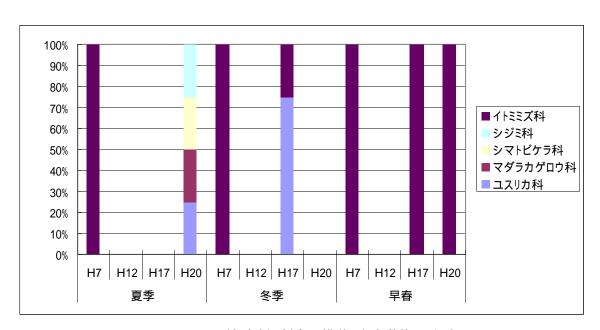


図 6.3.1-32 科別確認割合の推移:底生動物(最深部)

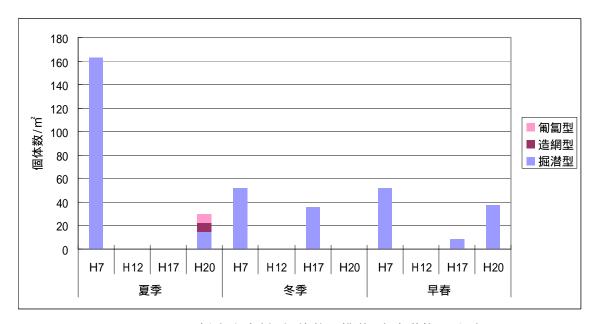


図 6.3.1-33 生活型別確認個体数の推移:底生動物(最深部)

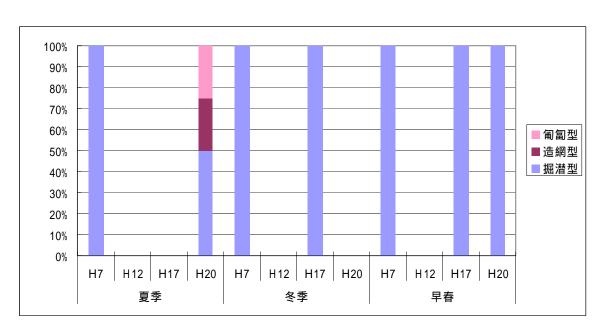


図 6.3.1-34 生活別確認割合の推移:底生動物(最深部)

# 注)生活型

- ・造網型:分泌絹糸を用いて捕獲網を作るもの
- ・固着型:強い吸着器官または鈎着器官をもって他物に固着しているもの
- ・匍匐型:河床を匍匐するもの
- ・携巣型:筒巣をもつもの、匍匐的運動をするが筒巣をもつ点において匍匐型とは別に考えた方が良い
- ・遊泳型:移動の際は主として遊泳によるもの
- ・掘潜型:砂または泥の中に潜っていることの多いもの

#### b)中央部(赤人橋)

中央部(赤人橋)における優占種(定量採集)の一覧は表6.3.1-16、また定量採集調査の結果の推移は図6.3.1-35~図6.3.1-36に示すとおりである。

生息量は概ね減少傾向にあり、平成17年度の冬季では、一時、無生物状態となっている。確認されている種は、ユリミミズ等のイトミミズ科や、Einfeldia属等のユスリカ科であり、強腐水性種の確認割合が高い状態となっている。

なお、平成 20 年度は、平成 18 年度の調査地点の見直しにより、赤人橋地点を変更したために、調査は実施されなかった。

また、生活型別の出現個体数(m² あたり)について着目すると(図 6.3.1-37~図 6.3.1-38 参照)、土砂が堆砂する湖沼環境を反映して、いずれの調査についても掘潜型が優占する結果となっている。

夏季 冬季 早春 種名 個体数 割合 指標 種名 個体数 割合 指標 種名 個体数 割合 指標 ユリミミズ 1582 ps ユリミミズ 326 ps ユリミミズ 163 50% ps フチグロユスリカ Chironomus strenzkei 274 46% Chironomus strenzkei 34% 471 18% ps 111 ps Procladius 属 PA 240 9% Polypedilum 属 PE 52 16% ps イトミミズ 240 9% イトミミズ科 Paratendipes 属 PB 59 50% 89 92% ps Glyptotendipes 属 96 34% Chironomus 属 7 イトミミズ科 59 ユスリカ亜科 59 50% 8% 21% ps ps Chironomus 属 44 16% ps Polypedilum属 44 16% エラミミズ 9 100% 確認なし Einfeldia属 293 70% ps H17 Chironomus 属 15% 62 ps イトミミズ科 36 9% ps

表 6.3.1-16 優占種の推移:底生動物(中央部;赤人橋)

注)上位3種までを計上している。また、個体数は m² あたりの個体数を示す。

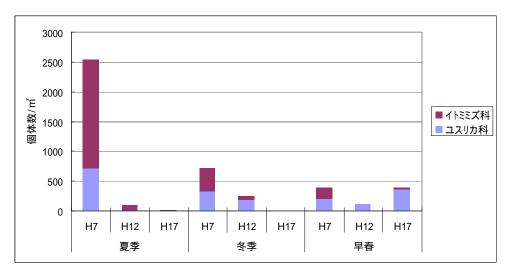


図 6.3.1-35 科別確認個体数の推移:底生動物(中央部;赤人橋)

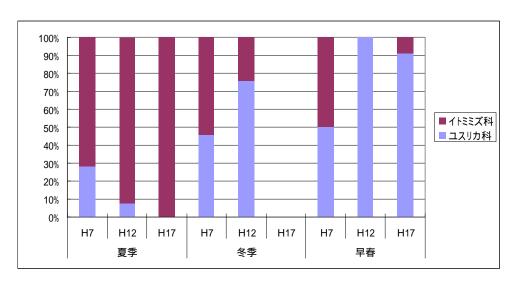


図 6.3.1-36 科別確認割合の推移:底生動物(中央部;赤人橋)

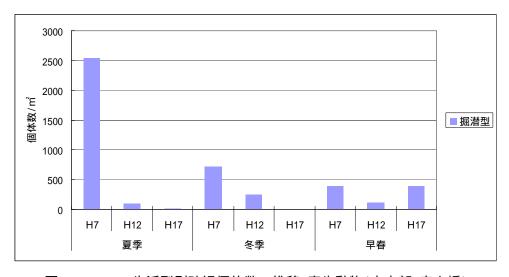


図 6.3.1-37 生活型別確認個体数の推移:底生動物(中央部;赤人橋)

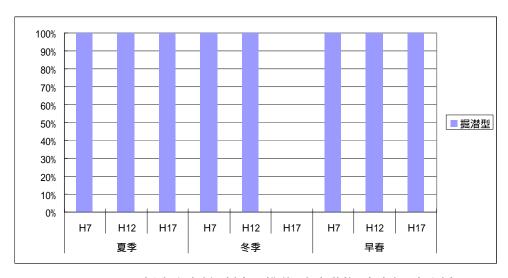


図 6.3.1-38 生活型別確認割合の推移:底生動物(中央部;赤人橋)

#### 注)生活型

- ・造網型:分泌絹糸を用いて捕獲網を作るもの
- ・固着型:強い吸着器官または鈎着器官をもって他物に固着しているもの
- ・匍匐型:河床を匍匐するもの
- ・携巣型:筒巣をもつもの、匍匐的運動をするが筒巣をもつ点において匍匐型とは別に考えた方が良い
- ・遊泳型:移動の際は主として遊泳によるもの
- ・掘潜型:砂または泥の中に潜っていることの多いもの

## c)水質保全ダム

水質保全ダムにおける優占種(定量採集)の一覧は表 6.3.1-17、また定量採集調査の結果 の推移は 図 6.3.1-39~図 6.3.1-40 に示すとおりである。

調査は平成20年度のみとなっているが、夏季、早春季ともに生息量は少ない状況にある。

また、生活型別の出現個体数(m² あたり)について着目すると(図 6.3.1-41~図 6.3.1-42 参照)、土砂が堆砂する湖沼環境を反映して、いずれの調査についても掘潜型が優占する結果となっている。

					<b>△</b>	· /5/0 —	- 2/3 1+3	( 3 - 2 -	···— · · · /			
	夏季					冬季			早春			
	種名(和名)	個体数	割合	指標	種名(和名)	個体数	割合	指標	種名(和名)	個体数	割合	指標
	イトミミズ科	30	81%	-	未調査				Limnodrilus属	15	68%	-
H20	コヤマトンボ	7	19%	m					Tanytarsus 属	7	32%	ps

表 6.3.1-17 優占種の推移:底牛動物(水質保全ダム)

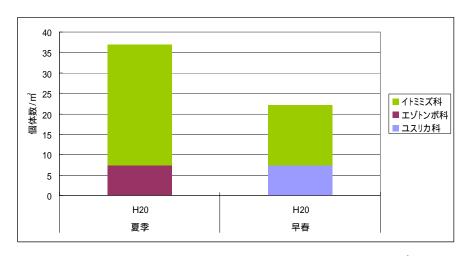


図 6.3.1-39 科別確認個体数の推移:底生動物(水質保全ダム)

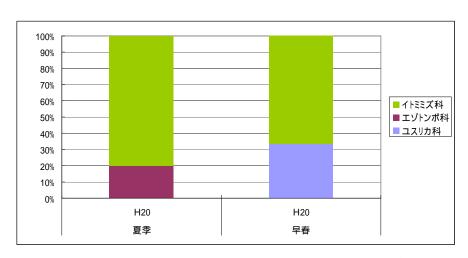


図 6.3.1-40 科別確認割合の推移:底生動物(水質保全ダム)

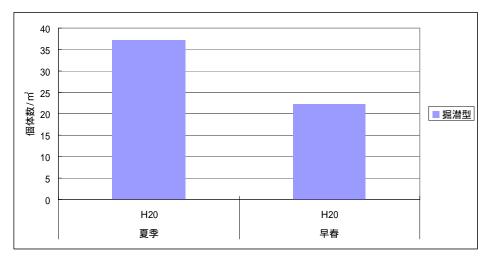


図 6.3.1-41 生活型別確認個体数の推移:底生動物(水質保全ダム)

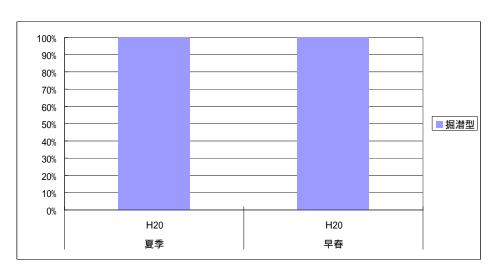


図 6.3.1-42 生活型別確認割合の推移:底生動物(水質保全ダム)

## 注)生活型

- ・造網型:分泌絹糸を用いて捕獲網を作るもの
- ・固着型:強い吸着器官または鈎着器官をもって他物に固着しているもの
- ・匍匐型:河床を匍匐するもの
- ・携巣型:筒巣をもつもの、匍匐的運動をするが筒巣をもつ点において匍匐型とは別に考えた方が良い
- ・遊泳型:移動の際は主として遊泳によるもの
- ・掘潜型:砂または泥の中に潜っていることの多いもの

## (c)ダム湖湖岸の底生動物の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖湖岸で確認された底生動物(定性採集)の綱目別種数表は表 6.3.1-18、またその推移は 図 6.3.1-43~図 6.3.1-44 に示すとおりである。なお、平成 5年度調査については、定量調査のみの結果であることから、平成 7年度から平成 20年度までに実施している 4回の調査結果について整理することとした。

ダム湖湖岸の底生動物については、八工目を中心として、カゲロウ目やトンボ目、コウチュウ目、ナガミミズ目等が確認されている。また、確認種数についてみると、平成7年度から平成12年度にかけては26種から69種へと増加傾向にあったが、平成17年度については44種、平成20年度では35種と減少する結果となっている。

また、この種数の増減について、分類群に着目して推移をみると、確認種数が最も多い平成 12 年度では、カゲロウ目やトンボ目、ハエ目といった分類群の出現種数が多い状況にあり、その多くは流水性種で占められている。

綱名	目名	Н	7	H.	12	H.	17	H2	20	合	·計
利型	п	科数	種数								
マキガイ	ニナ	2	2	2	2	1	1			2	3
	モノアラガイ			1	1			1	1	2	2
ミミズ	オヨギミミズ					1	1			1	1
	ナガミミズ	1	1	4	4	3	3	3	3	4	9
ヒル	ノドビル							1	1	1	1
甲殼	ワラジムシ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	エビ	2	2	3	4	1	2	2	3	3	4
昆虫	カゲロウ	2	2	8	15	2	2	6	7	10	20
	トンボ	4	6	7	13	5	7	3	7	7	21
	カワゲラ			3	3	2	2			3	5
	カメムシ			2	4	5	7	2	2	5	8
	アミメカゲロウ			2	2					2	2
	トビケラ			3	4	1	1			4	5
	ハエ	1	12	4	12	3	11	1	10	5	36
	コウチュウ			3	4	2	6			3	9
5綱15目	目 53 科 111 種	13 科	26 種	43 科	69 種	27 科	44 種	20 科	35 種	53 科	111種

表 6.3.1-18 経年分類群別確認種数一覧:ダム湖湖岸の底生動物

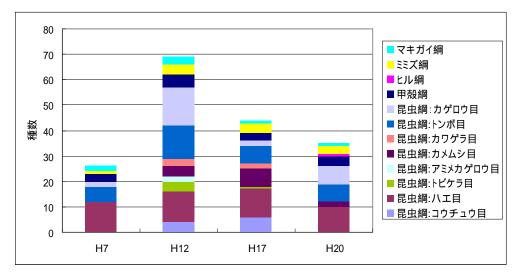


図 6.3.1-43 分類群別確認種数の推移:ダム湖湖岸の底生動物

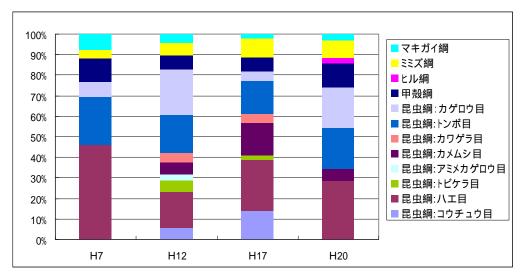


図 6.3.1-44 分類群別確認割合の推移:ダム湖湖岸の底生動物

## (d)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された重要種の一覧は表 6.3.1-19 に示すとおりである。

ダム湖内における重要種については、平成7年度にオオタニシが4個体、平成17年度にコオイムシ2個体、平成20年度にホンサナエが8個体、アオサナエが3個体確認されているが、 平成5年度、平成12年度では重要種は確認されていない。

No.	科名	種名(和名)		選定	基準		調査年度				
NO.	1710	作出口(作中口)	1	2	3	4	H5	H7	H12	H17	H20
1	タニシ	オオタニシ			NT			4			
2	サナエトンボ	ホンサナエ				希少					8
3		アオサナエ				希少					3
4	コオイムシ	コオイムシ			NT					2	
	3科4種			0種	2種	2種	0種	1種	0種	1種	2種

表 6.3.1-19 経年確認種一覧:重要種

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

#### (e)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された外来種の一覧は表 6.3.1-20 に示すとおりである。

ダム湖内における外来種については、平成12年度にサカマキガイが1個体、アメリカザリガニが1個体、平成20年度にコシダカヒメモノアラガイが1個体確認されているが、平成5年度、平成7年度、平成17年度では外来種は確認されていない。

表631-20	経年確認種一覧	· 小 本 種
4Y ().().   "Z()		

No.	科名	種名(和名)	選定	基準		į	調査年度	Ę	
NO.	NO.   件台	作至11(作4日)	1	2	H5	H7	H12	H17	H20
1	1 モノアラガイ コシダカヒメモノアラガイ								1
2	サカマキガイ	サカマキガイ					1		
3	3 アメリカザリガニ アメリカザリガニ		要注意				1		
	3科3種			3種	0種	0種	2種	0種	1種

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

2. 選定基準 1: 特定外来生物法 2: 外来種ハンドブック

## 3)動植物プランクトン

ダム湖内における動植物プランクトンの調査は、これまでに計 4 回実施されている。調査地点数については、いずれの調査回も 3 地点で実施しているが、調査地点については、平成 5 年度と平成 11 年度・平成 16 年度で若干異なっている。また、調査時期については、4 回/年実施されている。なお、各調査年度におけるダム湖内の調査数量、及び調査時期の詳細については、表 6.3.1-21 に示すとおりである。

また、調査実施時におけるダム湖内の水位は、図 6.3.1-45~図 6.3.1-48 に示すとおり、春季及び冬季における水位は高く、夏季及び秋季では、水域が低くなる傾向は、各調査実施年度ともに概ね同様の傾向を示している。

表 6.3.1-21 調査内容一覧:動植物プランクトン

	調査年		H5	H11	H16	H18
i	調査番	号	2	8	15	19
調		下流 河川	放水口	No . 1	No1(放水口)	淀室下-1
查地点	区分	湖内	網場,湖心,県取水口	No.2,No.3,No.4,	No.2(網場),No.3(湖 心),No.4(赤人橋)	淀室湖-1
		流入 河川	天満川,内牧川,高倉橋	No.5, No.6, No.7	No.5(天満川),No.6(内 牧川),No.7(宇陀川)	-
植物プラ	調査	数量	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m			
15		春季	H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23
7	調査	夏季	H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15
۱	時期	秋季	H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14
ン		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26	H17.2.7	H19.2.6
動物プランク	調査	数量	バンドーン型採水器、 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4 層	バンドーン型採水器、 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4 層	バンドーン型採水器、 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4 層	バンドーン型採水器 、丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4 層
2		春季	H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23
1	調査	夏季	H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15
1	時期		H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14
		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26	H17.2.7	H19.2.6

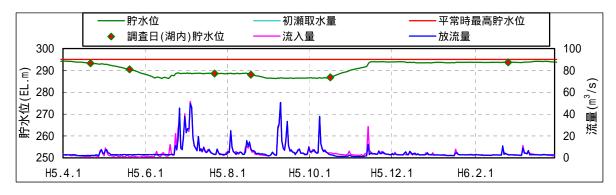


図 6.3.1-45 調査実施時の流況(平成 5年度)

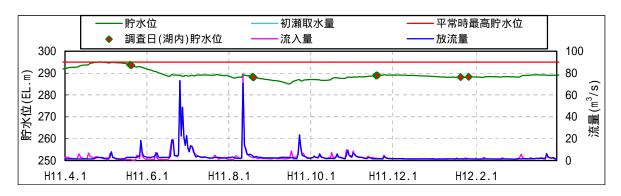


図 6.3.1-46 調査実施時の流況(平成 11 年度)

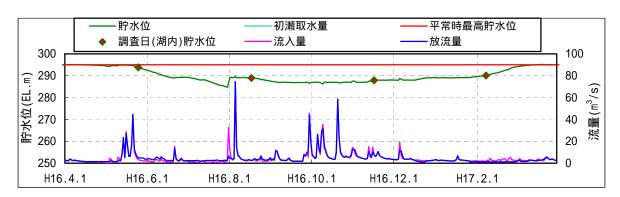


図 6.3.1-47 調査実施時の流況(平成 16 年度)

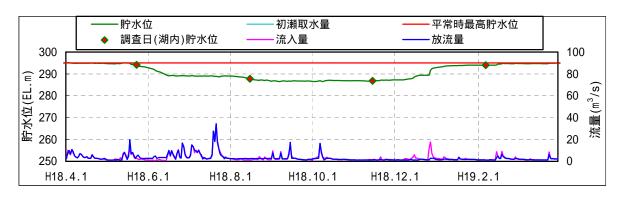


図 6.3.1-48 調査実施時の流況(平成 18 年度)

## (a)植物プランクトン

## a)植物プランクトン相および優占種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された植物プランクトンの優占種の一覧は表 6.3.1-22、またその推移については図 6.3.1-49~図 6.3.1-50 に示すとおりである。

各調査年度で確認された植物プランクトンの総個体数は、平成 5 年度で約 83,000,000 個体、平成 11 年度で約 155,000,000 個体、平成 16 年度で約 60,000,000 個体、平成 18 年度で約 62,000,000 個体となった。優占した綱及び種は、平成 5 年度は藍藻類の Microcystis aeruginosa、平成 11 年度は珪藻類の Aulacoseira distans、平成 16 年度は藍藻類の Microcystis aeruginosa、平成 18 年度は藍藻類の Microcystis wesenbergiiであった。

平成5年度、平成16年度で優占種となった Microcyst is aeruginosa(藍藻類)は、悪臭や毒を形成するいわゆるアオコの一種である。その発生時期は夏季に最も多く確認されている。平成11年度で優占種となった Aulacoseira distans(珪藻類)は、秋季及び冬季に多数確認されている。

表 6.3.1-22 優占種の推移:植物プランクトン

H5				H11		
綱名	個体数	割合 (%)	学名	綱名	個体数	割合 (%)
藍藻	14,192,000	25.7	Aulacoseira distans		47,801,000	33.7
	6,524,000	11.8	Rhodomonas sp.		18,624,000	13.1
	5,243,000	9.5	Asterionella formosa		15,507,000	10.9
	4,687,000	8.5	Aphanocapsa sp.		10,944,000	7.7
	4,118,000	7.5	Cyclotella meneghiniana		8,416,000	5.9
藍藻	3,964,000	7.2	Fragilaria crotonensis		6,289,000	4.4
珪藻	2,510,000	4.5	Crucigenia tetrapedia		5,781,000	4.1
	1,680,000	3.0	Coelastrum microporum		4,560,000	3.2
クリプト藻	1,484,000	2.7	Cryptomonas sp.		2,851,000	2.0
藍藻	1,483,000	2.7	Aulacoseira italica		2,207,000	1.6
珪藻	1,375,000	2.5	Phormidium tenue		2,203,000	1.6
珪藻	1,243,000	2.3	Scenedesmus ecornis		1,761,000	1.2
珪藻	718,000	1.3	Eudorina elegans		1,736,000	1.2
	707,000	1.3	Pediastrum simplex	緑藻	1,673,000	1.2
藍藻	675,000	1.2				
珪藻	648,000	1.2				
1146				1140		
ПІО				H18		
綱名	個体数	割合 (%)	学名	綱名	個体数	割合 (%)
	個体数 35,115,700		学名 <i>Microcystis wesenbergii</i>		個体数 15,300,000	
綱名 藍藻 黄金色藻		(%)		綱名		(%)
綱名 藍藻	35,115,700	(%) 57.1	Microcystis wesenbergii	綱名	15,300,000	(%) 24.6
綱名 藍藻 黄金色藻	35,115,700 10,038,100	(%) 57.1 16.3	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis	綱名 藍藻 珪藻	15,300,000 9,239,000	(%) 24.6 14.8
綱名 藍藻 黄金色藻 珪藻 藍藻 緑藻	35,115,700 10,038,100 4,801,950	(%) 57.1 16.3 7.8	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa	綱名 藍藻 珪藻 藍藻	15,300,000 9,239,000 8,700,000	(%) 24.6 14.8 14.0
綱名 藍藻 黄金色藻 珪藻 藍藻 緑藻 珪藻	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻 クリプト藻	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5
綱名 藍藻 莲金色藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 緑藻	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8
綱名 藍藻 黄金藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 は は は は は は は は は は は は は	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp.	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 を薬薬 タリプト薬 緑薬	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9
綱名 藍藻 莲金色藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 緑藻	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300 1,269,000	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2 2.1	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp. Eudorina elegans	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 を薬薬 グリプト薬 緑薬	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000 2,928,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9 4.7
綱名 藍藻 黄金藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 は は は は は は は は は は は は は	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300 1,269,000 1,228,200	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2 2.1 2.0	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp. Eudorina elegans Cryptomonas ovata	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻 クリプト藻 緑藻 クリ漢 クリ漢 チュア・ 緑藻 ほ藻 は藻 は藻 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は はず はず はず はず はず はず はず はず はず	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000 2,928,000 2,824,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9 4.7 4.5
綱名 藍藻 黄金藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 は は は は は は は は は は は は は	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300 1,269,000 1,228,200	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2 2.1 2.0	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp. Eudorina elegans Cryptomonas ovata Volvox aureus	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻 クリプト藻 緑藻 クリプト藻 緑藻	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000 2,928,000 2,824,000 1,800,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9 4.7 4.5 2.9
綱名 藍藻 黄金藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 は は は は は は は は は は は は は	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300 1,269,000 1,228,200	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2 2.1 2.0	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp. Eudorina elegans Cryptomonas ovata Volvox aureus Aulacoseira granulata	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻 クリプト藻 緑藻 クリ漢 クリ漢 チュア・ 緑藻 ほ藻 は藻 は藻 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は薬 は はず はず はず はず はず はず はず はず はず	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000 2,928,000 2,824,000 1,800,000 1,793,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9 4.7 4.5 2.9
綱名 藍藻 黄金藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 は は は は は は は は は は は は は	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300 1,269,000 1,228,200	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2 2.1 2.0	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp. Eudorina elegans Cryptomonas ovata Volvox aureus Aulacoseira granulata Ceratium hirundinella	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻 クリプト藻 緑藻 クリ藻 クリ藻 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000 2,928,000 2,824,000 1,800,000 1,793,000 924,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9 4.7 4.5 2.9 2.9 1.5
綱名 藍藻 黄金藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 は は は は は は は は は は は は は	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300 1,269,000 1,228,200	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2 2.1 2.0	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp. Eudorina elegans Cryptomonas ovata Volvox aureus Aulacoseira granulata Ceratium hirundinella Aulacoseira distans	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻 クリプト藻 緑藻 クリ藻 クリ藻 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000 2,928,000 2,824,000 1,800,000 1,793,000 924,000 650,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9 4.7 4.5 2.9 2.9 1.5 1.0
綱名 藍藻 黄金藻 珪藻藻 緑藻 珪藻藻 は は は は は は は は は は は は は	35,115,700 10,038,100 4,801,950 1,965,000 1,611,300 1,336,300 1,269,000 1,228,200	(%) 57.1 16.3 7.8 3.2 2.6 2.2 2.1 2.0	Microcystis wesenbergii Fragilaria crotonensis Microcystis aeruginosa Chlamydocapsa gigas Aphanocapsa elachista Rhodomonas sp. Eudorina elegans Cryptomonas ovata Volvox aureus Aulacoseira granulata Ceratium hirundinella Aulacoseira distans	綱名 藍藻 珪藻 藍藻 緑藻 藍藻 クリプト藻 緑藻 クリ藻 クリ藻 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	15,300,000 9,239,000 8,700,000 6,561,000 6,120,000 3,065,000 2,928,000 2,824,000 1,800,000 1,793,000 924,000 650,000	(%) 24.6 14.8 14.0 10.5 9.8 4.9 4.7 4.5 2.9 2.9 1.5 1.0
	綱名 監藻 珪藻 緑藻 クリプト藻 珪藻	綱名 個体数    監藻	綱名個体数割合 (%)藍藻14,192,00025.7珪藻6,524,00011.8緑藻5,243,0009.5クリプト藻4,687,0008.5珪藻4,118,0007.5藍藻3,964,0007.2珪藻2,510,0004.5緑藻1,680,0003.0クリプト藻1,484,0002.7藍藻1,375,0002.5珪藻1,243,0002.3珪藻718,0001.3緑藻707,0001.3藍藻675,0001.2珪藻648,0001.2	個体数   割合 (%)   学名   学名     学名	個体数   割合	個体数   割合

注)1.表中の種は、確認割合1.0%以上の種を示した。

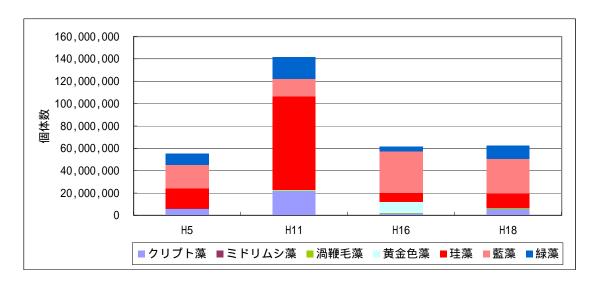


図 6.3.1-49 綱別確認個体数の推移:植物プランクトン

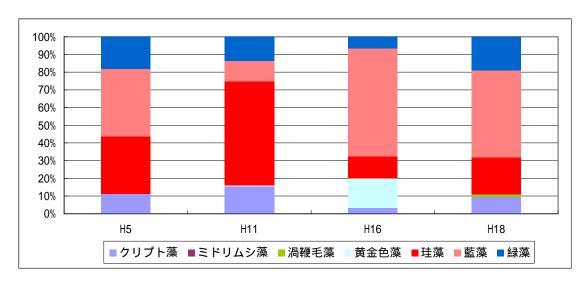


図 6.3.1-50 綱別確認割合の推移:植物プランクトン

## (b)動物プランクトン

## a)動物プランクトン相および優占種の変化の整理

ダム湖内及びその周辺で確認された動物プランクトンの優占種の一覧は表 6.3.1-23、ま たその推移については 図 6.3.1-51~図 6.3.1-52 に示すとおりである。

各調査年度で確認された動物プランクトンの総個体数は、平成5年度で約700,000個体、 平成 11 年度で約 80,000,000 個体、平成 16 年度で約 57,660,000 個体、平成 18 年度で約 189,740 個体となった。優占した門及び種は、平成 5 年度は繊毛虫の Epistylis sp、平成 11年度は繊毛虫の Strombidium viride、平成 16年度は繊毛虫の Tintinnidium fluviatile、 平成 18 年度は節足動物の Copepoda となった。

平成5年度で優占種となった Epistylis spは、初夏から秋季にかけて増加することが知 られている。

表 6.3	3.1-23	<b>長占種</b> €	の推移	多:動物プランクトン	/		
H5				ŀ	111		
学名	綱名	個体数	割合 (%)	学名	綱名	個体数	割合 (%)
Epistylis sp.	繊毛虫	153917	26.8	Strombidium viride	繊毛虫	26840094	33.7
Copepoda	節足動物	135494	23.6	Polyarthra trigla vulgaris	輪形動物	15217823	19.1
Keratella cochlearis f.macracantha	輪形動物	86552	15.1	Epistylis sp.	繊毛虫	12792093	16.1
Polyarthra trigla vulgaris	輪形動物	70369	12.3	Tintinnidium fluviatile	繊毛虫	5697172	7.2
Diurella stylata	輪形動物	31269	5.4	Codonella cratera	繊毛虫	2940861	3.7
Arcella vulgaris	肉質鞭毛虫	20000	3.5	Paradileptus sp.	繊毛虫	2630325	3.3
Bosminopsis deitersi	節足動物	16213	2.8	Copepoda	節足動物	1960719	2.5
Keratella quadrata quadrata	輪形動物	10057	1.8	CILIOPHORA	繊毛虫	1218197	1.5
Monostyla lunaris	輪形動物	10000	1.7	Conochilus unicornis	輪形動物	1060409	1.3
Synchaeta sp.	輪形動物	9788	1.7	Leucophrydium putrinum	繊毛虫	1032500	1.3
Bosmina longirostris	節足動物	8612	1.5	Asplanchna priodonta	輪形動物	984612	1.2
Kellicottia longispina longispina	輪形動物	6634	1.2	Diurella stylata	輪形動物	975770	1.2
H16				ŀ	<del>1</del> 18		
学名	綱名	個体数	割合(%)	学名	綱名	個体数	割合 (%)
Tintinnidium fluviatile	繊毛虫	2E+07	36.9	Copepoda	節足動物	27722	14.6
Codonella cratera	繊毛虫	2E+07	32.3	Codonella cratera	繊毛虫	27600	14.5
Carchesium sp.	繊毛虫	3E+06	6.3	Asplanchna priodonta	輪形動物	23856	12.6
Polyarthra trigla vulgaris	輪形動物	3E+06	5.8	Tintinnidium fluviatile	繊毛虫	22526	11.9
Carchesium polypinum	繊毛虫	2E+06	3.8	Synchaeta stylata	輪形動物	17249	9.1
Copepoda	節足動物	2E+06	3.7	Polyarthra trigla vulgaris	輪形動物	12987	6.8
Synchaeta stylata	輪形動物	1E+06	2.3	Carchesium sp.	繊毛虫	12500	6.6
Conochilus unicornis	輪形動物	1E+06	1.9	Kellicottia longispina longis		8747	4.6
Kellicottia longispina longispina	輪形動物	701133	1.3	Strombidium viride	繊毛虫	6250	3.3
Bosmina longirostris	節足動物	565380	1.0	Ceriodaphnia quadrangula		5715	3.0
-				Trichocerca capucina	輪形動物	4491	2.4
				Daphnia hyalina	節足動物	4330	2.3
				Cyclopoida	節足動物	3643	1.9
				Bosmina longirostris	節足動物	3432	1.8
				Dositilita lottyitostitis	即任劉彻	3432	1.0
				Conochilus unicornis	輪形動物	2539	1.3

注)1.表中の種は、確認割合1.0%以上の種を示した。

Ploesoma truncatum

輪形動物

2516

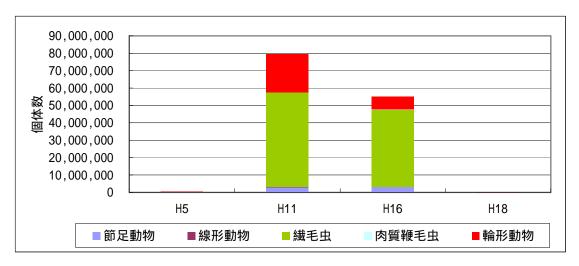


図 6.3.1-51 門別確認個体数の推移:動物プランクトン

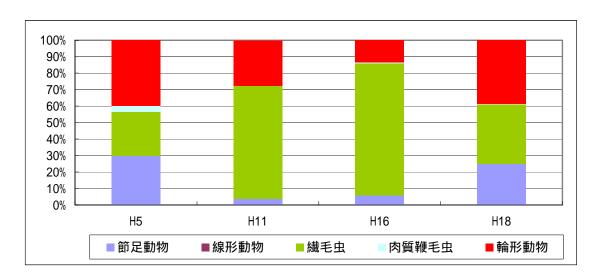


図 6.3.1-52 門別確認割合の推移:動物プランクトン

# 4)鳥類

ダム湖内における鳥類の調査は、これまでに計4回実施されているが、調査年度によって、 調査手法及び調査地点等が若干異なっている。

なお、調査手法については、平成 5 年度及び平成 9 年度は、ラインセンサス法及び定点観察法を中心とした調査を実施しているが、平成 14 年度ではこれらに加えて、環境に応じた確認調査(ラインセンサス法+定位確認法)が追加され、平成 19 年度ではラインセンサス法+スポットセンサス法、 定点センサス法、 船上センサス法など、 それぞれの調査対象種群に対して、効果的な調査手法となっている。

以上のように、鳥類調査については、調査手法及び調査地点等が変化していることから、 変化の整理にあたっては、各年度の全調査日の累積確認数を比較し、その推移を整理するこ ととした。なお、調査手法及び調査地点等の調査については、表 6.3.1-24 に示すとおりであ る。

表 6.3.1-24 調査内容一覧: 鳥類

				-10.0	. 1 - 24	台 見. 海炽	
調査年度		H5	Н9	H14	H18 • 19		
調査番号		2	6	12	18		
		下流	可川	-	-	ラインセンサス(5-1)	スポットセンサス(淀室下 1)
		ダム湖内		定点記録(P1~P3)	定点記録(P1~P3)	定点記録(P-1~P-3)	船上センサス(淀室湖 8)
一本		流入	可川	=	=	ラインセンサス(5-2)	スポットセンサス(淀室入 3)
調査 地点	区分	ダム	湖周辺	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス+定位記録法 (1,2,3,6) ラインセンサス(4-1,4-2) 夜間調査、移動中	ラインセンサス+スポットセンサス (淀室周 1~ 淀室周 3) 定点センサス(淀室周 4,淀室周 5) 夜間調査、移動中
		調査数	数量	7.2km (2回×1~2日)	7.2km (2回×1日)	3.9km (2回×2~3日)	-
		+=	春季	H5.5.28	H9.5.8	H14.5.8~10	-
ラインセ	2ンサス	調査	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.11	H14.6.13~14	-
		時期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.8	H14.10.8~9	-
		701	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.27	H15.1.28、30	-
		調査数	<del>)</del> 数量	-	-	-	センサス 2.1km+スポット 9 地点 (スポット 1 箇所 10 分)
ラインセ	センサス	≐囯	春季	-	<u>-</u>	-	H19.5.16 ~ 17
+ スポット	+ +>>/++ 7	調査	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23
ヘルット	ピノリス	時期	秋季	-	-	-	H18.10.12~13
		1	冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数	数量	-	-	-	9 地点(1 箇所 10 分)
		≑田	春季	-	-	-	H19.5.16~17
スポット	センサス	調  査  時	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23
			秋季	-	-	-	H18.10.12~13
			冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数量		-	-	1.3km+80 分	-
環境に応	環境に応じた確認 ラインセンサス法		春季	-	-	H14.5.8 ~ 10	-
			夏季	-	-	H14.6.13~14	-
	+ 2録法	·′′   査   時   期	秋季	-	-	H14.10.8~9	-
定位記録法		,,,,	冬季	-	-	H15.1.28、30	-
		調査数		-	-	-	1 箇所 30 分
			春季	-	-	-	H19.5.16
定点セ	ンサス	調査時期	夏季	-	-	-	H18.6.22
			秋季	-	-	-	H18.10.13
		,,,,	冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数		1 箇所[30 分 ≥ 3 回]	1 箇所[30 分×3 回]	1 箇所[30 分×3 回]	-
			春季	H5.5.28~29	H9.5.7	H14.5.8~10	-
定位記	己録法	調査時	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.12	H14.6.13~14	-
, r= 1± Ω		時期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.9	H14.10.8~9	-
		767	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	-
		調査数		-	-	-	- 2 人×1 日(80~85 分)
			春季	-	<u>-</u>	-	H19.5.16
船上七	ンサス	調査	夏季	-	<u>-</u>	-	H18.6.22
ᄱᅩᅩ		一時期	秋季	-	-	-	H18.10.12
		**/3	冬季	<u>-</u>	<u> </u>	-	H19.1.30
		調査数	<u>.                                    </u>	- 2人×1日	- 2人×1日	- 2人×1日	3人×1日(180分)
			春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.15
夜	間	調査	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13 ~ 14	H18.6.23
1.2	~	時期	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.10
		**/3	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	H19.1.29
		調査数		™.1 3人×1日	3人×1日	2人×2日	2 人×2 日
			数里 春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.16~17
移動中	の確認	調査時	夏季	H5.8			
1/ 3/1	-> um M/O	一時	秋季	H5.9	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.22 ~ 23
		期	冬季	H5.9 H6.1	H9.10.9 H10.1.26	H14.10.8~9 H15.1.28~30	H18.10.12 ~ 13 H19.1.30 ~ 31
		1	ミチ	110.1	1110.1.20	1110.1.20 - 30	1119.1.30 - 31

## (a) 鳥類相の変化の整理

これまでの調査においてダム湖内で確認された鳥類(水辺に生息する種)の一覧を 表 6.3.1-25 に示す。ダム湖を利用していた鳥類としては、これまでの調査において、カイツブリ科、ウ科、サギ科、カモ科、クイナ科、チドリ科、シギ科、カワセミ科の8科25種が確認されている。

これらの鳥類は、ダム湖の利用形態において、主にダム湖水面(開放水面)を利用する種と、 湖岸を利用する種があることから、利用形態毎に鳥類相の変化を整理した。

表 6.3.1-25 経年確認種一覧:鳥類(水辺に生息する種)

No.	目名	科名	種名(和名)		調査	年度	
NO.	日日	111	1里口(11口)	H5	Н9	H14	H18 • 19
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	12	9	8	7
2			アカエリカイツブリ	1			
3	ペリカン	ウ	カワウ	52	21	54	56
4		サギ	ゴイサギ	3	9	12	3
5			ササゴイ	4	1		
6			アマサギ			14	
7			ダイサギ			1	2
8			チュウサギ	1			
9			コサギ	1		2	
10			アオサギ	45	16	15	5
11	カモ	カモ	オシドリ	23	13	14	2
12			マガモ	73	66	30	77
13			カルガモ		37	25	54
14			コガモ	9	5	2	
15			ヒドリガモ		32		
16			カワアイサ				1
17	ツル	クイナ	バン	1			
18	チドリ	チドリ	コチドリ			2	
19			イカルチドリ			5	
20			ケリ	2			
21		シギ	キアシシギ				5
22			イソシギ			1	
23			オオジシギ		1		
24	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	9	11	5	2
25			カワセミ	4	4	7	
				15 種	13 種	16 種	11 種
		6目8科25種		240	225	197	214
				個体	個体	個体	個体

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認数を示している。

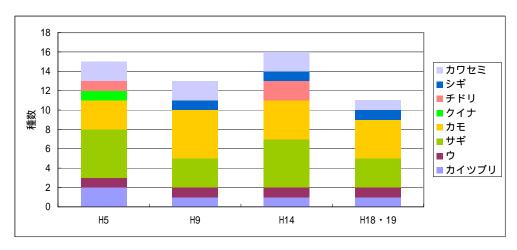


図 6.3.1-53 科別確認種数の推移:鳥類(水辺に生息する種)

## a)主にダム湖水面を利用する鳥類の変化の整理

これまでの調査において確認されたダム湖水面を利用する種の一覧は 表 6.3.1-26、また その推移は 図 6.3.1-54~図 6.3.1-56 に示すとおりである。

主にダム湖水面を利用している種としては、カイツブリ、カワウ、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ等が確認されており、このうち、カイツブリ、カワウ、オシドリ、マガモについては継続的に確認されている。一方、アカエリカイツブリ、バンは平成5年度に確認された以降は確認されておらず、ヒドリガモは平成9年度のみの確認である。このほか、カワアイサが平成18・19年度に新たに確認されている。

確認種数は 6~7種であり各年度間での変動は少なく、安定している。総個体数は、平成 14年度に減少しているものの、平成 18・19年度には増加しており、年変動はあるが減少傾向はみられなかった。

No.	日夕	刊夕	<b>猛夕(</b> 知夕)	調査年度				
NO.	. 目名		種名(和名)	H5	Н9	H14	H18 • 19	
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	12	9	8	7	
2			アカエリカイツブ リ	1				
3	ペリカン	ウ	カワウ	52	21	54	56	
4	カモ	カモ	オシドリ	23	13	14	2	
5			マガモ	73	66	30	77	
6			カルガモ		37	25	54	
7			コガモ	9	5	2		
8			ヒドリガモ		32			
9			カワアイサ				1	
10	ツル	クイナ	バン	1				
	4目4科10種			7種	7種	6種	6種	
				171	183	133	197	
				個体	個体	個体	個体	

表 6.3.1-26 経年確認種一覧:主にダム湖水面を利用する種

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認数を示している。

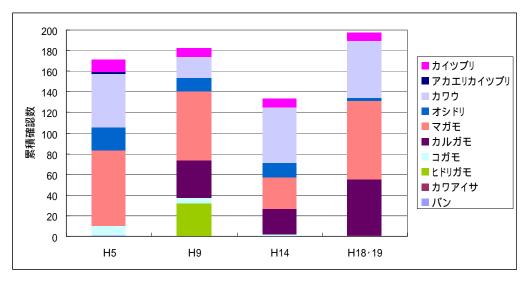


図 6.3.1-54 種別確認個体数の推移:主にダム湖水面を利用する鳥類

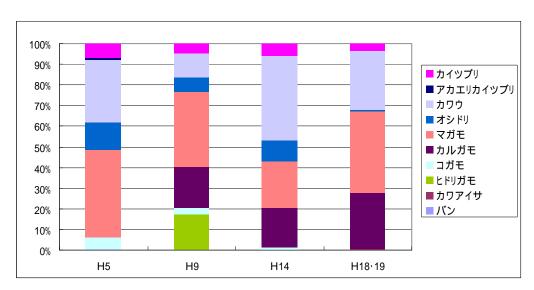


図 6.3.1-55 種別確認割合の推移:主にダム湖水面を利用する鳥類

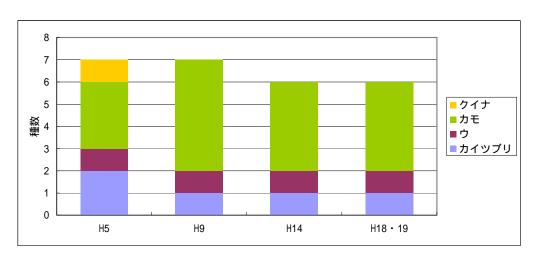


図 6.3.1-56 確認種数の推移:主にダム湖水面を利用する鳥類

## b)主にダム湖湖岸を利用する鳥類の変化の整理

これまでの調査において確認されたダム湖湖岸部を利用する種の一覧は 表 6.3.1-27、またその推移は 図 6.3.1-57~図 6.3.1-59 に示すとおりである。

主にダム湖湖岸を生息場所として利用する種としては、ゴイサギやアオサギ等のサギ類のほか、シギ・チドリ類、ヤマセミ、カワセミ等が確認されており、このうち、ゴイサギ、アオサギ、ヤマセミの3種については継続的に確認されている。また、カワセミについては、平成5年度から平成14年度まで確認されている。このほかの種については、ばらつきがみられ、特にシギ・チドリ類については単年度の確認となっている。また、平成18・19年度については、確認種数・個体数ともに少ない状況にある。

表 6.3.1-27 経年確認種一覧:主にダム湖湖岸を利用する鳥類

No	目名	科名	種名(和名)	調査年度			
	п	1710	作里位(作1位)	H5	Н9	H14	H18 • 19
1	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	3	9	12	3
2			ササゴイ	4	1		
3			アマサギ			14	
4			ダイサギ			1	2
5			チュウサギ	1			
6			コサギ	1		2	
7			アオサギ	45	16	15	5
8	チドリ	チドリ	コチドリ			2	
9			イカルチドリ			5	
10			ケリ	2			
11		シギ	キアシシギ				5
12			イソシギ			1	
13			オオジシギ		1		
14	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	9	11	5	2
15			カワセミ	4	4	7	
					6種	10種	5種
	3	8目4科15種	69	42	64	17	
				個体	個体	個体	個体

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認個体数を示している。

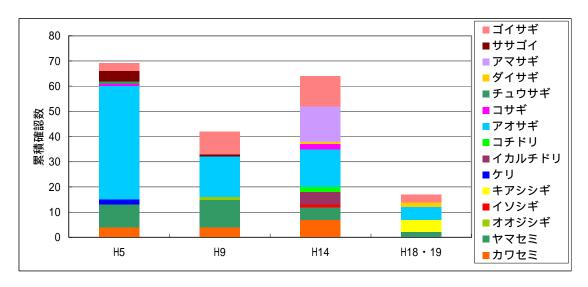


図 6.3.1-57 種別確認個体数の推移:主にダム湖湖岸を利用する鳥類

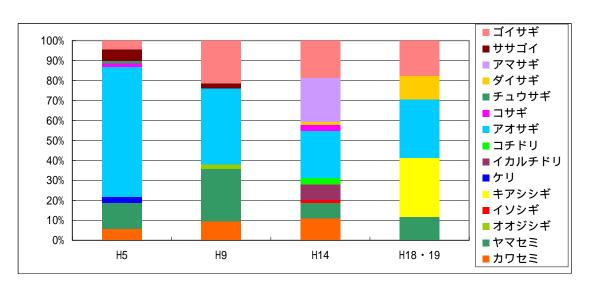


図 6.3.1-58 種別確認割合の推移:主にダム湖湖岸を利用する鳥類

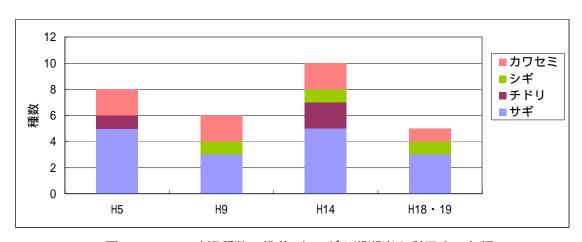


図 6.3.1-59 確認種数の推移:主にダム湖湖岸を利用する鳥類

#### (b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖内で確認された水辺に生息する種の重要種の一覧は 表 6.3.1-28、またその推移は図 6.3.1-60~図 6.3.1-62 に示すとおりである。

ダム湖内における重要種の種数については、ゴイサギ、ササゴイ、チュウサギ、オシドリ、カワアイサ、コチドリ、イカルチドリ、キアシシギ、イソシギ、オオジシギ、ヤマセミの 11種が確認されており、このうち、ゴイサギ、オシドリ、ヤマセミの 3種が継続的に確認されている。また、ササゴイは平成 5年度から平成 9年度、カワアイサは平成 18・19年度にそれぞれ確認されている。シギ・チドリ類に関しては、単年度の確認である。

個体数についてみると、ゴイサギは平成5年度から平成14年度にかけて増加傾向にあったが、平成18・19年度には減少に転じている。また、オシドリ及びヤマセミは近年減少傾向にある。総じて、平成19年度における確認個体数は少ない状況にある。

No.	科名	名 種名(和名)		選定基準			調査年度				
NO.	NO.   科石	俚句(和句)	1	2	3	4	5	H5	Н9	H14	H18 · 19
1	サギ	ゴイサギ					注目	3	9	12	3
2		ササゴイ				準絶	不足	4	1		
3		チュウサギ			NT	準絶	不足	1			
4	カモ	オシドリ			DD	準絶	注目	23	13	14	2
5		カワアイサ					希少				1
6	チドリ	コチドリ				準絶				2	
7		イカルチドリ				準絶	希少			5	
8	シギ	キアシシギ				危惧					5
9		イソシギ				準絶	希少			1	
10		オオジシギ			NT				1		
11	カワセミ	ヤマセミ					希少	9	11	5	2
								5種	5種	6種	5種
	5科1	1種	0種	0種	3種	7種	8種	40	35	39	13
								個体	個体	個体	個体

表 6.3.1-28 経年確認種一覧:重要種

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認個体数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:近畿レッド 5:奈良県 RDB

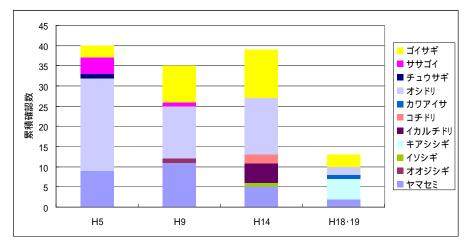


図 6.3.1-60 種別確認個体数の推移:重要種

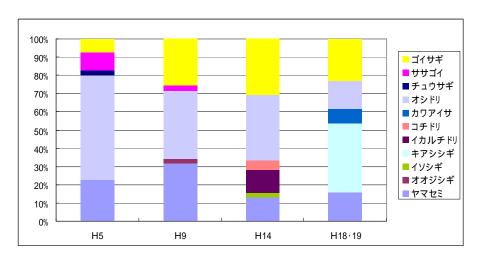


図 6.3.1-61 種別確認割合の推移:重要種

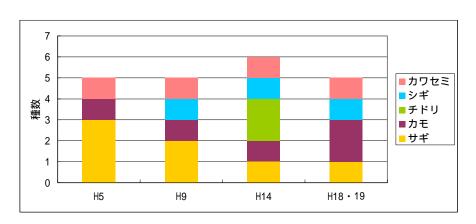


図 6.3.1-62 確認種数の推移:重要種

## (c)外来種の変化の整理

これまでの調査では、ダム湖内において外来種は確認されていない。

## (2)ダムによる影響の検証

ダムの存在・供用に伴って、室生ダム湖内に生じる環境条件の変化により、ダム湖内等に生息する多様な生物の生息・生育環境に影響を及ぼすものと想定される。

そこで、室生ダム湖内における環境条件の変化、またそれにより生じる生物の生息・生育状況の変化を図 6.3.1-63 のとおり整理し、生物の生息・生育状況の変化の検証を行った。

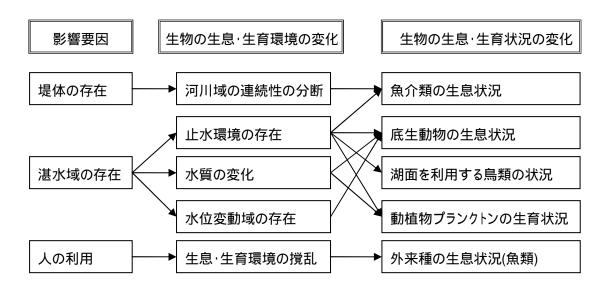


図 6.3.1-63 生物の生息・生育状況の変化と影響要因

# 1)ダム湖内の生物の生息・生育状況の変化の整理結果

# (a)魚介類

a) 魚類の生息状況の変化の整理結果

魚類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.1-29 に示す。

表 6.3.1-29 ダム湖内における魚類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
魚類相の 変化	種数	・平成 4 年度は 11 種の確認であったが、経年的に増加し、平成 19年度では 26 種と、約 2.5 倍になっている。
生息状況の変化	優占種の変化	・平成 4 年度はギンブナ、平成 5 年度はオイカワが優占し、平成 8 年度から 19 年度にかけては、概ね 3~4 種が各 10~25%の割合で確認されており、平成 19 年度ではウキゴリ、オイカワ、コウライモロコの確認割合が 20%前後となっている。 ・平成 19 年度では、ブルーギルが増加する傾向がみられている。
	ダム湖内に生息 する魚類の状況	・主な構成種は、フナ類やニゴイ類等のコイ科魚類、ナマズ、ブルーギル、オオクチバスで、平成4年度から継続的に確認されている。 ・確認個体数は、年度によって変動している。 ・確認割合は、ギンブナが減少傾向する一方で、ニゴイ類が増加、また平成19年度にはブルーギルが増加する傾向を示している。
	回遊性魚類の状況	・回遊性種は、これまでの調査で6種確認されている。 ・平成8年度まではトウヨシノボリが確認割合のほとんどを占めていたが、平成13年度から減少、ウキゴリやヌマチチブが増加傾向を示し、平成19年度ではウキゴリが半数以上を占めている。 ・アユについては、室生ダムにおいて、再生産されていることが明らかとなっている。
	重要種の状況	自然分布と考えられる種 ・継続的に確認されているのはギギであり、平成5年度から確認され始めたウキゴリは、平成19年度に増加する傾向がみられる。放流等が由来と考えられる種 ・継続的な確認は少なく、スゴモロコやホンモロコ、アユといった種がある年度に多数確認されることがある。 ・ゲンゴロウブナはダム湖内、アユは流入河川に、毎年放流が実施されており、アユについて再生産が確認されている。
	外来種の状況	・平成 4 年度から継続的にブルーギル及びオオクチバス(ブラックバス)が確認され、平成 19 年度ではブルーギルの増加が著しい。 ・平成 13 年度以降にタウナギが確認されている。

# b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.1-30 に示す。

表 6.3.1-30 ダム湖内におけるエビ・カニ・貝類の生息状況の変化の整理結果

7	検討項目	変化の状況		
エビ・カ	種数	・平成4年度から平成8年度にかけて確認種数は増加する傾向にあ		
│二・貝類 │相の変化		るが、平成 8 年度から平成 13 年度にかけては横ばいになってい		
他の変化		る。		
生息状況	ダム湖内に生息	・確認個体数は平成4年度から平成8年度までは増加傾向にあった		
の変化	するエビ・カニ・	が、以降平成 13 年度にかけては、減少に転じている。これはス		
	貝類の状況	ジエビの確認個体数に起因する。		
		・確認割合は、経年とともに、タニシ類が減少、スジエビ等のエビ		
		類が増加傾向にある。		
	重要種の状況	・これまでの調査では、オオタニシ、モノアラガイ、マシジミの3		
		種が確認されているが、そのほとんどは単年度の確認であり、個		
		体数も少ない。		
	外来種の状況	・平成 13 年度にアメリカザリガニが 2 個体確認されている。		

# (b)底生動物の生息状況の変化の整理結果

底生動物の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.1-31 に示す。

表 6.3.1-31 ダム湖内における底生動物の生息状況の変化の整理結果

	 検討項目	変化の状況
底生動物 相の変化	種数	・平成 5 年度が 5 種と最も少なく、平成 7 年度では 27 種、平成 12 年度では 71 種と増加するが、平成 17 年度では 44 種、平成 20 年 度では 39 種と減少に転じている。 ・平成 12 年度から平成 20 年度にかけての減少の主要因は、ヒラタ カゲロウ類やシマトビケラ類といった流水性種であった。
生息状況の変化	優占種の変化 ダム湖湖岸に生 息する底生動物 の状況	・ダム湖の深部では、イトミミズ科及びユスリカ科の2種が継続的に確認されているが、そのほとんどは強腐水性種となっている。・ダムサイトに近い最深部(基準点)では、無生物となる状態もしばしば見受けられる。 ・平成7年度は26種、平成12年度では69種が確認されていたが、平成17年度では44種、平成20年度では35種と減少している。・確認種数が最も多い平成12年度は、カゲロウ目、トンボ目、八工目といった種群が多く、これらの多くは流水性種である。
	重要種の状況 外来種の状況	・平成 7 年度調査時にオオタニシ 4 個体、平成 17 年度調査時にコオイムシが 2 個体、平成 20 年度にホンサナエが 8 個体、アオサナエが 3 個体確認されている。 ・平成 12 年度にサカマキガイ及びアメリカザリガニが各 1 個体、平成 20 年度にコシダカヒメモノアラガイが 1 個体確認されている。

# (c)動植物プランクトンの生息・生育状況の変化の整理結果

a)植物プランクトン

植物プランクトンの生育状況の変化の整理結果を表 6.3.1-32 に示す。

表 6.3.1-32 ダム湖内における植物プランクトンの生育状況の変化の整理結果

検診	付項目	変化の状況
植物 プランクト ン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度が59種、平成11年度は94種、 平成16年度は64種、平成18年度は37種と、増減している。
生育状況の変化	優占種の変化	<ul><li>・平成5年度及び平成16年度、平成18年度は藍藻類で、平成11年度は珪藻類であった。</li><li>・季節的には、夏季は藍藻類、緑藻類、秋季から冬季かけては珪藻類が優占する傾向がみられている。</li></ul>

## b)動物プランクトン

動物プランクトンの生息状況の変化の整理結果を表 6.3.1-33 に示す。

表 6.3.1-33 ダム湖内における動物プランクトンの生息状況の変化の整理結果

検診	付項目	変化の状況
動物 プランクト ン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度が30種、平成11年度は65種、 平成16年度は62種、平成18年度は31種と、増減している。
生息状況 の変化	優占種の変化	・これまでの調査において、原生生物である繊毛虫類が優占する傾向がみられている。

## (d) 鳥類の生息状況の変化の整理結果

鳥類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.1-34 に示す。

表 6.3.1-34 ダム湖内における鳥類の生息状況の変化の整理結果

7	検討項目	変化の状況
鳥類相の 変化	種数	・調査実施年度によって、11~16種とばらつきがみられるが、確認種数の大きな変動はなく、比較的安定している。
生息状況の変化	ダム湖内 (開放水面)を 利用する 鳥類の状況 ダム湖湖岸を 利用する鳥類の 状況	<ul> <li>・水辺を利用する種として、カイツブリ、カワウ、オシドリ、マガモが継続的に確認されている。また、カルガモは平成9年度から平成18・19年度、コガモは平成5年度から平成14年度まで継続して確認されている。</li> <li>・その他の種については、いずれも単年度の確認となっている。</li> <li>・確認個体数は平成14年度にかけては一時増加する傾向がみられたが、以降は減少する傾向にある。</li> <li>・水辺を利用する種として、ゴイサギ、アオサギ、ヤマセミが継続して確認され、カワセミが平成18・19年度以外で確認されている。</li> </ul>
	重要種の状況	その他の種については、単年度の確認が多い状況にある。 ・これまでの調査で確認されている重要種は、11種で、このうち、ゴイサギ、オシドリ、ヤマセミについては、継続的に確認されている。また、その他の種については、単年度の確認が多い状況にある。 ・重要種の確認種数は大きな変化はないものの、確認個体数において、平成18・19年度に減少がみられる。

# 2)ダムの存在・供用による生物への影響の整理結果

# (a)魚介類

## a)魚類

ダムの存在・供用による魚類への影響の整理結果を表 6.3.1-35 に示す。

表 6.3.1-35 ダムの存在・供用による魚類への影響の整理結果

検言	寸 項 目	ダムの存在・供用に伴う影響
魚類相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在
	ダム湖内に生息する魚類	・止水環境の存在
	の状況	
	回遊性魚類の状況	・止水環境の存在
		・河川域の連続性の分断(水質保全ダムの存
		在を含む)
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

# b)エビ・カニ・貝類

ダムの存在・供用によるエビ・カニ・貝類への影響の整理結果を表 6.3.1-36 に示す。

表 6.3.1-36 ダムの存在・供用によるエビ・カニ・貝類への影響の整理結果

検言	寸 項 目	ダムの存在・供用に伴う影響
エビ・カニ・貝類相	種数	・止水環境の存在
の変化		
生息状況	ダム湖内に生息する	・止水環境の存在
の変化	エビ・カニ・貝類の状況	
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

## (b)底生動物

ダムの存在・供用による底生動物への影響の整理結果を表 6.3.1-37 に示す。

表 6.3.1-37 ダムの存在・供用による底生動物への影響の整理結果

検 討	項目	ダムの存在・供用に伴う影響
底生動物相の変化	種数	・止水環境の存在
		・水質の変化
生息状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在
		・水質の変化
	ダム湖湖岸に生息する	・止水環境の存在
	底生動物の状況	・ダム湖湖岸の水位変動域の存在
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

# (c)動植物プランクトン

# a)植物プランクトン

ダムの存在・供用による植物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.1-38 に示す。

表 6.3.1-38 ダムの存在・供用による植物プランクトンへの影響の整理結果

検	討 項 目	ダムの存在・供用に伴う影響
植物プランクトン 相の変化	種数	・止水環境の存在 ・水質の変化
生育状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在 ・水質の変化

## b)動物プランクトン

ダムの存在・供用による動物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.1-39 に示す。

表 6.3.1-39 ダムの存在・供用による動物プランクトンへの影響の整理結果

検	討 項 目	ダムの存在・供用に伴う影響
動物プランクトン 相の変化	種数	・止水環境の存在 ・水質の変化
生息状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在 ・水質の変化

# (d)鳥類

ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果を表 6.3.1-40 に示す。

表 6.3.1-40 ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
鳥類相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化	ダム湖内に生息する鳥類の状況	・止水環境の存在
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

## 3)ダムの存在・供用以外の考えうる因子の整理結果

## (a)魚介類

## a)魚類

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による魚類への整理結果を表 6.3.1-41 に示す。

表 6.3.1-41 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による魚類への影響の整理結果

1	焕 討 項 目	ダムの存在以外の影響
魚類相の変化	種数	・放流(漁業・遊漁)
生息状況の変化	優占種の変化	・放流(漁業・遊漁)
	ダム湖内に生息する魚類の状況	・放流(漁業・遊漁)
	回遊性魚類の状況	・放流(漁業・遊漁)
	重要種の状況	・放流(漁業・遊漁)
	外来種の状況	・放流(漁業・遊漁)

## (b)動植物プランクトン

## a)植物プランクトン

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による植物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.1-42 に示す。

表 6.3.1-42 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による

植物フ	゚゚ヺンク	トンヘ	の影響の	の整理結果

検討	ダムの存在以外の影響		
植物プランクトン相の変化	種数	・ダム湖への流入水質	
生育状況の変化	優占種の変化	・ダム湖への流入水質	

## b)動物プランクトン

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による動物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.1-43 に示す。

表 6.3.1-43 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による

## 動物プランクトンへの影響の整理結果

検討	項目	ダムの存在以外の影響
動物プランクトン相の変化	種数	・ダム湖への流入水質
生息状況の変化	優占種の変化	・ダム湖への流入水質

# 4)ダム湖内の生物の変化に対する影響の検証結果

# (a)魚介類

# a)魚類

魚類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.1-44 に示す。

表 6.3.1-44(1) ダム湖内の魚類の変化に対する影響の検証結果

			X X   O   - /	3 7 9 37 11	- 15 (HTT))-14
検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供 用に伴う 影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果
魚類相の変化	種数	・平成4年度は11種の確認であったが、 経年的に増加し、平成19年度では26 種と、約2.5倍になっている。	・止水環境の存在	・放流 (漁 業・遊漁)	・アユやゲンゴロウブ ナカ 放流に随伴し て、あるいはオオク チバス(ブラックバ ス)、ブルーギルのよ うに、意図的に放流 された魚類が多くと 着しているものと考 えられる。
生息状況の変化	優占種の変化	・平成 4 年度はギンブナ、平成 5 年度は オイカワが優占し、平成 8 年度から 19 年度にかけては、概ね 3~4 種が各 10 ~25%の割合で確認されており、平成 19 年度ではウキゴリ、オイカワ、コウラ イモロコの確認割合が 20%前後となっ ている。 ・平成 19 年度では、ブルーギルが増加す る傾向がみられている。	・止水環境 の存在	・放流 (漁 業・遊漁)	・調では、   ・調を   ・調を   ・調を   ・調を   ・調を   ・調を   ・調を   ・調を   ・記を   ・記を
	ダム湖内に生息する魚類の状況	・主な構成種は、フナ類やニゴイ類等の コイ科魚類、ナマズ、ブルーギル、オ オクチバスで、平成 4 年度から継続的 に確認されている。 ・確認個体数は、年度によって変動して いる。 ・確認割合は、ギンブナが減少傾向する 一方で、ニゴイ類が増加、また平成 19 年度にはブルーギルが増加する傾向を 示している。	・止水環境 の存在	・放流(漁 業・遊漁)	・調でを ・調でを ・調を ・調を ・調を ・調を ・調を ・調を ・調を ・調

# 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

表 6.3.1-44(2) ダム湖内の魚類の変化に対する影響の検証結果

記述れている。	検証結果	ダムの 字在以外 検証結果 の影響	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	変化の状況	寸項目	検討
要 ・継続的に確認されているのはギギであ 存在 業・遊漁) 種 り、平成 5 年度から確認され始めたウ ポイン キゴリは、平成 19 年度に増加する傾向 況 がみられる。	・水質保全ダムが設置された質保全ダムが設置前では12年大め、12年大きで、他ではないでは、大きでは、大きででは、大きででは、大きででは、大きででは、大きででは、大きでは、大き	で、種構成が大きくには、で、種構成が大きくにしているため、には、影響がでいる可能性がでいる。・確認されている種のは、継続的に確認されている種のは、といい。を封・再産している可能性	存在 ・河川域の連 続性の分 断(水質保 全ダムの 存在を含	認されている。 ・平成 8 年度まではトウヨシノボリが確認割合のほとんどを占めていたが、平成 13 年度から減少、ウキゴリやヌマチチブが増加傾向を示し、平成 19 年度で	性無類の	生息状況の変化
・継続的な確認は少なく、スゴモロコや ホンモロコ、アユといった種がある年 度に多数確認されることがある。 ・ゲンゴロウブナはダム湖内、アユは流 入河川に、毎年放流が実施されている。	自るにれ水影れ きにとれ ブルの はいにれ 水影れ えい が 世にとれ が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	業・遊漁) る種 ・種によが、種によが、種によが、種によが、種でかに種でからのののでは、でである。 一番 でいて でき でいた でき	存在 ・止水環境の 存在	・継続的に確認されているのはギギであり、平成5年度から確認され始めたウキゴリは、平成19年度に増加する傾向がみられる。放流等が由来と考えられる種・継続的な確認は少なく、スゴモロコやホンモロコ、アユといった種がある年度に多数確認されることがある。・ゲンゴロウブナはダム湖内、アユは流入河川に、毎年放流が実施されている。	の状況 外来種	

# 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.1-45 に示す。

表 6.3.1-45 ダム湖内のエビ・カニ・貝類の変化に対する影響の検証結果

検	討項目	変化の状況	ダムの存 在・供用に 伴う影響	ダムの存 在以外の 影響	検証結果	
エビ・カニ・貝類相の変化	種数	・平成4年度から平成8年度にかけて確認 種数は増加する傾向にあるが、平成8年 度から平成13年度にかけては横ばいに なっている。	・止水環境の 存在	-	・エビ類は河川緩流部 やダム湖を恒常的和 生息環境として利用 している。 ・エビ類以外は流入河 川等から一時的に流 下してきたものであ ると考えられる。	×
生息状況の変化	エビ・カニ・貝類の状況ダム湖内に生息する	・確認個体数は平成 4 年度から平成 8 年度 までは増加傾向にあったが、以降平成 13 年度にかけては、減少に転じている。こ れはスジエビの確認個体数に起因する。 ・確認割合は、経年とともに、タニシ類が 減少、スジエビ等のエビ類が増加傾向に ある。	・止水環境の 存在	-	・平成8年度から平成 13年度にかけてのス ジエビの減少は、肉 食性魚類等の影響が 及んでいる可能性が あるが、変化の要因 については不明であ る。	
	重要種の状況	・これまでの調査では、オオタニシ、モノアラガイ、マシジミの3種が確認されているが、そのほとんどは単年度の確認であり、個体数も少ない。	・止水環境の 存在	-	・確認された重要種は、 水位変動の大きなダ ム湖を好適な生息環 境とはしないことか ら、周辺環境から一 時的に移動してきた 個体が確認された可 能性がある。	
	外来種の状況	・平成 13 年度にアメリカザリガニが 2 個体確認されている。	・止水環境の 存在 ・生息環境の 攪乱	-	・止水環境の存在により生息が可能になったと考えられるが、 定着しているかどうかは不明である。	

## 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (b)底生動物

底生動物の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.1-46 に示す。

表 6.3.1-46 ダム湖内の底生動物の変化に対する影響の検証結果

_		20.5.1-40 ノム内内の元			
	制	変化の状況	ダムの存 在・供用に 伴う影響	ダムの 存在以 外の影 響	検証結果
底生動物相の変化	種数	<ul> <li>・平成5年度が5種と最も少なく、平成7年度では27種、平成12年度では71種と増加するが、平成17年度では44種、平成20年度では39種と減少に転じている。</li> <li>・平成12年度から平成20年度にかけての減少の主要因は、ヒラタカゲロウ類やシマトビケラ類といった流水性種であった。</li> </ul>	・止水環境 の存在 ・水質の変 化	-	・確認種数の増減については、主に流水性種の出現状況に左右されており、このような状況は、ダム湖の貯水位、調査箇所・採取回数等の仕事量の影響によると考えられる。 ・水質保全ダムの設置以降に、強調を表が減少し、調査を表が減少し、の設置以降に、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、
	優占種の変化	・ダム湖の深部では、イトミミズ科及び ユスリカ科の2種が継続的に確認され ているが、そのほとんどは強腐水性種 となっている。 ・ダムサイトに近い最深部(基準点)では、 無生物となる状態もしばしば見受けら れる。	・止水環境 の存在 ・水質の変 化	-	・ダム湖底の嫌気化といった 環境条件の変化による可 能性があると考えられる。
生息状況の変化	底生動物の状況ダム湖湖岸に生息する	<ul> <li>・平成7年度は26種、平成12年度では69種が確認されていたが、平成17年度では44種、平成20年度では35種と減少している。</li> <li>・確認種数が最も多い平成12年度は、カゲロウ目、トンボ目、八工目といった種群が多く、これらの多くは流水性種である。</li> </ul>	・止水環境 の存在 ・ダム湖 岸動域 存在	-	・確認種数の増減については、主に流水性種の出現状況に左右されており、このような状況は、ダム湖の貯水量の影響によると考えられる。 ・水質保全ダムの設置以降に、確認種数が減少していることから、宇陀川流の領境の変化が影響を与えている可能性もあると推察される。
	重要種の状況	・平成7年度調査時にオオタニシ4個体、 平成17年度調査時にコオイムシが2 個体、平成20年度にホンサナエが8 個体、アオサナエが3個体確認されている。	・止水環境 の存在	-	・確認された重要種は、水位 変動の大きなダム湖を好 適な生息環境とはしない ことから、周辺環境から一 時的に移動してきた個体 が確認された可能性があ る。
	外 状種 の	・平成 12 年度にサカマキガイ及びアメリカザリガニが各 1 個体、平成 20 年度にコシダカヒメモノアラガイが 1 個体確認されている。	・止水環境 の存在 ・生息環境 の攪乱	・魚類の放 流(漁 業・遊 漁)	<ul><li>・止水環境の存在により生息 が可能になったと考えられるが、定着しているかど うかは不明である。</li></ul>

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの x:変化がほとんどみられないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (c)動植物プランクトン

a)植物プランクトン

植物プランクトンの変化に対する影響の検証結果を表 6.3.1-47 に示す。

表 6.3.1-47 ダム湖内の植物プランクトンの変化に対する影響の検証結果

検討項目		変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う 影響	ダムの 存在以外 の影響	E以外検証結果		
トン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度 は59種、平成11年度は94種、平 成16年度は64種、平成18年度は 37種と、増減している。	・止水環境の 存在 ・水質の変化	・ダム湖へ の 流 入 水質	・確認種数の増加や減少は、 同定技術の進歩や調査時 期によるものが大きく、環 境の変化による影響は確 認できなかった。	$\triangle$	
生育状況の変化	優占種の変化	・平成5年度、平成16年度及び平成18年度は藍藻類で、平成11年度は珪藻類であった。 ・季節的には、夏季は藍藻類、緑藻類、秋季から冬季かけては珪藻類が優先する傾向がみられている。	・止水環境の 存在 ・水質の変化	・ダム湖へ の 流 入 水質	・止水環境に適応した種が 優占していると考えられる。 ・夏季にアオコの発生原因 である藍藻類が多くみられるが流入河川の水質や ダム湖の存在等、複合的な要因があるものと考えられる。	•	

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## b)動物プランクトン

動物プランクトンの変化に対する影響の検証結果を表 6.3.1-48に示す。

表 6.3.1-48 ダム湖内の動物プランクトンの変化に対する影響の検証結果

検討項目		変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
トン相の変化 動物プランク	種数	・確認種数については、平成5年 度は30種、平成11年度は65 種、平成16年度は62種、平成 18年度は33種と、増減してい る。	・止水環境の 存在 ・水質の変化	<ul><li>・ダム湖へ の流入水 質</li></ul>	・確認種数の増加や減少は、 同定技術の進歩や調査時 期によるものが大きく、環 境の変化による影響は確 認できなかった。	$\triangle$
生息状況	優占種の変化	・経年を通して、原生生物である 繊毛虫類が優占する傾向がみら れている。	・止水環境の 存在 ・水質の変化	・ダム湖へ の流入水 質	<ul><li>・止水環境に適応した種が優占していると考えられる。</li><li>・流入河川の水質やダム湖の存在等、複合的な要因があるものと考えられる。</li></ul>	•

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (d) 鳥類

鳥類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.1-49 に示す。

表 6.3.1-49 ダム湖内の鳥類への変化に対する影響の検証結果

	表 0. 3. 1-49 ダム湖内の烏頬への変化に対する影響の検証結果												
検討項目		変化の状況	ダムの存 在・供用に 伴う影響	ダムの存 在以外の 影響	検証結果								
の 鳥変 相	種数	・調査実施年度によって、11~16種と ばらつきがみられるが、確認種数の 大きな変動はなく、比較的安定して いる。	・止水環境の 存在	_	・安定した水面と湖岸環境が形成されているものと考えられる。	•							
生息状況の変化	鳥類の状況	・水辺を利用する種として、カイツブリ、カワウ、オシドリ、マガモが継続的に確認されている。また、カルガモは平成9年度から平成18・19年度、コガモは平成5年度から平成14年度まで継続して確認されている。・その他の種については、いずれも単年度の確認となっている。	・止水環境の 存在	_	・開放水面で開けた水 ・開放水面で開けた水 ・開放水面ので開けるにあるに ・開放水面ので ・開放水面ので ・開放水面ので ・開放水面ので ・開放水面ので ・開放れるので ・現のので ・一をはいのので ・一をはとるで ・地でで ・地でで をいるので ・地で が大き。 ・整理をはるので が大き。 ・変が大き。 ・変が大き。 ・変が大き。 ・繁殖が大き。 ・繁殖が大き。 ・繁殖が大き。 ・繁殖が大き。 ・変がたる。 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がながなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、 ・変がなが、	•							
	ダム湖湖岸に生息する鳥類の状況	・確認個体数は平成 14 年度にかけては一時増加する傾向がみられたが、以降は減少する傾向にある。 ・水辺を利用する種として、ゴイサギ、アオサギ、ヤマセミが継続して確認され、カワセミが平成 18・19 年度以外で確認されている。その他の種については、単年度の確認が多い状況にある。	・止水環境の 存在	_	・浅い水溶湿性植物群 落の水溶湿性植物群用 を湿地等をは地等を を湿地等を を湿地等で を湿めるで ではいので をいずを ではいかに ではいかに がいるので がいるので がいるので が大きので が大きので があるで が大きので があるで があるで があるで があるで がたる。 をで がたる。 をで がたる。 をで がたる。 をで があるが がった。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・	•							
	重要種の状況	・これまでの調査で確認されている重要種は、11種で、このうち、ゴイサギ、オシドリ、ヤマセミについては、継続的に確認されている。また、その他の種については、単年度の確認が多い状況にある。 ・重要種の確認種数は大きな変化はないものの、確認個体数において、平成18・19年度に減少がみられる。	・止水環境の 存在 ・生息環境の 攪乱	_	・浅いかる。や湿性植物群用や湿性を利用をでなる。や湿地等をは地等になるを湿地等では変増があるに、環境があるに、環境があるが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	•							
	の 状 種	<ul><li>・これまでの調査において、外来種は 確認されていない。</li></ul>	_	_	_	_							

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 6.3.2. 流入河川における変化の検証

#### (1)生物の生息・生育状況の変化の検証

#### 1)魚介類

#### (a)魚類

魚類の調査は、これまでに計 5 回実施されている。しかし、各調査年度ともに、実施した調査地点数や調査回数が異なっている。そのため、魚類の変化の整理にあたっては、調査地点数及び調査回数を考慮に入れて、1 地点/調査回あたりの確認個体数を算出し、比較することとした。

各調査年度における流入河川の調査地点数及び調査回数は、表 6.3.2-1 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.3.2-2 に示すとおりであり、経年とともに調査手法が多様化する傾向がみられる。

また、流入河川については、本流となる宇陀川のほか、市街地を貫流し流入する天満川、 山間渓流となる深谷川の3河川で実施しており、それぞれ河川の特徴が異なることから、流 入河川全体の変化を示すとともに、各河川についても変化を整理することとした。

また、調査実施時における流入河川の水位は、図 6.3.2-1~図 6.3.2-5 に示すとおりである。

調査年度 調査地点数 及び回数 Н4 Н5 Н8 H13 H19 宇陀川 1 1 1 1 調査 天満川 1 1 1 1 1 地点数 深谷川 1 1 調査回数 1 調査時期 8月・10月 9月 7月・10月 8月・10月 6月・8月

表 6.3.2-1 調査実施状況一覧: 魚類

室生ダム定期報告書 6章 生物

# 表 6.3.2-2 調査内容一覧: 魚介類

	調査地区調査地区														
区分		H4		H5		H8		H13		l19	H4	H5	H8	H13	H19
調査番号		1		2		5		11		19	1	2	5	11	20
下流河川					No.1	下流河川 (宇陀川)	St.1	下流河川	淀室下 1	ダムサイト 直下	-	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 80 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回 · (18mm)20 回、 タモ網 150 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本、潜水観察 0.5h	投網(12mm)20 回 · (18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、 セルびん 4 個、どう2 個、 カゴ網 2 個、潜水観察 2h
	St.2	湖心	St.3	湖底の 平らな部分	No.2	湖内湾入部	St.2	湖肢	淀室湖 2	湖岸部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(18mm)中層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 セルびん 10 個、はえなわ 4 本、 カニカゴ 4 個、どう 4 個	刺網(15mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 セルびん 2 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
									淀室湖 3	宇陀川流入部	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
							St.9	河川流入部	淀室湖 6	深谷川流入部	-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 投網(12mm)10 回・(18mm)20 回、 タモ網 140 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回 · (18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m · 中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
ダム	St.3	天満川 流入部	St.2 (1)	天満川 流入部	No.3	河川流入点 (天満川)	St.3	河川流入部	淀室湖 7	天満川 流入部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 投網(12mm)20 回・(18mm)15 回、 タモ網 120 分、セルびん 15 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚·中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 2 枚、 投網(12mm)20 回 · (18mm)10 回、 タモ網 110 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本	投網(12mm)10 回、(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
湖	St.4	宇陀川流入部	St.1(1) St.1(2)	宇陀川 流入部	No.5	河川流入点 (宇陀川)	St.5	ダム湖内			刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個。 はなわ 12 本 カニカゴ 2 個 投網:(12mm)10 回・(18mm)10 回、 潜水 30 分	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表層 180m・ 投網(12mm)17 回・(18mm)18 回、 タモ網 120 分、セルびん 16 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚、 タモ網 20 分	-
	St.1-1	ダムサイト									刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	-	-	-	-
	St.1-2	ダムサイト (船着場)									モンドリ、目視	-	-	-	-
		(周1年23)					St.7	最深部			-	-	-	刺網(15mm)表層 2 枚·中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 1 枚	-
							St.8	河川流入部			-	-	-	新綱(15mm)表層 1 枚、底層 1 枚 刺綱(50mm)表層 2 枚、 投綱(12mm)15 回 · (18mm)25 回、 タモ網 90 分、セルびん 4 個、 はえなわ 1 本	-
							St.10	流入河川	淀室入 1	流入河川深谷川	-	-	-	投網(18mm)21 回、タモ網 75 分、 セルびん 4 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
流入 河川	St.6	流入河川	St.2 (2)	天満川 流入部	No.4	流入河川 (天満川)	St.4	流入河川	淀室入 2	流入河川 天満川	投網(12mm)3 回	投網(12mm)10 回 · (18mm)10 回、 タモ網 60 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 70 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回・(18mm)2 回、 タモ網 105 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
	St.5	宇陀川 (高倉橋 付近)			No.6	流入河川 (宇陀川)	St.6	流入河川	淀室入3	流入河川 宇陀川	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回 タモ網	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 60 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)25 回 · (18mm)26 回、 タモ網 120 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本、潜水観察 20 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
その 他									淀室他 1	水質保全ダ ム 湛水域	-	-	-	-	投網(12mm)10 回·(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m·中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
		-		-	ļ	-		-	初]	夏季	-	-	-	-	H19.6.5 ~ 9
時期		夏季	ļ	-		夏季		夏季	夏	季	H4.8.12 ~ 14	-	H8.7.23 ~ 24, 29 ~ 30	H13.7.31、8.1~6	H19.8.27 ~ 29
		秋季	į	秋季		秋季		秋季		-	H4.10.12 ~ 14	H5.9.20 ~ 22	H8.10.16 ~ 18	H13.10.23 ~ 31	-
							_	_							

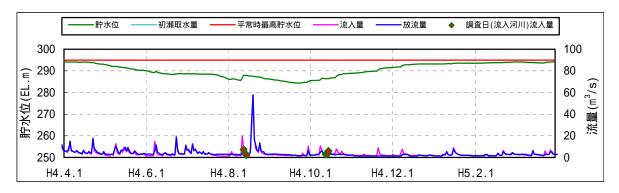


図 6.3.2-1 流入河川における調査実施時の流況(平成 4年度)

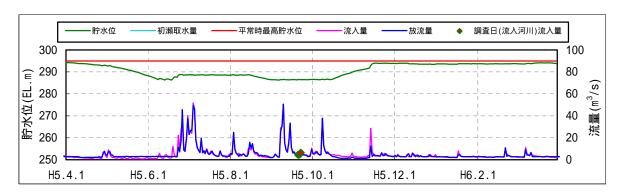


図 6.3.2-2 流入河川における調査実施時の流況(平成 5年度)

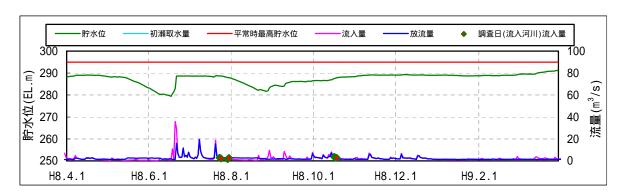


図 6.3.2-3 流入河川における調査実施時の流況(平成 8年度)

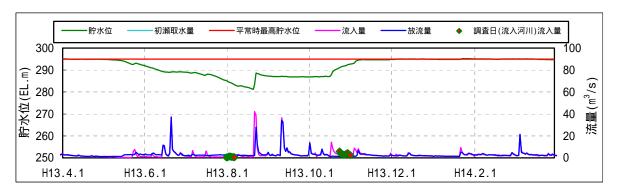


図 6.3.2-4 流入河川における調査実施時の流況(平成 13 年度)

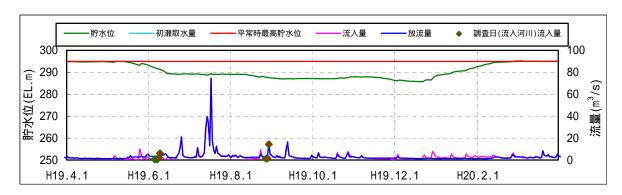


図 6.3.2-5 流入河川における調査実施時の流況(平成 19 年度)

#### a) 魚類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された魚類の一覧は 表 6.3.2-3、また、その推移は 図 6.3.2-6~図 6.3.2-8 に示すとおりである。

流入河川の魚類については、オイカワやカワムツ等の河川中流域を主な生息場所とする種のほか、アマゴといった渓流性魚類が確認されている。また、確認種数については、 平成4年度から平成5年度にかけて半減しているが、これは調査地点及び回数が少ない ことに起因していると考えられる。なお、平成4年度と調査地点・回数が同等となる平成13年度では10種、また平成19年度には23種と多くの種が確認されている。

個体数については、平成 4 年度から平成 5 年度までは、概ね横ばいとなっているが、平成 8 年度からは増加し、平成 19 年度には平成 4 年度の約 4 倍弱にまで増加している。優占種の推移についてみると、経年とともに変化がみられる。平成 4 年度はオイカワが確認個体数の 74%を占めていたが、平成 5 年度以降は減少し、10~20%程度で推移している。また、平成 5 年度にはトウヨシノボリが確認個体数の 60%を占め優占種となるが、オイカワと同様に平成 8 年度以降は減少に転じ、平成 19 年度ではわずか 2%の出現となっている。平成 8 年度及び平成 13 年度では、カワムツが確認個体数の 44~48%を占めるが、平成 19 年度は減少傾向にある。なお、平成 19 年度は目立った優占種はないが、コウライモロコやウキゴリといった種が増加傾向にある。

表 6.3.2-3 経年確認種一覧: 魚類

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)			調査年度	ŧ	
NO.	河口	П	14 ፲	作出口(作中口)	H4	H5	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	コイ	コイ	コイ				5.0	3.3
2				ギンブナ	0.3		1.0	0.5	0.5
3				オオキンブナ			1.5	0.3	
4				ハス	0.5				0.3
5				オイカワ	36.8	5.0	32.5	100.5	37.3
6				カワムツ	0.5	7.0	59.0	79.0	58.3
7				モツゴ					0.3
8				タモロコ			0.5		1.5
9				ホンモロコ					0.2
10				カマツカ	0.8		8.5	11.0	6.0
11				コウライニゴイ					0.3
12				ニゴイ	0.3			0.5	
13				スゴモロコ	5.8				0.3
14				コウライモロコ			23.0	97.8	30.2
15			ドジョウ	ドジョウ		2.0		0.3	2.7
16		ナマズ	ナマズ	ナマズ	0.3				0.2
17			ギギ	ギギ	1.0				5.8
18		サケ	サケ	アマゴ					0.2
19			アユ	アユ	1.8	3.0	1.5	71.3	2.8
20		ダツ	メダカ	メダカ					0.3
21		タウナギ	タウナギ	タウナギ				1.0	0.8
22		スズキ	ハゼ	ウキゴリ	0.5	2.0	7.0	9.5	17.3
23				トウヨシノボリ		29.0	59.5	21.0	4.0
24				カワヨシノボリ				13.8	13.7
-				ヨシノボリ属	1.3				1.2
25				ヌマチチブ					1.5
26			サンフィッシュ	オオクチバス			0.5		
					12 種	6種	7種	10種	23 種
		1	綱6目9科25種		49.5	48.0	194.0	411.5	189.2
				またいの個体粉を二丈	個体	個体	個体	個体	個体

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

<sup>2.</sup>種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

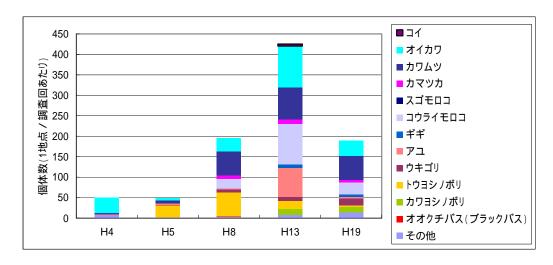


図 6.3.2-6 種別確認個体数の推移: 魚類

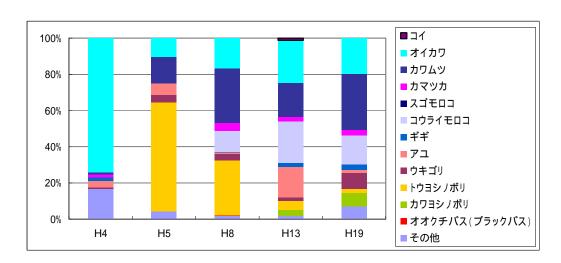


図 6.3.2-7 種別確認割合の推移: 魚類

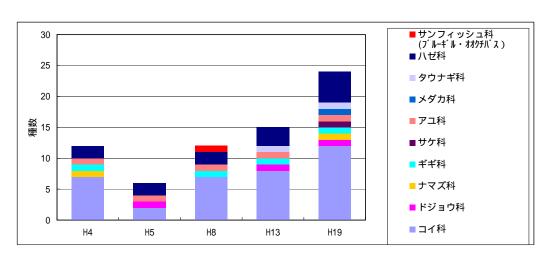


図 6.3.2-8 確認種数の推移: 魚類

#### 宇陀川の魚類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川(宇陀川)で確認された魚類の一覧は 表 6.3.2-4、またその推移は 図 6.3.2-9~図 6.3.2-11 に示すとおりである。

宇陀川の魚類相については、オイカワやモロコ類、カワムツ、カマツカ等のコイ科魚類のほか、ギギ、アユ、ウキゴリ、ヨシノボリ類等が確認されている。確認種数については、 平成4年度から平成19年度にかけて、約2倍になっている。

個体数については、種数と同様に、平成4年度から平成19年度にかけて、約2倍に増加している。主な確認種は平成4年度、平成19年度ともにオイカワであり、平成19年度ではオイカワのほかに、コウライモロコも比較的多く確認されている。また、優占種の推移についてみると、平成4年度では確認割合の76%を占めていたオイカワが経年とともに減少し、平成19年度では36%となっている。一方、増加傾向にあるのがコウライモロコで、平成14年度では確認されていないが、平成19年度の確認割合は27%となっている。また、平成19年度はオイカワとコウライモロコを併せた出現頻度が約63%を占める結果となっている。なお、平成4年度、平成19年度ともに、これらの種以外は10%以下の確認割合となっている。

調査年度 No. 綱名 目名 科名 種名(和名) Η4 Н8 H13 H19 硬骨魚 1 コイ コイ コイ 5.0 3.3 2 ギンブナ 0.3 0.5 0.5 3 ハス 0.5 1.5 0.3 4 オイカワ 22.5 36.3 87.5 35.2 5 カワムツ 16 24.5 4.2 6 モツゴ 0.2 7 タモロコ 0.5 1.5 8 ホンモロコ 0.2 カマツカ 9 0.8 8.5 11 6.0 コウライニゴイ 10 0.3 ゴイ 0.3 11 0.5 スゴモロコ 5.8 0.3 12 13 20.5 90 コウライモロコ 26.3 14 ドジョウ ドジョウ 0.3 15 ナマズ ナマズ ナマズ 0.3 0.2 ギギ ギギ 0.5 16 1.0 q 5.8 17 サケ アユ アユ 1.8 69 1.8 ダツ メダカ メダカ 18 0.3 19 タウナギ タウナギ タウナギ 0.5 0.5 20 スズキ ハゼ ウキゴリ 0.5 0.5 2.3 21 トウヨシノボリ 26.5 9.0 0.5 22 カワヨシノボリ 8.2 ヨシノボリ属 0.5 0.2 23 オオクチバス サンフィッシュ 0.5 11 種 11 種 11 種 21 種 1綱6目8科22種 47.8 98.5 306.5 98.5 個体 個体 個体 個体

表 6.3.2-4 経年確認種一覧: 魚類(宇陀川)

-注)1.表中の数は、1 地点/調査回あたりの個体数を示す。

2.種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

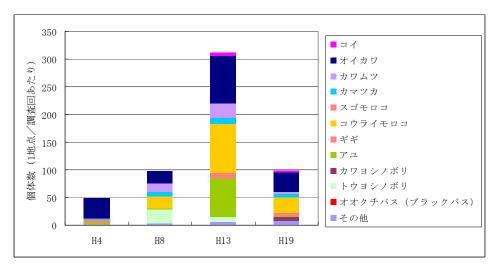


図 6.3.2-9 種別確認個体数の推移: 魚類(宇陀川)

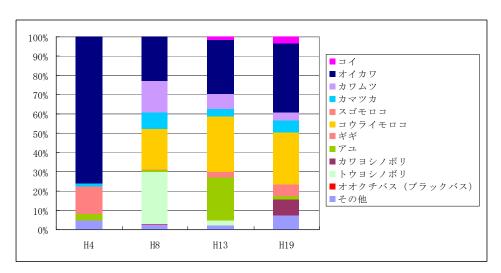


図 6.3.2-10 種別確認割合の推移: 魚類(宇陀川)

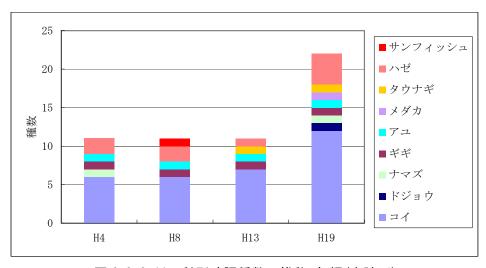


図 6.3.2-11 科別確認種数の推移: 魚類(宇陀川)

#### 天満川の魚類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川(天満川)で確認された魚類の一覧は 表 6.3.2-5、またその推移は 図 6.3.2-12 ~ 図 6.3.2-14 に示すとおりである。

天満川の魚類については、オイカワやカワムツ、アユ、ウキゴリ、トウヨシノボリ等が生息しており、宇陀川と同様の種構成となっている。確認種数については、平成4年度から平成19年度にかけて、増加する傾向がみられ、平成4年度が3種であったのに対して、平成19年度は10種と約3倍になっている。

個体数については、平成 4 年度から平成 8 年度にかけては、増加傾向にあったが、以降は減少に転じている。また、優占種の推移についてみると、平成 5 年度にはトウヨシノボリ、平成 8 年度にはカワムツが急増しており、これらの増加の結果、平成 8 年度の確認個体数が最も多くなっている。平成 13 年度以降は両種ともに減少に転じており、トウヨシノボリは平成 19 年度にはほとんど確認されなくなっている。なお、平成 19 年度にはウキゴリが増加する傾向がみられている。

No	綱名	目名	科名	種名(和名)		į	凋査年度		
	口	П	11TD	作里古 ( 作4 古 <i>)</i>	H4	H5	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	コイ	コイ	ギンブナ			1.0		
2				オオキンブナ				0.3	
3				オイカワ	0.5	5.0	10.0	13.0	2.2
4				カワムツ	0.5	7.0	43.0	22.3	17.0
5				コウライモロ コ			2.5	7.8	3.8
6			ドジョウ	ドジョウ		2.0		0.3	2.3
7		サケ	アユ	アユ		3.0	0.5	2.3	1.0
8		タウナ ギ	タウナギ	タウナギ				1.0	0.3
9		スズキ	ハゼ	ウキゴリ		2.0	7.0	9.0	15.0
10				トウヨシノボリ		29.0	33.0	12.0	3.5
11				カワヨシノボリ					0.2
-				ヨシノボリ属	0.8				0.5
12				ヌマチチブ				·	1.5
				3種	6種	7種	9種	10 種	
		1綱4	目 5 科 12 種	1.8	48.0	97.0	67.8	47.3	
					個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.2-5 経年確認種一覧: 魚類(天満川)

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

<sup>2.</sup>種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

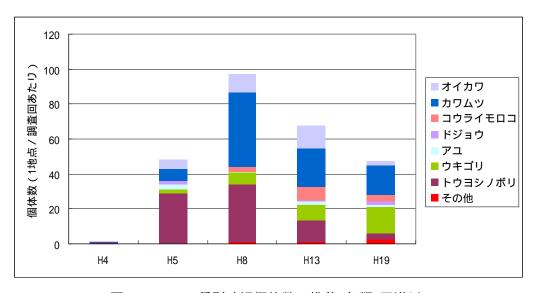


図 6.3.2-12 種別確認個体数の推移:魚類(天満川)

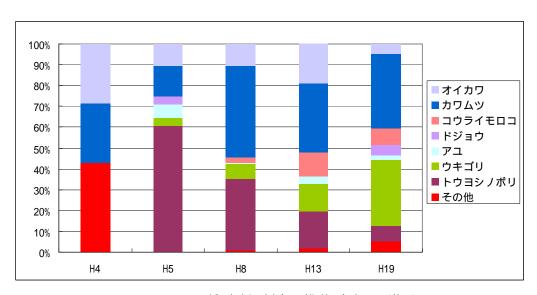


図 6.3.2-13 種別確認割合の推移: 魚類(天満川)

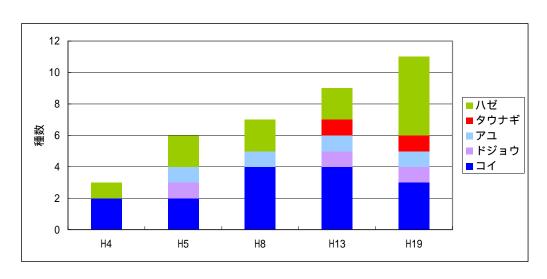


図 6.3.2-14 科別確認種数の推移:魚類(天満川)

#### 深谷川の魚類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川(深谷川)で確認された魚類の一覧は 表 6.3.1-6、またその推移は 図 6.3.2-15~図 6.3.2-17 に示すとおりである。

深谷川の魚類については、カワムツやカワヨシノボリといった種が中心であり、このほかに渓流魚性魚類であるアマゴといった種が確認されている。確認種数については、平成13年度から平成19年度にかけて、増加する傾向がみられ、平成13年度は2種であったのに対して、平成19年度は4種になっている。

個体数については、平成13年度から平成19年度にかけて増加する傾向がみられている。 なお、優占種の推移についてみると、両調査年度ともにカワムツが優占するが、平成19年 度ではその割合は高く確認個体の85%がカワムツで占められている。また、その一方で第 二優占種となるカワヨシノボリが減少傾向にある。

		10.0.2									
No.	綱名	目名	科名	種名(和名)	調査領	丰度					
NO.	利当日	日日	1711	作里古(作中古)	H13	H19					
1	硬骨魚	コイ	コイ	カワムツ	64.5	111.5					
2				モツゴ		0.5					
3		サケ	サケ	アマゴ		0.5					
4		スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ	27.5	16					
-				ヨシノボリ属		1.5					
		2種	4種								
		92.0	130.0								
	1 綱 3 目 3 科 4 種 92.0 個体										

表 6.3.2-6 経年確認種一覧: 魚類(深谷川)

<sup>2.</sup>種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

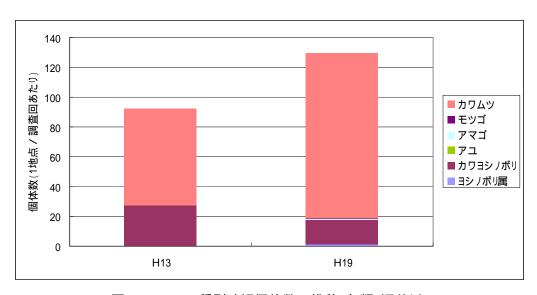


図 6.3.2-15 種別確認個体数の推移:魚類(深谷川)

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

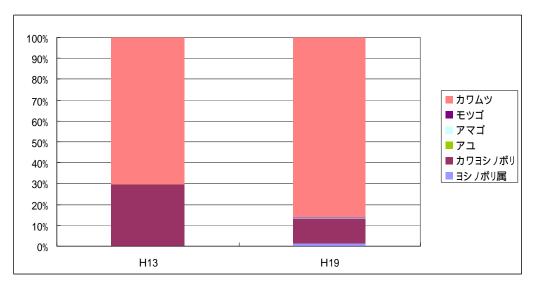


図 6.3.2-16 種別確認割合の推移:魚類(深谷川)

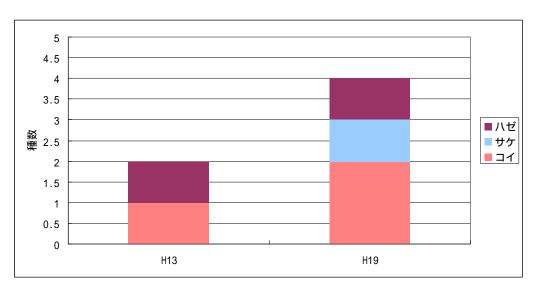


図 6.3.2-17 科別確認種数の推移:魚類(深谷川)

#### b)回遊性魚類の変化の整理

回遊性魚類の変化は、これまでの調査で流入河川において生息が確認された種のなかで、繁殖形態等の生態的な条件から、本来であれば回遊性となる種について既存文献を参考に抽出し、これらの種について整理を行った。なお、抽出した種のほとんどは、ダム湖等の河川横断構造物がある場合、容易に陸封する種であり、また平成 19 年度に実施した陸封アユ再生調査によると、室生ダムではアユの再生産が確認されている。

これまでの調査において、流入河川で確認された回遊性魚類の一覧は 表 6.3.2-7、またその推移は 図 6.3.2-18~図 6.3.2-20 に示すとおりである。

回遊性魚類については、これまでの調査により、アマゴといった遡河回遊魚や、アユ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヌマチチブといった両側回遊魚が確認されている。また、確認種数については、平成4年度から平成5年度にかけては2~3種であるが、平成19年度には5種と増加している。

個体数については、平成 4 年度から平成 5 年度にかけて急増、平成 8 年度までは増加を示していたが、以降は減少に転じ、平成 13 年度から平成 19 年度にかけては概ね横ばいとなっている。また、優占種の推移についてみると、平成 5 年度及び平成 8 年度ではトウヨシノボリが優占種となり、両年度ともに確認個体数の 80%以上を占めていた。しかし、平成 13 年度には 52%に減少し、平成 19 年度では 15%になっている。一方、増加を示しているのがウキゴリであり、平成 4 年度から徐々に増加し、平成 13 年度から平成19 年度にかけては、2 倍程度の生息量となっている。このほか、経年的にアユが確認されているが、個体数は少ない状況にある。

調査年度 No 綱名 目名 科名 種名(和名) H4 H5 Н8 H13 H19 サケ サケ アマゴ 硬骨魚 0.2 1 2 アユ アユ 1.8 3.0 0.5 2.3 2.8 9.0 3 スズキ ウキゴリ 7.0 17.3 ハゼ 0.5 2.0 4 トウヨシノボリ 29.0 33.0 12.0 4.0 5 ヌマチチブ 1.5 3種 3種 3種 5種 2種 1 綱 2 目 3 科 5 種 2.3 34.0 40.5 23.3 25.8 個体 個体 個体 個体 個体

表 6.3.2-7 経年確認種一覧:回遊性魚類

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

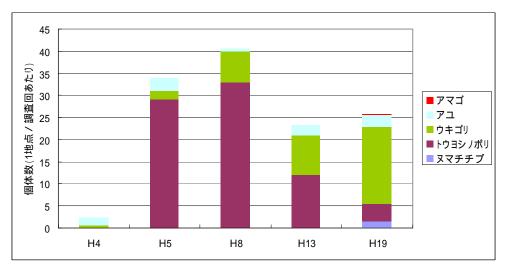


図 6.3.2-18 種別確認個体数の推移:回遊性魚類

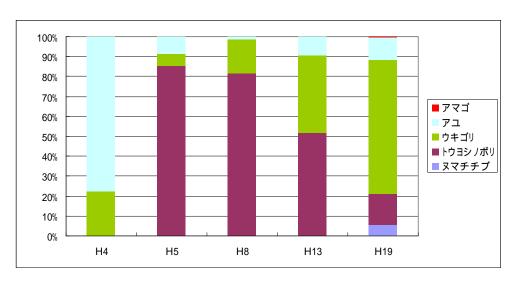


図 6.3.2-19 種別確認割合の推移:回遊性魚類

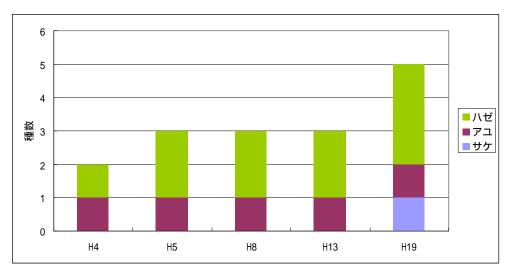


図 6.3.2-20 確認種数の推移:回遊性魚類

### 宇陀川の魚類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川(宇陀川)で確認された回遊性魚類の一覧は表 6.3.2-8、またその推移は図 6.3.2-21~図 6.3.2-23 に示すとおりである。

回遊性魚類については、これまでの調査により、アユ、ウキゴリ、トウヨシノボリが確認されている。また、種数については、平成4年度から平成19年度にかけては2~3種で推移しており、大きな違いはみられない。

個体数については、増加傾向にあるが、流入河川全体の割合と比較すると、回遊性魚類の確認個体数は、非常に少ない状態となっている。なお、増加傾向にある種はウキゴリであり、このほか平成19年度ではトウヨシノボリも確認されている。

調査年度 No. 綱名 目名 科名 種名(和名) H4 H19 アユ アユ 1 硬骨魚 サケ 1.8 1.8 ウキゴリ 2 スズキ ハゼ 0.5 2.3 トウヨシノボリ 0.5 3 2種 3種 1綱2目2科3種 2.3 4.7 個体 個体

表 6.3.2-8 経年確認種一覧:回遊性魚類(宇陀川)

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

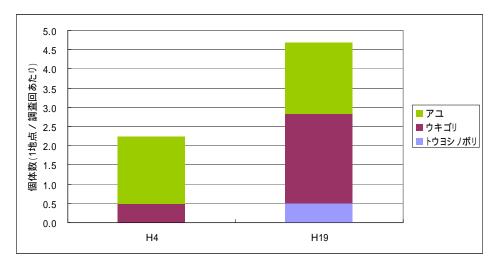


図 6.3.2-21 種別確認個体数の推移:回遊性魚類(宇陀川)

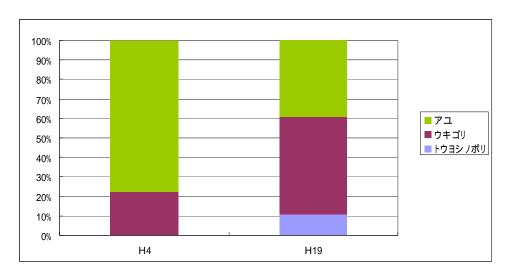


図 6.3.2-22 種別確認割合の推移:回遊性魚類(宇陀川)

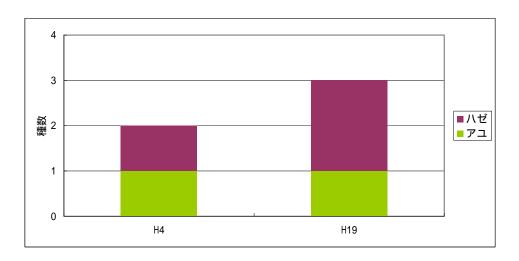


図 6.3.2-23 確認種数の推移:回遊性魚類(宇陀川)

#### 天満川の魚類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川(天満川)で確認された回遊性魚類の一覧は 表 6.3.2-9、またその推移は図 6.3.2-24~図 6.3.2-26 に示すとおりである。

回遊性魚類については、アユ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヌマチチブといった種が確認されている。また、確認種数については、平成4年度では確認さていないが、平成5年度から平成12年度までは3種、平成19年度にはヌマチチブが新たに確認されて4種となっている。

個体数については、平成5年度から平成8年度にかけては増加しているが、以降は減少傾向にあり、平成13年度から平成19年度にかけては微減傾向にある。また、優占種の推移についてみると、平成5年度から平成8年度まではトウヨシノボリが優占種となり、両年度ともに80%以上を占めていた。しかし、平成12年度には52%に減少、平成19年度では17%になっている。一方、増加を示しているのがウキゴリであり、平成5年度から徐々に増加し、平成19年度では確認個体数の71%を占めるまでに増加している。このほか、経年的にアユが確認されているが、個体数は少ない状況にある。

調査年度 綱名 目名 科名 種名(和名) H4 H5 Н8 H13 H19 アユ アユ 2.3 硬骨魚 サケ 3.0 0.5 1.0 1 2 スズキ ハゼ ウキゴリ 2.0 7.0 9.0 15.0 トウヨシノボリ 29.0 33.0 12.0 3.5 3 ヌマチチブ 4 1.5 0種 3種 3種 3種 4種 1 綱 2 目 2 科 4 種 34.0 40.5 23.3 0.0 21.0 個体 個体 個体 個体 個体

表 6.3.2-9 経年確認種一覧:回遊性魚類(天満川)

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

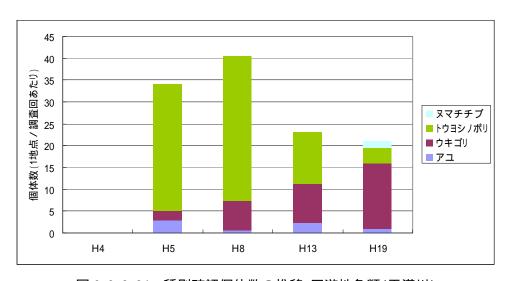


図 6.3.2-24 種別確認個体数の推移:回遊性魚類(天満川)

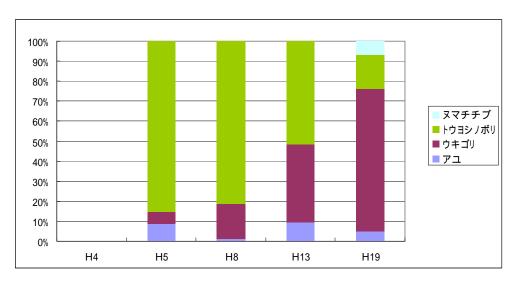


図 6.3.2-25 種別確認割合の推移:回遊性魚類(天満川)

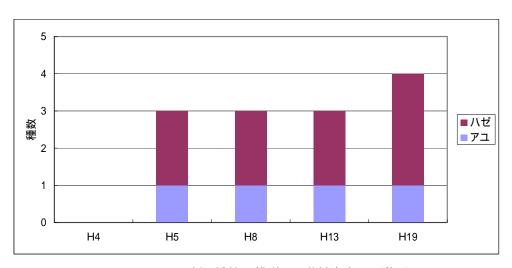


図 6.3.2-26 確認種数の推移:回遊性魚類(天満川)

#### 深谷川の魚類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川(深谷川)で確認された回遊性魚類の一覧は表 6.3.2-10 に示すとおりである。

回遊性魚類については、アマゴ 1 種が確認されている。また、確認年度は平成 19 年度の みであり、また個体数も非常に少ない状況となっている。

	农 5.5.2 10 准十届邮往 免:口题比点次(水百川)										
No.	綱名	目名	科名	種名(和名)	調査	年度					
NO.		11	1711	作里台(作品)	H13	H19					
1	硬骨魚	サケ	サケ	アマゴ		0.5					
					0種	1種					
		1綱1目	0.0	0.5							
			個体	個体							

表 6.3.2-10 経年確認種一覧:回遊性魚類(深谷川)

### c)重要種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された重要種の一覧は 表 6.3.2-11、またその推移は 図 6.3.2-27 ~ 図 6.3.2-29 に示すとおりである。

流入河川における重要種については、自然分布と考えられるギギ、アマゴ、メダカ、ウキゴリ、カワヨシノボリの 5 種、放流が由来であると考えられる種は、ハス、ホンモロコ、スゴモロコ、アユ、タウナギの 5 種がそれぞれ確認されている。

個体数については、自然分布であると考えられる種は、経年とともに概ね増加する傾向がみられており、特にウキゴリの増加が著しい。また、放流等が由来であると考えられる種については、平成4年度が最も多く、平成5年度から平成12年度までは少なくなっていたが、平成13年度には増加に転じている。

以下に各流入河川別の確認状況について示す。

# 宇陀川

平成 4 年度では、自然分布であると考えられるギギ、ウキゴリは少数の確認であり、放流が由来であると考えられるスゴモロコやアユが比較的多く確認されていた。しかし、平成 19 年度には自然分布であると考えられるこれらの 2 種は、大きく増加するとともに、新たに多くのカワヨシノボリが確認されているほか、メダカも確認されている。一方、放流等が由来であると考えられる種については、スゴモロコが減少しているほかは、平成 19 年度に新たにタウナギが確認されている。なお、アユは微増となっている。

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

#### 天満川

自然分布と考えられるウキゴリやカワヨシノボリ、放流等が由来であると考えられるアユ、タウナギの4種が確認されている。このうち、ウキゴリは平成5年度から確認されているが、徐々に個体数は増加し、平成19年度には90個体が確認されている。また、アユは平成5年度から継続的に確認されているが、いずれの調査年度も10個体以下となっている。このほか、タウナギは平成13年度に4個体、平成19年度に2個体がそれぞれ確認されている。

# 深谷川

自然分布と考えられるアマゴ、カワヨシノボリのほか、放流等が由来であると考えられるアユ(潜水観察)が確認されている。このうち、アマゴ及びアユは、平成 19 年度に各 1 個体のみの確認である。また、カワヨシノボリは平成 13 年度に 55 個体が確認されているが、平成 19 年度には 32 個体と減少傾向にある。

選定基準 調査年度 分類 科名 種名(和名) 河川名 No. 天然 保存法 環境省 奈良県 H4 H5 Н8 H13 H19 1 | ギギ ギギ 宇陀川 希少 4 35 2 サケ アマゴ 深谷川 NT 1 メダカ メダカ 宇陀川 VU 希少 2 ウキゴリ 宇陀川 ハゼ 14 2 希少 4 自 天満川 2 14 36 90 然 カワヨシノボ 宇陀川 49 分 5 希少 布 天満川 1 深谷川 32 55 2種 1種 5種 1種 2種 4科5種 0種 0種 2種 4種 6 2 14 224 個体 個体 個体 個体 個体 コイ ハス 宇陀川 VU 2 6 2 ホンモロコ 宇陀川 CR 1 7 スゴモロコ 宇陀川 23 2 NT8 放 アユ アユ 宇陀川 絶寸 7 11 流 9 天満川 3 1 9 6 等 深谷川 1 由 タウナギ タウナギ 宇陀川 3 10 ΕN 来 天満川 2 3種 1種 1種 2種 5種 3科5種 0種 0種 4種 1種 32 3 13 28 個体 個体 個体 個体 個体 2種 10種 5種 2種 4種 0種 7科10種 0種 6種 5種 38 5 15 104 252 個体 個体 個体 個体 個体

表 6.3.2-11 経年確認種一覧:重要種

- 注)1.表中の数は、確認個体数を示す。
  - 2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB
  - 3.自然分布 自然分布であると考えられる重要種。 放流等由来 - 釣りの対象として放流されたり、アユなどの放流に混雑してきた可能性が高いと考えられる種。

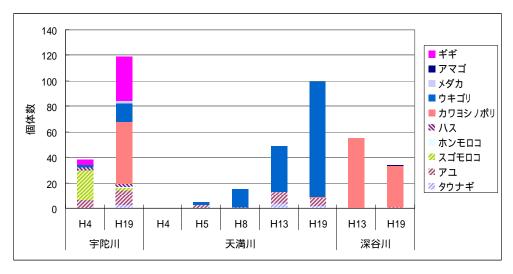


図 6.3.2-27 種別確認個体数の推移:重要種

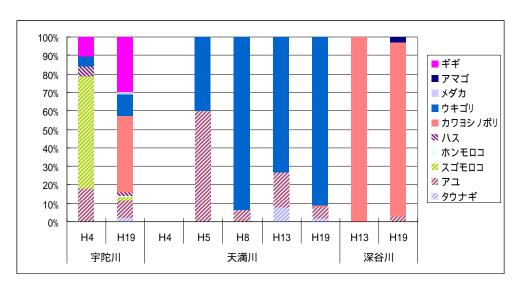


図 6.3.2-28 種別確認割合の推移:重要種

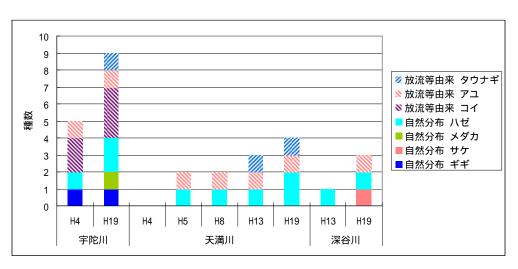


図 6.3.2-29 確認種数の推移:重要種

### d)外来種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された外来種の一覧は 表 6.3.2-12 に示すとおりである。

流入河川の外来種については、平成8年度までは確認されていないが、平成13年度に4個体、平成19年度に5個体のタウナギが確認されている。

No.	科名	種名(和名) 河川名		選定	基準		i	調査年度	<u> </u>	
		1± II (1# II /	7-17-11	1	2	H4	H5	H8	H13	H19
1	タウナギ	タウナギ	宇陀川							3
'	ソソノエ	クラノヤ	天満川						4	2
						0種	0種	0種	1種	1種
	1	科1種		0種	1種	0	0	0	4	5
						個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.2-12 経年確認種一覧:外来種

#### (b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の調査は、これまでに計 4 回実施されている。しかし、各調査年度ともに、実施した調査地点数や調査回数が異なっている。そのため、エビ・カニ・貝類の変化の整理にあたっては、調査地点数及び調査回数を考慮に入れて、1 地点/調査回あたりの確認個体数を算出し、比較することとした。

各調査年度における流入河川の調査地点数及び調査回数は、表 6.3.2-13 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.3.2-2 に示すとおりであり、経年とともに調査手法が多様化する傾向がみられる。

また、流入河川については、本流となる宇陀川のほか、市街地を貫流し流入する天満川、 山間渓流となる深谷川の3河川で実施しているが、宇陀川は平成4年度、深谷川は平成13 年度のみの実施となっている。そのため、全体の変化の整理とともに、経年的に調査が実 施されている天満川の変化についても整理した。

また、調査実施時における流入河川の水位は、図 6.3.2-1~図 6.3.2-5 に示すとおりである。

					• •					
調査	<b>၌</b> 地点数	調査年度								
及	び回数	H4	H5	H8	H13					
₩★	宇陀川	1								
調査 地点数	天満川	1	1	1	1					
- 0////3/	深谷川				1					
調	查回数	2	1	2	2					
調	查時期	8月・10月	9月	7月・10月	8月・10月					

表 6.3.2-13 調査実施状況一覧:エビ・カニ・貝類

注)1.表中の数は、確認個体数を示す

<sup>2.</sup> 選定基準 1: 特定外来生物法 2: 外来種ハンドブック

# a)エビ・カニ・貝類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認されたエビ・カニ・貝類の一覧は表 6.3.2-14、またその推移は 図 6.3.2-30~図 6.3.1-31 に示すとおりである。

流入河川のエビ・カニ・貝類については、カワニナやスジエビといった種が継続的に確認されているほか、マシジミ、テナガエビ、サワガニといった種が確認されている。確認種数については、各調査年度ともに3~4種で大きな違いはみられない。

個体数については、平成4年度から平成8年度までは増加傾向にあり、以降、平成13年度にかけては概ね横ばいとなっている。なお、個体数の増減には、スジエビの増減に拠るところが大きい。

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)	調査年度			
NO.	州口	пп	111	1里口(74口)	H4	H5	Н8	H13
1	マキガイ	ニナ	カワニナ	カワニナ	0.5	2.0	4.5	6.0
2	ニマイガイ	マルスダレガイ	シジミ	マシジミ				0.3
3	甲殼	エビ	テナガエビ	テナガエビ	0.5			
4				スジエビ	0.5	4.0	52.5	33.3
5			サワガニ	サワガニ		1.0	2.5	4.8
					3種 3種 3種 4種			
		3綱3目	4科5種		1.5 7.0 59.5 44.3			
					個体	個体	個体	個体

表 6.3.2-14 経年確認種一覧:エビ・カニ・貝類



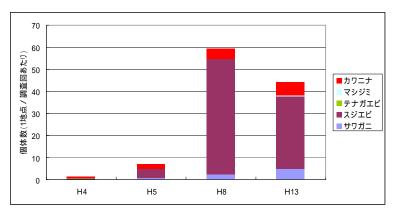


図 6.3.2-30 種別確認個体数の推移:エビ・カニ・貝類

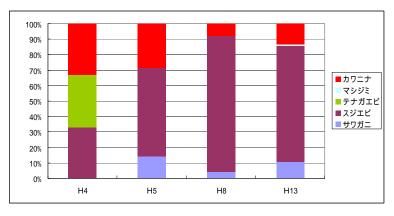


図 6.3.2-31 種別確認割合の推移:エビ・カニ・貝類

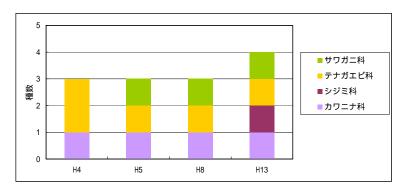


図 6.3.2-32 確認種数の推移:エビ・カニ・貝類

# 天満川のエビ・カニ・貝類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川(天満川)で確認されたエビ・カニ・貝類の一覧は表 6.3.2-15、またその推移は図 6.3.2-33~図 6.3.2-35 に示すとおりである。

流入河川のエビ・カニ・貝類については、カワニナやスジエビといった種が継続的に確認されているほか、マシジミ、テナガエビ、サワガニといった種が確認されている。確認種数については、各調査年度ともに微増傾向にあり、平成13年度では4種が確認されている。

個体数については、平成4年度から平成8年度までは増加傾向にあり、以降、平成13年度にかけては減少傾向にある。なお、個体数の増減には、スジエビの増減に拠るところが大きい。

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)	調査年		年度	
NO.	河門口	ΗП	1111	1里口(74口)	H4	H5	Н8	H13
1	マキガイ	ニナ	カワニナ	カワニナ	0.3	2.0	4.5	2.8
2	ニマイガイ	マルスダレガイ	シジミ	マシジミ				0.3
3	甲殼	エビ	テナガエビ	テナガエビ	0.5			
4				スジエビ		4.0	52.5	33.3
5			サワガニ	サワガニ		1.0	2.5	1.3
					2種	3種	3種	4種
3綱3目4科5種 0.8 7.0 59.5				37.5				
					個体	個体	個体	個体

表 6.3.2-15 経年確認種一覧:エビ・カニ・貝類(天満川)

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

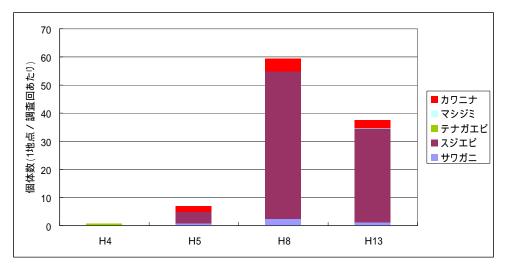


図 6.3.2-33 種別確認個体数の推移:エビ・カニ・貝類(天満川)

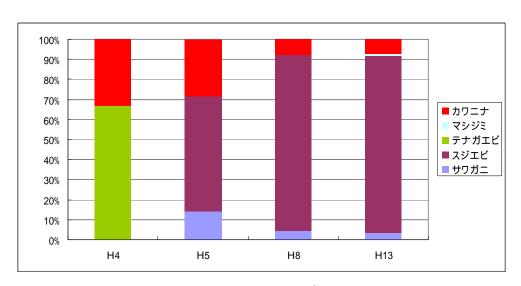


図 6.3.2-34 種別確認割合の推移:エビ・カニ・貝類(天満川)

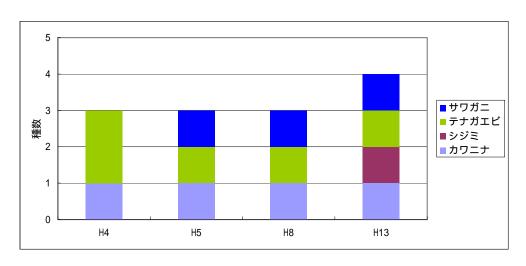


図 6.3.2-35 確認種数の推移:エビ・カニ・貝類(天満川)

### b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された重要種の一覧は 表 6.3.2-16 に示すとおりである。

流入河川における重要種については、平成13年度にマシジミが1個体確認されている。

調査年度 選定基準 No. 科名 種名(和名) 河川名 4 H4 H5 Н8 H13 マシジミ 天満川 1 0種 0種 1種 0種 0種 0種 0種 1種 1科1種

表 6.3.2-16 経年確認種一覧:重要種

#### c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川では外来種は確認されていない。

# 2)底生動物

底生動物の調査は、これまでに計5回実施されている。このうち、平成7年度、平成12年度、平成17年度調査については年3回の実施、平成20年度は年2回の実施、平成5年度は年1回の実施となっている。また、調査手法については、平成5年度以外は定量採集及び定性採集を実施しているが、平成5年度調査は定量採集調査のみとなっている。

各調査年度における流入河川の調査地点、及び調査回数は 表 6.3.2-17 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.3.2-18 に示すとおりである。

また、調査実施時における流入河川の水量は、図 6.3.2-36~図 6.3.2-40 に示すとおりである。

≐⊞	査地点数及で	が同数			調査年度		
p/9	1旦地宗奴汉(	プロ奴	H5	H7	H12	H17	H20
	宇陀川	定量採集	1	1	1	1	3
	7 PC/11	定性採集	-	3	4	4	4
調査	天満川	定量採集	1	1	1	1	3
地点数	人個川	定性採集	-	1~2	4	4	4
	深公 川	定量採集	1	1	1	1	3
	深谷川 定性採集			2	4	4	4
	調査回数	Į.	1	3	3	3	2
	調査時期	1	9月	7~8月 12月・2月	7月・10月 1月	7月・10月 1月	8月・4月

表 6.3.2-17 調査実施状況一覧:底生動物

注)1. :調査実施時期によって、調査箇所数が異なる

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

表 6.3.2-18 調査内容一覧:底生動物

	調查	年度	H5	H7	H12	H17	H20
	調査	番号	2	4	10	17	21
		下流河川	放水口	(定量・定性)No.1	(定量・定性)No.1	(定量・定性)St .1	淀室下 1
調査			網場,湖心,県取水口	(定点)No.2,No.3,No.4 (定性)1,2,3,4,5	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7,8	淀室湖 1,淀室湖 2,淀室湖 3, 淀室湖 6,淀室湖 7
地点	分	流入河川	天満川(早瀬,植物帯), 高倉橋(平瀬,植物帯), 内牧川(平瀬,植物帯)	(定量・定性)No.5,No.6,No.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	淀室入 1,淀室入 2,淀室入 3
		その他	-	-	-	-	淀室他 1(水質保全ダム)
	定点調査			エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回程度	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5 回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回
調査 方法	定	性調査	採泥器等による採取 (0.25m²)	  ハンドネット(0.5mm 目程度) 	  ハンドネット(0.5mm 目程度) 	  ハンドネット(0.5mm 目程度)	ハンドネット(0.5mm 目程度)
	定	2量調査		サーバーネット(25cm×25cm)	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×6回
		夏季	-	H7.7.20~21、8.23	H12.7.19 ~ 21	H17.10.19~20	H20.8.25 ~ 26
調査		冬季	-	H7.12.20 ~ 21	H12.11.8~9	H18.1.14 ~ 15	-
時期	<u> </u>	早春季	-	H8.2.21 ~ 22	H13.1.12~13	H17.7.2~3	H20.4.21 ~ 22
	2	その他	H5.9.21	-	-	-	-

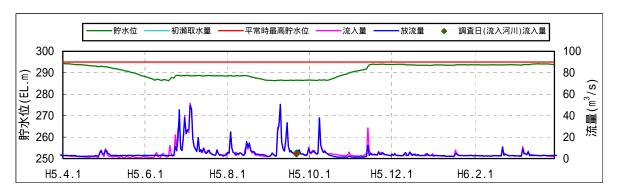


図 6.3.2-36 調査実施時の流況(平成 5年度)

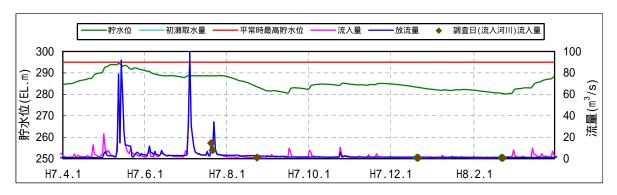


図 6.3.2-37 調査実施時の流況(平成7年度)

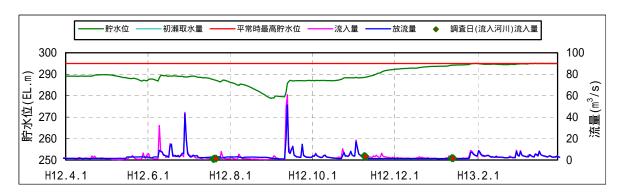


図 6.3.2-38 調査実施時の流況(平成 12 年度)

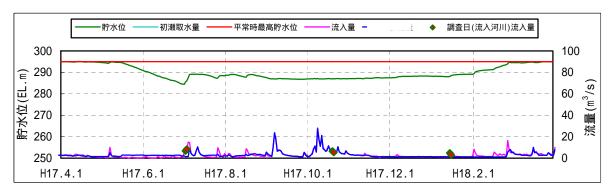


図 6.3.2-39 調査実施時の流況(平成 17 年度)

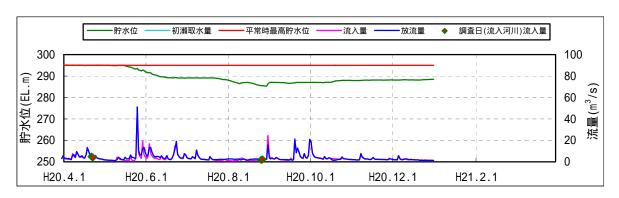


図 6.3.2-40 調査実施時の流況(平成 20 年度)

# (a)底生動物相の変化の整理

これまでの調査において流入河川で確認された底生動物の綱目別科種数表は、表 6.3.2-19、またその推移については図 6.3.2-41~図 6.3.2-42 に示すとおりである。

流入河川の底生動物については、いずれの調査年度においてもカゲロウ目のヒラタカゲロウ科やコカゲロウ科、シマトビケラ科等をはじめとした流水性種が優占している。また、確認種数については、平成5年度から平成17年度にかけて増加し、以降は概ね横ばいとなっている。なお、増加の割合が高い分類群は、カゲロウ目やハエ目である。また、トンボ目、カワゲラ目、トビケラ目については、平成7年度から平成12年度にかけて種数が増加し、以降平成20年度までは概ね横ばいとなっているが、そのほとんどが継続的な確認となっている。

なお、平成 5 年度は、定量採集のみの実施であることから、確認種数が極端に少なくなっているものと考えられる。

农 0.3.2-13													
綱名	目名	Н	5	Н	7	H1	12	Η´	17	H2	20	合	計
利門一口	PT	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
普通海綿	ザラカイメン							1	1			1	1
ウズムシ	ウズムシ			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ひも(紐)形動	物門					1	1	1	1	1	1	1	1
線形動物門								1	1			1	1
マキガイ	ニナ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	モノアラガイ	1	1	1	1	2	2	2	2	3	4	4	5
ニマイガイ	マルスダレガイ					2	2	2	2	2	2	3	3
ミミズ	オヨギミミズ							1	1	1	1	1	1
	ナガミミズ			4	4	4	4	3	7	6	10	8	14
ヒル	ノドビル			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
クモ	ダニ							1	1			1	1
甲殼	ワラジムシ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ヨコエビ					1	1					1	1
	エビ	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
昆虫	カゲロウ	4	9	9	27	8	28	10	42	10	38	10	50
	トンボ	4	5	6	10	7	18	7	19	8	19	8	26
	カワゲラ			3	7	6	12	7	13	5	12	7	17
	カメムシ	1	2	3	4	4	8	3	7	4	7	6	11
	アミメカゲロウ			1	1	2	3	1	2	1	2	2	3
	トビケラ	3	5	6	13	17	32	17	28	12	23	20	46
	チョウ					1	1	1	1			2	2
	八工	3	12	3	29	11	28	10	36	6	31	12	72
	コウチュウ	1	1	1	1	6	9	5	11	7	14	7	21
11綱 23目	102 科 283 種	20 科	38 種	43科	103種	79 科	156 種	80科	182 種	73 科	171 種	102 科	283 種

表 6.3.2-19 経年分類群別確認種一覧:底生動物

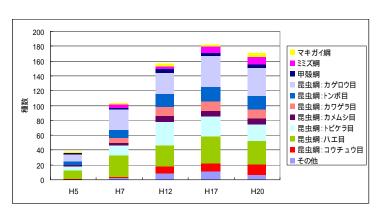


図 6.3.2-41 分類群別確認種数の推移:底生動物

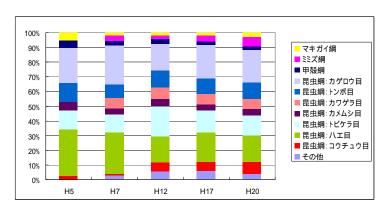


図 6.3.2-42 分類群別確認割合の推移:底生動物

#### (b)優占種の変化の整理

流入河川の調査については、本流となる宇陀川のほか、市街地を貫流し流入する天満川、 山間渓流となる深谷川の3河川で実施している。これらの河川は、それぞれの特徴が異な ることから、各河川ごとに優占種の変化を整理することとした。

なお、これまでの調査では、平成5年度については1回のみの調査であるが、その他の調査年度は概ね夏季・冬季・早春季の3回(平成20年度は夏季・早春季の2回)の調査を実施しているため、変化の整理にあたっては、平成7年度から平成20年度までに実施している4回の調査結果について整理することとした。

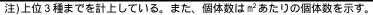
#### a) 宇陀川における優占種の変化の整理

宇陀川における優占種(定量採集)の推移の一覧は、表 6.3.2-20、図 6.3.2-43~図 6.3.2-44 に示すとおりである。

優占種については、平成7年度はウルマーシマトビケラやCheumatopsyche属等のシマトビケラ科が上位となる傾向がみられるが、平成12年度以降はミズミミズ科やAntocha属、エリユスリカ亜科といった種が第一優占種となる傾向がみられる。個体数については、調査実施年度や時期によってばらつきがみられるが、平成20年度が特に多い状況になっている。ただし、この増加は確認されている種のうち、アカマダラカゲロウが非常に多く確認されたことに起因している。なお、このような優占種や生息量の大きな変化は、出水による影響の可能性があると考えられる。宇陀川の上流側には、ダム等の出水をコントロールするような施設は設置されていない。そのため、出水時の掃流効果によって、優占種が大きく変化しているものと考えられる。また、水質指標に着目してみると、平成7年度では貧腐水性種~中腐水性種が多くを占めていたが、経年とともに貧腐水性種が減少する傾向がみられる。また、生活型別の出現個体数(m²あたり)について着目すると(図6.3.2-45~図6.3.2-46)、調査時期によって違いはみられるものの、概ねの傾向としては、掘潜型が増加する傾向がみられている。

	Ę	梦			4	冬季			<u> </u>	君春		
	種名	個体数	割合	指標	種名	個体数	割合	指標	種名	個体数	割合	指標
	コガタシマトビケラ	256	28%	Э	ウルマーシマトビケラ	172	42%	os	Cheumatopsyche 属	246	54%	-
	オニヤンマ	208	22%	m	Cheumatopsyche 属	168	41%	-	ウルマーシマトビケラ	144	31%	os
H7	ウルマーシマトビケラ	80	9%	os	Calopsectra属CA	8	2%	- ]	シロハラコカゲロウ	14	3%	os
117	キイロカワカゲロウ	80	9%	m	ナミイシビル	8	2%	m				
					Baetis属	8	2%	-				
					Antocha 属	8	2%	os				
	ウルマーシマトビケラ	1670	26%	os	ミズミミズ科	1856	84%	m	Antocha 属	272	77%	os
H12	ユスリカ亜科	1372	21%	-	ナガミミズ目	90	4%	-	イトミミズ科	38	11%	ps
	Cheumatopsyche 属	1178	18%	-	エリユスリカ亜科	88	4%	-	Brillia属	16	5%	•
	Cheumatopsyche属	262	19%	-	Cheumatopsyche 属	438	18%	-	エリユスリカ亜科	590	33%	-
H17	Hydropsyche 属	140	10%	m	ミズミミズ科	300	12%	m	ミズミミズ科	394	22%	m
1117	ウルマーシマトビケラ	140	10%	os	ギフシマトビケラ	248	10%	m	Psychomyia属	216	12%	m
	ギフシマトビケラ	140	10%	m								
	アカマダラカゲロウ	6250	47%	Э	未調査				イトミミズ科	820	19%	ps
H20	ミツオミジカオフタ バコカゲロウ	1210	9%	-					Orthocladius属	611	14%	-
	Cheumatopsyche 属	1084	8%	-					Psychomyia属	355	8%	m

表 6.3.2-20 優占種の推移:底生動物(宇陀川)



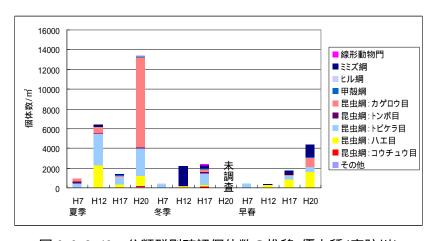


図 6.3.2-43 分類群別確認個体数の推移:優占種(宇陀川)

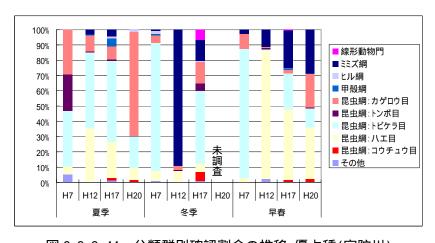


図 6.3.2-44 分類群別確認割合の推移:優占種(宇陀川)

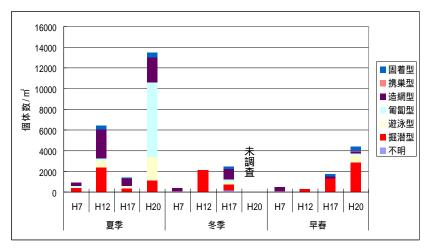


図 6.3.2-45 生活型別確認個体数の推移:優占種(宇陀川)

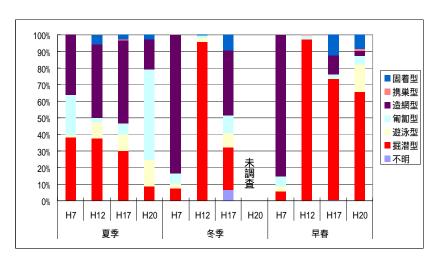


図 6.3.2-46 生活型別確認割合の推移:優占種(宇陀川)

#### 注)生活型

- ・造網型:分泌絹糸を用いて捕獲網を作るもの
- ・固着型:強い吸着器官または鈎着器官をもって他物に固着しているもの
- ・匍匐型:河床を匍匐するもの
- ・携巣型:筒巣をもつもの、匍匐的運動をするが筒巣をもつ点において匍匐型とは別に考えた方が良い
- ・遊泳型:移動の際は主として遊泳によるもの
- ・掘潜型:砂または泥の中に潜っていることの多いもの

### b)天満川における優占種の変化の整理

天満川における優占種(定量採集)の推移の一覧は 表 6.3.2-21、図 6.3.2-47~図 6.3.2-48 に示すとおりである。

優占種については、平成7年度ではウルマーシマトビケラや Cheumatopsyche 属等のシマトビケラ科が上位となる傾向がみられるが、平成17年度になるとミズミミズ科やミズムシ(甲殻綱)、エリユスリカ亜科が優占する傾向がみられている。また、平成20年度については、ウルマーシマトビケラや Cheumatopsyche 属等のシマトビケラ科が上位となる傾向がみられる。個体数については、季節によってばらつきはみられるが、概して平成12年度及び平成20年度が多くなる傾向がみられている。このような優占種や生息量の大きな変化は、出水による影響であると想定される。天満川の上流側には、ダム等の出水をコントロールするような施設は設置されていない。そのため、出水時の掃流効果によって、優占種が大きく変化しているものと考えられる。また、水質指標に着目してみると、平成17年度は中腐水性種が優占しているが、他の調査年度では、貧腐水性種が優占種に含まれている。

また、生活型別の出現個体数(m²あたり)について着目すると(図6.3.2-49~図6.3.2-50参照)、調査時期によって違いはみられるものの、造網型や遊泳型、掘潜型が優占する傾向がみられている。

更委 早春 指 種名 個体数 割合 指標 種名 個体数 割合 個体数 割合 指標 ウルマーシマトビケラ 736 77% Cheumatopsyche属 200 63% オオクママダラカゲロウ 208 36% 0S os コガタシマトビケラ 168 18% オオヤマシマトビケラ 32 10% シロハラコカゲロウ 148 26% os ヤマトコカゲロウ ミズムシ ミズムシ 16 2% 6% 60 10% アカマダラカゲロウ オオクママダラカゲロウ Cheumatopsyche 属 16 60 10% 2% 20 6% os ウルマーシマトビケラ 2226 44% os Cheumatopsyche属 1396 23% シロハラコカゲロウ 334 os サホコカゲロウ シロハラコカゲロウ Antocha属 828 16% 1258 21% 238 21% os ウルマーシマトビケラ Baetis属 458 9% 660 ウルマーシマトビケラ 216 19% 11% ミズミミズ科 Cheumatopsyche 属 164 612 エリユスリカ亜科 174 23% 35% 28% ミズムシ 106 15% エリユスリカ亜科 218 13% ミズミミズ科 100 16% 9% Simulium属 90 12% Cheumatopsyche属 212 12% ミズムシ 54 Cheumatopsyche属 1840 37% Orthocladius属 409 18% Hydropsyche 属 643 13% Nais属 398 17% ウルマーシマトビケラ ウルマーシマトビケラ 537 11% os 323 14%

表 6.3.2-21 優占種の推移:底生動物(天満川)

注)上位3種までを計上している。また、個体数は㎡あたりの個体数を示す。

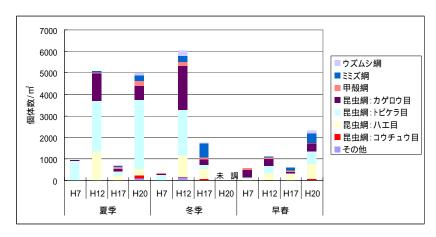


図 6.3.2-47 分類群別確認個体数の推移:底生動物(天満川)

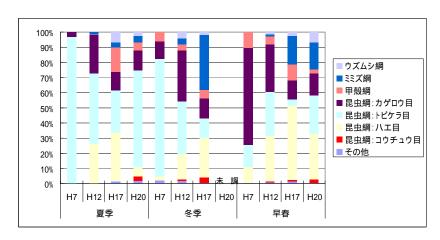


図 6.3.2-48 分類群別確認割合の推移:底生動物(天満川)

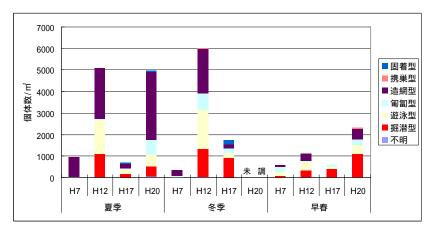


図 6.3.2-49 生活型別確認個体数の推移:底生動物(天満川)

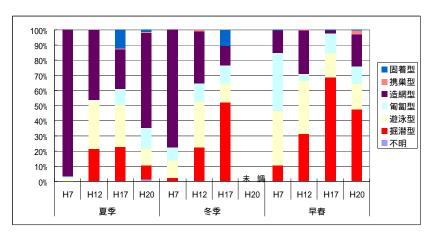


図 6.3.2-50 生活型別確認割合の推移:底生動物(天満川)

# 注)生活型

- ・造網型:分泌絹糸を用いて捕獲網を作るもの
- ・固着型:強い吸着器官または鈎着器官をもって他物に固着しているもの
- ・匍匐型:河床を匍匐するもの
- ・携巣型:筒巣をもつもの、匍匐的運動をするが筒巣をもつ点において匍匐型とは別に考えた方が良い
- ・遊泳型:移動の際は主として遊泳によるもの
- ・掘潜型:砂または泥の中に潜っていることの多いもの

# c) 深谷川における優占種の変化の整理

深谷川における優占種(定量採集)の推移の一覧は、表 6.3.2-22、図 6.3.2-51~図 6.3.2-52 に示すとおりである。

優占種については、平成7年度ではカワゲラ類やオオマダラカゲロウといったカゲロウ類が上位を占めていたが、経年とともにこれらの種群は減少、平成17年度にはコカゲロウ類やユスリカ類、Simulium属といった種が優占種となっている。また、個体数については、若干のばらつきはみられるものの、概ね増加傾向にある。なお、水質指標に着目してみると、いずれの調査年度も、貧腐水性種が優占種となっており、良好な水質が維持されていることがうかがえる結果となっている。

また、生活型別の出現個体数(m²あたり)について着目すると(図6.3.2-53~図6.3.2-54参照)、調査時期によって違いはみられるものの、概ねの傾向としては、夏季や冬季では匍匐型、早春季では匍匐型に加えて遊泳型が優占する傾向がみられている。

夏季 早春 指 種名 個体数 割合 種名 個体数 割合 指標 種名 個体数 割合 指標 煙 マエグロヒメフタオカゲ 83 サワガー 48 17% アミメカワゲラ科 224 28% 67% os os ロウ オオクママダラカゲロ 48 17% オオマダラカゲロウ 116 14% 13 11% Paragnetina属 os OS. ムカシトンボ 32 11% ヒゲナガカワトビケラ 116 14% アミメカワゲラ科 9 7% os os 32 11% os Togoperla属 Microtendipes 属 172 13% Epeorus 属 290 14% シロハラコカゲロウ 214 16% os Simulium属 154 11% シロハラコカゲロウ 268 ナミヒラタカゲロウ 156 12% 13% os os Polypedilum属 130 10% Lepidostoma属 140 7% ヨシノコカゲロウ 128 9% os 32 Simulium属 560 28% シロハラコカゲロウ 8% os Prosimulium属 686 14% ヨシノマダラカゲロウ 502 25% os オオヤマシマトビケラ 32 シロハラコカゲロウ 498 10% 8% OS シロハラコカゲロウ 144 7% os Simulium属 8% ヨシノコカゲロウ 414 8% os ヨシノコカゲロウ 136 13% os Paraleptophlebia属 238 18% os H20 12% os Ecdyonurus 属 123 ヨシノコカゲロウ 232 17% os シロハラコカゲロウ カワゲラ科 75 **7**% 8% 109 os

表 6.3.2-22 優占種の推移:底生動物(深谷川)

注)上位3種までを計上している。また、個体数は $\,\mathrm{m}^2\,$ あたりの個体数を示す。

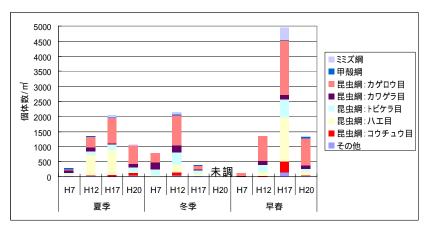


図 6.3.2-51 目別確認個体数の推移:底生動物(深谷川)

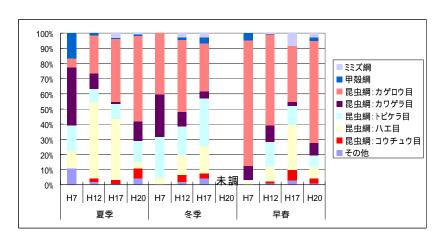


図 6.3.2-52 目別確認割合の推移:底生動物(深谷川)

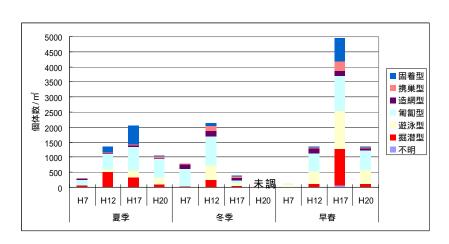


図 6.3.2-53 生活型別確認個体数の推移:底生動物(深谷川)

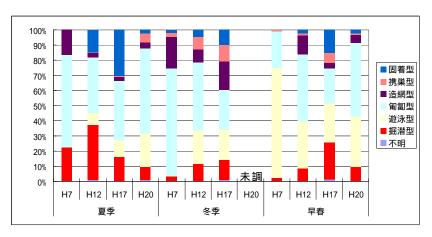


図 6.3.2-54 生活型別確認種数の推移:底生動物(深谷川)

# 注)生活型

- ・造網型:分泌絹糸を用いて捕獲網を作るもの
- ・固着型:強い吸着器官または鈎着器官をもって他物に固着しているもの
- ・匍匐型:河床を匍匐するもの
- ・携巣型:筒巣をもつもの、匍匐的運動をするが筒巣をもつ点において匍匐型とは別に考えた方が良い
- ・遊泳型:移動の際は主として遊泳によるもの
- ・掘潜型:砂または泥の中に潜っていることの多いもの

# (d)重要種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された重要種の一覧は 表 6.3.2-23 に示すとおりである。

流入河川における重要種については、これまでの調査で 10 種が確認されている。また、 継続的に確認されている種は少なく、ムカシトンボのみが平成7年度から平成20年度にか けて確認されている程度である。なお、ムカシトンボは、深谷川のみの確認であり、個体 数は経年とともに、減少傾向にある。

No.	科名	種名(和名)		選定	基準		河川名		部	查年周	芰	
NO.	111	1里口(11口)	1	2	3	4	丹川石	H5	H7	H12	H17	H20
1	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ			NT		宇陀川					1
2	シジミ	マシジミ			NT		宇陀川			22		
					INI		天満川			2		
3	ムカシトンボ	ムカシトンボ				希少	深谷川		8	4	1	1
4	ヤンマ	マルタンヤンマ				希少	宇陀川			1		
5	サナエトンボ	ミヤマサナエ				希少	宇陀川					4
6		キイロサナエ				希少	宇陀川			1		
7		ホンサナエ				希少	宇陀川				4	2
						サン	天満川				4	
8		アオサナエ				希少	宇陀川			1	1	5
0						サン	天満川					1
9	コオイムシ	オオコオイムシ				希少	天満川					1
1	ホタル	ゲンジボタル				郷土	天満川				1	
0						7GP	深谷川			1	11	1
	7科	10種	0種	0種	2種	8種		0種	1種	6種	4種	7種

表 6.3.2-23 経年確認種一覧:重要種

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

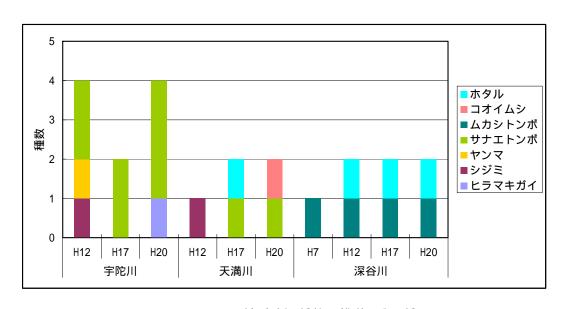


図 6.3.2-55 科別確認種数の推移:重要種

# (e)外来種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された外来種の一覧は 表 6.3.2-24 に示すとおりである。

流入河川における外来種については、これまでの調査でコシダカヒメモノアラガイ、サカマキガイ、アメリカザリガニの3種が確認されている。このうち、サカマキガイは調査を開始した平成5年度から天満川で継続的に確認されており、H20年度では増加する傾向がみられている。また、平成7年度からは、宇陀川でも確認されている。また、アメリカザリガニは平成12年度に初めて確認され、以降、平成20年度でも確認されている。

No.	科名	種名(和名)	選定	基準	河川名		訓	間査年度	支				
ΝΟ.	1111	1 = 口 (1 口 )	1	2	75771111	H5	H7	H12	H17	H20			
	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ			宇陀川					1			
'		コンノカビグビグブラが「			天満川					1			
					宇陀川		7	18	2	8			
2	サカマキガイ	サカマキガイ			天満川	1	4	8	4	53			
					内牧川	1							
3	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	注意		宇陀川			5	2	3			
	3科3種				-	1種	1種	2種	2種	3種			

表 6.3.2-24 外来種の経年確認種一覧:外来種

注)1.表中の数は、1地点/調査回あたりの個体数を示す。

2. 選定基準 1: 特定外来生物法 2: 外来種ハンドブック

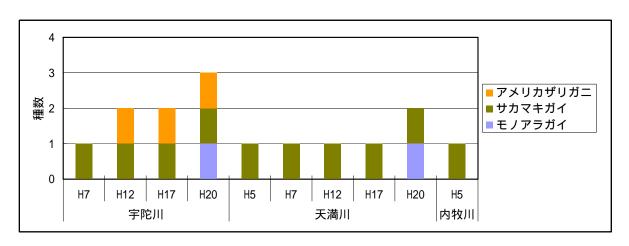


図 6.3.2-56 確認種数の推移:外来種

# 3)動植物プランクトン

流入河川における動植物プランクトンの調査は、これまでに計 3 回実施されている。調査地点数については、いずれの調査回も宇陀川、内牧川、天満川の 3 地点で実施しており、調査時期については 4 回/年実施されている。なお、各調査年度におけるダム湖周辺の調査数量、及び調査時期の詳細については、表 6.3.2-25 に示すとおりである。

また、調査実施時における流入河川の水量は 図 6.3.2-57~図 6.3.2-59 に示すとおりである。

表 6.3.2-25 調査内容一覧:動植物プランクトン

	調査年		H5	H11	H16	H18
	調査番	号	2	8	15	19
調		下流 河川	放水口	No . 1	No1(放水口)	淀室下-1
查地点	区分	ダム 湖内	網場,湖心,県取水口	No.2,No.3,No.4,	No.2(網場),No.3(湖 心),No.4(赤人橋)	淀室湖-1
		流入 河川	天満川,内牧川,高倉橋	No.5, No.6, No.7	No.5(天満川),No.6(内 牧川),No.7(宇陀川)	-
植物プラ	調査	数量	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m
ら		春季	H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23
	調査	夏季	H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15
F	時期	秋季	H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14
ン		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26	H17.2.7	H19.2.6
動物プラ	調査	数量	バンドーン型採水器 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各1/0.5、2.5、5.0、	バンドーン型採水器 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、	バンドーン型採水器 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、	バンドーン型採水器 、丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各1/0.5、2.5、5.0、
ン			10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4層	10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4層	10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4層	10.0、25.0m 1/4、2/4、3/4、4/4層
クし		春季	H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23
12	調査	-	H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15
1	時期	秋季	H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14
		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26	H17.2.7	H19.2.6

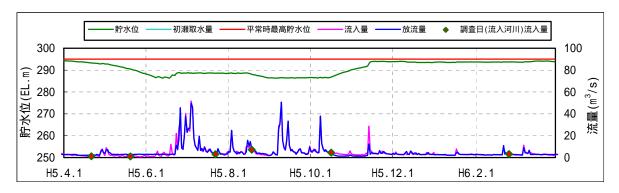


図 6.3.2-57 調査実施時の流況(平成 5年度)

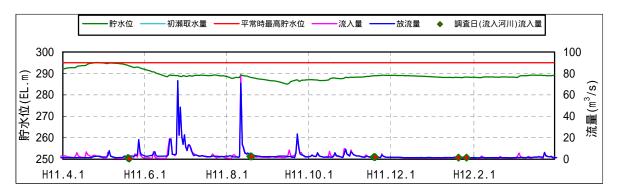


図 6.3.2-58 調査実施時の流況(平成 11 年度)

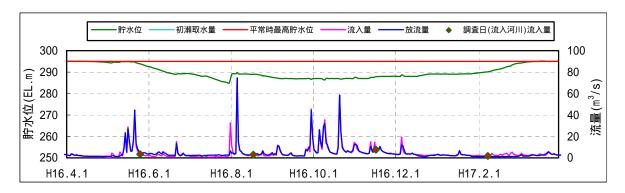


図 6.3.2-59 調査実施時の流況(平成 16 年度)

# (a)植物プランクトン

#### a)植物プランクトン相および優占種の変化の整理

流入河川で確認された植物プランクトンの優占種の一覧は 表 6.3.2-26、またその推移 については 図 6.3.2-60 ~ 図 6.3.2-61 に示すとおりである。

各調査年度で確認された植物プランクトンの総個体数は、平成5年度で2,975,000個体、平成11年度で4,475,000個体、平成16年度で539,750個体となった。優占した綱及び種は、平成5年度は珪藻類で *Cymbella turgidula*、平成11年度は緑藻類で *Micractinium pusillum*、平成16年は珪藻類で *Navicula radiosa*となった。

平成5年度で優占種となった珪藻類の Cymbel la turgidula は、止水域や河川下流に多い出現する傾向がある。また、平成11年度の優占種である Micract inium pusillum は、小さな池や養魚池、水たまりなど小規模な水域に出現する極めて普通な種である。第二位の珪藻類の Cyclotella meneghiniana は、ダム湖等の富栄養化した止水域に多産することが報告されている。平成16年の優占種である Navicula radiosa は、様々な水質の場所に出現するが、比較的流れの強い場所には出現しない種である。

H5 H11 H16 割合 割合 割合 綱名 綱名 学名 個体数 学名 個体数 綱名 個体数 (%) (%) Cymbella turgidula 珪藻 1076000 36.2 Micractinium pusillum 緑藻 578.000 12.9 Navicula radiosa 硅湿 329.300 61.0 珪藻 434000 珪藻 468,000 Encyonema minutum 14.6 Cyclotella meneghiniana 10.5 Cryptomonas ovata 39,500 7.3 Staurosira construens Carteria globulosa 緑蓮 427000 14.4 珪藻 468,000 10.5 Synedra ulna 珪藻 37,300 6.9 var.binodis 緑藻 140000 珪藻 387,000 28,000 5.2 Chlamydomonas so. 4.7 Melosira varians 8.6 Svnura uvella 珪藻 Navicula sp. 126000 Eudorina elegans 緑藻 304,000 Melosira varians 珪藻 23,900 4.4 Aulacoseira 珪藻 109000 緑藻 珪藻 Synedra ulna 3.7 Pandorina morum 244.000 5.5 19.000 3.5 granulata 218,000 Navicula viridula 玤藻 80000 2.7 Encyonema minutum 珪藻 4.9 Rhodomonas so. 10.800 2.0 珪藻 藍藻 珪藻 59000 2.0 Phormidium tenue 188.000 Cymbella turgidula 10.100 1.9 Melosira varians 4.2 Navicula cryptocephal 54000 1.8 Nitzschia palea 珪藻 145,000 3.2 Nitzschia paleacea 9,100 1.7 Ni tzschia Aulacoseira 硅藻 53000 1.8 Nitzschia aciqularis 硅藻 127 000 2.8 硅藻 8 300 1.5 granulata acicularis 珪藻 50000 珪藻 110,000 Navicula pupula 1.7 Nitzschia paleacea 2.5 Anabaena flos-aquae 藍藻 48000 1.6 Scenedesmus quadricauda 緑藻 96 000 2.1 珪藻 緑藻 92,000 36000 1.2 2.1 Bacillaria paradoxa Scenedesmus ecornis Cocconeis sp. 珪藻 31000 1.0 珪藻 74,000 1.7 Diatoma vulgare Nitzschia acicularis 珪藻 31000 1.0 Gomphonema angustatum 珪藻 63.000 1.4 1.0 珪藻 Rhodomonas sp. 29000 55.000 1.2 Navicula cryptocephala Phormidium retzii 藍藻 54,000 1.2 Synedra ulna 珪藻 51.000 1.1 48,000 1.1 Cryptomonas sp. 卜藻 緑蓮 46 000 1.0 Koliella elongata 藍藻 Phormidium sp 46,000 1.0 Comphoneis 往落 45.000 1.0 quadripunctatum Navicula radiosa 珪藻 43.000 1.0

表 6.3.2-26 優占種の推移: 植物プランクトン

注)1.表中の種は、確認割合1.0%以上の種を示した。

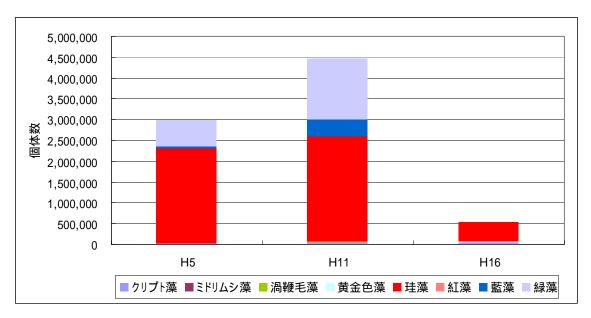


図 6.3.2-60 綱別確認個体数の推移:植物プランクトン

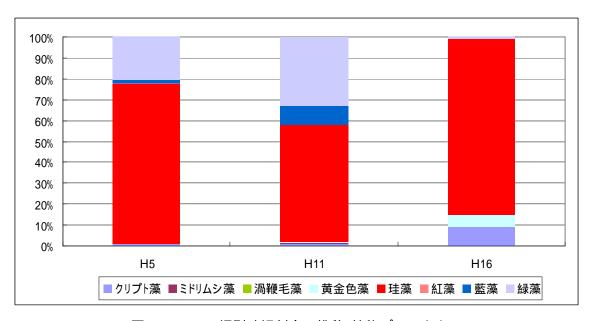


図 6.3.2-61 綱別確認割合の推移:植物プランクトン

# (b)動物プランクトン

# a)動物プランクトン相および優占種の変化の整理

流入河川で確認された動物プランクトンの優占種の一覧は表 6.3.2-27、またその推移 については 図 6.3.2-62 ~ 図 6.3.2-63 に示すとおりである。

各調査年度で確認された動物プランクトンの総個体数は、平成 5 年度で 22,200 個体、平成 11 年度で 388,000 個体、平成 16 年度で約 957,000 個体となった。優占した門及び種は、平成 5 年度は肉質鞭毛虫で Arcella *vulgaris*(ナベカムリ)、平成 11 年度は輪形動物の *Monostyla bulla*(タマゴガタエナガワムシ)であった。平成 16 年度は繊毛虫で Codonella cratera(スナカラムシ)となった。

確認種は、全国的に普通にみられ、水草のある場所を好む *Arcella vulgaris*(ナベカムリ)、富栄養化した水域に多く、湖沼やダム湖で夏に現存量を増加させる *Codonella cratera*(スナカラムシ)であった。

H16 H11 割合 割合 割合 門名 学名 門名 個体数 門名 個体数 個体数 (%) 10500 58300 223000 Arcella vulgaris 47.3 Monostvla bulla 15.0 Codonella cratera 23.3 繊毛 繊毛虫 繊毛中 202000 Tintinnidium sp. 10000 45.0 Vorticella sp. 56150 14.5 Tintinnidium fluviatile 21.1 烟 烟 維手中 Difflugia corona 1050 4.7 Arcella vulgaris 29150 7.5 Carchesium sp. 180000 18.8 艇 艇虫 節足 Polyarthra trigla 繊毛虫 Copepoda 650 Glaucoma scintillans 25000 6.4 71900 7.5 vulgaris 酒 Askenasia volvox 繊手中 22500 5.8 Difflugia corona 40000 4.2 内質 Centropyxis aculeata 21500 5.5 Didinium nasutum 繊毛虫 38000 4.0 内哲 Leucophrydium putrinum 17500 4.5 Arcella vulgaris 36915 3.9 緶包 繊毛虫 Tintinnidium fluviatile 3.6 Synchaeta stylata 30360 3.2 重批勿 Strombidium viride 12500 3.2 輸制 20000 2.1 繊毛虫 Colurella obtusa CILIOPHORA 18000 繊手中 11000 2.8 Monostvla lunaris 1.9 動物 Polyarthra trigla 輪 Strombidinopsis gyrans **繊毛**9 18000 1.9 動物 vulgaris 繊毛虫 10000 2.6 15700 1.6 Trichocerca capucina Epistvlis sp 重批勿 輸形 肉質 2.6 Trichocerca sp. 10000 Difflugia limnetica 14230 1.5 重加勿 便毛! Brachionus angularis **輪** 肉質 Centropyxis aculeata 12600 1.3 動物 angularis 鞭毛虫 1.9 1.3 Amphileptus claparedeii 繊毛虫 7500 Paradi leptus robustus 維手中 12000 1.9 繊毛虫 Carchesium polypinum 輸形 Euchlanis di latata 6750 1.7 動物 肉質 Difflugia corona 5100 1.3 / / / / / NEMATODA 5100 1.3 内質 5000 1.3 Euglypha sp. 鞭毛虫 Lepadella oblonga 1.3 重加勿 Notholca labis 5000 1.3 動物 Strombidinopsis gyrans 繊毛虫 5000 1.3 1.2 Copepoda 4550 1.0 4000 Rotaria so 重地勿 1.0

表 6.3.2-27 優占種の推移:動物プランクトン

注)1.表中の種は、確認割合1.0%以上の種を示した。

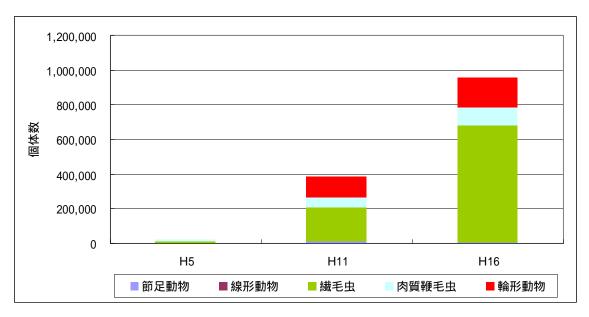


図 6.3.2-62 門別確認個体数の推移:動物プランクトン

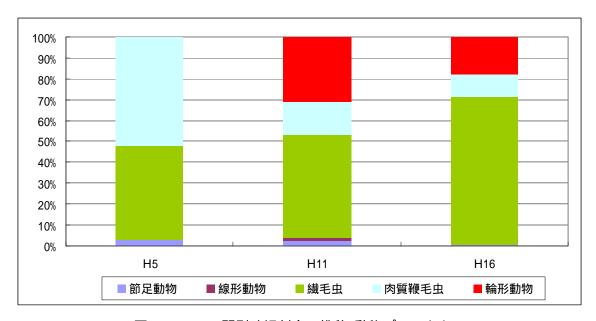


図 6.3.2-63 門別確認割合の推移:動物プランクトン

# 4)植物

流入河川における植物調査は平成 16 年度より開始されているため、それ以前の調査結果 との比較は行わないこととした。

# (a)植物相の変化の整理

平成 16 年度において、流入河川で確認された植物の科種数は 表 6.3.2-28 に示すとおりである。

調査結果は、調査対象地域が河川沿いであることを反映して、ネコヤナギ、オニグルミ、 ミゾソバ、ツルヨシ等の河川沿いや湿った環境を好む種が多く確認され、樹林に生育する 種は少ない傾向がみられている。

人 0:0:2 20 为原研剂能的证数 克·伯扬							
	分類				H16		
					科数	種数	
高等	高等植物			60	205		
	シダ植物				7	13	
	種子植物			53	192		
		裸子植物			0	0	
		被子	Z植物	1	53	192	
			双子	<sup>2</sup> 葉植物	46	143	
				離弁花類	34	98	
				合弁花類	12	45	
			単子	<sup>2</sup> 葉植物	7	49	

表 6.3.2-28 分類群別確認種数一覧:植物

#### (b)重要種の確認状況の整理

平成 16 年度調査において、流入河川で確認された重要種の一覧は 表 6.3.2-29 に示すとおりである。

確認された重要種は、いずれも河原等に生育する種であり、調査対象地域における代表的な重要種であると考えられる。

No. 科名	到夕	新夕/和夕\	選定基準					調査年度	
	種名(和名)	1	2	3	4	5	6	H16	
1	ウリ	ゴキヅル						希少	
2	シソ	メハジキ						希少	
2科2種			0種	0種	0種	0種	0種	2種	2種

表 6.3.2-29 経年確認種一覧:重要種

注)1.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:国立、国定公園指定植物 4:環境省 RL2007 5:改訂・近畿 RDB 6:奈良県 RDB

# (c)外来種の確認状況の整理

平成 16 年度調査において、流入河川で確認された外来種の一覧は表 6.3.2-30 に示すとおりである。

確認されている外来種のうち、アレチウリ、オオカワヂシャ、オオハンゴンソウの3種については、特定外来生物法の指定種に該当しており、今後の生育状況等については、注意が必要であると考えられる。

表 6.3.2-30 (1) 経年確認種一覧:外来種

NI-	TV &	年夕/和夕\	選定	E基準	調査年度
No.	科名	種名(和名) 	1	2	H16
1	イラクサ	ナンバンカラムシ			
2	タデ	シャクチリソバ			
3		ナガバギシギシ			
4		エゾノギシギシ	要注意		
5	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ			
6	ナデシコ	コハコベ			
	ヒュ	ホソアオゲイトウ			
8	フウチョウソウ	セイヨウフウチョウソウ			
9	ベンケイソウ	ツルマンネングサ			
10	マメ	アレチヌスビトハギ			
11		ムラサキツメクサ			
12		シロツメクサ			
13	カタバミ	オッタチカタバミ			
14	トウダイグサ	コニシキソウ			
15	スミレ	アメリカスミレサイシン			
16	ウリ	アレチウリ	特定		
17	アカバナ	メマツヨイグサ	要注意		
18	ヒルガオ	アサガオ			
19	ゴマノハグサ	ツタバウンラン			
20		オオカワヂシャ	特定		
21		オオイヌノフグリ			
22	オミナエシ	ノヂシャ			
23	キク	オオブタクサ	要注意		
24		ヒロハホウキギク			
25		アメリカセンダングサ	要注意		
26		ベニバナボロギク			
27		アメリカタカサブロウ			
28		ダンドボロギク			
29		ヒメムカシヨモギ	要注意		
30		ハキダメギク			
31		オオハンゴンソウ	特定		
32		セイタカアワダチソウ	要注意		
33		セイヨウタンポポ	要注意		
34		オオオナモミ	要注意		
35	イグサ	コゴメイ			
36	イネ	イヌムギ			
37		オニウシノケグサ	要注意		
38		ネズミムギ	要注意		
39		オオクサキビ			
40		シマスズメノヒエ			
41		キシュウスズメノヒエ	要注意		

表 6.3.2-30 (2) 経年確認種一覧:外来種

No.	科名	種名(和名)	選定基準		調査年度
		作品(作品)	1	2	H16
42	イネ	オオスズメノカタビラ			
43		セイバンモロコシ			
44		ナギナタガヤ			
19 科	19 科 44 種			44 種	44 種

注)1.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

# 5)鳥類

流入河川における鳥類調査は、平成 14 年度より開始されているため、平成 14 年度及び 平成 18・19 年度の調査結果による比較を行なった。ただし、調査手法については、平成 14 年度ではラインセンサス法を実施しているが、平成 19 年度ではスポットセンサス法と 異なる調査手法を実施していることから、変化の整理にあたっては、各年度の全調査日の 累積確認数を比較し、その推移を整理することとした。なお、調査手法及び調査地点等の 調査については、表 6.3.2-31 に示すとおりである。

表 6.3.2-31 調査内容一覧:鳥類

				2(0.0	2-31 嗣且内・	台 <sup>─</sup> 見.	
	調査年度	复		H5	Н9	H14	H18 • 19
	調査番号	<del>-</del>		2	6	12	18
		下流	可川	-	-	ラインセンサス(5-1)	スポットセンサス(淀室下 1)
÷= *		ダムネ	胡内	定点記録(P1~P3)	定点記録(P1~P3)	定点記録(P-1~P-3)	船上センサス(淀室湖 8)
調査		流入河	可川	-	-	ラインセンサス(5-2)	スポットセンサス(淀室入 3)
地点	区分	ダム	湖周辺	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス+定位記録法 (1,2,3,6) ラインセンサス(4-1,4-2) 夜間調査、移動中	ラインセンサス+スポットセンサス (淀室周 1 ~ 淀室周 3) 定点センサス(淀室周 4,淀室周 5) 夜間調査、移動中
		調査数	数量	7.2km (2回×1~2日)	7.2km	3.9km (2 □ × 2 ~ 3 □ )	-
			春季	(2回×1~2日) H5.5.28	(2回×1日) H9.5.8	(2回×2~3日) H14.5.8~10	_
ラインセ	2ンサス	調査	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.11	H14.6.13~14	<u> </u>
		一時期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.8	H14.10.8~9	<u> </u>
		期	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.27	H15.1.28、30	
		調査数		-	-	-	センサス 2.1km+スポット 9 地点 (スポット 1 箇所 10 分)
ラインセ	マンサス		春季	_	_	_	H19.5.16~17
- 1 - 1	<i>-</i>	調査時	夏季				H18.6.22 ~ 23
スポット	センサス	一時	-	<u> </u>	-	-	
		期	秋季		-	-	H18.10.12~13
		÷== "	冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数	1	-	-	-	9 地点(1 箇所 10 分)
<b></b>		調	春季	-	-	-	H19.5.16 ~ 17
スホット	センサス	査   時	夏季	=	-	-	H18.6.22 ~ 23
		期	秋季	-	-	-	H18.10.12 ~ 13
			冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数量		-	-	1.3km+80 分	-
	環境に応じた確認		春季	-	-	H14.5.8 ~ 10	-
ラインセ	ンサス法 H	調査時	夏季	-	-	H14.6.13~14	-
定位記		期	秋季	-	-	H14.10.8~9	<u> </u>
		1	冬季	-	-	H15.1.28、30	-
		調査数量		-	-	-	1 箇所 30 分
		迪	春季	-	-	-	H19.5.16
定点セ	ンサス	一 直 時	夏季	-	-	-	H18.6.22
		崩	秋季	-	-	-	H18.10.13
			冬季	-	-	-	H19.1.30~31
		調査数		1箇所[30分×3回]	1 箇所[30 分×3 回]	1 箇所[30 分×3 回]	-
			春季	H5.5.28 ~ 29	Н9.5.7	H14.5.8~10	-
定位記	己録法	調査	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.12	H14.6.13~14	-
		查時期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.9	H14.10.8~9	-
		201	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	<u> </u>
		調査数		no.1.25 ~ 20 -	нто.т.26 -	-	- 2人×1日(80~85分)
			春季	-	-	-	119.5.16
船上セ	ンサマ	調査	夏季	-	-	-	H18.6.22
ᄱᅩᅩᅩ		一時期					
		州	秋季	<del>-</del>	-	-	H18.10.12
		钿本*	冬季	2   01	2   01	2   0   0	H19.1.30
		調査数	T	2人×1日	2人×1日	2人×1日	3人×1日(180分)
夜間	<b>29</b>	調査	春李	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.15
1叉	IEI	時	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.23
		期	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.10
		4m ::	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	H19.1.29
		調査数		3人×1日	3人×1日	2人×2日	2人×2日
エクチム・上	o Taba ta m	調	春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8 ~ 10	H19.5.16 ~ 17
移動中	の確認	査   時	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.22 ~ 23
		期	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.12 ~ 13
			冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	H19.1.30 ~ 31

#### (a) 鳥類相の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された鳥類の一覧は 表 6.3.2-32 に示すとおりである。

流入河川の鳥類相については、ダイサギ、コサギ等のサギ類、オシドリ、カルガモ等のカモ類、キセキレイ、セグロセキレイ等のセキレイ類、コチドリ、ヤマシギ等のシギ・チドリ類、カワセミ類、カワガラス等の水辺の鳥類のほか、河川上空で採餌や探餌を行うトビ、ツバメ、イワツバメ等が確認されている。また、河川の草地から樹林にかけて生息するホオジロや樹林性のヒヨドリの個体数が多く確認されているほか、ヤマガラ、メジロ、イカル、カケス等の樹林性の種も確認されている。

種数についてみると、平成 14 年度の 26 種から、平成 18・19 年度は 32 種に増加している。個体数については、平成 14 年度から平成 18・19 年度にかけて、大きな変化はみられなかった。確認個体数の多い種は、平成 14 年度、平成 18・19 年度ともにヒヨドリ、ホオジロ、スズメであり、平成 14 年度ではカシラダカ、平成 18・19 年度ではキセキレイ、ウグイス等も比較的多く確認されている。

また、水辺を生息場所として利用する種について着目すると、図 6.3.2-64~図 6.3.2-66 に示すとおり、継続的に確認されているのはカワウ、カワセミ、キセキレイ、セグロセキレイの 4 種である。このうち、カワウ、セグロセキレイはわずかに減少し、キセキレイは増加、カワセミの個体数に変化はみられていない。その他の種については、単年度の確認であり、平成 14 年度にのみ確認された種は、ダイサギ、アオサギ、マガモ、コチドリの 4種、平成 18・19 年度に新たに確認された種は、コサギ、オシドリ、カルガモ、ヤマセミ、ハクセキレイ、カワガラスの 6 種であった。なお、カモ類については、マガモからオシドリ・カルガモに構成種が変化している。また、サギ類に関しては、ダイサギ・アオサギといった大型のサギ類からコサギに構成種が変化している。

表 6.3.2-32 経年確認種一覧:鳥類

No	口夕	和夕	新夕/和夕)	調査	年度
No.	目名	科名	種名(和名) 	H14	H18 • 19
1	ペリカン	ウ	カワウ	5	3
2	コウノトリ	サギ	ダイサギ	1	
3			コサギ		1
4			アオサギ	7	
5	カモ	カモ	オシドリ		1
6			マガモ	7	
7			カルガモ		7
8	タカ	タカ	トビ		2
9	キジ	キジ	コジュケイ		2
10		チドリ	コチドリ	1	
11		シギ	ヤマシギ		1
12	ハト	ハト	キジバト	5	1
13	カッコウ	カッコウ	ホトトギス		1
14	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ		1
15			カワセミ	2	2
16	キツツキ	キツツキ	アカゲラ		1
17			コゲラ	2	
18	スズメ	ツバメ	ツバメ	3	1
19			イワツバメ		24
20		セキレイ	キセキレイ	2	9
21			ハクセキレイ		5
22			セグロセキレイ	10	8
23		ヒヨドリ	ヒヨドリ	19	26
24		モズ	モズ	1	2
25		カワガラス	カワガラス		1
26		ツグミ	ツグミ	2	
27		ウグイス	ウグイス	2	8
28		シジュウカラ	ヤマガラ		3
29			シジュウカラ	7	3
30		メジロ	メジロ	4	3
31		ホオジロ	ホオジロ	25	28
32		チドリ	カシラダカ	12	
33			アオジ	3	2
34		アトリ	カワラヒワ	10	
35			ベニマシコ		3
36			イカル		3
37			シメ	1	
38		ハタオリドリ	スズメ	21	10
39		カラス	カケス	2	2
40			ハシボソガラス	3	1
41			ハシブトガラス	17	8
		-	•	26 種	32 種
		10目25科4	1 種	174	173
				個体	個体

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認数を示している。

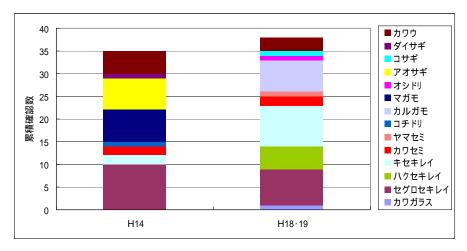


図 6.3.2-64 種別確認個体数の推移:水辺を利用する鳥類 (陸域を主に利用する種は含まない)

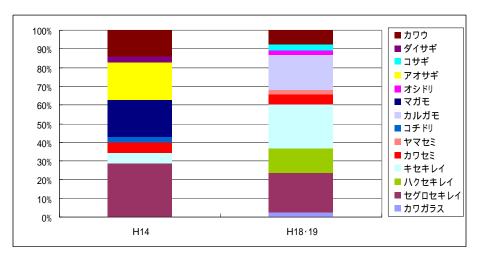


図 6.3.2-65 種別確認割合の推移:水辺を利用する鳥類 (陸域を主に利用する種は含まない)

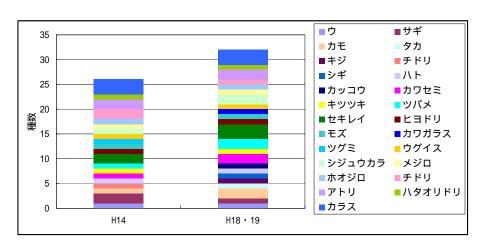


図 6.3.2-66 科別確認種数の推移:水辺を利用する鳥類 (陸域を主に利用する種は含まない)

## (b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された重要種は表 6.3.2-33、またその推移は 図 6.3.2-67~図 6.3.2-68 に示すとおりである。

流入河川における重要種の種数については、オシドリ、コチドリ、ヤマシギ、ホトトギス、ヤマセミ、アカゲラ、カワガラス、アオジ、ベニマシコ、イカル、シメ、の 11 種が確認されており、このうち、継続的に確認されているのはアオジ 1 種である。そのほかの種は、いずれも単年度の確認である。

個体数についてみると、平成 14 年度から平成 19 年度にかけては増加する傾向がみられた。また、種数についても、平成 19 年度には平成 14 年度の 3 倍に増加している。ただし、いずれの種も確認個体数は 1~3 個体程度である。

				PE 40.12						
No.	科名	種名(和名)		選定基準					調査年度	
NO.	17 TD	作里位(作4位 <i>)</i>	1	2	3	4	5	H14	H18 • 19	
1	カモ	オシドリ			DD	準絶	注目		1	
2	チドリ	コチドリ				準絶		1		
3	シギ	ヤマシギ					希少		1	
4	カッコウ	ホトトギス				準絶			1	
5	カワセミ	ヤマセミ					希少		1	
6	キツツキ	アカゲラ				準絶	希少		1	
7	カワガラス	カワガラス					希少		1	
8	ホオジロ	アオジ					準絶	3	2	
9	アトリ	ベニマシコ				準絶			3	
10		イカル					郷土		3	
11		シメ				準絶		1		
	9 科 11 種		0種	0種	1種	6種	7種	3種	9種	

表 6.3.2-33 経年確認種一覧:重要種

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認個体数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省RL2007 4:近畿レッド 5:奈良県RED

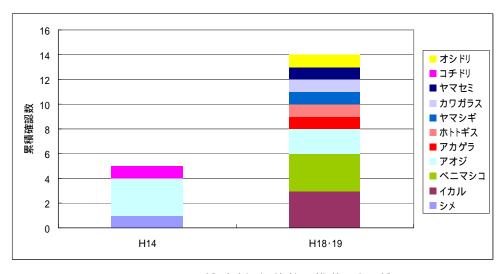


図 6.3.2-67 種別確認個体数の推移:重要種

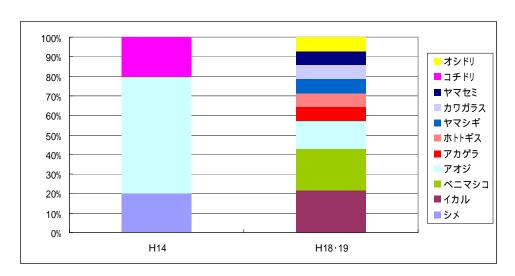


図 6.3.2-68 種別確認割合の推移:重要種

#### (c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された外来種の一覧は 表 6.3.2-34 に示すとおり、コジュケイ 1 種である。

流入河川の外来種については、平成 14 年度には確認されていないが、平成 18・19 年度には 2 個体が確認されている。

選定基準 調査年度 科名 種名(和名) No. H14 H18 • 19 1 2 キジ コジュケイ 1 1科1種 0種 1種 0種 1種

表 6.3.2-34 経年確認種一覧:外来種

#### 6)両生類・爬虫類・哺乳類

流入河川における両生類・爬虫類・哺乳類調査は、平成 15 年度より開始されているため、 それ以前の調査結果との比較は行わないこととした。

なお、確認状況は確認地点数と確認個体数(確認痕跡数)が混在していたため、確認地点数をデータとして扱った。

#### (a)両生類

## a)両生類相の変化の整理

平成 15 年度において流入河川で確認された両生類の一覧は 表 6.3.2-35 に示すとおりである。

確認種についてみると、オオサンショウウオ、イモリ、アマガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルの 5 種が確認されている。なお、これらの確認種は、オオサンショウウオを除き、ダム湖周辺においても確認されている種であった。

また、両生類は産卵場所、あるいは幼生の生息場所が水域となることから、表 6.3.2-36 に示すとおり、生活史のステージ段階別による確認状況の整理を行った。その結果、トノサマガエルの確認数のうち 2 地点が幼体であった。また、シュレーゲルアオガエルの確認は卵塊によるものであった。

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:特定外来生物 2:外来種ハンドブック」

表 6.3.2-35 確認種一覧:両生類

No.	目名	科名	種名(和名)	調査年度
110.	н	17 🖂	1	H15
1	サンショウウオ	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	2
2		イモリ	イモリ	1
3	カエル	アマガエル	アマガエル	3
4		アカガエル	トノサマガエル	3
5		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	1
		2目5科5種		5種

注)1.表中の数字は、確認地点数を示す。

2. :「平成 19 年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その 2)(室生ダム) (魚類調査)」の 6 月、8 月調査時において各 1 個体が確認されている。

表 6.3.2-36 確認内容一覧:両生類

Marail or Marail 11 2011 11 20									
		確認内容							\
No.	種名(和名)	捕獲	目撃	鳴き声	死体	卵塊	幼体	成体	合
1	オオサンショウウオ	1	1						2
2	イモリ				1				1
3	アマガエル			2				1	3
4	トノサマガエル						2	1	3
5	シュレーゲルアオガエル					1			1

注)1.表中の数字は、確認地点数を示す。

2. :「平成 19 年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その 2)(室生ダム)(魚類調査)」の 6 月、8 月調査時において各 1 個体が確認されている。

## b)重要種の変化の整理

平成 15 年度調査において、流入河川で確認された重要種は 表 6.3.2-37 に示すとおりである。

流入河川における重要種は、オオサンショウウオ、イモリの 2 種が確認されている。 なお、オオサンショウウオは平成 19 年度に実施した魚類調査時に、深谷川で確認されている。 いる。また、イモリは死体が 1 地点で確認されている。

表 6.3.2-37 確認種一覧:重要種

No.	科名	種名(和名)	選定基準				調査年度
NO.	1111	作里口(作中口)	1	2	3	4	H15
1	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	特別	国際	VU	注目	
2	イモリ	イモリ			NT		
	2科2種			1種	2種	1種	2種

注)1.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2006 4:奈良県 RDB

2. :「平成 19 年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その 2)(室生ダム)(魚類調査)」の 6月、8月調査時において各 1 個体が確認されている。

## c)外来種の変化の整理

平成 15 年度調査において、流入河川では外来種は確認されていない。

# (b)爬虫類

## a) 爬虫類相の変化の整理

平成 15 年度において流入河川で確認された爬虫類の一覧は 表 6.3.1-38 に示すとおりである。

確認種についてみると、クサガメ、カナヘビの2種が確認されている。なお、これらの2種は、いずれもダム湖周辺においても確認されている種であった。

調査年度 目名 科名 種名(和名) No. H15 1 カメ イシガメ クサガメ 3 トカゲ カナヘビ カナヘビ 2 2目2科2種 2 種

表 6.3.2-38 確認種一覧: 爬虫類

注)1.表中の数字は、確認地点数を示す。

# b)重要種の変化の整理

平成 15 年度調査において、流入河川では重要種は確認されていない。

#### c)外来種の変化の整理

平成15年度調査において、流入河川では外来種は確認されていない。

#### (c)哺乳類

#### a) 哺乳類相の変化の整理

平成 15 年度において流入河川で確認された哺乳類の一覧は 表 6.3.2-39 に示すとおりである。

確認種についてみると、コウベモグラ、ノウサギ、カヤネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属の一種、イノシシ、ホンドジカの8種が確認されている。

なお、これらの確認種は、トラップで捕獲されたコウベモグラを除き、ダム湖周辺に おいても確認されている種であった。

	27.1					
No	目名	科名	種名(和名)	調査年度		
	ΗΉ	171	1里口(14口)	H15		
1	モグラ	モグラ	コウベモグラ	2		
-			モグラ属	15		
2	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	5		
3	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	2		
-			ネズミ科	4		
4	ネコ	イヌ	タヌキ	7		
5			キツネ	1		
6		イタチ	イタチ属	7		
7	ウシ	イノシシ	イノシシ	1		
8		シカ	ホンドジカ	9		
	5目7科8種 8種					

表 6.3.2-39 確認種一覧:哺乳類

## b)重要種の変化の整理

平成 15 年度調査において、流入河川で確認された重要種は 表 6.3.2-40 に示すとおりである。

流入河川における重要種は、カヤネズミの 1 種であり、オギ群落等の草地環境で球巣が 2 地点で確認されている。

表 6.3.2-40 確認種一覧:重要種

No.	科名	種名(和名)		選定	基準		調査年度
NO.	111	性性(化性)	1	2	3	4	H15
1	ネズミ	カヤネズミ				希少	2
	1科1種			0種	0種	1種	1種

注)1.表中の数は、確認地点数を示す。

2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

#### c)外来種の変化の整理

平成 15 年度調査において、流入河川では外来種は確認されていない。

注)1.表中の数字は、確認地点数を示す。

<sup>2.</sup>種名に「・・・属」「・・・科」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

#### 7)陸上昆虫類等

流入河川における陸上昆虫類等調査は平成 15 年度より開始されているため、それ以前の 調査結果との比較は行わないこととした。

#### (a)陸上昆虫類相の変化の整理

流入河川で確認された陸上昆虫類等の分類群別種数は表 6.3.2-41 に示すとおりである。 分類群別種数で最も多かったのはコウチュウ目の 106 種で、次いでカメムシ目の 57 種、 クモ目の 46 種、チョウ目の 45 種の順であった。また、水生昆虫類のカゲロウ目やトビケ ラ目、コウチュウ目に属するガムシ科やゲンゴロウ科、ヒメドロムシ科、ヒラタドロムシ 科等も確認された。

H15 目名 種数 科数 クモ 13 46 トビムシ 6 6 カゲロウ 6 9 トンボ 4 7 カマキリ 1 1 バッタ 6 25 カメムシ 23 57 アザミウマ 1 1 シリアゲムシ 1 1 トビケラ 13 14 チョウ 15 45 ハエ 26 40 コウチュウ 30 106 ハチ 20 38 14目165科396種

表 6.3.2-41 分類群別確認種数一覧: 陸上昆虫類

# (b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川では重要種は確認されていない。

#### (c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、流入河川で確認された外来種は表 6.3.2-42 に示すとおりである。 流入河川におけるこれまでの調査では、平成 15 年度にブタクサハムシの 1 種が確認されている。

 No.
 科名
 種名(和名)
 選定基準
 調査年度

 1 ハムシ
 ブタクサハムシ
 1科1種
 0種
 1種

表 6.3.2-42 確認種一覧:外来種

注)1.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

## (2)ダムによる影響の検証

ダムの存在・供用に伴って、室生ダムの流入河川に生じる環境条件の変化により、流入河川に生息する多様な生物の生息・生育環境に影響を及ぼすものと想定される。

そこで、室生ダム流入河川における環境条件の変化、またそれにより生じる生物の生息・ 生育状況の変化を 図 6.3.2-69 のとおり整理し、生物の生息・生育状況の変化の検証を行っ た。

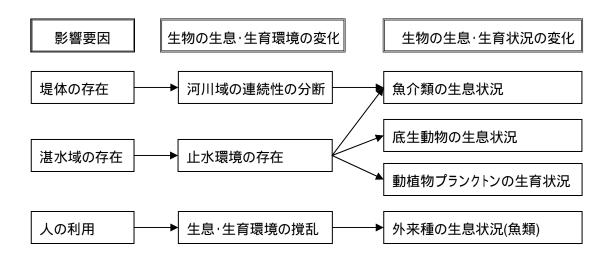


図 6.3.2-69 生物の生息・生育状況の変化と影響要因

# 1)流入河川の生物の生息・生育状況の変化の整理結果

# (a)魚介類

a) 魚類の生息状況の変化の整理結果

魚類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.2-43 に示す。

表 6.3.2-43 流入河川における魚類の生息状況の変化の整理結果

7	検討項目	変化の状況
魚類相の	種数	・宇陀川:平成 4 年度から平成 19 年度にかけて、確認種数が 11 種
変化		から 21 種へと増加している。
		・天満川:平成4年度から平成19年度にかけて、確認種数が3種か
		ら 10 種へと増加している。
		・深谷川:平成 13 年度から平成 19 年度にかけて、確認種数が 2 種
		から4種へと増加している。
生息状況	優占種の変化	・宇陀川:確認個体数は増加傾向にある。優占種は、平成 4 年度は
の変化		オイカワが 76%を占めていたが、平成 19 年度はオイカワが 36%、
		コウライモロコが 27%となっている。
		・天満川:確認個体数は平成 8 年度をピークに減少している。優占
		種は、平成5年度はトウヨシノボリ、以降はカワムツ及びウキゴ
		リが増加し、平成19年度ではこの2種が半数以上を占めている。
		・深谷川:確認個体数は増加傾向にある。優占種は、平成 13 年度、
		平成 19 年度ともにカワムツである。
	回遊性魚類の状況	・宇陀川:確認個体数は増加傾向にある。優占種は、平成 4 年度は
		アユであったが、平成 19 年度にはウキゴリとなっている。
		・天満川:確認個体数は平成8年度をピークに減少し、平成13年度
		から平成 19 年度にかけては概ね横ばいとなっている。優占種は     巫ばて矢度なび巫ばの矢度はトウスシンばは、N窓はウキブルト
		│ 平成 5 年度及び平成 8 年度はトウヨシノボリ、以降はウキゴリと │ │ なっている。
		なっている。  ・深谷川:アマゴが平成 19 年度に 1 個体確認されたのみである。
	 重要種の状況	自然分布と考えられる種
	主女性の小儿	・これまでの調査で、ギギ、アマゴ、メダカ、ウキゴリ、カワヨシ
		ノボリの 5 種が確認され、平成 19 年度調査ではすべてが確認さ
		れている。
		・ギギは宇陀川、ウキゴリは宇陀川・天満川で増加傾向にある。カ
		ワヨシノボリは宇陀川で増加、深谷川で減少している。アマゴは
		深谷川、メダカは宇陀川で平成19年度に確認されている。
		│ 放流等が由来と考えられる種 │・これまでの調査で、ハス、ホンモロコ、スゴモロコ、アユ、タウ │
		・これよどの調査と、ハス、ホノヒロコ、スコヒロコ、アユ、タラー   ナギの 5 種が確認され、平成 19 年度調査ではすべてが確認され
		ている。
		・主に宇陀川で確認されているが、タウナギは天満川、アユは、天
		満川、深谷川でも確認されている。
		・確認個体数に大きな変動はなく、平成 19 年度の段階では、いず
		れも 10 個体以下程度である。
	外来種の状況	・平成 13 年度にタウナギが天満川で 4 個体、平成 19 年度にタウナ
		ギが宇陀川で3個体、天満川で2個体確認されている。

# b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.2-44 に示す。

表 6.3.2-44 流入河川におけるエビ・カニ・貝類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
エビ・カ ニ・貝類 相の変化	種数	・平成4年度から平成13年度にかけては、確認種数は3~4種と、 ほぼ横ばいとなっている。
生息状況の変化	流入河川に生息 するエビ・カニ・ 貝類の状況 重要種の状況	・テナガエビを除き、経年とともに増加傾向にある。しかし、スジエビについては、平成 8 年度から平成 13 年度にかけて、減少に転じている。 ・平成 13 年度に、マシジミが天満川で 1 個体確認されている。
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種の生息は確認されていない。

# (b)底生動物の生息状況の変化の整理結果

底生動物の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.2-45 に示す。

表 6.3.2-45 流入河川における底生動物の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
底生動物 相の変化	種数	・平成 5 年度は 38 種であったが、経年とともに増加し、平成 17 年度では 182 種、平成 20 年度では 171 種となっている。 ・主な分類群は、カゲロウ目、トビケラ目、ハエ目である。
生息状況の変化	優占種の変化	・宇陀川:平成 7 年度では、基本的にはシマトビケラ類が優占種となるが、以降はシマトビケラ類のほか、ユスリカ類やイトミミズ類が優占する傾向がみられる。確認個体数については、調査年度でばらつきがみられる。全体的な傾向として、経年とともに貧腐水性種の確認割合が低くなっている。 ・天満川:平成 7 年度ではシマトビケラ類、12 年度ではコカゲロウ科やユスリカ科、平成 17 年度ではミズミミズ科やミズムシ、平成 20 年度ではシマトビケラ類等が優占する。確認個体数は概して平成 12 年度及び平成 20 年度が多い。平成 17 年度以外は貧腐水性種が優占種に含まれているが、平成 17 年度では含まれていない。 ・深谷川:平成 7 年度はカゲロウ類が優占するが、平成 17 年度及び平成 20 年度ではコカゲロウ料等が優占する。各調査年度ともに貧腐水性種が優占する。
	重要種の状況	・平成7年度に1種、平成12年度に6種、平成17年度に4種、平成20年度に7種が確認されている。平成20年度では、宇陀川でヒラマキガイモドキ、ミヤマサナエ、ホンサナエ、アオサナエ、天満川でアオサナエ、オオコオイムシ、深谷川でムカシトンボ、ゲンジボタルが確認されている。深谷川のムカシトンボ、ゲンジボタルは減少傾向にある。
	外来種の状況	・コシダカヒメモノアラガイ、サカマキガイ、アメリカザリガニが 確認されている。コシダカヒメモノアラガイは平成 20 年度に宇 陀川・天満川で、サカマキガイは宇陀川・天満川でほぼ経年的に 確認されており、アメリカザリガニは平成 12 年度以降、宇陀川 で確認されている。

# (c)動植物プランクトンの生息・生育状況の変化の整理結果

# a)植物プランクトン

植物プランクトンの生育状況の変化の整理結果を表 6.3.2-46 に示す。

表 6.3.2-46 流入河川における植物プランクトンの生育状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
植物プラ ンクトン 相の変化	種数	・確認種数については、平成 5 年度は 33 種、平成 11 年度は 74 種、 平成 16 年度は 22 種と、平成 5 年度から平成 11 年度にかけて増加し、以降は減少傾向となっている。
生育状況 の変化	優占種の変化	<ul><li>・平成5年度及び平成16年度は珪藻類、平成11年度は緑藻類であった。</li><li>・確認種は、止水域や河川下流、小さな池や養魚池、富栄養化した止水域に出現する種が多い傾向にあった。</li></ul>

# b)動物プランクトン

動物プランクトンの生息状況の変化の整理結果を表 6.3.2-47 に示す。

表 6.3.2-47 流入河川における動物プランクトンの生息状況の変化の整理結果

検討項目		変化の状況
動物プラ ンクトン 相の変化	種数	・確認種数については、平成 5 年度は 4 種、平成 11 年度は 44 種、 平成 16 年度と 33 種と、増減している。
生息状況 の変化	優占種の変化	・確認種は、全国的に普通にみられる種や富栄養化した水域に多い 種であった。

# (d)植物の生育状況の変化の整理結果

植物の生育状況の変化の整理結果を表 6.3.2-48 に示す。

表 6.3.2-48 流入河川における植物の生育状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況	
植物相の	種数	・平成 16 年度の調査において、205 種が確認されている。	
変化			
生育状況	流入河川周辺に	・河川沿いや湿った環境を好む種が多く確認され、樹林に生育する	
の変化	生育する植物の	種は少ない傾向がみられている。	
	状況		
	重要種の状況	・平成 16 年度の調査において、重要種はゴキヅル、メハジキの 2	
		種確認されている。	
		・これらは、いずれも河原等に生育する種である。	
	外来種の状況	・平成 16 年度の調査において、外来種は 44 種(うち 3 種は特定外	
		来種)が確認されている。	

# (e)鳥類の生息状況の変化の整理結果

鳥類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.2-49 に示す。

表 6.3.2-49 流入河川における鳥類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況	
鳥類相の	種数	・平成 14 年度では 26 種、平成 18・19 年度で 32 種と増加する傾向	
変化		がみられている。	
生息状況	流入河川に生息	・水辺を利用する種としては、カワウ、カワセミ、キセキレイ、セ	
の変化	する鳥類の状況	グロセキレイについては、継続的に確認されている。	
		・陸域を利用する種としては、ヒヨドリ、ホオジロ、スズメ等草地	
		から樹林に生息する種が多く確認されている。	
	重要種の状況	・平成 14 年度の 3 種から、平成 18・19 年度は 9 種に増加している。	
		・水辺を利用する種とし、オシドリ、コチドリ、ヤマシギ、ヤマセ	
		ミ、カワガラスの5種が確認されている。	
		・陸域を利用する種は、ホトトギス、アカゲラ、イカル等樹林性の	
		種、アオジ、ベニマシコ等藪や草地性の種等が確認されている。	
	外来種の状況	・コジュケイが平成 18・19 年度に確認されている。	

# (f)両生類・爬虫類・哺乳類

## a)両生類

ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果を表 6.3.2-50 に示す。

表 6.3.2-50 流入河川における両生類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
両生類相 の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、5 種が確認された。 ・なお、確認種には、平成 19 年度魚類調査時に確認されたオオサ ンショウウオを含む。
生息状況 の変化	流入河川に生息 する両生類の状 況	・オオサンショウウオ、イモリ、アマガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルの5種が確認されている。 ・流水性種は、オオサンショウウオのみでその他の種は、水田や池 沼等の止水環境及び周辺樹林を利用する種である。
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、イモリが確認された。また、平成 19 年度魚類調査時には深谷川でオオサンショウウオが確認され ている。
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種は確認されていない。

## b)爬虫類

ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果を表 6.3.2-51 に示す。

表 6.3.2-51 流入河川における爬虫類の生息状況の変化の整理結果

検討項目		変化の状況	
爬虫類相 の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、2 種の爬虫類が確認されている。	
生息状況 の変化	流入河川に生息 する爬虫類の状 況		
	重要種の状況	・これまでの調査において、重要種は確認されていない。	
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種は確認されていない。	

## c)哺乳類

ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果表 6.3.2-52 に示す。

表 6.3.2-52 流入河川における哺乳類の生息状況の変化の整理結果

;	検討項目	変化の状況	
哺乳類相	種数	・平成 15 年度の調査において、8 種の哺乳類が確認された。	
の変化			
生息状況	流入河川周辺に	・コウベモグラ、ノウサギ、カヤネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ	
の変化	生息する哺乳類	属、イノシシ、ホンドジカの8種が確認された。	
	の状況		
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、カヤネズミが確認された。球巣が	
		オギ群落等の草地環境で確認された。	
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種は確認されていない。	

# (g)陸上昆虫類等

ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果を表 6.3.2-53 に示す。

表 6.3.2-53 流入河川における陸上昆虫類等の生息状況の変化の整理結果

検討	村項目	変化の状況	
陸上昆虫類 相の変化	種数	・平成 15 年度の調査では、396 種が確認されている。	
生息状況の変化	流入河川に生 息する陸上昆 虫類等の状況	・目別確認種数で最も多かったのはコウチュウ目の 106 種で、次にでカメムシ目の 57 種、クモ目の 46 種、チョウ目の 45 種の順であった。 ・水生昆虫類ではカゲロウ目やトビケラ目、コウチュウ目に属するガムシ科やゲンゴロウ科、ヒメドロムシ科、ヒラタドロムシ科等も確認された。	
	重要種の状況	・これまでの調査において、重要種は確認されていない。	
	外来種の状況	・平成 15 年度において、ブタクサハムシの 1 種が確認されている。	

## 2)ダム湖の存在・供用による生物への影響の整理結果

## (a)魚介類

## a)魚類

ダムの存在・供用による魚類への影響の整理結果を表 6.3.2-54 に示す。

表 6.3.2-54 ダムの存在・供用による魚類への影響の整理結果

検討項	目	ダムの存在・供用に伴う影響
魚類相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在
	回遊性魚類の状 況	・止水環境の存在 ・河川域の連続性の分断(水質保全ダムの 存在を含む)
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

# b)エビ・カニ・貝類

ダムの存在・供用によるエビ・カニ・貝類への影響の整理結果を表 6.3.2-55 に示す。

表 6.3.2-55 ダムの存在・供用によるエビ・カニ・貝類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
エビ・カニ・貝類相	種数	・止水環境の存在
の変化		
生息状況	流入河川に生息	・止水環境の存在
の変化	するエビ・カ	
	二・貝類の状況	
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

### (b) 底生動物

ダムの存在・供用による底生動物への影響の整理結果を表 6.3.2-56 に示す。

表 6.3.2-56 ダムの存在・供用による底生動物への影響の整理結果

		0 0 0 1 D = 20 10
検討項	頁目	ダムの存在・供用に伴う影響
底生動物相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

## (c)動植物プランクトン

# a)植物プランクトン

ダムの存在・供用による植物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.2-57 に示す。

表 6.3.2-57 ダムの存在・供用による植物プランクトンへの影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
植物プランクトン	種数	・止水環境の存在
相の変化		
生育状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在

## b)動物プランクトン

ダムの存在・供用による動物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.2-58 に示す。

表 6.3.2-58 ダムの存在・供用による動物プランクトンへの影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
動物プランクトン相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化	優占種の変化	・止水環境の存在

# (d)植物

ダムの存在・供用による植物への影響の整理結果を表 6.3.2-59 に示す。

表 6.3.2-59 ダムの存在・供用による植物への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
植物相の変化	種数	・止水環境の存在
生育状況の変化	流入河川周辺に生 育する植物の状況	・止水環境の存在
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

# (e) 鳥類

ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果を表 6.3.2-60 に示す。

表 6.3.2-60 ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響		
鳥類相の変化	種数	・止水環境の存在		
生息状況の変化	重要種の状況	・止水環境の存在		
	外来種の状況	・止水環境の存在		
		・生息環境の攪乱		

# (f) 両生類・爬虫類・哺乳類

## a) 両生類

ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果を表 6.3.2-61 に示す。

表 6.3.2-61 ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響		
両生類相の変化	種数	・止水環境の存在		
生息状況の変化	重要種の状況	・止水環境の存在		
外来種の状況		・止水環境の存在		
		・生息環境の攪乱		

## b) 爬虫類

ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果を表 6.3.2-62 に示す。

表 6.3.2-62 ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
爬虫類相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化	流入河川に生息す	・止水環境の存在
る爬虫類の状況		
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

# c)哺乳類

ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果を表 6.3.2-63 に示す。

表 6.3.2-63 ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果

	* 11.1— 11.11.11	
検討	討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
哺乳類相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化 流入河川に生息す		・止水環境の存在
	る哺乳類の状況	
	重要種の状況	・止水環境の存在
	外来種の状況	・止水環境の存在
		・生息環境の攪乱

## (g) 陸上昆虫類等

ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果を表 6.3.2-64 に示す。

表 6.3.2-64 ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響	
陸上昆虫類相の	種数	・止水環境の存在	
変化			
生息状況の変化 流入河川周辺に生 息する陸上昆虫類 等の状況		・止水環境の存在	
	重要種の状況	・止水環境の存在	
	外来種の状況	・止水環境の存在	
		・生息環境の攪乱	

# 3)ダム湖の存在・供用以外の考えうる因子の整理結果

# (a)魚介類

## a)魚類

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による魚類への整理結果を表 6.3.2-65 に示す。

表 6.3.2-65 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による魚類への影響の整理結果

検詢	対項目	ダムの存在以外の影響		
魚類相の変化	種数	・放流(漁業・遊漁)		
		・河川環境の変化		
生息状況の変化	優占種の変化	・放流(漁業・遊漁)		
		・河川環境の変化		
	回遊性魚類の状況	・放流(漁業・遊漁)		
		・河川環境の変化		
	重要種の状況	・放流(漁業・遊漁)		
		・河川環境の変化		
	外来種の状況	・放流(漁業・遊漁)		
		・河川環境の変化		

# b)エビ・カニ・貝類

ダムの存在・供用以外の考えうる因子によるエビ・カニ・貝類への整理結果を表 6.3.2-66 に示す。

表 6.3.2-66 ダムの存在・供用以外の考えうる因子によるエビ・カニ・貝類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在以外の影響	
エビ・カニ・貝類相の変化	種数	・河川環境の変化	
生息状況の変化 優占種の変化		・河川環境の変化	
	回遊性魚類の状況	・河川環境の変化	
	重要種の状況	・河川環境の変化	
	外来種の状況	・河川環境の変化	

# (b)底生動物

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による底生動物への整理結果を 表 6.3.2-67 に示す。

表 6.3.2-67 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による底生動物への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在以外の影響	
底生動物相の変化	種数	・河川環境の変化	
生息状況の変化 優占種の変化		・河川環境の変化	
	重要種の状況	・河川環境の変化	
	外来種の状況	・河川環境の変化	
		・魚類の放流(漁業・遊漁)	

# 4)流入河川の生物の変化に対する影響の検証結果

# (a)魚介類

# a)魚類

魚類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-68 に示す。

表 6.3.2-68 (1) 魚類の変化に対する影響の検証結果

検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
魚類相の変化	種数	・宇陀川:平成4年度から平成19年度にかけて、確認種数が11種から21種へと増加している。 ・天満川:平成4年度から平成19年度にかけて、確認種数が3種から10種へと増加している。 ・深谷川:平成13年度から平成19年度にかけて、確認種数が2種から4種へと増加している。	存在	・放流 (漁 業・遊漁) ・河川環境 の変化	・確認種類の増加は、いっぱいのでは、いっぱいのでは、いっぱいでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	
生息状況の変化	優占種の変化	・宇陀川:確認個体数は増加傾向にある。 優占種は、平成4年度はオイカワが76% を占めていたが、平成19年度はオイカ ワが36%、コウライモロコが27%となっている。 ・天満川:確認個体数は平成8年度をピークに減少している。優占種は、平成5年度はトウヨシノボリ、以降はカワムツ及びウキゴリが増加し、平成19年度ではこの2種が半数以上を占めている。 ・深谷川:確認個体数は増加傾向にある。優占種は、平成13年度、平成19年度ともにカワムツである。	・止水環境の 存在	・放流 (漁 業・河軍化 の変化	・加境響も 度種ウ少ら勘境のい て、のでえい境響も 度種ウ少ら勘境のい て、のでえい地境響も 度種ウ少ら勘境のい て、のでえい地境響も 度種ウ少ら勘境のい て、のでえい地境響も 度種ウ少ら勘境のい て、のでえ	×
	回遊性魚類の状況	・宇陀川:確認個体数は増加傾向にある。 優占種は、平成 4 年度はアユであったが、平成 19 年度にはウキゴリとなっている。 ・天満川:確認個体数は平成 8 年度をピークに減少し、平成 13 年度から平成 19 年度にかけては概ね横ばいとなっている。 優占種は平成5年度及び平成8年度はトウヨシノボリ、以降はウキゴリとなっている。 ・深谷川:アマゴが平成19 年度に1 個体確認されたのみである。	・止存・河続断全存の・河続断全存む)	・放流 (漁 業・遊漁) ・河川環境 の変化	・加、なれ 度シキいのる調に能 のはの・加、なれ 度シキいのる調に能 のはの・加、なれ 度シキいのる調に能 のはの・加、なれ 度シキいのる調に能 のはの はの	×

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

: 室生ダムの影響がみられるもの x:変化がほとんどみられないもの : 室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

表 6.3.2-68(2) 魚類の変化に対する影響の検証結果

	寸項 目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
生息状況の変化	重要種の状況	自然分布と考えられる種 ・これまでの調査で、ギギ、アマゴ、メダカでの調査で、ギギ、アマの5種ではすべい5種ではすべい。 ・ガリーのでは、カワのではでは、アマガルででは、アロのでは、アロのでででは、アマガルでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	・止水環境の存在	・放流・遊環・河変化 (漁) 境	自る平認にい環響は放ら確年つこ在いア入年の外で自る平認にい環響は放ら確年つこ在いア入年のが種が種がはようににき来はてれ環響れていお実を度値確こ在かで由数つら水影らいお実った。、とれ止るいい考にはなったが、る境でるはてさら、とれ止るいい考にががのは。、、れの確もて水影で、えるら、存な流毎である。、なれかのは、、、のはのは、、のはのは、、のはのは、、のはのは、のはのは、、のはのは、のはのは、のは、	
	外来種の状況	・平成 13 年度にタウナギが天満川で 4 個体、平成 19 年度にタウナギが宇陀川で3 個体、天満川で2個体確認されている。	・止水環境の 存在 ・生息環境の 攪乱	業・遊漁)	・宇陀川、天満川におけるタウナギの定着についての詳細は水明であるが、止水環境の存在による影響とは無関係であると考えられる。	×

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-69 に示す。

表 6.3.2-69 エビ・カニ・貝類の変化に対する影響の検証結果

検	討項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
エビ・カニ・貝類相の変化	種数	・平成4年度から平成13年度にかけては、 確認種数は3~4種と、ほぼ横ばいとなっている。	・止水環境の 存在	・河川環境 の変化	・エビ類は河川緩流部 やダム湖、カワニナ、 マシジミ、サワガラ は河川を生息環流 することから、流変 河川には大きなのと考 はなかったものと考 えられる。	×
生息状況の変化	エビ・カニ・貝類の状況 流入河川に生息する	・テナガエビを除き、経年とともに増加傾向にある。しかし、スジエビについては、平成8年度から平成13年度にかけて、減少に転じている。	・止水環境の 存在	・河川環境 の変化	・平成 8 年度から平成 13 年度にかけてのス ジエビの減少は、肉 食性魚類等の影響が 及んでいる可能性が あるが、変化の要因 は不明である。	
	重要種の状況	・平成 13 年度に、マシジミが天満川で 1 個体確認されている。	・止水環境の 存在	・河川環境 の変化	・マシジミは河川や水路等の流水域を主な生息環境とする。	×
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種の生息 は確認されていない。	・止水環境の 存在 ・生息環境の 攪乱	・河川環境 の変化	-	1

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (b)底生動物

底生動物の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-70 に示す。

表 6.3.2-70 底生動物の変化に対する影響の検証結果

表 0.3.2-70 - 低土動物の変化に対する影音の快能結果									
検討 項目		変化の状況	ダムの 存在・供用に 伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果				
変化の場合の	種数	<ul> <li>・平成5年度は38種であったが、経年とともに増加し、平成17年度では182種、平成20年度では171種となっている。</li> <li>・主な分類群は、カゲロウ目、トビケラ目、ハエ目である。</li> </ul>		・河川環 境の変化	・確認種数の増加につい ては、調査手法等の変 更や、分類に係わる知 見の増加による可能性 があるが、変化の要因 は不明である。				
生息状況の変化	優占種の変化	・宇陀川: 平成 7 年度では、基本的にはシマトビケラ類が優占種となるが、以降イトミス類が優占する傾向がみられる。 マトビケラ類のほか、ユスリカ類る。暗認個体数については、調査中としてでは、調査中としてでは、調査中とともに貧腐水性種の確認割けて低くなっている。・天満川: 平成 7 年度ではシマトビケラ類、12 年度ではコカゲロウ科やユスリラ科、平成 17 年度ではシマトビケラ類、平成 17 年度ではシマトビケラ類、平成 17 年度ではシマトビケラ類、平成 17 年度ではシマトビケラ類が優占する。確認個体数は概して平成 17 年度以外は貧腐水性種が優占種に含まれているが、平成 17 年度ではカゲロウ類が優占にいるが、平成 17 年度ではカゲロウ類が優占ではコカゲロウ科等が優占する。各種では、10 では、10	・止水環境 の存在 ・水質の変 化	・河川環境の変化	・宇陀川:調査年度・時期 によってな違いはみられるである。 ・天満川ではなのである。・天満川では、でなってなってのでは、できれてである。・時期になったが、明査・時期になったが、できれているが、できないである。・深のは、17年度ができないでは、17年度ができないでのである。・であるがである。・であるが、である。・である。・である。・である。・である。・である。・である。・である。・				
	重要種の状況	・平成7年度に1種、平成12年度に6種、 平成17年度に4種、平成20年度に7種が確認されている。平成20年度では、宇 陀川でヒラマキガイモドキ、ミヤマサナ エ、ホンサナエ、アオサナエ、天満川で アオサナエ、オオコオイムシ、深谷川で ムカシトンボ、ゲンジボタルが確認され ている。深谷川のムカシトンボ、ゲンジ ボタルは減少傾向にある。	・止水環境 の存在	・河川環境の変化	・確ので環はられていた。 ではいい はいにない 20ラオ地のででではいいにない 20ラオ地のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで				
	外来種の状況	・コシダカヒメモノアラガイ、サカマキガイ、アメリカザリガニが確認されている。 コシダカヒメモノアラガイは平成 20 年度に宇陀川・天満川で、サカマキガイは宇陀川・天満川でほぼ経年的に確認されており、アメリカザリガニは平成 12 年度以降、宇陀川で確認されている。	・生息環境 の攪乱	・河川環 境の変化 ・魚類の 放流(漁 業・遊漁)	・確認状況の推移から、 サカマキガイは、宇陀 川・天満川に定着して いるものと考えられ る。また、アメリカザ リガニについても、宇 陀川に定着しているも のと考えられる。				

# 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

: 室生ダムの影響がみられるもの x:変化がほとんどみられないもの : 室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (c)動植物プランクトン

a)植物プランクトン

植物プランクトンの変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-71 に示す。

表 6.3.2-71 植物プランクトンの変化に対する影響の検証結果

検討項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果		
を 植物プランク を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・確認種数については、平成5年度は33種、平成11年度は74種、平成16年度は22種と、平成5年度から平成11年度にかけて増加し、以降は減少傾向となっている。	・ダム湖への 流入水質	・ダム湖へ の流入水 質	・確認種数の増減は、 調査手法等の変更 や、分類に係わる知 見の変化によるもの が大きく、環境の変 化による影響は確認 できなかった。		
生育状況の変化	<ul> <li>・平成5年度及び平成16年度は珪藻類、 平成11年度は緑藻類であった。</li> <li>・確認種は、止水域や河川下流、小さな 池や養魚池、富栄養化した止水域に出 現する種が多い傾向にあった。</li> </ul>	・ダム湖への流入水質	・ダム湖へ の流入水 質	・止水域や河川下流、 小さな池や養魚池、 富栄養化した止水域 に出現する種が多か ったが、水質環境が 悪化している状況で はないと考えられ る。		

#### 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## b)動物プランクトン

動物プランクトンの変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-72 に示す。

表 6.3.2-72 動物プランクトンの変化に対する影響の検証結果

検討項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
対相の変化 動物プランクト	・確認種数については、平成 5 年度は 4 種、平成 11 年度は 44 種、平成 16 年度 と 33 種と、増減している。	・ダム湖への 流入水質	・ダム湖へ の流入水 質	・確認種数の増減は、同定技術の進歩や調査時期によるものが大きく、環境の変化による影響は確認できなかった。	
の変化 生息状況 を占種の変化	・確認種は、全国的に普通にみられる種や 富栄養化した水域に多い種であった。	・ダム湖への流入水質	・ダム湖へ の流入水 質	・全国的に普通にみられる種や富栄養化した水域に多い種であったが、水質環境が悪化している状況ではないと考えられる。	

## 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの x:変化がほとんどみられないもの:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

#### (d)植物

# 植物の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-73 に示す。

表 6.3.2-73 植物の変化に対する影響の検証結果

_						
検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
植物相の変化	種数	・平成 16 年度の調査において、205 種が確認されている。	・止水環境 の存在	-	・平成 16 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はできな いが、確認された種 の多くはダム湖周 辺でも確認され いる種であった。	-
生育状況の変化	する植物の状況流入河川周辺に生育	・河川沿いや湿った環境を好む種が多く確認され、樹林に生育する種は少ない傾向がみられている。	・止水環境 の存在	-	・平成 16 年度調査結果のみであるため、経年比較はできないが、確認された種の変もをはずム湖周辺でも確認された。	-
	状況重要種の	<ul><li>・平成 16 年度の調査において、重要種は ゴキヅル、メハジキの 2 種確認されて いる。</li><li>・これらは、いずれも河原等に生育する 種である。</li></ul>	・止水環境 の存在	-	・平成 16 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はできない。	-
	外来種の状況	・平成 16 年度の調査において、外来種は44 種(うち3種は特定外来種)が確認されている。	・止水環境 の存在 ・生息環境 の攪乱	-	・平成 16 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はできな い。	-

# 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (e)鳥類

鳥類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-74 に示す。

表 6.3.2-74 鳥類の変化に対する影響の検証結果

検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
鳥類相の変化	種 数	・平成 14 年度では 26 種、平成 18・19 年 度で 32 種と増加する傾向がみられてい る。	・止水環境の 存在	-	・確認種数の増加は、 渡来種数の増加のほかに、調査手法の違いによる影響も考えられる。	×
生息状況の変化	流入河川に生息する鳥類の状況	<ul> <li>・水辺を利用する種としては、カワウ、カワセミ、キセキレイ、セグロセキレイについては、継続的に確認されている。</li> <li>・陸域を利用する種としては、ヒヨドリ、ホオジロ、スズメ等草地から樹林に生息する種が多く確認されている。</li> </ul>	・止水環境の 存在	-	・水辺を利用するダイ サギ、アオサギ等の 大型のサギ類が確認 されなくなったもと から、河岸の植生が 繁茂するなど、利用 しづらい環境に変化 した可能性があると 考えられる。	
	重要種の状況	・平成 14 年度の 3 種から、平成 18・19年度は 9 種に増加している。 ・水辺を利用する種とし、オシドリ、コチドリ、ヤマシギ、ヤマセミ、カワガラスの 5 種が確認されている。 ・陸域を利用する種は、ホトトギス、アカゲラ、イカル等樹林性の種、アオジ、ベニマシコ等藪や草地性の種等が確認されている。	・止水環境の 存在	-	・重要種の増加は、渡 来数の増加のほか に、調査手法の違い による影響も考えら れる。	
	外来種の状況	・コジュケイが平成 18・19 年度に確認されている。	・止水環境の 存在 ・生息環境の 攪乱	-	・コジュケイは、日本 に移入された年代が 古い種であることか ら、古くから周辺で 定着していたものと 考えられる。	

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - :室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
    - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (f)両生類・爬虫類・哺乳類

# a)両生類

両生類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-75 に示す。

表 6.3.2-75 両生類の変化に対する影響の検証結果

			ダムの	ダムの		
檢討	寸項目	変化の状況	存在・供用	存在以外	検証結果	
IXH	J-X-H	21000 1000	に伴う影響	の影響	1XIII MIX	
両生類相の変化	<b>種</b> 数	<ul> <li>・平成 15 年度の調査において、5 種が確認された。</li> <li>・なお、確認種には、平成 19 年度魚類調査時に確認されたオオサンショウウオを含む。</li> </ul>	・止水環境の 存在	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、 年比較はできない が、確認された種は オオサンショウカ を除き、ダム湖周 で確認されている種 である。	-
生息状況の変化	両生類の状況	<ul><li>・オオサンショウウオ、イモリ、アマガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルの5種が確認されている。</li><li>・流水性種は、オオサンショウウオのみでその他の種は、水田や池沼等の止水環境及び周辺樹林を利用する種である。</li></ul>	・止水環境の 存在	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、 い 年比較はできない が、確認された種は オオサンショウウオ を除き、ダム湖の で確認されている種 である。	-
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、イモリが確認された。また、平成 19 年度魚類調査時には深谷川でオオサンショウウオが確認されている。	・止水環境の 存在	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、イモリはダム湖 周辺で確認されてい る。	-
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種は確認されていない。	・止水環境の 存在 ・生息環境の 攪乱	-	-	-

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - :室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
    - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# b)爬虫類

爬虫類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-76 に示す。

表 6.3.2-76 爬虫類の変化に対する影響の検証結果

1							
検討項目		# /k o / l \ \	ダムの	ダムの	<u>+</u> △+⊤/+ ⊞		
筷 訂	可垻日	変化の状況	存在・供用	存在以外			
			に伴う影響	の影響			
爬	種	・平成 15 年度の調査において、2 種の	・止水環境の		・平成 15 年度調査結		
虫	種 数	爬虫類が確認されている。	存在		果のみであるため、		
類					経年比較はできな		
作				-	いが、確認された種	-	
爬虫類相の変化					のいずれもダム湖		
化					周辺で確認されて		
					いる種であった。		
生	爬流	・クサガメ、カナヘビの 2 種が確認さ	・止水環境の		・平成 15 年度調査結		
生息状況の変化	虫λ	れている。	存在		果のみであるため、		
<b></b>	類流				経年比較はできな		
ガの	W 川				いが、確認された種		
変	光に			-	のいずれもダム湖	-	
化	生自				周辺で確認されて		
	す				いる種であった。		
	の状況の状況						
			・止水環境の				
	重 要 種	確認されていない。	存在				
	種	にはいてものできる。	17-17-				
	<u></u>			-	-	-	
	が状況						
	ルエ						
		・これまでの調査において、外来種は	・止水環境の				
	外亚	確認されていない。	存在				
	来種	нено С 1 0 С 0 1/6 0 1 <sub>0</sub>	・生息環境の				
	<u></u>		単記域現の   攪乱	-	-	-	
	の状況		り見口し				
	兀						

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# c)哺乳類

哺乳類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-77 に示す。

表 6.3.2-77 哺乳類の変化に対する影響の検証結果

検	討項目	変化の状況	ダムの 存在・供用	ダムの 存在以外	検証結果	
., .,		22.0% 2.00	に伴う影響	の影響		
哺乳類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、8 種の 哺乳類が確認された。	・止水環境の 存在	-	・平成 15 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はできが、コウベモグラ を除き、確認された 種はダム湖周いる種 である。	-
生息状況の変化	哺乳類の状況流入河川に生息する	・コウベモグラ、ノウサギ、カヤネズミ、 タヌキ、キツネ、イタチ属、イノシシ、 ホンドジカの8種が確認された。	・止水環境の 存在	-	・平成 15 年度調査結 果のみであるできるたき 経年比対でもでもできるできるできるできるできるできるできる。 経年はが、コウベションではいる。 種認されている種である。	-
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、カヤネズミが確認された。球巣がオギ群落等の草地環境で確認された。	・止水環境の 存在	-	・平成 15 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はできな いが、カヤネズミは ダム湖周辺で確認 されている。	-
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種は確 認されていない。	・止水環境の 存在 ・生息環境の 攪乱	-	-	-

# 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (g)陸上昆虫類等

陸上昆虫類等の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.2-78 に示す。

表 6.3.2-78 陸上昆虫類等の変化に対する影響の検証結果

検討項目		変化の状況	ダムの 存在・供用に伴う 影響	ダムの 存在以外 の影響 検証結果		
の変化陸上昆虫類相	種数	・平成 15 年度の調査では、396 種が確認されている。	・止水環境の存在	-	・平成 15 年度調査 に 4 ままで 4 ままで 5 またで 5 またい 5	×
生息状況の変化	上昆虫類の状況流入河川に生息する陸	・目別確認種数で最も多かったのはコウチュウ目の 106種で、次いでカメムシ目の 57種、クモ目の 46種、チョウ目の 45種の順であった。・水生昆虫類ではカゲロウ目やトビケラ目、コウチュウ目に属するガムシ科やゲンゴロウ科、ヒメドロムシ科、ヒラタドロムシ科等も確認された。	・止水環境の存在	-	・平成 15 年度調査 結果のみで比較に ため、経年比が、データ が、ボータ が、デーもなり が、デーもなり が、デーもなり はないが、デーもなり はないないと考え にないる。	×
	重要種の状況	・これまでの調査において、重要種は 確認されていない。	・止水環境の存在	-	-	-
	外来種の状況	・平成 15 年度において、ブタクサハムシの 1 種が確認されている。	・止水環境の存在 ・生息環境の攪乱	-	・平成 15 年度調査 結果のみで比較 ため、経年比が、通 ため、ないが、種 にみられる あり、特にはる あり、関係は と考えられる。	×

# 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 6.3.3. 下流河川における変化の検証

## (1)生物の生息・生育状況の変化の把握

調査時期

## 1)魚介類

# (a)魚類

魚類の調査は、これまでに計3回実施されている。

各調査年度における下流河川の調査地点数、及び調査回数は表 6.3.3-1 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.3.3-2 に示すとおりであり、経年とともに調査手法が多様化する傾向がみられる。

また、調査実施時における下流河川の水位は、図 6.3.3-1~図 6.3.3-5 に示すとおりである。

8月・10月

6月・8月

 調査地点数
 調査年度

 及び回数
 H8
 H13
 H19

 調査地点数
 1
 1
 1

 調査回数
 2
 2
 2

7月・10月

表 6.3.3-1 調査実施状況一覧: 魚類

# 室生ダム定期報告書 6章 生物

表 6.3.3-2 調查内容一覧: 魚介類

調査地区調査内容															
区分		H4		H5		H8		H13	Н	119	H4	H5	H8	H13	H19
調査番号	į	1		2		5		11		19	1	2	5	11	20
下流 河川					No.1	下流河川 (宇陀川)	St.1	下流河川	淀室下 1	ダムサイト 直下	-	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 80 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回 · (18mm)20 回、 タモ網 150 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本、潜水観察 0.5h	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、 セルびん 4 個、どう2 個、 カゴ網 2 個、潜水観察 2h
	St.2	湖心	St.3	湖底の 平らな部分	No.2	湖内湾入部	St.2	湖肢	淀室湖 2	湖岸部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(18mm)中層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 セルびん 10 個、はえなわ 4 本、 カニカゴ 4 個、どう 4 個	刺綱(15mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 刺綱(50mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 セルびん 2 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
									淀室湖 3	宇陀川 流入部	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
							St.9	河川流入部	淀室湖 6	深谷川 流入部	-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 投網(12mm)10 回・(18mm)20 回、 タモ網 140 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回 · (18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m · 中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
ダム 湖	St.3	天満川 流入部	St.2 (1)	天満川 流入部	No.3	河川流入点 (天満川)	St.3	河川流入部	淀室湖 7	天満川 流入部	刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 投網(12mm)20 回・(18mm)15 回、 タモ網 120 分、セルびん 15 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚·中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 2 枚、 投網(12mm)20 回 (18mm)10 回、 タモ網 110 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本	投網(12mm)10 回·(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
冲	St.4	宇陀川流入部	St.1(1) St.1(2)	流入部	No.5	河川流入点 (宇陀川)	St.5	ダム湖内			刺網(100mm·200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個 投網:(12mm)10 回・(18mm)10 回、 潜水 30 分	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表層 180m、 投網(12mm)17 回・(18mm)18 回、 タモ網 120 分、セルびん 16 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚、 タモ網 20 分	
	St.1-1	ダムサイト									刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	-	-	-	-
	St.1-2	ダムサイト (船着場)									モンドリ、目視	-	-	-	-
		(加倡物)					St.7	最深部			-	-	-	刺網(15mm)表層 2 枚·中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚·中層 1 枚	-
							St.8	河川流入部			-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚、底層 1 枚 刺網(50mm)表層 2 枚、 投網(12mm)15 回 (18mm)25 回、 タモ網 90 分、セルびん 4 個、 はえなわ 1 本	-
							St.10	流入河川	淀室入 1	流入河川 深谷川	-	-	-	投網(18mm)21 回、タモ網 75 分、 セルびん 4 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
流入 河川	St.6	流入河川	St.2 (2)	天満川 流入部	No.4	流入河川 (天満川)	St.4	流入河川	淀室入 2	流入河川 天満川	投網(12mm)3 回	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 60 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 70 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回・(18mm)2 回、 タモ網 105 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網4h、定置網2統、はえなわ2本、 セルびん4個、カゴ網2個、 潜水観察2h
	St.5	宇陀川 (高倉橋 付近)			No.6	流入河川 (宇陀川)	St.6	流入河川	淀室入3	流入河川 宇陀川	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回 タモ網	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 60 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)25 回 · (18mm)26 回、 タモ網 120 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本、潜水観察 20 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網4h、定置網2統、はえなわ2本、 セルびん4個、カゴ網2個、 潜水観察2h
その 他									淀室他 1	水質保全ダ ム 湛水域	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
		-		-		-		-	初!	夏季	-	-	-	-	H19.6.5 ~ 9
時期		夏季		-		夏季		夏季	夏	[季	H4.8.12 ~ 14	-	H8.7.23 ~ 24, 29 ~ 30	H13.7.31、8.1~6	H19.8.27 ~ 29
	:	秋季	Ì	秋季		秋季		秋季		-	H4.10.12 ~ 14	H5.9.20 ~ 22	H8.10.16 ~ 18	H13.10.23 ~ 31	-

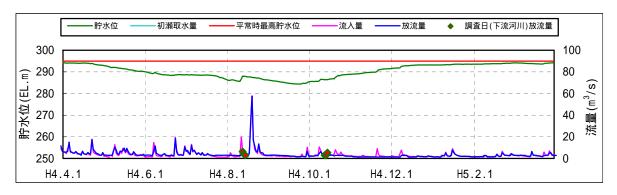


図 6.3.3-1 調査実施時の流況(平成 4年度)

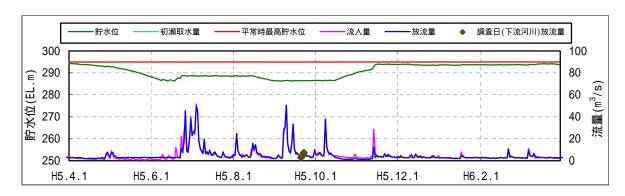


図 6.3.3-2 調査実施時の流況(平成 5年度)

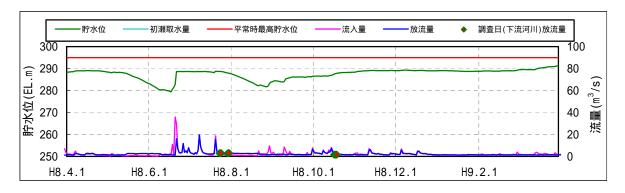


図 6.3.3-3 調査実施時の流況(平成 8 年度)

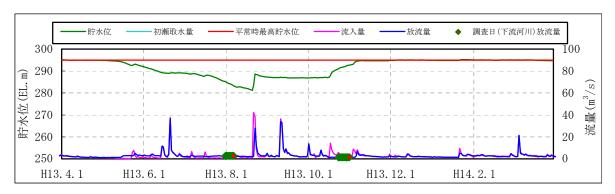


図 6.3.3-4 調査実施時の流況(平成 13 年度)

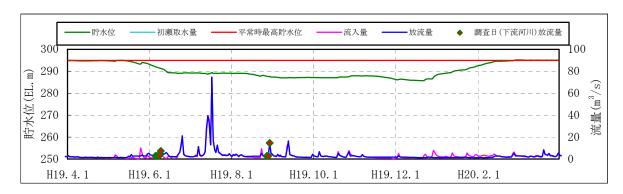


図 6.3.3-5 調査実施時の流況(平成 19 年度)

## a) 魚類相の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された魚類の一覧は 表 6.3.3-3、またその推移については 図 6.3.3-6 ~ 図 6.3.3-8 に示すとおりである。なお、魚類相の変化については、目視確認による個体数は、不明瞭な点が大きいことから("+(1個体未満/100 $m^2$ )" や "++++(1000個体程度以上/100 $m^2$ )"と記載してある)、目視確認による個体を除外して整理することとした。

下流河川の魚類については、オイカワやカワムツ、トウヨシノボリ等の河川中流域を 主な生息環境とする種のほか、ブルーギルやオオクチバス(ブラックバス)等の湖沼を主 な生息環境とする種等で構成されていた。また、確認種数は、平成8年度及び平成13年 度が8種であったのに対して、平成19年度は11種と増加する傾向にある。

個体数についても、種数と同様に、経年とともに増加する傾向がみられているが、確認個体の構成比率に変化がみられる点は特徴的である。平成8年度ではトウヨシノボリが約43%、オイカワが約40%の割合で優占していたが、平成13年度にはトウヨシノボリの確認割合が約10%にまで減少し、変わってヌマチチブが約41%を占める結果となっている。また、オイカワについては、約35%と比較的高い割合で出現している。平成19年度についてみると、第一優占種はヌマチチブで確認割合の約43%を占めており、次いでコウライモロコが約16%、オイカワが約10%、カワムツが約9%となっている。

全体的な傾向としては、種数・個体数は増加する傾向にあり、また増加している種は 特定の種に限られるのではなく、比較的多くの種が増加傾向にあることがうかがえる結 果となっている。

なお、平成 19 年度にはアユが確認されているが、本河川の下流側には遡上することが 困難な高山ダムが存在することから、放流等が由来の個体を確認したものと考えられる。

表 6.3.3-3 経年確認種一覧: 魚類

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)	İ	周査年度	
NO.		日日	17 TD	作出口(作出口)	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	コイ	コイ	コイ		1	
2				ゲンゴロウブナ			1
3				ハス		3	
4				オイカワ	31	32	12
5				カワムツ	6	2	11
6				タモロコ			2
7				カマツカ	1		
8				ニゴイ	1		
9				コウライモロコ		6	20
10		ナマズ	ギギ	ギギ			6
11		サケ	アユ	アユ			3
12		スズキ	ハゼ	ウキゴリ			7
13				トウヨシノボリ	33	9	7
14				ヌマチチブ	1	38	52
15			サンフィッシュ	ブルーギル	2		1
16				オオクチバス	2	1	
				8種	8種	11種	
		1 綱		77	92	122	
				個体	個体	個体	

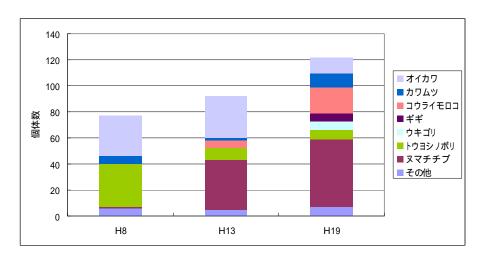


図 6.3.3-6 種別確認個体数の推移: 魚類

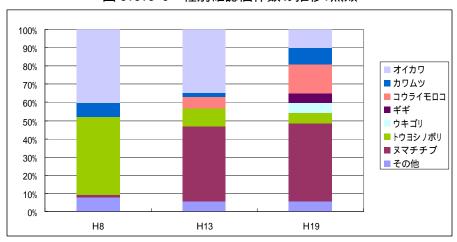


図 6.3.3-7 種別確認割合の推移: 魚類

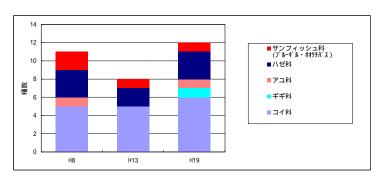


図 6.3.3-8 科別確認種数の推移: 魚類

# b)底生性魚類の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された底生性魚類の一覧は 表 6.3.3-4、またその推移については 図 6.3.3-9~図 6.3.4-11 に示すとおりである。なお、底生性魚類の変化については、目視確認による個体数は、不明瞭な点が大きいことから、魚類相の変化の整理と同様に、目視確認による個体を除外して整理することとした。

下流河川の底生性魚類については、これまでの調査でカマツカやギギ、ハゼ科等の 5種が確認されており、確認種数は平成 8年度では 3種、平成 13年度では 2種、平成 19年度では 4種と、大きな変化はみられない。

個体数については、経年とともに増加する傾向がみられ、平成8年度が35個体であったのに対して、平成19年度は72個体と約2倍にまで増加している。ただし、種構成についてみると、平成8年度から平成13年度にかけて大きな違いがみられている。具体的には、平成8年度に優占種となっていたトウヨシノボリ(確認割合約94%)が平成13年度には約19%にまで減少し、変わってヌマチチブの確認割合が約81%になっている。また、平成19年度では、ヌマチチブの確認割合は約72%と依然として高いものの、ギギやウキゴリといった種が新たに確認されるようになり、トウヨシノボリの確認割合は約10%にまで減少している。このほか、平成8年度に確認されていたカマツカは、以降、確認されていない。

		1	くひ.3.3-4 船	计唯心性 見. 瓜土	上出块		
No.	綱名	日夕	科名	新夕/和夕\		調査年度	
NO.	細石	目名	竹石	種名(和名)	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	コイ	コイ	カマツカ	1		
2		ナマズ	ギギ	ギギ			6
3	]	スズキ	ハゼ	ウキゴリ			7
4				トウヨシノボリ	33	9	7
5				ヌマチチブ	1	38	52
				3種	2種	4種	
		1 紙	33目3科5種		35	47	72
					個体	個体	個体

表 6.3.3-4 経年確認種一覧:底生性魚類

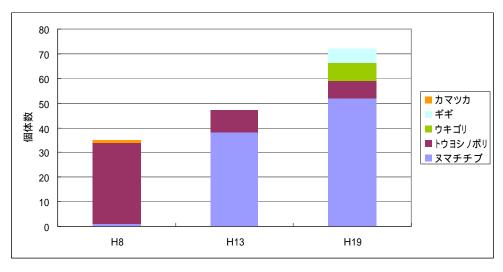


図 6.3.3-9 種別確認個体数の推移:底生性魚類

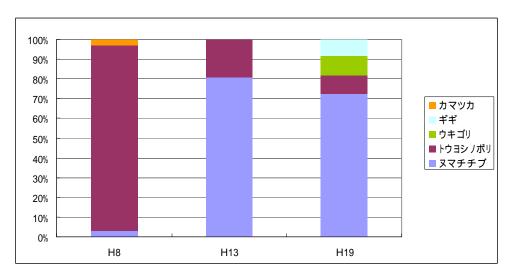


図 6.3.3-10 種別確認個体数の推移:底生性魚類

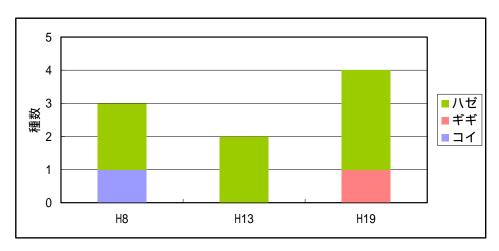


図 6.3.3-11 科別種数の推移:底生性魚類

## c)回遊性魚類の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された回遊性魚類の一覧は 表 6.3.3-5、またその推移については 図 6.3.3-12~図 6.3.3-14 に示すとおりである。回遊性魚類については、繁殖形態等の生態的な条件から、本来であれば回遊性となる種について既存文献を参考に抽出し、これらの種について整理を行った。また、回遊性魚類の変化については、目視確認による個体数は、不明瞭な点が大きいことから、魚類相の変化の整理と同様に、目視確認による個体を除外して整理することとした。なお、抽出した種のうち、アユを除いた種については、ダム湖等の河川横断構造物がある場合、容易に陸封する種である。実際に本河川については、下流側に遡上することが困難な高山ダムが存在することから、アユを除く種については既に陸封状態、アユについては放流等が由来であると考えられる。

下流河川の回遊性魚類については、これまでの調査でアユ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヌマチチブの4種が確認されている。また、各調査年度の確認種は、平成8年度及び平成13年度では、トウヨシノボリ、ヌマチチブの2種、平成19年度ではこれらの2種に加えて、アユ、ウキゴリの計4種が確認されている。

個体数については、経年とともに増加する傾向がみられ、平成8年度が34個体であったのに対して、平成19年度は69個体と約2倍にまで増加している。ただし、種構成についてみると、平成8年度から平成13年度にかけて大きな違いがみられている。具体的には、平成8年度に優占種となっていたトウヨシノボリ(確認割合約97%)が平成12年度には約19%にまで減少し、変わってヌマチチブの確認割合が約81%になっている。また、平成19年度では、ヌマチチブの確認割合は約75%と依然として高いものの、アユやウキゴリといった種が新たに確認されるようになり、トウヨシノボリの確認割合は約10%にまで減少している。

調査年度 No. 綱名 目名 科名 種名(和名) Н8 H13 H19 アユ サケ アユ 1 硬骨魚 3 ウキゴリ 7 2 スズキ ハゼ トウヨシノボリ 7 3 33 ヌマチチブ 4 38 52 2種 2種 4種 1 綱 2 目 2 科 4 種 47 69 34 個体 個体 個体

表 6.3.3-5 経年確認種一覧:回遊性魚類

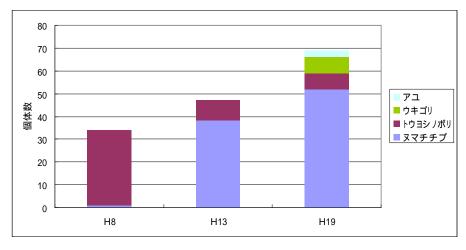


図 6.3.3-12 種別確認個体数の推移:回遊性魚類

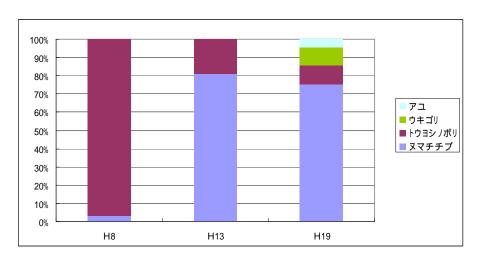


図 6.3.3-13 種別確認割合の推移:回遊性魚類

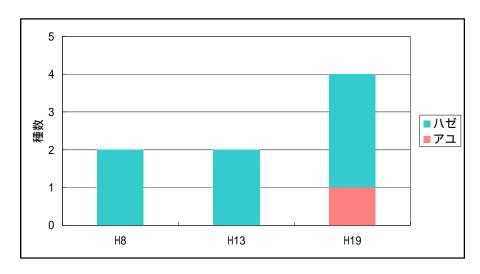


図 6.3.3-14 科別確認種数の推移:回遊性魚類

## d)重要種の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された重要種の一覧は、表 6.3.3-6 に示すとおりである。

下流河川の重要種については、自然分布と考えられるギギ、ウキゴリが平成 19 年度に新たに確認されている。また、放流等が由来であると考えられる種は、平成 8 年にアユ、12 年度に八ス、平成 19 年度にゲンゴロウブナ、アユがそれぞれ確認されている。

個体数については、自然分布であると考えられるギギが6個体、ウキゴリが32個体となっている。また、放流等の由来であると考えられる種については、平成8年度に100個体程度のアユを確認しているが、これは潜水目視の確認に拠るものである。また、平成13年度、平成19年度に確認された種については、いずれも3個体以下であった。

分類	No.	科名	種名(和名)		選定	基準			Ī	周査年度	J-	
刀炭	NO.	1111	作業(1711日)	1	2	3	4	H4	H5	H8	H13	H19
	1	ギギ	ギギ				希少					6
自	2	ハゼ	ウキゴリ				希少					32
然分								0種	0種	0種	0種	2種
布		2 利	斗2種	0種	0種	0種	2種	0	0	0	0	38
								個体	個体	個体	個体	個体
÷h	3	コイ	ゲンゴロウブナ			EN						1
放流	4		ハス			VU					3	
等	5	アユ	アユ				絶寸			100		3
申								0種	0種	1種	1種	2種
来		2 禾	斗3種	0種	0種	2種	1種	0	0	100	3	4
<b>&gt;</b>  \								個体	個体	個体	個体	個体
	•							0種	0種	1種	1種	4種
	4 科 5 種				0種	2種	3種	0	0	100	3	42
								個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.3-6 経年確認種一覧:重要種

放流等由来 - 釣りの対象として放流されたり、アユ等の放流に混雑してきた可能性が高いと考えられる種。 3.確認個体数には、目視・潜水観察による個体を含む。

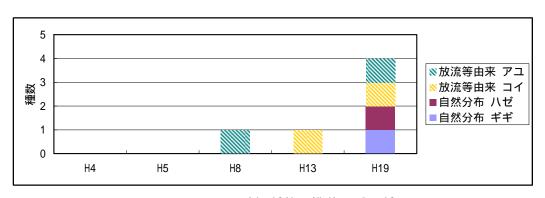


図 6.3.3-15 確認種数の推移: 重要種

注)1.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

<sup>2.</sup>分類 自然分布 - 自然分布であると考えられる重要種。

## e)外来種の変化の整理

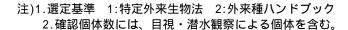
これまでの調査において、下流河川で確認された外来種の一覧は、表 6.3.3-7 に示すとおりである。

下流河川の外来種については、平成8年度にブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)が確認され、以降、平成13年度ではオオクチバス(ブラックバス)、平成19年度ではブルーギルがそれぞれ確認されている。

個体数については、平成8年度では両種ともに10個体以上が確認されていたが、以降は1個体と少数に留まっている。なお、平成8年度の結果には、潜水目視による確認(両種ともに10個体程度)が含まれている。

No.	科名	種名(和名)	選定	基準		Ì	周査年度	ŧ	
		1 = 1 (1 = 1)	1	2	H4	H5	Н8	H13	H19
1	サンフィッシュ	ブルーギル	指定				12		1
2		オオクチバス(ブラックバス)	指定				12	1	
					0種	0種	2種	1種	1種
		1科2種	2種	2種	0	0	24	1	1
					個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.3-7 経年確認種一覧:外来種



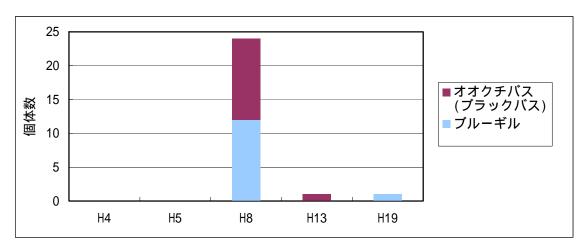


図 6.3.3-16 確認個体数 の推移: 外来種

# (b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の調査は、これまでに計2回実施されている。

各調査年度における下流河川の調査地点数、及び調査回数は表 6.3.3-8 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については表 6.1.3-3 に示すとおりであり、経年とともに調査手法が多様化する傾向がみられる。

また、調査実施時における下流河川の水位は、図 6.3.3-1~図 6.3.3-5 に示すとおりである。

-10.0	.00 阴直入心仍心 晃.3	-C 73— 天/A
調査地点数	調査	年度
及び回数	H8	H13
調査地点数	1	1
調査回数	2	2
調査時期	7月・10月	8月・10月

表 6.3.3-8 調査実施状況一覧: エビ・カニ・貝類

# a)エビ・カニ・貝類相の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認されたエビ・カニ・貝類の一覧は表 6.3.3-8、またその推移は 図 6.3.3-17~図 6.3.3-19 示すとおりである。

下流河川のエビ・カニ・貝類については、ヒメタニシやカワニナ等のマキガイ類や、マシジミ、テナガエビ、スジエビ等のエビ類が確認されている。また、確認種数については、平成8年度、平成13年度ともに7種であった。

個体数については、総数については平成8年度から平成13年度にかけて減少する傾向にある。ただし、大きく減少しているのはカワニナのみであり、テナガエビやスジエビといったエビ類については増加する傾向がみられている。

No	綱名	目名	科名	種名(和名)	調査의	丰度
	河町口		171	1里口(11日)	Н8	H13
1	マキガイ	ニナ	タニシ	ヒメタニシ	5	4
2			カワニナ	カワニナ	88	22
3				チリメンカワニ ナ	4	10
4	ニマイガイ	マルスダレガ イ	シジミ	マシジミ	2	1
5	甲殼	エビ	テナガエビ	テナガエビ	14	25
6				スジエビ	17	28
7			ヌマエビ	ミナミヌマエビ	3	
8			サワガニ	サワガニ		2
				7種	7種	
		3綱3目		133	92	
				個体	個体	

表 6.3.3-9 経年確認種一覧:エビ・カニ・貝類

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

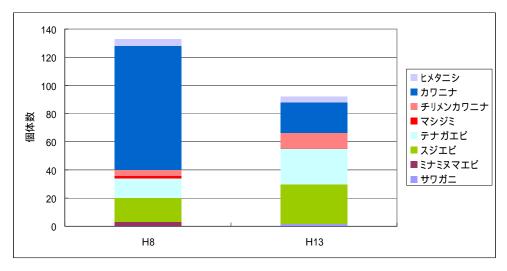


図 6.3.3-17 種別確認個体数の推移:エビ・カニ・貝類

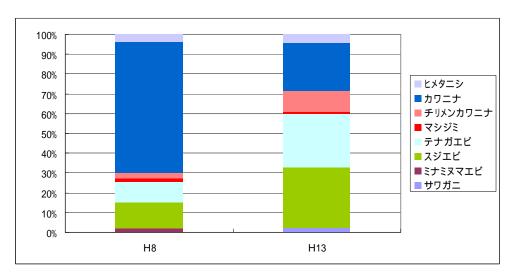


図 6.3.3-18 種別確認割合の推移:エビ・カニ・貝類

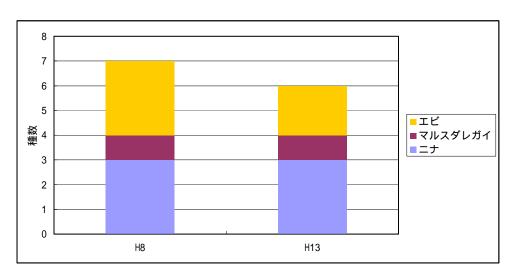


図 6.3.3-19 科別確認種数の推移:エビ・カニ・貝類

## b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された重要種の一覧は 表 6.3.3-10 に示すとおりである。

下流河川における重要種については、平成8年度にマシジミが2個体、平成13年度にマシジミが1個体確認されている。

表 6.3.3-10 経年確認種一覧:重要種

No.	科名	種名(和名)		選定	基準		調査	年度
NO.	NO. 141	作品 (本日日)	1	2	3	4	Н8	H13
1	シジミ	マシジミ			NT		2	1
	1科	1種	0種	0種	1種	0種	1種	1種

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

#### c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、下流河川では外来種は確認されていない。

### 2)底生動物

底生動物の調査は、これまでに計 5 回の調査実施されている。このうち、平成 7 年度、 平成 12 年度、平成 17 年度調査については年 3 回の実施、平成 20 年度は年 2 回の実施、平 成 5 年度は年 1 回の実施となっている。また、調査手法については、平成 5 年度以外は定 量採集及び定性採集を実施しているが、平成 5 年度調査は定量採集調査のみとなっている。

各調査年度における下流河川の調査地点、及び調査回数は 表 6.3.3-11 に示すとおりである。なお、調査手法等の詳細については、表 6.3.3-12 に示すとおりである。

また、調査実施時における下流河川の水位は、図 6.3.3-20~図 6.3.3-24 に示すとおりである。

表 6.3.3-11 調査実施状況一覧:底生動物

調査地点数及	7、「同类」			調査年度		
响且地点数次	い四数	H5	H7	H12	H17	H20
調査定量採集地点数定性採集		1	1	1	1	3
		-	2~3	4	3	4
調査回	回数	1	3	1	3	2
調査印	 诗期	9月	7~8月 12月・2月	7月・10月 1月	7月・10月 1月	8月・4月

注)1. :調査実施時期によって、調査箇所数が異なる

表 6.3.3-12 調査内容一覧:底生動物

	調查	年度	H5	H7	H12	H17	H20
	調査	番号	2	4	10	17	21
		下流河川	放水口	(定量・定性)No.1	(定量・定性)No.1	(定量・定性)St .1	淀室下 1
調査			網場,湖心,県取水口	(定点)No.2,No.3,No.4 (定性)1,2,3,4,5	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7	(定点)St.2,St.4 (定性)1,2,3,4,5,6,7,8	淀室湖 1,淀室湖 2,淀室湖 3, 淀室湖 6,淀室湖 7
地点	分	流入河川	天満川(早瀬,植物帯), 高倉橋(平瀬,植物帯), 内牧川(平瀬,植物帯)	(定量・定性)No.5,No.6,No.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	(定量・定性)St.5,St.6,St.7	淀室入 1,淀室入 2,淀室入 3
	定点	その他	-	-	淀室他 1(水質保全ダム)		
	定点調査	定点調査 採泥器等による採取 定性調査 (0.25m²)		エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回程度	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×5 回	エクマンバージ型採泥器 (15cm×15cm)×6 回
調査 方法	定					  ハンドネット(0.5mm 目程度) 	  ハンドネット(0.5mm 目程度) 
	定	呈量調査		サーバーネット(25cm×25cm)	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×8回	サーバーネット(25cm×25cm) ×6回
		夏季	-	H7.7.20~21、8.23	H12.7.19 ~ 21	H17.10.19~20	H20.8.25 ~ 26
調査		冬季	-	H7.12.20 ~ 21	H12.11.8~9	H18.1.14 ~ 15	-
時期	Ē	早春季	-	H8.2.21 ~ 22	H13.1.12~13	H17.7.2~3	H20.4.21 ~ 22
	2	その他	H5.9.21	-	-	-	-

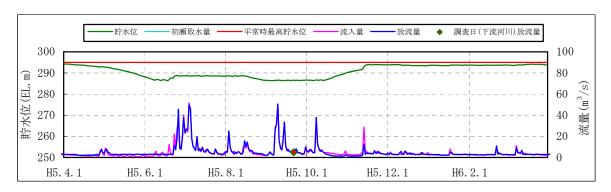


図 6.3.3-20 調査実施時の流況(平成5年度)

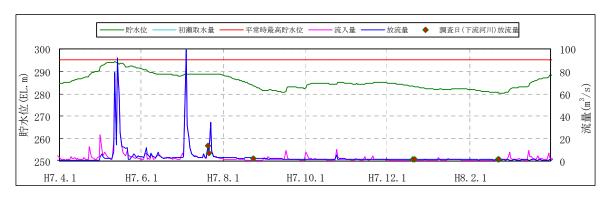


図 6.3.3-21 調査実施時の流況(平成7年度)

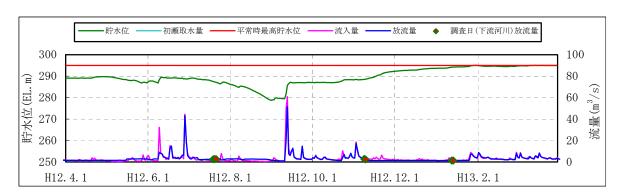


図 6.3.3-22 調査実施時の流況(平成 12 年度)

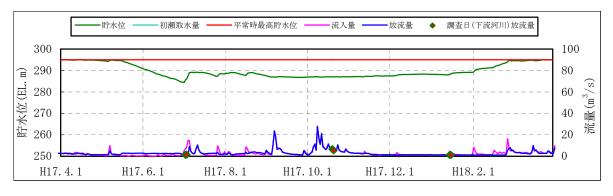


図 6.3.3-23 調査実施時の流況(平成 17 年度)

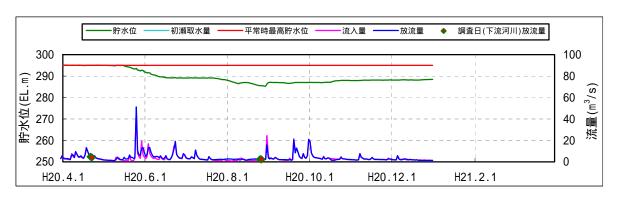


図 6.3.3-24 調査実施時の流況(平成 20 年度)

# (a)底生動物相の変化の整理

これまでの調査において下流河川で確認された底生動物の綱目別科種数表は、表 6.3.3-13 に、またその推移は図 6.3.3-25~図 6.3.2-26 に示すとおりである。

下流河川については、経年とともに種数が増加する傾向にある。また、増加がみられる 分類群は、カゲロウ目、トンボ目、トビケラ目、ハエ目、コウチュウ目といった種であり、 その他の分類群についても多くなっている。また、二ナ目、エビ目については平成7年度 以降、トンボ目、コウチュウ目については平成17年度以降、概ね横ばいになっている。

綱名	目名	H	<del>1</del> 5	Н	7	H,	12	H <sup>,</sup>	17	H:	20	合	計
利型工	H H	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
普通海綿	ザラカイメン					1	1	1	1	1	1	1	1
ヒドロ虫	無鞘					1	1	1	1			1	1
ウズムシ	ウズムシ			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ひも(紐)形	動物門							1	1	1	1	1	1
線形動物門								1	1			1	1
マキガイ	ニナ	1	1	2	4	2	3	2	2	2	2	2	4
	モノアラガイ					2	2			3	3	4	4
ニマイガイ	イシガイ					1	1	1	1			1	1
	マルスダレガイ			1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
ミミズ	オヨギミミズ									1	1	1	1
	ナガミミズ			2	2	2	2	1	1	3	5	3	5
ヒル	ノドビル			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
クモ	ダニ							1	1			1	1
甲殼	ワラジムシ			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	エビ			3	3	2	3	2	3	2	3	3	4
昆虫	カゲロウ	2	2	5	9	6	14	7	12	8	25	9	30
	トンボ	1	1			2	3	4	6	4	5	4	6
	カワゲラ	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	6
	カメムシ	1	1	1	1	1	2			1	1	2	5
	アミメカゲロウ			1	1	1	2	1	1	1	1	2	3
	トビケラ	1	2	4	9	8	12	7	17	12	22	14	32
	チョウ					1	1	1	1	1	1	2	2
	ハエ	2	2	3	9	5	11	4	13	4	17	6	31
	コウチュウ			2	2	2	4	3	7	3	7	3	8
コケムシ	掩喉							2	2			2	2
	櫛口							1	1			1	1
13 綱 26 目	目 72 科 155 種	9科	10種	29 科	46 種	43 科	68 種	47科	78種	54 科	103 種	72 科	155種

表 6.3.3-13 経年分類群別確認種一覧:底生動物

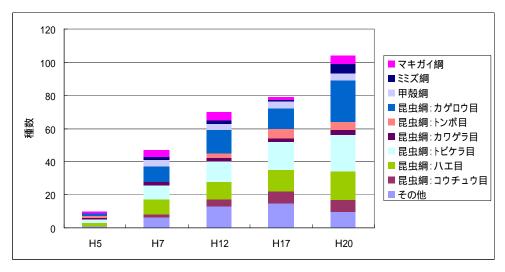


図 6.3.3-25 分類群別確認種数の推移:底生動物

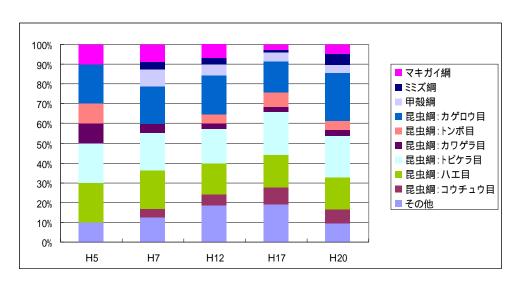


図 6.3.3-26 分類群別確認割合の推移:底生動物

# (b)優占種の変化の整理

下流河川における優占種(定量採集)の一覧は表 6.3.3-14、その推移は図 6.3.3-27~図 6.3.3-28 に示すとおりである。なお、これまでの調査では、平成 5 年度については 1 回のみの調査であるが、その他の調査年度は概ね夏季・冬季・早春季の 3 回(平成 20 年度は夏季・早春季の 2 回)の調査を実施しているため、変化の整理にあたっては、平成 7 年度から平成 20 年度までに実施している 4 回の調査結果について整理することとした。

下流河川については、いずれの調査時期においても、平成7年度から平成17年度にかけて個体数が増加する傾向がみられていたが、平成20年では個体数が大きく減少に転じている。

平成7年度から平成17年度における主な優占種は、Cheumatopsyche属やナカハラシマトビケラといった造網性トビケラ類が中心であった。一般的に、ダムの下流河川においては、土砂の供給量が少なくなることや増水によるフラッシュ掃流が起こりづらくなり、その結果として河床環境が安定し、造網性トビケラ類が優占する傾向がみられている。本下流河川においても、このような河床環境の変化を受けて、造網性トビケラ類が優占していたものと考えられる。

また、平成 17 年度から平成 20 年にかけての優占種の変化については、平成 18 年度から 平成 20 年度に実施したダム直下への置土(土砂供給実験)による効果の可能性が考えられる。この平成 18 年度~平成 20 年度に実施された土砂供給実験は、浚渫した土砂を元の川へ還元すること、河川環境の改善を図ることを目的として、浚渫土砂をダム直下流へ置土している(供給量は 250㎡)。平成 17 年度調査と平成 20 年度調査では、調査実施地点が異なることから、一概には言えないが、平成 17 年度調査までは造網性トビケラが優占していた下流河川が、平成 20 年度の調査ではアカマダラカゲロウやコカゲロウ類といった造網性トビケラ類以外の種が優占している状況を鑑みると、置土によって河床環境が変化し、その結果として底生動物相にも変化が及んだ可能性があると推察される。

なお、生活型別の出現個体数(m² あたり)について着目すると(図 6.3.3-29~図 6.3.3-30 参照)、平成 7 年度から平成 17 年度まではいずれの調査時期についても造網型が優占していたが、平成 20 年度では造網型が大きく減少し、変わって夏季では匍匐型、早春季では携巣型が優占する結果となっている。このような変化は、上述したように、土砂供給実験の効果の現れであるものと推察される。

耒	6.3	3-14	優占種の推移	· 库生動物
1.	0.0	. J - I T	を  ロリモリノ  圧リン	・ルシエエエリコツ

	夏	季			冬	季			早	春		
	種名	個体数	割合	指標	種名	個体数	割合	指標	種名	個体数	割合	指標
	コガタシマトビケラ	440	57%	m	Cheumatopsyche 属	448	48%	-	Cheumatopsyche 属	484	42%	-
H7	ウルマーシマトビケラ	116	15%	os	ナカハラシマトビケラ	260	28%	os	ナカハラシマトビケラ	224	19%	os
	アカマダラカゲロウ	52	7%	m	Simulium 属	60	6%	-	アカマダラカゲロウ	160	14%	m
	Cheumatopsyche 属	3874	37%	-	Cheumatopsyche 属	1892	50%	-	Cheumatopsyche 属	5128	54%	-
H12	アカマダラカゲロウ	1482	14%	m	アカマダラカゲロウ	428	11%	m	ナカハラシマトビケラ	1168	12%	os
	Baetis 属	1266	12%	-	ヒメドロムシ亜科	340	9%	-	Baetiella 属	912	10%	-
	ナカハラシマトビケラ	9040	35%	os	Cheumatopsyche 属	12500	61%	-	Cheumatopsyche 属	4518	32%	-
H17	アカマダラカゲロウ	6198	24%	m	アカマダラカゲロウ	3236	16%	m	ナカハラシマトビケラ	2940	21%	os
	Cheumatopsyche 属	5692	22%	-	ナカハラシマトビケラ	1808	9%	os	ナミウズムシ	2606	18%	os
	アカマダラカゲロウ	1623	37%	m	未調査				Agapetus 属	566	29%	-
H20	H コカゲロウ	603	14%	-					アカマダラカゲロウ	187	10%	m
	ヒメドロムシ科	294	7%	-					ヒメドロムシ科	142	7%	-

注)上位3種までを計上している。また、個体数はm<sup>2</sup>あたりの個体数を示す。

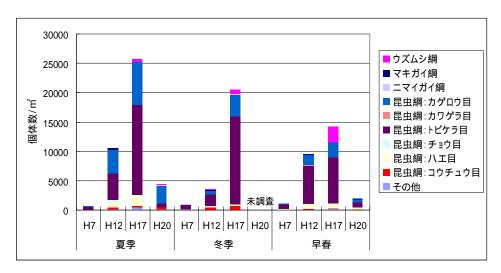


図 6.3.3-27 分類群別確認個体数の推移:底生動物

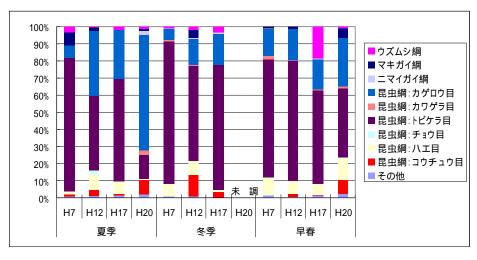


図 6.3.3-28 分類群別確認割合の推移:底生動物

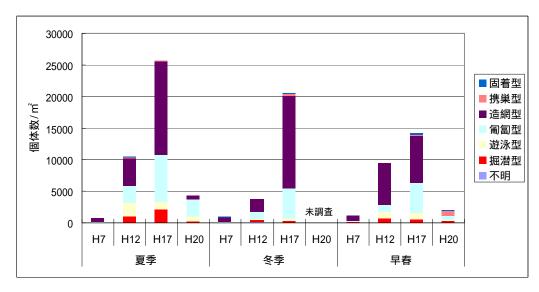


図 6.3.3-29 生活型別確認個体数の推移:底生動物

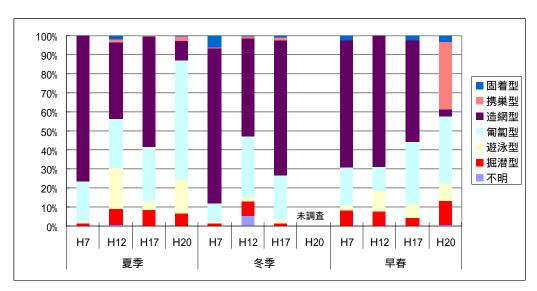


図 6.3.3-30 生活型別確認割合の推移:底生動物

# 注)生活型

- ・造網型:分泌絹糸を用いて捕獲網を作るもの
- ・固着型:強い吸着器官または鈎着器官をもって他物に固着しているもの
- ・匍匐型:河床を匍匐するもの
- ・携巣型:筒巣をもつもの、匍匐的運動をするが筒巣をもつ点において匍匐型とは別に考えた方が良い
- ・遊泳型:移動の際は主として遊泳によるもの
- ・掘潜型:砂または泥の中に潜っていることの多いもの

## (d)重要種の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された重要種の一覧は、表 6.3.3-15 に示すとおりである。

重要種については、平成7年度にオオタニシ、マシジミ、ゲンジボタルの3種、平成12年度にマシジミ、平成17年度及び平成20年度にゲンジボタルがそれぞれ確認されているが、継続的に生息が確認されている重要種はない。

_		X 0:0:0 10 1/4   Maille 30:11   X										
I	No.	科名	種名(和名)		選定	基準			調査年度			
L	NO.   1410	1111		1	2	3	4	H5	H7	H12	H17	H20
	1	タニシ	オオタニシ			NT			2			
I	2	シジミ	マシジミ			NT			18	14		
	3	ホタル	ゲンジボタル				郷土		1		5	2
								0種	3種	1種	1種	1種
	3 科 3 種				0種 0種 2種	2種	1種	0	21	14	5	2
l								個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.3-15 経年確認種一覧:重要種

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

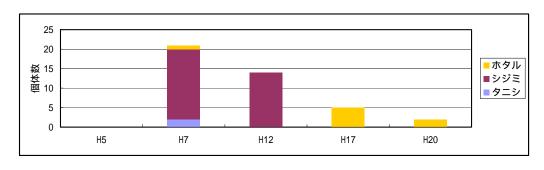


図 6.3.3-31 確認個体数の推移:重要種

### (e)外来種の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された外来種の一覧は、表 6.3.3-16 に示すとおりである。

外来種については、平成7度度にアメリカザリガニ、平成17年度にサカマキガイが確認されているが、平成5年度、平成12年度、平成20年度では外来種は確認されていない。

No.	科名	種名(和名)	選定基	準	調査年度				
NO.	171	1里口(11日)	1	2	H5	H7	H12	H17	H20
1	サカマキガイ	サカマキガイ						2	
2	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	要注意			1			
					0種	1種	0種	1種	0種
	2科2	?種	1種	2種	0	1	0	2	0
					個体	個体	個体	個体	個体

表 6.3.3-16 経年確認種一覧:外来種

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

2. 選定基準 1: 特定外来生物法 2: 外来種ハンドブック

注)1.表中の数は、確認個体数を示す。

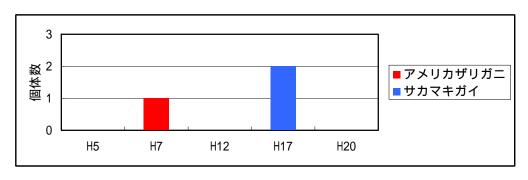


図 6.3.3-32 確認個体数の推移:外来種

# 3)動植物プランクトン

下流河川における動植物プランクトンの調査は、これまでに計 4 回実施されている。調査地点数については、いずれの調査回も 1 地点で実施しており、調査時期については 4 回/年実施されている。なお、各調査年度におけるダム湖周辺の調査数量、及び調査時期の詳細については、表 6.3.3-17 に示すとおりである。

また、調査実施時における下流河川の水量は、図 6.3.3-33~図 6.3.3-36 に示すとおりである。

	Note in Main A. Main 22 2 1 2										
	調査年		H5	H11	H16	H18					
	調査番	·号	2	8	15	19					
調		下流 河川	放水口	No . 1	No1(放水口)	淀室下-1					
查地点	区分	湖内	網場,湖心,県取水口	No.2,No.3,No.4,	No.2(網場),No.3(湖 心),No.4(赤人橋)	淀室湖-1					
		流入 河川	天満川,内牧川,高倉橋	No.5, No.6, No.7	No.5(天満川),No.6(内 牧川),No.7(宇陀川)	-					
植物プラ	調査	数量	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 各 1 / 0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m					
ľ	調査	春季	H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23					
ク		夏季	H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15					
F		秋季	H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14					
ン		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26	H17.2.7	H19.2.6					
動物プラ	調査数量		バンドーン型採水器、 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各1/0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器、 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器、 丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m	バンドーン型採水器 、丸川式中層プランクト ン・ネット(定量用開閉式、 口径 30cm、NXX 25) 各 1 /0.5、2.5、5.0、 10.0、25.0m					
ンク			1/4、2/4、3/4、4/4層	1/4、2/4、3/4、4/4層	1/4、2/4、3/4、4/4層	1/4、2/4、3/4、4/4層					
Ľ		春季	H5.4.21、5.20	H11.5.19~20	H16.5.25	H18.5.23					
15	調査	夏季	H5.7.22、8.18	H11.8.18~19	H16.8.17	H18.8.15					
[	時期		H5.10.16	H11.11.18~19	H16.11.16	H18.11.14					
		冬季	H6.2.25	H12.1.20、26	H17.2.7	H19.2.6					

表 6.3.3-17 調査内容一覧:動植物プランクトン

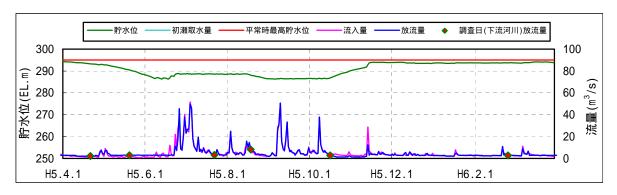


図 6.3.3-33 調査実施時の流況(平成 5年度)

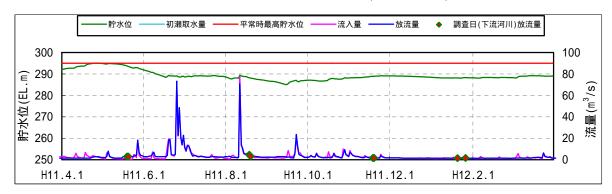


図 6.3.3-34 調査実施時の流況(平成 11 年度)

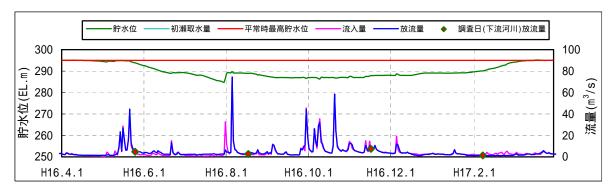


図 6.3.3-35 調査実施時の流況(平成 16 年度)

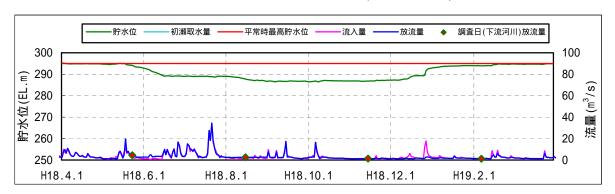


図 6.3.3-36 調査実施時の流況(平成 18 年度)

## (a)植物プランクトン

# a)植物プランクトン相および優占種の変化の整理

下流河川で確認された植物プランクトンの優占種の一覧は表 6.3.3-18、またその推移 については図 6.3.3-37~図 6.3.3-38 に示すとおりである。

各調査年度で確認された植物プランクトンの総個体数は、平成6年度で3,500,000個体、平成11年度で9,260,000個体、平成16年度で5,033,000個体、平成18年度で39,893,000個体となった。優占した綱及び種は、平成6年度は緑藻類でCarteria globulosa、平成11年度は緑藻類でAulacoseira distans、平成16年度は珪藻類でAulacoseira granulat、平成18年度は珪藻類でFragilaria crotonensisとなった。

平成 11 年度で優占種となった珪藻類の Aulacose i ra distans は、湖沼において秋の循環期に底層から増殖し、冬から春には表層から底層まで多く発生する傾向がある。平成 16 年度で優占種となった珪藻類の Aulacose i ra granulata は、富栄養湖沼に多く、全国の湖沼に普通にみられる種で、湖水が循環する秋から春に多く確認される。

H11 割合 割合 綱名 学名 個体数 学名 綱名 個体数 (%) (%) 緑藻 743,000 21.0 Aulacoseira distans 珪藻 4,815,000 Carteria globulosa 52.0 632,000 17.9 Fragilaria crotonensis 304,000 14.1 Cyclotella sp 珪藻 1 珪藻 珪藻 14.4 Cyclotella meneghiniana 珪藻 Aulacoseira italica 511.000 461.000 5.0 珪藻 10.8 Microcystis wesenbergii 藍藻 456,000 4.9 Aulacoseira granulata 384,000 珪藻 362,000 10.2 435,000 4.7 Cyclotella meneghiniana Asterionella formosa <u>クリプト藻</u> 323,000 3.5 Rhodomonas sp. 295,000 8.3 Coelastrum microporum クリプト藻 緑藻 Actinastrum hantzschii 144,000 4.1 Cryptomonas sp. 194,000 2.1 Raphidiopsis sp. 藍藻 122,000 3.4 Aulacoseira italica 173,000 1.9 珪藻 珪藻 142,000 Cvclotella stelligera 93.000 2.6 Cvclotella radiosa 1.5 珪藻 珪藻 Asterionella formosa 69,000 1.9 *Phormidium tenue* 藍藻 122,000 1.3 Aulacoseira distans 49,000 1.4 Crucigenia tetrapedia 緑藻 110,000 1.2 クリプト藻 Anabaena sp 藍藻 40,000 1.1 Rhodomonas sp. 104,000 1.1 緑藻 Pediastrum biwae 98.000 1.1 H16 割合 割合 学名 綱名 個体数 学名 綱名 個体数 (%) 19,440,000 48.7 Aulacoseira granulata 93.6 Fragilaria crotonensis 1.9 Microcystis aeruginosa 94,700 藍藻 4,200,000 10.5 Asterionella formosa 珪藻 珪藻 Fragilaria crotonensis 81,900 1.6 Microcystis wesenbergii 藍藻 3,650,000 9.1 Cryptomonas ovata クリプト藻 3,283,000 8.2 緑藻 Chlamydocapsa gigas 2,904,000 7.3 <u>藍藻</u> クリプト藻 6.5 2.7 2,592,000 Aphanocapsa elachista 1,086,000 Rhodomonas sp. 珪藻 1.4 Aulacoseira granulata 563,000 Aulacoseira distans 476,000 1.2 Cyclotella meneghiniana 珪藻 472,000 1.2

表 6.3.3-18 優占種の推移: 植物プランクトン

注)1.表中の種は、確認割合1.0%以上の種を示した。

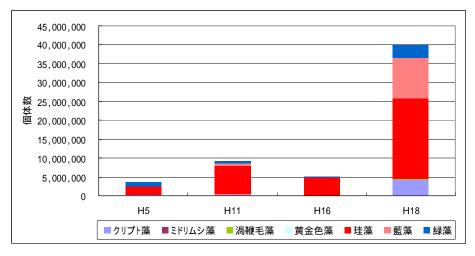


図 6.3.3-37 綱別確認個体数の推移:植物プランクトン

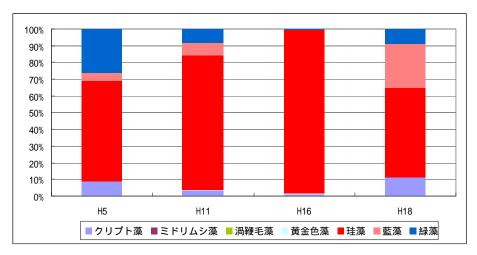


図 6.3.3-38 綱別確認割合の推移:植物プランクトン

## (b)動物プランクトン

### a)動物プランクトン相および優占種の変化の整理

下流河川で確認された動物プランクトンの優占種の一覧は 表 6.3.3-19、またその推移 については 図 6.3.3-39~図 6.3.3-40 に示すとおりである。

各調査年度で確認された動物プランクトンの総個体数は、平成 5 年度で 39,620 個体、平成 11 年度で約 1,840,000 個体、平成 16 年度で約 1,504,000 個体、平成 18 年度で約 271,750 個体となった。優占した門及び種は、平成 5 年度は節足動物で Bosmina longirostris(ゾウミジンコ)、平成 11 年度は繊毛虫で Tintinnidium fluviatile、平成 16 年は繊毛虫で Codonella cratera(スナカラムシ)、平成 18 年は輪形動物で Pompholyx complanata (アワワムシ)となった。

確認された種は、湖やため池等、全国的に普通にみられる種である *Bosmina longi rostris*(ゾウミジンコ)や Tintinnidium 属、富栄養化した水域に多く、湖沼やダム湖で夏に現存量を増加させる *Codone I la cratera*(スナカラムシ)であった。

個体数 学名 綱名 学名 綱名 個体数 節足動物 繊毛虫 Eodiaptomus japonicus 780 2.0 Strombidinopsis gyrans 20000 1.1 Calanoida 節足動物 1040 2.6 Bosmina longirostris 節足動物 21650 1.2 Diaphanosoma brachyurum 節足動物 1040 2.6 Conochiloides coenobass 輪形動物 31000 1.7 Bosminopsis deitersi 節足動物 1040 2.6 Kellicottia longispina longispina 輪形動物 40200 2.2 Polyarthra trigla vulgaris 輪形動物 10780 27.2 Cyclopoida 節足動物 48600 2.6 Copepoda 節足動物 12080 30.5 Diurella stylata 輪形動物 57800 3.1 節足動物 12340 CILIOPHORA 繊毛虫 70000 Bosmina Iongirostris 3.8 31.1 Codonella cratera 繊毛虫 105000 5.7 繊毛虫 117500 Strombidium viride 6.4 節足動物 188050 10.2 Copepoda 繊毛虫 211600 11.5 Epistylis sp Polyarthra trigla vulgaris 輪形動物 226750 12.3 Tintinnidium fluviatile 繊毛虫 548050 29.8 H16 H18 割台 学名 綱名 個体数 学名 綱名 個体数 輪形動物 輪形動物 2900 Conochilus unicornis 16850 Pompholyx complanata 1.1 1.1 Tintinnidium fluviatile 繊毛虫 21000 1.4 Calanoida 節足動物 3150 1.2 Synchaeta stylata 輪形動物 40400 2.7 Keratella quadrata quadrata 輪形動物 4100 1.5 節足動物 59550 4.0 Tintinnidium fluviatile 繊毛虫 5200 1.9 Copepoda Didinium nasutum 繊毛虫 63000 4.2 Ceriodaphnia quadrangula 節足動物 6000 2.2 Carchesium sp. 繊毛虫 80000 5.3 Eodiaptomus japonicus 節足動物 7150 2.6 Polyarthra trigla vulgaris 輪形動物 276600 節足動物 18.4 Cyclops strenuus 7350 2.7 Codonella cratera 繊毛虫 839000 55.8 Daphnia galeata 節足動物 7600 2.8 輪形動物 12850 4.7 Asplanchna priodonta Cyclopoida 節足動物 12850 4.7 Polyarthra trigla vulgaris 輪形動物 16750 6.2 Synchaeta stylata 輪形動物 28200 10.4 繊毛虫 32300 11.9 Codonella cratera Kellicottia longispina longispina 輪形動物 33800 12.4 Bosmina longirostris 節足動物 38050 14.0 節足動物 44250 16.3

表 6.3.3-19 優占種の推移:動物プランクトン

注)1.表中の種は、確認割合1.0%以上の種を示した。

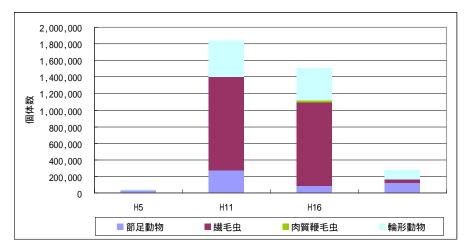


図 6.3.3-39 門別確認個体数の推移:動物プランクトン

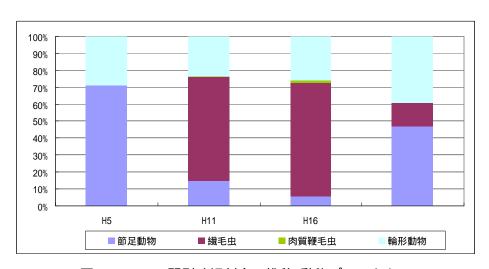


図 6.3.3-40 門別確認割合の推移:動物プランクトン

#### 4)植物

下流河川における植物調査は平成 16 年度より開始されているため、それ以前の調査結果 との比較は行わないこととした。

# (a)植物相の変化の整理

平成 16 年度において、下流河川で確認された植物の科種数は 表 6.3.3-20 に示すとおりである。

調査結果は、調査対象地域が河川沿いであることを反映して、ジャヤナギ、カワラハン ノキ、ミゾソバ、ツルヨシ等の河川沿いや湿った環境を好む種が多く、樹林に生育する種 は少ない傾向がみられている。

表 6.3.3-20 分類群別確認種一覧:植物

			分類		H1	16
			刀积	科数	種数	
高等	植物	ı			60	147
	シケ	植物	l	7	16	
	種子	植物	l		53	131
		裸子	植物	1	3	3
		被子	植物	1	50	128
			双子	<sup>2</sup> 葉植物	43	106
		離		離弁花類	33	76
	合弁花類		10	30		
	単子葉植物				7	22

## (b)重要種の確認状況の整理

平成 16 年度において、下流河川で確認された重要種の一覧は 表 6.3.3-21 に示すとおりである。

確認された重要種は、ユキヤナギ種であった。本種は、河岸の岸壁等に生育する種であり、調査対象区域における代表的な重要種であると考えられる。

表 6.3.3-21 確認種一覧:重要種

	No.	私夕	種名(和名)	選定基準						調査年度
ı	NO. 14	科名		1	2	3	4	5	6	H16
ı	1	バラ	ユキヤナギ					準	希少	
		1科	11種	0種	0種	0種	0種	1種	1種	1種

注)1.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:国立、国定公園指定植物 4:環境省 RL2007 5:改訂・近畿 RDB 6:奈良県 RDB

# (c)外来種の確認状況の整理

平成 16 年度調査において、下流河川で確認された外来種の一覧は 表 6.3.3-22 に示すとおりである。

確認されている外来種のうち、オオハンゴンソウは特定外来生物法の指定種に該当して おり、今後の生育状況等については、注意が必要であると考えられる。

選定基準 調査年度 科名 No. 種名(和名) 1 2 H16 1 ヤマゴボウ科 ヨウシュヤマゴボウ 2 ナデシコ科 オランダミミナグサ 3 マメ科 シロツメクサ 4 二ガキ科 シンジュ 5 アカネ科 メリケンムグラ 6 ゴマノハグサ科 タチイヌノフグリ 7 キク科 ブタクサ 注意 オオブタクサ 8 注意 9 オオアレチノギク 注意 10 ベニバナボロギク 11 アメリカタカサブロウ ダンドボロギク 12 13 オオハンゴンソウ 特定 14 セイタカアワダチソウ 注意 15 ヒメジョオン 注意 16 トチカガミ科 オオカナダモ 注意 17 イネ科 オニウシノケグサ 注意 ネズミムギ 18 注意 9科18種 9種 18種 18種

表 6.3.3-22 確認種一覧:外来種

注)1.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

#### 5)鳥類

下流河川における鳥類調査は、平成 14 年度より開始されているため、平成 14 年度及び 平成 18・19 年度の調査結果による比較を行なった。ただし、調査手法については、平成 14 年度ではラインセンサス法を実施しているが、平成 19 年度ではスポットセンサス法と 異なる調査手法を実施していることから、変化の整理にあたっては、各年度の全調査日の 累積確認数を比較し、その推移を整理することとした。なお、調査手法及び調査地点等の 調査については、表 6.3.3-23 に示すとおりである。

表 6.3.3-23 調査内容一覧: 鳥類

				12 0.3	.0-20 메旦四	台 見. 河炽		
	調査年度	复		H5	Н9	H14	H18 · 19	
	調査番号	를		2	6	12	18	
		下流	可川	-	-	ラインセンサス(5-1)	スポットセンサス(淀室下 1)	
		ダムネ	胡内	定点記録(P1~P3)	定点記録(P1~P3)	定点記録(P-1~P-3)	船上センサス(淀室湖 8)	
調査		流入河	可川	-	-	ラインセンサス(5-2)	スポットセンサス(淀室入 3)	
地点	区分	ダム	湖周辺	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス+定位記録法 (1,2,3,6) ラインセンサス(4-1,4-2)	ラインセンサス+スポットセンサス (淀室角 1~淀室局 3) 定点センサス(淀室局 4,淀室局 5)	
						夜間調査、移動中	夜間調査、移動中	
		調査数	数量	7.2km (2回×1~2日)	7.2km (2回×1日)	3.9km (2回×2~3日)	-	
= />.+	->.44 -7	鲴	春季	H5.5.28	H9.5.8	H14.5.8~10	-	
ラインセンサス		調査	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.11	H14.6.13~14	-	
		時期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.8	H14.10.8~9	-	
			冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.27	H15.1.28、30	-	
		調査数	数量	-	-	-	センサス 2.1km+スポット 9 地点 (スポット 1 箇所 10 分)	
ラインセ	ヹンサス	調	春季	-	-	-	H19.5.16~17	
+ スポット	ナンサフ	査	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23	
ハかうじ	229A	時期	秋季	-	-	-	H18.10.12~13	
		1	冬季	-	-	-	H19.1.30~31	
		調査数	数量	-	-	-	9 地点(1 箇所 10 分)	
		調	春季	-	-	-	H19.5.16~17	
スポット	スポットセンサス		夏季	-	=	=	H18.6.22 ~ 23	
			秋季	-	-	-	H18.10.12~13	
			冬季	-	-	-	H19.1.30~31	
		調査数		-	-	1.3km+80 分	-	
環境に応	じた確認		春季	-	-	H14.5.8 ~ 10	-	
ラインセ		調査	夏季	-	-	H14.6.13~14	-	
+ 定位記		時期	秋季	-	-	H14.10.8~9	-	
~⊏ 134 BI	-2514		冬季	-	<u>-</u>	H15.1.28、30	-	
		調査数		-	-	-	1 箇所 30 分	
			春季	-	-	-	H19.5.16	
定点セ	ンサス	調査時	夏季	-	-	-	H18.6.22	
		時  期	秋季	-	=	-	H18.10.13	
		"	冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31	
		調査数		1 箇所[30 分×3 回]	- 1箇所[30分×3回]	1 箇所[30 分×3 回]	-	
			春季	H5.5.28~29	H9.5.7	H14.5.8~10	<u> </u>	
定位記	已録法	調査時	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.12	H14.6.13~14	-	
, we have Hi		時期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.9	H14.10.8~9	-	
		201	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	-	
		調査数	-	-	-	-	2 人×1 日(80~85 分)	
			春季	<u> </u>	<u>-</u>	-	H19.5.16	
船上セ	ンサス	調査	夏季	-	-	-	H18.6.22	
MT C	/ /	一時期	-	-	-	-		
		州	秋季 冬季	-	-	<u>-</u>	H18.10.12	
		調査数	ļ	- 2人×1日	- 2人×1日	- 2人×1日	H19.1.30 3人×1日(180分)	
			春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.15	
夜	間	調査	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13 ~ 14	H18.6.23	
1X	目	一時期						
		州	秋季 冬季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.10	
		卸本*		H6.1	H10.1.26	H15.1.28~30	H19.1.29	
		調査数	·	3人×1日	3人×1日	2人×2日 H14.5.8~10	2人×2日 H10 5 16~17	
移動中	の確認	調査	春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.16 ~ 17	
·Iン≇ルヤ	~~ 4年 印心	時	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.22 ~ 23	
		期	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.12~13	
		1	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28 ~ 30	H19.1.30 ~ 31	

## (a) 鳥類相の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された鳥類の一覧は 表 6.3.3-24,図 6.3.3-41 に示すとおりである。

下流河川の鳥類相についてみると、水辺を利用する鳥類として、カワウ、ダイサギ、アオサギ、オシドリ、カルガモ、ヤマセミ、カワセミ、キセキレイ、セグロセキレイ、カワガラス、ミソサザイ等が確認されている。また、アオゲラ、サンショウクイ、ルリビタキ、ヤブサメ、オオルリ、ヒガラ等、樹林性の鳥類も多く確認されている。

種数についてみると、平成 14 年度は 23 種であったが、平成 19 年度に 30 種に増加しており、個体数は平成 14 年度の 173 個体から、平成 18・19 年度には 165 個体とわずかに減少がみられたものの、大きな変動はみられなかった。

また、水辺を生息場所として利用する種について着目すると、図 6.3.3-42~図 6.3.3-41 に示すとおり、継続的に確認されているのは、カワウ、アオサギ、ヤマセミ、キセキレイの 4 種である。このうち、カワウ、キセキレイは若干の増加、ヤマセミはわずかに減少、アオサギについては個体数の変化はみられていない。その他の種については、単年度の確認であり、平成 14 年度ではオシドリ、ミソサザイの 2 種、平成 18・19 年度では、ダイサギ、カルガモ、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワガラスの 6 種が確認されている。

表 6.3.3-24 経年確認種一覧: 鳥類

No	目名	科名	種名(和名)	調査	年度
	H15	1711	俚句(和句)	H14	H18 • 19
1	ペリカン	ウ	カワウ	5	9
2	コウノトリ	サギ	ダイサギ		1
3			アオサギ	2	2
4	カモ	カモ	オシドリ	6	
5			カルガモ		15
6	タカ	タカ	トビ		5
7	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	3	2
8			カワセミ		1
9	キツツキ	キツツキ	アオゲラ	1	2
10			コゲラ	3	7
11	スズメ	ツバメ	ツバメ		7
12		セキレイ	キセキレイ	4	6
13			ハクセキレイ		1
14			セグロセキレイ		1
15		サンショウクイ	サンショウクイ		4
16		ヒヨドリ	ヒヨドリ	26	26
17		モズ	モズ	1	3
18		カワガラス	カワガラス		1
19		ミソサザイ	ミソサザイ	1	
20		ツグミ	ルリビタキ		2
21			ツグミ	3	
22		ウグイス	ヤブサメ	3	
23			ウグイス	6	8
24		ヒタキ	オオルリ	3	2
25			サメビタキ		3
26			エゾビタキ		2
27		エナガ	エナガ	18	15
28		シジュウカラ	ヒガラ		4
29			ヤマガラ	1	10
30			シジュウカラ	7	12
31		メジロ	メジロ	12	3
32		ホオジロ	ホオジロ	14	3
33		アトリ	カワラヒワ	8	
34		カラス	イカル	2	
35			カケス	8	7
36			ハシブトガラス	36	1
				23 種	30 種
		7目22科36	種	173	165
				個体	個体

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認数を示している。

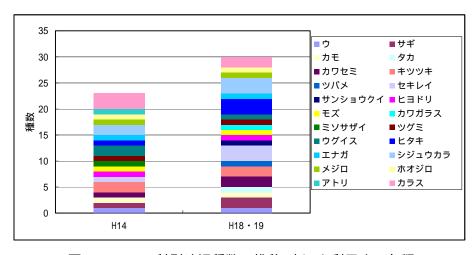


図 6.3.3-41 科別確認種数の推移:水辺を利用する鳥類

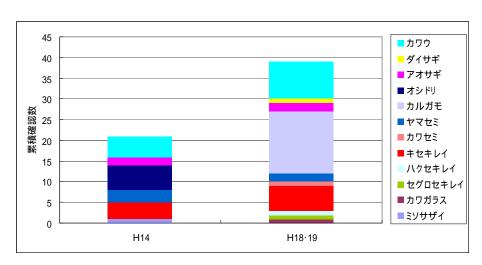


図 6.3.3-42 種別確認個体数の推移:水辺を利用する鳥類 (陸域を主に利用する種は含まない)

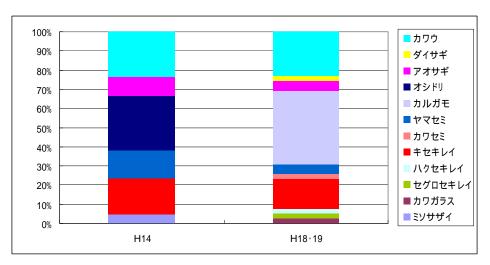


図 6.3.3-43 種別確認割合の推移:水辺を利用する鳥類 (陸域を主に利用する種は含まない)

## (b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、下流河川で確認された重要種の一覧は表 6.3.3-25、またその 推移は 図 6.3.3-44~図 6.3.3-46 に示すとおりである。

下流河川における重要種については、水辺を利用する鳥類としてオシドリ、ヤマセミ、カワガラスの3種が確認されており、その他の種はアオゲラ、サンショウクイ、ルリビタキ等の主に樹林を利用する7種が確認されている。このうち、継続的に確認されているのはヤマセミ、アオゲラ、オオルリの3種である。そのほかの種は、いずれも単年度の確認である。

種数についてみると、平成 14 年度の 5 種から平成 19 年度は 8 種に増加している。ただし、各種ともに確認個体数は 2~3 個体程度である。

No.	科名	種名(和名)		ì	異定基準			調査年度	
NO.	1712	作里古(作中古)	1	2	3	4	5	H14	H18 · 19
1	カモ	オシドリ			DD	準絶	注目	6	
2	カワセミ	ヤマセミ					希少	3	2
3	キツツキ	アオゲラ				準絶		1	2
4	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	危惧	危惧		4
5	カワガラス	カワガラス					希少		1
6	ツグミ	ルリビタキ				準絶	希少		2
7	ヒタキ	オオルリ				準絶		3	2
8		サメビタキ				準絶	不足		3
9		エゾビタキ				準絶			2
10	アトリ	イカル					郷土	2	
	8 科 10 種			o <del>括</del>	2番	7 15	7種	5種	8種
	0 14 10	作里	0種	0種 2種		2種 7種		15 個体	18個体

表 6.3.3-25 経年確認種一覧:重要種

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認個体数を示す

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:近畿レッド 5:奈良県 RDB

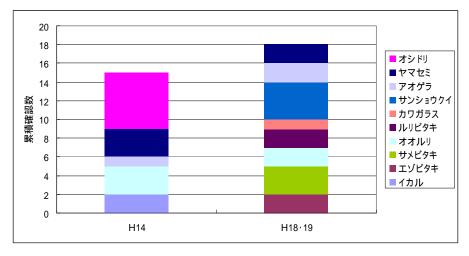


図 6.3.3-44 種別確認個体数の推移:重要種

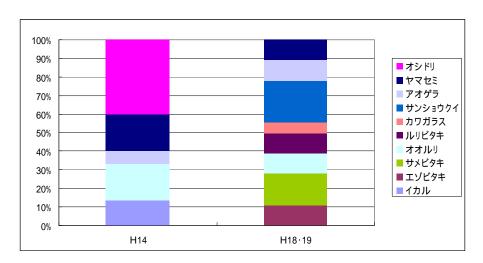


図 6.3.3-45 種別確認割合の推移:重要種

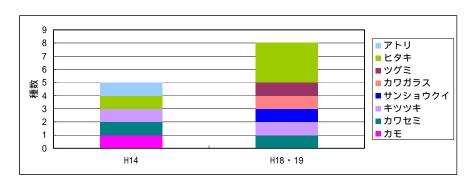


図 6.3.3-46 確認種数の推移:重要種

# (c)外来種の変化の整理

これまでの調査においては、下流河川では外来種は確認されていない。

## 6)両生類・爬虫類・哺乳類

下流河川における両生類・爬虫類・哺乳類の調査は平成 15 年度より開始されているため、 それ以前の調査結果との比較は行わないこととした。

なお、確認状況は確認地点数と確認個体数(確認痕跡数)が混在していたため、確認地点数をデータとして扱った。

## (a)両生類

# a)両生類相の変化の整理

平成 15 年度において下流河川で確認された両生類の一覧は 表 6.3.3-26 に示すとおりである。

確認種についてみると、タゴガエル、トノサマガエル、ウシガエル、カジカガエルの4種が確認されている。なお、これらの種は、いずれもダム湖周辺で確認されている種であった。

また、両生類は産卵場所、あるいは幼生の生息場所となることから、表 6.3.3-27 に示すとおり、生活史のステージ段階別による確認状況の整理を行った。その結果、トノサマガエルの確認数のうち、1 地点が幼体であった。

調査年度 No. 目名 科名 種名(和名) H15 1 カエル アカガエル タゴガエル 1 2 トノサマガエル 2 3 ウシガエル 1 アオガエル カジカガエル 1 1目2科4種 4種

表 6.3.3-26 確認種一覧:両生類

注)1.表中の数字は、確認地点数を示す。

表 6.3.3-27 確認内容一覧: 両生類

No.	種名(和名)	成体	鳴声	幼体	合計	
	,	H15	H15	H15		
1	タゴガエル	1			1	
2	トノサマガエル	1		1	2	
3	ウシガエル		1		1	
4	カジカガエル		1	·	1	

注)1.表中の数字は、確認地点数を示す。

#### b)重要種の変化の整理

平成 15 年度調査においては、下流河川では重要種は確認されていない。

# c)外来種の変化の整理

平成 15 年度調査において、下流河川で確認された外来種種は 表 6.3.3-28 に示すとおりである。

下流河川においては、ウシガエル 1 種が確認されている。なお、ウシガエルは鳴き声 (1 地点) での確認である。

表 6.3.3-28 確認種一覧:外来種

No.	科名	種名(和名)	選定	基準	調査年度	
NO.	17TD	作里口(作中口)	1	2	H15	
1	カエル	ウシガエル	特定			
	1科1種		1種	1種	1種	

注)1.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

# (b)爬虫類

# a) 爬虫類相の変化の整理

平成 15 年度調査においては、下流河川では爬虫類は確認されていない。

# b)重要種の変化の整理

平成 15 年度調査においては、下流河川では重要種は確認されていない。

# c)外来種の変化の整理

平成15年度調査においては、下流河川では外来種は確認されていない。

#### (c)哺乳類

#### a) 哺乳類相の変化の整理

平成 15 年度において下流河川で確認された哺乳類の一覧は 表 6.3.3-29 に示すとおりである。

確認種についてみると、モグラ属、ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、テン、イタチ属、イノシシ、ホンドジカの8種が確認された。なお、これらの種は、いずれもダム湖周辺で確認されている種であった。

調査年度 No 目名 科名 種名(和名) H15 モグラ モグラ モグラ属 1 1 ウサギ ウサギ ノウサギ 2 3 ネズミ 3 ネズミ アカネズミ 1 4 タヌキ 2 ネコ イヌ 5 イタチ テン 6 6 イタチ属 5 7 ウシ イノシシ イノシシ 1 シカ ホンドジカ 14 8 5 目 7 科 8 種 8種

表 6.3.3-29 確認種一覧:哺乳類

#### b)重要種の変化の整理

平成 15 年度調査においては、下流河川では重要種は確認されていない。

#### c)外来種の変化の整理

平成15年度調査においては、下流河川では外来種は確認されていない。

#### 7)陸上昆虫類等

下流河川における陸上昆虫類等調査は平成 15 年度より開始されているため、それ以前の 調査結果との比較は行わないこととした。

#### (a)陸上昆虫類相の変化の整理

下流河川で確認された陸上昆虫類等の分類群別種数は表 6.3.3-30 に示すとおりである。 分類群別種数で最も多かったのはコウチュウ目の 93 種で、次いでカメムシ目の 73 種、 チョウ目の 54 種、八チ目の 40 種の順である。また、水生昆虫類のカゲロウ目やトビケラ 目、コウチュウ目に属するガムシ科やヒメドロムシ科、ヒラタドロムシ科等も確認されている。

注)1.表中の数字は確認地点数を示す。

<sup>2.</sup>種名の「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.3.3-30 分類群別確認種数一覧: 陸上昆虫類

目名	H15		
PT	科数	種数	
クモ	13	31	
トビムシ	5	5	
イシノミ	1	1	
カゲロウ	4	4	
トンボ	5	11	
ゴキブリ	1	1	
カマキリ	1	1	
シロアリ			
ハサミムシ	1	1	
カワゲラ	1	1	
バッタ	7	18	
チャタテムシ	1	1	
カメムシ	23	73	
アザミウマ	1	1	
アミメカゲロウ	1	2	
シリアゲムシ	1	1	
トビケラ	12	14	
チョウ	19	54	
八工	27	38	
コウチュウ	25	93	
ハチ	19	40	
21 目 168	科 391 種		

## (b)重要種の変化の整理

これまでの調査においては、下流河川では重要種は確認されていない。

#### (c)外来種の変化の整理

平成 15 年度の調査において、下流河川で確認された外来種は 表 6.3.3-31 に示すとおりである。

下流河川におけるこれまでの調査では、平成 15 年度にカンタン、シロテンハナムグリ、 ラミーカミキリ、ブタクサハムシの 4 種が確認されている。

表 6.3.3-31 確認種一覧:外来種

No	科名	種名(和名)	選定基準		調査年度
	171 <u>1</u>	作出行(作品)	1	2	H15
1	コオロギ	カンタン			
2	コガネムシ	シロテンハナムグリ			
3	カミキリムシ	ラミーカミキリ			
4	ハムシ	ブタクサハムシ			
	4科4種		0種	4種	4種

-注)1.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

#### (2)ダムによる影響の整理

ダムの存在・供用に伴って、室生ダムの流入河川に生じる環境条件の変化により、流入河川に生息する多様な生物の生息・生育環境に影響を及ぼすものと想定される。

そこで、室生ダム流入河川における環境条件の変化、またそれにより生じる生物の生息・ 生育状況の変化を 図 6.3.3-47 のとおり整理し、生物の生息・生育状況の変化の検証を行っ た。

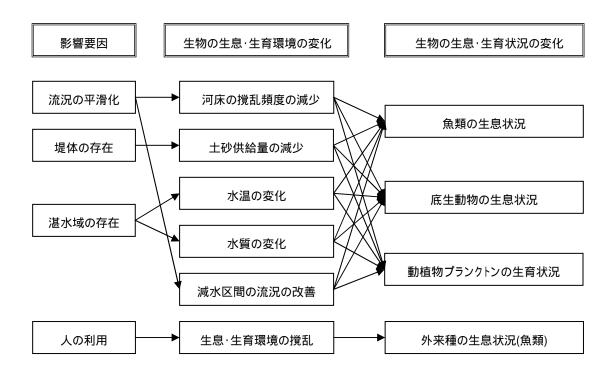


図 6.3.3-47 生物の生息・生育状況の変化と影響要因

# 1)下流河川の生息・生育状況の変化の整理結果

# (a)魚介類

# a)魚類

魚類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.3-32 に示す。

表 6.3.3-32 下流河川における魚類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
魚類相の	種数	・平成 8 年度及び平成 13 年度が 8 種、平成 19 年度が 11 種と増加
変化		している。
		・平成 19 年度に新たに確認されたのは、ギギやウキゴリ等 5 種で
		ある。
生息状況	優占種の変化	・確認個体数については増加傾向にある。また、優占種については、
の変化		平成8年度は、トウヨシノボリ及びオイカワが優占していたが平
		成 13 年度にはオイカワ及びヌマチチブとなっている。また、平
		成 19 年度ではこれらの 2 種に加えてコウライモロコの確認個体
	÷ / // 5 **   \	数が増加している。
		・これまでの調査で、カマツカ、ギギ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、
	況	スマチチブの 5 種が確認されており、平成 19 年度ではカマツカ
		を除く4種が確認されている。
		・確認個体数については、ヌマチチブが急激に増加している一方で、    トウヨシノボリが減少傾向にある。また、ギギ、ウキゴリは平成
		19年度で始めて確認されている。
	   回遊性魚類の状況	・これまでの調査で、アユ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヌマチチ
	日週任無規の状況	プの種が確認されており、平成 19 年度調査では 4 種すべてが確
		認されている。
		・確認個体数は、ヌマチチブが増加している一方で、トウヨシノボ
		リが減少傾向にある。
	重要種の状況	自然分布と考えられる種
		・平成 19 年度に、ギギが 6 個体、ウキゴリが 32 個体確認されてい
		<b>ర</b> 。
		放流等が由来と考えられる種
		・これまでの調査で、ゲンゴロウブナ、ハス、アユの3種が確認さ
		れ、平成 19 年度調査では、ハスを除く 2 種が確認されている。
		・確認個体数はほとんどが3個体以下であるが、平成10年度では、
		潜水目視により100個体程度のアユが確認されている。
	外来種の状況	・これまでの調査で、ブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)の
		2種が確認されている。
		・ブルーギルは平成 8 年度に 12 個体、平成 19 年度に 1 個体、オオ
		│ クチバスは平成 8 年度に 12 個体、平成 13 年度に 1 個体が確認さ │ │ ゎヹいる
<u></u>		れている。

# b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の生息状況の変化の整理結果を表6.3.3-33に示す。

表 6.3.3-33 下流河川におけるエビ・カニ・貝類の生息状況の変化の整理結果

検討項	頁目	変化の状況
エビ・カニ・貝	種数	・平成 8 年度、平成 13 年度ともに、ヒメタニシやカワニナ、テナ
類相の変化		ガエビ、スジエビ等7種が確認されている。
生息状況	優占種の変化	・カワニナが減少傾向にある一方で、テナガエビやスジエビとい
の変化		ったエビ類は増加傾向にある。
	重要種の状	・平成8年度にマシジミ2個体、平成13年度にマシジミ1個体が
	況	確認されている。
	外来種の	・これまでの調査において、外来種は確認されていない。
	状況	

## (b)底生動物の生息状況の変化の整理結果

底生動物の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.3-34 に示す。

表 6.3.3-34 下流河川における底生動物の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
底生動物 相の変化	種数	・平成 5 年度は 10 種であったが、経年とともに増加し、平成 20 年度では 103 種となっている。 ・主な分類群は、トンボ目、トビケラ目、ハエ目、コウチュウ目である。
生息状況の変化	優占種の変化	・平成 7 年度から平成 17 年度までは、ウルマーシマトビケラやナカハラシマトビケラ、Cheumatopsyche 属等の造網性トビケラ類が優占しており、これらの占める割合は高い状態にあったが、平成20 年度では、造網性トビケラ類の確認割合は極端に減少し、アカマダラカゲロウやヒメドロムシ科といった種が優占している。・確認個体数は、平成 17 年度までは増加する傾向にあったが、平成20 年度では減少に転じている。
	重要種の状況	・これまでの調査では、オオタニシ、マシジミ、ゲンジボタルの 3 種が確認されているが、平成 17 年度及び平成 20 年度調査ではゲンジボタルのみの確認となっている。 ・ゲンジボタルは平成 7 年度に 1 個体、平成 17 年度に 5 個体、平成 20 年度に 2 個体が確認されている。
	外来種の状況	・これまでの調査では、サカマキガイ、アメリカザリガニが確認されている。 ・しかし、両種ともに確認個体数は少なく、サカマキガイは平成 17年度に 2 個体、アメリカザリガニは平成 7 年度に 1 個体となっている。

# (c)動植物プランクトンの生息・生育状況の変化の整理結果

a)植物プランクトン

植物プランクトンの生育状況の変化の整理結果を表 6.3.3-35 に示す。

表 6.3.3-35 下流河川における植物プランクトンの生育状況の変化の整理結果

検討	項目	変化の状況
植物プランク	種数	・確認種数については、平成5年度は30種、平成11年度は40種、
トン相の変化		平成 16 年度は 22 種、平成 18 年度は 35 種と、増減している。
生育状況	優占種の変化	・平成 6 年度は緑藻類、平成 11 年度、平成 16 年度及び平成 18 年
の変化		度はともに珪藻類であった。
		・富栄養湖沼に多く、全国の湖沼に普通にみられる種であった。

## b)動物プランクトン

動物プランクトンの生息状況の変化の整理結果を表 6.3.3-36 に示す。

表 6.3.3-36 下流河川における動物プランクトンの生息状況の変化の整理結果

検討項	目	変化の状況
動物プランクトン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度は7種、平成11年度は35種、 平成16年度は33種、平成18年度は21種と、平成5年度から平 成11年度にかけては増加しているが、以降、平成18年度にかけ ては減少している。
生息状況 の変化	優占種の変化	・湖やため池等、全国的に普通にみられる種や富栄養化した水域に 多くみられる種であった。

## (d)植物の生育状況の変化の整理結果

植物の生育状況の変化の整理結果を表 6.3.3-37 に示す。

表 6.3.3-37 下流河川における植物の生育状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
植物相の 変化	種数	・平成 16 年度の調査において、147 種の植物が確認されている。
生育状況 の変化	下流河川周辺に 生育する植物の状 況	・河川沿いや湿った環境を好む種が多く確認され、樹林に生育する 種は少ない傾向がみられている。
	重要種の状況	・平成 16 年度の調査において、重要種はユキヤナギ 1 種が確認されている。本種は河岸の岸壁等に生育する種である。
	外来種の状況	・平成 16 年度の調査において、外来種は 18 種(うち 1 種は特定外来種)が確認されている。

#### (e)鳥類の生息状況の変化の整理結果

鳥類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.3-38 に示す。

表 6.3.3-38 下流河川における鳥類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
鳥類相の 変化	種数	・平成 14 年度では 23 種、平成 18・19 年度では 30 種と増加する傾向がみられている。
生息状況 の変化	下流河川を利用する鳥類の状況	・水辺を利用する種としては、カワウ、アオサギ、ヤマセミ、キセキレイについては、継続的に確認されている。 ・陸域を利用する種としては、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ホオジロ等の草地から樹林にかけて生息する種が多く確認されている。
	重要種の状況	<ul> <li>・水辺を利用する種としては、オシドリ、ヤマセミ、カワガラスの3種の重要種が確認されている。</li> <li>・陸域を利用する種については、樹林性のアオゲラ、サンショウクイ、ルリビタキ、オオルリ、サメビタキ、エゾビタキ、イカルの7種が確認されている。</li> </ul>
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種は確認されていない。

## (f)両生類・爬虫類・哺乳類

### a)両生類

ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果を表 6.3.3-39 に示す。

表 6.3.3-39 下流河川における両生類の生息状況の変化の整理結果

検討項	目	変化の状況
両生類相 の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、4 種の両生類が確認された。
生息状況 の変化	下流河川を利用 する両生類の状 況	・タゴガエル、トノサマガエル、ウシガエル、カジカガエルの 4 種が確認された。このうち、流水性種はタゴガエル、カジカガエ ルの 2 種である。
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、ウシガエルが確認された。1 地点で鳴声が確認された。

## b)爬虫類

ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果を表 6.3.3-40 に示す。

表 6.3.3-40 下流河川における爬虫類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
爬虫類相 の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、爬虫類は確認されていない。
生息状況 の変化	下流河川を利用 する爬虫類の状 況	・平成 15 年度の調査において、爬虫類は確認されていない。
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、外来種は確認されていない。

## c)哺乳類

ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果を表 6.3.3-41 に示す。

表 6.3.3-41 下流河川における哺乳類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
哺乳類相	種数	・平成 15 年度の調査において、8 種の哺乳類が確認された。
の変化		
生息状況	下流河川を利用	・モグラ属、ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、テン、イタチ属、イ
の変化	する哺乳類の状	ノシシ、ホンドジカの8種が確認された。
	況	
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、外来種は確認されていない。

## (g)陸上昆虫類等

ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果を表 6.3.3-42 に示す。

表 6.3.3-42 下流河川における陸上昆虫類等の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	変化の状況
陸上昆虫 類相の変 化	種数	・平成 15 年度の調査では、391 種が確認されている。
生息状況 の変化	下流河川を利用 する陸上昆虫類 等の状況	<ul> <li>・目別確認種数で最も多かったのはコウチュウ目の 93 種で、次いでカメムシ目の 73 種、チョウ目の 54 種、ハチ目の 40 種の順であった。</li> <li>・水生昆虫類ではカゲロウ目やトビケラ目、コウチュウ目に属するガムシ科やヒメドロムシ科、ヒラタドロムシ科等も確認された。</li> </ul>
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、カンタン、シロテンハナムグリ、 ラミーカミキリ、ブタクサハムシの4種が確認されている。

## 2) ダム湖の存在・供用による生物への影響の整理結果

## (a)魚介類

## a)魚類

ダムの存在・供用による魚類への影響の整理結果を表 6.3.3-43 に示す。

表 6.3.3-43 ダムの存在・供用による魚類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
魚類相の	種数	・河床の撹乱頻度の減少
変化		・土砂供給量の減少
		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善
生息状況	優占種の変化	・河床の撹乱頻度の減少
の変化		・土砂供給量の減少
		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善
	回遊性魚類の状況	・河床の撹乱頻度の減少
		・土砂供給量の減少
		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

# b)エビ・カニ・貝類

ダムの存在・供用によるエビ・カニ・貝類への影響の整理結果を表 6.3.3-44 に示す。

表 6.3.3-44 ダムの存在・供用によるエビ・カニ・貝類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
エビ・カニ・	種数	・河床の撹乱頻度の減少
貝類相の変化		・土砂供給量の減少
		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善
生息状況の変	下流河川に生	・河床の撹乱頻度の減少
化	息するエビ・	・土砂供給量の減少
	カニ・貝類の	・水温の変化
	状況	・水質の変化
		・減水区間の流況改善
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

## (b)底生動物

ダムの存在・供用による底生動物への影響の整理結果を表 6.3.3-45 に示す。

表 6.3.3-45 ダムの存在・供用による底生動物への影響の整理結果

;	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
底生動物	種数	・河床の撹乱頻度の減少
相の変化		・土砂供給量の減少
		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善
生息状況	優占種の変化	・河床の撹乱頻度の減少
の変化		・土砂供給量の減少
		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

### (c)動植物プランクトン

a)植物プランクトン

ダムの存在・供用による植物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.3-46 に示す。

表 6.3.3-46 ダムの存在・供用による植物プランクトンへの影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
植物プラ	種数	・河床の撹乱頻度の減少
ンクトン		・土砂供給量の減少
相の変化		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善
生育状況	優占種の変化	・河床の撹乱頻度の減少
の変化		・土砂供給量の減少
		・水温の変化
		・水質の変化
		・減水区間の流況改善

## b)動物プランクトン

ダムの存在・供用による動物プランクトンへの影響の整理結果を表 6.3.3-47 に示す。

表 6.3.3-47 ダムの存在・供用による動物プランクトンへの影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
動物プラ ンクトン 相の変化	種数	・河床の撹乱頻度の減少 ・土砂供給量の減少 ・水温の変化 ・水質の変化 ・減水区間の流況改善
生息状況 の変化	優占種の変化	・河床の撹乱頻度の減少 ・土砂供給量の減少 ・水温の変化 ・水質の変化 ・減水区間の流況改善

## (d)植物

ダムの存在・供用による植物への影響の整理結果を表 6.3.3-48 に示す。

表 6.3.3-48 ダムの存在・供用による植物への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
植物相の	種数	・河床の撹乱頻度の減少
変化		・土砂供給量の減少
生育状況	下流河川周辺に	・河床の撹乱頻度の減少
の変化	生育する植物の	・土砂供給量の減少
	状況	
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

## (e)鳥類

ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果を表 6.3.3-49 に示す。

表 6.3.3-49 ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
鳥類相の	種数	・河床の撹乱頻度の減少
変化		・土砂供給量の減少
生息状況	下流河川周辺に	・河床の撹乱頻度の減少
の変化	生息する鳥類の	・土砂供給量の減少
	状況	
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

# (f)両生類・爬虫類・哺乳類

## a)両生類

ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果を表 6.3.3-50 に示す。

表 6.3.3-50 ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
両生類相	種数	・河床の撹乱頻度の減少
の変化	工法江川田辺に	・土砂供給量の減少
生息状況	下流河川周辺に	・河床の撹乱頻度の減少
の変化	生息する両生類	・土砂供給量の減少
	の状況	기 수 기 수 7m I 수 요 LV 소
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

## b)爬虫類

ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果を表 6.3.3-51 に示す。

表 6.3.3-51 ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
爬虫類相	種数	・河床の撹乱頻度の減少
の変化		・土砂供給量の減少
生息状況	下流河川周辺に	・河床の撹乱頻度の減少
の変化	生息する爬虫類	・土砂供給量の減少
	の状況	
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

## c)爬虫類

ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果を表 6.3.3-52 に示す。

表 6.3.3-52 ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
哺乳類相	種数	・河床の撹乱頻度の減少
の変化		・土砂供給量の減少
生息状況	下流河川周辺に	・河床の撹乱頻度の減少
の変化	生息する哺乳類	・土砂供給量の減少
	の状況	
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

#### (g)陸上昆虫類等

ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果を表 6.3.3-53 に示す。

表 6.3.3-53 ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響
陸上昆虫 類相の変 化	種数	・河床の撹乱頻度の減少 ・土砂供給量の減少
生息状況 の変化	下流河川周辺に 生息する陸上昆 虫類等の状況	・河床の撹乱頻度の減少 ・土砂供給量の減少
	重要種の状況	・生息・生育環境の撹乱
	外来種の状況	・生息・生育環境の撹乱

#### 3)ダム湖の存在・供用以外の考えうる因子の整理結果

## (a)魚介類

## a)魚類

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による魚類への整理結果を表 6.3.3-54 に示す。

表 6.3.3-54 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による魚類への影響の整理結果

検	討項目	ダムの存在以外の影響
魚類相の変 化	種数	・放流(漁業・遊漁)
生息状況の 変化	優占種の変化	・放流(漁業・遊漁)
	底生性魚類の状況	・放流(漁業・遊漁)
	回遊性魚類の状況	・放流(漁業・遊漁)
	重要種の状況	・放流(漁業・遊漁)
	外来種の状況	・放流(漁業・遊漁)

#### (b)底生動物

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による底生動物への整理結果を表6.3.3-55に示す。

表 6.3.3-55 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による底生動物への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在以外の影響
底生動物相	種数	-
の変化		
生息状況の 変化	優占種の変化	-
	重要種の状況	-
	外来種の状況	・魚類の放流(漁業・遊漁)

# 4)下流河川の生物の変化に対する影響の検証結果

# (a)魚介類

# a)魚類

魚類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-56 に示す。

表 6.3.3-56(1) 下流河川の魚類の変化に対する影響の検証結果

		12 0.3.3-30(1) 17/11/-1/110	ク無類の交に			
検討	項目	   変化の状況	ダムの 存在・供用	ダムの 存在以外	 	
			に伴う影響	の影響		
魚類相の変化	種数	・平成 8 年度及び平成 13 年度が 8 種、平成 19 年度が 11 種と増加し ている。 ・平成 19 年度に新たに確認されたの は、ギギやウキゴリ等 5 種である。	・河床の撹乱 頻度の減少 ・土砂供給量 の減少 ・水温の変化 ・水質の変化 ・減水区間の 流況改善	・放流 (漁 業・遊漁)	・確認種数・個体数ともに 増加傾向にあり、ダムの 存在・供用に伴う影響は、 概ね安定した状態で推移 しているものと考えられ る。	×
生息状況の変化	優占種の変化	13 年度にはオイカワ及びヌマチ	・河床の撹乱 頻度の減少 ・土砂供給量 の減少 ・水温の変化 ・水質の変化 ・減水区間の 流況改善	・放流 (漁 業・遊漁)	・確認種数・個体数ともに、 増加傾向にある。また、 平成8年度から、平成13 年度にかけて、優占種が 大きく変化しているが、 この変化の要因について は不明である。	
	底生性魚類の状況	・これまでの調査で、カマツカ、ギギ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヌマチチブの 5 種が確認されており、平成 19 年度ではカマツカを除く 4 種が確認されている。 ・確認個体数については、ヌマチチブが急激に増加している一方で、トウヨシノボリが減少傾向にある。また、ギギ、ウキゴリは平成19 年度で初めて確認されている。	・河床の撹乱 頻 の 少 ・土砂供給 の減の変化 ・水質の変化 ・滅水区間の 流況改善	-	・確認種数・個体数ともに、 増加傾向にある。また、 平成8年度から、平成13 年度にかけて、優占種が 大きく変化しているが、 この変化の要因について は不明である。	
	回遊性魚類の状況	・これまでの調査で、アユ、ウキゴ リ、トウヨシノボリ、ヌマチチブ の種が確認されており、平成 19 年度調査では4種すべてが確認さ れている。 ・確認個体数は、ヌマチチブが増加 している一方で、トウヨシノボリ が減少傾向にある。	・河床の撹乱 頻度の減少 ・土砂供給量の減少・水温の変化・水質の変化 ・減水区間の流況改善	・放流 (漁 業・遊漁)	・確認種数・個体数ともに、 増加傾向にある。また、 平成8年度から、平成13 年度にかけて、優占種が 大きく変化しているが、 この変化の要因について は不明である。 ・アユを除くこれらの種は、 既に陸封状態であり、ア ユについては、放流が起 源である可能性がある。	

表 6.3.3-56 (2) 下流河川の魚類の変化に対する影響の検証結果

検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
生息状況の変化	重要種の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自然分布と考えられる種 ・平成 19 年度に、ギギが 6 個体、ウキゴリが 32 個体確認されている。 放流等が由来と考えられる種 ・これまでの調査で、ゲンゴロウブナ、ハス、アユの 3 種が確認され、平成 19 年度調査では、ハスを除く2種が確認されている。 ・確認個体数はほとんどが 3 個体以下であるが、平成 10 年度では、潜水目視により 100 個体程度のアユが確認されている。 ・これまでの調査で、ブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)の2種が確認されている。	・生息・生 育環境の 撹乱	・ 放業 漁 放業 漁 流・ ( 漁 流・ 漁 )	種 ・平成19年度より、新たになっているが、この変化の要因については不明である。が由来と考えられるる等が由来と考えられる。を発生を表えられる。と考えられるでは、このである。では、では、では、では、では、では、では、では、できるではである。	
	の状況	・ブルーギルは平成8年度に12個 体、平成19年度に1個体、オオ クチバスは平成8年度に12個 体、平成13年度に1個体が確認 されている。			られる。	

## 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんど見られないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

b)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-57 に示す。

表 6.3.3-57 下流河川のエビ・カニ・貝類の変化に対する影響の検証結果

			i e			
検討	可項目	変化の状況	ダムの 存在・供用に伴う 影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
エビ・カニ・貝類相の変化	種数	・平成8年度、平成13年度ともに、ヒメタニシやカワニナ、テナガエビ、スジエビ等7種が確認されている。	・河床の撹乱頻度 の減少 ・土砂供給量の減 少 ・水温の変化 ・水質の変化 ・減水区間の流況 改善	-	・エビ類は河川緩流部や ダム湖、カワニナ、マ シジミ、サワガニは河 川を生息環境とするこ とから、下流河川には 大きな変化はなかった ものと考えられる。	×
生息状況の変化	優占種の変化	・カワニナが減少傾向にある一 方で、テナガエビやスジエビ といったエビ類は増加傾向 にある。	・河床の撹乱頻度 の減少 ・土砂供給量の減 少 ・水温の変化 ・水質の変化 ・減水区間の流況 改善	-	・カワニナの減少、及び エビ類の増加について の要因は不明である。	
	重要種の状況	・平成8年度にマシジミ2個体、 平成13年度にマシジミ1個 体が確認されている。	・生息・生育環境 の撹乱	-	・マシジミは河川や水路 等の流水域を主な生息 環境とすることから、 下流河川には大きな変 化はなかったものと考 えられる。	×
	外来種の状況	・これまでの調査において、外 来種は確認されていない。	・生息・生育環境 の撹乱	-	-	-

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんど見られないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (b)底生動物

底生動物の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-58 に示す。

表 6.3.3-58 下流河川の底生動物の変化に対する影響の検証結果

				(C) (C) (C) (C)		1
	討目	変化の状況	ダムの 存在・供用に 伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
底生動物相の変化	種数	・平成 5 年度は 10 種であったが、経年とともに増加し、平成 20 年度では 103 種となっている。 ・主な分類群は、トンボ目、トビケラ目、ハエ目、コウチュウ目である。	・河床の撹乱 頻度の供給 ・土砂供分 ・水温の変化 ・水質の変間 ・滅水区 ・流況改善	-	・確認種数の増加については、分類精度等の向上による可能性があるが、この変化の要因については不明である。	
生息状況の変化	優占種の変化	・平成7年度から平成17年度までは、ウルマーシマトビケラやナカハラシマトビケラやナカハラシマトビケラ (Cheumatopsyche 属等の造網性トビケラ類が優占しており、これらの占める割合はでは、一番に減少し、アカマダラカゲロムシ科といった種が優らしている。・確認個体数は、平成17年度までは増加する傾向にあったが、平成20年度では減少に転じている。	・河焼の ・河焼を ・河焼を ・河線と ・河線と ・水水の ・水水の ・水水の ・水水の ・水水の ・減、 ・水水の ・、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	-	・平20 占の度は では	
	重要種の状況	・これまでの調査では、オオタニシ、マシジミ、ゲンジボタルの3種が確認されているが、平成17年度及び平成20年度調査ではゲンジボタルのみの確認となっている。・ゲンジボタルは平成7年度に1個体、平成17年度に5個体、平成20年度に2個体が確認されている。	・生息・生育環境の撹乱	-	・種によって増減はあり、では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般	
	外来種の状況	<ul> <li>・これまでの調査では、サカマキガイ、アメリカザリガニが確認されている。</li> <li>・しかし、両種ともに確認個体数は少なく、サカマキガイは平成17年度に2個体、アメリカザリガニは平成7年度に1個体となっている。</li> </ul>		・魚類の放流 (漁業・遊漁)	・これまでの確認は、 散発的で、確認個体 数も少ない状況にあ り、定着したかどう かは不明である	

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - :室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんど見られないもの
    - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (c)動植物プランクトン

a)植物プランクトン

植物プランクトンの変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-59 に示す。

表 6.3.3-59 下流河川の植物プランクトンの変化に対する影響の検証結果

検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果
植物プランクトン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度 は30種、平成11年度は40種、 平成16年度は22種、平成18年 度は35種と、増減している。	・河乱減土量水化水化減の善・河乱減土量水化水化減のの 区況 質 水流の 変 で 間改	_	・確認種数の増加や減少は、同定技術の進歩や調査時期による初まとがはでいるというではでいることがあれていることがあれていると考えられる。
生育状況の変化	優占種の変化	・平成6年度は緑藻類、平成11年度及び平成16年度はともに珪藻類であった。 ・富栄養湖沼に多く、全国の湖沼に普通にみられる種であった。	・河乱減土量水化水化減の ・河乱減土量水化水化減の ・水流の ・水流の ・水流の ・水流の ・水流の ・水流の ・水流の ・水流	_	・ダム湖とほぼ同じ種が 多く確認されているこ とから、ダム湖の影響 を受けているものと考 えられる。

#### 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんど見られないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## b)動物プランクトン

動物プランクトンの変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-60 に示す。

表 6.3.3-60 下流河川の動物プランクトンの変化に対する影響の検証結果

				J	O 10 E 1 DARENHOIT
検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果
動物プランクトン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度 は7種、平成11年度は35種、平 成16年度は33種、平成18年度 は21種と、平成5年度から平成 11年度にかけては増加している が、以降、平成18年度にかけて は減少している。	・河乱減土量水化水化減の善 ・河乱減土量水化水化減の ・量水化水化減の ・ ・河、 ・河、 ・河、 ・河、 ・河、 ・河、 ・河、 ・河、 ・河、 ・	_	・確認種数の増減は、同定技術の進歩や調査時期によるものが大きいが、ダム湖とほぼ同じ種が多く確認されていることから、ダム湖の影響を受けているものと考えられる。
生息状況の変化	優占種の変化	・湖やため池等、全国的に普通にみられる種や富栄養化した水域に多くみられる種であった。	・河乱減土量水 の度 ・無頻少砂の温 ・・水化水化 ・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・水流の ・・・・・・・・・・	_	・ダム湖とほぼ同じ種が 多く確認されているこ とから、ダム湖の影響 を受けているものと考 えられる。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんど見られないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (d)植物

植物の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-61 に示す。

表 6.3.3-61 下流河川の植物の変化に対する影響の検証結果

村項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
種 数	・平成 16 年度の調査において、147 種の植物が確認されている。	・河床の撹 乱頻度の 減少 ・土砂供給 量の減少	-	・平成 16 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、確 認された種の多くは ダム湖周辺でも確認 されている種であっ た。	
下流河川周辺に生育する植物の状況	・河川沿いや湿った環境を好む種が多く確認され、樹林に生育する種は少ない傾向がみられている。	・河床の撹 和類の 減少 供給 量の減少	-	・平成 16 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、確 認された種の多なは ダム湖周辺でも破っ されている種であっ た。	-
重要種の状況	・平成 16 年度の調査において、重要種はユキヤナギ 1 種が確認されている。本種は河岸の岸壁等に生育する種である。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	・平成 16 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできない。	-
外来種の状況	・平成 16 年度の調査において、外 来種は 18 種(うち 1 種は特定外 来種)が確認されている。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	・平成 16 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできない。	-
	種数 下流河川周辺に生育する植物の状況 重要種の状況	・平成 16 年度の調査において、147 種の植物が確認されている。     ・河川高辺に生育する植物の状況     ・平蔵 16 年度の調査において、147 がある種は少ない傾向がみられている。     ・平蔵 16 年度の調査において、認識を生育する植物の状況     ・平蔵 16 年度の調査において、認識を関する。     ・本種の対象をはいる。     ・中央種による。     ・本種である。     ・では、15 年の調査において、147     ・の関係により、15 年の関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	ででは 16 年度の調査において、147   ででである値物のが決況   でであるを	では 16 年度の調査において、147   では 16 年度の調査において、147   では 16 年度の調査において、147   では 16 年度の調査において、147   では 16 年度の調査において、 17	では、

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんど見られないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (e)鳥類

鳥類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-62 に示す。

表 6.3.3-62 下流河川の鳥類の変化に対する影響の検証結果

検討	<b>寸項目</b>	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
鳥類相の変化	種 数	・平成 14 年度では 23 種、平成 18・ 19 年度では 30 種と増加する傾 向がみられている。	・河床の撹 乱頻度の 減少 ・土砂供給 量の減少	-	・確認種数の増加は、渡来数の増加のほかに、 調査手法の違いによる影響も考えられる。	×
生息状況の変化	下流河川に生息する鳥類の状況	・水辺を利用する種としては、カ ワウ、アオサギ、ヤマセミ、キ セキレイについては、継続的に 確認されている。 ・陸域を利用する種としては、ヒ ヨドリ、エナガ、メジロ、ホオ ジロ等の草地から樹林にかけて 生息する種が多く確認されてい る。	・河床の撹 乱頻度の 減少 ・土の減少	-	・一般的な種が確認され ており、環境に大きな 変化はないものと考 えられる。	×
	重要種の状況	・水辺を利用する種としては、オ シドリ、ヤマセミ、カワガラス の3種の重要種が確認されてい る。 ・陸域を利用する種については、 樹林性のアオゲラ、サンショウ クイ、ルリビタキ、オオルリ、 サメビタキ、エゾビタキ、イカ ルの7種が確認されている。	育環境の 撹乱	-	・2 箇年度の調査結果であるため、経年変化の比較には十分とはいえないが、重要種の確認種数・個体数に若干の増加がみられている。	×
	外来種の状況	・これまでの調査において、外来種は確認されていない。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	-	×

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんど見られないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (f)両生類・爬虫類・哺乳類

## a)両生類

両生類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-63 に示す。

表 6.3.3-63 下流河川の両生類の変化に対する影響の検証結果

検討	<b>寸項目</b>	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
両生類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、4 種の両生類が確認された。	・河床の撹 乱頻度の 減少 ・土砂供給 量の減少	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、確 認された種はいずれ もダム湖周辺で確認 されている種であっ た。	-
生息状況の変化	下流河川に生息する両生類の状況	・タゴガエル、トノサマガエル、 ウシガエル、カジカガエルの 4 種が確認された。このうち、流 水性種はタゴガエル、カジカガ エルの 2 種である。	・河床の撹 和類の 減少 ・土砂供給 量の減少	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、確 認された種はいずれ もダム湖周辺で確認 されている種であっ た。	-
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	-	-
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、ウシガエルが確認された。1 地点で鳴声が確認された。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、多 くの止水域が広がる ダム湖周辺において、 増加傾向はみられて いない。	-

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - :室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんど見られないもの
    - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# b)爬虫類

爬虫類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-64 に示す。

表 6.3.3-64 下流河川の爬虫類の変化に対する影響の検証結果

検討	讨項目	変化の状況	ダムの 存在・供用に 伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
爬虫類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、 爬虫類は確認されていない。	・河床の撹乱 頻度の減少 ・土砂供給量 の減少	-	-	-
生息状況の変化	下流河川に生息する爬虫類の状況	・平成 15 年度の調査において、 爬虫類は確認されていない。	・河床の撹乱 頻度の減少 ・土砂供給量 の減少	-	-	-
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、 重要種は確認されていない。	・生息・生育環境の撹乱	-	-	-
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、 外来種は確認されていない。	・生息・生育環境の撹乱	-	-	-

## 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんど見られないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# c)哺乳類

哺乳類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-65 に示す。

表 6.3.3-65 下流河川の哺乳類の変化に対する影響の検証結果

検言	対項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果			
哺乳類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、8 種の哺乳類が確認された。	・河床の撹 乱頻度の 減少 ・土砂供給 量の減少	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、確 認された種はいずれ もダム湖周辺で確認 されている種であっ た。	-		
生息状況の変化	哺乳類の状況下流河川に生息する	・モグラ属、ノウサギ、アカネズ ミ、タヌキ、テン、イタチ属、 イノシシ、ホンドジカの8種が 確認された。 ・土砂供給 量の減少		-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、確 認された種はいずれ もダム湖周辺で確認 されている種であっ た。			
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	-	-		
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、外 来種は確認されていない。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	-	-		

#### 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんど見られないもの

:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (g)陸上昆虫類等

陸上昆虫類等の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.3-66 に示す。

表 6.3.3-66 下流河川の陸上昆虫類等の変化に対する影響の検証結果

		1 11100 01 1 1 1 == 12	以次での文			
検討	<b>寸項目</b>	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
陸上昆虫類相の変化	<b>種</b> 数	・平成 15 年度の調査では、391 種が確認されている。	・河床の撹 乱頻度の 減少 ・土砂供給 量の減少	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、ダ ム湖周辺のデータと 比較しても種構成に 大きな変化はないと 考えられる。	×
生息状況の変化	下流河川に生息する陸上昆虫類等の状況	・目別確認種数で最も多かったのはコウチュウ目の93種で、次いでカメムシ目の73種、チョウ目の54種、ハチ目の40種の順であった。 ・水生昆虫類ではカゲロウ目やトビケラ目、コウチュウ目に属するガムシ科やヒメドロムシ科、ヒラタドロムシ科等も確認された。		-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、ダ ム湖周辺のデータと 比較しても種構成に 大きな変化はないと 考えられる。	×
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	-	-
	外来種の状況	・平成 15 年度調査において、カンタン、シロテンハナムグリ、ラミーカミキリ、ブタクサハムシの4種が確認されている。	・生息・生 育環境の 撹乱	-	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経年 比較はできないが、普 通にみられる種であ り、特にダム湖との関 係はないと考えられ る。	×

## 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- :室生ダムの影響がみられるもの
- x:変化がほとんど見られないもの
  - :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

#### 6.3.4. ダム湖周辺における変化の検証

#### (1)生物の生息・生育状況の変化の把握

#### 1)植物

ダム湖周辺における植物の調査は、これまでに計3回実施されている。このうち、平成6年度、及び平成11年度調査については、調査範囲が区分されていないことから、全てダム湖周辺で確認されたものとして整理を行った。また、植生分布調査についてはいずれの年度についても、調査範囲が区分されていないことから、全てダム湖周辺として整理を行った。

なお、平成6年度、及び平成16年度については、春季・夏季・秋季の3季にわたり調査を実施しているが、平成11年度は春季・夏季の2回調査となっている。各調査年度におけるダム湖周辺の調査数量、及び調査時期の詳細については、表6.3.4-1に示すとおりである。

表 6.3.4-1 調査内容一覧:植物

訂	首直	丰度	Н6	H11	H16		
訂	都直往	<b>登号</b>	3	9	16		
		下流河川	-	-	植物相調査(6 下流河川) 群落組成調査(No.23)		
		流入河川	-	-	植物相調査(7 流入河川) 群落組成調査(No.27)		
調査 地点	区分	ダム湖周辺	植物相調査, 植生分布調査, 群落組成調査 (No.1~No.27)	植物相調査, 植生分布調査, 群落組成調査(No.1~No.27)	植物相調査 (1 スギ-ヒノキ植林,2 コナラ群落,3 アカマツ群落,4 林縁部,5 林縁部-2,8 沢筋,その他) 植生分布調査, 群落組成調査 (No.1 ~ No.22,No.24 ~ No.26)		
	調査数量		ルート:29.2km	ルート:21.2km	ルート:18.1km		
植物相	調	春季	H6.4.28、6.1~4	H11.5.28~30	H16.5.23 ~ 24		
調査	調査時期	夏季	-	H11.8.13、15	H16.8.6~11		
	期	秋季	H6.10.21 ~ 22、28、 11.3 ~ 4	-	H16.10.11~13、15		
	È	周査数量	面積:741.89ha	面積:741.25ha	面積:770.46ha		
植生分布	調	春季	H6.4.28、6.24	-	-		
調査	自時	夏季	-	-	H16.8.9~11		
	期	秋季	-	H11.10.12~14	-		
		調査数量	27 地点	27 地点	27 地点		
群落組成 調査	調査	夏季	H6.8.22~25	H11.8.10~13、15	H16.8.7 ~ 11		
	調査時期	秋季	-	-	H16.10.11 ~ 12		

# (a)植生

#### a)植生分布の変化の整理

植生分布調査の結果は、表 6.3.4-2、図 6.3.4-1 に示すとおりであり、植生分布に大きな変化はみられない状況にある。ただし、平成 6 年度・平成 11 年度と平成 16 年度の調査結果を比較して、変化がみられるものとしては(概ね 2.5%以上)、アカマツ群落及び公園用地の増加、スギ・ヒノキ植林及び造成地・人工裸地の減少があげられる。これらの増減がみられた群落についての状況は表 6.3.4-3~表 6.3.4-4 に示すとおりである。

また、面積的な変化は小さいものの、特筆すべき事項としては、ダム湖岸におけるイタチハギ群落の新規確認があげられる。イタチハギは外来種であり、大正時代に砂防用、護岸用として移入されていたが、現在では荒れた河畔等で野生化し、ところによっては大群生するなど、問題を引き起こすことが知られている。そのため、今後の繁茂状況には、注意が必要であると考えられる。

表 6.3.4-2 植生分布調査結果

横性性の	植生	1±11 = 11	34 de 62		16	H1	11	H	16	過年度調査 との比較	
本本轄落	区	植生区分	群落名							H6 との	H11 との
自		 *******************************	ネコヤナギ <u>群</u> 茨	(1.0)	(,0)	(1.0)	(,0)				
大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き		八个竹竹		0.07	0.01	0.10	0.01				
### Park				0.07	0.01	0.10	0.01				
### Paper				0.07	0.01	0.10	0.01				
中央		草本群落		0.0.	0.0.	0.10	0.0.				
自然権生小計											
本本群落		自然植生小計	5 7.	0.07	0.01	0.10	0.01				
Pカマツ群落   6.80   0.92   28.91   3.90   37.00   4.80   3.89   0.90   159.5   0.150.0   159.5   0.150.0   159.7   19.72   -1.77   1.91   1.91   1.92   1.77   1.91   1.92   1.77   1.91   1.92   1.77   1.91   1.92   1.77   1.91   1.92   1.77   1.91   1.92   1.40   0.18   0.19			アラカシ群落	0.39	0.05		0.02	1.04	0.13		
日本語語				6.80	0.92	28.91	3.90	37.00	4.80	3.89	0.90
日本語画			コナラ群落		21.50		17.82		19.72	-1.77	1.91
日本語画			アカメガシワ群落	2.18	0.29	0.35	0.05	2.36	0.31	0.01	0.26
The part			タラノキ群落					1.40	0.18	0.18	0.18
日代			イタチハギ群落					7.64	0.99	0.99	0.99
代機権性				0.33	0.04	1.50	0.20			-0.04	-0.20
植栽樹・苗圃				2.31	0.31	1.00	0.13			-0.31	-0.13
生     力計     7     24.22     4     25.40     1     26.14     1.92     2.74       草本群落     9.16     1.23     2.86     0.39     5.88     0.76     -0.47     0.38       オギ群落     2.29     0.31     1.85     0.25     1.17     0.15     -0.16     -0.19       ススキ群落     2.29     0.31     1.85     0.25     1.17     0.15     -0.16     -0.16     -0.10       オオオナモミ群落     1.88     0.25     4.65     0.63     2.31     0.30     0.05     -0.33       ビメジョオン群落     133.3     1.80     9.36     1.26     12.84     1.67     -0.13     0.40       代債権生小計     193.0     26.01     182.8     24.66     214.2     27.81     1.79     3.15       11 直積     スギ・ヒノキ植林     374.9     50.54     367.4     49.58     362.4     47.05     -3.50     -2.53       八子夕林     0.42     0.06     0.19     0.03     0.25     0.03     -0.02     0.01       オオ     25.49     3.44     16.12     2.17     15.16     1.97     -1.47     -0.21       畑地     9.15     1.23     11.48     1.55     8.06     1.05     -0.19     -0.50			林縁植生		1.10	9.47	1.28			-1.10	-1.28
大子祥落			小計		24.22		23.40		26.14	1.92	2.74
Aスキ群落   2.29   0.31   1.85   0.25   1.17   0.15   -0.16   -0.10     オオオナモミ群落   1.88   0.25   4.65   0.63   2.31   0.30   0.05   -0.33     ヒメジョオン群落   2.04   0.26   0.26   0.26   0.26     小計   13.33   1.80   9.36   1.26   12.84   1.67   -0.13   0.40     代償植生小計   193.0   0 26.01   182.8   0 24.66   214.2   27.81   1.79   3.15		草本群落	クズ群落	9.16	1.23	2.86	0.39	5.88	0.76	-0.47	0.38
オオオナモミ群落   1.88   0.25   4.65   0.63   2.31   0.30   0.05   -0.33     ヒメジョオン群落   13.33   1.80   9.36   1.26   12.84   1.67   -0.13   0.40     代償植生小計   193.0   0   26.01   182.8   24.66   5   5   27.81   1.79   3.15								1.44	0.19	0.19	0.19
ヒメジョオン群落				2.29	0.31	1.85	0.25	1.17	0.15	-0.16	-0.10
小計				1.88	0.25	4.65	0.63				
代償植生小計 193.0 26.01 182.8 0 24.66 214.2 5 27.81 1.79 3.15  スギ・ヒノキ植林 374.9 8 50.54 8 49.58 8 47.05 -3.50 -2.53  ハチク林 0.42 0.06 0.19 0.03 0.25 0.03 -0.02 0.01  マダケ林 0.38 0.05 0.70 0.09 3.54 0.46 0.41 0.37  積林小計 375.7 8 50.65 368.3 7 7 47.54 -3.11 -2.16  「根土 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
1			小計		1.80		1.26		1.67	-0.13	0.40
大子・と)十種林		代償植生小計		0	26.01	0	24.66	5	27.81	1.79	3.15
セクライ本	11				50.54		49.58		47.05	-3.50	-2.53
横横小計 375.7 8 50.65 368.3 49.70 366.2 7 47.54 -3.11 -2.16											
植栽樹・苗圃		マタケ林			0.05		0.09		0.46	0.41	0.37
水田 25.49 3.44 16.12 2.17 15.16 1.97 -1.47 -0.21 畑地 9.15 1.23 11.48 1.55 8.06 1.05 -0.19 -0.50 人工草地 0.82 0.11 3.04 0.41 2.47 0.32 0.21 -0.09 公園 19.66 2.55 2.55 2.55 位宅地 16.78 2.26 24.72 3.33 22.52 2.92 0.66 -0.41 人工構造物・コンクリート裸地 11.78 11.78 1.59 16.78 2.26 29.99 3.89 2.30 人工裸地 11.09 1.49 25.56 3.45 2.09 0.27 -1.22 -3.18 自然裸地 1.86 0.25 1.96 0.26 1.82 0.24 -0.01 -0.03 開放水面 96.07 12.95 90.32 12.18 82.84 10.75 -2.20 -1.43 その他小計 173.0 23.32 189.98 25.63 185.04 24.02 0.69 -1.61	<b>↑</b> ↑				50.65		49.70	7			
加地 9.15 1.23 11.48 1.55 8.06 1.05 -0.19 -0.50 人工草地 0.82 0.11 3.04 0.41 2.47 0.32 0.21 -0.09 公園 19.66 2.55 2.55 2.55 住宅地 16.78 2.26 24.72 3.33 22.52 2.92 0.66 -0.41 人工構造物・コンクリート裸地 11.78 11.78 1.59 16.78 2.26 29.99 3.89 2.30 人工裸地 11.09 1.49 25.56 3.45 2.09 0.27 -1.22 -3.18 自然裸地 1.86 0.25 1.96 0.26 1.82 0.24 -0.01 -0.03 開放水面 96.07 12.95 90.32 12.18 82.84 10.75 -2.20 -1.43 その他小計 173.0 4 23.32 189.98 25.63 185.04 24.02 0.69 -1.61											
大工草地											
公園											
住宅地 16.78 2.26 24.72 3.33 22.52 2.92 0.66 -0.41 人工構造物・コンクリート裸地 11.78 11.78 1.59 16.78 2.26 29.99 3.89 2.30 人工裸地 11.09 1.49 25.56 3.45 2.09 0.27 -1.22 -3.18 自然裸地 1.86 0.25 1.96 0.26 1.82 0.24 -0.01 -0.03 開放水面 96.07 12.95 90.32 12.18 82.84 10.75 -2.20 -1.43 その他小計 173.0 4 23.32 189.98 25.63 185.04 24.02 0.69 -1.61		· · · ·		0.82	U.11	3.04	U.41				
人工構造物・コンクリート裸地     11.78     11.78     1.59     16.78     2.26     29.99     3.89     2.30       人工裸地     11.09     1.49     25.56     3.45     2.09     0.27     -1.22     -3.18       自然裸地     1.86     0.25     1.96     0.26     1.82     0.24     -0.01     -0.03       開放水面     96.07     12.95     90.32     12.18     82.84     10.75     -2.20     -1.43       その他小計     173.0 4     23.32     189.98     25.63     185.04     24.02     0.69     -1.61				16 70	2.26	24.72	2 22				
人工裸地 11.09 1.49 25.56 3.45 2.09 0.27 -1.22 -3.18 自然裸地 1.86 0.25 1.96 0.26 1.82 0.24 -0.01 -0.03 開放水面 96.07 12.95 90.32 12.18 82.84 10.75 -2.20 -1.43 その他小計 173.0 4 23.32 189.98 25.63 185.04 24.02 0.69 -1.61 総			フリート裸地								
自然裸地 1.86 0.25 1.96 0.26 1.82 0.24 -0.01 -0.03 開放水面 96.07 12.95 90.32 12.18 82.84 10.75 -2.20 -1.43 その他小計 173.0 4 23.32 189.98 25.63 185.04 24.02 0.69 -1.61 総		1 丁畑+4									
開放水面 96.07 12.95 90.32 12.18 82.84 10.75 -2.20 -1.43 その他小計 173.0 4 23.32 189.98 25.63 185.04 24.02 0.69 -1.61 総 741.8 400.00 744.25 400.00 770.46 400.00											
その他小計 173.0 43.32 189.98 25.63 185.04 24.02 0.69 -1.61 総 741.8 409.09 744.35 409.09 770.46 409.09											
総 741.8 400.00 744.25 400.00 770.46 400.00				173.0							
				741.8	100.00	741.25	100.00	770.46	100.00		

注)1. は外来種が優占する群落を示す。

<sup>2.</sup>各調査実施年度における現存植生図は6.3.4-2に示すとおりである。

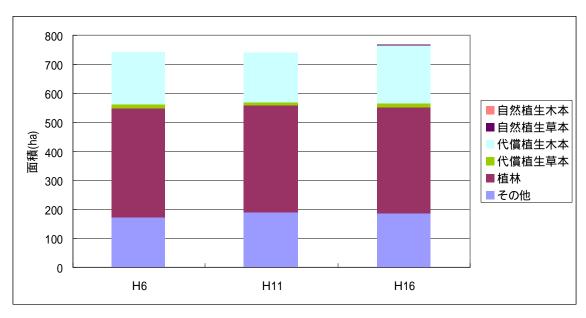


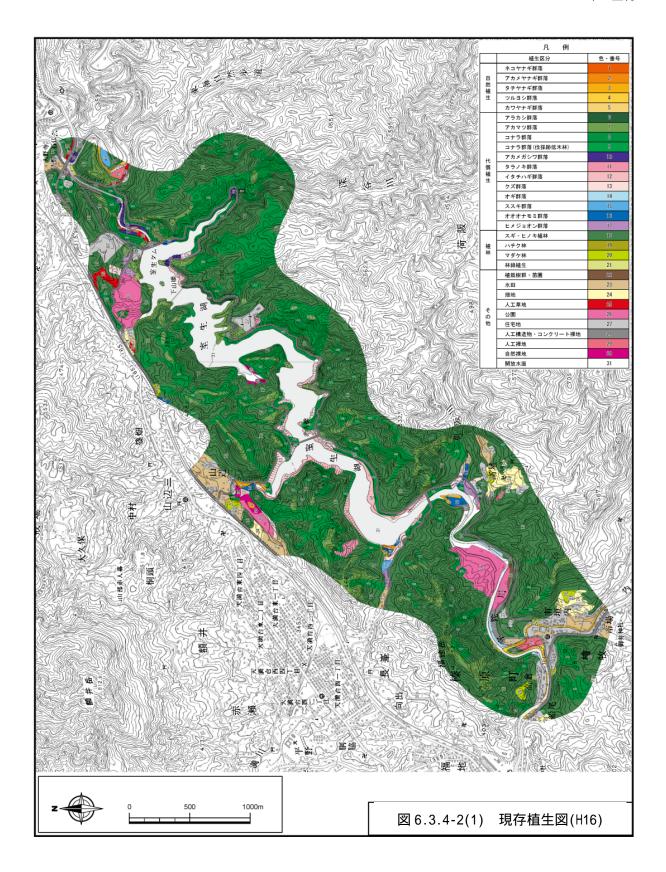
図 6.3.4-1 植生分布調査結果

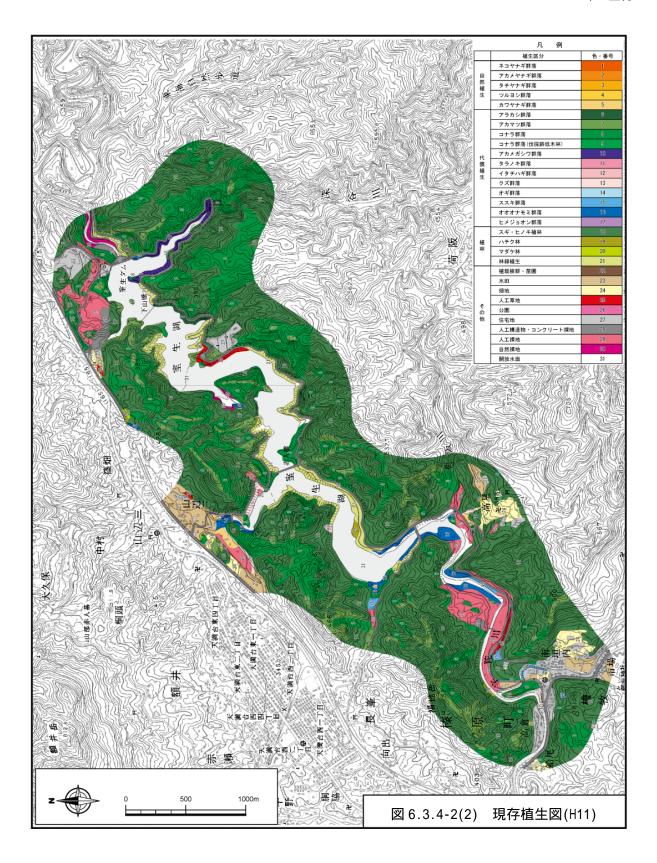
表 6.3.4-3 増加傾向にある区分の状況

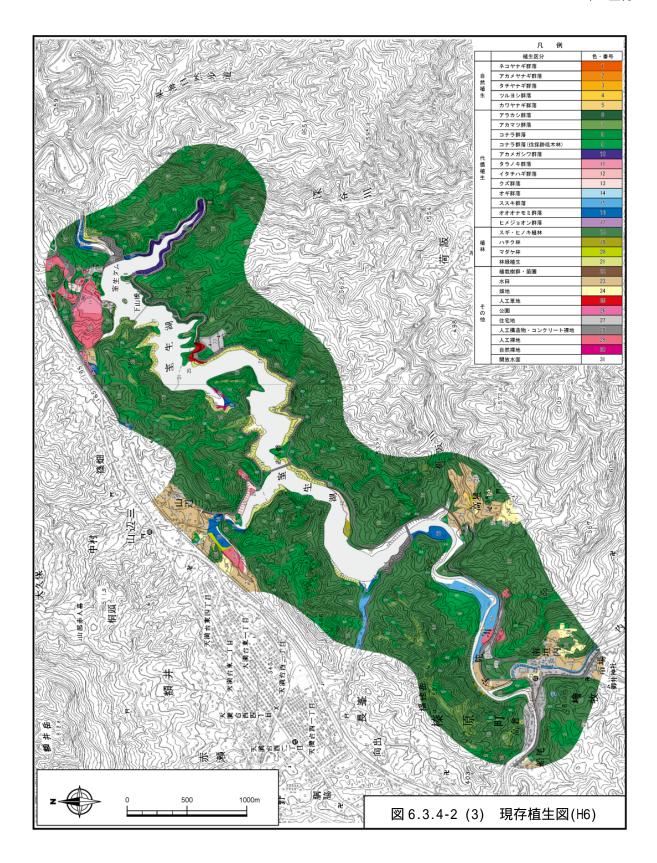
群落名	変化の程度	変化前の 主な群落	増加理由
アカマツ群落	H6 から 3.9%増加 H11 から 0.9%増加	コナラ群落	・特に尾根部で変化が顕著である。 ・尾根部は地形的に乾燥しやすいことから、混生していたコナラよりも乾燥に耐性のあるアカマツが次第に優占するようになった可能性があると考えられる。
		コナラ群落 (伐採後低木林)	・コナラに混生していたアカマツが、コナラよりも早く生長し、群落を形成した可能性があると考えられる。
公園	H6・H11 から 2.6% 増加	造成地・人工裸地	・流入河川となる宇陀川沿いにおいて、 平成 11 年度調査以降に公園整備を実施 しており、造成地・人工裸地とされて いた箇所が公園となっている。

表 6.3.4-4 減少傾向にある区分の状況

群落名	群落名 変化の程度 変化後の 主な群落		減少理由
スギ・ヒノキ植林	デ-ヒノキ植林 H6 から 3.5%減少 広葉樹群落 H11 から 2.5%減少		・手入れの行き届かなくなった植林地に コナラ等の広葉樹が進入している可能 性があると考えられる。
造成地・人工裸地	H6 から 1.2%減少 H11 から 3.2%減少	公園	・流入河川である宇陀川沿いにおいて、 平成 11 年度調査以降に公園整備を実施 しており、造成地・人工裸地とされて いた箇所が公園となっている。







#### (b)植物相

#### a)植物相の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された植物の科種数は 表 6.3.4-5、また その推移は図 6.3.4-2 に示すとおりである。

ダム湖周辺において確認された種は、平成6年度は123科617種、平成11年度は128科683種、平成16年度は134科801種であり、年々増加する傾向がみられている。また、新規に確認された種は、平成11年度ではダイモンジソウ、ミヤマウズラ、エゾノギシギシ、ヌマトラノオ、クロテンツキ、オオハンゴンソウ等の207種で、平成16年度についてはコイヌガラシ、ジガバチソウ、ヤマミゾソバ、ゴキヅル、ムラサキカタバミ、オオカワヂシャ等の192種である。

							調査	年度			合計		
		分	. ;	類	Н	6	H1	11	H	16		āΙ	
						種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
高等	高等植物			123	617	128	683	134	801	139	1016		
	シダ植物				18	59	18	74	21	99	21	118	
	種子	Z植物	J		105	558	110	609	113	702	118	898	
		裸子	P植物	1	5	7	4	6	4	6	5	9	
		被子	P植物	]	100	551	106	603	109	696	113	889	
			双子	<sup>2</sup> 葉植物	87	436	92	464	94	508	95	654	
				離弁花類	59	286	63	298	65	323	66	411	
				合弁花類	28	150	29	166	29	185	29	243	
			単子	<sup>2</sup> 葉植物	13	115	14	139	15	188	18	235	

表 6.3.4-5 経年分類群別確認種一覧:植物

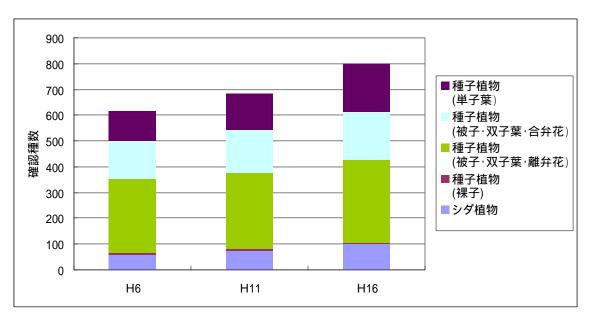


図 6.3.4-3 分類群別確認種数の推移:植物

#### b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された重要種の一覧は 表 6.3.4-6、またその推移は 図 6.3.4-4 に示すとおりである。

ダム湖周辺における重要種については、これまでの調査で 47 科 88 種が確認されている。このうち継続的に確認されている種は、ミヤコアオイ、イチヤクソウ、コバノミッパツツジ、イワタバコ、ショウジョウバカマ、シュンラン、オオバノトンボソウ等の 11 種である。

また、ヤハズアジサイ、チャルメルソウといった、襲速紀(そはやき)要素も含まれており、調査対象範囲を特徴づける重要種であると考えられる。なお、平成 11 年度については、重要種の確認種数が少ない状況にあるが、これは植物相の秋季調査が実施されていないために、秋季に開花するジンジソウ、ヌマダイコン、ギンリョウソウ等の種が確認されなかったことなどに起因している可能性があると考えられる。

### 襲速紀(そはやき)要素

・小泉源一の造語で九州山地一帯から豊予海峡を経て四国から紀伊半島にかけて分布してい る植物

		42 0.0.4 0(1)	<u>ит і</u>		<u> </u>	<b>=</b> 41	-				
No	科名	毎夕(和夕)			選足	定基準			Ē	周査年原	芰
	17 <del>1</del>	種名(和名)	1	2	3	4	5	6	Н6	H11	H16
1	イワヒバ	イワヒバ									
2	シノブ	シノブ									
3	シシラン	シシラン									
4	チャセンシダ	ホウビシダ						希少			
5		アオガネシダ						希少			
6	オシダ	ミドリカナワラビ					Α	危惧			
7		メヤブソテツ					準				
8		ミヤコヤブソテツ						希少			
9	ヒメシダ	イワハリガネワラビ						希少			
10	ウラボシ	イワヤナギシダ									
11	ニレ	コバノチョウセンエノキ					С				
12	イラクサ	ミヤコミズ				VU	準	注目			
13	キンポウゲ	ハンショウヅル						希少			
14		シロバナハンショウヅル					準	希少			
15		トウゴクサバノオ									
16	ウマノスズクサ	ホソバウマノスズクサ						希少			
17		ミヤコアオイ									
18	モウセンゴケ	モウセンゴケ						希少			
19	アブラナ	コイヌガラシ				NT	С	希少			
20	ユキノシタ	ヤハズアジサイ									
21		チャルメルソウ									
22		タコノアシ				NT	С	危惧			
23		ジンジソウ									

表 6.3.4-6(1) 経年確認種一覧:重要種

表 6.3.4-6 (2) 経年確認種一覧:重要種

No	<b>4</b> 11 <b>4</b> -	12 0.3.4-0 (2)		7年 100千		· 里安1 [基準			調査年度		
	科名	種名(和名)	1	2	3	4	5	6	Н6	H11	H16
24	ユキノシタ	ダイモンジソウ						希少			
25	バラ	エドヒガン						不足			
26		ヤマイバラ						希少			
27	マメ	ヒメノハギ					Α				
28		イタチササゲ					Α				
29	カタバミ	エゾタチカタバミ						希少			
30	フウロソウ	ヒメフウロ					С				
31	ニシキギ	サワダツ						希少			
32	ブドウ	ヤマブドウ						希少			
33	シナノキ	ヘラノキ					С				
34	ジンチョウゲ	コショウノキ						希少			
35	グミ	ナツグミ						不足			
36	スミレ	ナガバノスミレサイ シン						絶寸			
37		アケボノスミレ					٨	絶寸			
38	ウリ	ゴキヅル					A	希少			
39	<u>- ラッ</u> ミソハギ	ミズマツバ				VU	С	希少			
40	セリ	カノツメソウ				VU	準	希少			
41	イチヤクソウ	ギンリョウソウ					<del>'=</del>	サン			
42	17777	イチヤクソウ						希少			
43	ツツジ	コバノミツバツツジ						サン			
44	 リンドウ	リンドウ									
45	9217	センブリ									
46	ガガイモ	イケマ						危惧			
47	ムラサキ	サワルリソウ					準	危惧			
48	シソ	カワミドリ						危惧			
49		ミズトラノオ				VU	Α	7017			
50		マネキグサ				NT	準	希少			
51		ラショウモンカズラ						希少			
52		イヌゴマ						希少			
53	ゴマノハグサ	コシオガマ						危惧			
54		オオヒナノウスツボ						絶寸			
55		オオヒキヨモギ				VU	準	危惧			
56	キツネノマゴ	スズムシバナ					Α				
57	イワタバコ	イワタバコ									
58	キキョウ	バアソブ				VU	Α	不足			
59	キク	ヌマダイコン						希少			
60		オケラ					С	絶寸			
61	オモダカ	ヘラオモダカ						危惧			
62	ユリ	ショウジョウバカマ									
63		ノカンゾウ						希少			
64		イワギボウシ									
65		ササユリ						希少			
66		コオニユリ									
67		ホトトギス						危惧			
68		ヤマホトトギス						希少			
69	ミズアオイ	ミズアオイ				NT	Α	絶滅			
70	アヤメ	ヒオウギ						危惧			
71	ヒナノシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ					В	危惧			
72	イネ	コゴメカゼクサ					Α	絶寸			
73		コメガヤ					_	希少			
74		ウキシバ					С	危惧			

		18 0.5.4-0	(5)	がエート	上   心 1 王	元 -=	巨女性				
No.	科名	種名(和名)			選定	E基準			Ė	周査年原	茰
NO.	竹石	性石(和石)	1	2	3	4	5	6	H6	H11	H16
75	ガマ	コガマ					С	希少			
76	カヤツリグサ	ヤブスゲ					Α				
77		シロガヤツリ					Α	希少			
78		コアゼテンツキ					В				
79	ラン	シュンラン						危惧			
80		ツチアケビ						希少			
81		ミヤマウズラ						希少			
82		ムヨウラン						危惧			
83		ジガバチソウ					С	危惧			
84		クモキリソウ									
85		コクラン						希少			
86		オオバノトンボソウ						希少			
87		カヤラン						希少			
88		クモラン						希少			
	47 科 88 種		0種	0種	28 種	9種	30 種	60 種	47 種	26 種	50 種

表 6.3.4-6 (3) 経年確認種一覧:重要種

注)1.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:国立、国定公園指定植物 4:環境省 RL2007 5:改訂・近畿 RDB 6:奈良県 RDB

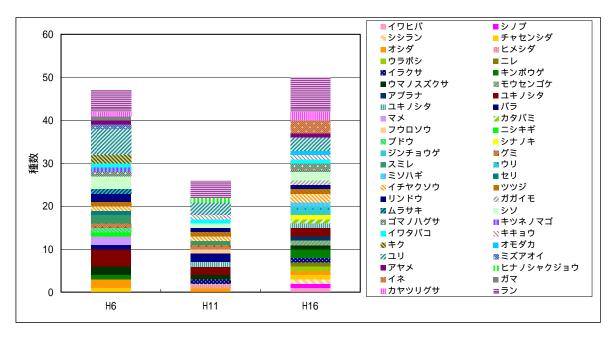


図 6.3.4-4 科別確認種数の推移:重要種

#### c)外来種の変化の整理

これまでの調査においてダム湖周辺で確認された外来種の一覧は 表 6.3.4-7 に、また その推移は 図 6.3.4-5 に示すとおりである。

ダム湖周辺における外来種については、これまでの調査で 27 科 91 種が確認されている。確認種数は年々増加傾向にあるが、外来種率は 8~9%程度で推移している。継続的に確認されている外来種としては、イタチハギ、シロツメクサ、アレチウリ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウ、カモガヤ等の 32 種である。このうちイタチハギ、ヒメジョオン、オオオナモミについては群落としても確認されており、生育個体数も多いと考えられる。なお、イタチハギ及びヒメジョオンの群落は平成 16 年度になって新たに確認されており、今後の拡大が懸念される。

また、特定外来種に該当する種としては、アレチウリ、オオカワヂシャ、オオハンゴンソウの3種であり、アレチウリについては継続的に確認されている。ただし、アレチウリについては、これまでの調査において群落としての確認はないことから、生育個体数は比較的少ないと考えられるが、状況によっては分布が拡大する可能性もあり、今後は注意が必要であると考えられる。

選定基準 調査年度 科名 No. 種名(和名) Н6 1 H11 H16 ミズワラビ ホウライシダ 1 タデ 2 ヒメスイバ アレチギシギシ 3 ナガバギシギシ 4 \_\_\_\_ エゾノギシギシ 5 要注意 ヤマゴボウ <u>\_\_\_\_</u> ヨウシュヤマゴボウ 6 クルマバザクロソウ 7 ザクロソウ ナデシコ オランダミミナグサ 8 コハコベ 9 アカザ 10 アカザ アリタソウ 11 ヒユ ホソバツルノゲイトウ 12 13 ホナガアオゲイトウ 14 アブラナ オランダガラシ 要注意 マメ 15 イタチハギ 要注意 16 アレチヌスビトハギ アメリカヌスビトハギ 17 コメツブウマゴヤシ 18 19 ハリエンジュ 要注意 コメツブツメクサ 20 ムラサキツメクサ 21 22 シロツメクサ 要注意 カタバミ 23 ムラサキカタバミ オッタチカタバミ 24 25 トウダイグサ オオニシキソウ

表 6.3.4-7(1) 経年確認種一覧:外来種

表 6.3.4-7 (2) 経年確認種一覧:外来種

No.   科名   種名(和名)   1   2   H6	調査年度 6 H11 H16
27     ナンキンハゼ       28     ニガキ     シンジュ       29     ウリ     アレチウリ     特定       30     アカバナ     メマツヨイグサ     要注意       31     オオマツヨイグサ       32     マツヨイグサ       33     キョウチクトウ     ツルニチニチソウ       34     アカネ     メリケンムグラ       35     ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36     マメアサガオ       37     ムラサキ     コンフリー       38     クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
28     二ガキ     シンジュ       29     ウリ     アレチウリ     特定       30     アカバナ     メマツヨイグサ     要注意       31     オオマツヨイグサ       32     マツヨイグサ       33     キョウチクトウ     ツルニチニチソウ       34     アカネ     メリケンムグラ       35     ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36     マメアサガオ       37     ムラサキ     コンフリー       38     クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
29 ウリ     アレチウリ     特定       30 アカバナ     メマツヨイグサ     要注意       31 オオマツヨイグサ     マツヨイグサ       32 マリヨイグサ     マッヨイグサ       33 キョウチクトウ     ツルニチニチソウ       34 アカネ     メリケンムグラ       35 ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36 マメアサガオ     コンフリー       38 クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
30     アカバナ     メマツヨイグサ     要注意       31     オオマツヨイグサ       32     マツヨイグサ       33     キョウチクトウ     ツルニチニチソウ       34     アカネ     メリケンムグラ       35     ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36     マメアサガオ       37     ムラサキ     コンフリー       38     クマツヅラ     ヤナギ八ナガサ	
31     オオマツヨイグサ       32     マツヨイグサ       33     キョウチクトウ     ツルニチニチソウ       34     アカネ     メリケンムグラ       35     ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36     マメアサガオ       37     ムラサキ     コンフリー       38     クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
32     マツヨイグサ       33     キョウチクトウ     ツルニチニチソウ       34     アカネ     メリケンムグラ       35     ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36     マメアサガオ       37     ムラサキ     コンフリー       38     クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
33     キョウチクトウ     ツルニチニチソウ       34     アカネ     メリケンムグラ       35     ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36     マメアサガオ       37     ムラサキ     コンフリー       38     クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
34     アカネ     メリケンムグラ       35     ヒルガオ     アメリカネナシカズラ     要注意       36     マメアサガオ       37     ムラサキ     コンフリー       38     クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
35 36ヒルガオアメリカネナシカズラ マメアサガオ要注意 マメアサガオ37 37 	
36     マメアサガオ       37 ムラサキ     コンフリー       38 クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
37 ムラサキ     コンフリー       38 クマツヅラ     ヤナギハナガサ	
38 クマツヅラ ヤナギハナガサ	
39   シソ	
40 ナス アメリカイヌホオズキ	
41 テリミノイヌホオズキ	
42 フジウツギ フサフジウツギ	
43 ゴマノハグサ マツバウンラン	
タケトアゼナ	
45 アメリカアゼナ	
46 オオカワヂシャ 特定	
47 タチイヌノフグリ	
48 オオイヌノフグリ	
49 キク ブタクサ 要注意	
50 オオブタクサ 要注意	
51 オオホウキギク	
52 ヒロハホウキギク	
53 ホウキギク	
54 アメリカセンダングサ 要注意	
55 アレチノギク	
56 オオアレチノギク 要注意	
57 ベニバナボロギク	
58 アメリカタカサブロウ	
59 ダンドボロギク	
60 ヒメムカシヨモギ 要注意	
61 ケナシヒメムカシヨモギ	
62 チチコグサモドキ	
63 ウスベニチチコグサ	
64   キクイモ   要注意	
65 オオハンゴンソウ 特定	
66 ノボロギク	
67 セイタカアワダチソウ 要注意	
68 オニノゲシ	
69 ヒメジョオン 要注意	
70 セイヨウタンポポ 要注意	
71 オオオナモミ 要注意	
72 ミズアオイ ホテイアオイ 要注意	
73 アヤメ キショウブ 要注意	
74 ニワゼキショウ	
75 ヒメヒオウギズイセン	
76 イネ コヌカグサ	

No.	科名	種名(和名)	選定	基準	•	ダム湖周辺	
NO.	77 T	作为(作为)	1	2	Н6	H11	H16
77	イネ	メリケンカルカヤ	要注意				
78		ヒメコバンソウ					
79		イヌムギ					
80		カモガヤ	要注意				
81		シナダレスズメガヤ	要注意				
82		オオニワホコリ					
83		コスズメガヤ					
84		オニウシノケグサ	要注意				
85		ネズミムギ	要注意				
86		オオクサキビ					
87		シマスズメノヒエ					
88		キシュウスズメノヒ エ	要注意				
89		モウソウチク					

28 種

91種

53 種

8.6%

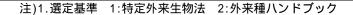
55 種

8.1%

65 種

8.1%

表 6.3.4-7 (3) 経年確認種一覧:外来種



ナガハグサ

27 科 91 種

ナギナタガヤ

外来種率(外来種種数/全種数)

90 91

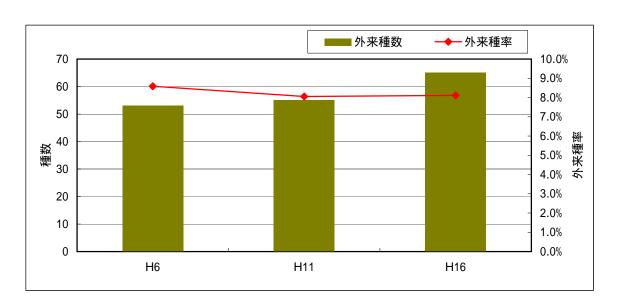


図 6.3.4-5 外来種数の推移:植物 (ダム湖周辺)

# 2)鳥類

ダム湖周辺における鳥類の調査は、これまでに計 4 回実施されている。このうち、平成 5 年度及び平成 9 年度調査については、調査範囲が区分されていないことから、全てダム 湖周辺で確認されたものとして整理を行った。

また、実施した調査年度によって、調査手法及び調査地点等が若干異なっていることから、変化の整理にあたっては、各年度の全調査日の累積確認数を比較し、その推移を整理することとした。なお、調査手法及び調査地点等の調査については、表 6.1.3-3 に示すとおりである。

表 6.3.4-8 調査内容一覧: 鳥類

				12 0.0	7.4-0	寸 見·	
	調査年度	芰		H5	Н9	H14	H18 · 19
	調査番号	号		2	6	12	18
		下流	可川	-	-	ラインセンサス(5-1)	スポットセンサス(淀室下 1)
		ダムネ	胡内	定点記録(P1~P3)	定点記録(P1~P3)	定点記録(P-1~P-3)	船上センサス(淀室湖 8)
調査		流入	可川	-	-	ラインセンサス(5-2)	スポットセンサス(淀室入 3)
地点	区分	ダム	湖周辺	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス (R-1~R-3) 夜間調査、移動中	ラインセンサス+定位記録法 (1,2,3,6) ラインセンサス(4-1,4-2) 左眼神本、おわれ	ラインセンサス+スポットセンサス (淀室周 1~淀室周 3) 定点センサス(淀室園 5)
						夜間調査、移動中	夜間調査、移動中
		調査数	数量	7.2km (2回×1~2日)	7.2km (2回×1日)	3.9km (2回×2~3日)	-
			春季	H5.5.28	(2回×1口) H9.5.8	H14.5.8~10	¥
ラインセ	ュンサス	調査	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.11	H14.6.13~14	-
		時期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.8	H14.10.8~9	-
		和	冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.27	H15.1.28、30	-
		調査数	数量	-	-	-	センサス 2.1km+スポット 9 地点 (スポット 1 箇所 10 分)
ラインt	ュンサス	÷ID	春季	-	-	-	H19.5.16~17
٠	+	調査	夏季	-	-	-	H18.6.22 ~ 23
スポット	センサス	時期	秋季	-	-	-	H18.10.12~13
		241	冬季		H19.1.30 ~ 31		
		調査数		-	_	_	9 地点(1 箇所 10 分)
			春季	-	-	_	H19.5.16~17
スポット	センサス	調 査 時	夏季		_	_	H18.6.22 ~ 23
VW 2 1.	XX71 E2 2X		秋季	<u> </u>	-	-	H18.10.12 ~ 13
		期	-	-	-	-	
			冬季	-	-	- 4. 2lm : 00 / \	H19.1.30 ~ 31
理接信件	1 * +_ 7- <b>p</b> ≐ग	調査			1.3km+80 分	-	
環境に応 ラインセ	した確認 ンサス法	調	春季	-	-	H14.5.8 ~ 10	-
+	+	直 時 期	夏季	-	-	H14.6.13 ~ 14	-
定位記	己録法	期	秋季	-	-	H14.10.8~9	-
		<u> </u>	冬季	-	-	H15.1.28、30	-
		調査数	数量	-	-	-	1 箇所 30 分
		調	春季	-	-	-	H19.5.16
定点セ	ンサス	首時	夏季	-	-	-	H18.6.22
		期	秋季	-	-	-	H18.10.13
		L	冬季	-	-	-	H19.1.30 ~ 31
		調査数	数量	1 箇所[30 分×3 回]	1箇所[30分×3回]	1箇所[30分×3回]	-
		調	春季	H5.5.28 ~ 29	H9.5.7	H14.5.8~10	-
定位記	己録法	調査時	夏季	H5.8.24 ~ 25	H9.6.12	H14.6.13~14	-
		期	秋季	H5.9.28 ~ 29	H9.10.9	H14.10.8~9	-
			冬季	H6.1.25 ~ 26	H10.1.26	H15.1.28~30	-
		調査数	数量	-	-	-	2人×1日(80~85分)
		≟⊞	春季	-	-	-	H19.5.16
船上セ	ンサス	調査	夏季	-	-	-	H18.6.22
		時期	秋季	-	-	-	H18.10.12
			冬季	-	-	-	H19.1.30
		調査数	ļ	2人×1日	2人×1日	2人×1日	3人×1日(180分)
			春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8 ~ 10	H19.5.15
夜	間	調査	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13~14	H18.6.23
以间		時期	秋季	H5.9	H9.10.9	H14.10.8 ~ 9	H18.10.10
		141	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28~30	H19.1.29
		調査数		3人×1日	3人×1日	2人×2日	2人×2日
			春季	H5.5	H9.5.7	H14.5.8~10	H19.5.16~17
移動中	の確認	調査	夏季	H5.8	H9.6.12	H14.6.13 ~ 14	H18.6.22 ~ 23
ا داه دا		時 ├	秋季	H5.9	Н9.10.9	H14.10.8~9	H18.10.12~13
		期	冬季	H6.1	H10.1.26	H15.1.28~30	H19.1.30 ~ 31
		1	<b>ミ子</b>	по. і	1110.1.20	1113.1.20~30	1113.1.30 ~ 31

## (a) 鳥類相の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された鳥類の一覧は表 6.3.4-9 に示すとおりである。

種類数をみると、平成5年度は62種であり、平成9年度に67種とわずかに増加するが、 その後減少傾向となっている。総個体数は、平成5年度の3,063個体から平成18・19年度 には456個体と大きく減少している。

また、ダム湖周辺の大半を占める陸域環境に着目すると、図 6.3.4-7~図 6.3.4-6 に示すとおり、鳥類相全体と同様に減少傾向がみられ、平成 18・19 年度の陸域を利用する種の個体数は、平成 5 年度の約 1/5 に減少している。陸域を利用する種の科数別にみると、タカ科、ハト科、キツツキ科、ウグイス科、エナガ科、シジュウカラ科、メジロ科、アトリ科、ホオジロ科、カラス科が継続して確認され、科の構成比は変わらずに個体数が減少している。また、カッコウ科は平成 18・19 年度では確認されておらず、フクロウ科、ヨタカ科、アマツバメ科、ツバメ科、ハタオリドリ科については、平成 5 年度から平成 9 年度のみの確認となっている。

なお、ダム湖周辺においては、部分的な植生の改変等はみられるものの、鳥類の生息が 大幅に減少するような要因はみられていないことから、平成5年度から平成18・19年度に おける個体数の減少は、調査手法等の違いによる可能性もあると考えられる。

表 6.3.4-9(1) 経年確認種一覧:鳥類

		衣 0.3.4		^^	調査	<u>年度</u>	
No.	目名	科名	種名(和名)	H5	H9		H18 • 19
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	6	1	1
2	ペリカン	ウ	カワウ	61	43	7	6
3	コウノトリ	サギ	ゴイサギ		2		
4			ササゴイ	1			
5			ダイサギ		21		
6			コサギ	5			
7			アオサギ	43	47	4	
8	カモ	カモ	オシドリ	24			
9			マガモ	30	40	10	6
10			カルガモ		24		2
11			コガモ	20		9	
12	タカ	タカ	ハチクマ		2		
13			トビ	27	41	3	2
14			オオタカ	1	1		
15			ハイタカ	2			
16			オオノスリ		2		
17			ノスリ	1			
18			サシバ	6	5		
19			クマタカ		7		
20	キジ	キジ	コジュケイ	8	5	1	1
21			キジ	4	4		
22			ヤマドリ	3			
23	チドリ	チドリ	コチドリ				1
24	ハト	ハト	キジバト	103	67	7	7
25			アオバト			2	1
26	カッコウ	カッコウ	カッコウ		1		
27			ツツドリ		1		
28			ホトトギス	1	8	1	
29	フクロウ	フクロウ	アオバズク		3		
30			フクロウ	1	2		
31	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ		4		
32	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	4	1		
33	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	6	21	3	
34			カワセミ	14	9	1	
35	キツツキ	キツツキ	アオゲラ	9	11	12	2
36			アカゲラ	5	2		
37			オオアカゲラ			5	
38			コゲラ	56	64	18	18
39	スズメ	ツバメ	ツバメ	22	21		
40			コシアカツバメ	14	15		
41		セキレイ	キセキレイ	17	23	2	3
42			ハクセキレイ	2	1		
43			セグロセキレイ	63	52	3	
44		1. = 1	ビンズイ	6	1		1
45		ヒヨドリ	ヒヨドリ	505	420	90	69
46		モズ	モズ	20	26	3	4
47		カワガラス	カワガラス	1	3	1	
48		ミソサザイ	ミソサザイ	1	2		1
49		イワヒバリ	カヤクグリ	<b>.</b>		1	
50		ツグミ	ルリビタキ	4	9		2
51			ジョウビタキ	4	7	1	
52		]	ノビタキ		3		

表 6.3.4-9 (2) 経年確認種一覧:鳥類

No.	目名	科名	種名(和名)		調査	年度	
110.	PP	11 🗆	1 = 1 (1 + 1)	H5	H9	H14	H18 • 19
53	スズメ	ツグミ	アカハラ			1	
54			シロハラ	20	6	3	
55			ツグミ	5	8	7	
56		ウグイス	ヤブサメ	7	15	7	1
57			ウグイス	236	186	37	23
58			メボソムシクイ		1		
59			センダイムシクイ	2		1	
60			キクイタダキ			3	
61		ヒタキ	キビタキ		1	3	3
62			オオルリ		10	4	6
63			コサメビタキ		2		4
64		カササギヒタキ	サンコウチョウ		2		1
65		エナガ	エナガ	398	141	78	86
66		シジュウカラ	コガラ	3	2		1
67			ヒガラ	1	9		11
68			ヤマガラ	68	89	26	33
69			シジュウカラ	145	105	54	26
70		メジロ	メジロ	125	79	49	41
71		ホオジロ	ホオジロ	179	216	25	11
72			カシラダカ	2	9		
73			ミヤマホオジロ	2	25	1	
74			アオジ	11	46	5	1
75			クロジ			1	
76		アトリ	アトリ	30			
77			カワラヒワ	65	56	9	1
78			ベニマシコ	1	9		
79			ウソ				6
80			イカル	57	20	26	6
81			シメ	1			
82		ハタオリドリ	スズメ	137	62		
83		ムクドリ	ムクドリ	1			
84		カラス	カケス	19	22	25	10
85			ハシボソガラス	334	84	2	17
86			ハシブトガラス	113	215	85	41
-			カラス属の一種		14		
				62 種	67 種	44 種	37 種
		15目33科86	6種	3063	2461	637	456
		細木口の用種物類制		個体	個体	個体	個体

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認数を示している。

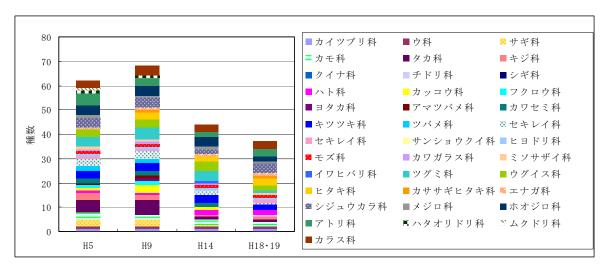


図 6.3.4-6 科別確認種数の推移:鳥類

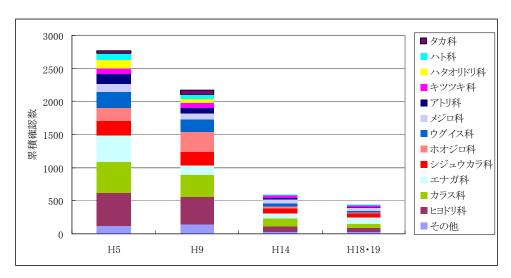


図 6.3.4-7 科別確認個体数の推移:陸域を利用する鳥類

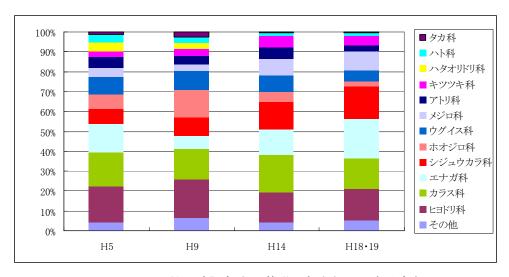


図 6.3.4-8 科別確認割合の推移:陸域を利用する鳥類

## (b) 重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された重要種の一覧は表 6.3.4-10、またその推移は図 6.3.4-9 に示すとおりである。

ダム湖周辺における重要種は、ゴイサギ、ササゴイ、オシドリ、コチドリ、ヤマセミ、カワガラス等、ダム湖や河川の水辺環境に生息する種や、アオゲラ、アオジ、イカル等の樹林性の種、さらにハチクマ、オオタカ、クマタカ等の大型の猛禽類等、計 41 種が確認されている。また、種数についてみると、平成 5 年度の 21 種から平成 9 年度の 27 種に増加した後は、減少する傾向がみられる。

なお、ダム湖周辺においては、部分的な植生の改変等はみられるものの、鳥類の生息が 大幅に減少するような要因はみられていないことから、平成 18・19 年度における個体数の 減少は、調査手法等の違いによる可能性もあると考えられる。

表 6.3.4-10(1) 経年確認種一覧:重要種

No.	科名	種名(和名)		j	選定基準	É			調査	年度	
NO.	杆石	俚石(和石)	1	2	3	4	5	Н5	Н9	H14	H18 • 19
1	サギ	ゴイサギ					注目		2		
2		ササゴイ				準絶	不足	1			
3	カモ	オシドリ			DD	準絶	注目	24			
4	タカ	ハチクマ			NT	危惧	危惧		2		
5		オオタカ		国内	NT		希少	1	1		
6		ハイタカ			NT		希少	2			
7		ノスリ					希少	1			
8		サシバ			VU	危惧	危惧	6	5		
9		クマタカ		国内	EN	準絶	危惧		7		
10	チドリ	コチドリ				準絶					1
11	ハト	アオバト				準絶	希少			2	1
12	カッコウ	カッコウ				準絶	希少		1		
13		ツツドリ				準絶	希少		1		
14		ホトトギス				準絶		1	8	1	
15	フクロウ	アオバズク				準絶	希少		3		
16		フクロウ				危惧	希少	1	2		
17	ヨタカ	ヨタカ			VU	準絶	危惧		4		
18	カワセミ	ヤマセミ					希少	6	21	3	
19	キツツキ	アオゲラ				準絶		9	11	12	2
20		アカゲラ				準絶	希少	5	2		
21		オオアカゲラ				準絶	希少			5	
22	セキレイ	ビンズイ					希少	6	1		1
23	カワガラス	カワガラス					希少	1	3	1	
24	イワヒバリ	カヤクグリ					危惧			1	
25	ツグミ	ルリビタキ					希少	4	9		2
26		アカハラ					希少			1	
27	ウグイス	メボソムシクイ				準絶	希少		1		
28		センダイムシクイ				準絶	希少	2		1	
29		キクイタダキ				準絶	危惧			3	
30	ヒタキ	キビタキ				準絶	希少		1	3	3
31		オオルリ				準絶			10	4	6
32		コサメビタキ				準絶	希少		2		4

		₹0.0.4	10 (2	, ,,		1	· <del>-</del> ×	1-			
No.	科名	種名(和名)		ì	異定基準	<b>≢</b>			調査	年度	
NO.	111	作出口(作中口)	1	2	3	4	5	H5	H9	H14	H18 • 19
33	サンコウチョ ウ	サンコウチョ ウ				準絶	希少		2		1
34	シジュウカ ラ	コガラ				準絶	希少	3	2		1
35	ホオジロ	ミヤマホオジ ロ				準絶	希少	2	25	1	
36		アオジ					準絶	11	46	5	1
37		クロジ				準絶	危惧			1	
38	アトリ	ベニマシコ				準絶		1	9		
39		ウソ				準絶					6
40		イカル					郷土	57	20	26	6
41		シメ				準絶		1			
								21 種	27 種	16 種	13 種
	20 科 41 種		0種	2種	7種	29 種	34 種	144	201	70	35
								個体	個体	個体	個体

表 6.3.4-10 (2) 経年確認種一覧:重要種

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認個体数を示す。

2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:近畿レッド 5:奈良県 RDB

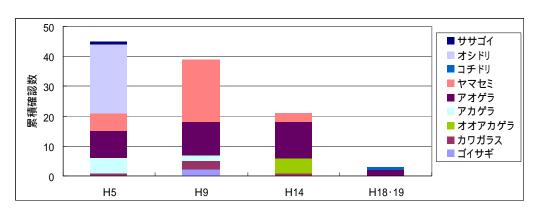


図 6.3.4-9 (1) 種別確認個体数の推移:重要種(水辺を利用する鳥類)

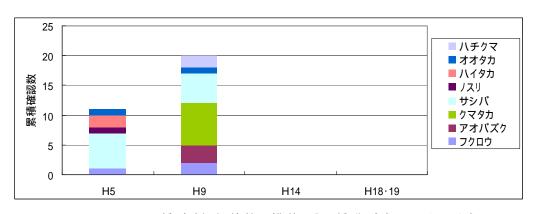


図 6.3.4-9 (2) 種別確認個体数の推移:重要種(猛禽類・フクロウ類)

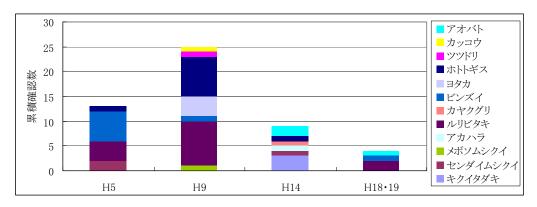


図 6.3.4-9 (3) 種別確認個体数の推移:重要種(陸域を利用する鳥類 1)

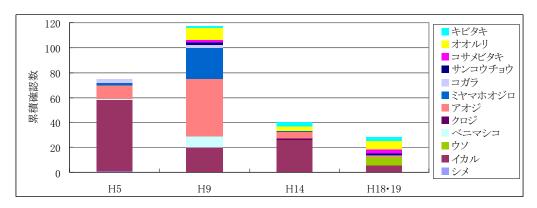


図 6.3.4-9(4) 種別確認個体数の推移:重要種(陸域を利用する鳥類2)

## (c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された鳥類の外来種の確認状況は、表 6.3.4-11 に示すとおりである。

ダム湖周辺では、鳥類の外来種ではコジュケイ1種が継続的に確認されている。

選定基準 調査年度 No. 科名 種名(和名) H18 • 19 1 H5 H9 H14 キジ コジュケイ 1 5 1 1種 0種 1種 1科1種 1種 1種 1種

表 6.3.4-11 経年確認種一覧:外来種

### 3)両生類・爬虫類・哺乳類

ダム湖周辺における両生類・爬虫類・哺乳類の調査は、これまでに計 3 回実施されている。このうち、平成 5 年度及び平成 10 年度調査では、「流入河川」・「下流河川」・「ダム湖周辺」等の区域の区別がされていないことから、「ダム湖周辺」のデータとして整理した。このほか、確認状況については、調査年度により確認地点数と確認個体数(確認痕跡数)が混在していたことから、確認地点数をデータとして扱った。

なお、各調査回ともに、春季・夏季・秋季・冬季(哺乳類を対照)の年 4 回実施している。 また、調査手法等は、フィールドサイン・目撃法やトラップ法を中心として、平成 10 年度 からは自動撮影法による調査が追加されている。各調査年度におけるダム湖周辺の調査数 量、及び調査時期の詳細については、表 6.3.4-12 に示すとおりである。

注)1.表中の数は、全調査日の累積確認個体数を示す。

<sup>2.</sup> 選定基準 1: 特定外来生物法 2: 外来種ハンドブック

表 6.3.4-12 調査内容一覧:両生類・爬虫類・哺乳類

	調査	年度			H5	H10	H15	
		番号			2	7	14	
			<b>充河</b>	Ш	-	-	5-1 河畔(流出河畔)	
			入河		-	-	5-2 河畔(流入河畔), その他(深谷川))	
地点	区分	ダム			フィールドサイン・目撃法, トラップ法:地点1~地点3	フィールドサイン・目撃法, カメカゴ(No1 ~ No.4) トラップ法(No1 ~ No4) 自動撮影法(No1 ~ No2)	1 スギ-ヒノキ群落,2 コナラ群落, 3 アカマツ群落,4-1 林縁部,4-2 林縁部, 6 沢筋,7-2 その他(荷阪川)	
			調	查数量	ルート延長:22.0km	ルート延長:26.0km	ルート延長:18.5km	
両生類	7/-	ールド		春季	H5.5.28 ~ 29	H10.5.14 ~ 16	H15.5.19~22	
爬虫類	サイ	ン法	調	_ ,	H5.8.24 ~ 26	H10.8.6~8	H15.8.4~6	
哺乳類	目	<b>逢法</b>	査時	秋季	H5.9.28 ~ 30	H10.10.12~14	H15.10.14~16	
			季	冬季	H6.1.25~26 (哺乳類調査のみ)	H11.1.21~22 (哺乳類調査のみ)	H16.1.20~22 (哺乳類調査のみ)	
			調	查数量	-	-	1 地点(20 個)	
			±⊞	春季	-	-	H15.5.19~22	
	墜落	<b>落缶</b>	調査	夏季	-	=	-	
			時	秋季	-	-	H15.10.14~16	
両生類			期	冬季	-	-	-	
爬虫類			調	查数量	-	3 地点(1 地点 1 個)	4 地点(1 地点 1 個)	
		*	±⊞	春季	-	H10.5.14~15	H15.5.19~22	
	カメト	カゴ ラップ)	調査時	夏季	-	H10.8.6~7	-	
	()) / 1	292)	一時	秋季	-	-	H15.10.14~16	
			期	冬季	-	-	-	
		투マ	調査数量		春 2 地点、 夏・秋・冬 3 地点 (1 地点 20 個)	3 地点(1 地点 30 個)	8 地点(1 地点 30 個)	
			-ラップ 調査時	-ラウス 調査	春季	H5.5.28 ~ 30	H10.5.14~16	H15.5.19~22
					夏季	H5.8.24 ~ 26	-	-
			時期	秋季	H5.9.28~30	H10.10.12~14	H15.10.14~16	
				冬季	H6.1.25~27	-	-	
	トラップ法調査		調	查数量	-	1 地点(5 対)	1 地点(春1個、秋9個)	
	ッ	トラップ	調	春季	-	-	H15.5.19 ~ 22	
	プ	ッグ	芦	夏季	-	-	-	
	法   調	プノ	調査時期	秋季	-	H10.10.13~14	H15.10.14~16	
哺乳類	査			冬季	= 0 + 1 h F	-	-	
		+	調査	查数量	春 2 地点、 夏・秋・冬 3 地点 (1 地点 1 個)	-	3 地点 1 地点(春 10 個、秋 5 個)	
		カ ゴ 罠	諨	春季	H5.5.28 ~ 30	-	H15.5.19 ~ 22	
		罠	調査時期	夏季	H5.8.24 ~ 26	-	-	
			時	秋季	H5.9.28 ~ 30	-	H15.10.14~16	
				冬季	H6.1.25 ~ 27	-	-	
		自	調	<b>查数量</b>	-	2 地点	3 地点	
	訓	目動撮影法	調	春季	-	-	H15.5.19~22	
	調査	/    -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -	調査時期	夏季	-	- U40 40 42 44	- U45 40 44 46	
		法	期	秋季	-	H10.10.13 ~ 14 H11.1.21 ~ 22	H15.10.14~16	
	そ(	 の他	<u>l</u>	<del>ジチ</del>	-	モリアオガエル補足調査 (H10.6.11) オオサンショウウオ夜間 調査 (H10.8.6~7、10.12、	-	
						H11.1.21)		

#### (a)両生類

#### a) 両生類相の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された両生類の一覧は 表 6.3.4-13 に示すとおりである。

確認種数の推移をみると、平成 5 年度は 5 科 11 種、平成 10 年度は 5 科 10 種、平成 15 年度は 5 科 10 種であり、大きな変化はみられない。

確認種についてみると、イモリ、ニホンヒキガエル、アマガエル、タゴガエル、トノサマガエル、ウシガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、カジカガエルの9種が継続的に確認されている。ただし、確認地点数については減少傾向となる種もみられている。具体的には、ダム湖周辺の水田、池や湿地等の水深の浅い止水環境を繁殖場所として利用している種群であるイモリ、ニホンヒキガエル、アマガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエルの8種である。これらの種のうち、平成5年度から平成10年度にかけて確認数の多いアマガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルの3種については、平成15年度には確認地点数が半数以下に減少している。これらの減少傾向にある種については、ダム湖周辺における住宅地等の造成、あるいは農地の区画整理に伴う乾田化等によって生息環境が減少している可能性があると考えられる。

一方、流水環境を主な生息場所とするタゴガエルやカジカガエルについては、平成 12 年度に若干減少する傾向はみられるが、平成 15 年度には増加に転じており、特にタゴガエルについては、確認数が倍増する結果となっている。なお、確認地点が増加したタゴガエルや、大きな変化がみられなかったカジカガエルといった種の繁殖環境は沢や流水中であり、成体の生息環境は谷や河川の水場と連続性を保つ樹林地周辺である。それらの種の確認地点は山間部が連続的に広がり、沢や流入河川が多い右岸側での確認が多い傾向にあった。

調査年度 No. 目名 科名 種名(和名) H5 H10 H15 イモリ サンショウウオ イモリ 4 10 6 \_\_\_\_ ニホンヒキガエル 2 カエル ヒキガエル 2 アマガエル アマガエル 3 19 17 8 4 アカガエル タゴガエル 14 12 24 5 ヤマアカガエル 1 1 トノサマガエル 6 23 25 5 ヌマガエル 7 3 1 ウシガエル 5 8 13 5 ツチガエル 9 1 1 1 アオガエル シュレーゲルアオガエル 10 15 14 5 カジカガエル 4 11 5 1 2目5科11種 11 種 10 種 10種

表 6.3.4-13 経年確認種一覧:両生類

注)1.表中の数字は、確認地点数を示す。

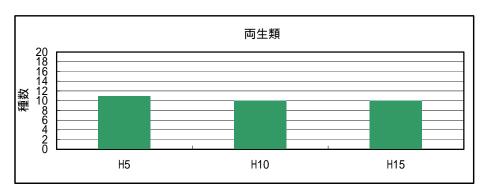


図 6.3.4-11 種数の推移:両生類

また、両生類は産卵場所、あるいは幼生の生息場所が水域となることから、表 6.3.4-14 に示すとおり、生活史のステージ段階別による確認状況の整理を行った。その結果、平成 15 年度では全ての種で、卵は確認されず、幼生が確認された種はアマガエルのみであった。また、幼体が確認された種はニホンヒキガエル、アマガエル、タゴガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、シュレーゲルアオガエルであった。このほか、カジカガエルは過年度調査を含め、卵、幼生、幼体は確認されていない。

このほか、ダム湖周辺で確認されている両生類のうち、ダム湖内にみられるような止水域を繁殖・生息環境として利用する種は、外来種であるウシガエルに限られるが、ウシガエルの確認地点数は平成5年度以後の調査では半分以下となっている。

									確認	內容	!							
No.	種名(和名)	田撃			鳴声		卵塊		幼生		E 幼		)体 成体		その他	合計		
		H5	H5	H10	H15	Н5	H10	H15	Н5	H10	H10	H15	H10	H15	H10	H15	H5	
1	イモリ	4					1	5			1				8	1		20
2	ニホンヒキガエル	1				1					1		1	2				6
3	アマガエル	4	14	11	4						2	1	4	1		2	1	44
4	タゴガエル	11	3		3								6	14	6	7		50
5	ヤマアカガエル	1											1					2
6	トノサマガエル	21								2	1		12	2	10	3	2	53
7	ヌマガエル	3												1				4
8	ウシガエル	7	6	1	4						1		1		2	1		23
9	ツチガエル	1			1								1					3
10	シュレーゲルアオガエル	4	8	6	4				1	1	4		1	1	2		2	34
11	カジカガエル	2	3	1	4										·	, and the second		10

表 6.3.4-14 確認内容一覧: 両生類

注)1.表中の数字は確認地点数を示す。

#### b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された両生類の重要種は 表 6.3.4-15 に示すとおりである。

ダム湖周辺における重要種は、イモリ、ニホンヒキガエルが各年度ともに確認されている。このうち、イモリは平成 10 年度に確認地点数が増加しているが、平成 15 年度には減少し、平成 5 年度と同等程度になっている。また、ニホンヒキガエルは、確認地点数は少ないものの、継続的に確認されている。

選定基準 調査年度 科名 No. 種名(和名) 1 2 4 H5 H10 H15 イモリ イモリ NT 4 10 6 1 2 ヒキガエル ニホンヒキガエル 2 危惧 2 2 2科2種 0種 0種 1種 2種 2種 2種 1種

表 6.3.4-15 経年確認種一覧:重要種

#### c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された両生類の外来種は 表 6.3.4-16 に示すとおりである。

ダム湖周辺における外来種は、ウシガエルが各年度ともに確認されている。ただし、 ウシガエルの確認地点数については、平成5年度から平成10年度にかけて減少し、以降 横ばいの状態となっている。

No.	科名	種名(和名)	選定	基準	調査年度				
NO.	0. 1715		1	2	H5	H10	H15		
1	カエル	ウシガエル	特定		13	5	5		
	1 科	1種	1種	1種	1種	1種	1種		

表 6.3.4-16 経年確認種一覧:外来種

注)1.表中の数は、確認地点数を示す。

#### (b)爬虫類

## a) 爬虫類相の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された爬虫類の一覧は 表 6.3.4-17 に示すとおりである。

確認種数の推移をみると、平成5年度は5科12種、平成10年度は5科10種、平成15年度は5科10種であり、大きな変化はみられない。また、確認種についてみると、クサガメ、ミシシッピアカミミガメ、トカゲ、カナヘビ、シマヘビ、ジムグリ、アオダイショウ、ヤマカガシの8種が継続的に確認されている。なお、継続確認されていない、イシガメ、ヒバカリ、マムシの3種については、確認されている年度でも3個所以下の確認地点数であり、当該地域周辺における生息個体数は少ないものと考えられる。

注)1.表中の数は、確認地点数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2006 4:奈良県 RDB

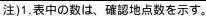
<sup>2.</sup> 選定基準 1: 特定外来生物法 2: 外来種ハンドブック

また、確認地点数に着目すると、増加傾向にあるのは、クサガメ、ミシシッピアカミミガメの2種である。これらの種は、止水域や緩やかな流水域を好む種であることから、ダム湖内及びダム湖周辺にみられる止水的な環境を生息場所として安定的に利用しているものと考えられる。また、イシガメは、確認地点数は少ないものの、比較的流れの速い流水域に適応していることから、山間部やその周辺の河川を中心に生息しているものと考えられる。

なお、このほかの種については、平成 10 年度のみ確認地点数が少ないものや、平成 5 年度から平成 10 年度にかけて減少するもの、平成 10 年度から平成 15 年度にかけて減少するもの、あるいは概ね同数で維持するものなど様々であり、一定の傾向はみられない状況にある。

No	目名	科名	種名(和名)	訂	周査年度	
	П	771	程中(和中)	H5	H10	H15
1	カメ	イシガメ	クサガメ	1	4	6
2			ミシシッピアカミミガメ	4	3	10
3			イシガメ	1		3
4	トカゲ	トカゲ	トカゲ	16	18	9
5		カナヘビ	カナヘビ	41	14	29
6		ヘビ	シマヘビ	12	6	15
7			ジムグリ	2	2	3
8			アオダイショウ	1	3	1
9			シロマダラ	1		2
10			ヒバカリ	6	1	
11			ヤマカガシ	16	6	7
12		クサリヘビ	マムシ	2	2	
		2目5利	斗 12 種	12 種	10種	10種

表 6.3.4-17 経年確認種一覧: 爬虫類



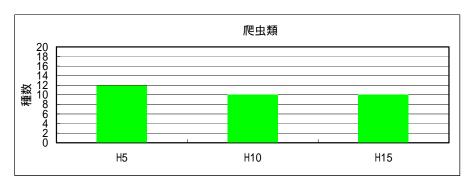


図 6.3.4-12 種数の推移:爬虫類

## b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された重要種は 表 6.3.4-18 に示すとおりである。

ダム湖周辺における重要種は、イシガメ、ジムグリ、アオダイショウ、シロマダラ、ヒバカリ、ヤマカガシ、マムシが確認されており、このうち継続的に確認されている種は、ジムグリ、アオダイショウ、ヤマカガシの3種である。なお、イシガメ及びシロマダラは平成10年度、ヒバカリ及びマムシは平成15年度で確認されていない。

	次 0.011 10 加工   REBUIL											
No	科名	種名(和名)		選定	基準		調査年度					
	1111	1里口(14口)	1	2	3	4	H5	H10	H15			
1	イシガメ	イシガメ			DD	危惧	1		3			
2	ヘビ	ジムグリ				不足	2	2	3			
3		アオダイショウ				希少	1	3	1			
4		シロマダラ				不足	1		2			
5		ヒバカリ				不足	6	1				
6		ヤマカガシ				希少	16	6	7			
7	クサリヘビ	マムシ				希少	2	2	-			
	3科:	7種	0種	0種	1種	7種	7種	5種	5種			

表 6.3.4-18 経年確認種一覧:重要種

## c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された外来種は 表 6.3.4-19 に示すとおりである。

ダム湖周辺における外来種は、ミシシッピアカミミガメが各年度ともに確認されており、かつ、確認地点は増加傾向にある。本種は、止水域や緩やかな流水域を好む種であることから、ダム湖内及びダム湖周辺にみられる止水的な環境を生息場所として安定的に利用しているものと考えられる。

No.	科名	種名(和名)	選定	基準	調査年度			
NO.	11111	作里口(作中口)	1	2	H5	H10	H15	
1	イシガメ	ミシシッピアカミミ ガメ						
	1科1種			1種	1種	1種	1種	

表 6.3.4-19 経年確認種一覧:外来種

注)1.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

#### (c)哺乳類

#### a) 哺乳類相の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された哺乳類の一覧は 表 6.3.4-20 に示すとおりである。

確認種数の推移をみると、平成 5 年度は 8 科 11 種、平成 10 年度は 11 科 17 種、平成 15 年度は 9 科 18 種であり、平成 5 年度から平成 10 年度にかけては増加傾向にあり、以

注)1.表中の数は、確認地点数を示す。

<sup>2.</sup>選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2006 4:奈良県 RDB

降、平成15年度にかけては概ね横ばい傾向にある。

確認種についてみると、主な確認種はヒミズ、モグラ属、ノウサギ、ムササビ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、テン、イタチ属、イノシシ、ホンドジカ等であり、これらの種は平成5年度以降、継続的に確認されている。また、平成10年度に、新たに確認された種は、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリ、ニホンザル、ニホンリス、カヤネズミの6種、平成15年度に新たに確認された種はテングコウモリ、ヒメネズミ、アナグマの3種である。なお、平成15年度では、平成10年度に確認されていたキクガシラコウモリ、ニホンザルが確認されていない。

確認地点数については、平成 15 年度に確認された多くの種で、過年度と比較すると確認地点の増加がみられた。ただし、痕跡による確認は、踏査する環境や痕跡の残りやすさ等に大きく左右されやすいことから、一概に生息する哺乳類が増加したと判断することは出来ないものと考えられる。

なお、コウモリ類は深谷川の導水路内、及びその周辺での確認であり、コウモリ類にとって導水路内は重要な休息場所になっていることがうかがえる結果となっている。また、カヤネズミは平成 10 年度の 6 地点から平成 15 年の 3 地点と確認地点数が減少しており、かつ、平成 15 年度のカヤネズミの確認地点は新たな地点であった。

No.	目名	科名	種名(和名)		調査年度	
NO.	日白	<u>የተከ</u>	作里台(作品)	H5	H10	H15
1	モグラ	モグラ	ヒミズ	2	3	6
2			モグラ属	7	22	34
3	コウモリ	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ		1	
4		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ		2(11)	4(142)
5			ユビナガコウモリ		1	1
6			テングコウモリ			1
-			ヒナコウモリ科		1	
7	サル	オナガザル	ニホンザル		5	
8	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	15	23	67
9	ネズミ	リス	ニホンリス		38	72
10			ムササビ	1	6	1
11		ネズミ	アカネズミ	8	2	2
12			ヒメネズミ			4
13			カヤネズミ		6	3
-			ネズミ科			4
14	ネコ	イヌ	タヌキ	22	14(15)	15
15			キツネ	1	5	3
16		イタチ	テン	66	33	53
17			イタチ属	98	91	28
18			アナグマ			1
19	ウシ	イノシシ	イノシシ	2	9	11
20		シカ	ホンドジカ	43	44	95
	<del></del>	7目11科20種		11 種	17種	18 種

表 6.3.4-20 経年確認種一覧:哺乳類

注)1.表中の数は、確認地点数を示す。括弧内は目撃、捕獲の場合の個体数を示す。 2.種名に「・・・属」「・・・科」とあるもので、他の種と重複する可能性がある 場合は、種数の合計から除外した。

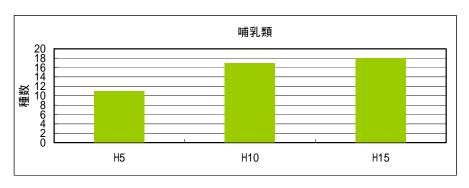


図 6.3.4-13 種数の推移:哺乳類

### b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された重要種の確認状況は 表 6.3.4-21 に示すとおりである。

ダム湖周辺における重要種は、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリ、テングコウモリ、カヤネズミの 5 種が確認されているが、これらの種はすべて平成 10 年度以降の確認種である。

確認された重要種のうち、コウモリ類は深谷川の導水路内及びその周辺での確認である。なお、キクガシラコウモリを除く、他のコウモリ類は導水路内で確認されており、本来であれは樹洞を主な休息場所とするテングコウモリの利用も確認されている。なお、個体数に変動はあるものの、通年を通して確認されていることから、人工構造物である導水路がコウモリ類にとって良好な休息場所となっていると考えられる。

カヤネズミは、平成 10 年度の確認地点数が 6 地点であったのに対して、平成 15 年度では 3 地点と減少する傾向がみられている。また、平成 15 年度の確認地点は、新たな地点であったことを勘案すると、高茎草本群落を比較的限定的に利用する本種にとって、良好な環境がダム湖周辺に残存、形成されているものと考えられる。

N			選定基準			調査年度			
0	科名	種名(和名)	1	2	3	4	H5	H10	H15
1	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ				希少		1	
2	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ				希少		2(11)	4(142)
3		ユビナガコウモリ				希少		1	1
4		テングコウモリ			VU	危惧			1
5	ネズミ	カヤネズミ				希少		6	3
3科5種			0種	0種	1種	5種	0種	4種	4種

表 6.3.4-21 経年確認種一覧:重要種

注)1.表中の数は、確認地点数を示す。括弧内は目撃、捕獲の場合の個体数を示す。 2.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

#### c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺では外来種は確認されていない。

## 4) 陸上昆虫類等

ダム湖周辺における陸上昆虫類等の調査は、これまでに計 3 回実施されている。このうち、平成 6 年度及び平成 10 年度調査では、「流入河川」・「下流河川」・「ダム湖周辺」等の区域の区別がされていないことから、「ダム湖周辺」のデータとして整理した。

なお、各調査回ともに、春季・夏季・秋季の年3回実施している。また、調査手法等は、 任意採集法、ピットフォールトラップ、ライトトラップを実施しているが、トラップ調査 については、経年とともに調査地点数が増加している。各調査年度におけるダム湖周辺の 調査数量、及び調査時期の詳細については、表6.3.4-22に示すとおりである。

表 6.3.4-22 調査内容一覧: 陸上昆虫類等

	調査年	F度		H6	H10	H15	
調査番号				3	7	13	
		下流河	Ш	-	-	5-1 河畔(流出河畔)	
		流入河	Ш	-	-	5-2 河畔(流入河畔)	
調査地点	区分	ダム湖周辺		任意採集(R-1~R-3) トラップ(B-1~B4,L-1~L-3)	任意採集(R-1~R-3) トラップ(B-1~B4,L-1~L-3)	1 スギ-ヒノキ群落, 2 コナラ群落, 3 アカマツ群落, 4-1 林縁部,4-2 林縁部, 6 沢筋,その他(荷阪川)	
		調査数	量	3ルート	3ルート	8ルート	
   任意採集	Ē.		春季	H6.5.25	H10.5.11 ~ 14	H15.5.19~22	
上心]小才	ς	調査時期	夏季	H6.7.15	H10.7.28 ~ 31	H15.7.28~31	
			秋季	H6.10.6	H10.10.6~9	H15.10.7~9	
		調査数量		4 地点 (ビニールコップ 120 個)	3 地点 (ビニールコップ 90 個)	8 地点 (ビニールコップ 240 個)	
ピットフォ トラップ				H6.5.22 ~ 25	H10.5.11 ~ 14	H15.5.19~22	
FJ97	,	調査時期	夏季	H6.7.14~17	H10.7.28 ~ 31	H15.7.28~31	
			秋季	H6.10.5~8	H10.10.6~9	H15.10.6~9	
		調査数量		3 地点(ボックス法 3 個)	3 地点 (カーテン法 3 個、 ボックス法 3 個)	8 地点 (カーテン法夏のみ 1 個、 ボックス法 8 個)	
ライトトラ	ップ		春季	H6.5.22 ~ 24	H10.5.11 ~ 14	H15.5.19~22	
		調査時期	夏季	H6.7.14~16	H10.7.28 ~ 31	H15.7.28~31	
			秋季	H6.10.5~7	H10.10.6~9	H15.10.6~9	
	その他			-	ゲンジボタル補足調査 H10.6.11~12	ライトトラップ(カーテン法) は夏季調査のみ1地点実施。 任意採集は既定8ルートのほ か範囲全域を対象とした調査 を毎回実施	

## (a)陸上昆虫類相の変化の整理

ダム湖周辺で確認された陸上昆虫類等の分類群別種数は表 6.3.4-23、またその推移は図 6.3.4-14~図 6.3.4-16 に示すとおりである。

ダム湖周辺にみられる環境は、スギ・ヒノキ植林が最も広く、次いでコナラ群落となっており、調査対象範囲の約70%が樹林で覆われている。このほか、斜面上部や尾根部周辺にみられるアカマツ林やダム湖岸付近にみられる低茎草地、外周道路沿いの法面に生育するクズ群落、農耕地等が昆虫類の生息環境としてあげられる。

確認された陸上昆虫類等の多くはダム湖周辺の樹林地、草地、農耕地等における確認であった。なお、調査年度ごとで確認種、種構成に多少の変動はみられるものの、大きな変化の傾向は確認されていない。

表 6.3.4-23 経年目別科種数表:陸上昆虫類相

			調査	年度			<u></u>	÷⊥
目名	H6		H10		H15		百	計
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
クモ	26	126	20	121	23	129	30	229
トビムシ	5	7	7	9	9	11	10	17
カマアシムシ	1	1					1	1
コムシ	1	1					1	1
イシノミ	1	1			1	1	1	1
カゲロウ	5	7	6	7	6	6	8	12
トンボ	5	16	9	22	7	20	9	28
ゴキブリ	2	2	3	3	2	2	3	3
カマキリ	1	2	2	4	1	2	2	5
シロアリ			1	1	1	1	1	1
ハサミムシ	1	1	2	2	3	3	3	4
カワゲラ	2	5	3	3	4	5	6	10
バッタ	8	38	8	40	10	52	11	72
ナナフシ			1	1	1	2	1	2
チャタテムシ			1	1	8	11	8	11
カメムシ	32	148	36	136	38	149	44	269
アザミウマ			1	1	2	2	3	3
アミメカゲロウ	8	15	5	7	7	10	11	25
シリアゲムシ	1	1	1	2	2	3	2	3
トビケラ	16	27	14	20	20	25	21	37
チョウ	39	397	38	376	47	481	58	805
ハエ	39	130	47	165	44	99	60	267
コウチュウ	42	323	46	288	62	414	65	730
ハチ	18	99	21	110	36	111	37	208
24目396科2744種	253 科	1347種	272 科	1319種	334 科	1539種	396 科	2744種

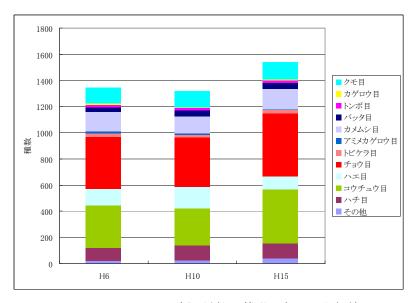


図 6.3.4-13 目別確認種数の推移:陸上昆虫類等

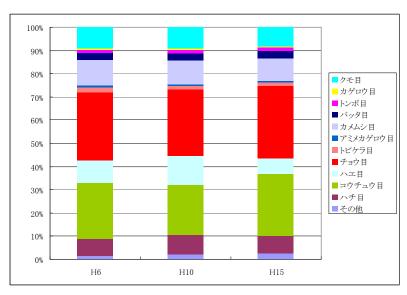


図 6.3.4-14 目別確認割合の推移:陸上昆虫類等

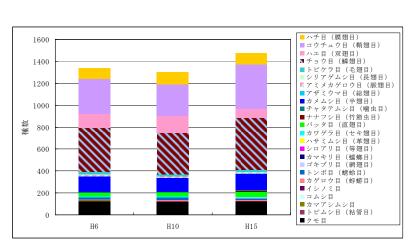


図 6.3.4-15 種数の推移:陸上昆虫類等

#### (b)重要種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された重要種の一覧は 表 6.3.4-24 に示すとおりである。

ダム湖周辺における重要種については、オグマサナエ、カワラバッタ、オオウラギンス ジヒョウモン、オオセンチコガネ等の 25 科 30 種の重要種が確認されている。

重要種の確認状況の推移をみると、種数では平成6年度の15種から平成10年度には11種に減少し、平成15年度には14種に再び増加している。なお、これらの重要種のなかで、コバントビケラ及びクロツツトビケラ、オオセンチコガネの3種は継続して確認されており、ダム湖周辺においては安定して生息しているもの考えられる。

表 6.3.4-24 経年確認種一覧:重要種

No	科名	種名(和名)		選定	基準		調査年度		
	1111	(1911)	1	2	3	4	H6	H10	H15
1	ミズグモ	ミズグモ			VU				
2	サナエトンボ	オグマサナエ			VU				
3	ムカシヤンマ	ムカシヤンマ				希少			
4	トンボ	ネキトンボ				希少			
5	コオロギ	カワラスズ				不足			
6	バッタ	カワラバッタ				希少			
7		ダイリフキバッタ				希少			
8	ハナカメムシ	ズイムシハナカメムシ			VU				
9	コオイムシ	コオイムシ			NT	希少			
10	シリアゲムシ	プライヤシリアゲ				注目			
11	アシエダトビケラ	コバントビケラ				希少			
12	フトヒゲトビケラ	フタスジキソトビケラ				希少			
13	クロツツトビケラ	クロツツトビケラ				希少			
14	シジミチョウ	シルビアシジミ本土亜 種			CR+EN	絶寸			
15	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモ ン			NT	希少			
40		オオウラギンスジヒョ				× //\			
16		ウモン				希少			
17		メスグロヒョウモン				希少			
18		クモガタヒョウモン				希少			
19	ヤガ	シロシタバ				希少			
20	オサムシ	アオヘリアオゴミムシ			CR+EN				
21		スナハラゴミムシ			NT				
22	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ			NT	危惧			
23	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズム シ			NT				
24	シデムシ	ヤマトモンシデムシ			NT				
25	センチコガネ	オオセンチコガネ				郷土			
26	コガネムシ	マルエンマコガネ				危惧			
27	タマムシ	ヤマトタマムシ				郷土			
28	ホタル	ゲンジボタル				郷土			
29	カミキリムシ	ヨツボシカミキリ			VU				
30	ベッコウバチ	アケボノベッコウ			DD				
	25 科 30 種			0種	12種	20種	15 種	11 種	14 種

注)1.選定基準 1:天然記念物 2:種の保存法 3:環境省 RL2007 4:奈良県 RDB

#### (c)外来種の変化の整理

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認された外来種の確認状況は 表 6.3.4-25、またその推移は 図 6.3.4-17 に示すとおりである。

ダム湖周辺における外来種については、カンタン、モンシロチョウ、シロテンハナムグ リ、ブタクサハムシ等の 23 種が確認されている。

外来種の確認状況の推移をみると、種数では平成6年度の8種から平成10年度には11種、平成15年度には13種と徐々に増加する傾向がみられている。また、外来種率からみた場合は、平成6年度の0.59%から平成10年度には0.83%に増加し、平成15年度には0.84%と概ね横ばいであった。なお、これらの外来種のなかで、カンタン及びとモンシロチョウ、キイロショウジョウバエの3種は継続して確認されており、ダム湖周辺においては既に定着していると考えられる。

選定基準 調査年度 No 科名 種名(和名) 1 2 Н6 H10 H15 1 コオロギ カンタン 2 ヒロズコガ コクガ 3 ハマキガ ナシヒメシンクイ 4 シロチョウ モンシロチョウ 5 ツトガ シバツトガ 6 メイガ チャマダラメイガ 7 チョウバエ ホシチョウバエ 8 ニセケバエ ナガサキニセケバエ キイロショウジョウ 9 | ショウジョウバエ バエ 10 コガネムシ シロテンハナムグリ 11 シバンムシ タバコシバンムシ ケヤキヒラタキクイ 12 ナガシンクイムシ ムシ 13 テントウムシ クモガタテントウ 14 キスイムシ ウスバキスイ 15 ケシキスイ ウスチャデオキスイ 16 クリイロデオキスイ フタトゲホソヒラタ 17 ホソヒラタムシ ムシ 18 ゴミムシダマシ ヒメゴミムシダマシ ツシマムナクボカミ 19 カミキリムシ キリ 20 ラミーカミキリ 21 ハムシ アズキマメゾウムシ ブタクサハムシ 23 ゾウムシ イネミズゾウムシ 20 科 23 種 0種 23 種 8種 11種 13種 外来種率(外来種種数/全種数) 0.59% 0.83% 0.84%

表 6.3.4-25 経年確認種一覧:外来種

注)1.選定基準 1:特定外来生物法 2:外来種ハンドブック

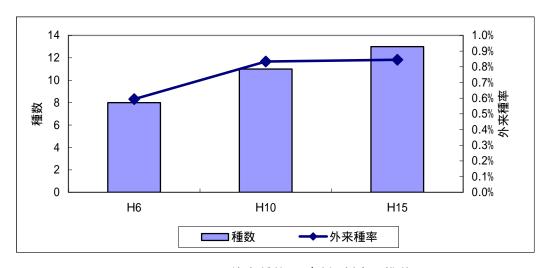


図 6.3.4-17 外来種数及び確認割合の推移

## (2)ダムによる影響の整理

ダムの存在・供用に伴って、室生ダムの流入河川に生じる環境条件の変化により、流入河川に生息する多様な生物の生息・生育環境に影響を及ぼすものと想定される。

そこで、室生ダム流入河川における環境条件の変化、またそれにより生じる生物の生息・ 生育状況の変化を 図 6.3.4-18 のとおり整理し、生物の生息・生育状況の変化の検証を行っ た。

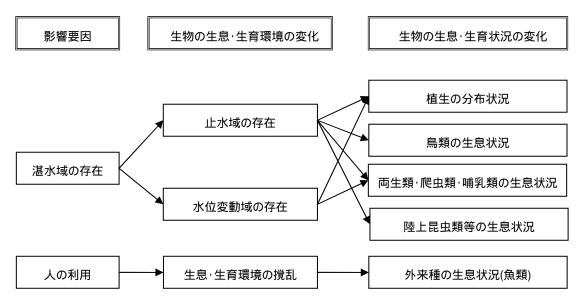


図 6.3.4-18 生物の生息・生育状況の変化と影響要因

- 1)ダム湖周辺の生物の生息・生育状況の変化の整理結果
  - (a)植物の生育状況の変化の整理結果

植物の生育状況の変化の整理結果を表 6.3.4-26 に示す。

	天 6.3.4-26 タム湖	周辺における植物の生育状況の変化の整理結果
	検討項目	変化の状況
植物相の 変化 生育状況 の変化	種数  ダム湖周辺における 植生分布の変化  ダム湖周辺に生育す る植物の状況  重要種の状況	・確認種数については、平成6年度は617種であったが、経年とともに増加し、平成16年度では801種となっている。 ・大きく変化しているものは、アカマツ群落及び公園用地の増加、スギ・ヒノキ植林及び造成地・人工裸地の減少があげられる。・平成16年度に、新たに外来種であるイタチハギ群落が確認されている。 ・在来種、外来種とも増加傾向にある。 ・平成6年度では47種、平成11年度では26種、平成16年度では50種と増減している。 ・継続的に確認されている種は、ヤハズアジサイ、チャルメルソウ等の11種である。
	外来種の状況	・確認種数は年々増加傾向にあるが、外来種率は 8~9%程度で推移している。

表 6.3.4-26 ダム湖周辺における植物の生育状況の変化の整理結果

# (b) 鳥類の生息状況の変化の整理結果

鳥類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.4-27 に示す。

表 6.3.4-27 ダム湖周辺における鳥類の生息状況の変化の整理結果

;	検討項目	変化の状況
鳥類相の 変化	種数	・確認種数については、平成5年度は62種、平成9年度は67種と 増加傾向にあったが、平成14年度では44種、平成19年度は37 種と減少傾向にある。
生息状況 の変化	ダム湖周辺に生 息する鳥類の状 況	・確認種の状況をみると、平成5年度から平成9年度にかけて変化 はみられないが、平成14年度、平成18・19年度には減少傾向に ある。
	重要種の状況	<ul> <li>・平成5年度は21種、平成9年度は27種、平成14年度は16種、 平成18・19年度は13種と、平成14年度以降は減少する傾向が みられる。</li> <li>・ハチクマ、クマタカ等の猛禽類や、フクロウ、オオアカゲラ、サ ンコウチョウ等、豊かな森林環境に生息する種が確認されてい る。</li> </ul>
	外来種の状況	・平成 5 年度から平成 18・19 年度にかけて、継続的にコジュケイ が確認されている。

# (c) 両生類・爬虫類・哺乳類

# a) 両生類

ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果を表 6.3.4-28 に示す。

表 6.3.4-28 ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果

	検討項目	変化の状況			
両生類相 の変化	種数	・確認種数は平成 5 年度が 11 種、平成 10 年度が 10 種、平成 15 年度 が 10 種であった。			
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息 する両生類の状況 重要種の状況	<ul> <li>・確認種については、ほとんどの種が継続的に確認されているが、イモリやトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル等の水田や池沼等の止水環境を繁殖場所として利用する種の確認地点数が近年減少する傾向にある。</li> <li>・一方、流水性のタゴガエルの確認地点数は増加傾向、カジカガエルは概ね横ばいとなっている。</li> <li>・ダム湖周辺では、イモリ、ニホンヒキガエルが経年的に確認されている。</li> </ul>			
	外来種の状況	<ul><li>・ダム湖周辺では、ウシガエルが継続的に確認されている。</li><li>・ダム湖周辺で確認されている両生類のうち、ダム湖内にみられるような止水域を主な繁殖、生息環境として利用する種は外来種であるウシガエルに限られると考えられる。</li></ul>			

# b)爬虫類

ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果を表表 6.3.4-29 に示す。

表 6.3.4-29 ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果

;	検討項目	変化の状況
爬虫類相 の変化	種数	・確認種数については、平成5年度が12種、平成10年度が10種、平成15年度が10種であった。
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息 する爬虫類の状況	<ul> <li>・確認種については、ほとんどが継続的に確認されている。</li> <li>・確認地点数については、クサガメ、ミシシッピアカミミガメといったカメ類は増加、トカゲ、ヤマカガシは減少する傾向がみられている。</li> <li>・また、平成15年度では、ヒバカリ及びマムシが確認されておらず、断続的な確認となっているのはイシガメ、シロマダラである。</li> </ul>
	重要種の状況	<ul> <li>・これまでの調査では、イシガメ、ジムグリ、アオダイショウ、シロマダラ、ヒバカリ、ヤマカガシ、マムシが確認されている。</li> <li>・継続的に確認された種はジムグリ、アオダイショウ、ヤマカガシである。</li> <li>・ヒバカリとマムシは平成15年度には確認されていない。また、イシガメ、シロマダラは平成10年度には確認されていない。</li> </ul>
	外来種の状況	・ダム湖周辺では、ミシシッピアカミミガメが経年的に確認されている。

# c)哺乳類

ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果を表 6.3.4-30 に示す。

表 6.3.4-30 ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果

;	検討項目	変化の状況
哺乳類相 の変化 生息状況	種数 ダム湖周辺に生息	<ul><li>・確認種数については、平成5年度が11種、平成10年度が17種、平成15年度が18種であった。</li><li>・主な確認種はヒミズ、モグラ属、ノウサギ、ムササビ、アカネズミ、</li></ul>
の変化	する哺乳類の状況	タヌキ、キツネ、テン、イタチ属、イノシシ、ホンドジカ等でこれらは平成5年度以降、継続的に確認されている。 ・平成10年度に新たに確認された種は、コウモリ類3種、ニホンザル、ニホンリス、カヤネズミ、平成15年度では、テングコウモリ、ヒメネズミ、アナグマであった。 ・平成15年度では平成10年度に確認された、キクガシラコウモリとニホンザルが確認されなかった。
	重要種の状況 外来種の状況	・ダム湖周辺において、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリ、テングコウモリ、カヤネズミが確認されている。・コウモリ類は、深谷川の導水路内及びその周辺での確認で、キクガシラコウモリ以外の種は導水路内で確認されている。・カヤネズミは平成10年度の6地点から平成15年度の3地点と確認地点数が減少している。なお、平成15年度のカヤネズミの確認地点は新たな地点であった。・これまでの調査において、ダム湖周辺では哺乳類の外来種は確認されていない。

# (d) 陸上昆虫類等

ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果を表 6.3.4-31 に示す。

表 6.3.4-31 ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果

,	検討項目	変化の状況
陸上昆虫 類相の変 化	種数	・確認種数については、平成6年度は1347種、平成10年度は1319種、 平成15年度は1539種と、平成6年度から平成10年度にかけては概 ね横ばい、以降は増加の傾向がみられている。
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息 する陸上昆虫類等 の状況	<ul><li>・確認された昆虫類の多くはダム湖周辺の樹林地、草地、農耕地等における確認であった。</li><li>・調査年度ごとで確認種、種構成に多少の変動はみられるが、大きな変化の傾向は確認されていない。</li></ul>
	重要種の状況	・ダム湖周辺では、これまでの調査で30種の重要種が確認されている。 ・重要種の推移についてみると、平成6年度の15種から平成10年度 には11種に減少し、平成15年度には14種に再び増加している。 ・継続して確認されている重要種は、コバントビケラ、クロツツトビ ケラ、オオセンチコガネの3種で、ダム湖周辺において安定して生 息していると考えられる。
	外来種の状況	<ul> <li>・ダム湖周辺では、23種の外来種が確認されている。</li> <li>・外来種の確認状況をみると、種数では平成6年度の8種から平成10年度には11種、平成15年度には13種と徐々に増加している。</li> <li>・外来種率は、平成6年度の0.59%から平成10年度には0.83%に増加し、以降、平成15年度は0.84%と概ね横ばいであった。</li> <li>・継続して確認されている外来種は、カンタン、モンシロチョウ、キイロショウジョウバエの3種で、ダム湖周辺においては既に定着していると考えられる。</li> </ul>

# 2) ダム湖の存在・供用による生物への影響の整理結果

## (a)植物

ダムの存在・供用による植物への影響の整理結果を表 6.3.4-32 に示す。

表 6.3.4-32 ダムの存在・供用による植物への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響		
植物相の変化 種数・		・止水環境の存在		
		・水位変動域の存在		
生育状況の変化 ダム湖周辺に分布する植・		・止水環境の存在		
生の変化・		・水位変動域の存在		
ダム湖周辺に生育する植 ・		・止水環境の存在		
物相の変化・		・水位変動域の存在		
重要種の状況・		・生育環境の撹乱		
	外来種の状況	・生育環境の撹乱		

## (b) 鳥類

ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果を表 6.3.4-33 に示す。

表 6.3.4-33 ダムの存在・供用による鳥類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響		
鳥類相の変化	種数	・止水環境の存在		
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する鳥	・止水環境の存在		
	類の状況			
	重要種の状況	・生息環境の撹乱		
	外来種の状況	・生息環境の撹乱		

## (c) 両生類·爬虫類·哺乳類

#### a) 両生類

ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果を表 6.3.4-34 に示す。

表 6.3.4-34 ダムの存在・供用による両生類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響		
両生類相の変化	種類数	・止水環境の存在		
生息状況の変化 ダム湖周辺に生息する両・ 生類の状況		・止水環境の存在		
	重要種の状況	・生息環境の撹乱		
	外来種の状況	・生息環境の撹乱		

#### b) 爬虫類

ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果を表 6.3.4-35 に示す。

表 6.3.4-35 ダムの存在・供用による爬虫類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
爬虫類相の変化	種数	・止水環境の存在
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する爬虫 類の状況	・止水環境の存在
	重要種の状況	・生息環境の撹乱
	外来種の状況	・生息環境の撹乱

### c)哺乳類

ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果を表 6.3.4-36に示す。

表 6.3.4-36 ダムの存在・供用による哺乳類への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在・供用に伴う影響	
哺乳類相の変化	種数	・止水環境の存在	
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する哺乳類 の状況	・止水環境の存在	
	重要種の状況	・生息環境の撹乱	
	外来種の状況	・生息環境の撹乱	

# (d) 陸上昆虫類等

ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果を表 6.3.4-37 に示す。

表 6.3.4-37 ダムの存在・供用による陸上昆虫類等への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響		
陸上昆虫類相の変	種数	・止水環境の存在		
化		・水位変動域の存在		
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する陸上昆	・止水環境の存在		
	虫類等の状況	・水位変動域の存在		
	重要種の状況	・生息環境の撹乱		
	外来種の状況	・生息環境の撹乱		

# 3) ダム湖の存在・供用以外の考えうる因子の整理結果

## (a)植物

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による植物への整理結果を表 6.3.4-38 に示す。

表 6.3.4-38 ダムの存在・供用以外の考えうる因子による植物への影響の整理結果

検討項目		ダムの存在以外の影響
植物相の	種数	・調査時の植物の生育状況の差
変化		
生育状況	ダム湖周辺にお	・公園や住宅地の造成
の変化	ける植生分布の	・農耕地の減少
	変化	・植生の遷移
	ダム湖周辺にお	・住宅地の造成
	ける植物相の変	・農耕地の減少
	化	
	重要種の状況	・植生の遷移
		・外来種の侵入
	外来種の状況	・公園や住宅地の造成
		・植生の遷移
		・外来種の侵入

# 4) ダム湖周辺の生物の変化に対する影響の検証結果

# (a)植物

植物の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.4-39 に示す。

表 6.3.4-39 ダム湖周辺の植物の変化に対する影響の検証結果

検討	村項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
植物相の変化	種数	・確認種数については、平成6年度 は617種であったが、経年ととも に増加し、平成16年度では801種 となっている。	・止水環境の 存在 ・水位変動域 の存在	・調査時の 植物の 生育 況の差	・調査時期の違いや、外 来種の侵入等で、確認 種数や種構成に違いが 生じたと考えられる。	$\triangle$
生育状況の変化	植生分布の変化ダム湖周辺における	・大きく変化しているものは、アカマツ群落及び公園用地の増加、スギーヒノキ植林及び造成地・人工裸地の減少があげられる。 ・平成16年度に、新たに外来種であるイタチハギ群落が確認されている。	・止水環境の 存在 ・水位変動域 の存在	・公室 地 電機 地 ・農耕地の ・横生の遷 ・移	・自然な植生の遷移、あるいは人為による土地 改変で群落に違いが生 じたと考えられる。	•
	植物の状況ダム湖周辺に生育する	・在来種、外来種とも増加傾向にある。	・止水環境の 存在 ・水位変動域 の存在	<ul><li>・住宅地の 造成</li><li>・農耕地の 減少</li></ul>	・調査時期の違いや外来 種の侵入等で、確認種 数や種構成に違いが生 じたと考えられる。	Δ
	重要種の状況	・平成6年度では47種、平成11年度では26種、平成16年度では50種と増減している。 ・継続的に確認されている種は、ヤハズアジサイ、チャルメルソウ等の11種である。	・生育環境の 撹乱	・植生の遷 移 ・外来種の 侵入	・調査時期の違いなどで、確認種数や種構成に違いが生じたと考えられる。 ・平成11年度は、秋季調査を実施していないために、重要種の確認が少なかった可能性もある。	Δ
	外来種の状況	・確認種数は年々増加傾向にあるが、 外来種率は 8~9%程度で推移して いる。	・生育環境の 撹乱	・公園や住 宅 地 の 造成 ・植生の遷 移 ・外来種の 侵入	・人為による土地改変や、 調査時期の違いなど で、確認種数や種構成 に違いを生じたと考え られる。	•

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんど見られないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (b) 鳥類

鳥類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.4-40 に示す。

表 6.3.4-40 ダム湖周辺の鳥類の変化に対する影響の検証結果

検討	項目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
鳥類相の変化	種数	・確認種数については、平成 5 年度 は 62 種、平成 9 年度は 67 種と増 加傾向にあったが、平成 14 年度で は 44 種、平成 19 年度は 37 種と減 少傾向にある。	・止水環境の存在	_	・種構成に大きな違いは みに大きなことかられていないことの のでは、 の生じた可能性があると考えられる。 ・平成9年度から平成14年度にかけての確認 年度にかけてきくの 数の繁殖地で見いる。 り、及びダム湖周辺の 環境の変化等も考えられる。	Δ
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する鳥類の状況	・確認種の状況をみると、平成 5 年度から平成 9 年度にかけて変化はみられないが、平成 14 年度、平成18・19 年度には減少傾向にある。	・止水環境の 存在	_	・ダム湖周辺の植生に大きな変化はみられないことから、調査方法の違いにより生じた可能性があると考えられる。	Δ
	重要種の状況	・平成5年度は21種、平成9年度は27種、平成14年度は16種、平成18・19年度は13種と、平成14年度以降は減少する傾向がみられる。 ・ハチクマ、クマタカ等の猛禽類や、フクロウ、オオアカゲラ、サンコウチョウ等、豊かな森林環境に生息する種が確認されている。	・生息環境の 攪乱	_	・ダム湖周辺の植生に大きな変化はみられないことから、調査方法の違いにより生じた可能性があると考えられる。	Δ
	外来種の状況	・平成5年度から平成18・19年度にかけて、継続的にコジュケイが確認されている。	・生息環境の 攪乱	_	・コジュケイは、継続的 に確認されてい域において生息してある。 ・日本に移入された年代 も古、古くあるとがあるとがでになる。 ・日本に移びであるとから、古古い種があるとがある。 ・で定着していると考しているとある。	Δ

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんど見られないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (c) 両生類・爬虫類・哺乳類

# a) 両生類

両生類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.4-41 に示す。

表 6.3.4-41 ダム湖周辺の両生類の変化に対する影響の検証結果

検診	付項目	変化の状況	ダムの 存在・供用	ダムの 存在以外	検証結果	
両生類相の変化	種 数	・確認種数は平成5年度が11種、平成10年度が10種、平成10年度が10種、平成15年度が10種であった。	に伴う影響 ・止水環境の 存在	の影響 —	・確認種数、種構成に大きな違いはなく、大きな変化の傾向は確認されなかった。	×
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する両生類の状況	<ul> <li>・確認種については、ほとんどの種が継続的に確認されているが、イモリやトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル等の水田や池沼等の止水環境を繁殖場所として利用する種の確認地点数が近年減少する傾向にある。</li> <li>・一方、流水性のタゴガエルの確認地点数は増加傾向、カジカガエルは概ね横ばいとなっている。</li> </ul>	・止水環境の 存在	_	・止水環境を繁殖場所と する左記の種は、ダム 湖等の規模の大きな止 水環境は繁殖場所しない てほとから、ダム湖域の ことから、ダム湖域の いるにおける止水域して いる可能性がある。 ・流水性の種については、 概ね良好な状態にある と考えられる。	Δ
	重要種の状況	<ul><li>・ダム湖周辺では、イモリ、ニホン ヒキガエルが経年的に確認されて いる。</li></ul>	・生息環境の 攪乱	_	<ul><li>・確認地点数は少ないものの、継続的に確認されている。</li><li>・ただし、イモリは近年減少する傾向にある。</li></ul>	Δ
	外来種の状況	<ul><li>・ダム湖周辺では、ウシガエルが継続的に確認されている。</li><li>・ダム湖周辺で確認されている両生類のうち、ダム湖内にみられるような止水域を主な繁殖、生息環境として利用する種は外来種であるウシガエルに限られると考えられる。</li></ul>	・生息環境の 攪乱	_	・確認地点数は平成 5 年 度以後の調査では半分 以下となっているもの の、継続的に確認され ていることから、ダム 湖周辺は良好な生息地 となっているものと考 えられる。	•

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんど見られないもの
  - $\triangle$ :室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# b)爬虫類

爬虫類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.4-42 に示す。

表 6.3.4-42 ダム湖周辺の爬虫類の変化に対する影響の検証結果

		表 0. 3. 4-42 タム湖周辺の爬				
検診	付目	変化の状況	ダムの 存在・供用 に伴う影 響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
爬虫類相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度 が12種、平成10年度が10種、 平成15年度が10種であった。	・止水環境 の存在	_	・調査年度ごとに確認種数、種構成に多少の変動はみられたが、大きな変化の傾向は確認されなかった。	×
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する爬虫類の状況	<ul> <li>・確認種については、ほとんどが継続的に確認されている。</li> <li>・確認地点数については、クサガメ、ミシシッピアカミミガメといったカメ類は増加、トカゲ、ヤマカガシは減少する傾向がみられている。</li> <li>・また、平成15年度では、ヒバカリ及びマムシが確認されておらず、断続的な確認となっているのはイシガメ、シロマダラである。</li> </ul>	・止水環境の存在	_	・確認種数、及び種構成に多少の変動大きなのの、な動はきされるものの、確認がないでではなかられているのではなかがみられているがながながられているがながられているのがでは、止域を好いがあるを含むがではがあるを含むがではがあるを生している。 ・トカ少にである。 ・トカツにである。	Δ
	重要種の状況	<ul> <li>・これまでの調査では、イシガメ、ジムグリ、アオダイショウ、シロマダラ、ヒバカリ、ヤマカガシ、マムシが確認されている。</li> <li>・継続的に確認された種はジムグリ、アオダイショウ、ヤマカガシである。</li> <li>・ヒバカリとマムシは平成15年度には確認されていない。また、イシガメ、シロマダラは平成10年度には確認されていない。</li> </ul>	・止水環境 の存在	_	・確認種数、及び種構成 に多少の変動はみら れるものの、大きな変 化の傾向は確認され なかった。 ・確認されなかった種 は、生息数が少ないな どの要因が考えられ る。	×
	外来種の状況	<ul><li>・ダム湖周辺では、ミシシッピアカ ミミガメが経年的に確認されて いる。</li></ul>	・止水環境 の存在 ・生息環境 の攪乱	_	・ミシシッピアカミミガメの増加傾向は、ダム湖内を含むダム湖周辺に、主な生息環境となる水域が安定的に存在することなどに起因している可能性がある。	•

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんど見られないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# c)哺乳類

哺乳類の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.4-43 に示す。

表 6.3.4-43 ダム湖周辺の哺乳類の変化に対する影響の検証結果

		公 0. 0. 1 10	ダムの	ダムの		
検訴	打項目	変化の状況	存在・供用に伴う影響	存在以 外の影 響	検証結果	
哺乳類相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度が11種、 平成10年度が17種、平成15年度が18 種であった。	・止水環境の存在	_	・確認種数、種構成は平成10年度以降、コウモリ類の確認がされているため、平成5年度に比べ、増加しているが、それ以外の大きな変化の傾向は確認されなかった。	×
生息状況の変化	況ダム湖周辺に生息する哺乳類の状	・主な確認種はヒミズ、モグラ属、ノウサギ、ムササビ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、テン、イタチ属、イノシシ、ホンドジカ等でこれらは平成5年度以降、継続的に確認されている。 ・平成10年度に新たに確認された種は、コウモリ類3種、ニホンザル、ニホンリス、カヤネズミ、平成15年度では、テングコウモリ、ヒメネズミ、アナグマであった。・平成15年度では平成10年度に確認された、キクガシラコウモリとニホンザルが確認されなかった。	・止水環境 の存在	_	・確認種数、種構成は平成10年度以降、コウモリ類の確認がされているため、平成5年度に比べ、増加しているが、それ以外の大きな変化の傾向は確認されなかった。	×
	重要種の状況	<ul> <li>・ダム湖周辺において、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリ、テングコウモリ、カヤネズミが確認されている。</li> <li>・コウモリ類は、深谷川の導水路内及びその周辺での確認で、キクガシラコウモリ以外の種は導水路内で確認されている。</li> <li>・カヤネズミは平成10年度の6地点から平成15年度の3地点と確認地点数が減少している。なお、平成15年度のカヤネズミの確認地点は新たな地点であった。</li> </ul>	・生息環境の攪乱		・深谷では、ないないというでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	×
	沢来種の状	・これまでの調査において、ダム湖周辺で は外来種は確認されていない。	・生息環境 の攪乱	_	_	×

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんど見られないもの

# (d) 陸上昆虫類等

陸上昆虫類等の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.4-44 に示す。

表 6.3.4-44 ダム湖周辺の陸上昆虫類等の変化に対する影響の検証結果

		). 3. 4-44 ダム湖周辺の陸上起り	- AR 17 47 A		O NO EL CONTROLLO DE LA CONTRO	
検言	対項目	変化の状況	ダムの 存在・供 用に伴う 影響	ダムの 存在以 外の影 響	検証結果	
陸上昆虫類相の変化	種数数	・確認種数については、平成6年度 は1347種、平成10年度は1319 種、平成15年度は1539種と、平 成6年度から平成10年度にかけて は概ね横ばい、以降は増加の傾向 がみられている。	・止水環境 の存在 ・水位変動 域の存 在	_	・調査年度ごとで確認種数、種構成に多少変動はみられたが、大きな変化の傾向は確認されなかった。	×
生息状況の変化	陸上昆虫類等の状況ダム湖周辺に生息する	・確認された昆虫類の多くはダム湖周辺の樹林地、草地、農耕地等における確認であった。 ・調査年度ごとで確認種、種構成に多少の変動はみられるが、大きな変化の傾向は確認されていない。	・止水環境 の存在 ・水位変動 域の存 在	_	・調査年度ごとで確認種数、種構成に多少変動はみられたが、大きな変化の傾向は確認されなかった。	×
	重要種の状況	<ul> <li>・ダム湖周辺では、これまでの調査で30種の重要種が確認されている。</li> <li>・重要種の推移についてみると、平成6年度の15種から平成10年度には11種に減少し、平成15年度には14種に再び増加している。</li> <li>・継続して確認されている重要種は、コバントビケラ、クロツツトビケラ、オオセンチコガネの3種で、ダム湖周辺において安定して生息していると考えられる。</li> </ul>	・生息環境 の撹乱	_	・継続して確認されている種は3種と少ないが、他の種につい少ないは、生息個体数が少ないなどの理由にないよりで認されて大きな変と考えられ、大きな変化は生じていないと考えられる。	×
	外来種の状況	・ダム湖周辺では、23種の外来種が確認されている。 ・外来種の確認状況をみると、種数では平成6年度の8種から平成10年度には11種、平成15年度には13種と徐々に増加している。 ・外来種率は、平成6年度の0.59%から平成10年度には0.83%に増加し、以降、平成15年度は0.84%と概ね横ばいであった。 ・継続して確認されている外来種は、カンタン、モンシロチョウ、キイロショウジョウバエの3種で、ダム湖周辺においては既に定着していると考えられる。	・生息環境 の撹乱	_	・平成6年度に8種だったのが、平成10年度は11種、平成15年度には13種と徐々に増加しており、今後も外来種が増加する可能性が考えられる。	$\triangle$

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんど見られないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

### 6.3.5. 連続性の視点からみた生物の生息状況の変化の検証

ダムの存在は、ダム周辺において連続性の分断を生じさせ、ダム周辺を利用する様々な生物の生息状況の変化を引き起こすと想定されている。

そのため、ここでは室生ダム周辺において引き起こされる生物の生息状況の変化を図 6.3.5-1 のように想定し、室生ダムの存在により連続性の観点からダム周辺の生物の生息状況が変化しているかどうかの手順を行った。

#### ■生物の生息状況の変化の把握

- ・回遊性魚類の生息状況
- ・両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況

#### ■ダムによる影響の検証

室生ダムの生物の生息状況の変化について、連続性の観点から検討し、ダムによる影響を検証した。

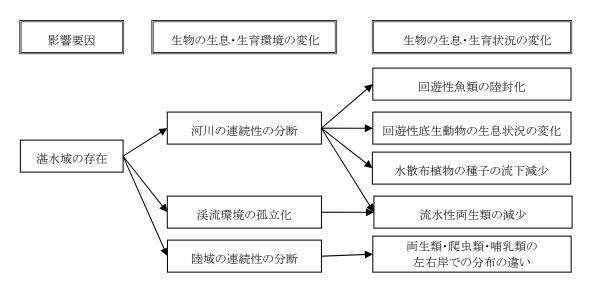


図 6.3.5-1 連続性の視点から想定される環境への影響要因と生物に与える影響

#### (1) 生物の生息・生育状況の変化の把握

1)流入河川及びダム湖間における回遊性魚類の確認状況

ダム湖内及び流入河川で共通して確認されている回遊性魚類の確認状況について整理した。整理した結果は表 6.3.5-2、またその推移は図 6.3.5-2~図 6.3.5-3 に示すとおりである。

調査実施年度により、両環境区分で確認された魚類は、アマゴ、アユ、ウキゴリ、トウョシノボリ、ヌマチチブの5種である。このうち、アマゴの確認個体数は、非常に少なく平成13年度にダム湖内で2個体、平成19年度に深谷川で1個体のみの確認となっている。また、調査実施年度によって調査対象としている流入河川が異なることから、一概には言えないが、ヌマチチブを除き、ダム湖内と流入河川で確認されている種の個体数の比率は概ね同様な状況となっていることから、ダム湖内から流入河川間の移動状況は概ね良好な状況にあると考えられる。

ただし、この移動状況は、各流入河川で異なっており、天満川については概ね良好な状況にあると考えられるが、主な流入河川である宇陀川については平成19年度の調査結果をみる限り低い状況にある。なお、宇陀川には平成12年度に、魚道付きの水質保全ダムが新たに設置されており、平成17年度に実施された水質保全ダムの魚道遡上調査によると、アユをはじめ、オイカワ類、スゴモロコ類、ギギ、ナマズ等の魚類の遡上が確認されている。

なお、平成20年2月には、ダム湖内の3地点(ダムサイト付近、天満川流入地点付近、 宇陀川流入地点付近(水質保全ダム直上を含む))において、アユの再生産を検証すための仔 魚確認調査が実施されており、ダムサイト付近で1個体、天満川流入地点付近で58個体(目 視を含めると158個体以上)のアユの仔魚が確認され、室生ダムでアユの再生産が行われて いることが明らかとなっている。ただし、宇陀川流入地点及び水質保全ダム直上では仔ア ユは確認されていない。

このほか、深谷川は他の2河川とは異なり、渓流河川となる。そのため、渓流性種であるアマゴといった限られた種の移動に限られている可能性もあると考えられる。

# 室生ダム定期報告書 6章 生物

# 表 6.3.5-1 調査内容一覧:魚介類

					調査地	拉区							調査内容		
区分		H4		H5		H8		H13	I	119	H4	H5	H8	H13	H19
調査番号		1		2		5		11		19	1	2	5	11	19
下流河川					No.1	下流河川 (宇陀川)	St.1	下流河川	淀室下1	ダムサイト 直下	-	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 80 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 150 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本、潜水観察 0.5h	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、 セルびん 4 個、どう 2 個、 カゴ網 2 個、潜水観察 2h
	St.2	湖心	St.3	湖底の 平らな部分	No.2	湖内湾入部	St.2	湖肢	淀室湖 2	湖岸部	刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(18mm)中層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 セルびん 10 個、はえなわ 4 本、 カニカゴ 4 個、どう 4 個	刺網(15mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 セルびん 2 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
									淀室湖 3	宇陀川流入部	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
							St.9	河川流入部	淀室湖 6	深谷川流入部	-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 2 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 投網(12mm)10 回・(18mm)20 回、 タモ網 140 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
ダム	St.3	天満川 流入部	St.2 (1)	天満川 流入部	No.3	河川流入点 (天満川)	St.3	河川流入部	淀室湖 7	天満川流入部	刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本、カニカゴ 2 個	刺網(10mm)表層 180m・ 刺網(50.2mm)表中層 180m、 投網(12mm)20 回・(18mm)15 回、 タモ網 120 分、セルびん 15 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚・中層 2 枚、 投網(12mm)20 回・(18mm)10 回、 タモ網 110 分、セルびん 4 個、 はえなわ 4 本	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
湖	St.4	宇陀川流入部	St.1(1) St.1(2)	宇陀川流入部	No.5	河川流入点 (宇陀川)	St.5	ダム湖内			刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 投網(12mm)3 回 タモ網、モンドリ、カニカゴ	刺網(15mm)表層 90m・ 刺網(50mm)底層 90m、 タモ網 60 分、セルビン 9 個、 はえなわ 12 本 カニカゴ 2 個 投網:(12mm)10 回・(18mm)10 回、 潜水 30 分	刺網(10mm)表層 180m 刺網(50.2mm)表層 180m、 投網(12mm)17 回・(18mm)18 回、 タモ網 120 分、セルびん 16 個、 はえなわ 4 本、カニカゴ 8 個、 どう 4 個	刺網(15mm)表層 1 枚・中層 3 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚、 タモ網 20 分	-
	St.1-1	ダムサイト									刺網(100mm・200mm、 網長 25m)2 枚、 タモ網、モンドリ、カニカゴ	-	-	-	-
	St.1-2	ダムサイト (船着場)									モンドリ、目視	-	-	-	-
		(MIL/EI *MI)					St.7	最深部			-	-	-	刺網(15mm)表層 2 枚・中層 1 枚、 刺網(50mm)表層 2 枚・中層 1 枚	-
							St.8	河川流入部			-	-	-	刺網(15mm)表層 1 枚、底層 1 枚 刺網(50mm)表層 2 枚、 投網(12mm)15 回・(18mm)25 回、 タモ網 90 分、セルびん 4 個、 はえなわ 1 本	-
							St.10	流入河川	淀室入1	流入河川深谷川	-	-	-	投網(18mm)21 回、タモ網 75 分、 セルびん 4 個、はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
流入 河川	St.6	流入河川	St.2 (2)	天満川 流入部	No.4	流入河川 (天満川)	St.4	流入河川	淀室入2	流入河川 天満川	投網(12mm)3 回	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 60 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 70 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)20 回・(18mm)2 回、 タモ網 105 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
	St.5	宇陀川 (高倉橋 付近)			No.6	流入河川 (宇陀川)	St.6	流入河川	淀室入3	流入河川 宇陀川	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回 タモ網	-	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 120 分、潜水 60 分、 セルびん 6 個、カニカゴ 4 個	投網(12mm)25 回・(18mm)26 回、 タモ網 120 分、セルびん 4 個、 はえなわ 2 本、潜水観察 20 分	投網(12mm)20 回・(18mm)20 回、 タモ網 4h、定置網 2 統、はえなわ 2 本、 セルびん 4 個、カゴ網 2 個、 潜水観察 2h
その 他									淀室他 1	水質保全ダ ム 湛水域	-	-	-	-	投網(12mm)10 回・(18mm)10 回、 タモ網 2h、刺網表層 30m・中層 30m、 はえなわ 2 本、セルびん 4 個、 カゴ網 2 個
		-	_	-					初	夏季	-	-	-	-	H19.6.5∼9
時期		夏季		-		夏季		夏季	夏	[季	H4.8.12~14	=	H8.7.23~24, 29~30	H13.7.31、8.1~6	H19.8.27~29
		秋季	5	秋季		秋季		秋季		_	H4.10.12~14	H5.9.20∼22	H8.10.16∼18	H13.10.23~31	=

表 6.3.5-2 経年確認種一覧:回遊性魚類

No.	綱名	目名	科名	種名(和名)		区分			調査年度		
NO.	柳石	日名	件名	<b>性</b> 名(和名)	Ľ	シガ	H4	Н5	Н8	H13	H19
1	硬骨魚	サケ	サケ	アマゴ	ダム油	胡内				2	
					流入	宇陀川					
					河川	天満川	e	·	·		
						深谷川					1
2			アユ	アユ	ダム油	胡内		10	4	55	10
					流入	宇陀川	7				11
					河川	天満川		3	1	9	6
						深谷川					
3		スズキ	ハゼ	ウキゴリ	ダム油			1	4	30	133
					流入	宇陀川	2				14
					河川	天満川		2	14	36	90
-						深谷川					
4				トウヨシノ ボリ	ダム浩	胡内		68	189	66	16
					流入	宇陀川					3
					河川	天満川		29	66	48	21
						深谷川					
5				ヌマチチブ	ダム油	胡内				45	46
					流入	宇陀川					
					河川	天満川					9
						深谷川					
							2種	3種	3種	5種	5種
		1 編 9 日	3 科 5 種			ダム湖	0 個体	79 個体	197 個体	198 個体	205 個体
		표 /마막 스 🏳	0 17 0 1里		$\tilde{\sigma}$	充入河川	9 個体	34 個体	81 個体	93 個体	155 個体
						合計	9 個体	113 個体	278 個体	291 個体	360 個体

注)1. 表中の数は、確認個体数を示す。

<sup>2.</sup> 平成20年2月に実施されている仔アコ調査の結果は含んでいない。

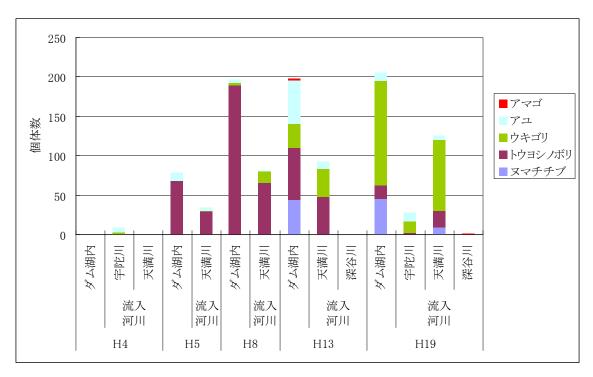


図 6.3.5-2 種別確認個体数の推移:回遊性魚類(流入河川及びダム湖)

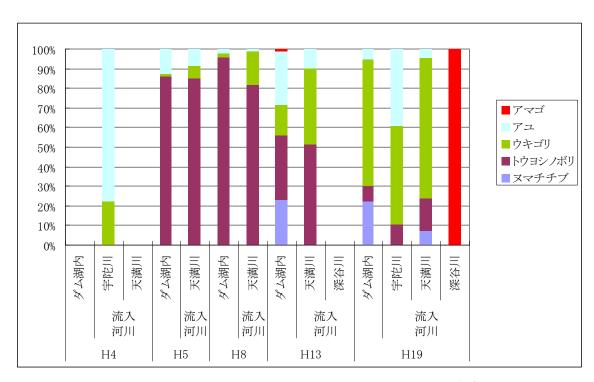


図 6.3.5-3 種別確認割合の推移:回遊性魚類(流入河川及びダム湖)

### 2) 流入河川・下流河川での魚類確認状況

調査年別に流入河川と下流河川の確認個体数を整理し図 6.3.5-4 に示す。 下流河川の確認個体数が流入河川に比べて少ない状況である。

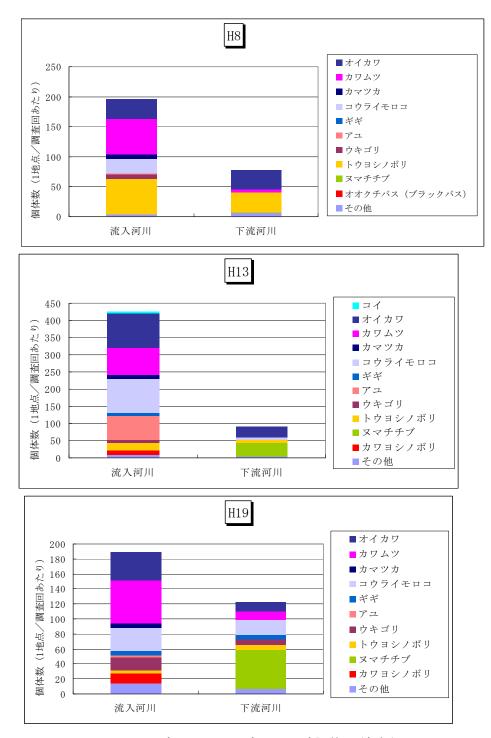


図 6.3.5-4 流入河川・下流河川の確認状況(魚類)

#### 3) 両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況の変化

#### (a) 渓流性両生類の確認状況

これまでの調査において、ダム湖周辺で確認されている流水性両生類は表 6.3.5-3、表 6.3.5-4 に示すとおりである。

室生ダム周辺における流水性両生類については、オオサンショウウオ、タゴガエル、カジカガエルの3種が確認されている。これらの種の確認状況は以下に示すとおりである。

#### a) オオサンショウウオ

平成 19 年度魚類調査時において、流入河川である深谷川で体長 60cm 程度の個体が 2 回確認されているほか、聞き取り調査により、下流河川及び流入河川である内牧川に生息するとの情報が得られている。なお、繁殖に係る情報については、河川水辺の国勢調査結果からは得ることができていない。

また、本種が確認(聞き取り調査による結果を含む)されている深谷川及び下流河川については、餌となる魚類は経年的に増加する傾向にある。

#### b) タゴガエル

ダム湖周辺において幼体及び成体が確認されており、平成10年度から平成15年度にかけては、個体数が増加する傾向がみられている。なお、各調査年度ともに、ダム湖右岸側に流入する深谷川や小規模な沢筋等を中心に生息が確認されている。

このような分布状況から勘案すると、タゴガエルについてはダムの存在による生息環境の分断はほとんどないと考えられるが、下流河川における調査は平成15年度のみであることから、本種が生息している可能性はあると考えられる。

#### c) カジカガエル

ダム湖周辺において、各調査回ともに鳴き声等により確認されている。確認されている場所は、ダム湖右岸側に流入する深谷川や宇陀川に偏る傾向がみられている。

このような分布状況から勘案すると、タゴガエルと同様に、カジカガエルについても、 ダムの存在による生息環境の分断はほとんどないと考えられるが、下流河川における調 査は平成15年度のみであることから、本種が生息している可能性はあると考えられる。

表 6.3.5-3 調査内容一覧:両生類・爬虫類・哺乳類

調査	- 平.口.				H10	H15
	L甾万			2	7	14
	下	流河	Ш	-	-	5-1 河畔(流出河畔)
	流	入河	Ш	-	-	5-2 河畔(流入河畔), その他(深谷川))
区分	ダム	湖周	司辺	フィールドサイン・目撃法, トラップ法:地点1〜地点3	フィールドサイン・目撃法, カメカゴ(No1~No. 4) トラップ法(No1~No4) 自動撮影法(No1~No2)	1 スギ-ヒノキ群落,2 コナラ群落, 3 アカマツ群落,4-1 林縁部,4-2 林縁部, 6 沢筋,7-2 その他(荷阪川)
	_	調	<b></b>	ルート延長:22.0km	ルート延長:26.0km	ルート延長:18.5km
7,	_ n . ls		春季	H5. 5. 28∼29	H10. 5. 14∼16	H15. 5. 19∼22
サイ	ン法	調	夏季	H5. 8. 24∼26	H10. 8. 6∼8	H15. 8. 4∼6
目虫	<b>擎法</b>	自時	秋季	H5. 9. 28∼30	H10. 10. 12∼14	H15. 10. 14~16
		季	冬季	H6.1.25~26 (哺乳類調査のみ)	H11.1.21~22 (哺乳類調査のみ)	H16. 1. 20~22 (哺乳類調査のみ)
		調了	<b></b>	-	-	1 地点(20 個)
		₽Ħ	春季	-	-	H15. 5. 19∼22
墜落	客缶	一一一	夏季	-	=	_
		時	D . 4	-	-	H15. 10. 14∼16
		期	冬季	-	-	_
		調	<b></b>	-	3 地点(1 地点 1 個)	4 地点(1 地点 1 個)
	الاستان	≢⊞	春季	-	H10. 5. 14∼15	H15. 5. 19∼22
		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	夏季	-	H10. 8. 6∼7	_
	, , , ,	時	秋季	=	=	H15. 10. 14∼16
		期	冬季	-	-	_
	<b>-</b>	調金	<b>查数量</b>	春 2 地点、 夏・秋・冬 3 地点 (1 地点 20 個)	3 地点(1 地点 30 個)	8 地点 (1 地点 30 個)
	ラウ	雪田	春季	H5. 5. 28∼30	H10. 5. 14∼16	H15. 5. 19∼22
	プス	査			=	_
		時期			H10. 10. 12∼14	H15. 10. 14∼16
,					=	- Lil Li (chi i han et la han)
トラ	,	調了			1 地点(5 対)	1地点(春1個、秋9個)
ッ	トモジ	調			-	H15. 5. 19∼22
プーナ	ツク	査				-
調	プ	期			H10. 10. 13~14	H15. 10. 14∼16
査		調フ		春 2 地点、		
		바비크	<b>ュ外里</b>	(1 地点 1 個)		1 地点(春 10 個、秋 5 個)
	カゴ	4111	春季	H5.5.28∼30	_	H15. 5. 19∼22
	罠	荷	夏季	H5. 8. 24∼26		_
		時	秋季	H5. 9. 28∼30	-	H15. 10. 14~16
					-	-
	自	調了		-		3 地点
調	動	調			=	H15. 5. 19∼22
查	·报 ·影	査			- 110 10 10 14	- H15 10 14 10
	法	期		_		H15. 10. 14∼16 -
			◇子	<u>-</u>		_
そ(	の他			-	(H10. 6. 11) オオサンショウウオ夜間 調査 (H10. 8. 6~7、10. 12、	-
	フサ目 墜 カメ トラップ法調査 イイ <sup>1</sup>	区     フサ目     墜     カメ     トラップ法調査       分     イイ撃     落     メト       一人撃     落     メト       ガラ     トラップ     トラップ     カゴ罠       自動撮影       ボーン装     ゴッ     トラップ     モグラ	区     フサー     調査時期     調査時期     調     調査時期     調     調査時期     調査時期	ダ     大<	流入河川	液入河川

表 6.3.5-4(1) 経年確認種一覧:流水性両生類(流入河川)

								確認	内容	:							
種名(和名)	目撃		鳴声			死体		別	塊	幼	生	幼	体	成	体	その	合計
	Н5	Н5	H10	H15	Н5	H10	H15	Н5	H10	H10	H15	H10	H15	H10	H15	他	
オオサンショウウオ															2 💥		2
タゴガエル																	0
カジカガエル																	0

注)1. 表中の数字は、確認地点数を示す。

2. ※: 「平成19年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その2)(室生ダム)(魚類調査)」の6月、8月調査時において各1個体が確認されている。

表 6.3.5-4(2) 経年確認種一覧:流水性両生類(下流河川)

								確認	內容	-							
種名(和名)	目撃		鳴声			死体	•	戼	塊	幼	生	幼	体	成	体	その	合計
	Н5	Н5	H10	H15	Н5	H10	H15	Н5	H10	H10	H15	H10	H15	H10	H15	他	
オオサンショウウオ																•	1
タゴガエル																	0
カジカガエル				1													1

注)1. ●は聞き取り調査による確認を示す。

表 6.3.5-4(3) 経年確認種一覧:流水性両生類(ダム湖周辺)

_																		
									確認	內容	:							
	種名(和名)	目撃		鳴声			死体		別	塊	幼	生	幼	体	成	体	その	合計
		Н5	Н5	H10	H15	Н5	H10	H15	Н5	H10	H10	H15	H10	H15	H10	H15	他	
7	オオサンショウウオ															2		2
1	タゴガエル	11	3		3								6	14	6	7		50
7	カジカガエル	2	3	1	4													10

注)1. 表中の数字は、確認地点数を示す。

#### (b) 両生類の成長段階別の確認状況

両生類は水域を繁殖場所、あるいは幼生期の生息場所として利用する。そのため、成長のステージ段階に着目した整理を行った。成長段階別の確認状況は表 6.3.5-5、また卵塊・幼生・幼体・成体別の確認状況の推移は図 6.3.5-5~図 6.3.5-6 に示すとおりである。

平成15年度では、全ての種において卵塊の確認はされず、幼生が確認された種はアマガエルのみであった。また、幼体が確認された種はニホンヒキガエル、アマガエル、タゴガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、シュレーゲルアオガエルの6種であった。なお、カジカガエルは過年度調査を含め、ほとんどが鳴声による確認であり、卵塊、幼生、幼体の確認はされていない。このほかの種としてはヤマアカガエルが平成5年度、平成10年度と継続して確認されていたが、平成15年度では確認されていない。

確認状況の推移をみると、タゴガエルやカジカガエルといった流水性種については、卵塊や幼生の確認はないものの、継続的に成体(鳴き声を含む)が確認されており、概ね良好な状態で推移している。しかし、イモリやトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル等の水田や池沼等を繁殖場所として利用する種については、平成10年度から平成15年度にかけて減少する傾向がみられている。これらの種は、ダム湖のような大規模止水環境を産卵環境として利用することはほとんどないことを勘案すると、周辺環境における土地の改変等の影響によって、産卵環境が減少している可能性があると考えられる。なお、ダム湖を産卵場所として利用する可能性のある種としてウシガエルがあげられるが、本種についても減少する傾向がみられている。

			-									_			
						目撃	<ul><li>捕獲</li></ul>	į						鳴声	
種名(和名)		卵塊		幼	生	幼	体	成	体					特卢	
	Н5	H10	H15	H10	H15	H10	H15	H10	H15	Н5	H10	H15	Н5	H10	H15
イモリ				1				8	1	4	9	1			
ニホンヒキガエル				1		1	2			1	2	2			
アマガエル				2	1	4	1		2	5	6	4	14	11	4
タゴガエル		-	-		-	6	14	6	7	11	12	21	3		3
ヤマアカガエル						1				1	1				
トノサマガエル		2		1		12	2	10	3	23	23	5			
ヌマガエル							1			3		1			
ウシガエル				1		1		2	1	7	4	1	6	1	4
ツチガエル		!	!		!	1	!		!	1	1	!			1
シュレーゲルアオガエル	1	1		4		1	1	2		6	7	1	8	6	4
カジカガエル										2			3	1	4
11 種	1種	2種	0種	6種	1種	8種	6種	5種	5種	11 種	9種	8種	5種	4種	6種

表 6.3.5-5 ダム湖周辺における成長段階別の確認状況

注)1. 表中の数は、確認地点数を示す。

<sup>2.</sup> 平成5年度調査では、幼生・幼体・成体の区別はなく、目撃・捕獲として記載されている。

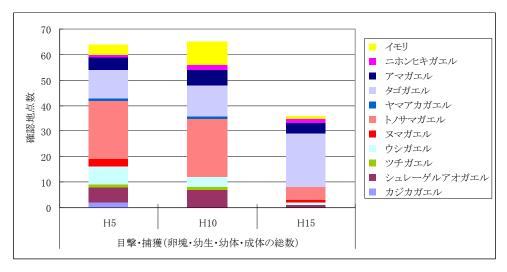


図 6.3.5-5 種別確認地点数の推移:両生類

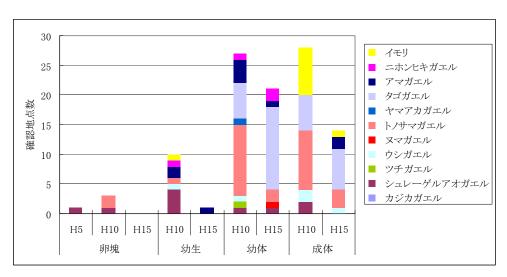


図 6.3.5-6 ダム湖周辺における成長段階別の確認状況の推移

#### (c)哺乳類の確認状況

ダム湖の存在により、陸域における移動能力の高い哺乳類の分布等に影響が及んでいる 可能性があることから、ダム湖の左右岸における哺乳類の確認状況について整理した。整 理の結果は表 6.3.5-6 に示すとおりである。

整理の結果、移動能力の高いニホンザル、キツネ、イノシシ、ニホンジカ等については、 確認年度に若干の違いはあるものの、概ね両岸で確認されている。また、移動能力の低い ヒミズ、ノウサギ、ニホンリス、カヤネズミ等についても、確認年度に若干の違いはある が、概ね継続的に確認されており、左右岸での確認状況に明確な差異は認められなかった。

ただし、左右岸に偏りがみられている種としては、右岸で確認されているコウモリ類、 ヒメネズミといった種があげられるが、コウモリ類については、右岸側より流入する深谷 川の導水路内をねぐらとしていることに起因している。また、ヒメネズミは平成 15 年度調 査時にトラップによって初めて捕獲されたものであり、当該地域における生息数は少ない ものと考えられる。

左岸 種名(種名) 確認種 確認種 Н5 H10 H15 Н5 H10 H15 合計 合計 1 ヒミズ 2 | モグラ属の一種 3 キクガシラコウモリ 4 モモジロコウモリ ユビナガコウモリ 5 0 テングコウモリ 6 ヒナコウモリ科の一種 ニホンザル 8 ノウサギ 9 ニホンリス 10 ムササビ アカネズミ 11 12 ヒメネズミ カヤネズミ 13 ネズミ科の一種 14 タヌキ 15 キツネ 16 イタチ属の一種 17 • • イノシシ 18 19 ホンドジカ 10 種 19 種 19種 10種 12種 14 種 17種 16種 19 種

表 6.3.5-6 ダム湖左右岸における哺乳類の確認状況一覧:哺乳類

注)1. 平成 15 年度に確認されているアナグマについては、「その他」の区分で確認されていたが、確認位置に ついての状況が不明であるため、整理対照からは除外した。

### 4) 流入河川・下流河川での確認状況

調査年別に流入河川と下流河川の確認個体数を整理し、図 6.3.5-7 に示す。 両生類、哺乳類は、流入河川、下流河川の種数個体数ともに下流河川が多くなっている。 爬虫類は、下流河川では確認されなかった。

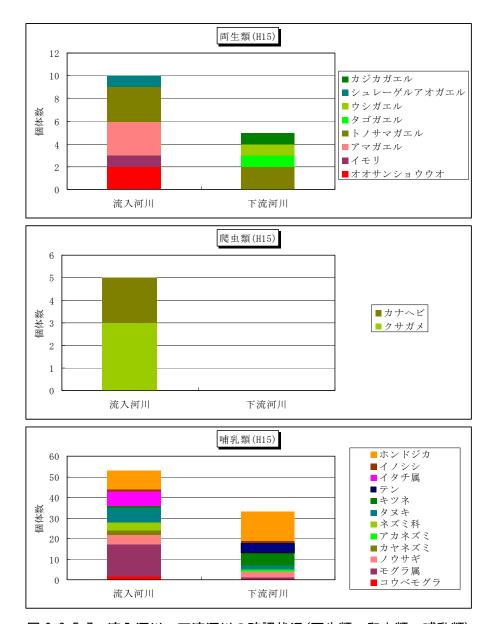


図 6.3.5-7 流入河川・下流河川の確認状況(両生類・爬虫類・哺乳類)

# (2) ダムによる影響の検証

- 1)連続性の視点からみた生物の生息・生育状況の変化の整理結果
  - (a) 回遊性魚類の生息状況の整理結果

回遊性魚類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.5-7 に示す。

表 6.3.5-7 連続性の視点からみた回遊性魚類の生息状況の変化の整理結果

	検討項目	生物の変化の状況
生息状況の変化	ダム湖及び流入 河川における回 遊性魚類の確認 状況	<ul> <li>・調査実施年度によって、調査対象としている流入河川が異なることから一概には言えないが、ダム湖内及び流入河川で確認されている種は共通しており、確認個体数の割合も概ね同様な状況であることから、移動状況は良好であると考えられる。</li> <li>・ただし、主な流入河川となる宇陀川については、回遊性魚類の確認個体数が少ない状況にあり、平成12年度に設置された水質保全ダムの影響が懸念される。</li> <li>・アユが再生産していることが明らかとなったが、仔アユの確認は、天満川流入地点付近に集中しており、宇陀川流入地点付近及び水質保全ダムの直上では確認されていない。</li> </ul>

### (b) 両生類·爬虫類·哺乳類

両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況の変化の整理結果を表 6.3.5-8 に示す。

表 6.3.5-8 連続性の視点からみた両生類・爬虫類・哺乳類の

# 生息状況の変化の整理結果

		工心仍然的发出的是空間不
7	検討項目	生物の変化の状況
生息状況	流水性両生類の	・流水性両生類としては、オオサンショウウオ、タゴガエル、カジ
の変化	確認状況	カガエルの3種が確認されている。
		・オオサンショウウオは平成 19 年度に実施した魚類調査時に、流
		入河川である深谷川で確認されているほか、聞き取り調査により
		流入河川である内牧川及び下流河川で生息の記録がある。
		・タゴガエルは、ダム湖周辺で継続的に確認されており、近年では
		確認地点数も増加する傾向にある。流入河川である深谷川や小規
		模な沢筋等、右岸側で多く確認されている。
		・カジカガエルは、ダム湖周辺で継続的に確認されている。確認地
		点数は、各調査年度ともに多くはないが、流入河川である深谷川
		や宇陀川で多く確認されている。
	両生類の卵及び	・平成 15 年度調査では全ての種において卵塊の確認はされず、幼
	幼生の確認状況	生が確認された種はアマガエルのみであった。
		・全体的な傾向としては、タゴガエルやカジカガエルといった流水
		性種は、概ね良好な状態で推移している。
		<ul><li>しかし、イモリやトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル等の</li></ul>
		止水性種については、平成 10 年度から平成 15 年度にかけて、減
		少する傾向がみられている。
	ダム湖左右岸に	・移動能力の高い大~中型哺乳類、移動能力の低い小型哺乳類とも
	おける哺乳類の	に、概ね両岸で経年的に確認されている。
	確認状況	・左右岸で偏りがみられたのは、コウモリ類等があげられるがコウ
		モリ類は深谷川の導水路内をねぐらとしていることに起因して
		いる。

### 2) ダムの存在・供用による影響の整理結果

#### (a) 回遊性魚類

ダムの存在・供用による回遊性魚類への影響の整理結果を表 6.3.5-9 に示す。

表 6.3.5-9 ダムの存在・共用による回遊性魚類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
生息状況 の変化	ダム湖及び流入河川における 回遊性魚類の確認状況	河川の連続性の分断

### (b) 両生類·爬虫類·哺乳類

ダムの存在・供用による両生類・爬虫類・哺乳類への影響の整理結果を表 6.3.5-10 に示す。

表 6.3.5-10 ダムの存在・共用による両生類・爬虫類・哺乳類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在・供用に伴う影響
生息状況 の変化	流水性両生類の確認状況	水域の連続性の分断 渓流環境の孤立化
	両生類の卵及び幼生の確認状 況	渓流環境の孤立化
	ダム湖左右岸における哺乳類 の確認状況	陸域の連続性の分断

#### 3) ダム湖の存在・供用以外の考えうる因子の整理

### (a) 両生類·爬虫類·哺乳類

ダムの存在・供用以外の考えうる因子による両生類・爬虫類・哺乳類への整理結果を表 6.3.5-11に示す。

表 6.3.5-11 ダムの存在以外による両生類・爬虫類・哺乳類への影響の整理結果

	検討項目	ダムの存在以外の影響
生息状況	両生類の卵及び幼生の確認状	住宅地の造成
の変化	況	農耕地の減少

- 4) 連続性の観点からみた生物の変化に対する影響の検証結果
  - (a)回遊性魚類

回遊性魚類の生息状況の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.5-12 に示す。

表 6.3.5-12 連続性の観点からみた回遊性魚類の変化に対する影響の検証結果

検討項目		変化の状況	ダムの 存在・供用に 伴う影響	ダムの 存在以外 の影響	検証結果	
回遊性魚類の変化	回遊性魚類の確認状況ダム湖及び流入河川における	・調査実施年度によって、調査対象とから一概には言えないが、メム湖内及び流入河川で確認認個体数の割合も概ね同様な状況は良好であると考えられる。 ・ただし、主な流入河川となる宇陀川については、回遊性魚類の平成とからいるが少ない状況にあり、平成個体数が少ない状況にあり、平成12年度に設置された水質保全ダムの影響が懸念される。 ・アユが再生産していることが明らかとなったが、仔アユの確認は、天満川流入地点付近に集中して水は、は、中で、大満川にない、大満川流入地点付近に強認されていない。			・宇陀川については、水質 保全ダムの存在により、 移動が制限されている 可能性があると考えら れる。	

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんど見られないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

されている可能性が考えら

れる。

#### (b) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況の変化に対する影響の検証結果を表 6.3.5-13 に示す。

表 6.3.5-13 連続性の観点からみた両生類・爬虫類・哺乳類の

#### 変化に対する影響の検証結果 ダムの存 ダムの存在 検討 変化の状況 在・供用に 検証結果 項目 以外の影響 伴う影響 流水性両生類としては、オオサンショウ ・供用開始から数十年が経過 水域の連 流 ウオ、タゴガエル、カジカガエルの3 恴 続性の分 していることから、ダム湖 種が確認されている。 状 性 周辺では、流水性両生類の ・オオサンショウウオは平成19年度に実 況 画 • 渓流環境 再生産が行われ続けている 生 施した魚類調査時に、流入河川である深 $\mathcal{D}$ 変化 谷川で確認されている。 の孤立化 ものと考えられる。オオサ 類 ・タゴガエルは、ダム湖周辺で継続的に確認されており、近年では確認地点数も増 $\mathcal{O}$ ンショウウオについては、 確 ダムの存在による水域の連 認 加する傾向にある。流入河川である深谷 続性の分断によって生息環 $\triangle$ 米 川や小規模な沢筋等、右岸側で多く確認 境が変化している可能性が されている。 カジカガエルは、ダム湖周辺で継続的に あると考えられる。また、 確認されている。確認地点数は、各調査 ダムの存在によって流入河 年度ともに多くはないが、流入河川であ 川間の移動が阻害され、生 る深谷川や宇陀川で多く確認されてい 息環境の孤立化といった影 る。 響が及んでいる可能性があ ると考えられる。 ・平成 15 年度調査では全ての種において ・流水性の種については、卵 渓流環境 ・住宅地の 卵塊の確認はされず、幼生が確認された の孤立 造成 や幼生は確認されていない 類 種はアマガエルのみであった。 農耕地の が、ダムの右岸側を中心に 化 ・全体的な傾向としては、タゴガエルやカ 減少 継続的に成体が確認されて 卵 ジカガエルといった流水性種は、概ね良 いることから、渓流環境の 及 び 好な状態で推移している。 孤立化といった影響は及ん 幼生 ・しかし、イモリやトノサマガエル、シュ でいないものと考えられ レーゲルアオガエル等の止水性種につ $\mathcal{O}$ 確 いては、平成10年度から平成15年度に ・止水環境を繁殖場所とする 認 かけて、減少する傾向がみられている。 左記の種は、ダム湖等の規 状 模の大きな止水環境は繁殖 場所としてほとんど利用し ないことから、ダム湖の周 辺における止水域の減少等 により、減少している可能 性がある。 移動能力の高い大~中型哺乳類、移動能 陸域の連 確認された多くの種が左右 哺 ダ 乳 ム 続性の 力の低い小型哺乳類ともに、概ね両岸で 岸ともに確認されており、 類湖 経年的に確認されている。 分断 左右岸での生息状況に明確 の左 左右岸で偏りがみられたのは、コウモリ な差異は認められなかっ 確 右 類等があげられるがコウモリ類は深谷 た。 認岸 $\triangle$ 状お 川の導水路内をねぐらとしていること ・移動能力の低い種について 況け に起因している。 は、左右岸で個体群が分断

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんど見られないもの

- 6.4. 生物の生息・生育状況の変化の評価
- 6.4.1. ダム湖内における生物の生息・生育状況の変化の評価
  - (1)魚介類
    - 1) 魚類

魚類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.1-1 に示す。

表 6.4.1-1(1) ダム湖内における魚類の生息状況の変化の評価

検	討	## # DATE TO	ダムとの関連の検証網	吉	1	平価	14±0 W.A
項	目	変化の状況	果		視点	評価結果	今後の方針
魚類相の変化	種数	・平成4年度は11種の確認 であったが、経年的に増加し、平成19年度では 26種と、約2.5倍になっ ている。	・アユやゲンゴロウブ ナの放流に随伴し て、あるいはオオク チバス(ブラックバ ス)、ブルーギルの ように、意図的に放 流された魚類が多 く定着しているも のと考えられる。	•	・種の多 様性の 保全	・在保るも類様保取む性る来全とにの性全り必が。	・今後も河川水辺の国勢 調査等により、継続し て魚類の生息状況等 の推移を確認してい く。
生息状況の変化	優占種の変化	・経年とともに変化している。 ・平成4年度はギンブナ、 平成5年度はオイカワが 優占し、平成8年度から 19年度にかけては、概ね 3~4種が各10~25%の割 合で確認されており、平 成19年度ではウキゴリ、 オイカワ、コウライモロ コの確認割合が20%前後 となっている。 ・平成19年度では、ブルー ギルが増加する傾向がみ られている。	・調査実施年度によって、	• △	・種の多 様性の 保全	・在保るも類様保取む性る来全とにの性全り必が。をを、多のに組要ある。	・他の生物への影響、並びに釣り等の湖面利用の状況を勘案した上で、対応を検討することが必要である。 ・特定外来生物については、関係、必要するのは、関係を要するのは、対応を協議する。 ・今後も河川より、継続して独落を加速を協議がより、継続等の生息状況のが推移を確認していく。
	ダム湖内に生息する魚類の状況	・主な構成種は、フナ類や ニゴイ類等のコイ科魚 類、ナマズ、ブルーギル、 オオクチバスで、平成4 年度から継続的に確認されている。 ・確認個体数は、年度によって変動している。 ・確認割合は、ギンブナが減少傾向する一方で、エゴイ類が増加、また平成19年度にはブルーギルが増加する。	・調査実施年度によって、優占種が変化していることなないが、直近の調査では対かいがではブルーギルが急速に増加する領の、この影響によっな外来種の影響によっていると考えられる。	•	・種の多 様性の 保全	・在保るも類様保取む性るとにの性全り必が。	・他の生物への影響、並びに釣り等の湖面利用の状況を勘案した上で、対応を検討することが必要である。 ・特定外来生物については、関係各所に報応と対応を協議する。 ・今後も河川水辺の国勢調査等により、継続して魚類の生息状況等の推移を確認していく。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんど見られないもの

表 6.4.1-1 (2) ダム湖内における魚類の生息状況の変化の評価

棆	:討		ダムとの関連の検証	結		評価	
項		変化の状況	果	·/I'H	視点	評価結果	今後の方針
生息状況の変化	回遊性魚類の状況	<ul> <li>・回遊性種は、これまでの調査で6種確認されている。</li> <li>・平成8年度まではトウョシノボリが確認割合のほとんどを占めていたが、中間では多いでは、平成19年度ではウキゴリが半数以上を占めている。</li> <li>・アユについては、室生ダムにおいて、再生をなっている。</li> <li>・アコとが明らかとなっている。</li> </ul>	・水置保証がいのつ及がる認多確、てるといいのののとがる認多確、である。 さく認時はいと でいと でいと がいら がいら がいら がいと	<ul><li>♠</li><li>△</li></ul>	・生態系トクの保全	・ダ及保のよ阻念る回類状い細で(つ再確しが全存る害さ。遊の態ではあユい生認なががなれる。とはあれて産された質ムに動懸を負担の許明をはがれた。	・今後も河川水辺の、 ・今後間で無類を確して、 ・調では、 での、大きでは、 では、 ででは、 ででは、 ででででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででででできる。 ・でででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで
	重要種の状況	・継続的に確認されているのはギギであり、平成5年度から確認され始めたウキゴリは、平成19年度に増加する傾向がみられる。 ■放流等が由来と考えられる種 ・継続的な確認は少なく、スゴモロコやホンモロコ、ア	■自然を表えられる。 ・種のないでは、 ・種のないでは、 ・種のないでは、 ・種のは、 ・で	<ul><li>△</li><li>△</li></ul>	・重要種の保全	で ・ 生 な の な の な の な の な の の の の の の の の の の の の の	・今後も河川水辺の国 勢調査等により、継 続して重要種の生息 状況等の推移を確認 していく。
	外来種の状況	<ul> <li>・平成4年度から継続的にブルーギル及びオオクチバス(ブラックバス)が確認され、平成19年度ではブルーギルの増加が著しい。</li> <li>・平成13年度以降にタウナギが確認されている。</li> </ul>	・ブルーギルは、近 年増加傾向にあ り、ダム湖の止水 環境に適応してい ると考えられる。	•	・種の多様性の保全	・ 外捕る多低存下される多低存下される。	・特定外来生物につい 特定外来生物につい 大は、関施し、を がある。 ・今では、 ・今では、 がある。 ・今では、 ・今では、 ・今では、 ・のがでする。 ・外では、 ・外では、 ・外では、 ・外では、 ・外では、 ・外では、 ・外では、 ・外では、 ・のは、。。 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

2)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.1-2 に示す。

表 6.4.1-2 ダム湖内におけるエビ・カニ・貝類の生息状況の変化の評価

10 - 11	-T 11					評価	今後の方針	
検討	<b>垻</b> 目	変化の状況	ダムとの関連の検証結	果	視点	評価結果		
エビ・カニ・貝類相の変化	種数	・平成4年度から平成8年度にかけて確認種数は増加する傾向にあるが、平成8年度から平成13年度にかけては横ばいとなっている。	・エビ類は河川緩流部 やダム湖を恒常的な 生息環境として利用 している。 ・エビ類以外は流入河 川等から一時的に流 下してきたものであ ると考えられる。		・種の多 様性の 保全	・概ね良好な状れ良好なで考えられれて、 態と考類にないる (エビ的で能性があれた)。	・今後も河流をといる。 今後を動き、・今後を動き、・・のは、・・のは、・・のは、・・のは、・・のは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・ののは、・・・ののは、・・・・・・・・	
生息状況の変化	エビ・カニ・貝類の状況ダム湖内に生息する	・確認個体数は平成4年度 から平成8年度までは 増加傾向にあったが、以 降平成13年度にかけて は、減少に転じている。 これはスジエビの確認 個体数に起因する。 ・確認割合は、経年ととも に、タニシ類が減少、ス ジエビ等のエビ類が増 加傾向にある。	・平成8年度から平成 13年度にかけての スジエビの減少は、 肉食性魚類等の影響 が及んでいる可能性 があるが、変化の要 因については不明で ある。		・種の多 様 性 の 保全	・優上種であるスジー という という という という という という できない はいい ない はい ない はい ない はい ない はい ない はい かい はい かい はい かい かい はい かい はい かい はい かい はい はい かい はい	・今後も河川水辺の国外では、	
	重要種の状況	・これまでの調査では、オオタニシ、モノアラガイ、マシジミの3種が確認されているが、そのほとんどは単年度の確認であり、個体数も少ない。	・確認された重要種は、 水位変動の大きなダ ム湖を好適な生息環 境とはしないことか ら、周辺環境から一 時的に移動してきた 個体が確認された可 能性がある。	Δ	・重要種の保全	・ダム湖はこれまででは重要はでいる生息ではないと考えいる。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続しま 重要種の生息を確 況等の推移を確 認していく。	
	外来種の状況	・平成 13 年度にアメリカ ザリガニが 2 個体確認 されている。	・止水環境の存在によ り生息が可能になっ たと考えられるが、 定着しているかどう かは不明である。			・現個と繋いるは、、ではがらはとりでがられるでがいるは考定をいい、ほ考定をいいてきないが、来値は見たではを上げある。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 外来種の生息状 況等の推移を監 視していく。	

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

# (2) 底生動物

底生動物の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.1-3 に示す。

表 6.4.1-3(1) ダム湖内における底生動物の生息状況の変化の評価

検	計		<b>У Д/М/Р 11 С 03 Г / О 15.</b> Д 1			評価	
項		変化の状況	ダムとの関連の検証結果	₽	視点	評価結果	今後の方針
底生動物相の変化	種数	・平成5年度が5種と最も 少なく、平成7年度では 27種、平成12年度では 71種と増加するが、平成 17年度では44種、平成 20年度では39種と減少 に転じている。 ・平成12年度から平成20 年度にかけての減少の主 要因は、ヒラタカゲロウ 類やシマトビケラ類とい った流水性種であった。	・確認種数の増減について性を ・確認では、現状とない。 を対して、が、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	•	・種の多様性の保全	<ul><li>・ダムの貯水量 の変化に影響 されている可 能性がある。</li></ul>	・今後も河川水辺 の国外継続して り、継続の生息 生動の が を で いく。
生息状況の変化	優占種の変化	・ダム湖の深部では、イトミミズ科及びユスリカ科の2種が継続的に確認されているが、そのほとんどは強腐水性種となっている。 ・ダムサイトに近い最深部(基準点)では、無生物となる状態もしばしば見受けられる。	・ダム湖底の嫌気化といった環境条件の変化による可能性があると考えられる。	7	・種の多 様性の保 全	<ul><li>・ダム嫌気ながいる条</li><li>は、いる条</li><li>生化とと</li><li>生化底質弱</li><li>相している。</li></ul>	・今後も河川水辺 の国勢調維続して より、継続の生息 大況等の推移の 確認して応じて 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
	ダム湖湖岸に生息する底生動物の状況	・平成7年度は26種、平成12年度では69種が確認されていたが、平成17年度では44種、平成20年度では35種と減少している。 ・確認種数が最も多い平成12年度は、カゲロウ目、トンボ目、ハエ目といった種群が多く、これらの多くは流水性種である。	・確認種数の増減について性種のは、主に流水性種の出現状況に左右といる。 ・確認は、が、このムは、このムが、このは、が、の時水量のが水量のがある。 ・水質保全が認る。 ・水質に、でがいるでは、 ・水質に、でがいるでは、 ・水質に、でがいるでは、 ・水質に、でがいるでは、 ・水質に、でいいでは、 ・の環境では、 ・のでいるでは、 ・のできまると、 ・でいいでは、 ・でいいが、 ・でいが、 ・でいいが、 ・でいいが、 ・でいいが、 ・でいがいが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいががが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいがが、 ・でいががが、 ・でいががが、 ・でいがががががががががががががががががががががががががががががががががががが	7	・種の多 様性の保 全	・ダム湖湖位 が大き物は、東 が生っなできれる。 を が、 のない のない のない のない のない のない のない のない のない のない	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 底生動物の生息 状況等の推移を 確認していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

表 6.4.1-3(2) ダム湖内における底生動物の生息状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結	里		評価	今後の方針	
項	目	<b>交口のが</b>	) THE TOTAL		視点 評価結果		7 (5 % ) 7 5 5 1	
生息状況の変化	重要種の状況	・平成7年度調査時にオオタニシ4個体、平成17年度調査時にコオイムシが2個体、平成20年度にホンサナエが8個体、アオサナエが3個体確認されている。	・確認された重要を重要を重要を表す。本では、水位変ををは、水位変ををは、水のでででででできる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる	$\triangle$	・重要種の保全	<ul><li>・ダムでれ要なで考」</li><li>・ダムでれ要なで考します</li><li>・ダムでれ要なで考します</li><li>・ダムでれ要なで考します</li><li>・ダムでれます</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのおける</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよる</li><li>・ダムのよ</li></ul>	・ 今後も河川水辺 の国は勢、継続の を重要等の を重い、種の を を を を を を いく。	
	外来種の状況	・平成 12 年度にサカマキガ イ及びアメリカザリガニ が各 1 個体、平成 20 年度 にコシダカヒメモノアラ ガイが 1 個体確認されて いる。	・止水環境の存在により生息が可能になったと考えられるが、定着しているかどうかは不明である。	$\triangle$	・種の多 様性の 保全	・現認少か影ん考がば生すがで体い大はなら着来を可るはなら着を可るあるがとなととるれの迫性	・今後も河川水辺 の国勢調査等 によ外、継続し て外、種の生 息水で監視して いく。	

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (3)動植物プランクトン

1) 植物プランクトン

植物プランクトンの生育状況の変化の評価結果を表 6.4.1-4 に示す。

表 6.4.1-4 ダム湖内における植物プランクトンの生育状況の変化の評価

					ı		i
検討	寸項	変化の状況	ダムとの関連の検証網	上里		評価	今後の方針
	1	交   L ツ 小 ル	アンスの対理が機能が	一不	視点	評価結果	コータマノカエ
植物プランクトン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度は59種、平成11年度は94種、平成16年度は64種、平成18年度は37種と、増減している。	・確認種数の増加や減少は、同定技術の進歩や調査時期によるものが大きく、環境の変化による影響は確認できなかった。	Δ	・種の多 様性の 保全	・変化の要因はるというでは、できまれている。というでは、調すがある。	・今後のにしている。 ・今後のにしてのよれる。 ・今後のにしてのよれる。 ・今後のにしてのよれる。 ・今後のにしてのようでは、 ・今後のにしてのようでは、 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・今後のにしている。 ・ののしている。 ・の
生育状況の変化	優占種の変化	・平成5年度、平成16年度 及び平成18年度は藍藻 類で、平成11年度は珪藻 類であった。 ・季節的には、夏季は藍藻 類、緑藻類、秋季から冬 季かけては珪藻類が優先 する傾向がみられてい る。	・止水環境に適応した 種が優占している と考えられる。 ・夏季にアオコの発生 原因である藍藻が 多くみられな質が 流入河川の水質、 があるな要因がある 合的な要因がある ものと考えられる。	•	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・ダム湖内、流 入河川のの 質保全に り組む必 性がある。</li></ul>	・今後国は、

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# 2)動物プランクトン

動物プランクトンの生息状況の変化の評価結果を表 6.4.1-5 に示す。

表 6.4.1-5 ダム湖内における動物プランクトンの生息状況の変化の評価

検i 項		変化の状況	ダムとの関連の検証約	吉果	視点	評価 評価結果	今後の方針
動物プランクトン相の変化	種数	・確認種数については、平 成5年度は30種、平成 11年度は65種、平成16 年度は62種、平成18 年度は33種と、増減し ている。	・確認種数の増加や減少は、同定技術の進歩や調査時期によるものが大きく、環境の変化による影響は確認できなかった。	Δ	・種の多 様性の 保全	<ul><li>変化の要因は 不ことのでらい。 続きとしま を必える。</li></ul>	・今後も河川水辺の 国勢調査等により、継続して動物 プランクトンの生息状況等の推移を 確認していく。
生息状況の変化	優占種の変化	・これまでの調査において、原生生物である繊毛 虫類が優占する傾向が みられている。	・止水環境に適応した種が優占していると考えられる。 ・流入河川の水質やダム湖の存在等、複合的な要因があるものと考えられる。	•	・種の多 様性の 保全	・ダム湖深化し ななが、 生息条件でいる。 ま化し考え ある。	・今後も河川水辺の 国勢調査等により、継続して動物 プランクトンの生息状況等の推移を 確認していく。 ・状況に応じて、曝 気循環装置の設 等を検討する。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの

# (4)鳥類

鳥類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.1-6 に示す。

表 6.4.1-6(1) ダム湖内における鳥類の生息状況の変化の評価

検	討項	変化の状況	ダムとの関連の検証結り	Ħ		評価	今後の方針
	目	変化の状況	ダムとの関連の快祉結束	卡	視点	評価結果	今後の万軒
鳥類相の変化	種数	・調査実施年度によって、 11~16 種とばらつきが みられるが、確認種数 の大きな変動はなく、 比較的安定している。	<ul><li>・安定した水面と湖岸環境が形成されているものと考えられる。</li></ul>	•	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・飛来数等に 大きな変化 はない。</li></ul>	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して鳥 類の生息状況等 の推移を確認し ていく。
生息状況の変化	鳥類の状況 鳥類の状況 がム湖内(開放水面)に生息する	は平成 9 年度から平成 18・19 年度、コガモは 平成 5 年度から平成 14 年度まで継続して確認 されている。 ・その他の種については、 いずれも単年度の確認 となっている。	・開放を ・開放を ・開かを ・開かを ・開かを ・開かる ・開かる ・開かる ・開かる ・関かる ・のから ・のの ・のの ・のの ・のの ・のの ・のの ・のの ・の	Δ	・種の多様性の保全	・確認種数等 はにしまえられる。	・ 今後も河川水辺 のより、生息を でいく。 でいく。
	ダム湖湖岸に生息する鳥類の状況	・確認個体数は平成14年度にかけては平時期にでは、 ではいけてはずる傾向がみかする。 ・水辺を利用する種とオールでが、のにある。 ・水辺がでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、大きがでは、は、大きがでは、は、大きがでは、は、大きがでは、は、大きがでは、は、大きがでは、は、大きがでは、は、大きが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・浅い水際を 湿にといる を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	•	・種の多様全	・水部に用つ確のがるのがる。	・今後も河川水辺 の国、継続して り、生息を でいく。 でいく。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

表 6.4.1-6(2) ダム湖内における鳥類の生息状況の変化の評価

検討	変化の状況	ダムとの関連の検証結	甲.		評価	今後の方針
項目	変化の状化	グムとの関連の機皿相末		視点	評価結果	7 10 00 01 11
生息状況の変化	・これまでの調査で確認されている重要種は、11種で、このうち、ゴイサギ、オシドリ、ヤマセミについては、継続的に確認されている。また、その種については、単年にの確認が多い状況にある。・重要種の確認種数は大、の確認がものの、確認個体数において、平成18・19年度に減少がみられる。	・浅いないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	•	・重要種 の生息の ・ 生の 全	・概ねでいら近果重認減するとが調お種体、き好をとが調お種体、きな移とが調お種体、きなりがある。	・今後のにて息移でである。一会後国のはでは、東沢をでは、東沢をでいる。というできません。
の外状来況和	来種は確認されていな	_		・種の多 様性の 保全	・4 箇年の調あ育との明続を生変でとり、の明続をする状化あてりる。 さんしょう いんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	・今後も河のとか、一つのでは、一つのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中でのでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# 6.4.2. 流入河川における生物の生息・生育状況の変化の評価

### (1) 魚介類

# 1) 魚類

魚類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-1 に示す。

表 6.4.2-1 (1) 流入河川における魚類の生息状況の変化の評価

検討	項		ル人州川においる			評価	
目		変化の状況	ダムとの関連の検証網	吉果	視点	評価結果	今後の方針
魚類相の変化	数	・宇陀川: 平成 4 年度から 平成 19 年度にかけて、 確認種数が 11 種から 21 種へと増加してい る。 ・天満川: 平成 4 年度から 平成 19 年度にかけて、 確認種数が 3 種から 10 種へと増加している。 ・深谷川: 平成 13 年度から 下、確認種数が 2 種から で、確認種数が 2 種から も 4 種へと増加している。	・確認種数の増加は、 調査精度等のもり に拠るとこやゲン ロウボ、アコやが放う ロウブナの 随伴して を が、ブナの を が、ブナの を が、ブナの を は に が た で が た で た で が た で た で が た で た で が た さ た た れ た れ た れ た る た る と こ る た る と る と る と る と る と る と る と る と る と	<b>●</b> △	・種様の全	・在来種を保全 すると類に、無の保証の 様取の は、性の がある。	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して魚類 の生息状況等の 推移を確認して いく。
息状況の	<b>慶占種の変化</b>	・宇陀川:確認ある。優は動力を がでは、4年をよりを を関いる。では、19年のでは、19年のでは、19年のでは、27%となり、27%となり、27%となり、27%となり、27%となり、27%となり、20では、19年度では、19年度のでは、19年度	・加境響も 度種ウ少ら勘境のい て、のでえい加境響も 度種ウ少ら勘境のい て、のでえれるのである。 では、 で、 のでえが、 のでえ ので とり、 にんと、 で、 のでえ が にんが、 にんが、 にんが、 で、 のでえ が が にが	Δ	・種様の全	・経種でに要でかた施性がいつ因あら調すがに変るいはる継査るる。として不こ続を必。	・今後も河川水辺の 国勢調査等に無 り、継続して無 り、生息状況 推移を確認 いく。

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

表 6.4.2-1 (2) 流入河川における魚類の生息状況の変化の評価

検討	変化の状況	ダムとの関連の検証結	果	I	評価	今後の方針
項 生息状況の変化 生息状況の変化	・宇陀川:確認個体数は増加傾向にある。優占種は、平成4年度はアユにはったが、平成19年度にはウキゴリとなってといる。・天満川:確認個体数は平成8年度をピークに減少収成19年度にかけては概を13年度がでは、平成5年度及び平は横ばいでは5年度及びボリ、いる。をはトウョシとなっずが平成19年度に1個体確認されたのみである。	・宇陀川:確認種数・個 をもといる。 をもとといる。 を表えたいれる。 を表えたいれる。 を表えたいれる。 を表対に、減か増れた。 を表対が増れた。 を表が増れた。 が、かり、しの種をといる。 を表が増れた。 が、かり、ででである。 が、かり、でのするといる。 が、かり、でのするといる。 が、かり、でのするといる。 が、からいる。 が、からいる。 が、からいる。 が、からいる。 が、このでは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	Δ	・生態・フの保全	評価結果 ・経年的にしていてで、とはないでで、といるとしたのでは、から変したのである。	・今後も河川水辺 の国勢の継続し によ類の推移 で無いででである。 ・今後も河川水辺 のは、 のは、 のは、 のは、 のが、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
重要種の状況	宇陀川で増加、深谷川で増加、深谷川で増加、深谷川で増加、アマがカはででは、アマがカはででは、アマがはででは、アマがは、ででは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、では、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロがでは、アロが、アロが、アロが、アロが、アロが、アロが、アロが、アロが、アロが、アロが	■ 19 ・ で は と か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	Δ	・重要種の保全	・重要種の保全に取り組む必要性がある。	・今後国別のでは、 一学のでは、 一学のでは
外来種の状況	・平成13年度にタウナギが 天満川で4個体、平成19 年度にタウナギが宇陀川 で3個体、天満川で2個体 確認されている。	・宇陀川、天満川におけるタウナギの定着についての詳細は不明であるが、止水環境の存在による影響とは無関係であると考えられる。	×	・種の多 様性の 保全	・現状では、確認いながが、大きんらいま響と考えずればをといる。定着すれば在来種の可能性がある。	・今後も河川水辺 の国勢調査続し により、継続し て外沢種の生 息状監視して いく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

2)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-2 に示す。

表 6.4.2-2 流入河川におけるエビ・カニ・貝類の生息状況の変化の評価

		変化の状況	ダムとの関連の検証線	ダムとの関連の検証結果・		評価	今後の方針
		交化の状況	グムとの角座の傾血が		視点	評価結果	7 版の刀型
エビ・カニ・貝類相の変化	種数	・平成 4 年度から平成 13 年度にかけて、確認種数 は 3~4 種とほぼ横ばい となっている。	・エビ類は河川緩流部 やダム湖、カササミンででは河川を生いでがらればですることでではでいる。 では、流入河川をとといる。 で変化はないたいではないである。	×	・種の多性保の全	・概ね良好な状態で推移を 態でなると たられる。	・今後国外、 ・今後国外、 ・今後国外、 ・今後国外、 ・大学の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
生息状況の変化	優占種の変化	・テナガエビを除き、経年 とともに増加傾向にあ る。しかし、スジエビに ついては、平成8年度か ら平成13年度にかけて、 減少に転じている。	・平成8年度から平成 13年度にかけての スジエビの減少は、 肉食性魚類等の影 響が及んでいる可 能性があるが、変化 の要因は不明であ る。	Δ	・種様の全	・優ス減て要でかた施で工に変はる継査を必って変はる継査を必ったがある。調すがある。	・今後国外、・今後国外、・今後国外、・今後国外、・・生生のは、・生生のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
	重要種の状況	・平成 13 年度に、マシジミ が天満川で 1 個体確認さ れている。	・マシジミは河川や水 路等の流水域を主 な生息環境とする。	×	・重要種 の 保 全	・概ね良好な状態で推移していると考えられる。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 重要種の生息状 況等の推移を確 認していく。
	外来種の状況	<ul><li>・これまでの調査において、 外来種の生息は確認され ていない。</li></ul>	_	_	・種の多 様 の 全	・4 箇果の調あるで生ので生ので生変でした。の明続を子変でした。の明続を行る。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 外来種の生息状 況等の推移を監 視していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (2) 底生動物

底生動物の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-3 に示す。

表 6.4.2-3(1) 流入河川における底生動物の生息状況の変化の評価

栺	討		ダムとの関連の検証	Time			
	目	変化の状況	果		視点	評価結果	今後の方針
底生動物相の変化	種数優	<ul> <li>・平成5年度は38種であったが、経年とともに増加し、平成17年度では182種、平成20年度では171種となっている。</li> <li>・主な分類群は、カゲロウ目、トビケラ目、ハエ目である。</li> <li>・宇陀川:平成7年度では、</li> </ul>	・確認種数の増加に ついては、調査手 法等の変更や、分 類に係わる可能性 があるが、変化の 要因は不明であ る。 ・宇陀川:調査年度・	$\triangle$	性の保全・種の多様	ことから、継 続した調査 を実施する 必要性があ る。 ・宇陀川につい	・今後も河川水辺 のはより、継続の には、動物等 は、生息を ・今後も河川水辺 ・今後も河川水辺
生息状況の変化	<b>優占種の変化</b>	基類降かミみつら的と割満トコ科ミ成ケ認年との所に占マスがるはが向貧低マケゲ成科年等でとばかれてき傾にがにき傾にがにする。はが向貧低マケが成科年とであれてきがでいて、のようとのはがはなり、大きのではが、大きのいっなものでは、大きのででであり、大きのででは、大きのででは、大きのでででが、大きのでででは、大きのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	時認なが因天時認なが因深はらかる要る、大れのる度、大れのる体度度て化で、は、は別個違、は別個違、は別の明調とを不明に体いそ不明に体いでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	Δ	性全 の	て 性 種 合 い る 。	のにて生推ていまり、生状をく。調整をはいる。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

表 6.4.2-3(2) 流入河川における底生動物の生息状況の変化の評価

梢	討	## // // \/P	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		10 th a W A		
	〔目	変化の状況	ダムとの関連の検証網	古果	視点	評価結果	今後の方針
生息状況の変化	重要種の状況	・平成7年度に1種、平成17年度に6種、平成17年度に6種、平成20年度に4種、平成20年度に7種が確認されて、平成20年度がイスをでは、マースではアーマー・マーン・マーン・マーン・マーン・マーン・マーン・マーン・マーン・マーン・	・確種水か在とら度ラ及シ止とらてる深シタががにられたで水影い平さイコ湿息辺に能れけゲ認向他とないるが、よどる境響とはれて、おいれたで水が、はが、ないが、はるな、いが、はで水が、はで水が、はで水が、はで水が、はで水がが、はで水が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	Δ	・重要権		・今後も河川査等に の国勢調統に より、継の生息を 重要の推移を 説していく。
	外来種の状況	・コシダカヒメモノアラガイ、サカマキガイ、アラガイ、サカマキガイ、アラガイ、アラガーは平成 20 年度に宇陀川・天満川では経年的リカザリガニは平がリガーでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールででは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールでは30、ボールが、30、ボー	・確認状況の推移か ら、サカマキガ川 は、宇陀川・下満る は、宇陀川・いる。ま に定着してれる。ま た、アメリカザ、宇 ニについても、い に定着している。 ものと考えられる。	$\triangle$	<ul><li>種の多様性の保全</li></ul>	・現認少かほいれ種がば生すが状個ならととるの増在息るあは数こ響どえ外体す種圧能るあるとなるの地なとである。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 外来種の生息を 況等の推移を監 視していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

### (3)動植物プランクトン

1) 植物プランクトン

植物プランクトンの生育状況の変化の評価結果を表 6.4.2-4 に示す。

表 6.4.2-4 流入河川における植物プランクトンの生育状況の変化の評価

検診	<b>寸</b>	変化の状況	ダムとの関連の検証結果			評価	今後の方針
項目		交にの状況	プログの例注の機能相	<b>~</b>	視点	評価結果	一人(シング)町
の変化 植物プランクトン相	種数	・確認種数については、平成5年度は33種、平成11年度は74種、平成16年度は22種と、平成5年度から平成11年度にかけて増加し、以降は減少傾向となっている。	・確認種数の増減は、 調査手法等の変更 や、分類に係わる知 見の変化によるもの が大きく、環境の変 化による影響は確認 できなかった。	Δ	・種の多 様性の 保全	・変化の要因は 不として を を と し と し と し 実 要 性 が る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	・今後も河川水西 の国より、ポーク には植り、プロ が、プロ が、プロ が、プロ が、プロ が、プロ が、アン が、アン が、アン が、アン が、アン が、アン が、アン が、アン
生育状況の変化	優占種の変化	・平成 5 年度及び平成 16 年度は珪藻類、平成 11 年度は緑藻類であった。 ・確認種は、止水域や河川 下流、小さな池や養魚 池、富栄養化した止水域 に出現する種が多い傾 向にあった。	・止水域や河川下流、 小さな池や養魚池、 富栄養化した止水域 に出現する種が多か ったが、水質環境が 悪化している状況で はないと考えられ る。	$\triangle$	・種の多 様性の 保全	・流入河川の水 質保全に取 り組む必要 性がある。	・今後も河川水査等とも勢のによ植いののはができまれた。 できる はん かん いん はん かん いん はん かん いん はん かん はん いん はん いん はん はん いん はん

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 2)動物プランクトン

動物プランクトンの生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-5 に示す。

表 6.4.2-5 流入河川における動物プランクトンの生息状況の変化の評価

検討	変化の状況 ダムとの関連の検証結果		評価		今後の方針		
項目	交にの状況	グムとの角座の機能相木		視点	評価結果	1 1久 > 2 / 3 亚	
相の変化 動物プランクトン	・確認種数について は、平成5年度は4 種、平成11年度は 44種、平成16年度 と33種と、増減し ている。	・確認種数の増減は、同定 技術の進歩や調査時期に よるものが大きく、環境 の変化による影響は確認 できなかった。	Δ	保全	・変化ののでは、ことでは、ことでは、ことでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	・今後も河川水辺の 国勢調査等により、継続して動物 プランクトンの生息状況等の推 移を確認してい く。	
生息状況の変化	・確認種は、全国的に 普通にみられる種 や富栄養化した水 域に多い種であっ た。	・全国的に普通にみられる 種や富栄養化した水域に 多い種であったが、水質 環境が悪化している状況 ではないと考えられる。	Δ	・種の多 様性の 保全	・流入河川の 水質保全 に取り無 む必要性 がある。	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して動物 プランクトンの 生息状況等の推 移を確認してい く。	

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

# (4)植物

植物の生育状況の変化の評価結果を表 6.4.2-6 に示す。

表 6.4.2-6 流入河川における植物の生育状況の変化の評価

桧	:討		がに2く7-1711~8317~87E			評価		
項		変化の状況	ダムとの関連の検証結	手果	視点	評価結果	今後の方針	
植物相の変化	種数	・平成 16 年度の調査にお いて、205 種が確認さ れている。	・平成 16 年度調査結果のみであるため、経年比較はできないが、確認された種の多くはダム湖周辺でも確認されている種であった。	_	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・平調 16 年</li><li>年 期 4 日</li><li>4 日</li><li>4 日</li><li>4 日</li><li>5 日</li><li>6 年</li><li>7 日</li><li>7 日</li><li< td=""><td>・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して植物 の生育状況等の推 移を確認してい く。</td></li<></ul>	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して植物 の生育状況等の推 移を確認してい く。	
生育状況の変化	流入河川周辺に生育する植物の状況	・河川沿いや湿った環境 を好む種が多く確認され、樹林に生育する種 は少ない傾向がみられ ている。	・平成 16 年度調査結果のみであるため、 果のみであるため、 経年比較はできないが、確認された種の多くはダム湖周辺でも確認された。	_	・種の多様性の保全	・平調みめ等不継査要がある。 生変あし行る。 単のた況が、調必をある。	・今後も河川水辺の 国勢調査等に植物 り、継続しての生育状況等の推 移を確認してい く。	
	重要種の状況	<ul> <li>・平成16年度の調査において、重要種はゴキヅル、メハジキの2種確認されている。</li> <li>・これらは、いずれも河原等に生育する種である。</li> </ul>	<ul><li>・平成 16 年度調査結果のみであるため、 経年比較はできない。</li></ul>	_	・重要種 の保全	<ul><li>・平成 16 年度</li></ul>	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して重要 種の生育状況等の 推移を確認してい く。	
	外来種の状況	・平成 16 年度の調査において、外来種は 44 種(うち 3 種は特定外来種)が確認されている。	<ul><li>・平成 16 年度調査結果のみであるため、 経年比較はできない。</li></ul>	_	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・ 16 年度</li><li>・ 平調みめ等のでした</li><li>・ 本のではいりでした</li><li>・ 本のではいりでした</li><li>・ 本のではいりできる</li><li>・ 本のではいりできる</li><li>・ 本のではいる</li><li>・ 本のではいる</li><li< td=""><td>・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して外来 種の生育状況等の 推移を監視してい く。</td></li<></ul>	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して外来 種の生育状況等の 推移を監視してい く。	

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (5)鳥類

鳥類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-7 に示す。

表 6.4.2-7 流入河川における鳥類の生息状況の変化の評価

	討項 目	変化の状況	ダムとの関連の検証結	果		評価	今後の方針
					視点 評価結果		
鳥類相の変化	種数	・平成 14 年度では 26 種、 平成 18・19 年度で 32 種と増加する傾向がみ られている。	・確認種数の増加は、 渡来種数の増加の ほかに、調査手法の 違いによる影響も 考えられる。	×	・種の多 様 の 全	・確認種数の増加 はみられたが、 2 箇年の調査 結果の比、調査 あるため、調値を を継続し、、領向 を把握する。	・今後も河川水辺 の国政調査に より、継続して 鳥類の生息状 況等の推移を 確認していく。
生息状況の変化	状況 流入河川に生息する鳥類の	ミ、キセキレイ、セグロセキレイが、継続的に確認されている。 ・陸域を利用する種としては、ヒョドリ、ホオジロ、スズメ等草地から樹林に生息する種が多く確認されている。	サギ、アオサギ等の 大型のサギ類が確 認されなくなった ことから、河岸の植 生が繁茂するなど、 利用しづらい環境 に変化した可能性 があると考えられ る。	$\triangle$	・種の多 様の全 エ	・確認種数の増加はみられたが、2箇年の助をであるため、調査を継続し、傾向を把握する。	・今後も河川水辺 の国勢調査等 により、継続し て鳥類の生息 状況認してい く。
	重要種の状況	<ul> <li>・平成14年度の3種から、平成18・19年度は9年度は9年度は10年度に増加している種と対力では、オシドリ、オマシギスのは、オシドリ、カワガラのでは、カワガラでででは、カリンがではである。</li> <li>・陸域を利用する種がでが、イカル等樹林性のもいるがである。</li> <li>・変や草地性の種のである。</li> <li>・変や草地性の種のである。</li> <li>・変やされている。</li> </ul>	・重要種の増加は、渡 来数の増加のほか に、調査手法の違い による影響も考え られる。	Δ	・重要種の全	<ul><li>・確認種数の増加 はみられたが、 2 箇年の調査 結果の比、調査 を継続し、る を継提する。</li><li>要性がある。</li></ul>	・今後も河川水辺 の国勢調査等 によ勢、継続し て重状で 移を 移いく。
	外来種の状況	・コジュケイが平成 18・ 19 年度に確認されて いる。	・コジュケイは、日本 に移入された年代 が古い種であるこ とから、古くから周 辺で定着していた ものと考えられる。	Δ	・種の多 様 の 全	・確認種数の増加 はみられたが、 2 箇年の調査 結果の比較で あるため、調査 を継続し、傾向 を把握する必 要性がある。	・今後国川水辺 のによ外状をしまり、種の は外状を り、来況関 を り、来況関 で の留 が を の留 が を の留 が を の の の の の の の の の の の の の の の の の の

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (6) 両生類・爬虫類・哺乳類

#### 1) 両生類

両生類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-8 に示す。

表 6.4.2-8 流入河川における両生類の生息状況の変化の評価

		変化の状況	ダムとの関連の検証結	果	視点	評価 評価結果	今後の方針
両生類相の変化	種数	<ul> <li>・平成15年度の調査において、5種が確認された。</li> <li>・なお、確認種には、平成19年度魚類調査時に確認されたオオサンショウウオを含む。</li> </ul>	・平成 15 年度調査結果のみであるため、 経年比較はできるできるでいるではオオサンショウオを除き、ダムに 問辺で確認されている種である。	_	・種の多 様性の 保全	・平成 15 年度調査 結果のみである ため、生息状況 等の変化が不明 であり、継続し て調査を行う必 要がある。	・今後も河川水 辺のより 等して 続して 続して が 表して が と りの 推移を で れて い れ い れ い れ い れ り の れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ
生息状況の変化	流入河川に生息する両生類の状況	<ul> <li>・オオサンショウウオ、イモリ、アマガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエルの5種が確認されている。</li> <li>・流水性種は、オオサンショウウオのみでその他の種は、水田や池沼等の止水環境及び周辺樹林を利用する種である。</li> </ul>	・平成 15 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はでれたきないが、確認されたも はオオサンショム ウオを除き、ダム湖 周辺で確認されている種である。	_	・種の多 様性の 保全	・平成15年度調査 結果のみである ため、生息状況 等の変化が不明 であり、継続し て調査を行う必 要がある。	・今後も河川水 辺の国勢調査 等により、継 続して再生類 の生息状況等 の推移を確認 していく。
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、イモリが確認された。また、平成 19 年度魚類調査時には深谷川でオオサンショウウオが確認されている。	・平成 15 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はできな いが、イモリはダム 湖周辺で確認され ている。	_	・重要種の保全	・オンション・オオオを両生類にはないでは、大きないでは、大きないでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないが、まないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないかいが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、な	・今後も河川水 辺による 等して重状で では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では
	外来種の状況	・これまでの調査におい て、外来種は確認され ていない。	_	_	・種の多 様性の 保全	・平成15年度調査 結果のみである ため、生息状況 等の変化が不明 であり、継続し て調査を行う必 要がある。	・今後も河川水 辺の国勢調査 等により、継 続して外来種 の生息状況等 の推移を監視 していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 2)爬虫類

爬虫類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-9 に示す。

表 6.4.2-9 流入河川における爬虫類の生息状況の変化の評価

検	討	赤仏の仏辺	ガル しの即すの投票が	H		評価	<b>人然の士科</b>
項	目	変化の状況	ダムとの関連の検証結	禾	視点	評価結果	今後の方針
爬虫類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、2 種の爬虫類が確認されている。	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種の いずれもダム湖周辺 で確認されている種 であった。	_	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・平調みめ、等不というでは、</li><li>・平調みめ、等のでしてういいでした。</li><li>・平調みが、</li><li>・平調みが、</li><li>・平調みが、</li><li>・平調みが、</li><li>・平調みが、</li><li>・平調みが、</li><li>・平域を</li><li>・平域を</li><li>・平域を</li><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	・今後も河川水辺 の国的、継続し により、類の生 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、
生息状況の変化	流入河川に生息する爬虫類の状況	・クサガメ、カナヘビの 2 種が確認されている。	・平成15年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種の いずれもダム湖周辺 で確認されている種 であった。	_	・種の多 様性の 保全	・平調みが 田間の 田間の 田間の 田間の 田間の 田間の 田間の 田間の	・今後も河川水辺 のより、継続の生 にてに状で もり、類の は、類の は、類の は、類の は、数の は、数の は、数の は、数の は、数の は、数の は、数の は、ない は、ない は、ない。 と、ない。 と、。 と、。 と、と、。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、。 と、。
	状況の	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。	-	_	・重要種の保全	・ 調みめ等不継査要が出るで、の明続をが出るが出るがでしたのでいたのでしたのでのでしたのでのでしたのでのでいたのが出るが出る。 無	・今後も河川水辺の男工の国内の国外の一般を開発を発生の生まり、継続の生まででは、東種の生まででは、現をできませば、
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、外来種は確認されていない。	-	_	・種の多 様性の 保全	・ 調みめ等不継査要のた況が、調必をでしてうる。	・今後も河川水辺 の国勢調査等 により、継続し て外来種の生 息を監視して 移を監視して いく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 3)哺乳類

哺乳類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-10 に示す。

表 6.4.2-10 流入河川における哺乳類の生息状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証総	l: III		評価	今後の方針
項	目	変化の状况	ダムとの関連の検証が	5米	視点	評価結果	一句後の方面
哺乳類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査におい て、8 種の哺乳類が確認 された。	・平成 15 年度調査結果のみであるため、経年比較はできないが、コウベモグラを除き、確認された種はダム湖周辺で確認されている種である。	_	・種の多 様性の 保全	・平調 4 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 哺乳類の生息状 況等の推移を確 認していく。
生息状況の変化	流入河川に生息する哺乳類の状況	・コウベモグラ、ノウサギ、カヤネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属、イノシシ、ホンドジカの8種が確認された。	・平成 15 年度調査結果のみであるため、経年比較はできないが、コウベモグラを除き、確認された種はダム湖周辺で確認されている種である。	_	・種の多 様性の 保全	・平成 15 年度 成査で生変でしてうる。 を表しているである。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 哺乳類の生息状 況等の推移を確 認していく。
	重要種の状況	・平成15年度の調査において、カヤネズミが確認された。球巣がオギ群落等の草地環境で確認された。	・平成 15 年度調査結果のみであるため、経年比較はできないが、カヤネズミはダム湖周辺で確認されている。	_	・重要種 の保全	・平成 15 年度 間 15 年度 の た 15 年 の た の で り の で し で り で し で う で か あ で あ で あ る。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 重要種の生息状 況等の推移を確 認していく。
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、外来種は確認されていない。	_	_	・種の多 様性の 保全	・平調みは15年東のた況が、第一年では一番のでは、の明続をでしてうるのでしてうる。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 外来種の生息状 況等の推移を監 視していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (7) 陸上昆虫類等

陸上昆虫類等の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.2-11 に示す。

表 6.4.2-11 流入河川における陸上昆虫類等の生息状況の変化の評価

検	討	att II. o. ib. in	ki ) La BBY a Mark	<u> </u>		評価	A //
	目	変化の状況	ダムとの関連の検証約	古朱	視点	評価結果	今後の方針
陸上昆虫類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査で は、396 種が確認さ れている。	・平成 15 年度調査結 果のみであるため、 経年比較はできな いが、ダム湖周辺の データと比較して も種構成に大きな 変化はないと考え られる。	×	・種の多 様性の 保全	・平調みめ等不継査があるに、調みめ等不継査がよのでし行る。	・今後も河川水辺の 国勢調査等により、継続して陸上 昆虫類等の生息状 況等の推移を確認 していく。
生息状況の変化	流入河川に生息する陸上昆虫類等の状況	多かったのはコウチ、カーカーの 106 種での 106 種での 46 でカメムシの 57 種、チョウョの 45 種の順見出や チョウーの 大の では ビウ 目の 大の では ビウ 目の カーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカ		×	・種の多 様性の 保全	・平調みめ等不継査要のた況が、調必 年度のた況が、調必	・今後も河川水辺の 国勢調査等により、継続して陸上 昆虫類等の生息状 況等の推移を確認 していく。
	重要種の状況外来種の状況	<ul> <li>・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。</li> <li>・平成 15 年度において、ブタクサハムシの1種が確認されている。</li> </ul>		×	<ul><li>・重要種の保全</li><li>・種の多の保全</li></ul>	・調みめ等不継査要平調みめ等不継査要平調みめ等不継査要平調みめ等不継査要平調みめ等不継査が成査で、の明続をが年果る状化りてう。年果る状化りてう。年果る状化りてう。度のた況が、調必度のた況が、調必	・今後勢継続といる ・今後勢継続状況して をでする ・今の ・今の ・今の ・今の ・今の ・今の ・今の ・今の

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 6.4.3. 下流河川における生物の生息・生育状況の変化の評価

## (1) 魚介類

## 1) 魚類

魚類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-1 に示す。

表 6.4.3-1(1) 下流河川における魚類の生息状況の変化の評価

楨	討	がルの生河	ダムとの関連の検証結	Ħ		評価	<b>A然のまれ</b>
邛	目	変化の状況	ダムとの関連の検証箱	未	視点	評価結果	今後の方針
魚類相の変化	種数	<ul> <li>・平成8年度及び平成13年度が8種、平成19年度が11種と増加している。</li> <li>・平成19年度に新たに確認されたのは、ギギやウキゴリ等5種である。</li> </ul>	・確認種数・個体数ともに増加傾向に・供り、ダムの存在・供用に伴う影響は、概ね安定した状態で移しているものと考えられる。	×	・種の多 様性の 保全	・在来種を保全するととの集性の保知をといる。	・今後も河川水 辺のによて無い 続しまり、類の 生息状況で 推移をし ていく。
生息状況の変化	優占種の変化	・確認個体数については増加 傾向にある。また、優占種 については、平成8年度は、 トウョシノボリ及びオイ カワが優占していたが 成13年度にはオイカワ及 びヌマチチブとなって度 で はこれらの2種に加えてコ ウライモロコの確認 数が増加している。	・確認種数・個体数ともに、増加傾向にある。また、平成8年度から、平成13年度にかけて、優占種が大きく変化しているが、この変化の要因については不明である。	△	・種の多 様性の 保全	・経種てのい瞭とし実要的変る因は、あら調すがにないでかた施性がある。調すある。まなる。	・今後も河川水 辺のにより にて大 にて 、 独 を も を り 、 類 等 に し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
	底生性魚類の状況	・これまでの調査で、カマツカ、ギギ、ウラス・デリ、トブの 19 年度ではカマツカ 19 年度ではカマツカ で	・確認種数・個体数と もに、増加傾向にある。また、平成 8 年 度から、平成 13 年度 にかけて、優占種が 大きく変化しての要が、このでは不明である。	Δ	・種の多様性の保全	・経性占しとつ明こ続を必るに類がい要はでかた施性にの変る因、あい調すが底の変る因、あい調すが底の変るとしま要。	・今後も河川水 空により、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいく。 でいく。

#### 注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

表 6.4.3-1 (2) 下流河川における魚類の生息状況の変化の評価

桧	討			17る点類の主念状が0		価	
	〔目	変化の状況	ダムとの関連の検証結界	1	視点	評価結果	今後の方針
生息状況の変化	回遊性魚類の状況	・これまでの調査で、アユ、 ウキゴリ、トウヨシノボ リ、ヌマチチブの種が確認 されており、平成 19 年度 調査では 4 種すべてが確認されている。 ・確認個体数は、ヌマチチブ が増加している一方で、ト ウヨシノボリが減少傾向 にある。	・室生ダムのおいて、   ・室生が上ので、   を生動の認いでは、   ・室生動のは種畑では、   ・変を生動が、   ・では、   ・では、   ・では、   ・では、   ・では、   ・では、   ・では、   ・では、   ・では、   ・ででは、   ・ではがある。   ・ではいるは、   ・ではいる。   ・ではいるは、   ・ではいるはいるは、   ・ではいるはいるは、   ・ではいるはいるは、   ・ではいるはいるはいるはいるはいるはいるはいるはいるはいるはいるはいるはいるはいるは	• △	<ul><li>生態系</li><li>ネワークの保全</li></ul>	・ダのより、生物である。	・今後も河川水辺の多調をである。一つのより、継続類の生態をできまれる。
	里要種の状	・平成 19 年度に、ギギが 6	の要因については不明である。 ■放流等が由来と考えられる種 ・平成8年度から断続的に確認されているが、	Δ	・重要種の保全	・重今みれ生の取必るの、生の、ないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	・今後も河川水辺 の国外継続しまり、継続息を 重要のが でいく。 でいく。
	外来種の状況	・これまでの調査で、ブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)の2種が確認されている。 ・ブルーギルは平成8年度に12個体、平成19年度に1個体、オオクチバスは平成8年度に12個体、平成13年度に1個体が確認されている。	きた個体が定着している可能性があると考えられる。	•	・種の多様性の保全	・外捕る多低存下され食、様下量がれるのよのの現低念。	・特つ各施じす今のよ外況視外著れ宜を外でに、対。も勢、種のて種い場駆計をに協、水等し来もる、樹門をに協、水等し息を、響断、動に低係実応議・辺にて状監がさ適等を検して、状態がさ適等を、して、大きのよりにで、対

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんどみられないもの △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの 2)エビ・カニ・貝類

エビ・カニ・貝類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-2 に示す。

表 6.4.3-2 下流河川におけるエビ・カニ・貝類の生息状況の変化の評価

検	討	本ルの生活	ガルトの即すの投票が	+ HI		評価	\\\\ \alpha + \( \delta \)
項	目	変化の状況	ダムとの関連の検証網	<b>音</b> 未	視点	評価結果	今後の方針
エビ・カニ・貝類相の変化	種数	・平成8年度、平成13年度 ともに、ヒメタニシやカワ ニナ、テナガエビ、スジエ ビ等7種が確認されてい る。	・エビ類は河川緩流部 やダム湖、カワニナ、 マシジミ、サワガニ は河川を生息環境と することから、下流 河川には大きな変化 はなかったものと考 えられる。	×	・種の多 様性の 保全	・概ね良好な状態で推移と まいると考えられる。	・今後も河川査により、・今後も列川査・・今後・動り、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
生息状況の変化	優占種の変化	・カワニナが減少傾向にある一方で、テナガエビやス ジエビといったエビ類は 増加傾向にある。	・カワニナの減少、及 びエビ類の増加に ついての要因は不 明である。	$\triangle$	・種の多様性の保全	・ゲのカ減ビ要てでかた施性ン餌ワ少類因はあら調すがどこ及増つ明こ続を必あるの工加い瞭とし実要ルるのと、	・今後も河川水辺の国外ができる動物が、・今後を動物が、・・のでは、カリン・のでは、カリン・ののでは、カリン・ので
	重要種の状況	・平成 8 年度にマシジミ 2 個体、平成 13 年度にマシ ジミ 1 個体が確認されて いる。	・マシジミは河川や水 路等の流水域を主 な生息環境とする ことから、下流河川 には大きな変化は なかったものと考 えられる。	×	・重要種 の保全	・概ね良好な状態で推移していると考えられる。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 重要種の生息状 況等の推移を確 認していく。
	外来種の状況	・これまでの調査において、 外来種は確認されていな い。	_	_	・種の多 様性の 保全	・2 箇年の調子を おった おった おった との で という で という で という で という で という おった が あった という かった	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 外来種の生息状 況等の推移を監 視していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (2) 底生動物

底生動物の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-3 に示す。

表 6.4.3-3 下流河川における底生動物の生息状況の変化の評価

検診	+		「山川」のい の成工動物			評価	
項目		変化の状況	ダムとの関連の検証結界	艮	視点	評価結果	今後の方針
の変化	種数	<ul> <li>・平成5年度は10種であったが、経年とともに増加し、平成20年度では103種となっている。</li> <li>・主な分類群は、トンボ目、トビケラ目、ハエ目、コウチュウ目である。</li> </ul>	・確認種数の増加については、分類精度等の向上による可能性があるが、この変化の要因については不明である。	$\triangle$	・種の多 様 の 全	・変化の要因は 不明である継続 した調査を る。 る。	・今辺査継生息物では、一学のでは、一学には、一学には、一学には、一学には、一学をできる。
生息状況の変化	優占種の変化	・平成 7 年度から平成 17 年度ない。 平成 7 年度から平成 17 年度までは、ウルハラシマトビケラ、Cheumatopsyche 属等の造網性トビケラ、Cheumatopsyche 属優占している。 4 年度まが、平成 20 年度 おったが、平成 20 年度 おったが、平成 17 年度まかが、平成 20 年度 まったが、平成 20 年度 は減少に転じている。	20 年度にかけての優占種の変化、個年度化、個年度化、個年度化、個年度化、19年代は、平式砂性の大力では、平土砂では、平式砂性のでは、平式砂性のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	•	・種の多性保の全	・造網性トビケ ラ類の生息量、 及び確認割合 に注視する。	・今辺査継生息推し今に流す砂等とる後の等続動状移で後砂河な供ををもも国にし物況をく継礫川ど給行検河国よしの等確。続をにの実う討川勢りての等確。続をにの実う討水調、底生の認善的下流土験こす水調、底生の認善的下流土験にす
	重要種の状況	・これまでの調査では、オオタニシ、マシジミ、ゲンジボタルの3種が確認されているが、平成17年度及び平成20年度調査ではゲンジボタルのみの確認となっている。・ゲンジボタルは平成7年度に1個体、平成17年度に5個体、平成20年度に2個体が確認されている。	・種によって増減はあり、 変化の要と増減はあり、 変化の要とでもしいがながない。 環境にがが継続的とない。 ボタルが継続ととない。 は、ないののでは、 がとないのとない。 とのでは、 がいる。 とのでは、 がいる。 とのでは、 がいる。 とのでは、 はいののでは、 はいい。 はい、 はいののでは、 はいののでは、 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はい	$\triangle$	・重要種 の 全	<ul><li>ゲンジボタル 及び餌となる カワニナの生 息量に注視す る。</li></ul>	・今後の等続をも 一学に 一学に 一学に で学続種 ででいる ででいる ででいる ででいる ででいる でいる でいる
	外来種の状況	<ul> <li>・これまでの調査では、サカマキガイ、アメリカザリガニが確認されている。</li> <li>・しかし、両種ともに確認個体数は少なく、サカに2個体、アメリカザリガニは平成7年度に1個体となっている。</li> </ul>	・これまでの確認は、散発的で、確認個体数も 発的で、確認個体数も 少ない状況にあり、定 着したかどうかは不明 である	$\triangle$	・種の多 様 の 全 全	・現個いは大いでは数めさいは、が、いれ数は見いはえ、加種の生るるが、増和を生きるが、増えるが、地種である。	・ 今後も国際をも河外の ・ 一分後の等続種況を ・ 一般では、 ・ 一分のでは、 ・ 一つのでは、 ・ 一のでは、 ・ 一。 ・ 一 。 ・ 一 。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (3)動植物プランクトン

1) 植物プランクトン

植物プランクトンの生育状況の変化の評価結果を表 6.4.3-4に示す。

表 6.4.3-4 下流河川における植物プランクトンの生育状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結果		評価	今後の方針
項	目	及1日*ン1八九	ノーロッス性が疾血相不	視点	評価結果	1 1久 ∨ ノ ノ リ 亚
植物プランクトン相の変化	種数	・確認種数については、平 成5年度は30種、平成11 年度は40種、平成16年 度は22種、平成18年度 は35種と、増減している。	・確認種数の増加や減少ででは、、では、ではではできればではでいる。 をでは、では、では、では、では、では、では、ではできないではできる。 をのがとはでいる。 多とというでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	・種の多の保全	・確減術調よ大栄行変が性め視りいあ認はの査るき養等化あが、結考くる数同進時もが化環とるあ後果察必の定歩期の、の境関可るのにし要の定歩期の、の境関可るのにし要増技やにが富進の連能た監よてが	・今後のにしつ大会をも国勢りをできまれる。 一会後のにしての状をできまれる。 一会をできません。 一会では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点
生育状況の変化	優占種の変化	・平成5年度は緑藻類、平成11年度、平成16年度 及び平成18年度はともに 珪藻類であった。 ・富栄養湖沼に多く、全国 の湖沼に普通にみられる 種であった。	・ダム湖とほぼ同じ種 が多く確認されてい ることから、ダム湖 の影響を受けている ものと考えられる。 ●	<ul><li>種の多様性の保全</li></ul>	・優状流ムのけ考そは物存しのかいのでは水をるる存生の系、量でとるの、、量でとる。を取下ダ質受と。量動現与もられた。	・今後も河川水 空により、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 2)動物プランクトン

動物プランクトンの生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-5 に示す。

表 6.4.3-5 下流河川における動物プランクトンの生息状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結果			評価	今後の方針
項	目	変1L♥ク4八ℓ/L	グムとの関連の機能相木		視点	評価結果	一 1友 (ノノ) 亚
動物プランクトン相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度は7種、平成11年度は35種、平成16年度は33種、平成18年度は21種と、平成5年度から平成11年度にかけては増加しているが、以降平成18年度にかけては域少している。	・確認種数の増減は、同定技術の進歩や調査を調査を表示が、ダム湖とほぼ同じ種が多くは認いでいることから、でいることから、といるの影響を受られる。		・種の多様性の保全	・確認減術では調るいののがが後にてあると、進期が栄、と可と視考必のよいののがが後にてあるといく、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・今辺査継物ト状移で も国にしラの等確く にしラの等確く。
生息状況の変化	優占種の変化	・湖やため池等、全国的に 普通にみられる種や富栄 養化した水域に多くみら れる種であった。	・ダム湖とほぼ同じ種が 多く確認されている ことから、ダム湖の影 響を受けているもの と考えられる。	•	・種の多 様性の 保全	・優占種の下の確認流湖響る。、大河のをとそのでいるは、類寄すのでは、類寄する。、、類寄ものでは、類のものでは、対のないが、が、対のないが、対のをとれば、対のないが、対のをとれば、対のないが、対のをとれば、対のないが、対のをとれば、対のないが、対対が、対対が、対対が、対対が、対対が、対対が、対対が、対対が、対対が、対	・今後の等続ける ・今後の等続プン況を ・の等続プン況を ・の等続プンと ・一次で ・一次で ・一次で ・一次で ・一次で ・一次で ・一次で ・一次で

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (4)植物

植物の生育状況の変化の評価結果を表 6.4.3-6 に示す。

表 6.4.3-6 下流河川における植物の生育状況の変化の評価

4∙∨	<b>√</b> ⇒↓	衣 0. 4. 3-0	ト流河川における恒初の生育仏沈				
	i計 in	変化の状況	ダムとの関連の検証結	果		評価	今後の方針
場	[目	- N	- B - L-11 111 - 1		視点	評価結果	A (6.)
植物相の変化	種数	<ul><li>・平成16年度の調査において、147種の植物が確認されている。</li><li>・河川沿いや湿った環境を</li></ul>	・平成16年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種の 多くはダム湖周辺で も確認されている種 であった。	_	・種の多 様性の 保全	・平成 16年果の 年果る育変で続をが 別が、、調必。 ・平成 16年 ・平成 16年	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 植物の生育状況 等の推移を確認 していく。 ・今後も河川水辺
生育状況の変化	- 流河川周辺に生育する植物の状況	好む種が多く確認され、 樹林に生育する種は少な い傾向がみられている。	のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種の 多くはダム湖周辺で も確認されている種 であった。	_	様性の 保全	調みめ、等不のと、というでは、第一ので、第一ので、第一のででででででででででででででででででいる。	の国勢調査等に より、継続して 植物の生育状況 等の推移を確認 していく。
	重要種の状況	・平成 16 年度の調査において、重要種はユキヤナギ 1 種が確認されている。 本種は河岸の岸壁等に生育する種である。	・平成 16 年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない。	_	・重要種の保全	・平成16年果る育変で続きが、第一年とのと状化あし行ある。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 重要種の生育状 況等の推移を確 認していく。
	外来種の状況	・平成 16 年度の調査において、外来種は 18 種(うち1 種は特定外来種)が確認されている。	<ul><li>・平成16年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない。</li></ul>	_	・種の多 様性の 保全	・ で は 16 年来 3 行 を で 、 等 不 、 調 必 の の の の の の の の の の の の の の で が の で が の で が の で が の で が で が	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 外来種の生育状 況等の推移を確 認していく。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (5)鳥類

鳥類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-7 に示す。

表 6.4.3-7 下流河川における鳥類の生息状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結:	ш		評価	今後の方針
項	目	爱化 <i>四</i>	タムとの関連の検証症:	未	視点	評価結果	一句後の万町
鳥類相の変化	種数	・平成14年度では23種、平成18・19年度では30種と増加する傾向がみられている。	・確認種数の増加は、渡 来数の増加のほかに、 調査手法の違いによ る影響も考えられる。	×	・種の多 様性の 保全	・確認はが調比を向るを向るののののののののののののののののののののののののののののののののの	・ 今後も河川水 辺により、 でにして の生の を で で り り り り り り り り り り り り り り り り り
生息状況の変化	下流河川に生息する鳥類の状況	<ul> <li>・水辺を利用する種としては、カワウ、アオサギ、ヤマセミ、キセキレイが、継続的に確認されている。</li> <li>・陸域を利用する種としては、ヒョドリ、エナガ、メジロ、ホオジロ等の草地から樹林にかけて生息する種が多く確認されている。</li> </ul>	・一般的な種が確認されており、環境に大きな変化はないものと考えられる。	×	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・2 箇年の調査 結果の比め で調るを継ん で向を で向いる。</li><li>・2 箇年の調査 ではいる。</li><li>・2 箇年の調査 ではいる。</li><li>・2 箇年の調査 ではいる。</li><li>・3 首年の調査 ではいる。</li><li>・4 日本の調査 ではいる。</li><li>・4 日本の調査 ではいる。</li><li>・5 日本の調査 ではいる。</li><li>・6 日本の ではいる。</li><li>・6 日本の ではいる。<!--</td--><td><ul><li>・今後も河川水 辺 査総の等続の等続の等にした。</li><li>・今後の等続の等でいる。</li><li>・の等では、</li><li>・ク後ののでは、</li><li>・ク後のでは、</li><li>・ク後のでは、</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをもまりまする。</li><li>・クをもまり</li></ul></td></li></ul>	<ul><li>・今後も河川水 辺 査総の等続の等続の等にした。</li><li>・今後の等続の等でいる。</li><li>・の等では、</li><li>・ク後ののでは、</li><li>・ク後のでは、</li><li>・ク後のでは、</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおります。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをおりまする。</li><li>・クをもまりまする。</li><li>・クをもまり</li></ul>
	重要種の状況	<ul> <li>・水辺を利用する種としては、オシドリ、ヤマセミ、カワガラスの3種の重要種が確認されている。</li> <li>・陸域を利用する種については、樹林性のアオゲラ、サンショウクイ、ルリビタキ、オオルリ、サメビタキ、エゾビタキ、イカルの7種が確認されている。</li> </ul>	・2 箇年度の調査結果であるため、経年変化の比較には十分とはいえないが、重要種の確認種数・個体数に若干の増加がみられている。	×	・重要種の保全	・2 箇年の調査 結果の比め、 調をを で調査を を は、する と 性がある。	・今後も河川水 の等にしの等続種況を を を を を を を を を を を を を を の の に し の 等 続 種 の の 等 に し の 等 の の 等 に る の 等 に る の も る り る く る く る く る く 。 く る く 。 く 。 く 。 く 。 く
	外来種の状況	<ul><li>・これまでの調査において、 外来種は確認されていない。</li></ul>	_		・種の多様性の保全	・2 箇年の調査結果の比較であるたととであるを継続し、領方をといる。	・ 今後も河川水 をも国にしの等続種況をいる をはているのでは、 の等にしの等監に、 ののでは、 の

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (6) 両生類・爬虫類・哺乳類

#### 1) 両生類

両生類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-8 に示す。

表 6.4.3-8 下流河川における両生類の生息状況の変化の評価

検	討		は別川に0317る岡工規			評価	A /// a -LAI
	[目	変化の状況	ダムとの関連の検証結	未	視点	評価結果	今後の方針
両生類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、4 種の両生類が確認された。	・平成15年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種は いずれもダム湖周辺 で確認されている種 であった。		・種の多 様性の 保全	・平調みめ沢がりてうるのた状化あし行ある。	・今後も河川水 変 等による では できる
生息状況の変化	下流河川に生息する両生類の状況	・タゴガエル、トノサマガエル、ウシガエル、カジカガエル、カジカガエルの4種が確認された。このうち、流水性種はタゴガエル、カジカガエルの2種である。	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種は いずれもダム湖周辺 で確認されている種 であった。	_	・種の多 様性の 保全	・ で おり で うる で 大 化 あし 行 あ の た 状 化 あし 行 ある。	・今後も河川水 辺のはより、 により、 では、 で生息 の生り の推移を確 していく。
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。	_	_	・重要種の保全	<ul><li>・平成 15 年度 調査結果の みで、生息の が不明であり、 が不明であり、 調査を う必要がある。</li></ul>	・今後も河川水 辺のはより、悪いでは、 では、 では、 で生息状ででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、ウシガエルが確認された。1 地点で鳴き声が確認された。	・平成15年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、多くの止水域が 広がるダム湖周辺に おいて、増加傾向は みられていない。	_	・種の多 様性の 保全	・ 調みめ 況がりてうる は結あ生の明継査要のた状化あし行ある	・ 今後も河川水 辺のにより外来で 続して外来況を の生移を の推移を していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 2)爬虫類

爬虫類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-9 に示す。

表 6.4.3-9 下流河川における爬虫類の生息状況の変化の評価

検	討	赤儿の小川	ダムとの関連	の検		 評価	Λ.W. σ. ±ΔΙ
項	目	変化の状況	証結果		視点	評価結果	今後の方針
爬虫類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査において、爬虫類は確認されていない。	_	_	・種の多様性 の保全	・平成 15 年度調査結果のみであるため、生息状況等の変化が不明であり、継続して調査を行う必要がある。	・今後も河川水 辺の国勢調査 等によて爬虫 続して息状況 の推移を確認 していく。
生息状況の変化	下流河川に生息する爬虫類の状況	・平成 15 年度の調査において、爬虫類は確認されていない。	_		・種の多様性 の保全	・平成 15 年度調査結果のみであるため、生息状況等の変化が不明であり、継続して調査を行う必要がある。	・今後も河川水 の国より 等して のとまれ の生息 が を を を を を を を を を と で と で を り を り を り を り を り と り と り と り と り と り
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。	_	ı	・重要種の保全	・平成 15 年度調査結果のみであるため、生息状況等の変化が不明であり、継続して調査を行う必要がある。	・ 今後も河川水 辺には野調、継 にては、 の生の生息状を確認 のがでいる。
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、外来種は確認されていない。	_	-	・種の多様性 の保全	・平成15年度調査結果のみであるため、生息状況等の変化が不明であり、継続して調査を行う必要がある。	・今後も河川水 辺により、 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 3)哺乳類

哺乳類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-10 に示す。

表 6.4.3-10 下流河川における哺乳類の生息状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結	Ħ		評価	今後の方針
項	目	友16ッれん	グムとの関連の機能相	<b>不</b>	視点	評価結果	一 1女 (グノガ 平)
哺乳類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査におい て、8 種の哺乳類が確認 された。	・平成 15 年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種は いずれもダム湖周辺 で確認されている種 であった。	_	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・平成 15 年度</li></ul>	・今後も河川水 辺等にしの生 を を り が り が り が り が り り り り り り り り り り
生息状況の変化	下流河川に生息する哺乳類の状況	・モグラ属、ノウサギ、ア カネズミ、タヌキ、テン、 イタチ属、イノシシ、ホ ンドジカの8種が確認さ れた。	・平成15年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、確認された種は いずれもダム湖周辺 で確認されている種 であった。		・種の多 様性の 保全	・平調みめ等不という。 年度のた況が、調必をある。 年度のた況が、調必をある。	・今後も河川水 の等にしの等にしの等離 類況を が が が が が が り に し の 等 続 類 況 を の ら る の き 。 の き 。 の も り る り る り る 。 ら る ら 。 ら 。 ら 。 ら 。 ら 。 ら 。 ら 。 ら 。
	重要種の状況	・平成 15 年度の調査において、重要種は確認されていない。	_	_	・重要種 の保全	・平成15年度調では15年度の成語を開かる。 生変化の 変化の 変化の 変化の 変化の 変化の 変化の 変化の 変化の 変化の	・今後も河川水 辺等により 査等続しの生息 状移で でいく。
	外来種の状況	・平成 15 年度の調査において、外来種は確認されていない。	_	_	・種の多 様性の 保全	・平成15年の ・平査を を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	・今後も河川大田の等にしの等にしの等続種況をいる。とのではの等監にのののではいる。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

- ●:室生ダムの影響がみられるもの
- ×:変化がほとんどみられないもの
- △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (7) 陸上昆虫類等

陸上昆虫類等の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.3-11 に示す。

表 6.4.3-11 下流河川における陸上昆虫類等の生息状況の変化の評価

桙	討		いが、この日本			評価	
	目	変化の状況	ダムとの関連の検証結	果	視点	評価結果	今後の方針
陸上昆虫類相の変化	種数	・平成 15 年度の調査で は、391 種が確認され ている。	・平成15年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、ダム湖周辺のデ ータと比較しても種 構成に大きな変化は ないと考えられる。	×	・種の多 様性の 保全	・平調みめ変でしたの明続をがしている。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 陸上昆虫類等の 生息状況等の推 移を確認してい く。
生息状況の変化	下流河川に生息する陸上昆虫類等の状況	・目別確認種数で最も多かったのはコウチュで、次いチョの93種で、次、季素ので、次のチョの54種、ハチョの40種の順質があった。・水生昆虫類ででカカ、カリ目の54ででは、カーリーのサールがある。サールが対して、ボールをはいるがある。サールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールが対して、ボールができる。	・平成15年度調査結果 のみであるため、経 年比較はできない が、ダム湖周辺のデ ータと比較しても種 構成に大きな変化は ないと考えられる。	×	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・平調みめ変でし行ある。</li><li>年果る成不継査要のたの明続をがある。</li></ul>	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 陸上昆虫類等の 生息状況等の なを確認してい く。
	重要種の状況	<ul><li>・平成15年度の調査において、重要種は確認されていない。</li></ul>	_	_	・重要種 の保全	・平成15年度 調をはまれた。 一年度 である状が、 をといるでであり、 ででしているでしている。 ででしている。 ででしている。 ででしている。 できる。	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 重要種の生息状 況等の推移を確 認していく。
	外来種の状況	<ul><li>・平成15年度の調査において、カンタン、シロテンハナムグリ、ラミーカミキリ、ブタクサハムシの4種が確認されている。</li></ul>	のみであるため、経	×	・種の多 様性の 保全	<ul><li>・平調みの</li><li>が大調みの</li><li>変で</li><li>で種が、</li><li>(化あてうる)</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>でで</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><li>での</li><l></l></ul>	・今後も河川水辺 の国勢調査等に より、継続して 外来種の生息状 況等の推移を監 視していく。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 6.4.4. ダム湖周辺における生物の生息・生育状況の評価

## (1)植物

植物の生育状況の変化の評価結果を表 6.4.4-1 に示す。

表 6.4.4-1 ダム湖周辺における植物の生育状況の変化の評価

7	倹討	-	ダムとの関連の検証網	士	評価		
	項目	変化の状況	果	'μ	視点	評価結果	今後の方針
H	R L	74-27-45-W )		1			A /// 2 FUL 1/17 o
植物相の変化	種数	・確認種数については、平成6年度は617種であったが、経年とともに増加し、平成16年度では801種となっている。	・調査時期の違いや、 外来種の侵入等で、 確認種数や種構成 に違いが生じたと 考えられる。	Δ	・種の多 様 性 の 保 全	・在来種の保全 とともに、生 物多様性の保 全に取り組む 必要がある。	<ul><li>・今後も河川水辺の 国勢調査等により、継続して植物の生育状況等の 推移を確認していく。</li></ul>
生育状況の変化	植生分布の変化	・大きく変化しているものは、アカマツ群落及び公園用地の増加、スギ・ヒノキ植林及び造成地・人工裸地の減少があげられる。	・自然な植生の遷移、 あるいは人為によ る土地改変で群落 に違いが生じたと 考えられる。	$\triangle$	<ul><li>生ネトーの全種様の全</li><li>がりりの</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がりり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり</li><li>がり<!--</td--><td>・多様な環境を保全するとともに、外来を 群落の拡大に注意する必要がある。</td><td>・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して植物 分布の状況等の 推移を確認して いく。</td></li></ul>	・多様な環境を保全するとともに、外来を 群落の拡大に注意する必要がある。	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して植物 分布の状況等の 推移を確認して いく。
	する植物の状況	・在来種、外来種とも増加傾向にある。	・調査時期の違いや外 来種の侵入等で、確 認種数や種構成に 違いが生じたと考 えられる。	Δ	・種の多 様 の 生 全	・在来種の保全 とともに生物 多様性の保全 に取り組む必 要がある。	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して植物 の生育状況等の 推移を確認して いく。
	重要種の状況	<ul> <li>・平成6年度では47種、平成11年度では26種、平成16年度では50種と増減している。</li> <li>・継続的に確認されている種は、ヤハズアジサイ、チャルメルソウ等の11種である。</li> </ul>	・調査時期の違いなどで、確認種数や種構成に違いが生じたと考えられる。 ・平成11年度は、秋季調査を実施していないために、重要種の確認が少なかった可能性もある。	$\triangle$	・重要種 の 全	・重要種が今後 も生育し続け られるよう生 育環境の保全 に取り組む必 要がある。	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して重要 種の生育状況等 の推移を確認し ていく。
	外来種の状況	・平成16年度に、新たに外来種であるイタチハギ群落が確認されている。 ・確認種数は年々増加傾向にあるが、外来種率は8~9%程度で推移している。	・人為による土地改変 や、調査時期の違い などで、確認種数や 種構成に違いを生 じたと考えられる。	•	<ul><li>種の多様の名</li><li>性保</li></ul>	・造変所ががダは繁な考めに受水き定湖外してら継するとし湖来やいれ続る。はなりた変植な岸種するるし必改場動生い等がくとたて要	・今後も河川水辺の 国が、 の 国が、 の の は の の は の の の は の の の の は の が の が で が で が で が で が で が で が の が で が の が で が の が で が の の の の の の の の の の の の の

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんどみられないもの △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (2)鳥類

鳥類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.4-2 に示す。

表 6.4.4-2 ダム湖周辺における鳥類の生息状況の変化の評価

枸	討	本ルの小刀	が ) しの間本の松玉仕用			評価	Λ₩ σ±41
項	目	変化の状況	ダムとの関連の検証結果	÷	視点	評価結果	今後の方針
鳥類相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度は62種、平成9年度は67種と増加傾向にあったが、平成14年度では44種、平成18・19年度は37種と減少傾向にある。	・種構成に大きな違いは みられているという。 はより生じたれる。 により考えられる。 によると考えられる。 ・年度にからいるのでは 年度にかけて大きででいる。 ・では少繁殖が、ののでは がある。 ・でのでは、のののでは はいのでは がある。 ・ででは がある。 ・でのでは がある。 ・でのでは がある。 ・でのでは がある。 がある。 がある。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がい	$\triangle$	・種の多 様性の 保全	・確認種数の減少 については、調査 手法等の変更に 起因している可 能性がある。	・今水政よしの況移しも辺調りて生等をて河の査継鳥息の確と川国に続類状推認。
生息状況の変化	状況 ダム湖周辺に生息する鳥類の	・確認種の状況をみると、 平成5年度から平成9年 度にかけて変化はみられ ないが、平成14年度、平 成18・19年度には減少傾 向にある。	・ダム湖周辺の植生に大きな変化はみられないことから、調査方法の違いにより生じた可能性があると考えられる。	Δ	<ul><li>種の多様性の保全</li></ul>	・確認種数・個体数の減少については、調査手法等の変更に起因している。	・今水勢に続類状推認くも辺調よしの況移し河の査がて生等をて河の査がでままる。
	重要種の状況	・平成5年度は21種、平成9年度は27種、平成14年度は16種、平成18・19年度は13種と、平成14年度以降は減少する傾向がみられる。・ハチクマ、クマタカ等の猛禽類や、フクロウ、オオアカゲラ、サンコウ等、豊かな森林環境に生息する種が確認されている。	・ダム湖周辺の植生に大きな変化はみられないことから、調査方法の違いにより生じた可能性があると考えられる。	Δ	・重要種 の保全	・確認種数・個体数の減少については、調査手法等の変更に起因している可能性がある。	・今水勢に続要息の確い後辺調よし種状推認く。をの況移し側国等継重生等をて
	外来種の状況	・平成5年度から平成18・ 19年度にかけて、継続的 にコジュケイが確認され ている。	・コジュケイは、継続的 に確認されていること からと当該地域におのと から見しているもの 考えられる。 ・日本に移入された年代 も古い種であること ら、古くから ら、で定着していると えられる。	Δ	•種の多 様性の 保全	・確認種数の増加はみられたが、4箇年の調査結果の比較であるため、調査を継続し、傾向を把握する必要性がある。	・今水勢に続来息の監い後辺調よし種状推視くもの査いての況移し川国等継外生等をて

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

# (3) 両生類・爬虫類・哺乳類

#### 1) 両生類

両生類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.4-3 に示す。

表 6.4.4-3 ダム湖周辺における両生類の生息状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結			評価	今後の方針
項	目	変化の状化	ダムとの関連の検証症	未	視点	評価結果	
両生類相の変化	種数	・確認種数は平成 5 年度が 11 種、平成 10 年度が 10 種、平成 15 年度が 10 種で あった。	<ul><li>・確認種数、種構成に 大きな違いはなく、 大きな変化の傾向 は確認されなかっ た。</li></ul>	×	・種の 多様 性の 保全	・在来種の保 全をする両様と 数の保全に必 の保全に必 り組むる。	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して両生 類の生息状況等の 推移を確認してい く。
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する両生類の状況	<ul> <li>・確認種については、ほとんどの種が継続的に確認されているが、イモリやトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル等の水田や池沼等の止水環境を繁殖場所として利用する種の確認地点数が近年減少する傾向にある。</li> <li>・一方、流水性のタゴガエルの確認地点数は増加傾向、カジカガエルは概ね横ばいとなっている。</li> </ul>	・止水環境を繁殖場所 とする左等の種様で が大変を が大変を が大変を が大変を が大変を が大変を が大変を が大変を	Δ	・種の多様の保全	・在全と類のりが今性に必るれる両様に必。止増すがえのの視性者。	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して両生 類の生息状況等の 推移を確認してい く。
	重要種の状況	<ul><li>・ダム湖周辺では、イモリ、 ニホンヒキガエルが経年 的に確認されている。</li></ul>	<ul><li>・確認地点数は少ないものの、継続的に確認されている。</li><li>・ただし、イモリは近年減少する傾向にある。</li></ul>	$\triangle$	・重要 種の 保全	・重要をはいるできます。 重要をはいができるでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	・今後も河川水辺の 国勢調査等によ り、継続して重要 種の生息状況等の 推移を確認してい く。
	<b></b>	・ダム湖周辺では、ウシガエルが継続的に確認されている。 ・ダム湖周辺で確認されている両生類のうち、ダム湖内にみられるような止水域を主な繁殖、生息環境として利用する種は外来種であるウシガエルに限られると考えられる。	・確認地点数は平成 5 年度 はののでは、 を はいるものの、 でっているでいる。 でった。 がいるでいる。 でった。 がいるでいる。 でった。 がいる。 がい。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がい。 がいる。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 が。 がし。 がし。	•	・種の 多様 性の 保全	・今後別域を発見している。	・今後も河川水辺の 国勢調査等により、継続して外来 種の生息状況等の 推移を監視していく。 ・特定外来生物についい に報告を実施し、 必要に応じて対応 を協議する。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 2)爬虫類

爬虫類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.4-4 に示す。

表 6.4.4-4 ダム湖周辺における爬虫類の生息状況の変化の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結果		評価		今後の方針
項		74,2	, <u> </u>		視点	評価結果	, , , , , , , ,
爬虫類相の変化	種数	・確認種数については、平成 5年度が12種、平成10年 度が10種、平成15年度が 10種であった。	・調査年度ごとに確認種数、種構成に多少の変動はみられたが、大きな変化の傾向は確認されなかった。	×	・種の 多 性 保全	・在来種の保全 をすると生 のとと類の保全に必 保全に必要が ある。	・今後の写にして生のでは、
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する爬虫類の状況	どが継続的に確認されている。 ・確認地点数については、クサガメ、ミシシッピアカ実対メといったカメガル、トカゲ、ヤマカガは増加、トカゲ、ヤマカガらは減少する傾向がみられている。 ・また、平成15年度では、ヒバカリ及びマムがでいる。 ・また、中のよりでは、とびかれておいているのである。	・確認をななる経種ム辺用らいのは、水のは流れとかがは流こ含まりののは、がは流こ含まがいるを見いるがは流とながありますが、がは流とながありますが、からないがは流いないがががありますが、からないがは流いないがががががいる。かずにである。かずにである。ないでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、ないのは、ないのは、ないのは、はいいいのは、はいいいのは、はいいいのは、はいいいのは、はいいいのは、はいいいのは、はいいいのは、はいいいいのは、はいいいいのは、はいいいいいのは、はいいいいいのは、はいいいいのは、はいいいいいいいい	Δ	・種多性保	・概ねでいら種でもの保組あり がな移と。保と生性取要 ・在をもの保組ある。	・今後の等続類況をい も国よしの等確く。 川勢りて生の認 川勢りにもの等確く。
	重要種の状況	<ul> <li>・これまでの調査では、イシガメ、ジムグリ、アオダイショウ、シロマダラ、ヒバカリ、ヤマカガシ、マムシが確認された種はジムグリ、アオダイショウ、ヤマカガシである。</li> <li>・ヒバカリとマムシは平成15年度には確認されていない。また、イシガメ、シロマダラは平成10年度には確認されていない。</li> </ul>	・確認種数、及び種構成 に多少の変動はみられ るものの、大きな変化 の傾向は確認されなか った。 ・確認されなかった種は、 生息数が少ないなどの 要因が考えられる。	×	・重要の保全	<ul><li>・重要種が今後</li><li>会とは</li><li>会と</li><li>会と</li><li>会と</li><li>会と</li><li>のりが</li><li>のりが</li></ul>	・今のでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ
	外来種の状況	<ul><li>・ダム湖周辺では、ミシシッピアカミミガメが経年的に確認されている。</li></ul>	・ミシシッピアカミミガメの増加傾向は、ダム湖内を含むダム湖周辺に、主な生息環境となる水域が安定的に存在することなどに起因している可能性がある。	•	・種の 多様の 保全	・今後、ダム湖 湖水 域へのののが 定着来を できた とと を 生 の り は が ある。	・今後も河州水調 査等にして 単級 の 本紙 種 沢 で 生 で の 生 が で 生 が で 監 視 で いく。

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんどみられないもの △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 3)哺乳類

哺乳類の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.4-5 に示す。

表 6.4.4-5 ダム湖周辺における哺乳類の生息状況の変化の評価

桧	討					評価	
項		変化の状況	ダムとの関連の検証結果	果	視点	評価結果	今後の方針
哺乳類相の変化	種数	・確認種数については、平成5年度が11種、平成10年度が17種、平成15年度が18種であった。	・確認種数、種構成は平成 10 年度以降、コウモリ類の確認がされているため、平成5年度に比べ、増加しているが、それ以外の大きな変化の傾向は確認されなかった。	×	・種の多 様性の 保全	・在来種の保全 をするととも に哺乳類の多 様性の保全に 取り組む必要 がある。	・今後も河川水 辺のはより、 にてて哺乳 の生息状況 の推移を確 していく。
生息状況の変化	ダム湖周辺に生息する哺乳類の状況	・サヌタド 5認認3ン成ウナ 10 クンった。 サスタイン 成確 確類ホ平コア 成キホかの 15 年 2 平 4 大 5 で 15 で 10 を 15 で 10 を 15 で 10 を 16 で 10 を 17 で 16 で 17 で 16 で 17 で 18 で 18 で 19 で 19 で 19 で 19 で 19 で 19	・確認種数、種構成は平成10年度以降、コウモリ類の確認がされているため、平成5年度に比べ、増加しているが、それ以外の大きな変化の傾向は確認されなかった。	×	<ul><li>種の多 様性の 保全</li></ul>	・概ね良好をはいれる。 ・ を は は との との を は を との を は ない ある。 ・ を に 様 との を が ある。 ・ を も 多に 要 が ある。	・今後のには見り、一句のでは、一句のは、一句のは、一句のは、一句のは、一句のは、一句のは、一句のは、一句の
	重要種の状況	・ダクジコリカーショウスが、モナカモさのでコ路のウェールコールのでは、モナカ語のカーが、アンミが、アのガはいカーが、アンミが、アのガはの方が、アンミが、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのガはの方がは、アのが、アのでは、アのでは、アのでは、アのでは、アのでは、アのでは、アのでは、アのでは	・深路変通リる息とカは平れ点較利ムが表ものに、さ地比をダ境いる息とカは平れ点較利が表する。確あに、一次で動し類こ場方でがといるでのに度新種でかというのに度新種でからなれるがというのに度新種でからなれるで動し類によっ。確あにまるであるとかというでは、場のというでは、場のというでは、場のというでは、場のというでは、場のに、さ地比をダ境いる。	×	・重要種の保全	・重要種が今後も表示の保全をあるよう保全に取りまる	・ 今後も河湖水 ・ 今後も河湖湖、 等にして ・ のにて ・ のを ・ のを ・ のを ・ のを ・ でが、 ・ でがが、 ・ でががが、 ・ でがが、 ・ でがが、 ・ でがが、 ・ でがが、 ・ でがが、 ・ でががが、 ・ でがががががががががががががががががががががががががががががががががががが
	外来種の状況	・これまでの調査において、 外来種は確認されていな い。	_	×	・種の多 様性の 保全	・哺乳類の外来 種はないな種にいなが、 外来ではいのはは息では、 外、種のはは、 来に迫するる。	・今後も河川水 辺のより 等により 続して が来れ の生息 が を 監 して が と り れ に な り れ た り れ れ た り れ た り れ た り れ た り た れ た り た れ た り た れ た り た り

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの ×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (4) 陸上昆虫類等

陸上昆虫類等の生息状況の変化の評価結果を表 6.4.4-6 に示す。

表 6.4.4-6 ダム湖周辺における陸上昆虫類等の生息状況の変化の評価

検	討項	at the south Ver	kin i ment mikatk	ь ш		評価	今後の方
	目	変化の状況	ダムとの関連の検証総	古果	視点	評価結果	針
陸上昆虫類相の変化	種数	・確認種数については、平成6年度 は1347種、平成10年度は1319 種、平成15年度は1539種と、平 成6年度から平成10年度にかけ ては概ね横ばい、以降は増加の傾 向がみられている。	・調査年度ごとで確認種数、種構成に多少変動はみられたが、大きな変化の傾向は確認されなかった。	×	・種の多 様 性 の 全	・大きな変化はない ものと考えられる。 ・なお、平成15年度のは、調査を増加で変更を 増加で変更を対しているでは、関のでは、関のでは、関連をは、関心では、関心では、関心では、対している。 は、対しているのは、対しているのでは、対している。	・今後も河川 水辺等に続い り、陸上の生 類、というで 類に、 大変をで が、 が、 が、 が、 を が、 が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は
生息状況の変化	陸上昆虫類等の状況ダム湖周辺に生息する	<ul><li>・確認された昆虫類の多くはダム湖周辺の樹林地、草地、農耕地等における確認であった。</li><li>・調査年度ごとで確認種、種構成に多少の変動はみられるが、大きな変化の傾向は確認されていない。</li></ul>	・調査年度ごとで確認種数、種構成に多少変動はみられたが、大きな変化の傾向は確認されなかった。	×	・種の多 様 性 の 保 全	・大きな変化はないる。・なお、平成15年のと対して、中域では、平成15年のは、神の変をは、調査手の、関加の変をは、関加の変をが、見いて、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対し	・今後も河川 水辺の国により、 と り、 と と と と と と と と り、 と と り、 と と り、 と と り、 と り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、
	重要種の状況	<ul> <li>・ダム湖周辺では、これまでの調査で30種の重要種が確認されている。</li> <li>・重要種の推移についてみると、平成6年度の15種から平成10年度には11種に減少し、平成15年度には14種に再び増加している。</li> <li>・継続して確認されている重要種は、コバントビケラ、クロツツトビケラ、オオセンチコガネの3種で、ダム湖周辺において安定して生息していると考えられる。</li> </ul>	・継続して確認されている種は3種と少ないが、他の種については、生息個体数が少ないなどの理由により確認されていないと考えられ、大きな変化は生じていないと考えられる。	×	・重要種 の 全	・大きな変化はないる。・なると、平成15年のは、平成15年のは、平成15年の増加変更を増加変更を発展が、東京のは、東京のでは、東京のは、東京のではないでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のではないがは、東京のでは、東京のでは、東京のではないがはないがでは、東京のではないがでは、東京のではないがでは、東京のではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないが	・今後辺の等に続いて類状ので、大調を一般では、 大きの 大きの 大きの 大きの 大きの 大きの 大きを はい
	外来種の状況	・ダム湖周辺では、23 種の外来種が確認されている。 ・外来種の確認状況をみると、種数では平成6年度の8種から平成10年度には11種、平成15年度には13種と徐々に増加している。 ・外来種率は、平成6年度の0.59%から平成10年度には0.83%に増加し、以降、平成15年度は0.84%と概ね横ばいであった。 ・継続して確認されている外来種は、カンタン、モンシロチョウ、キイロショウジョウバエの3種で、ダム湖周辺においては既に定着していると考えられる。	・平成6年度に8種だったのが、平成10年度は 11種、平成15年度には 13種と徐々に増加しており、今後も外来種が 増加する可能性が考えられる。	Δ	・種の多 様 代 の 全	・造植い水植いでしお外でれて要が道変がム来すそれとめ、を を は物る位生ダ外やり来いる調が に侵路動安湖種くれがとめ、を を なり来いる調あ を がとめ、を ると を ると を ると を ると を ると を ると を ると を ると	・継種れ、川勢よし虫息推しに確た後辺査、陸等況をて類状移てをいいいい。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 6.4.5. 連続性の視点からみた生物の生息状況の変化の評価

(1)流入河川及びダム湖間における回遊性魚類の確認状況

連続性の観点からみた回遊性魚類の生息状況の評価結果を表 6.4.5-1 に示す。

表 6.4.5-1 連続性の観点からみた回遊性魚類の生息状況の評価

検	討	変化の状況	ダムとの関連の検証結果	且		評価	今後の方針
項	目	及山の状況	アムとの民生の候配相グ	~	視点	評価結果	一人〇〇万里
生息状況の変化	ダム湖及び流入河川における回遊性魚類の状況	・調査工作ので、大一ム認て合る良い、、大一ム認て合る良い、数平水念に、、川て付直ない、、大一ム認て合る良い、数平水念に、、川て付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、、川て付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、、川て付直ない、大一ム認て合る良いと、数平水念に、、川て付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、、川て付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良い、数平水念に、川に付直ない、大一ム認て合る良いには、大手を対している。	・宇陀川については、 水質保全ダムの存在 により、移動が制限 されている。 されてと考えられる。	•	・生態系トクの保全	・宇陀川の低るる水のが可るの低るる水のが可るの低るる水のが可る。質存及能は無況にら ダ影いがある。	・今辺査継類況をいまのた質にての状て後の等続の等確くた実っ保設い遡況調も国にし生の認 同施は全置る上に査が国ととの説 同施は全置る上に査が、調、魚状移て 査あ水ムれ道河い。

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## (2) 両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況の変化

1) 両生類の卵及び幼生の確認状況

連続性の観点からみた両生類の卵及び幼生の生息状況の評価結果を表 6.4.5-2 に示す。

表 6.4.5-2 連続性の観点からみた両生類の生息状況の評価

表 6. 4. 5-2 連続性の観点からみた両生類の生息状況の評価 検討項										
検討項目		変化の状況	ダムとの関連の検証結果		I 1	今後の方針				
					視点	評価結果				
生息状況の変化	流水性両生類の確認状況	・流水中で ・流水中で ・流水中の ・流水中の ・流水中の ・流水中の ・流水中の ・流水中の ・流水中の ・流辺の ・では をして ・では をして ・のが ・でが ・でが ・でが ・でが ・でが ・でが ・での ・での ・での ・での ・での ・での ・での ・での	・オオサンは、ダの一次では、 すりのでは、 すいにより では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	•	・生ネワの保まりの保全	・供数しか周水再れもののでは生がである。 は生がて考れます。	・水調りて生の認く状てンオは分把め検後辺査、両息推し。況、シに、布握の討もの等継生状移 にオョつ詳状す調す可国に続類況をて 応オウい細況る査る 川勢よしの等確い じサウてなをたを			
	両生類の卵及び幼生の状況	・平成 15 年度調査では全ての種において卵塊の確認はされず、幼生が確認された種はアマガエルのみであった。 ・全体的な傾向としては、タゴガエルやカジカガ概といった流水性種は、ている。 ・しかし、イモリやトノサマガエル、シュレーゲルアに対エル、シュレーゲルアには、平成 10 年度かけては、平成 15 年度にかけて、平成 15 年度にかけて、いっちの単れでは、平成 15 年度にかけている。	・流はないないでは、心では、心では、心では、心では、心では、心では、心では、心では、心では、心	△	<ul><li>種の多様性の保全</li></ul>	・ダら止繁境すれダ池止そ林をの組るは、し種い湖湿域周流め全必にう主息利限。辺等びの河環取がいななな環用らのの、樹川境りあるなな環用らのの、樹川境りあ	・今水調りて生の認りて生ができる。			

注)検証結果の記号は以下の内容を示す

●:室生ダムの影響がみられるもの

×:変化がほとんどみられないもの

△:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

## 2)哺乳類の確認状況

連続性の観点からみた哺乳類の生息状況の評価結果を表 6.4.5-3 に示す。

表 6.4.5-3 連続性の観点からみた哺乳類の生息状況の評価

検討 項目		変化の状況	ダムとの関連の検証結果			評価	今後の方針	
		Z 10 • 2 • 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10 · 10			視点	評価結果		
生息状況の変化	ダム湖左右岸おける哺乳類の状況	・ダム湖の左右岸において、 哺乳類の確認地点を生みで において、 ではれたといれた。 をはいれたといれた。 においれたがです。 においれたがです。 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	<ul> <li>・確認された多くの種が左右岸とも、に確認されたとも、に確認されており、別にの生息は認めないを差異はあった。</li> <li>・移動能力の、公力が考えるの個体群が分断が考える。</li> <li>・移動にででいる。</li> </ul>	Δ	・種の多の保全	・概ね良好なと。 だいいん さいいん さいいん さいいん さいいん さいいん さいいん さいいん	・今のにし生移ののにし生移のにし生移のには生移のには生までは、明明、乳況をはいる。	

- 注)検証結果の記号は以下の内容を示す
  - ●:室生ダムの影響がみられるもの
  - ×:変化がほとんどみられないもの
  - △:室生ダムの影響が明らかでないもの、もしくは室生ダム以外の影響がみられるもの

#### 6.5. まとめ(案)

ダム湖内、及び流入河川、下流河川とダム湖周辺における環境、並びに動植物の生息・生育状況の概要は以下に示すとおりである。また、これらの環境区分ごとに考えられる環境要因と生物の生息・生育との関係を整理し、まとめた内容は図 6.5-1~図 6.5-5 に示すとおりである。

ダム湖を取り巻く植生の状況については、部分的な土地の改変はみられたものの、スギーヒノキ植林や、代償植生であるコナラ群落が多くを占めている。なお、近年については、若干ではあるものの、尾根部を中心として乾燥に耐性のあるアカマツの分布が拡大している。また、ダム湖周辺を生息場所とする生物についても、大きな変化はみられていないが、近年では水田や池沼等を産卵環境とするカエル類の減少がみられている。ただし、このカエル類の減少はダムの存在・供用に係る影響ではなく、例えば水田・湿地環境の減少といった、ダム湖の周辺環境の変化に伴う影響であると考えられる。

一方、水域についてみると、室生ダムの建設から一定期間が経過した現在では、ダムの存在により、連続性は既に分断された状態となっている。ダム湖内の生物については、魚類は経年的に優占種が変化している状況にあり、近年では特定外来生物に指定されているブルーギルの生息量が増加する傾向にある。ブルーギル等の肉食性外来種の増加は、室生ダムで再生産が確認されている仔アユをはじめとして、様々な水生生物を捕食している可能性があり、水域生態系に影響を及ぼす可能性があると考えられる。また、ダム湖を利用する鳥類についてみると、開放水面を利用する水鳥には大きな変化はみられていないが、水深の浅い水際環境を利用する水鳥が減少傾向にあり、水鳥にとって利用しづらい水際環境へと変化していることも考えられる。このほか、ダム湖の深部では、嫌気的な状態となっていることも影響して、底生動物の生息量は少ない状況となっており、特に最深部では顕著となっている。なお、流入河川である宇陀川との連続性については、平成12年度に新たに設置された水質保全ダムの影響が示唆され、移動阻害や回遊性魚類の優占種の変化、あるいは底生動物相への影響等が懸念される。

また、流入河川の状況についてみると、魚類では宇陀川や天満川において優占種が変化する傾向がみられているとともに、天満川では魚類の生息量が減少傾向にある。さらに、宇陀川については、底生動物についても、貧腐水性種の確認割合が低くなる傾向がみられており、上述したカエル類への影響と同様に、流入河川周辺における人為的な開発等の影響を受けている可能性があると考えられる。ただし、流入河川の1つである深谷川は上流側に集落等はほとんどなく、平成19年度には国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオの生息が確認されているなど、良好な状態が保たれている。なお、オオサンショウウオについては、これまでに実施してきた河川水辺の国勢調査(平成19年度魚類調査時)において、流入河川である深谷川のみの確認であるが、聞き取り調査により内牧川(流入河川)や下流河川に

も生息していることが確認されている。

このほか、下流河川については、ダムの存在によって河床の攪乱頻度や土砂供給量が減少 し、安定的な河床が形成された結果、造網性トビケラ類が優占する状況が続いていた。しか し、平成20年度の底生動物調査結果では、造網性トビケラ類以外の種が優占しており、平成 18年度から実施している土砂供給試験等による影響の可能性がある。

- ○室生ダム貯水池及び周辺地域は、古くから開けているところであり、大きな改変はみられない。また、スギーヒノキ植林やコナラ林が多くを占め、植生分布に大きな変化はなく、両生類、爬虫類、哺乳類、陸上昆虫類の確認種や種構成にも多少の変動はみられるものの大きな変化は見られない。
- ○ダムの存在による流量の平滑化や土砂供給量の減少などから、魚類の種数が流入河川に比べ 下流河川の方が少ないなど確認種に変化がみられる。
- ○ダム湖内において特定外来生物であるブルーギル・オオクチバスが継続的に確認されている。

#### <今後の方針>

今後も河川水辺の国勢調査等により、継続して生物の生息・生育状況等の推移を確認していく。また、ダム下流河川環境保全の取り組みとして、フラッシュ放流やダム下流への土砂供給を継続していく。特定外来種については啓発活動等から検討し、必要に応じて関係機関に連絡を行い対応を検討する。

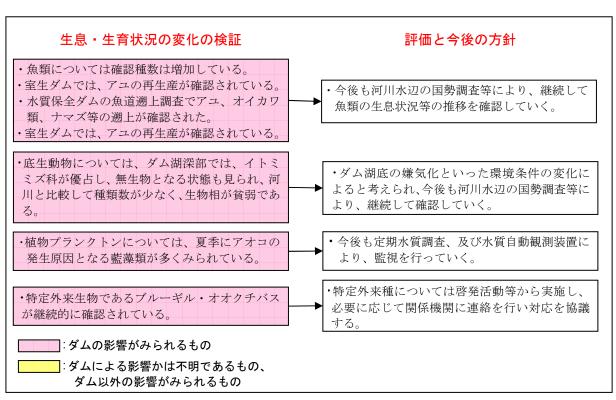


図 6.5-1 ダム湖内における生物の生息・生育状況の変化の検証、及び評価と今後の方針

## 生息・生育状況の変化の検証 評価と今後の方針 ・魚類については、オイカワやカワムツ等の河川 中流域を主な生息場所とする種のほか、アマゴと ・今後も河川水辺の国勢調査等により、継続して いった渓流性魚類が確認されており、各流入河川 魚類の生息状況等の推移を確認していく。 (宇陀川、天満川、深谷川) ともに確認種数は増 加している。 ・底生動物については、ヒラタカゲロウ科やシマ トビケラ科等をはじめとした流水性種が優占し ・今後も河川水辺の国勢調査等により、継続して て確認されており、最近の調査では確認種数は 底生動物の生息状況等の推移を確認していく。 大きな変化はない。 ■:ダムの影響がみられるもの ■:ダムによる影響かは不明であるもの、 ダム以外の影響がみられるもの

図 6.5-2 流入河川における生物の生息・生育状況の変化の検証、及び評価と今後の方針

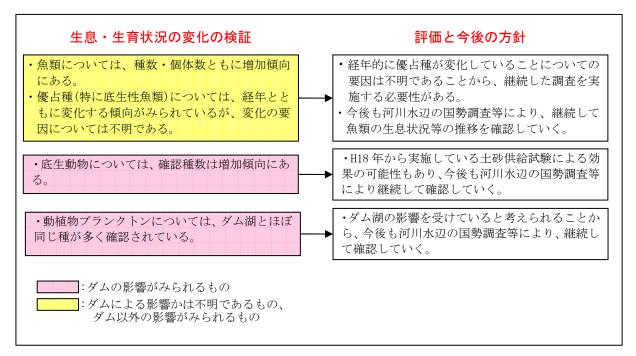


図 6.5-3 下流河川における生物の生息・生育状況の変化の検証、及び評価と今後の方針

#### 生息・生育状況の変化の検証 評価と今後の方針 ・ダム湖周辺における植生については、スギーヒ ・今後も河川水辺の国勢調査等により、継続して ノキ植林、コナラ林が多くを占め、植生分布に大 状況を確認していく。 きな変化はみられていない。 ・鳥類については、種群構成は大きな変化は見ら ・今後も河川水辺の国勢調査等により、継続して れていない。 生息状況等の推移を確認していく。 ・両生類、爬虫類、哺乳類、陸上昆虫類の確認種 ・今後も河川水辺の国勢調査等により、継続して や種構成に多少の変動はみられるものの大きな 生息状況等の推移を確認していく。 変化は見られない。 ・外来種については、ダム湖岸において小規模 ・イタチハギやアレチウリは、ダム湖の水位変動 ではあるがイタチハギ群落が H16 年度に新たに 域や河川敷、造成等の改変を受けた場所等に侵 確認されている。 ・特定外来生物に指定されているアレチウリ、 入・繁茂しやすいことから、今後も河川水辺の国 勢調査等により、継続して確認していく。 オオカワヂシャ、オオハンゴンソウが確認され ている。 :ダムの影響がみられるもの :ダムによる影響かは不明であるもの、 ダム以外の影響がみられるもの

図 6.5-4 ダム湖周辺における生物の生息・生育状況の変化の検証、及び評価と今後の方針

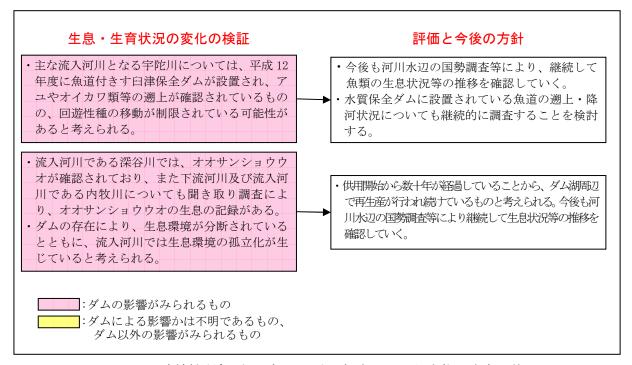


図 6.5-5 連続性(ダム湖と流入河川)の視点からみた生物の生息の状況

# 6.6. 参考資料

# 生物確認種リスト

- (1)ダム湖内確認種リスト
- (2)流入河川内確認種リスト
- (3)下流河川ダム湖内確認種リスト
- (4)ダム湖周辺確認種リスト

# (生物確認種リスト)

(ダム湖内確認種リスト)

表 6.6-1 ダム湖内確認種リスト(魚類)

						. (//////						
No.	綱名	目名	科名	種名	ダム湖内		内					
				和名	H4	H5	Н8	H13	H19			
1	硬骨魚綱	コイ目	コイ科	コイ								
2				ゲンゴロウブナ								
3				ギンブナ								
4				ニゴロブナ								
5				オオキンブナ								
-				フナ属								
6				ワタカ								
7				ハス								
8				オイカワ								
9				カワムツ								
10				モツゴ								
11				タモロコ								
12				ホンモロコ								
13				カマツカ								
14				コウライニゴイ								
15				ニゴイ								
-				ニゴイ属								
16				スゴモロコ								
17				コウライモロコ								
-				スゴモロコ属								
18			ドジョウ科	ドジョウ								
19		ナマズ目	ナマズ科	ナマズ								
20			ギギ科	ギギ								
21		サケ目	サケ科	アマゴ								
22			アユ科	アユ								
23		ダツ目	メダカ科	メダカ								
24		タウナギ目	タウナギ科	タウナギ								
25		スズキ目	ハゼ科	スミウキゴリ								
26				ウキゴリ								
27				トウヨシノボリ								
28				カワヨシノボリ								
-				ヨシノボリ属								
29				ヌマチチブ								
30			サンフィッシュ科	ブルーギル								
31				オオクチバス (ブラックバス)								
	1綱6目10科31種					14種	20種	23種	26種			
1 調明の日 104代317生						31種						

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-2 ダム湖内確認種リスト(エビ・カニ・貝類)

								$\overline{}$	
No.	綱名	綱名 目名	科名	和名		ダム湖内			
					H4	H5	Н8	H13	
1	マキガイ綱(腹足綱)	ニナ目(中腹足目)	タニシ科	オオタニシ					
2				ヒメタニシ					
3			カワニナ科	カワニナ					
4				チリメンカワニナ					
5		モノアラガイ目(基眼目)	モノアラガイ科	モノアラガイ					
6	ニマイガイ綱(二枚貝綱)	ハマグリ目(マルスダレガイ目)	シジミ科	マシジミ					
7	甲殼綱	エビ目(十脚目)	テナガエビ科	テナガエビ					
8				スジエビ					
9			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ					
10			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ					
11			サワガニ科	サワガニ					
		3綱4目8科11種	<del>-</del>		3種	5種	6種	6種	
3点型サログイエー1業									

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.表中の数は、個体数を示す。

表 6.6-3 ダム湖内確認種リスト(底生動物 : 1/5)

No.	綱名	目名	科名	種名		ダ	ム湖ロ	内	
NO.	網石	H 11	行行	<b>俚</b> 力	H5	H7	H12	H17	H20
1	普通海綿綱	ザラカイメン目(単骨海綿目)	タンスイカイメン科	ヨワカイメン	1				_
-				タンスイカイメン科					
	ヒドロ虫綱	無鞘目(花クラゲ目)	ヒドラ科	ヒドラ科	-			-	_
3	ウズムシ綱 (渦虫綱)	ウズムシ目(三岐腸目)	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	-			-	_
-			-	ウズムシ目(三岐腸目) ウズムシ網(渦虫網)	-		-	-	_
-	-	_	-	ひも(紐)形動物門					_
5		-	1-	線形動物門				_	_
	マキガイ綱(腹足綱)	ニナ目(中腹足目)	タニシ科	オオタニシ					_
7	( )			ヒメタニシ					_
8			カワニナ科	カワニナ					
9				チリメンカワニナ					
-				Semisulcospira属	4				
10		モノアラガイ目(基眼目)	カワコザラガイ科	カワコザラガイ	4—				_
11 12			モノアラガイ科	<u>ヒメモノアラガイ</u> コシダカヒメモノアラガイ				-	_
13				Radix属	+-		_	_	_
-				モノアラガイ科	1				_
14			サカマキガイ科	サカマキガイ					_
15			ヒラマキガイ科 (+インドヒラマキガイ科)		T				_
16				ヒラマキガイモドキ					
	ニマイガイ綱(二枚貝綱)		イシガイ科	ドプガイ(タガイ、ヌマガイ)				$\Box$	
18		マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	_			_	_
-				Corbicula属				_	
19			マメシジミ科	Pisidium属	1				_
20	ここず細(谷毛綱)	オコギミミブロ	ドブシジミ科	ドブシジミ   オコギミミブ科	-			$\dashv$	_
21	ミミズ綱(貧毛綱)	オヨギミミズ目  ナガミミズ目	オヨギミミズ科  ビワミミズ科	オヨギミミズ科 ヤマトヒモミミズ	-		$\dashv$	$\dashv$	_
23		/ // / / / / / / / / / / / / / / / / / /	ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	1		-	$\dashv$	_
24			ナガミミズ科	ナガミミズ科	1			$\dashv$	_
25			ツリミミズ科	Allolobophora属	1		1	T	_
-				ツリミミズ科					_
26			フトミミズ科	Pheretima属					
-				フトミミズ科					
27			ミズミミズ科	Chaetogaster属					
28				Dero属	-				_
29 30				Nais属	+				_
31				Ophidonais属 Slavina属	+-			-	_
32				テングミズミミズ	+		-		_
-				Stylaria属	1				_
-				ミズミミズ科	1				_
33			イトミミズ科	エラミミズ	T				_
34				ユリミミズ					
-				Limnodrilus属					
35				イトミミズ					
-				Tubi fex属					
-			レエニニブジ	イトミミズ科	-				_
36			ヒモミミズ科	<u>ヒモミミズ科</u> ナガミミズ目	+			_	_
		_	-	ミミズ網	_		_	_	_
37	ヒル綱	ノドビル目(咽蛭目)	イシビル科	ナミイシビル	1				_
-		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		イシビル科					_
	クモ網(蛛形網)	ダニ目		ダニ目					_
	甲殼綱	ワラジムシ目 (等脚目)	ミズムシ科	ミズムシ					Ξ
-				ミズムシ科				$\Box$	
40		ヨコエビ目(端脚目)	ハマトビムシ科	ハマトビムシ科	1			_	
41		エビ目(十脚目)	テナガエビ科	テナガエビ	-			_	
42			フィリカザリガーシ	スジエビ	1			_	_
43 44			アメリカザリガニ科 サワガニ科	アメリカザリガニ サワガニ	1		+	$\dashv$	_
	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	リリカニ   マエグロヒメフタオカゲロウ	1		$\dashv$	$\dashv$	_
-	PO 14 M3	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	277737711711	Ameletus属	1		-+	$\dashv$	_
46			コカゲロウ科	ミツオミジカオフタバコカゲロウ	1			T	_
47				ミジカオフタバコカゲロウ	1		1		_
48				フタバコカゲロウ					_
-				Baetiella属			П	I	
49				トビイロコカゲロウ			$\Box$	$\Box$	
50				サホコカゲロウ				_[	
51				フタモンコカゲロウ	1			_	
52				シロハラコカゲロウ	-			$\dashv$	_
53 54				ヤマトコカゲロウ	1		+	$\dashv$	_
55				<u>ヨシノコカゲロウ</u> Dコカゲロウ	1		$\dashv$	$\dashv$	_
56				Eコカゲロウ	1		_	$\dashv$	_
57				Gコカゲロウ	1			$\dashv$	_
58				Hコカゲロウ	1			寸	_
59				I コカゲロウ					_
60				Jコカゲロウ				丁	Ξ
-				Baetis属					
61				Cloeon属					
62				ウスイロフトヒゲコカゲロウ				_	
63			19.19. 19.1. 19.2. 20.	Procloeon属	1			_	_
64			ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ	1		_	$\dashv$	_
65			フタオカゲロウ科 トラタカゲロウ科	Siphlonurus属	1		$\dashv$	$\dashv$	_
66 67			ヒラタカゲロウ科	オビカゲロウ Cipyomula属	1				_
0/				Cinygmula属 キプネタニガワカゲロウ	+		-+	$\dashv$	_
68									

表 6.6-3 ダム湖内確認種リスト(底生動物 : 2/5)

			77.	(150	丁	Ś	がム湖	内	_
No.	網名	目名	科名	種名	UE		H12		7
70	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	  シロタニガワカゲロウ	H5	<u> </u>	1112	111/	4
-	10 JAM 3	37171(3351)	27773371711	Ecdyonurus属		$\top$	t		†
71				ウエノヒラタカゲロウ		П			T
72				ナミヒラタカゲロウ					I
73				エルモンヒラタカゲロウ					_
74				ユミモンヒラタカゲロウ		L	<u> </u>	L	4
				Epeorus属		<u> </u>		<u> </u>	4
75				キョウトキハダヒラタカゲロウ		Ь.	<u> </u>	Ь	4
76				サツキヒメヒラタカゲロウ		₩	ــــــ		4
77			チラカゲロウ科	チラカゲロウ	—	₩	<u> </u>	╙	4
78			トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ		ـــــ	ـــــ	ـــــ	4
79				ウエストントビイロカゲロウ		Ь	₩.	<u> </u>	4
-				Paraleptophlebia属		Ь.	╙	Щ	4
80			トビイロカゲロウ科	Thraulus属		ـــــ	ـــــ	Ь.	4
81			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ		Ь.	<u> </u>	Ь.	4
82				トウヨウモンカゲロウ		ـــــ	<u> </u>	Ь.	4
83				モンカゲロウ		₩	₩	₩.	4
84			シロイロカゲロウ科	オオシロカゲロウ		₩	₩	╙	4
85			カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ		ـــــ	ـــــ	Ь.	4
86			マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ		Ь.	<u> </u>	Ь.	4
87				オオクママダラカゲロウ		ـــــ	<u> </u>	Ь	4
-				Cincticostella属		ـــــ	ــــــ	ـــــ	4
88				オオマダラカゲロウ		₩	₩	╙	4
89				ヨシノマダラカゲロウ	—	₩	₩	⊢	4
90				シリナガマダラカゲロウ		₩	₩	$\vdash$	4
91				ツノマダラカゲロウ	—	₩	₩	$\vdash$	4
92				ホソバマダラカゲロウ	—	$\vdash$	₩	$\vdash$	4
93				イマニシマダラカゲロウ	—	₩	Щ	$\vdash$	4
94				クシゲマダラカゲロウ		₩	₩	$\vdash$	4
-				Ephemerella属		₩	₩	$\vdash$	_
95				エラブタマダラカゲロウ	Щ.	$\bot$	Щ	ㄴ	
96				アカマダラカゲロウ	Щ	$\vdash$	₩	$\vdash$	_
97			ヒメシロカゲロウ科	Caenis属	Щ.	$\perp$	₩	$oldsymbol{oldsymbol{oldsymbol{eta}}}$	
98		トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	Cercion属		Ь.	<u> </u>	<u> </u>	
99				アジアイトトンボ		ـــــ	₩.	ـــــ	
-				Ischnura属		Ь.	↓_	<u> </u>	
-				イトトンボ科		_	<u> </u>		
100			カワトンポ科	ハグロトンボ		Ь.	<u> </u>	<u> </u>	
01				ミヤマカワトンボ		<u></u>		<u></u>	
-				Calopteryx属		<u></u>			
102				アサヒナカワトンボ					
103				ニホンカワトンボ					
-				Mnais属					
104			ムカシトンボ科	ムカシトンボ		$\perp$		$oxed{oxed}$	
105			ヤンマ科	マルタンヤンマ				Ш	
106				ギンヤンマ					
107				コシボソヤンマ		<u> </u>			
108				ミルンヤンマ		<u> </u>		Ш	
109			サナエトンボ科	ミヤマサナエ					
110				ヤマサナエ					
111				キイロサナエ		<u> </u>			
-				Asiagomphus属					
112				クロサナエ					Ξ
113				ダビドサナエ					
-				Davidius属					
114				ホンサナエ					
115				アオサナエ		Ľ		L	_
116				オナガサナエ					_
117				コオニヤンマ					_
18				オジロサナエ				L	_
-				サナエトンボ科					_
19			オニヤンマ科	オニヤンマ					-
20			エゾトンボ科	オオヤマトンボ					_
21				コヤマトンボ				L	_
-				エゾトンボ科			L		_
22			トンボ科	ショウジョウトンボ					_
23				シオカラトンボ					_
24				オオシオカラトンボ					_
25				コシアキトンボ		L	L	$L^{-}$	_
26				マイコアカネ		Ľ			_
Ξ				Sympetrum属					_
27		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科		Ľ	L	Ľ	_
28			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科				L	_
29			ハラジロオナシカワゲラ科	ハラジロオナシカワゲラ科		Ľ		L	_
30			オナシカワゲラ科	Amphinemura属		匸		ட	_
31				Nemoura属				L	_
-				オナシカワゲラ科		L	L	$L^{-}$	_
32			ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ		Γ	I		
33			カワゲラ科	Gibosia属		Ľ		$\Box$	_
34				Kamimuria属		П			_
35				マエキフタツメカワゲラモドキ	$\neg$		T		-
				Kiotina属			T		
-				ヤマトフタツメカワゲラ	$\neg$	$\vdash$		Г	-
-	1			Neoperla属	_	$\vdash$			-
-		1		ヤマトカワゲラ	1	T			-
- 136 -						+	+	t	4
- 136 - 137				Oyamia属		1		l	
- 136 - 137 138				Oyamia属 Paragnetina属	+		+-		+
- 136 - 137				Oyamia属 Paragnetina属 Togoperla属	$\mp$		H		7

表 6.6-3 ダム湖内確認種リスト(底生動物 : 3/5)

No.	綱名	目名	科名	種名	ダム湖内					
					Н5	H7	H12	H17	H20	
	昆虫綱	カワゲラ目(セキ翅目)	アミメカワゲラ科	Isoperla属	I				Ξ	
142				0st rovus属	_	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	L	
143				Stavsolus属	+	₩	₩	_	₩	
144		カメムシ目(半翅目)	アメンポ科	アミメカワゲラ科	+	₩	$\vdash$	-	₩	
145		ガスムショ(十翅目)	アメンホ科	アメンボ コセアカアメンボ	+	⊢	$\vdash$	$\vdash$	╁	
146				ヒメアメンボ	+	$\vdash$	$\vdash$		H	
147				シマアメンボ	+	$\vdash$	$\vdash$		H	
-				アメンボ亜科	+	$\vdash$	$\vdash$		T	
-				アメンボ科	$\top$		П		Г	
148			ミズムシ科	Micronecta属					Г	
149				コミズムシ						
-				Sigara属		丄	$\perp$			
150			コオイムシ科	コオイムシ	_	ــــــ	$\perp$	<u> </u>		
151			カノコウエジ	オオコオイムシ	4	₩	₩	_	⊢	
152 153			タイコウチ科	タイコウチ ミズカマキリ	+	₩	$\vdash$	-	₩	
154			ナベプタムシ科	ナベプタムシ	+	$\vdash$	$\vdash$	<u> </u>	₩	
155			マツモムシ科	マツモムシ	+	-	$\vdash$		$\vdash$	
156		アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヘビトンボ科	クロスジヘビトンボ	+	-	$\vdash$		T	
-		77707171(2021)		Parachauliodes属	1	$\vdash$			T	
157	İ			ヘビトンポ	1	$\vdash$			T	
158			ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科						
159			ミズカゲロウ科	ミズカゲロウ						
160		トピケラ目(毛翅目)	ムネカクトピケラ科	Ecnomus属	$\perp$	$\perp$	$\perp$	$\Box$	Ľ	
161			カワトピケラ科	Do loph i lodes属		oxdot	$\perp$	$\vdash$	L	
162		アミメカゲロウ目(脈翅目)	ミズカゲロウ科	Wormaldia属WA	4	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	₩	
163			イワトピケラ科	Plectrocnemia 属	4	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
164			クダトビケラ科	Psychomy i a属	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	
105			レゲナガカロトビケニ科	クダトビケラ科	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
165 166			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ チャバネヒゲナガカワトビケラ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
166			キブネクダトビケラ科	ナヤハネヒケアカカリトヒケラ   キブネクダトビケラ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
168			ヤマトビケラ科	キノベクタトピクラ   Agapetus属	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
169	l		1. \ 1. \ 2. \ 2. \ 7. \ 7. \ 7. \ 7. \ 7. \ 7	Agapetus属 イノプスヤマトピケラ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	t	
-				Glossosoma属	+	$\vdash$	$\vdash$	Н	$\vdash$	
-				ヤマトビケラ科	_	-	$\vdash$		-	
170			ツメナガナガレトピケラ科	ツメナガナガレトピケラ	$\top$	$\vdash$	$\vdash$		T	
171			ヒメトピケラ科	Hydroptila属	$\top$	$\vdash$	$\vdash$		Т	
172			ナガレトピケラ科	ヒロアタマナガレトピケラ	$\top$	Г	П		П	
173				クレメンスナガレトビケラ						
174				カワムラナガレトビケラ		<u></u>				
175				キソナガレトビケラ		<u> </u>				
176				レゼイナガレトピケラ		₩	$\vdash$	_		
177				ムナグロナガレトビケラ	+	⊢	$\vdash$		╙	
178				シコツナガレトピケラ	+	⊢	⊢	_	⊢	
179 180				トランスクィラナガレトビケラ	+-	₩	⊢	-	₩	
180				ヤマナカナガレトビケラ	+	₩	$\vdash$	-	-	
182				Rhyacophila sp.RA Rhyacophila sp.RK	_	₩	$\vdash$	$\vdash$	+	
102	-			Rhyacophi la属	+	$\vdash$	$\vdash$	<u> </u>	₩	
183			コエグリトピケラ科	Apatania属	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	
184			カクスイトピケラ科	ハナセマルツツトビケラ	+	$\vdash$	$\vdash$		$\vdash$	
185				ウエノマルツツトビケラ	+	$\vdash$	$\vdash$		T	
-				Micrasema属	1				Г	
186			アシエダトビケラ科	Anisocentropus属	T				Т	
187			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	T				T	
188			カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ						
-				Lepidostoma属		丄	$\perp$			
189			ヒゲナガトビケラ科	Ceraclea属		<u>↓</u>	$\perp$			
190				Leptocerus属	4	<u></u>	$\vdash$	$\vdash$	1	
191				Mystacides属	4	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
192				Oecet is属	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	₩	
193 194				Setodes属 Triaenodes属	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
194				Irraenodes属   ヒゲナガトピケラ科	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
195			エグリトピケラ科	トピイロトピケラ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
196	İ		マルバネトピケラ科	Phryganopsyche属	+	$\vdash$	т	H	T	
197	I		ケトピケラ科	グマガトビケラ	1		П		Т	
-	İ			Gumaga属	1		П	Г	T	
198			シマトピケラ科	コガタシマトビケラ					Γ	
199				ナミコガタシマトピケラ					Г	
-				Cheumatopsyche属	$oldsymbol{\Box}$	匚	匚	匚	匚	
200				Diplectrona属					Г	
201				オオヤマシマトピケラ		oxdot	$\Box$	oxdot	╚	
202	l			ギフシマトビケラ	1	$\perp$	$\perp$	$\perp$	$\perp$	
203				ウルマーシマトピケラ	—	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	
204				ナカハラシマトビケラ	4	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	
205				Hydropsyche属HB	—	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	
206				Hydropsyche属 オオシマトビケラ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	
206				エチゴシマトビケラ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	
201			-	トピケラ目(毛翅目)	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
208		チョウ目(鱗翅目)	ットガ科	キオビミズメイガ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
209	l	H ( MM X2 H )	メイガ科	メイガ科	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
210		八工目(双翅目)	ガガンポ科	ヒメウスバガガンボ	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+	
210	l	, .= H ( //////////////////////////////////		Antocha属	+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	t	
211				Dicranota属	1				Т	
211				Eriocera属	1		П	Г	T	
212	昆虫綱	八工目(双翅目)	ガガンポ科	Hexatoma, EB	丁				Г	
212		1		Hexatoma属ED	1		П	Г	П	
212					$\neg$				$\Box$	
212 213 214				Hexatoma属		1	1 1			
212 213 214 - 215				Limnophila属	_	┢			İ	
212 213 214 - 215 216				Limnophila属 Pilaria属	$\pm$	Ē			E	
212 213 214 - 215				Limnophila属	$\pm$					

表 6.6-3 ダム湖内確認種リスト(底生動物 : 4/5)

No. 219	昆虫網 八二	日名 日(双翅目)	科名	種名	Н5	H7	H12	H17	Tur
- 220 221 222 - 223 224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231	昆虫網 ハコ	[日(双翅目)							1172
- 220 221 222 - 223 224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231				Tipula属TC	_				Ε
- 220 221 222 - 223 224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231				Tipula属 ガガンボ亜科	-			<u> </u>	╀
221 222 - 223 224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231 232				ガガンボ科	_			$\vdash$	+
222 - 223 224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231 232			チョウバエ科	チョウバエ科					T
223 224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231 232			ヌカカ科	ヌカカ科					
224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231 232			ユスリカ科	Ablabesmyia longistyla	-			$\vdash$	╀
224 - 225 - 226 - 227 228 229 230 - 231 232				Ablabesmyia属 Anatopynia属AA	-			<del>                                     </del>	╁
225 - 226 - 227 228 229 230 - 231 232				Brillia属BC	_				t
226 - 227 228 229 230 - 231 232				Brillia属					T
227 228 229 230 - 231 232				Calopsectra属CA					
227 228 229 230 - 231 232				Calopsect rais	_			$\vdash$	╄
228 229 230 - 231 232				Cardiocladius属CF Cardiocladius属	-			$\vdash$	⊬
228 229 230 - 231 232				Chironomus bathophilus					t
230 - 231 232				フチグロユスリカ					I
231 232				Chironomus strenzkei				$\vdash$	Ļ
232				セスジュスリカ Chironomus属	_			$\vdash$	⊢
232				Cladotanytarsus属	1			-	╁
222				Conchape I op i a属					t
				Corynoneura属					Ξ
234				Cricotopus属CN				$\vdash$	₽
235 236				Cryptochironomus属BC Cryptochironomus属DC				$\vdash$	┾
230				Cryptochi ronomus属					╁
237				Demicryptochironomus属					T
238				Diamesa属GA				$\equiv$	F
239				Diamesa属GC	L		<u> </u>	$\vdash$	Ļ
240 241				Diamesa属PB-3 Dicrotendipes属	1	1	-	<b>—</b>	+
241				Einfeldia属EA	H			Г	+
243				Einfeldia MEB	L				T
-				Einfeldia属	Г			匚	
244				Eukiefferiella MED	-			$\vdash$	╄
245 246				Fissimentum属FA Glyptotendipes属				$\vdash$	╁
247				Heterotrissocladius属EC					t
-				Heterotrissocladius属					T
248				Hydrobaenus属					Γ
249				Limnophyes属				$\vdash$	╄
250 251				Macropelopia属	-			$\vdash$	╀
252				Micropsectra属 Microtendipes属MA	_				t
253				Microtendipes属MB					T
-				Microtendipes属					I
254				Neobrillia属	-			$\vdash$	╀
255 256				Orthocladius属CA Orthocladius属CC	-			$\vdash$	⊬
				Orthocladius属	_				t
257				Pagastia属					I
258				Pantaneura属FA					Γ
259				Paracladopelma E	_			$\vdash$	₽
260				Paratendipes属PB Paratendipes属				$\vdash$	╁
261				Polypedilum属PA					t
262				Polypedi lum <sub>EPD</sub>					T
263				Polypedilum属PE					Ι
-				Polypedi lum <sub>B</sub>	_			$\vdash$	Ļ
264 265				Potthastia属 Procladius属PA	-			$\vdash$	╁
266				Procladius属PB					t
-				Procladius属					İ
267				Psectrocladius属				F	ſ
268				Rheocricotopus属RB				$\vdash$	Ļ
269				Rheocricotopus属RE Rheocricotopus属				$\vdash$	t
270				Rheotanytarsus属					t
271				Stempellinella属				二	I
272				Stenochi ronomus属	Ĺ		_	$\vdash$	Ĺ
273				Stictochironomus属SA Stictochironomus属SC	<b>!</b>	-	-	<b>—</b>	Ŧ
274				Stictochironomus属SC Stictochironomus属	1			_	+
275				Tanytarsus属CM	t				t
-				Tanytarsus属	L				İ
276				Thienemanniella属	L	L	L	$\vdash$	Ţ
277				Tvetenia属	₽			<u> </u>	+
-				モンユスリカ亜科 エリユスリカ亜科	1			_	t
-				コスリカ亜科	t				t
-				ユスリカ科				匸	I
278			力科	Culex属	匚	$\perp$	$\vdash$	$\vdash$	Į
279			<b>本ソ</b> カ科	ハマダラカ亜科	⊢	-	-	$\vdash$	+
280			ホソカ科	Dixa属 ホソカ科	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+
- 281			プユ科	Prosimulium属	t				t
282				キアシツメトゲブユ	T				t
-				Simulium属					Ι
283			ナガレアプ科	ハマダラナガレアブ	L			$\vdash$	Į
284				コモンナガレアブ	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+
285				クロモンナガレアブ ナガレアブ科	1		-		$^{+}$
286			ミズアプ科	テガレアノ科  ミズアブ科	H			$\overline{}$	t
287			アシナガバエ科	アシナガバエ科	t				t
			オドリバエ科	オドリバエ科					Γ
288 289			ミギワバエ科	ミギワバエ科				$\overline{\Box}$	Ĺ

表 6.6-3 ダム湖内確認種リスト(底生動物 : 5/5)

o. l	綱名	目名	科名	種名		5	プム湖	胡内		
					H5	H7	H12	H17	7 F	
290	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ					Ť	
291				マメゲンゴロウ					Ť	
92				クロゲンゴロウ					†	
93				シマゲンゴロウ					t	
94				コシマゲンゴロウ		1			+	
95				ケシゲンゴロウ					+	
96				モンキマメゲンゴロウ		-			┥	
97				ヒメゲンゴロウ	-+	-			+	
97				ヒメゲンゴロウ亜科					4	
-							-		4	
_				ゲンゴロウ亜科					4	
-				ゲンゴロウ科					4	
98			ダルマガムシ科	ダルマガムシ科						
99			ガムシ科	ヤマトゴマフガムシ						
00				ガムシ						
01				ヒメガムシ					Ī	
-				ガムシ科					Ī	
02			マルハナノミ科	Elodes属						
03				Hydrocyphon属						
-				マルハナノミ科						
04			ヒメドロムシ科	ツヤナガアシドロムシ					-	
05				ツヤヒメドロムシ					i	
06				ゴトウミゾドロムシ		1			t	
07				イプシアシナガドロムシ					t	
08				Zaitzevia属	-				-	
09				ホソヒメツヤドロムシ			-		+	
10						-	-	_	4	
10				マルヒメツヤドロムシ			-	_	-	
-				ヒメドロムシ亜科			-		_	
_				ヒメドロムシ科					_	
11			ヒラタドロムシ科	Cophaesthetus属						
12				チビヒゲナガハナノミ						
-			ヒラタドロムシ科	Ectopria属						
13				Eubrianax属						
14				チビマルヒゲナガハナノミ					1	
15				ヒラタドロムシ					Ī	
-				Mataeopsephus属					Ī	
16				マスダチビヒラタドロムシ					Ī	
-				Psephenoides属					i	
17			ナガハナノミ科	ナガハナノミ科					1	
18			ホタル科	ゲンジボタル	-	1	+		+	
	コケムシ綱	<b>掩喉目</b>	ヒメテンコケムシ科	ヒメテンコケムシ	-	$\vdash$	$\vdash$		+	
20	コノムノ神	]地" 大口	ハネコケムシ科	ハネコケムシ科	-+	$\vdash$	+		+	
						+	-	$\vdash$	-	
21		櫛口目	チャミドロコケムシ科	チャミドロコケムシ						

<sup>1.</sup>種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。
2.種名に「・・・・属」「・・・科」「・・・亜科」「・・・目」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。
3.表中の数は個体数を示す。
なお、個体数は定量採集及び定性採集で確認された個体数の合計を示している。なお、報告書中に「>100」と記載してあるものについては100として扱った。

<sup>4.</sup>表中の「\*」は、群体性の種であることを示す。ただし、実数で記載されているものについては、実数を記載した。

表 6.6-4 ダム湖内確認種リスト(植物プランクトン : 1/3)

No.	綱名	科名	種名		ダム	湖内	
			学名	H5	H11	H16	H18
1	藍藻	クロオコックス	Aphanocapsa elachista				
-			Aphanocapsa sp.				
2			Aphanothece sp.				
3			Chrococcus sp.				
<u>4</u> 5			Dactylococcopsis fascicularis  Mariamanadia elegana				
6			Merismopedia elegans Merismopedia tenuissima				
7			Microcystis aeruginosa				
8			Microcystis wesenbergii				
9		ネンジュモ	Anabaena flos-aquae				
10			Anabaena spiroides				
-			Anabaena sp.				
11			Aphanizomenon flos-aquae				
12			Raphidiopsis sp.				
13		ユレモ	Oscillatoria agardhii				
14			Oscillatoria tenuis				
			Oscillatoria sp.				
15			Phormidium autumnale				
16 17			Phormidium retzii Phormidium tenue				
17			Phormidium tenue Phormidium sp.				
10	紅藻	オオジュイネラ	Audouinella chalybea				
10	<del>紅爆</del> クリプト藻	クリプトモナス	Cryptomonas ovata				
-	////// <del>/</del>	7771 27 7	Cryptomonas sp.				
20			Rhodomonas sp.				
	渦鞭毛藻	ギムノディニウム	Gymnodinium helveticum				
22		グレノディニウム	Glenodinium pulvisculus				
-			Glenodinium sp.				
23		ケラティウム	Ceratium hirundinella				
24		ペリディニウム	Peridinium bipes f.occultatum				
25			Peridinium elpatiewskyi				
26			Peridinium volzii				
- 27	黄金色藻	ディノブリオン	Peridinium sp.				
28	<b>貝</b>	ティノフックフ	Dinobryon cylindricum Dinobryon divergens				
29			Dinobryon sertularia				
30		シヌラ	Mallomonas akrokomos				
31		, , ,	Mallomonas fastigata				
32			Mallomonas tonsurata				
33			Synura uvella				
34	珪藻	タラシオシラ	Cyclotella asterocostata				
35			Cyclotella glomerata				
36			Cyclotella meneghiniana				
37			Cyclotella radiosa				
38			Cyclotella stelligera				
39			Cyclotella sp.	1			
40			Skeletonema subsalsum Stephanodiscus carconensis				
41		メロシラ	Aulacoseira distans	-			
42			Aulacoseira granulata				
43			Aulacoseira granulata var.angustissima				
44			Aulacoseira granulata var.angustissima f.spiralis				
45			Aulacoseira italica				
46			Melosira varians				
47		リゾソレニア	Rhizosolenia setigera				
48		ビドルフィア	Acanthoceros zachariasi				
49		ディアトマ	Asterionella formosa				
50			Diatoma vulgare				
51			Fragilaria capucina	-			
52			Fragilaria crotonensis				
53			Fragilaria tenera Fragilaria sp.				
, '		1	i rayılarıa sp.		1		
<u>-</u> 54			Hannaea arcus				

表 6.6-4 ダム湖内確認種リスト(植物プランクトン : 2/3)

No.	綱名	科名	種名	ダム湖内					
			学名	H5	H11	H16	H18		
	珪藻	ディアトマ	Synedra acus						
57			Synedra rumpens						
58			Synedra ulna						
59			Synedra ulna var.oxyrhynchus						
60		アクナンテス	Achnanthes brevipes						
61			Achnanthes japonica						
62			Achnanthes lanceolata						
-			Achnanthes sp.						
63			Cocconeis placentula						
-			Cocconeis sp.						
64		ナビクラ	Amphora ovalis						
65		/ -	Cymbella aspera						
66			Cymbella tumida						
67	-		Cymbella turgidula						
01	-		Cymbella sp.						
68	-								
	-		Encyonema minutum				-		
69	-		Gomphoneis quadripunctatum						
70	-		Gomphonema acuminatum				-		
71			Gomphonema angustatum				-		
72			Gomphonema clevei				1		
73			Gomphonema helveticum						
74			Gomphonema parvulum						
75			Gomphonema tetrastigmatum						
-			Gomphonema sp.						
76			Navicula cinctaeformis						
77			Navicula cryptocephala						
78			Navicula exigua						
79			Navicula gregaria						
80			Navicula pupula						
81			Navicula radiosa						
82			Navicula viridula						
			Navicula sp.						
83			Pinnularia sp.						
84			Stauroneis sp.						
85		ニッチア	Bacillaria paradoxa				<del>                                     </del>		
86		- , , ,	Nitzschia acicularis	-					
87	-								
88	-		Nitzschia agnita				-		
			Nitzschia amphibia						
89			Nitzschia clausii				-		
90			Nitzschia dissipata				-		
91			Nitzschia inconspicua				1		
92			Nitzschia linearis						
93			Nitzschia palea						
94			Nitzschia paleacea						
95			Nitzschia parvula						
-			Nitzschia sp.						
96		スリレラ	Surirella tenera						
-			Surirella sp.						
97	ミドリムシ藻	ミドリムシ	Euglena sp.						
98			Phacus sp.						
99			Trachelomonas sp.						
100	緑藻	クラミドモナス	Carteria cordiformis						
101			Carteria globulosa	1					
102			Carteria klebsii	+		<del> </del>			
102			Carteria peterhofiensis						
103	1			+		1	<del>                                     </del>		
404	-		Carteria sp.	1			1		
104			Chlamydomonas sp.						
105		1. 1.1.7.*	Chlorogonium elongatum						
106		オオヒゲマワリ	Eudorina elegans	1					
107			Pandorina morum						
108	I	1	Volvox aureus	1		1	1		

表 6.6-4 ダム湖内確認種リスト(植物プランクトン : 3/3)

No.	綱名	科名	種名		ダム	湖内	
			学名	H5	H11	H16	H18
109	緑藻	ヨツメモ	Tetraspora lacustris				
110		パルメロプシス	Chlamydocapsa gigas				
111		キャラキウム	Ankyra ancora				
112		クロロコックム	Schroederia ancora				
113			Schroederia setigera				
114			Tetraedron minimum				
115		パルメラ	Sphaerocystis schroeteri				
116		オオキスティス	Ankistrodesmus falcatus				
117			Chodatella sp.				
118			Closteriopsis longissima				
119			Kirchneriella contorta				
120			Oocystis borgei				
121			Oocystis parva				
-			Oocystis sp.				
122		ゴレンキニア	Golenkinia radiata				
123		ミクラクティニウム	Micractinium pusillum				
124		セネデスムス	Actinastrum hantzschii				
125			Coelastrum cambricum				
126			Coelastrum microporum				
127			Coelastrum sphaericum				
128			Crucigenia curcifera				
129			Crucigenia tetrapedia				
130			Crucigeniella rectangularis				
131			Scenedesmus acuminatus				
132			Scenedesmus arcuatus				
133			Scenedesmus ecornis				
134			Scenedesmus quadricauda				
-			Scenedesmus sp.				
135		アミミドロ	Pediastrum biwae				
136			Pediastrum duplex				
137			Pediastrum simplex				
138			Pediastrum tetras				
139		コッコミクサ	Elakatothrix gelatinosa				
140		ヒビミドロ	Klebsormidium sp.				
141			Koliella elongata				
142		ミクロスポラ	Microspora sp.				
143		カエトフォラ	Cloniophora plumosa				
144			Stigeoclonium sp.				
145		サヤミドロ	Oedogonium sp.				
146		ツヅミモ	Arthrodesmus sp.				
147			Closterium aciculare				
148			Closterium aciculare var.subpronum				
149			Closterium acutum var.variabile				
-			Closterium sp.				
150			Staurastrum dorsidentiferum var.ornatum				
151			Staurastrum mucronatum				
152			Staurastrum mucronatum var.subtriangulare				
		]	Staurastrum sp.				
		7門	8綱16目39科152種	59種	94種	64種	37種
<u> </u>			タベース 河川水辺の国勢調査のための牛物リスト (国土交)	<u> </u>		4種	

注) 1.種名及び分類は、「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。

<sup>2.</sup>種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-5 ダム湖内確認種リスト(動物プランクトン: 1/2)

No.	門名	綱名	科名	種名		ダム	湖内	
				学名	H5	H11	H16	H18
1	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	アルケラ	Arcella vulgaris				
2			ディフルギア	Difflugia corona				
3				Difflugia limnetica				
4		7. IN E	ケントロピキシス	Centropyxis aculeata				
5		糸状根足虫	キフォデリア	Cyphoderia sp.				
6		まて上四 ホ	エウグリファ	Euglypha sp.				
7		真正太陽虫	-	Acanthocystis pectinata	_			
8	<b>烘</b> 工出	キネトフラグミノフォーラ	ホロフリア	Acanthocystis sp.				
10	繊毛虫	ナイトノフクミノノオーフ 	ハロフップ	Askenasia volvox Didinium nasutum				
11			トラケリウス	Paradileptus robustus				
<del>- '-</del>			100000	Paradileptus sp.				
12			アンフィレプス	Amphileptus claparedeii				
13				Dileptus anser				
-				Dileptus sp.				
14				Lionotus lamella				
15		少膜	パラメキウム	Colpidium sp.				
16				Glaucoma scintillans				
17				Leucophrydium putrinum				
18				Paramecium sp.				
19			エピスティリス	Epistylis plicatilis				
-			<u> </u>	Epistylis sp.				
20			ボルティケラ	Carchesium polypinum	-			
-				Carchesium sp.				
21				Vorticella campanula Vorticella sp.				
22		多膜	ストロンビディウム		_			
23		夕脵 	ストロンとディッム	Strombidinopsis gyrans Strombidium viride	-			
24			フデヅツカラムシ	Tintinnidium cylindrata				
25			J J J J J J J J J J J J	Tintinnidium Cymarata Tintinnidium fluviatile				
				Tintinnidium sp.				
26			スナカラムシ	Codonella cratera				
-		-	-	CILIOPHORA				
27	輪形動物	単生殖巣	ツボワムシ	Brachionus angularis angularis				
28		. —,—,,		Brachionus angularis bidens				
29				Brachionus calyciflorus				
30				Brachionus forficula				
31				Kellicottia longispina longispina				
32				Keratella cochlearis f.cochlearis				
33				Keratella cochlearis f.macracantha				
34				Keratella cochlearis f.micracantha				
35				Keratella cochlearis f.tecta				
36 37				Keratella quadrata quadrata	-			
38				Keratella valga valga Notholca labis				
- 30				Notholca sp.				
39				Schizocerca diversicornis				
40			ハオリワムシ	Colurella obtusa				
41			1	Colurella uncinata	1			
-				Colurella sp.	1			
42				Dipleuchlanis propatula				
43				Euchlanis dilatata				
44				Lepadella oblonga				
				Lepadella sp.				
45				Trichotria tetractis				
46			ツキガタワムシ	Lecane Iudwigii				
47				Lecane luna				
48				Monostyla bulla				
49				Monostyla lunaris	-			
-			セナカワムシ	Monostyla sp.	+			
50 51			(と) カツムン	Cephalodella sp.	-			
52				Notommata sp. Scaridium longicaudum	1			
53			ネズミワムシ	Diurella rousseleti	+			
54			1.77777	Diurella porcellus				
55				Diurella stylata	1			
56				Trichocerca birostris				
57				Trichocerca capucina				
58				Trichocerca cylindrica				
		I	1					
59				Trichocerca elongata				

表 6.6-5ダム湖内確認種リスト(動物プランクトン: 2/2)

No.	門名	綱名	科名	種名		ダム	湖内	
				学名	H5	H11	H16	H18
60	輪形動物	単生殖巣	ハラアシワムシ	Chromogaster ovalis				
61			ヒゲワムシ	Ploesoma truncatum				
62				Polyarthra euryptera				
63				Polyarthra trigla vulgaris				
64				Synchaeta stylata				
-				Synchaeta sp.				
65			フクロワムシ	Asplanchna priodonta				
-				Asplanchna sp.				
66			ミジンコワムシ	Hexarthra mira				
67			ヒラタワムシ	Filinia longiseta longiseta				
68				Pompholyx complanata				
69				Pompholyx sulcata				
70				Testudinella patina				
71				Tetramastix opoliensis				
72			テマリワムシ	Conochiloides coenobass				
-				Conochiloides sp.				
73				Conochilus unicornis				
-				Conochilus sp.				
74		ヒルガタワムシ	ミズヒルガタワムシ	Philodina roseola				
75				Rotaria rotatoria				
-				Rotaria sp.				
76			ドロヒルガタワムシ	Habrotrocha sp.				
77	節足動物	顎脚	ヒゲナガケンミジンコ	Eodiaptomus japonicus				
-			-	Calanoida				
78			カントカンプタス	Canthocamptus sp.				
79			キクロプス	Cyclops kikuchii				
80			1,,,,,,	Cyclops strenuus				
81				Mesocyclops leuckarti				
82				Thermocyclops hyalinus				
-			-	Cyclopoida				
-			-	Copepoda				
83		葉脚	シダ	Diaphanosoma brachyurum				
84			ミジンコ	Ceriodaphnia pulchella				
85				Ceriodaphnia quadrangula				
86				Ceriodaphnia reticulata				
87				Daphnia galeata				
88				Daphnia hyalina				
89				Daphnia longispina				
90				Daphnia pulex				
-				Daphnia sp.				
91				Moina macrocopa		1		
-				Daphniidae				
92			ゾウミジンコ	Bosmina fatalis				
93				Bosmina longirostris				
-				Bosmina sp.				
94				Bosminopsis deitersi				
95			マルミジンコ	Alona guttata		1		
-			````	Alona sp.	1	t		
96				Chydorus gibbus		<b>†</b>		
97				Chydorus ovalis				
98				Chydorus sphaericus				
99			70	Leptodora kindtii				
	線形動物	-	/ H	NEMATODA				
100	が水バン宝川がり	<u> </u> -	1-	INLINIATODA	20 <del>1</del> €	65 <b>1</b> #	62種	22話
			5門11綱16目37科100種		30作里		<u>  102/性</u> )種	」ころ作里
						90	17年	

表 6.6-6 ダム湖内確認種リスト(鳥類 : 1/2)

No.	目名	科名	種名	ダム湖内			
			和名	H5	Н9	H14	H18• 19
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ				
2			アカエリカイツブリ				
3	ペリカン目	ウ科	カワウ				
4	コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ				
5			ササゴイ				
6			アマサギ				
7			ダイサギ				
8			チュウサギ				
9			コサギ				
10			アオサギ				
	カモ目	カモ科	オシドリ				
12			マガモ				
13			カルガモ				
14			コガモ				
15			ヒドリガモ				
16	<b>5.1.</b>	E 1 41	カワアイサ				
	タカ目	タカ科	ミサゴ				
18			ハチクマ				
19			トビ				-
20			オオタカ				-
21			ツミ				
22			ハイタカ				
23			オオノスリ				
24			ノスリ				
25			サシバ				
26	キジ目	キジ科	クマタカ コジュケイ				
28		ナン付	<b>コンコ</b> ソイ   <b>キ</b> ジ				
29			ヤマドリ				
	ツル目	クイナ科	バン				
	チドリ目	チドリ科	コチドリ				
32	7 1.00	フ 1 ソイイ	イカルチドリ				
33			ケリ				
34		シギ科	キアシシギ				
35		7 111	イソシギ				
36			ヤマシギ				
37			オオジシギ				
	ハト目	ハト科	キジバト				
39			アオバト				
40	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ				
41			ツツドリ				
42			ホトトギス				
	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク				
44			アオバズク				
45			フクロウ				
	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ				
	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ				
	ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ				
49			カワセミ				
	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ				
51			アカゲラ				
52			オオアカゲラ				
53		N. 118 . 178	コゲラ				
	スズメ目	ツバメ科	ツバメ				
55			コシアカツバメ				
56		<b>カナ」 バ</b> リ	イワツバメ				
57		セキレイ科	キセキレイ				
58			ハクセキレイ				
59			セグロセキレイ				

表 6.6-6 ダム湖内確認種リスト(鳥類 : 2/2)

No.	■ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	種名	ダム湖内			
		和名	H5	H9	H14	H18• 19
60 スズメ	目 セキレイ科	ビンズイ				
61	サンショウク					
62	ヒヨドリ科	ヒヨドリ				
63	モズ科	モズ				
64	カワガラス科	カワガラス				
65	ミソサザイ科	ミソサザイ				
66	イワヒバリ科	カヤクグリ				
67	ツグミ科	ルリビタキ				
68		ジョウビタキ				
69		ノビタキ				
70		トラツグミ				
71		アカハラ				
72		シロハラ				
73		ツグミ				
74	ウグイス科	ヤブサメ				
75		ウグイス				
76		メボソムシクイ				
77		センダイムシクイ				
78		キクイタダキ				
79	ヒタキ科	キビタキ				
80	27111	オオルリ				
81		サメビタキ				
82		エゾビタキ				
83		コサメビタキ				
84	カササギヒタ					
85	エナガ科	エナガ				
86	シジュウカラ					
87	/ / 4 / / / / /	ヒガラ				
88		ヤマガラ				
89		シジュウカラ				
90	メジロ科	メジロ				+
91	ホオジロ科					
92	W2 2 D44	カシラダカ				
93		ミヤマホオジロ				
		アオジ				
94 95		クロジ				-
96	アトリ科	アトリ				
96	7 1 1 1 1	カワラヒワ				
98		マヒワ				
99		ベニマシコ				
100		ウソ				
101		イカル				
102	11 4 4 11 10 11 4	シメ				+
103	ハタオリドリオ		1			1
104	ムクドリ科	ムクドリ	1			+
105	カラス科	カケス	1			1
106		ハシボソガラス				-
107		ハシブトガラス				1
-		カラス属				
	16目36科10	17種	60種	58種 96	72種	22種

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

(流入河川確認種リスト)

表 6.6-7 流入河川確認種リスト(魚類)

No.	綱名	目名	科名		種名		济	入河	Ш	
				和名	学名	H4	H5	Н8	H13	H19
1	硬骨魚綱	コイ目	コイ科	コイ	Cyprinus carpio					
2				ゲンゴロウブナ	Carassius cuvieri					
3				ギンブナ	Carassius auratus langsdorfii					
4				ニゴロブナ	Carassius auratus grandoculis					
5				オオキンブナ	Carassius auratus buergeri					
-				フナ属	Carassius sp.					
6				ワタカ	Ischikauia steenackeri					
7				ハス	Opsariichthys uncirostris uncirostr	i				
8				オイカワ	Zacco platypus					
9				カワムツ	Zacco temminckii					
10				モツゴ	Pseudorasbora parva					
11				タモロコ	Gnathopogon elongatus elongatus					
12				ホンモロコ	Gnathopogon caerulescens					
13				カマツカ	Pseudogobio esocinus esocinus					
14				コウライニゴイ	Hemibarbus labeo					
15				ニゴイ	Hemibarbus barbus					
-				ニゴイ属	Hemibarbus sp.					
16				スゴモロコ	Squalidus chankaensis biwae					
17				コウライモロコ	Squalidus chankaensis subsp.					
-				スゴモロコ属	Squalidus sp.					
18			ドジョウ科	ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus					
19		ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	Silurus asotus					
20			ギギ科	ギギ	Pseudobagrus nudiceps					
21		サケ目	サケ科	アマゴ	Oncorhynchus masou ishikawae					
22			アユ科	アユ	Plecoglossus altivelis altivelis					
23		ダツ目	メダカ科	メダカ	Oryzias latipes					
24		タウナギ目	タウナギ科	タウナギ	Monopterus albus					
25		スズキ目	ハゼ科	スミウキゴリ	Gymnogobius petschiliensis					
26				ウキゴリ	Gymnogobius urotaenia					
27				トウヨシノボリ	Rhinogobius sp.OR					
28				カワヨシノボリ	Rhinogobius flumineus					
-				ヨシノボリ属	Rhinogobius sp.					
29				ヌマチチブ	Tridentiger brevispinis					
30			サンフィッシュ科	ブルーギル	Lepomis macrochirus					
31				オオクチバス ( ブラックバス )	Micropterus salmoides					
						12種	6種	11種	15種	23種
				・利門ひ口(ひかする)が里				25種		

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-8 流入河川確認種リスト(エビ・カニ・貝類)

No.	綱名	目名	科名	和名		流入河川				
					H4	H5	Н8	H13		
1	マキガイ綱(腹足綱)	ニナ目(中腹足目)	タニシ科	オオタニシ						
2				ヒメタニシ						
3			カワニナ科	カワニナ						
4				チリメンカワニナ						
5		モノアラガイ目(基眼目)	モノアラガイ科	モノアラガイ						
6	ニマイガイ綱(二枚貝綱)	ハマグリ目(マルスダレガイ目)	シジミ科	マシジミ						
7	甲殼綱	エビ目(十脚目)	テナガエビ科	テナガエビ						
8				スジエビ						
9			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ						
10			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ						
11			サワガニ科	サワガニ						
	_	3綱4目8科11種			3種	3種	3種	4種		
			i.			5₹	锺			

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.表中の数は、個体数を示す。

表 6.6-9 流入河川確認種リスト(底生動物 : 1/5)

	<i>17.</i> 6		<b>7</b> 1 <b>5</b>	75.00	I	济	入河	Ш	
No.	綱名	目名	科名	種名	HE		H12		H20
1	普通海綿綱	  ザラカイメン目(単骨海綿目)	L タンスイカイメン科	コワカイメン	GFI	11/	пІΖ	п17	HZU
-				タンスイカイメン科					
	ヒドロ虫綱	無鞘目(花クラゲ目)	ヒドラ科	ヒドラ科					
3	ウズムシ綱 (渦虫綱)	ウズムシ目 (三岐腸目)	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	1				_
-1			-	ウズムシ目 (三岐腸目)   ウズムシ網 (渦虫網)	1				
4	-	-	-	ひも(紐)形動物門					
5		-	-	線形動物門					
	マキガイ綱(腹足綱)	ニナ目(中腹足目)	タニシ科	オオタニシ					
7			+D-+N	ヒメタニシ	-				
8 9			カワニナ科	カワニナ   チリメンカワニナ	1				
-				Semisulcospira属	1				
10		モノアラガイ目 (基眼目)	カワコザラガイ科	カワコザラガイ					
11			モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	1				
12 13				コシダカヒメモノアラガイ Radix属	1				
-				モノアラガイ科	1				
14			サカマキガイ科	サカマキガイ					
15			ヒラマキガイ科(+ インドヒラマキ						
16		/ \ # / F	/ >	ヒラマキガイモドキ					
17 18	ニマイガイ綱(二枚貝綱)	イシガイ目 マルスダレガイ目	イシガイ科 シジミ科	ドブガイ (タガイ、ヌマガイ) マシジミ	1-		-		-
-		1477 F 7 1 H	17	Corbicula属	1				
19			マメシジミ科	Pisidium属	<u>L</u> _				L
20			ドプシジミ科	ドブシジミ	1				L
	ミミズ綱(貧毛綱)	オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	オヨギミミズ科	1				
22 23		ナガミミズ目	ビワミミズ科 ヒメミミズ科	ヤマトヒモミミズ  ヒメミミズ科	1	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>		
23			ナガミミズ科	ナガミミズ科	t				
25			ツリミミズ科	Allolobophora属	<u>L</u> _				
-				ツリミミズ科	1				L
26			フトミミズ科	Pheretima属	1				
27			ミズミミズ科	フトミミズ科 Chaetogaster属	1				
28				Derog	t				
29				Nais属					
30				Ophidonais属	1				
31				Slavina属	1	_	-		-
32				テングミズミミズ Stylaria属	1				
H				ミズミミズ科	t				
33			イトミミズ科	エラミミズ					
34				ユリミミズ	1				
-				Limnodrilus属	1	-	-		-
35				イトミミズ Tubi fex属	1				
H				イトミミズ科	t				
36			ヒモミミズ科	ヒモミミズ科					
			-	ナガミミズ目	1				
-	レリ細	- / ビグリロ / 佃杯ロ /	- 	ミミズ綱	1	-	-		-
3/	ヒル網	ノドビル目(咽蛭目)	イシビル科	ナミイシビル イシビル科	1				
38	クモ綱(蛛形綱)	ダニ目	-	ダニ目	t				
	甲殼綱	ワラジムシ目(等脚目)	ミズムシ科	ミズムシ	L				
-				ミズムシ科					
40		ココエビ目(端脚目)	ハマトビムシ科	ハマトビムシ科	1	_	_		<u> </u>
41 42		エビ目(十脚目)	テナガエビ科	テナガエビ スジエビ	1				
43				アメリカザリガニ	t				
44			サワガニ科	サワガニ					
45	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ	1				Ľ
- 46			コカゲロウ科	Ameletus属 ミツオミジカオフタバコカゲロウ	1	_	-		-
46			1777 H 744	ミジカオフタバコカゲロウ ミジカオフタバコカゲロウ	1				
48				フタバコカゲロウ	1				
-				Baetiella属					
49				トビイロコカゲロウ					
50				サホコカゲロウ フタモンコカゲロウ	1-				-
51 52				フタモンコカゲロワ   シロハラコカゲロウ	1	_	_		-
53				ヤマトコカゲロウ	t				
54				ヨシノコカゲロウ					
55				Dコカゲロウ	1				
56				E コカゲロウ	1	-	-		-
57 58				G コカゲロウ   H コカゲロウ	+	_	_		-
59				I コカゲロウ	1				
60				J コカゲロウ	L				
-				Baetis属					
61				Cloeon属	1	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
62 63				ウスイロフトヒゲコカゲロウ Procloeon属	1-				1
64			   ガガンボカゲロウ科	がガンボカゲロウ	1				
65			フタオカゲロウ科	Siphlonurus属	L				
66			ヒラタカゲロウ科	オビカゲロウ					
67				Cinygmula属					
68				キブネタニガワカゲロウ	1				
69			<u>I</u>	クロタニガワカゲロウ	1				

表 6.6-9 流入河川確認種リスト(底生動物 : 2/5)

No.	網名	目名	科名	種名	流入河		九河川	Щ	$\Box$
NO.	押石	H 1	171	<b>性</b> 有	H5	H7	H12	H17	H20
70	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	Ť		Ħ		-1120
-				Ecdyonurus属					
71				ウエノヒラタカゲロウ	+	-	$\vdash$		
72 73				ナミヒラタカゲロウ エルモンヒラタカゲロウ	+				
74				ユミモンヒラタカゲロウ	+		$\vdash$		
-				Epeorus属	1				
75				キョウトキハダヒラタカゲロウ					
76				サツキヒメヒラタカゲロウ					
77 78	4		チラカゲロウ科 トビイロカゲロウ科	チラカゲロウ   ヒメトビイロカゲロウ	+		$\vdash$		
79			1-6-1 000 004	ウエストントピイロカゲロウ	+				_
-				Paraleptophlebia属					
80			トビイロカゲロウ科	Thraulus属					
81			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	lacksquare				
82 83				トウヨウモンカゲロウ	_	-			
84			シロイロカゲロウ科	モンカゲロウ   オオシロカゲロウ	+		$\vdash$		
85			カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ					
86			マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ					
87				オオクママダラカゲロウ					
-				Cincticostella 属	_				
88 89				オオマダラカゲロウ ヨシノマダラカゲロウ	_	<del></del>	$\vdash$	_	
90				シリナガマダラカゲロウ	+		$\vdash$	$\rightarrow$	-
91				ツノマダラカゲロウ	I				
92				ホソバマダラカゲロウ	$\perp$				
93				イマニシマダラカゲロウ	+	_	ш		
94	1			クシゲマダラカゲロウ Enhancial La屋	+	$\vdash$	$\vdash\vdash$		
95	+			Ephemerella属 エラブタマダラカゲロウ	_		-		
96				アカマダラカゲロウ	1		$\vdash$		$\dashv$
97			ヒメシロカゲロウ科	Caenis属					
98		トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	Cercion属	$\perp$				
99				アジアイトトンボ					
-				Ischnura属 イトトンボ科	+		$\vdash$		
100			カワトンボ科	ハグロトンボ	+				_
101				ミヤマカワトンボ	1				
-				Calopteryx属					
102				アサヒナカワトンボ	$\bot$				
103	1			ニホンカワトンボ Mnais属	+		$\vdash$		_
104	1		ムカシトンボ科	MINITS IM ムカシトンボ	+				
105	-		ヤンマ科	マルタンヤンマ	+				
106	-			ギンヤンマ					
107				コシボソヤンマ					
108			## <b>#</b> # 1 \	ミルンヤンマ	4		$\sqcup$		
109 110			サナエトンボ科	ミヤマサナエ  ヤマサナエ	+	_	$\vdash$		
111				キイロサナエ	+				
-				As i agomphus属	1				
112				クロサナエ					
113				ダビドサナエ	4	-			
114	-			Davidius属	+	-	$\vdash$		
115	-			ホンサナエ  アオサナエ	_		$\vdash$		
116				オナガサナエ	$\top$				
117				コオニヤンマ					
118				オジロサナエ	$\perp$	<u> </u>	Ш		
110	1		オニヤンス科	サナエトンボ科 オニヤンマ	+		$\sqcup$		
119 120			オニヤンマ科 エゾトンボ科	オオヤマトンボ	+		$\vdash$		-
121				コヤマトンボ	T		$\Box$		-1
-	]			エゾトンボ科					
122			トンボ科	ショウジョウトンボ	$\perp$		Ш		
123				シオカラトンボ	+		$\vdash \vdash$		
124 125				オオシオカラトンボ  コシアキトンボ	+	$\vdash$	$\vdash$		-
126				マイコアカネ	+		$\vdash$	-+	$\dashv$
-	1			Sympetrum属	1		$\vdash$		
127		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科					
128			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	$oldsymbol{\perp}$	$\vdash$	ш		
129			ハラジロオナシカワゲラ科オナシカロゲラ科	ハラジロオナシカワゲラ科	+		${oldsymbol{arphi}}$		$\dashv$
130 131			オナシカワゲラ科	Amphinemura属 Nemoura属	+	$\vdash$	$\vdash\vdash$		-
-	†			オナシカワゲラ科	+		$\vdash$		-1
132	]		ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	1				
133			カワゲラ科	Gibosia属	$\perp$				
134				Kamimuria属	4	<u> </u>	$\sqcup$		
135	1			マエキフタツメカワゲラモドキ Kinting属	+	-	$\vdash \vdash$		
136	1			Kiotina属 ヤマトフタツメカワゲラ	+		$\vdash \vdash$		
-	1			Neoperlag	+		$\vdash$		
137	1			ヤマトカワゲラ					
138				Oyamia属					
139				Paragnet ina属	$oldsymbol{\perp}$	_	ш	[	
140	1			Togoperla属	+	-	igspace		
-	1			カワゲラ科			ш		

表 6.6-9 流入河川確認種リスト(底生動物 : 3/5)

19   19   19   19   19   19   19   19	No.	綱名	目名	科名	種名		77	充入河	Ш	
10 日本		A3 L1		114	12 11	H5	H7	H12	TH17	H20
150	141	昆虫綱	カワゲラ目(セキ翅目)	アミメカワゲラ科	Isoperla属					
Table   Ta										
TATA	143					_			⊢	
150	144		カメルシ目(半翅目)	アメンポ科		-			₩	
16			ガスムシ目(十週日)	F X 2 MA		<del>                                     </del>			<del></del>	
149										
Table	147									
148	-								ــــــ	
19	-					<u> </u>			<u> </u>	
10				ミスムシ科		-		-	₩	
190	149					1			<del>                                     </del>	
151   152   153   154   155   15	150			コオイムシ科					$\vdash$	
150									$\vdash$	
5-5   1-50				タイコウチ科						
155										
155									—	
10   10   10   10   10   10   10   10			マミメカゲロウ日(脈拗日)			-			₩	
197	130		アミスカラロラ日(MK22日)	1 1 1 J 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		_			+-	
EDI/カプロ分科   EDI/カプロ分科   EDI/カプロ分科   EDI/カプロ分科   EDI/カプロ分科   EDI/カプロク   EDI/カアロク   EDI/カアロク   EDI/カアロク   EDI/カアロク   EDI/カプロク   EDI/カアロク   ED	157					1			$\vdash$	
1990   トピクラ賞(毛翅目)				ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科				$\vdash$	
181	159			ミズカゲロウ科	ミズカゲロウ					
195			トピケラ目(毛翅目)			┈			$\vdash$	Ш
150			ファノナゲロナロ / 55500			₩	-	-	—	$oldsymbol{\sqcup}$
165    165    167    177    177    177    177    177    177    177    177    177    177    178    178    178    178    178    178    178    178    178    178    178    179			アミメカケロワ目(脈翅目)			—	-	-	$\vdash$	$\vdash$
						$\vdash$	1	<del>                                     </del>	$\vdash$	$\vdash$
Eグナガカワトピクラ    上ゲナガのトピクラ    上   上   上   上   上   上   上   上   上	- 104						t		t	
100	165			ヒゲナガカワトビケラ科		1	t		$\vdash$	
169	166				チャバネヒゲナガカワトビケラ					
1980   177   1						匸			$\vdash$	
170				ヤマトビケラ科		₩	1	<u> </u>	₩	Щ
マステンサード・グラ科   マステンサード・グラ科   マステンサード・グラ科   マステンサード・グラ科   マステンサード・グラ科   マステンサード・グラ科   マステンサード・グラ   マステンド・グラ   マ	169					₩	1		—	$\vdash$
170	H								<del> </del>	
171	170			ツメナガナガレトビケラ科		1	t		$\vdash$	$\vdash$
173									<b>†</b>	
175	172			ナガレトピケラ科	ヒロアタマナガレトピケラ					
T75										
1777						<u> </u>				
1777						₩			₩	
1758   1759   1750						-			₩	-
170									<del>                                     </del>	$\vdash$
1810   1821   1821   1822   1831   1822   1831   1822   1831   1824   1825   1831   1825   1831   1825   1831   1832   1831   1832   1831   1832   1831   1832   1832   1833   1834   1835									_	
Rivacoph I a sp. RK   Nivacoph I a sp. R	180									
Time										
1838	182					<u> </u>			<u> </u>	
1844   185	-					_			<del>↓</del>	$\vdash$
185						-			₩	$\vdash$
Nicrasenage				37211 2734		_			$\vdash$	
187	-									
188	186			アシエダトビケラ科						
Lepidostoma属										
199	188			カクツツトピケラ科		-			—	
190   191   192   193   193   194   194   194   194   195   195   195   196   196   197   19	100			レゲナガトビケニ科		-			₩	$\vdash$
191   192   193   194   195   195   195   195   195   196   196   197   197   197   197   198   199   19				[		1			$\vdash$	$\vdash$
192   193   194   194   194   194   195   195   195   195   196   197   19						1			t	
Tri aenodes魔   ヒゲナカトピケラ科   195   196   197	192				0ecet is属					
195										
195   196   197   197   197   197   197   197   197   197   198   199   19	194					<u> </u>		_	₩.	Ш
196   197   197   197   197   197   197   197   197   198   198   199   19	405			エガリトビケニ科		1	-	-	₩	Ш
197						<del></del>		1	$\vdash$	$\vdash$
198							t		$\vdash$	$\vdash$
198							L	L		
Cheumatopsyche属				シマトビケラ科	コガタシマトピケラ					
Diplectrona属	199					匚		lacksquare	oxdot	
カオヤマシマトピケラ	-					₩	-	-	—	oxdot
ロー						₩	1	-	$\vdash$	$oldsymbol{arphi}$
ウルマーシマトピケラ						1		1	$\vdash$	$\vdash$
カカハラシマトピケラ									t	$\vdash$
Hydropsyche属HB						Г				
カオシマトピケラ	205				Hydropsyche属HB					
エチゴシマトピケラ	<u> </u>				Hydropsyche属	Щ			┷	Ш
- トピケラ目(毛翅目) - トピケラ目(毛翅目) - チョウ目(鱗翅目) ツトガ科 キオピミズメイガ メイガ科 メイガ科 メイガ科 リロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロ						₩	1	1	$\vdash$	Ш
208     チョウ目 (鱗翅目)     ツトガ科 オイブミズメイガ メイガ科 メイガ科 メイガ科 メイガ科 メイガ科 メイガ科 メイガ科 ニュー ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー・ ロー	207			-		<del>                                     </del>	1	-	$\vdash$	$\vdash$
209	208		チョウ目(鱗翅甲)	ツトガ科		t	<u> </u>	<u> </u>	$\vdash$	$\vdash$
210			H ( M7ACH /			<b>†</b>			$\vdash$	$\vdash$
Antocha属			八工目(双翅目)					L		
Eriocera属	-		• •		Antocha属					
213 昆虫綱						┈	$\perp$	$\vdash$	$\vdash$	$\Box$
Hexatoma属ED		目 由 4回	U.T.D. ( 377 #33 D. \	44 44 1 44 51		₩	1	<u> </u>	—	
Hexatoma属		比出網	八工日(XX翅日) 	カカン小科		<del>                                     </del>	1		$\vdash$	$\vdash$
Linnophilag	214					<b>!</b>	-	-	$\vdash$	$\vdash$
216         Pilaria属           217         Scleroprocta属	215					1	<u> </u>		$\vdash$	$\vdash$
Scleroprocta属 Scleroprocta属						<b>†</b>			$\vdash$	
218 Tipula IITA					Scleroprocta属	L	L	L		
	218				Tipula属TA	匚			匚	

表 6.6-9 流入河川確認種リスト(底生動物 : 4/5)

No.	網名	目名	科名	種名	流入河川		Ш		
			11 [	1± LI	Н5	H7	H12	H17	H20
219	昆虫綱	八工目(双翅目)		Tipula属TC Tipula属					
_				ガガンボ亜科			+-	<del>                                     </del>	
-				ガガンボ科					
220			チョウバ工科	チョウバエ科					
221			ヌカカ科 ユスリカ科	ヌカカ科 Ablabesmyia longistyla			┼	<del>                                     </del>	
-				Ab labesmy i a属					
223				Anatopynia属AA					
224				Brillia属BC Brillia属			$\vdash$	₩	_
225				Calopsectra属CA			<del>                                     </del>	<del>                                     </del>	
-				Calopsectra属					
226				Cardiocladius属CF			<u> </u>	<u> </u>	
227				Cardiocladius属 Chironomus bathophilus			$\vdash$	<del></del>	-
228				フチグロユスリカ			$\vdash$		
229				Chironomus strenzkei					
230				セスジユスリカ Chironomus属			┼	-	
231				Cladotanytarsus属			$\vdash$	$\vdash$	
232				Conchape lop i a属					
233 234				Corynoneura属 Cricotopus属CN			-		
235				Cryptochironomus属BC			+-	1	
236				Cryptochironomus属DC					
-				Cryptochironomus属	L		$\vdash$	$\vdash$	
237 238				Demicryptochironomus属 Diamesa属GA	-		+	+	
239				Diamesa属GC		L			
240				Diamesa属PB-3					
241 242				Dicrotendipes属 Einfeldia属EA			+	-	
242				Einfeldia, EB			+	<del>                                     </del>	
•				Einfeldia属					
244				Eukiefferiella属ED			<u> </u>	<u> </u>	
245 246				Fissimentum属FA Glyptotendipes属			╁	<u> </u>	
247				Heterotrissociadius属EC			-	_	
				Heterotrissocladius属					
248 249				Hydrobaenus属 Limnophyes属			$\vdash$	₩	_
250				Macropelopia属			+-	-	
251				Micropsectra属					
252				Microtendipes属MA			<u> </u>	<u> </u>	
253				Microtendipes属MB Microtendipes属			₩	-	
254				Neobrillia <sub>E</sub>			<del>                                     </del>		
255				Orthocladius属CA					
256				Orthocladius属CC Orthocladius属			₩	-	
257				Pagastia属			$\vdash$	_	
258				Pantaneura属FA					
259				Paracladopelma 属			_	_	
260				Paratendipes属PB Paratendipes属			┼	<u> </u>	
261				Polypedi lum属PA			-	$\vdash$	
262				Polypedi lum属PD					
263				Polypedilum属PE Polypedilum属			$\vdash$	-	_
264				Pot thas t i a属			$\vdash$	<del>                                     </del>	
265				Procladius属PA					
266				Procladius属PB			₩-	—	
267				Procladius属 Psectrocladius属	-	-	+-	+	
268				Rheocricotopus属RB		L	<u> </u>		
269				Rheocricotopus属RE					
270				Rheocricotopus属 Rheotanytarsus属			+-	1	<u> </u>
271				Stempellinella属			_	+	
272				Stenochironomus属					
273				Stictochironomus属SA Stictochironomus属SC			_	$\vdash$	
274				Stictochironomus属SC Stictochironomus属		-	+-	1	
275				Tanytarsus属CM			t	$\vdash$	
				Tanytarsus属					
276				Thienemanniella属			₩	—	
277				Tvetenia属 モンユスリカ亜科			+	$\vdash$	
				エリユスリカ亜科					
-				ユスリカ亜科			$\vdash$		
278			力科	ユスリカ科 Culex属	_	-	+	-	<u> </u>
279				ハマダラカ亜科			<del>                                     </del>	t	
280			ホソカ科	Dixa属					
-			7-21	ホソカ科			$\perp$	ــــ	$\vdash$
281 282			プユ科	Prosimulium属 キアシツメトゲブユ			+	+	-
- 202				Simulium属			<b>†</b>	$\vdash$	
283			ナガレアプ科	ハマダラナガレアブ					
284				コモンナガレアプ		L	$\vdash$	$\vdash$	
285				クロモンナガレアプ ナガレアプ科	-		$\vdash$	-	
286			ミズアブ科	ミズアプ科			+	$\vdash$	_
287			アシナガバエ科	アシナガバエ科					
288			オドリバエ科	オドリバエ科					
289			ミギワバエ科	ミギワバエ科				Ц.	Ц.

表 6.6-9 流入河川確認種リスト(底生動物 : 5/5)

No.	綱名	目名	科名	種名		;	充入河	Ш	
					H5	H7	H12	H17	H2
290	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ					
291				マメゲンゴロウ					T
292				クロゲンゴロウ					
293				シマゲンゴロウ					
294				コシマゲンゴロウ					T
295				ケシゲンゴロウ					T
296				モンキマメゲンゴロウ					T
297				ヒメゲンゴロウ					T
-				ヒメゲンゴロウ亜科					T
-				ゲンゴロウ亜科					T
-				ゲンゴロウ科					t
298			ダルマガムシ科	ダルマガムシ科					t
299			ガムシ科	ヤマトゴマフガムシ					t
300			754717	ガムシ					t
301				ヒメガムシ		+			t
-				ガムシ科					t
302			マルハナノミ科	Elodes属					t
303			(10/13) 244	Hydrocyphon属		+	+		t
-				マルハナノミ科					t
304			ヒメドロムシ科	ツヤナガアシドロムシ					$^{+}$
305			CATTAZZA	ツヤヒメドロムシ		-			t
306				ゴトウミゾドロムシ					t
307				イプシアシナガドロムシ		_	+		t
308				Zaitzevia属		+	1	-	t
309				ホソヒメツヤドロムシ		+	+		۰
310				マルヒメツヤドロムシ					+
310				ヒメドロムシ亜科		_	+		+
-1				ヒメドロムシ科		-	-	-	+
311			ヒラタドロムシ科	Cophaesthetus属		-	+		+
			C 3 9 F LL A S PA				-		+
312			ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ		+	-		+
313			ピフタトロムシ科	Ectopria属 Eubrianax属					+
						-	-	-	╀
314 315				チピマルヒゲナガハナ / ミ ヒラタドロムシ		-			+
315						-	-		+
-				Mataeopsephus属					╀
316				マスダチビヒラタドロムシ			-		L
-				Psepheno i des属		-	-	_	╀
317			ナガハナノミ科	ナガハナノミ科		1	-		L
318			ホタル科	ゲンジボタル		1	-	_	1
	コケムシ綱	掩喉目	ヒメテンコケムシ科	ヒメテンコケムシ			1		L
320			ハネコケムシ科	ハネコケムシ科		1	_		L
321		櫛口目	チャミドロコケムシ科	チャミドロコケムシ					L
			13綱28目112科321種		38利	103種	156種	182種	1

- | 13網28目112科321種
  | 注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。
  2.種名に「・・・・属」「・・・科」「・・・・日」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。
  3.表中の数は個体数を示す。
  なお、個体数は定量採集及び定性採集で確認された個体数の合計を示している。なお、報告書中に「・>100」と記載してあるものについては100として扱った。
  4.表中の「・」は、群体性の種であることを示す。ただし、実数で記載されているものについては、実数を記載した。
  2.種名に「・・・・展」「・・・科」「・・・・日」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。
  2.種名に「・・・展」「・・・科」「・・・・田」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。
  3.表中の数は個体数を示す。
  なお、個体数は定量採集及び定性採集で確認された個体数の合計を示している。なお、報告書中に「>100」と記載してあるものについては100として扱った。
  4.表中の「・」は、群体性の種であることをデオーたが1 ないのである。
  - 4.表中の「\*」は、群体性の種であることを示す。ただし、実数で記載されているものについては、実数を記載した。

表 6.6-10 流入河川確認種リスト(植物プランクトン : 1/3)

No.	綱名	科名	種名	j.	た 入河ノ	Ц
			学名	H5	H11	H16
1	藍藻	クロオコックス	Aphanocapsa elachista			
-			Aphanocapsa sp.			
2			Aphanothece sp.	-		
3			Chrococcus sp.	_		
4			Dactylococcopsis fascicularis			
5			Merismopedia elegans	_		
6	-		Merismopedia tenuissima	_		
- 0				_		-
7			Microcystis aeruginosa	_		
8			Microcystis wesenbergii			
9		ネンジュモ	Anabaena flos-aquae			
10			Anabaena spiroides			
-			Anabaena sp.			
11			Aphanizomenon flos-aquae			
12			Raphidiopsis sp.			
13		ユレモ	Oscillatoria agardhii			
14		-	Oscillatoria tenuis			
			Oscillatoria sp.			
15			Phormidium autumnale	_		
				_		
16			Phormidium retzii	_		
17			Phormidium tenue			
-			Phormidium sp.			
18	紅藻	オオジュイネラ	Audouinella chalybea			
19	クリプト藻	クリプトモナス	Cryptomonas ovata			
-			Cryptomonas sp.			
20			Rhodomonas sp.			
	渦鞭毛藻	ギムノディニウム	Gymnodinium helveticum			
22		ギムノディニウム グレノディニウム	Glenodinium pulvisculus	_		
		77771-74	Glenodinium sp.	_		
23	-	ケラニィウル	Ceratium hirundinella	_		
		<u>ケラティウム</u> ペリディニウム		_		
24		ヘッティニソム	Peridinium bipes f.occultatum	_		
25			Peridinium elpatiewskyi			
26			Peridinium volzii			
-			Peridinium sp.			
27	黄金色藻	ディノブリオン	Dinobryon cylindricum			
28			Dinobryon divergens			
29			Dinobryon sertularia			
30		シヌラ	Mallomonas akrokomos			
31			Mallomonas fastigata			
32			Mallomonas tonsurata			
33			Synura uvella			
	珪藻	タラシオシラ	Cyclotella asterocostata	_		
35	一工/木	,,,,,,,	Cyclotella glomerata	_	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
36	1			+	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
	-		Cyclotella meneghiniana	-	-	-
37	1		Cyclotella radiosa	+	-	<u> </u>
38			Cyclotella stelligera		-	
			Cyclotella sp.	$\bot$		
39			Skeletonema subsalsum			
40			Stephanodiscus carconensis			
41		メロシラ	Aulacoseira distans			
42			Aulacoseira granulata			
43	1		Aulacoseira granulata var.angustissima			
44	1		Aulacoseira granulata var.angustissima f.spiralis	1		
45			Aulacoseira italica	1		<u> </u>
46			Melosira varians	_	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
47		11/1/117	+	+	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
		リゾソレニア	Rhizosolenia setigera	-	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
48		ビドルフィア	Acanthoceros zachariasi	_	-	<u> </u>
49		ディアトマ	Asterionella formosa			
50			Diatoma vulgare			
51			Fragilaria capucina			
52			Fragilaria crotonensis			
53	1		Fragilaria tenera			
	1		Fragilaria sp.	+		
54	1		Hannaea arcus	1	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
5 <u>5</u>			Staurosira construens var.binodis	+	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>
		i .	i otautusita cutisti uelis val.dinouis	Ī	1	i .

表 6.6-10 流入河川確認種リスト(植物プランクトン : 2/3)

No.	綱名	科名	種名	;	た 入河ノ	II
			学名	H5	H11	H16
56	珪藻	ディアトマ	Synedra acus			
57			Synedra rumpens			
58			Synedra ulna			
59			Synedra ulna var.oxyrhynchus			
60		アクナンテス	Achnanthes brevipes			
61			Achnanthes japonica			
62			Achnanthes lanceolata			
-			Achnanthes sp.			
63			Cocconeis placentula			
-			Cocconeis sp.			
64		ナビクラ	Amphora ovalis			
65			Cymbella aspera			
66			Cymbella tumida			
67			Cymbella turgidula			
			Cymbella sp.			
68			Encyonema minutum			
69			Gomphoneis quadripunctatum			
70						
			Gomphonema acuminatum			
71			Gomphonema angustatum			
72			Gomphonema clevei			
73			Gomphonema helveticum			
74			Gomphonema parvulum			
75			Gomphonema tetrastigmatum			
-			Gomphonema sp.			
76			Navicula cinctaeformis			
77			Navicula cryptocephala			
78			Navicula exigua			
79			Navicula gregaria			
80			Navicula pupula			
81			Navicula radiosa			
82			Navicula viridula			
-			Navicula sp.			
83			Pinnularia sp.			
84			Stauroneis sp.			
85		ニッチア	Bacillaria paradoxa			
86			Nitzschia acicularis			
87			Nitzschia agnita			
88			Nitzschia amphibia			
89			Nitzschia clausii			
90			Nitzschia dissipata			
91			Nitzschia inconspicua			
92			Nitzschia linearis	1		
93			Nitzschia palea			
93			Nitzschia paleacea	1		
95				1	<del>                                     </del>	
95			Nitzschia parvula	1		
-		7111 =	Nitzschia sp.	1		
96		スリレラ	Surirella tenera	-	-	
-	> 10 11 / > ***	21011 / 20	Surirella sp.	1		
	ミドリムシ藻	ミドリムシ	Euglena sp.	ļ	-	
98			Phacus sp.			
99		<b>6-51:-</b> 1 -	Trachelomonas sp.			
	緑藻	クラミドモナス	Carteria cordiformis			
101			Carteria globulosa			
102			Carteria klebsii			
103			Carteria peterhofiensis	1		
-			Carteria sp.			
104			Chlamydomonas sp.			
105			Chlorogonium elongatum			
106		オオヒゲマワリ	Eudorina elegans			
107			Pandorina morum			
101						

表 6.6-10 流入河川確認種リスト(植物プランクトン : 3/3)

No.	綱名	科名	種名	ì	<b>充入河</b> /	II
			学名	H5	H11	H16
109	緑藻	ヨツメモ	Tetraspora lacustris			
110		パルメロプシス	Chlamydocapsa gigas			
111		キャラキウム	Ankyra ancora			
112		クロロコックム	Schroederia ancora			
113			Schroederia setigera			
114			Tetraedron minimum			
115		パルメラ	Sphaerocystis schroeteri			
116		オオキスティス	Ankistrodesmus falcatus			
117			Chodatella sp.			
118			Closteriopsis longissima			
119			Kirchneriella contorta			
120			Oocystis borgei			
121			Oocystis parva			
121			Oocystis parva Oocystis sp.			
122		ゴレンキニア	Golenkinia radiata			
123						
		ミクラクティニウム	Micractinium pusillum			
124		セネデスムス	Actinastrum hantzschii			
125			Coelastrum cambricum			
126			Coelastrum microporum			
127			Coelastrum sphaericum			
128			Crucigenia curcifera			
129			Crucigenia tetrapedia			
130			Crucigeniella rectangularis			
131			Scenedesmus acuminatus			
132			Scenedesmus arcuatus			
133			Scenedesmus ecornis			
134			Scenedesmus quadricauda			
-			Scenedesmus sp.			
135		アミミドロ	Pediastrum biwae			
136			Pediastrum duplex			
137			Pediastrum simplex			
138			Pediastrum tetras			
139		コッコミクサ	Elakatothrix gelatinosa			
140		ヒビミドロ	Klebsormidium sp.			
141			Koliella elongata			
142		ミクロスポラ	Microspora sp.			
143		カエトフォラ	Cloniophora plumosa			
144		73 1 7 4 7	Stigeoclonium sp.			
145		サヤミドロ	Oedogonium sp.			
146		ツヅミモ	Arthrodesmus sp.			
147		/ / L	Closterium aciculare			
148			Closterium aciculare Var.subpronum			
149						
149			Closterium acutum var.variabile			
450			Closterium sp.		-	
150			Staurastrum dorsidentiferum var.ornatum		-	
151			Staurastrum mucronatum			
152			Staurastrum mucronatum var.subtriangulare		-	
-			Staurastrum sp.	0.7	_,	227
		7門	8綱16目39科152種	33種	74種	22種
		.,,			87種	

注) 1.種名及び分類は、「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-11 流入河川確認種リスト(動物プランクトン: 1/2)

No.	門名	綱名	科名	種名		流入河	Ш
			114	学名	H5	H11	H16
	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	アルケラ	Arcella vulgaris			
2 3 4			ディフルギア	Difflugia corona			
3			ケントロピナンフ	Difflugia limnetica			
5			ケントロピキシス キフォデリア	Centropyxis aculeata Cyphoderia sp.			
6		NANIKELA	エウグリファ	Euglypha sp.			
7		真正太陽虫	-	Acanthocystis pectinata			
8				Acanthocystis sp.			
	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	ホロフリア	Askenasia volvox			
10			しこをリウス	Didinium nasutum			
11			トラケリウス	Paradileptus robustus Paradileptus sp.			
12			アンフィレプス	Amphileptus claparedeii			
13				Dileptus anser			
-				Dileptus sp.			
14				Lionotus lamella			
15		少膜	パラメキウム	Colpidium sp.			
16 17				Glaucoma scintillans Leucophrydium putrinum			
18				Paramecium sp.			
19			エピスティリス	Epistylis plicatilis			
•				Epistylis sp.			
20			ボルティケラ	Carchesium polypinum			
-				Carchesium sp.			
21				Vorticella campanula Vorticella sp.	1		
22		多膜	ストロンビディウム	Strombidinopsis gyrans			
23		シ 沃	XI II Z L J 1 J A	Strombidium viride			
24			フデヅツカラムシ	Tintinnidium cylindrata			
25				Tintinnidium fluviatile			
-				Tintinnidium sp.			
26			スナカラムシ	Codonella cratera			
27	輪形動物	-  単生殖巣	-  ツボワムシ	CILIOPHORA  Brachionus angularis angularis			
28	半冊 丌シ 里刀 17刀	半土俎未 	クかクムシ	Brachionus angularis bidens			
29				Brachionus calyciflorus			
30				Brachionus forficula			
31				Kellicottia longispina longispina			
32				Keratella cochlearis f.cochlearis			
33				Keratella cochlearis f.macracantha			
34 35				Keratella cochlearis f.micracantha Keratella cochlearis f.tecta			
36				Keratella quadrata quadrata			
37				Keratella valga valga			
38				Notholca labis			
-				Notholca sp.			
39 40			ハオリワムシ	Schizocerca diversicornis	1		
40			ハカップムシ	Colurella obtusa Colurella uncinata	1		
-				Colurella sp.			
42				Dipleuchlanis propatula			
43				Euchlanis dilatata			
44				Lepadella oblonga			
45				Lepadella sp. Trichotria tetractis	1		
45			ツキガタワムシ	Lecane ludwigii	1		
47			1 1 1 1 1 1 1 1 1	Lecane luna			
48				Monostyla bulla			
49				Monostyla lunaris			
-			5-1-0/N	Monostyla sp.	<u> </u>		
50 51			セナカワムシ	Cephalodella sp.	-		
52				Notommata sp. Scaridium longicaudum	<del>                                     </del>		
53			ネズミワムシ	Diurella rousseleti	<del>                                     </del>		
54				Diurella porcellus	L		
55			Diurella stylata				
56				Trichocerca birostris			
57			Trichocerca capucina	-			
58 59				Trichocerca cylindrica Trichocerca elongata	1		
-				Trichocerca sp.	1		
		1	,				

表 6.6-11流入河川確認種リスト(動物プランクトン: 2/2)

No.	門名	綱名	科名	種名		流入河	Ш
				学名	H5	H11	H16
60	輪形動物	単生殖巣	ハラアシワムシ	Chromogaster ovalis			
61			ヒゲワムシ	Ploesoma truncatum			
62				Polyarthra euryptera			
63				Polyarthra trigla vulgaris			
64				Synchaeta stylata			
-				Synchaeta sp.			
65			フクロワムシ	Asplanchna priodonta			
-			Asplanchna sp.				
66		ミジンコワムシ	Hexarthra mira				
67			ヒラタワムシ	Filinia longiseta longiseta			
68				Pompholyx complanata			
69				Pompholyx sulcata			
70				Testudinella patina			
71				Tetramastix opoliensis			
72			テマリワムシ	Conochiloides coenobass			
- 12			) ())Д)	Conochiloides sp.			
73				Conochilus unicornis			
7.5				Conochilus sp.			
74		ヒルガタワムシ	ミズヒルガタワムシ	Philodina roseola			
75		CIVITIA		Rotaria rotatoria			
73				Rotaria sp.			
76			ドロヒルガタワムシ	Habrotrocha sp.			
	節足動物		ヒゲナガケンミジンコ	Eodiaptomus japonicus			
- / /	即处劉彻	254 UZA		Calanoida			
78			- カントカンプタス	Canthocamptus sp.			
79			ナカロプフ	Cyclops kikuchii			
80			<u>キ</u> クロプス	Cyclops kikuciiii Cyclops strenuus			
81				Mesocyclops leuckarti			
82				Thermocyclops hyalinus			
02							
-			<del>-</del>	Cyclopoida Copepoda			
83		葉脚	シダ	Diaphanosoma brachyurum			
84		未啊	ミジンコ	Ceriodaphnia pulchella			
85			2001				
				Ceriodaphnia quadrangula Ceriodaphnia reticulata			
86							
87 88				Daphnia galeata			
				Daphnia hyalina			
89				Daphnia longispina			
90				Daphnia pulex			
- 04				Daphnia sp.			
91				Moina macrocopa			
-			いたカランジン・コ	Daphniidae Santiir			-
92			ゾウミジンコ	Bosmina fatalis			
93				Bosmina longirostris			
-				Bosmina sp.			
94			- II > >	Bosminopsis deitersi			
95			マルミジンコ	Alona guttata			
-				Alona sp.			
96				Chydorus gibbus			-
97				Chydorus ovalis			
98				Chydorus sphaericus			
99			/ D	Leptodora kindtii			
100	線形動物	-	-	NEMA TODA			
			5門11綱16目37科100種		4種	44種	33種

注) 1.種名及び分類は、「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・属」、「・・・科」、「・・・・目」、「・・・・ 理綱」、「・・・門」、とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 1/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
1	シダ植物	   ヒカゲノカズラ科	ヒカゲノカズラ	1110
2			トウゲシバ	
3		イワヒバ科	ヒメクラマゴケ	
4			カタヒバ	
5			クラマゴケ	
6			イワヒバ	
7		トクサ科	スギナ	
8			トクサ	
9			イヌドクサ	
10		ハナヤスリ科	オオハナワラビ	
11			フユノハナワラビ	
12		13 151	ナツノハナワラビ	
13		ゼンマイ科	ゼンマイ	
14		キジノオシダ科	オオキジノオ	
15		4 - V - W	キジノオシダ	
16		ウラジロ科	コシダ	
17		コサングが	ウラジロ カニクサ	
18 19		フサシダ科 コケシノプ科	アオホラゴケ	
20			ウチワゴケ	
21			コウヤコケシノブ	
22			コワヤコグシナフ ハイホラゴケ	
23		コバノイシカグマ科	イヌシダ	
24		17/7/17/37 (44)	コバノイシカグマ	
25			イワヒメワラビ	
26			フモトシダ	
27			ワラビ	
28		ホングウシダ科	ホラシノブ	
29		シノブ科	シノブ	
30		ミズワラビ科	ホウライシダ	
31			ハコネシダ	
32			クジャクシダ	
33			イワガネゼンマイ	
34			ウラゲイワガネ	
35			イワガネソウ	
36			タチシノブ	
37		シシラン科	シシラン	
38		イノモトソウ科	オオバノイノモトソウ	
39		- 1 > 1000	イノモトソウ	
40		チャセンシダ科	ホウビシダ	
41 42			トラノオシダ コバノヒノキシダ	
42			イワトラノオ	
43			チャセンシダ	
45			イヌチャセンシダ	
46			アオガネシダ	
47		シシガシラ科	シシガシラ	
48			コモチシダ	
49		オシダ科	ホソバカナワラビ	
50		1	ナンゴクナライシダ	
51			ミドリカナワラビ	
52			ハカタシダ	
53			オニカナワラビ	
54			リョウメンシダ	
55			キヨスミヒメワラビ	
56			メヤブソテツ	
57			ヤブソテツ	
58			ヤマヤブソテツ	
59			ミヤコヤブソテツ	
60			イワヘゴ	
61			サイゴクベニシダ	
62			ミサキカグマ	
63			ベニシダ	
64			マルバベニシダ	
65			オオベニシダ	
66			クマワラビ	
67			ミヤマイタチシダ	
68			オクマワラビ	
69			ナンカイイタチシダ	
70			オオイタチシダ	
71			ヒメイタチシダ	
72			ヤマイタチシダ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 2/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
73	シダ植物	オシダ科	アイノコクマワラビ	пто
74	Z Z IE 13		アイアスカイノデ	
75			カタイノデ	
76			ツヤナシイノデ	-
77				
			イノデ	
78			サイゴクイノデ	
79			イノデモドキ	
80			ジュウモンジシダ	
81			ヒメカナワラビ	
82		ヒメシダ科	ゲジゲジシダ	
83			ミゾシダ	
84			ホシダ	
85			イブキシダ	-
86			ハシゴシダ	-
87			コハシゴシダ	
88			ハリガネワラビ	
89			イワハリガネワラビ	
90			ヤワラシダ	
91			ヒメシダ	1
92			ヒメワラビ	1
93			ミドリヒメワラビ	1
		.1 > . 124		+
94		メシダ科	カラクサイヌワラビ	1
95			サトメシダ	1
96			ホソバイヌワラビ	1
97			ヌリワラビ	
98			イヌワラビ	1
99			ヤマイヌワラビ	
100			ヒロハイヌワラビ	
			シケチシダ	
101				
102			ホソバシケシダ	
103			セイタカシケシダ	
104			シケシダ	
105			オオヒメワラビ	
106			ミヤマシケシダ	
107			ハクモウイノデ	1
108			オニヒカゲワラビ	
109			キヨタキシダ	
110			ノコギリシダ	
111			イヌガンソク	
112			クサソテツ	
113			コウヤワラビ	
114		ウラボシ科	ミツデウラボシ	
115			マメヅタ	
116			ノキシノブ	
117			イワヤナギシダ	
118			ヒトツバ	
		7.0/43		+
	裸子植物	マツ科	モミ	+
120		1251	アカマツ	+
121		スギ科	スギ	
122		ヒノキ科	ヒノキ	
123			サワラ	$\perp$
124			カイヅカイブキ	
125			ネズ	1
126		イヌガヤ科	イヌガヤ	1
			カヤ	+
127	ᅓᄼᄼᅷᆇ	イチイ科		1
	離弁花類	クルミ科	オニグルミ	
129		ヤナギ科	ヤマナラシ	
130			サイコクキツネヤナギ	
131			バッコヤナギ	
132			アカメヤナギ	
133			ジャヤナギ	
134			カワヤナギ	1
135			ネコヤナギ	1
				+
136			イヌコリヤナギ	+
137			タチヤナギ	+
138			マルバヤナギ	1
139		カバノキ科	ケヤマハンノキ	
140			ヤマハンノキ	1
141			ヒメヤシャプシ	1
			カワラハンノキ	1
			/ / / / / / T	1
142				
			オオバヤシャブシ クマシデ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 3/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
145	離弁花類	カバノキ科	アカシデ	0
146			イヌシデ	
147		ブナ科	クリ	
148			クヌギ	
149			ナラガシワ	
150			アラカシ	
151			シラカシ	<del> </del>
152			ウラジロガシ	
153			コナラ	1
154			アベマキ	1
155		= 1 .€d	コバノチョウセンエノキ	1
		ニレ科		
156			エゾエノキ	
157			エノキ	
158			アキニレ	
159		L 011	ケヤキ	
160		クワ科	ヒメコウゾ	
161			コウゾ	1
162			クワクサ	<b>!</b>
163			イヌビワ	<u> </u>
164			イタビカズラ	<b></b>
165			カナムグラ	
166			ヤマグワ	
167		イラクサ科	クサコアカソ	
168			ヤブマオ	
169			カラムシ	
170			ナンバンカラムシ	
171			メヤブマオ	
172			ナガバヤブマオ	
173			コアカソ	1 1
174			アカソ	
175			ヤマトキホコリ	
176			ウワバミソウ	
177			ムカゴイラクサ	
178			カテンソウ	
179			サンショウソウ	1
180			ミズ	
181			ヤマミズ	
182				
			ミヤコミズ	1
183		レ - <i>わけ</i> いが	アオミズ	
184		ビャクダン科	カナビキソウ	1
185		タデ科	ミズヒキ	-
186			シンミズヒキ	
187			シャクチリソバ	
188			ミヤマタニソバ	
189			ヤナギタデ	
190			オオイヌタデ	<b> </b>
191			イヌタデ	
192			ヤノネグサ	
193			イシミカワ	
194			ハナタデ	
195			ボントクタデ	
196			サナエタデ	
197			アキノウナギツカミ	
198			ミゾソバ	
199			ヤマミゾソバ	
200			ハルタデ	
201			イタドリ	
202			スイバ	
203			ヒメスイバ	
204			アレチギシギシ	
205			ナガバギシギシ	
206			ギシギシ	
207			エゾノギシギシ	
208		ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	
209		1	マルミノヤマゴボウ	
		ザクロソウ科		<b>—</b>
210		ザクロソウ科	ザクロソウ	<b> </b>
211		フベリレコギ	クルマバザクロソウ	
212		スベリヒユ科	スベリヒユ	-
213		ナデシコ科	ノミノツヅリ	1
214			オランダミミナグサ	<b> </b>
			ミミナグサ	
215 216			ナンバンハコベ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物: 4/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
217	離弁花類	ナデシコ科	カワラナデシコ	1110
218			フシグロセンノウ	
219			ツメクサ	
220			ノミノフスマ	
221			ウシハコベ	
222			サワハコベ	
223			コハコベ	
224			ミドリハコベ	
225		フカザジ	ミヤマハコベ	
226 227		アカザ科	シロザ アカザ	
228			アリタソウ	
229			ケアリタソウ	
230		ヒユ科	ヒカゲイノコズチ	
231			ヒナタイノコズチ	
232			ホソバツルノゲイトウ	
233			イヌビユ	
234			ホソアオゲイトウ	
235			ホナガアオゲイトウ	
236		モクレン科	ホオノキ	
237			タムシバ	
238		マツブサ科	サネカズラ	
239			マツブサ	
240		シキミ科	シキミ	
241		クスノキ科	カゴノキ	
242			クスノキ	
243			ヤブニッケイ	
244			カナクギノキ	
245			ヤマコウバシ	
246			ダンコウバイ	
247			クロモジ	
248			ヒメクロモジ	
249			ホソバタブ	
250			シロダモ	
251 252			アブラチャン フサザクラ	
252		キンポウゲ科	イヌショウマ	
254		<del></del>	ボタンヅル	
255			ハンショウヅル	
256			センニンソウ	
257			シロバナハンショウヅル	
258			トウゴクサバノオ	
259			ウマノアシガタ	
260			タガラシ	
261			キツネノボタン	
262			アキカラマツ	
263		メギ科	ヒイラギナンテン	
264			ナンテン	
265		アケビ科	アケビ	
266			ミツバアケビ	L
267			ムベ	<u> </u>
268		ツヅラフジ科	アオツヅラフジ	<u> </u>
269		10 to 10 m = 10	ツヅラフジ	<u> </u>
270		ドクダミ科	ドクダミ	
271		センリョウ科	フタリシズカ	-
272		ウマノスズクサ科	ホソバウマノスズクサ	<u> </u>
273 274		マタタビ科	ミヤコアオイ	<del>                                     </del>
274		マング し行	サルナシ シナサルナシ	<del>                                     </del>
276			ウラジロマタタビ	<b>-</b>
277			マタタビ	
278		ツバキ科	ヤブツバキ	
279			サカキ	
280			ヒサカキ	
281			チャノキ	
282		オトギリソウ科	オトギリソウ	
283			コケオトギリ	
284		モウセンゴケ科	モウセンゴケ	
285		ケシ科	クサノオウ	
286			キケマン	
			ムラサキケマン	
287				
			ミヤマキケマン	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 5/15)

No.	分類	科名	和名	流入河川
000	ᅘᄮ	<b>ラウィーウング</b>	<u> </u>	H16
	離弁花類	フウチョウソウ科	セイヨウフウチョウソウ	
291	-	アブラナ科	ヤマハタザオ	
292	-		セイヨウカラシナ	
293			ナズナ	
294			ニシノオオタネツケバナ	
295			タネツケバナ	
296	1		タチタネツケバナ	
297	-		ジャニンジン	
298	4		オオバタネツケバナ	
	4			
299			オランダガラシ	
300	-		コイヌガラシ	
301			ミチバタガラシ	
302			イヌガラシ	
303			スカシタゴボウ	
304		ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	
305	1	12712314	メノマンネングサ	
306			オノマンネングサ	
307			マルバマンネングサ	
308	]		ツルマンネングサ	
309			ヒメレンゲ	
310		ユキノシタ科	チダケサシ	
311			アカショウマ	1
				-
312	-		クサアジサイ	-
313	4		イワボタン	ļ
314	]		タチネコノメソウ	
315	]		ウツギ	
316	1		マルバウツギ	
317	4		コアジサイ	
318	-		コガクウツギ	
	-			
319	-		ヤマアジサイ	
320			ノリウツギ	
321			ゴトウヅル	
322			ガクウツギ	
323	1		ヤハズアジサイ	
324	4		チャルメルソウ	
	4			
325	-		コチャルメルソウ	-
326	-		タコノアシ	
327			ジンジソウ	
328			ダイモンジソウ	
329			ユキノシタ	
330	-		イワガラミ	
331	1	バラ科	キンミズヒキ	
332	4		ヒメキンミズヒキ	
				-
333	4		ザイフリボク	
334			ヘビイチゴ	
335			ヤブヘビイチゴ	
336			ダイコンソウ	
337	]		カナメモチ	
338	-		ミツバツチグリ	
339			オヘビイチゴ	
	4		カマツカ	1
340			12 12 12	<b> </b>
341			イヌザクラ	ļ
342	]		ウワミズザクラ	
343			ヤマザクラ	
344			エドヒガン	
345			カスミザクラ	
346	-		ノイバラ	
	-			<b>-</b>
347			ニオイイバラ	ļ
348			ミヤコイバラ	
349	]		ヤマイバラ	
350			テリハノイバラ	
351	]		フユイチゴ	
352			クマイチゴ	
353			ミヤマフユイチゴ	
				<del>                                     </del>
354	-		クサイチゴ	<b> </b>
355	]		ニガイチゴ	
356			ナガバモミジイチゴ	<u> </u>
357			ナワシロイチゴ	
358	1		エビガライチゴ	
	4		ワレモコウ	<del>                                     </del>
350	1	İ	/ V L I /	<u> </u>
359	1		ウニジロノナ	
359 360 361			ウラジロノキ ユキヤナギ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 6/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川
362	離弁花類	マメ科	クサネム	H16
363	1	( ) - 1/-1	ネムノキ	
364	-		イタチハギ	
365	-		ヤブマメ	
366	-		ホドイモ	
367	-		ゲンゲ	
368	-		ジャケツイバラ	
369	-		ユクノキ	
370	-1		ヒメノハギ	
371	+		フジカンゾウ	
	-		アレチヌスビトハギ	
372	-			
373	-		ケヤブハギ	-
374	-		ヌスビトハギ	ļ
375	1		ヤブハギ	
376	-		アメリカヌスビトハギ	
377	4		ノササゲ	
378	-1		ノアズキ	
379	-		ツルマメ	
380	-1		コマツナギ	
381	-		マルバヤハズソウ	<u> </u>
382	]		ヤハズソウ	
383	]		イタチササゲ	
384			ヤマハギ	
385	]		キハギ	
386			メドハギ	
387	]		マルバハギ	
388			ネコハギ	
389	1		ビッチュウヤマハギ	
390	-		ミヤコグサ	
391	-		イヌエンジュ	
392	-		ハネミイヌエンジュ	
393	-		コメツブウマゴヤシ	
394	-		クズ	
395	1		オオバタンキリマメ	
396	-		ハリエンジュ	
397	-1		クララ	
	+			
398	-		コメツブツメクサ	
399	-		ムラサキツメクサ	
400	-		シロツメクサ	
401	-		ヤハズエンドウ	
402	1		スズメノエンドウ	
403	-		カスマグサ	
404	-		ヤマフジ	
405	+		フジ	
406	4	カタバミ科	カタバミ	
407			アカカタバミ	
408	]		ムラサキカタバミ	
409	-		エゾタチカタバミ	
410	]		ミヤマカタバミ	
411		カタバミ科	オッタチカタバミ	
412		フウロソウ科	ヒメフウロ	
413	]		ゲンノショウコ	
414	1	トウダイグサ科	エノキグサ	
415	1		オオニシキソウ	
416	-		コニシキソウ	
417	-		アカメガシワ	
418	-		ヤマアイ	
419	+		コバンノキ	
420	4		ヒメミカンソウ	1
421	4		シラキ	
422	-		ナンキンハゼ	<b> </b>
423	4	ミカン科	マツカゼソウ	-
423	4	-/J/17	コクサギ	-
	4			-
425	+		キハダ	
426	-		ミヤマシキミ	
427	-		カラスザンショウ	ļ
428	-		フユザンショウ	<b> </b>
429	-		サンショウ	
430	4		イヌザンショウ	
		I — +1 + 41	シンジュ	ı
431		二ガキ科	,,,=	
	4	<u> </u>	ニガキ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 7/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
434	離弁花類	ウルシ科	ツタウルシ	0
435	MILTI IOXX	3762 11	ヌルデ	
436			スルケ ハゼノキ	<del>                                     </del>
				1
437			ヤマハゼ	_
438			ヤマウルシ	
439			ウルシ	
440		カエデ科	チドリノキ	
441			ウリカエデ	
442			ウラゲエンコウカエデ	
443			エンコウカエデ	
444			イロハモミジ	
445			オオモミジ	
446			コハウチワカエデ	
		/ h = >***		-
447		ムクロジ科	ムクロジ	
448		ツリフネソウ科	キツリフネ	
449			ツリフネソウ	
450		モチノキ科	イヌツゲ	
451			モチノキ	
452			アオハダ	
453			ケナシアオハダ	1
				<del>                                     </del>
454			タマミズキ	<b>├</b>
455			ソヨゴ	igsquare
456			ウメモドキ	
457			クロソヨゴ	]
458		ニシキギ科	ツルウメモドキ	
459			ニシキギ	
460			コマユミ	
461			ツルマサキ	
462			サワダツ	
463			ツリバナ	
464			マユミ	
465		ミツバウツギ科	ゴンズイ	
466			ミツバウツギ	
467		クロウメモドキ科	クマヤナギ	
468		7 4 7 7 6 1 1 1 1 1 1	イソノキ	1
469			ケンポナシ	-
470		***	ケケンポナシ	
471		ブドウ科	ノブドウ	
472			キレバノブドウ	
473			ヤブガラシ	
474			ツタ	
475			ヤマブドウ	
476			エビヅル	
477			サンカクヅル	1
				1
478		S. 4. 1.4.5V	アマヅル	$\vdash \vdash \vdash$
479		シナノキ科	カラスノゴマ	$oxed{oxed}$
480			ヘラノキ	
481		ジンチョウゲ科	コショウノキ	
482			ガンピ	
483			キガンピ	
484		グミ科	ツルグミ	
485		[	ナツグミ	1
				$\vdash$
486			ナワシログミ	$\vdash$
487			アキグミ	igspace
488		スミレ科	ナガバノスミレサイシン	$oxed{oxed}$
489			アメリカスミレサイシン	L_ ]
490			タチツボスミレ	
491			アオイスミレ	
492			コスミレ	$\vdash$
		7 = 1.41		$\vdash$
493		スミレ科	スミレ	$\vdash$
494			コミヤマスミレ	
495			フモトスミレ	
496			アケボノスミレ	
497			ツボスミレ	
498			アギスミレ	
499			シハイスミレ	-
		± →1×, ±1		<del>                                     </del>
500		キブシ科	<b>キブシ</b>	1
501		ミゾハコベ科	ミゾハコベ	1 1

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 8/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
502	離弁花類	ウリ科	ゴキヅル	HIO
503	ME TO TO SE	3 3 1 7	アマチャヅル	<del>                                     </del>
504			スズメウリ	-
				-
505			アレチウリ	-
506			カラスウリ	<u> </u>
507			キカラスウリ	
508			モミジカラスウリ	
509		ミソハギ科	キカシグサ	
510			ミズマツバ	
511		アカバナ科	ウシタキソウ	
512			ミズタマソウ	
513			アカバナ	1
514			チョウジタデ	1
515			メマツヨイグサ	<del>                                     </del>
				-
516			オオマツヨイグサ	
517			マツヨイグサ	
518		アリノトウグサ科	アリノトウグサ	1
519			ホザキノフサモ	<u> </u>
520		ウリノキ科	ウリノキ	1
521		ミズキ科	アオキ	1
522			ミズキ	<del>                                     </del>
523			クマノミズキ	<del>                                     </del>
				<del> </del>
524			ハナイカダ	
525		ウコギ科	コシアブラ	
526			ヤマウコギ	
527			ウド	
528			タラノキ	
529			メダラ	
530			タカノツメ	
531			キヅタ	
532		1 1 2	トチバニンジン	
533		セリ科	ノダケ	
534			シラネセンキュウ	
535			シシウド	
536			ミツバ	
537			ウシミツバ	
538			ハナウド	
539			オオバチドメ	
540			ノチドメ	
				-
541			オオチドメ	+
542			チドメグサ	—
543			ヒメチドメ	<u> </u>
544			セリ	<u> </u>
545			ヤブニンジン	
546			ウマノミツバ	1
547	1		カノツメソウ	T
548	1		ヤブジラミ	$\vdash$
549	1		オヤブジラミ	<del>                                     </del>
	合弁花類	リュウブ科		$\vdash$
	ロサ化類	リョウプ科	リョウブ	+
551		イチヤクソウ科	ギンリョウソウ	—
552			イチヤクソウ	<u> </u>
553		ツツジ科	ネジキ	<u> </u>
554			アセビ	
555			ミツバツツジ	
556	1		レンゲツツジ	1
557	1		モチツツジ	<del>                                     </del>
				+
558			ヤマツツジ	+
559			コバノミツバツツジ	₩
560			シャシャンボ	<b>_</b>
561			ウスノキ	<u> </u>
562			アクシバ	
563			ケアクシバ	
564	1		ナツハゼ	
JU <del>1</del>	1	L	/ / / L	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物: 9/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
565	合弁花類	ツツジ科	スノキ	1110
566		ヤブコウジ科	マンリョウ	
567			ヤブコウジ	
568		サクラソウ科	ミヤマタゴボウ	
569		3 3 3 3 1 1	オカトラノオ	
570			ヌマトラノオ	
571			コナスビ	
572		カキノキ科	カキノキ	
573		75 1 7 1 14	マメガキ	
574		エゴノキ科	オオバアサガラ	l
575		1 1 7 T 1 T	エゴノキ	<u> </u>
		ハイノキ科		
576		八1 ノ <del>ー11</del>	サワフタギ	<u> </u>
577		エカトノ51	タンナサワフタギ	ļ
578		モクセイ科	マルバアオダモ	1
579			ネズミモチ	
580			イボタノキ	_
581		110 10 10 10	ヒイラギ	
582		リンドウ科	リンドウ	
583			アケボノソウ	
584			センブリ	
585			ツルリンドウ	
586		キョウチクトウ科	テイカカズラ	
587			ツルニチニチソウ	
588		ガガイモ科	イケマ	
589			キジョラン	
590			ガガイモ	
591			オオカモメヅル	
592		アカネ科	クルマバソウ	
593		7 73 747	メリケンムグラ	
			ヒメヨツバムグラ	
594				
595			キクムグラ	
596			ヤマムグラ	
597			オオバノヤエムグラ	
598			ヤエムグラ	
599			ヨツバムグラ	
600			フタバムグラ	
601			ハシカグサ	
602			ツルアリドオシ	
603			ヘクソカズラ	
604			アカネ	
605		ヒルガオ科	ヒルガオ	
606			ネナシカズラ	
607			アメリカネナシカズラ	
608			マメアサガオ	
609			アサガオ	
610		ムラサキ科	サワルリソウ	
611			ハナイバナ	
			オニルリソウ	$\vdash$
612				1
613			ヤマルリソウ	1
614			コンフリー	$\vdash$
615			ミズタビラコ	$\vdash$
616			キュウリグサ	
617		クマツヅラ科	ムラサキシキブ	
618			ヤブムラサキ	
619			カリガネソウ	
620			クサギ	
621			ヤナギハナガサ	
622		シソ科	カワミドリ	
623			キランソウ	
624			クルマバナ	
625			トウバナ	
626			イヌトウバナ	
627			ヤマトウバナ	
628			ナギナタコウジュ	
629			フトボナギナタコウジュ	1
			フトルナキナタコウシュ   ミズトラノオ	
630				-
631			カキドオシ	
632			マネキグサ	<b> </b>
633			オドリコソウ	
634			ヒメオドリコソウ	
635			メハジキ	
636			ミカエリソウ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物: 10/15)

637 合弁花類	流入河川	和名	科名	分類	No.
539   ラショウモンカズラ   10   10   10   10   10   10   10   1	H16	ヒメシロネ	シソ科	合弁花粨	637
1	-		2 2 14	口开化块	
640   日本学   日本	+				
641 642 643 644 644 645 646 646 647 647 648 646 649 647 647 648 649 650 650 651 651 651 652 653 653 654 655 655 655 656 657 657 658 658 658 659 669 660 661 662 663 663 664 665 665 6666 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 6	-				
643   643   644   645   646   646   646   646   646   647   648   646   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   647   648   649   74					
643					
644					
646   646   646   646   646   646   646   647   648   648   649   747   741   74		シソ			643
646   1		レモンエゴマ			644
647		アオジソ			645
647		ウツボグサ			646
日本日本   日本日本					
649					
650   アキノタムランウ   キバナアキギリ   オカタッナミソウ   キバナアキギリ   オカタッナミソウ   651   652   オカタッナミソウ   タッナミソウ   タッナミソウ   スゴマ   スゴマ   スガウサ   スゴマ   スガウサ   スガウサ   スガウサ   スガウサ   スガクサ   スガクサ   スガスキ   スポオズキ   アメリカイヌホオズキ   アメリカイヌホオズキ   スポオズキ   スポオズキ   スポオズキ   スポカズキ   スポカズキ   スサフジウッギ   スサフジウッギ   スサフジウッギ   スポカズキ   スサフジウッギ   スポカンラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スズメノトウガラン   スポオズキ   スサンジウッギ   スポカアゼナ   スポカアゼナ   スポカアゼナ   スポカアゼナ   スポカアゼナ   スポオレナリスマッポ   スポカアギャ   スポカアギャ   スポカアギャ   スポカアギャ   スポカアギャ   スポカアギャ   スポカアギャ   スポカアガリ   スポカアガリ   スズムシパナ   スカンガウ   スズムシパナ   スカンガウ   スズムシパナ   スカンガウ   スズムシパナ   スカンガウ   スズムシパナ   スカンガラ   スオカズラ   スオカズラ   スオカズラ   スオカズラ   フックパスカグラ   フックパスカグラ   フックパスカグラ   フックパスカグラ   フックパスカグラ   フックパスカグラ   スイカズラ   フックパススカブラ   スイカズラ   ファフィブマズミ   オオカメノキ   スオカズス   スカズス   スカズス   スカズス   スカズス   スカガス   スカガズス	-				
1	-				
おカタツナミソウ   タッナミソウ   タッナミソウ   タッナミソウ   タッナミソウ   タッナミソウ   タッナミンウ   イヌゴマ   二ガクサ   フェガクサ   フェガクサ   フェガクサ   フェガクサ   フェガクサ   フェガルイヌホオズキ   日本日   ロード   ロー	-				
653   1					
655   1	_				
655   656   657   658   73   74   75   75   75   75   75   75   75					
556   一方					
587   568   カス科   カス科   カス科   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カスス   カスカ   カス					655
658   559   660   661   662   661   662   663   664   665   663   664   665   7ジウツギ科   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウンラン   767   7カフジウンラン   767   7カフジウンラン   767   7カフジウンラン   7カフジウンカブラ   7カブスメングリ   7カブスメングリ   7カブスメングリ   7カブスメングリ   7カブスカブラ   7カブスオングラ   7カブスカブラ   7カブスカブラ   7カブスカブラ   7カブスカブラ   7カブススカブラ   7カブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブグスカブク   7カブグスカブク   7カブグスカブク   7カブグスカブグスカブク   7カブグスカブク   グスカブグスカブグスカブグスカブグスカブグスカブグスカブグス		ニガクサ			656
658   559   660   661   662   661   662   663   664   665   663   664   665   7ジウツギ科   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウツギ   7カフジウンラン   767   7カフジウンラン   767   7カフジウンラン   767   7カフジウンラン   7カフジウンカブラ   7カブスメングリ   7カブスメングリ   7カブスメングリ   7カブスメングリ   7カブスカブラ   7カブスオングラ   7カブスカブラ   7カブスカブラ   7カブスカブラ   7カブスカブラ   7カブススカブラ   7カブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブススカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブカブスカブラ   7カブグスカブク   7カブグスカブク   7カブグスカブク   7カブグスカブグスカブク   7カブグスカブク   グスカブグスカブグスカブグスカブグスカブグスカブグスカブグス	Ì	ツルニガクサ			657
659	1		ナス科		
660					
661	+				
662   日本の	-				
663   664   665   666   665   666   666   666   666   666   7 リラッキ科   7 サフジウッギ   7 サフジウッギ   7 サフジウッギ   7 サフジウッギ   7 サフジウッギ   7 サフ・ウリクラン   7 カン・カー   7 カン	-				
664					
665					
666   667   7ジウツギ   7ジウツギ   7ジウツギ   7ジウツギ   7ジウツギ   7ジウツギ   7ジウツギ   7ジウツ   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン   7ジウン					664
667   1		ハダカホオズキ			665
668   669   670   671   672   673   674   675   676   677   677   678   679   680   681   683   684   685   686   687   687   688   689   月 ウゼンカズラ科   キリネノマゴ科   キリネノマゴ科   オオイヌノフがリ   692   693   694   八エドクソウ科   八エドクソウ   八エドクソウ   八五ドクソウ   大力バスト   大力がラ   大力がラ   大力がファン   大力が		フサフジウツギ	フジウツギ科		666
669   670   671   672   673   674   675   676   7		フジウツギ			667
669   670   671   672   673   674   675   676   7		ツタバウンラン	ゴマノハグサ科		668
670         マッパウンラン           671         スズメノトウガラシ           673         タケトアゼナ           674         アメリカアゼナ           675         アゼナウガラシ           676         ムラサキサギゴケ           677         ムラサキサギゴケ           678         トキワハゼ           680         681           681         ママコナ           682         おオとナノウスツボ           683         オオヒキヨモギ           684         オオアノブリ           685         タチチスノブグリ           686         タチチスノブグリ           687         大力ウリカスラ科           689         キッネノマゴ科           690         オオバコイワタバコ科           691         イワタバコ科           692         カオバコトケッウ           693         オオバコ科         オオバコ           696         オオバコ科         オオバコ           697         カグイスカグラ         ウグイスカグラ           698         ウグイスカグラ           699         アのの         ウグイスカグラ           704         フバサマズミ         オオカメノキ           704         フバナマミ         オオカメノキ					
671	+				
672         ウリクサ           673         タケトアゼナ           674         アゲナカラシ           675         アゼナカラシ           676         アゼナカラシ           677         ムラサキサギゴケ           678         サギゴケ           679         トキワハゼ           680         ママコナ           681         ミゾホオズキ           682         オオヒキヨモギ           683         オオヒヨモギ           オオカワデシャ         タチイヌノフゲリ           689         カオイヌノフゲリ           689         オオイヌノフゲリ           690         キツネノマゴ科           691         イワタバコ科           692         イワタバコ科           693         イワタバコ科           694         ハエドクソウ科           695         オオバコ科           696         オオバコ科           697         カケノウウ           698         ヤウグイスカグラ           699         ウグイスカグラ           700         フバスラー           701         スイカズラ           704         フトコ           705         オオメメノキ	-				
673   タケトアゼナ	+				
674	-				
675   676   7ゼトウガラシ   7ゼナ   ムラサキサギゴケ   ムラサキサギゴケ   サギゴケ   トキワハゼ   ママコナ   ミゾホオズキ   コシオガマ   オオヒナノウスツボ   オオヒナノウスツボ   オオヒナノウスツボ   オオヒキヨモギ   イオカワヂシャ   タチイヌノフグリ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   スズムシバナ   イワタバコ   イワタバコ   イワタバコ   イワタバコ   イフタバコ科   イワタバコ   イフタバコトンウ   ナガバハエドクソウ   ナガバハエドクソウ   ナガバハエドクソウ   オオバコ   スイカズラ科   コックバネウツギ   マウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ファクバネウツギ   マウグイスカグラ   ファクバスカグラ   ファクバスカグラ   ファクカイズカグラ   ファクカイズカグラ   ファクガイズカグラ   ファクガスカグラ   ファクガスカグラ   ファクガイズカグラ   ファクガスカグラ   ファクガスカグラ   ファクガスズミ   オオカメノキ   オオカメノキ   オオカメノキ   オオカメノキ					
676   677   678   679   679   680   681   682   683   684   685   686   687   688   688   688   689   690   691   692   693   694   705   702   702   703   704   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   702   705   705   705   706   707   707   708					
677   678   679   680   7   7   7   7   7   7   7   7   7					675
678   679   680   681   682   683   684   685   686   687   688   699   700   702   702   703   704   705   702   705		アゼナ			676
Fキワハゼ ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   マアコナ   マアカガマ   マアカガマ   マアカガマ   マアカガマ   マアカガマ   マアカガラ   マアカカリアデシャ   マアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグリ   エアカリアグロ   エアカリアグロ   エアカリアグロ   エアカリアグロ   エアカリアグロ   エアカリアグロ   エアカリアグロ   エアカリアが   エアカリアが   エアカリアが   エアカリアが   エアカリアが   エアカリアが   エアカリアが、カッギ   マクバネウッギ   マクバネウッギ   マウグイスカグラ   エアカバラ   エアカバラ   エアカバラ   エアカバラ   エアカバラ   エアカバラ   エアカバラ   エアカバラ   エアカバラ   エアリアズミ   エアリアズミ   オオカメノキ   エアリアズミ   オオカメノキ		ムラサキサギゴケ			677
トキワハゼ ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   ママコナ   マオナナノウスツボ   オオヒナノウスツボ   オオヒキヨモギ   オオカワデシャ   タチイヌノフグリ   ムシクサ   カオイヌノフグリ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   イワタリカ   キツネノマゴ   バグロソウ   スズムシバナ   イワタバコ   イワタバコ   ハエドクソウ   カオバコ   オオバコ   オオバコ   スイカズラ科   コックバネウッギ   ヤマウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   フトコ   ガマズミ   コバノガマズミ   オオカメノキ   コバノガマズミ   オオカメノキ		サギゴケ			678
680   681   682   683   684   1		トキワハゼ			
S リ					
682   1 コシオガマ   オオヒナノウスツボ   オオヒナノウスツボ   オオヒキヨモギ   オオカワデシャ   タチイヌノブゲリ   ムシクサ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   ムシクサ   オオイヌノフグリ   カラ・ カラ・ カラ・ カラ・ カラ・ カラ・ カラ・ カラ・ カラ・ カラ・	-				
683	-				
684					
685   686   687   688   687   688   689   7   702   705					
686         タチイヌノフグリ ムシクサ オオイヌノフグリ           688         ノウゼンカズラ科         キリ キツネノマゴ科           690         キツネノマゴ科         キッネノマゴ ハグロソウ スズムシバナ           692         693         イワタバコ科         イワタバコ ハエドクソウ サガバハエドクソウ           695         カオバコ科         オオバコ コックバネウッギ ックバネウッギ ヤマウグイスカグラ ウグイスカグラ フィカズラ         コックバネウッギ マウゲイスカグラ ウガイスカグラ フトコ カマズミ コバノガマズミ オオカメノキ					
687					
688					686
689		ムシクサ			687
689		オオイヌノフグリ			688
690   691   1			ノウゼンカズラ科		
691	1				
692	1				
693   イワタバコ科   イワタバコ   八エドクソウ   八エドクソウ   ナガバハエドクソウ   ナガバハエドクソウ   オオバコ科   オオバコ   スイカズラ科   コックバネウッギ   ツクバネウッギ   ツクバスカグラ   ウヴィスカグラ   ウガイスカグラ   スイカズラ   コバノガマズミ   コバノガマズミ   オオカメノキ	+				
694	+		<b>ノロカバコ</b> 料		
595	+				
696   オオバコ科   オオバコ   フックバネウツギ   マックバネウツギ   マックバネウツギ   マックバスカグラ   マックバスカグラ   フックバスカグラ   フックバスカグラ   フックバスカグラ   ファトコ   ファトコ   カマズミ   コバノガマズミ   オオカメノキ	$\perp$		ハエトクソワ科		
697   スイカズラ科   コックパネウツギ   ツクパネウツギ   ツクパネウツギ   ヤマウグイスカグラ   ウグイスカグラ   カグイスカグラ   カイカズラ   エフトコ   カマズミ   カバノガマズミ   オオカメノキ					
698   ツクパネウツギ   ヤマウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   スイカズラ   スイカズラ   エフトコ   ガマズミ   カバノガマズミ   オオカメノキ   オオカメノキ	$\perp$				696
100   ヤマウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   スイカズラ   スイカズラ   エワトコ   ガマズミ   カイカス   カイカス   カイカメノキ   オオカメノキ		コツクバネウツギ	スイカズラ科		697
100   ヤマウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   ウグイスカグラ   スイカズラ   スイカズラ   エワトコ   ガマズミ   カイカス   カイカス   カイカメノキ   オオカメノキ		ツクバネウツギ			698
700       701       702       703       704       705					
701     スイカズラ       702     ニワトコ       703     ガマズミ       704     コバノガマズミ       705     オオカメノキ	1				
702       703       704       705	1				
703       704       705       ガマズミ       コバノガマズミ       オオカメノキ	-				
704 705 コバノガマズミ オオカメノキ					
705 オオカメノキ					
706		オオカメノキ			705
<u>   199</u>		ヤブデマリ			706
707 ミヤマガマズミ		ミヤマガマズミ			707
708 ヤブウツギ	1				
709 タニウツギ	1				

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 11/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
710	合弁花類	オミナエシ科	オミナエシ	
711		,	オトコエシ	
712			ノヂシャ	
713		キキョウ科	ツリガネニンジン	
714		11271	ホタルプクロ	
715			ツルニンジン	
716			バアソブ	
717			ミゾカクシ	
			タニギキョウ	
718		<u> </u>  キク科	ダーキキョウ  ノブキ	
719		+94 <del> </del>		
720			ヌマダイコン	
721			キッコウハグマ	
722			ブタクサ	
723			オオブタクサ	
724			ヨモギ	
725			イナカギク	
726			シロヨメナ	
727			ノコンギク	
728			オオホウキギク	
729			シラヤマギク	
730			ヒロハホウキギク	
731			ホウキギク	
732			オケラ	l
733			アメリカセンダングサ	
734			ケスッカビンタンッツ   タウコギ	
735			モミジガサ	
736			ヤブタバコ	
737			ガンクビソウ	
738			サジガンクビソウ	
			ヒメガンクビソウ	
739				
740			トキンソウ	
741			ヒメアザミ	
742			ノアザミ	
743			ヨシノアザミ	
744			ノハラアザミ	
745			アレチノギク	
746			オオアレチノギク	
747			ベニバナボロギク	
748			リュウノウギク	
749			アメリカタカサブロウ	
750			タカサブロウ	
751			ダンドボロギク	
752			ヒメムカシヨモギ	
753			ケナシヒメムカシヨモギ	
754			ヒヨドリバナ	
755			サワヒヨドリ	
756			ヤマヒヨドリ	
757			サケバヒヨドリ	
758			ハキダメギク	
759			ハハコグサ	
760			チチコグサ	
761			チチコグサモドキ	
762			ウスベニチチコグサ	
763			<del>                                    </del>	
764			キツィ C   キツネアザミ	
765			オオヂシバリ	
			オオチンバリ  ニガナ	
766				<b> </b>
767			ハナニガナ	<del>                                     </del>
768			イワニガナ	<del>                                     </del>
769			オオユウガギク	<del>                                     </del>
770			ユウガギク	<b> </b>
771			ヨメナ	ļ
772			アキノノゲシ	
773			ホソバアキノノゲシ	ļ
774			ヤマニガナ	
775			ムラサキニガナ	
776			コオニタビラコ	
777			ヤブタビラコ	
778			センボンヤリ	
779			カシワバハグマ	
780			コウヤボウキ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 12/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
781	合弁花類	キク科	フキ	1110
782			コウゾリナ	
783			シュウブンソウ	
784			オオハンゴンソウ	
785			サワギク	
786			ノボロギク	
787			コメナモミ	
788			メナモミ	
789			セイタカアワダチソウ	
790			アキノキリンソウ	
791			オニノゲシ	
792			ノゲシ	
793			ヒメジョオン	
794			ヤマボクチ	
795			カンサイタンポポ	
796			セイヨウタンポポ	
797			オオオナモミ	
798			ヤクシソウ	
799			ハナヤクシソウ	
800			オニタビラコ	
	単子葉植物	オモダカ科	ヘラオモダカ	
802			ウリカワ	
803			オモダカ	
804		トチカガミ科	オオカナダモ	
805		ユリ科	ノギラン	
806			ソクシンラン	
807			ノビル	
808			ホウチャクソウ	
809			チゴユリ	
810			ショウジョウバカマ	
811			ヤブカンゾウ	
812			ノカンゾウ	
813			イワギボウシ	
814			オオバギボウシ	
815			トウギボウシ	
816			ウバユリ	
817			ササユリ	
818			コオニユリ	
819			ヒメヤブラン	
820			ヤブラン	
821			ジャノヒゲ	
822			ナガバジャノヒゲ	
823			オオバジャノヒゲ	
824			ナルコユリ	
825			ミヤマナルコユリ	
826			アマドコロ	
827			オモト	$\vdash$
828			サルトリイバラ	$\vdash$
829			タチシオデ	$\vdash$
830			シオデ	$\vdash$
831			ヤマジノホトトギス	$\vdash$
832			ホトトギス	$\vdash$
833		レギンルゲーゼ	ヤマホトトギス	$\vdash$
834		ヒガンバナ科	ヒガンバナ	$\vdash$
835		ヤマノイモ科	キツネノカミソリ	$\vdash$
836		ドメノ1 TM	タチドコロ	<del>                                     </del>
837			ヤマノイモ	<del>                                     </del>
838			カエデドコロ	$\vdash$
839			キクバドコロ	$\vdash$
840			ヒメドコロ  オニドコロ	<del>                                     </del>
841		ミプマナイ科		+-+
842		ミズアオイ科	ホテイアオイ	<del>                                     </del>
843			ミズアオイ	$\vdash$
844		フカノギ	コナギ	$\vdash$
845		アヤメ科	ヒオウギ	<del>                                     </del>
846			シャガ	<del>                                     </del>
847			キショウブ	<b>├</b> ─┤
848	•		ニワゼキショウ レメレオウギブイセン	$\vdash$
849	i	レナルシェカジュウ料	ヒメヒオウギズイセン	1
850		ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ	ı

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 13/15)

No.	分類	科名	和名	流入 河川 H16
851	単子葉植物	イグサ科	ハナビゼキショウ	
852			1	
853	]		コウガイゼキショウ	
854			ホソイ	
855			クサイ	
856			コゴメイ	
857			スズメノヤリ	
858			ヤマスズメノヒエ	
859			ヌカボシソウ	
860	1	ツユクサ科	ツユクサ	
861			イボクサ	<u> </u>
862	-		ヤブミョウガ	1
863	-	ホシクサ科	ヒロハイヌノヒゲ	
864		イネ科	アオカモジグサ	
865			タチカモジグサ	<del>                                     </del>
866			カモジグサ	1
867			コヌカグサ	<del>                                     </del>
868			ヤマヌカボ	<del>                                     </del>
869	-		ヌカボ	1
870	-		スズメノテッポウ	-
871			メリケンカルカヤ	-
872	-		コプナグサ	1
873	-		トダシバ	<del>                                     </del>
874	-		ヒメコバンソウ	1
	-		イヌムギ	
875	4			
876	4		キツネガヤ ノガリヤス	-
877				
878			ヒメノガリヤス	
879			オガルカヤ	-
880			ギョウギシバ	<u> </u>
881			カモガヤ	-
882			タツノヒゲ	
883			メヒシバ	
884			コメヒシバ	<b>_</b>
885			アキメヒシバ	
886			アプラススキ	
887			イヌビエ	
888			ケイヌビエ	—
889			ヒメイヌビエ	<b>↓</b>
890			オヒシバ	
891			シナダレスズメガヤ	
892			カゼクサ	
893			コゴメカゼクサ	
894			ニワホコリ	
895			オオニワホコリ	
896			コスズメガヤ	
897			ナルコビエ	
898			オニウシノケグサ	
899			ウシノケグサ	
900			トボシガラ	
901			ヒロハノウシノケグサ	
902			オオウシノケグサ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物 : 14/15)

No.	分類	科名	和名	流入河川
002	出て辞坊物	ノナ科	じごっウッナギ	H16
903	単子葉植物	イネ科	ドジョウツナギ チガヤ	
905			チゴザサ	
906			ハイチゴザサ	
907			サヤヌカグサ	
908			アゼガヤ	
909			ネズミムギ	
910			ササクサ	
911			コメガヤ	
912			ササガヤ	
913			ヒメアシボソ	
914			アシボソ	
915			トキワススキ	
916			オギ	
917			ススキ	
918			ヌマガヤ	
919			オオネズミガヤ	
920			ケチヂミザサ	
			コチヂミザサ	
921				
922			ヌカキビ	
923			オオクサキビ	
924			シマスズメノヒエ	
925			キシュウスズメノヒエ	
926			スズメノヒエ	
927			チカラシバ	
928			クサヨシ	
929			ヨシ	
930			ツルヨシ	
931			ホテイチク	
932			マダケ	
933			ハチク	
934			モウソウチク	
935			ネザサ	
936			ケネザサ	
937			メダケ	
938			ミゾイチゴツナギ	
939			スズメノカタビラ	
940			オオイチゴツナギ	
941			ナガハグサ	
942			イチゴツナギ	
943			オオスズメノカタビラ	
944			ヒエガエリ	
945			ウキシバ	
946			ヤダケ	
947			チシマザサ	
948			ミヤコザサ	
949			チマキザサ	
950			スズタケ	
951			アキノエノコログサ	
952			ナイノエノコログッ   キンエノコロ	
952			エノコログサ	
			エノコログサ   ムラサキエノコロ	
954				$\vdash$
955			オオエノコロ	
956			セイバンモロコシ	
957			ネズミノオ	
958			カニツリグサ	
959			ナギナタガヤ	
960			マコモ	
961			シバ	
962		ヤシ科	シュロ	
963		サトイモ科	セキショウ	
964			キシダマムシグサ	
965			ヤマトテンナンショウ	
966			マムシグサ	
967			ムロウテンナンショウ	
968		<u> </u>	カラスビシャク	
969		ウキクサ科	アオウキクサ	
970			ウキクサ	
971		ガマ科	ヒメガマ	
972			コガマ	

表 6.6-12 流入河川確認種リスト(植物: 15/15)

lo.	分類	科名	和名	流 <i>入</i> 河川 H16
$\overline{}$	単子葉植物	カヤツリグサ科	エナシヒゴクサ	
974			クロカワズスゲ	
975			マツバスゲ	
976			アオスゲ	
977			メアオスゲ	
978			ミヤマシラスゲ	
979				<u> </u>
_			ヒメカンスゲ	-
980			ナルコスゲ	
981			カサスゲ	
982			シラスゲ	
983			イトスゲ	
984			マスクサ	
985			カワラスゲ	
986			ジュズスゲ	
987			ヒゴクサ	
988			テキリスゲ	
_				
989			ヒカゲスゲ	
990			ナキリスゲ	
991			タチスゲ	
992			ゴウソ	<u></u>
993			ヒメシラスゲ	
994			カンスゲ	
995			ミヤマカンスゲ	
996			アオゴウソ	
997				
_			コカンスゲ	
998			ヤブスゲ	
999			クサスゲ	
000			オオイトスゲ	
001			タガネソウ	
002			アゼスゲ	
003			ヤワラスゲ	
004			ヒメモエギスゲ	
005			アイダクグ	
006			ヒメクグ	
$\overline{}$				
007			クグガヤツリ	
800			タマガヤツリ	
009			ヒナガヤツリ	
010			アゼガヤツリ	
011			コアゼガヤツリ	
012			コゴメガヤツリ	
013			カヤツリグサ	
014			アオガヤツリ	
015			ウシクグ	
016			シロガヤツリ	<u> </u>
-			カワラスガナ	<u> </u>
017				
018			マツバイ	
019			ハリイ	<u> </u>
020			シカクイ	
021			コアゼテンツキ	$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}$
022			ヒメヒラテンツキ	
023			テンツキ	
024			クロテンツキ	
025			ヒデリコ	t
026			メアゼテンツキ	t
_				1
027			ヒンジガヤツリ	<u> </u>
028			コマツカサススキ	<u> </u>
029			イヌホタルイ	
030			アブラガヤ	$oxed{oxed}$
031		ショウガ科	ミョウガ	L
032		ラン科	シュンラン	
033			ツチアケビ	
034			ミヤマウズラ	
035			ムヨウラン	l l
036			ジガバチソウ	
$\overline{}$				1
037			クモキリソウ	<del>                                     </del>
038			コクラン	<u> </u>
039			オオバノトンボソウ	L
040			カヤラン	
041			ネジバナ	L
042			クモラン	
	_	141科1042種		205

注) 1.種名および分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。

表 6.6-13 流入河川確認種リスト(鳥類 : 1/2)

No.	目名	科名	種名	流入	河川
			和名	H14	H18• 19
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ		
2			アカエリカイツブリ		
3	ペリカン目	ウ科	カワウ		
4	ペリカン目 コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ		
			ササゴイ		
5 6 7 8 9			アマサギ		
7			ダイサギ		
8			チュウサギ		
9			コサギ		
10			アオサギ		
	カモ目	カモ科	オシドリ		
12	7 -	73 614	マガモ		
13			カルガモ		
14			コガモ		
15			ヒドリガモ		
16		カナい	カワアイサ		
	タカ目	タカ科	ミサゴ		
18			ハチクマ		
19			トビ		
20			オオタカ		
21			ツミ		
22			ハイタカ		
23			オオノスリ		
24			ノスリ		
25			サシバ		
26			クマタカ		
27	キジ目	キジ科	コジュケイ		
28			キジ		
29			ヤマドリ		
	ツル目	クイナ科	バン		
31	チドリ目	チドリ科	コチドリ		
32			イカルチドリ		
33			ケリ		
34		 シギ科	キアシシギ		
35			イソシギ		
36			ヤマシギ		
37			オオジシギ		
	ハト目	 ハト科	キジバト		
39	1	/ ) 1 17	アオバト		
	<u>カッコウ目</u>	 カッコウ科	カッコウ		
40	ハッコンロ	カッコン# <del>1</del>	ツツドリ		
41			ホトトギス		
		コカロウ料			
	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク		
44			アオバズク		
45		コカナシ	フクロウ		
	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ		
	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ		
	ブッポウソウ目	カリセミ科	ヤマセミ		
49		L	カワセミ		
	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ		
51			アカゲラ		
52			オオアカゲラ		
53			コゲラ		
	スズメ目	ツバメ科	ツバメ		
55			コシアカツバメ		
56			イワツバメ		
57		セキレイ科	キセキレイ		
58			ハクセキレイ		
59			セグロセキレイ		

表 6.6-13 流入河川確認種リスト(鳥類: 2/2)

No			唯砂性リスト (局規種名	流入	 河川
No.	目名	科名	和名	H14	H18• 19
60	スズメ目	セキレイ科	ビンズイ		1110 10
61		サンショウクイ科	サンショウクイ		
62	-	ヒヨドリ科	ヒヨドリ		
63		モズ科	モズ		
64		カワガラス科	カワガラス		
65		ミソサザイ科	ミソサザイ		
66		イワヒバリ科	カヤクグリ		
67		ツグミ科	ルリビタキ		
68			ジョウビタキ		
69			ノビタキ		
70			トラツグミ		
71			アカハラ		
72			シロハラ		
73			ツグミ		
74		ウグイス科	ヤブサメ		
75			ウグイス		
76			メボソムシクイ		
77			センダイムシクイ		
78			キクイタダキ		
79		ヒタキ科	キビタキ		
80			オオルリ		
81			サメビタキ		
82			エゾビタキ		
83			コサメビタキ		
84		カササギヒタキ科	サンコウチョウ		
85		エナガ科	エナガ		
86		シジュウカラ科	コガラ		
87			ヒガラ		
88			ヤマガラ		
89			シジュウカラ		
90		メジロ科	メジロ		
91		ホオジロ科	ホオジロ		
92			カシラダカ		
93			ミヤマホオジロ		
94			アオジ		
95			クロジ		
96	_	アトリ科	アトリ		
97			カワラヒワ		
98			マヒワ		
99			ベニマシコ		
100			ウソ		
101			イカル		
102		11 - 1 11 12 12 12	シメ		
103		ハタオリドリ科	スズメ		
104		ムクドリ科	ムクドリ		
105	-	カラス科	カケス		
106			ハシボソガラス		
107	-		ハシブトガラス		
-			カラス属	007%	0075
		16目36科107種		26種 <b>41</b>	32種
	しゃぐん ギエユ ・ロー・・・		川水辺の国勢調査のための気		-

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-14 流入河川確認種リスト(両生類)

No.	目名	科名	和名	流入河川 H15
2		オオサンショウウオ イモリ ヒキガエル アマガエル アカガエル アカガエル	オオサンショウウオ イモリ ニホンヒキガエル アマガエル タゴガエル ヤマアカガエル トノサマガエル ヌマガエル ウシガエル ツチガエル シュレーゲルアオガエル カジカガエル	
		2目6科12種		5種

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2. :「平成19年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その2)(室生ダム)(魚類調査)」6月、8月調査時に確認された。

表 6.6-15 流入河川確認種リスト(爬虫類)

No.	目名	科名	和名	流入河川	
	-			H15	
1	カメ	イシガメ	クサガメ		
2			ミシシッピアカミミガメ		
3			イシガメ		
4	トカゲ	トカゲ	トカゲ		
5		カナヘビ	カナヘビ		
6		ヘビ	シマヘビ		
7			ジムグリ		
8			アオダイショウ		
9			シロマダラ		
10			ヒバカリ		
11			ヤマカガシ		
12		クサリヘビ	マムシ		
	2目5科12種				

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。

表 6.6-16 流入河川確認種リスト(哺乳類)

No.	目名	科名	和名	流入河川
				H15
	モグラ	モグラ	ヒミズ	
2			コウベモグラ	
-			モグラ属	
3	コウモリ	キクガシラコウモ	キクガシラコウモリ	
4		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	
5			ユビナガコウモリ	
6			テングコウモリ	
-			ヒナコウモリ科	
7	サル	オナガザル	ニホンザル	
	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	
	ネズミ	リス	ニホンリス	
10			ムササビ	
11		ネズミ	アカネズミ	
12			ヒメネズミ	
13			カヤネズミ	
-			ネズミ科	
	ネコ	イヌ	タヌキ	
15			キツネ	
16		イタチ	テン	
17			イタチ属	
18			アナグマ	
	ウシ	イノシシ	イノシシ	
20		シカ	ホンドジカ	
		7目11科20種		8種

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・属」「・・・科」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 1/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
1	クモ綱	クモ目	ジグモ科	ジグモ	
2			ガケジグモ科	ガケジグモ科	
3			ハグモ科	ヒナハグモ	
-				ハグモ科	
4			チリグモ科	チリグモ	
5			ウズグモ科	オウギグモ	
6				マネキグモ	
7				ウズグモ	
8			マシラグモ科	マシラグモ	
-			())	マシラグモ科	
9			タマゴグモ科	タマゴグモ科	
10			ユウレイグモ科	ユウレイグモ	
11			2 7 0 1 7 217	アケボノユウレイグモ	
12				シモングモ	
13			エンマグモ科	コマツエンマグモ	+
14			タナグモ科	クサグモ	
15			1979 C#4	コクサグモ	
10					
16				Agelena属 ヤマヤチグモ	
17				クロヤチグモ	-
18				シモフリヤチグモ	
19				ヒメヤマヤチグモ	
20				カメンヤチグモ	
21				デベソヤチグモ	
22				カミガタヤチグモ	
-				Coelotes属	
23				カチドキナミハグモ	
-				Cybaeus属	
-				タナグモ科	
24			コガネグモ科	キジロオヒキグモ	
25				キザハシオニグモ	
26				ヌサオニグモ	
27				アオオニグモ	
28				ヤマオニグモ	
29				カラオニグモ	
-				Araneus属	
30				ムツボシオニグモ	
31				コガネグモ	
32				チュウガタコガネグモ	
33				ナガコガネグモ	
-				Argiope属	
34				ヤマトカナエグモ	
35				ギンメッキゴミグモ	
36				カラスゴミグモ	
37				ギンナガゴミグモ	
38				ヤマトゴミグモ	
39				ゴミグモ	
40				ヨツデゴミグモ	
-				Cyclosa属	
41				トリノフンダマシ	
42				オオトリノフンダマシ	
43				シロオビトリノフンダマシ	
44				クロトリノフンダマシ	_
45				アカイロトリノフンダマシ	
40				アガイロトリノフクマシ Cvrtarachne属	-
-					
46				トガリオニグモ	
47				ヨツボシショウジョウグモ	
48				シロスジショウジョウグモ	
49				コガネグモダマシ	
50				ゴマジロオニグモ	
51				ワキグロサツマノミダマシ	
52				コゲチャオニグモ	
53				ヤマシロオニグモ	
54				サツマノミダマシ	
55				ヘリジロオニグモ	
-				Neoscona属	
56				サガオニグモ	
57				カラフトオニグモ	-
58				ヤマキレアミグモ	
-			ラブ <i>ド</i> ナ1/	コガネグモ科	
59			ミズグモ科	ミズグモ	-
60			ハタケグモ科	ヤマハタケグモ	
-		1		ハタケグモ科	I

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 2/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
61	クモ綱	クモ目	サラグモ科	クロケシグモ	
62				コサラグモ	
63				オオスギヤミサラグモ	
64				マルサラグモ	
65				ハラジロムナキグモ	
66				デーニッツサラグモ	
67				ナニワナンキングモ	
68				ノコギリヒザグモ	
69				ハナサラグモ ニセアカムネグモ	
70 71				アリマケズネグモ	
72				ヤマトケズネグモ	
73				ズキンヌカグモ	+
74				クロナンキングモ	
75				アショレグモ	1
76				ハガタヤセサラグモ	
77				クボミケシグモ	
78				チビサラグモ	
79				ツリサラグモ	
80			1	ヘリジロサラグモ	
81			1	ツノケシグモ	
82				チビアカサラグモ	
83			1	クスミサラグモ	
84			1	ムネグロサラグモ	
85				コウシサラグモ	
86				イマダテテングヌカグモ	
87			1	ナラヌカグモ	1
88				フタスジサラグモ	
89			コガネグモ科	アシナガサラグモ	1
90			コルネグモ料	シロブチサラグモ アリマネグモ	
92				ヨツボシサラグモ	
93				ヌカグモ	-
94				ユノハマサラグモ	
95				セスジアカムネグモ	
96				オオサカアカムネグモ	
97				テングヌカグモ	
-				サラグモ科	
98			コモリグモ科	チリコモリグモ	
99				スジプトコモリグモ	
100				カガリビコモリグモ	
101				エビチャコモリグモ	
102				ヒノマルコモリグモ	
103				カワベコモリグモ	
104				ハラクロコモリグモ	
105				ウヅキコモリグモ	
106				ヤマハリゲコモリグモ	
107				イサゴコモリグモ	
108				ハリゲコモリグモ	
109				キクヅキコモリグモ	-
110				Pardosa属 クラークコモリグモ	1
110				<u> </u>	+
112				カイゾクコモリグモ	<del>                                     </del>
113			1	イモコモリグモ	
114			1	チビコモリグモ	
115			1	キバラコモリグモ	
116				コガタコモリグモ	
117				ナミコモリグモ	
			1	Pirata属	
118				アライトコモリグモ	
				コモリグモ科	
119			センショウグモ科	センショウグモ	
120				オオセンショウグモ	
121			コツブグモ科	ナンブコツブグモ	
122			ササグモ科	ササグモ	
123			キシダグモ科	シノビグモ	
124			1	スジプトハシリグモ	1
125			1	スジアカハシリグモ	1
126				イオウイロハシリグモ	1
407				Dolomedes属	1
127			1	ハヤテグモ	1
128				アズマキシダグモ Diagura屋	1
<u> </u>				Pisaura属	+
100			フシナガガエ科	キシダグモ科	
129			アシナガグモ科	チュウガタシロカネグモ	+
130			1	オオシロカネグモ	1
131			1	コシロカネグモ	+
132				キララシロカネグモ	1
			I	Leucauge属	1

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 3/37)

NO	流入河川
194	H15
194	
135	
197	
138	
199	
140	_
141	
142	
143 144 145 146 147 148 149 147 148 149 147 148 149 147 148 149 150 150 151 152 153 154 155 155 156 157 157 158 158 159 159 159 159 159 159 159 159 159 159	
146	
Tetragnatha属	
146	
146	_
Achearanes	
147	_
148	
149	
151	
152	
153	
154	_
155	_
156	<del>                                     </del>
157	
158	
159	
160	
161	_
Episinus属   ツクネグモ   スネグロオチバヒメグモ   スネグロオチバヒメグモ   165   166   167   168   168   169   169   169   170   171   172   173   174   175   176   177   177   178   179   180   181   181   185   188   188   188   188   188   188   188   188   188   188   188   189   190   191   193   193   193   194   193   193   194   193   194   193   193   194   194   197   19	_
162	_
163	
165   166   167   167   168   167   168   168   169   170   171   172   173   174   175   176   177   178   178   178   188   188   189   190   190   191   194   19	
166   167   16	
167	
Theridion属	
L	_
168	
169	
171	
172	
173	
174	
175	
176	
Cheiracanthium属 コフクログモ	-
178	
179	
180	
181	-
182	+
183	
- 184	$\dashv$
184	
186	
187	
- 188 - フィーグモ ファーグ・ アトロ マエトピケムリグモ マエトピケムリグモ マコトピケムリグモ マコトピケムリグモ マエトピケムリグモ マエトピケムリグモ マエトピケムリグモ マエトピケムリグモ マエトピケムリグモ	
188	
フクログモ科   189   シボグモ科   シボグモ   フシグモ科   フシグモ科   チャクロワシグモ   トラフワシグモ   トラフワシグモ   トラフワシグモ   上でチャコリメケムリグモ   フロチャケムリグモ   フェトピケムリグモ   マエトピケムリグモ	+
189	_
190	$\dashv$
- 192	
192   エビチャヨリメケムリグモ   193   クロチャケムリグモ   マエトピケムリグモ   マエトピケムリグモ	
193 194 クロチャケムリグモ マエトピケムリグモ	
194 マエトピケムリグモ	
-	
- ワシグモ科	+
195   アシダカグモ科   アシダカグモ	+
196 P 9277 CA4 P 9277 C	
197 コアシダカグモ	$\dashv$
198 カマスグモ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 4/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
199	クモ綱	クモ目	エビグモ科	キンイロエビグモ	1115
200		/		キタエビグモ	
201				アサヒエビグモ	
-				Philodromus属	
202				ヤドカリグモ	
203				シャコグモ	
204			ハエトリグモ科	ネコハエトリ	
205				マミジロハエトリ	
206				アシブトハエトリ	
207				ホオジロハエトリ	
-				Evarcha属	
208				アダンソンハエトリ	
209				ジャバラハエトリ	
210				チビクロハエトリ	<b></b>
-				He I i ophanus属	
211				エキスハエトリ	
212				ヨダンハエトリ	
-				Marpissa属	
213				ヤハズハエトリ	
214				アゴブトハエトリ	
215				ヤサアリグモ	
216			11 - 1 11 - 11	アリグモ	
-			ハエトリグモ科	Myrmarachne属	
217				チャイロアサヒハエトリ	
218				ムロテハエトリ(マガネアサヒハ	エトリ)
219				メガネアサヒハエトリ	
-				Phintella属	
220				デーニッツハエトリ	
221				<u>イナズマハエトリ(キツネハエト</u>	ע)
222				ヒメカラスハエトリ	ļ
223				アオオビハエトリ	
224				ウススジハエトリ	<b></b>
225				ムツバハエトリ	
-			1 - 40 - 71	ハエトリグモ科	
226			カニグモ科	コハナグモ	
227				アシナガカニグモ	
228				アマギエビスグモ	
-				Lysiteles属	
229				ハナグモ	
230				ワカバグモ	
231				ガザミグモ	
232				フノジグモ	
233				アズチグモ	
234				トラフカニグモ	
235				セマルトラフカニグモ	
236 237				ヤミイロカニグモ アズマカニグモ	
238					
230				オオヤミイロカニグモ Vvotious屋	
239			 シボグモモドキ科	Xysticus属  シボグエエドキ	
239			ノかりししドナ村	<u>シボグモモドキ</u> コクナグモ	
240				クモ目	
2/11	昆虫綱	トビムシ目(粘管目)	ヒメトビムシ科	ヒメトビムシ科	
241	12 江河門	こムノロ(和旨ロ丿	イボトビムシ科	イボトビムシ科	
242			シロトビムシ科	イ が ト ピ ム シ 科   ヤ ギ シ ロ ト ビ ム シ	<del>                                     </del>
243			761 64714	シロトビムシ科	
244			ミズトビムシ科	ミズトビムシ	
245			アヤトビムシ科	シマツノトビムシ	
246			V 1 LA 217	Sinella属	
2 <del>7</del> 0				アヤトビムシ科	
247			 ツチトビムシ科		
248			771 LA217	ミズフシトビムシ ニセフシトビムシ	
Z <del>1</del> 0				ツチトビムシ科	
249			ウスギヌトビムシ科	ウスギヌトビムシ科	
250			ヒゲナガトビムシ科	トウアヒゲナガトビムシ	
251			LJJJJI LAJM	アヤヒゲナガトビムシ	
201				ヒゲナガトビムシ科	
252			トゲトビムシ科	オオトゲトビムシ	
202			1 7 1 4 2 777	トゲトビムシ科	
253			マルトビムシ科	キボシマルトビムシ	
253			INI LADIT	キマルトビムシ	<b>—</b>
254				マルトビムシ科	
255					
∠ეე	l			ヤマシタホソウロコトビムシ	<u> </u>

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 5/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
256 257	昆虫綱	トビムシ目(粘管目)	マルトビムシ科	クモマルトビムシ亜科 クモトビムシ亜科	шэ
258		カマアシムシ目	クシカマアシムシ科	ヨシイムシ	
259		コムシ目	ナガコムシ科	イシイナガコムシ	
260		イシノミ目		Pedetontinus属	
261				Pedetontus属 イシノミ科	
262		カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	
263				Baetis属	
-				コカゲロウ科	
264			フタオカゲロウ科	フタオカゲロウ科	
265 266			ヒラタカゲロウ科	<u>オビカゲロウ</u> チャイロミヤマタニガワカゲロウ	
267				エルモンヒラタカゲロウ	
268				ユミモンヒラタカゲロウ	
269				ヒメヒラタカゲロウ	
270				タテヤマヒメヒラタカゲロウ	
271			チラカゲロウ科	<u>ヒラタカゲロウ科</u> チラカゲロウ	
272			ヒトリガカゲロウ科	ヒトリガカゲロウ科	
273			トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ	
-				トビイロカゲロウ科	
274			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	
275				モンカゲロウ モンカゲロウ科	
276			カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	
277			マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ	
-				マダラカゲロウ科	
- 070		LV.#日 / ᄩᄉᄉᄋ \	フナノししいギジ	カゲロウ目	
278 279		トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	ホソミオツネントンボ アオイトトンボ	
280				オオアオイトトンボ	
281			イトトンボ科	アジアイトトンボ	
282				アオモンイトトンボ	
283			カワトンボ科	ハグロトンボ	
284 285				ミヤマカワトンボ ニホンカワトンボ	
286				アサヒナカワトンボ	
287			ヤンマ科	コシボソヤンマ	
288			11 1 - 1 5 - 4279	ミルンヤンマ	
289 290			サナエトンボ科	ヤマサナエ ダビドサナエ	
291				オナガサナエ	
292				コオニヤンマ	
293				オグマサナエ	
294			ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	
295 296			オニヤンマ科 エゾトンボ科	オニヤンマ コヤマトンボ	
297			トンボ科	ハラビロトンボ	
298			1 > 3.11	シオカラトンボ	
299				シオヤトンボ	
300				オオシオカラトンボ	
301 302				ウスバキトンボ コシアキトンボ	
303				ナツアカネ	
304				マユタテアカネ	
305				アキアカネ	
306 307				<u>ノシメトンボ</u> ネキトンボ	
308		ゴキブリ目(網翅目)	ヒメクロゴキブリ科	ヒメクロゴキブリ	
309		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	オオゴキブリ科	オオゴキブリ	
310			チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	
- 244		カフナリロ(蟷螂ワン	レノカフナロジ	チャバネゴキブリ科	
311 312		カマキリ目(蟷螂目)	ヒメカマキリ科 カマキリ科	ヒメカマキリ ハラビロカマキリ	
313			\ 1 217	コカマキリ	
314				チョウセンカマキリ	
315				オオカマキリ	
240		シロマリロ(笙柳ロ)	ミゾガシラシロアリ科	カマキリ科	
316		シロアリ目(等翅目)	ヘノカシノンログリ件	ヤマトシロアリ シロアリ目	
317		ハサミムシ目(革翅目)	クロハサミムシ科	クロハサミムシ科	
318			マルムネハサミムシ科	コヒゲジロハサミムシ	
-			<u> </u>	マルムネハサミムシ科	
319			クギヌキハサミムシ科	コブハサミムシ	
320				キバネハサミムシ クギヌキハサミムシ科	
321		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	ヤスマツクロカワゲラ	
-				クロカワゲラ科	
322			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	
323				ハラジロオナシカワゲラ科	
324			オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ科	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 6/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
325	昆虫綱	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	キベリオスエダカワゲラ	
326		,		カミムラカワゲラ	
327				ヤマトフタツメカワゲラ	
328				ヤマトカワゲラ	
-				カワゲラ科	
329			アミメカワゲラ科	セスジミドリカワゲラモドキ	
-				アミメカワゲラ科	
330				カワゲラ	
331		バッタ目(直翅目)	コロギス科	ハネナシコロギス	
332		(1221)		コロギス	
-				コロギス科	
333			カマドウマ科	クチキウマ	
-			75 (1 ) (11	Anoplophilus属	
334				Atachycines属	+
335				カマドウマ	-
336				マダラカマドウマ	
337				モリズミウマ	+
331				Diestrammena属	
220					+
338				クラズミウマ Tachyoings屋	+
-				Tachycines属	1
220			キリギリス科	カマドウマ科	-
339 340			エリエリス件	コバネヒメギス ウスイロササキリ	-
					1
341				オナガササキリ	
342				コバネササキリ	_
343				ホシササキリ	-
344				ササキリ	
345				エゾツユムシ	
346				セスジツユムシ	
347				ヒメギス	
348				クビキリギス	
349				キリギリス	
350				ウマオイ	
-				Hexacent rus属	
351				クダマキモドキ	
352				ヤマクダマキモドキ	
353				ツユムシ	
354				アシグロツユムシ	
355				クサキリ	
356				ヤブキリ	
357				ササキリモドキ	
358				ササキリ亜科	
359				ツユムシ亜科	
-				キリギリス科	
360			ケラ科	ケラ	
361			コオロギ科	キンヒバリ	
362				マダラスズ	
363				ヒゲシロスズ	
364				カワラスズ	
365				シバスズ	
366				ヤマトヒバリ	
367				ハラオカメコオロギ	
368				ミツカドコオロギ	
369				モリオカメコオロギ	
-				Loxoblemmus属	
370				タンボコオロギ	
371				クマコオロギ	
				カンタン	
372			I	0ecanthus属	1
372					
-				クサヒバリ	
373				クサヒバリ リュウキュウマダラスズ	
373 374				リュウキュウマダラスズ	
373 374 375				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ	
373 374 375 376				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ エゾスズ	
373 374 375 376 377				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ エゾスズ ヤチスズ	
373 374 375 376 377 378				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ エゾスズ ヤチスズ クマスズムシ	
373 374 375 376 377				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ エゾスズ ヤチスズ クマスズムシ エンマコオロギ	
373 374 375 376 377 378 379				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ エゾスズ ヤチスズ クマスズムシ エンマコオロギ Teleogryllus属	
373 374 375 376 377 378 379 -				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ エゾスズ ヤチスズ クマスズムシ エンマコオロギ Teleogryllus属 キアシヒパリモドキ	
373 374 375 376 377 378 379				リュウキュウマダラスズ ヒメスズ エゾスズ ヤチスズ クマスズムシ エンマコオロギ Teleogryllus属	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 7/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
383	昆虫綱	バッタ目(直翅目)	 アリツカコオロギ科		ніэ
384	CC TAMP	ハフノロ(直起ロ)	バッタ科	ショウリョウバッタ	
385			7,2211	マダラバッタ	
386				ヒナバッタ	
387				ヒロバネヒナバッタ	
388				カワラバッタ	
389				クルマバッタモドキ	
390				ハネナガイナゴ	
391				コバネイナゴ	
-				0xya属	
392				イナゴモドキ	
393				ダイリフキバッタ	
394				ミカドフキバッタ	
395				キンキフキバッタ	
396				ヤマトフキバ <u>ッ</u> タ	
-				Parapodisma属	
397				ツチイナゴ	
398				ツマグロイナゴモドキ	
399				イボバッタ	
-				バッタ科	
400			オンブバッタ科	オンブバッタ	
401			ヒシバッタ科	トゲヒシバッタ	+
402				ハネナガヒシバッタ	+
403				コバネヒシバッタ	
_				<u>ハラヒシバッタ</u> ヤセヒシバッタ	
405 406				<u>ヤセヒシバッタ</u> モリヒシバッタ	_
406				モリヒシハッタ Tetrix属	
				ヒシバッタ科	-
407			ノミバッタ科	ノミバッタ	
408		ナナフシ目(竹節虫目)	ナナフシ科	トゲナナフシ	
409			3 3 3 3 44	エダナナフシ	
403				ナナフシ科	
410		チャタテムシ目(噛虫目)	ケブカチャタテ科	ウスベニチャタテ	
411			ケチャタテ科	キモンケチャタテ	
-			7 7 7 7 7 1 7	ケチャタテ科	
412			ホソチャタテ科	ハグルマチャタテ	
413			3.23 ( ) 344	ホソチャタテ	
414			スカシチャタテ科	スカシチャタテ	
415			ヒメチャタテ科	ヒメチャタテ	
416			マドチャタテ科	ヒメマドチャタテ	
-			(1)	マドチャタテ科	
417			チャタテ科	オオチャタテ	
418				カバイロチャタテ	
419				オオスジチャタテ	
420				スジチャタテ	
-				チャタテ科	
421			コチャタテ科	コチャタテ科	
422		カメムシ目(半翅目)	コガシラウンカ科	ナワコガシラウンカ	
423				スジコガシラウンカ	
424			ヒシウンカ科	オビカワウンカ	
425				ヤナギカワウンカ	
426				キガシラヒシウンカ	
427				イボタヒシウンカ	
428				ヨスジヒシウンカ	
429			ウンカ科	タケウンカ	
430				フタスジオオウンカ	
431				クロスジオオウンカ	
432				ナガラガワウンカ	
433				クワヤマウンカ	
434				ヒメトビウンカ	
435				トビイロウンカ	
436				ホソミドリウンカ	
437				ハコネホソウンカ	
438				セジロウンカ	
439				ハリマナガウンカ	
440				タマガワナガウンカ	+
441				セスジウンカ	
442				コプウンカ	1
- 440			11 4 1 424 1 73	ウンカ科	
443			ハネナガウンカ科	アカハネナガウンカ	
444				アヤヘリハネナガウンカ	
445				アカメガシワハネビロウンカ	+
446			->	マエグロハネナガウンカ	+
447			テングスケバ科	<u> テングスケバ科</u>	+
448			アオバハゴロモ科	<u> </u>	_
449			マルウンカ科	マルウンカ	+
450				キボシマルウンカ	+
451			u = = = 10	クサビウンカ	
452			ハゴロモ科	スケバハゴロモ	
453				ベッコウハゴロモ	-
454		i e	1	アミガサハゴロモ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 8/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
455	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	グンバイウンカ科	タテスジグンバイウンカ	1110
456				ヒシウンカモドキ	
457			セミ科	チッチゼミ	
458				クマゼミ	
459	]			アプラゼミ	
460				ミンミンゼミ	
461				ニイニイゼミ	1
462				ヒグラシ	
463				ハルゼミ	1
464	1		ツノゼミ科	トビイロツノゼミ	1
465			アワフキムシ科	マツアワフキ	
466				シロオビアワフキ	-
467				モンキアワフキ	1
468				ハマベアワフキ	1
469				マエキアワフキ	+
470				ヒメモンキアワフキ	-
471				ホシアワフキ	-
472				クロスジアワフキ	-
473				マダラアワフキ	-
474				コミヤマアワフキ	+
475				ホソアワフキ	+
4/3				アワフキムシ科	+
470			コガンニフロコナノン科		4
476	-		コガシラアワフキムシ科		+
477	1		ヨコバイ科	カシヒメヨコバイ	+
478				トバヨコバイ	+
479				モジョコバイ	<b>├</b>
480				カンキツヒメヨコバイ	<b>├</b>
481	1			フタテンヒメヨコバイ	+
482				スズキヒメヨコバイ	1
483				クサビヨコバイ	
484				ミドリカスリヨコバイ	1
485				タケナガヨコバイ	
486				ホシアオズキンヨコバイ	
487				ツマグロオオヨコバイ	
488				Chlorita属	
489				オオヨコバイ	
490				オオトガリヨコバイ	
491				トガリヨコバイ	
492				ミドリヒメヨコバイ	
493				<u>バラヒメヨコバイ</u>	
494				ヨツモンヒメヨコバイ	
495				ヨモギヒメヨコバイ	
496				シロヒメヨコバイ	
497				フタスジトガリヨコバイ	
498				ウスイロヒロヨコバイ	
499				サジョコバイ	
500				ヒシモンヨコバイ	
501				シダヨコバイ	
502				マエジロオオヨコバイ	
503				ミドリヒロヨコバイ	
504				ミミズク	
505				コミミズク	
506				フタテンヨコバイ	
507				ヨツテンヨコバイ	
508				ムツテンヨコバイ	
509				コチャイロヨコバイ	
510				チャイロヨコバイ	
511				ムナグロズキンヨコバイ	
512				オビヒメヨコバイ	
513	j			ツマグロヨコバイ	
514				ホソサジヨコバイ	
515				ハンノヒロズヨコバイ	
516				ミナミマダラヨコバイ	
517				クワキヨコバイ	
518	]			アカシヒメヨコバイ	
519				モモグロヨコバイ	
520				クロヒラタヨコバイ	
521				ヒトツメヨコバイ	
522				クロサジヨコバイ	
523	]			シマサジヨコバイ	
524	1			シロズキンヨコバイ	
525	1			イナズマヨコバイ	
526	1			イネマダラヨコバイ	
527	1			シラホシスカショコバイ	1
528	1			オサヨコバイ	1
529				チマダラヒメヨコバイ	1
530				<del>ナイロヒメヨコバイ</del>	1
531				イグチホショコバイ	1
532				ホショコバイ	<del>1                                    </del>
533	1			ニッコウホシヨコバイ	1
534	1			クロモンヤマトヨコバイ	+
535	1			ヤノトガリヨコバイ	+
	1			ヤマシロヒメヨコバイ	1
236	l			タカサゴヒメヨコバイ	1
536 537		1		ミミズク亜科	<del>                                     </del>
537					
537 538					
537 538 539				ヒロズヨコバイ亜科	
537 538 539 540				ヒロズヨコバイ亜科 ホシヨコバイ亜科	
537 538 539 540 541				ヒロズヨコパイ亜科 ホシヨコバイ亜科 ホソサジョコバイ亜科	
537 538 539 540 541 542				ヒロズヨコバイ亜科 ホシヨコバイ亜科 ホソサジヨコバイ亜科 ヒメヨコバイ亜科	
537 538 539 540 541 542 543				ヒロズヨコバイ亜科 ホショコバイ亜科 ホソサジョコバイ亜科 ヒメョコバイ亜科 オオョコバイ亜科	
537 538 539 540 541 542				ヒロズヨコバイ亜科 ホシヨコバイ亜科 ホソサジヨコバイ亜科 ヒメヨコバイ亜科	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 9/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
544	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	キジラミ科	オビキジラミ	1110
545		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		イタドリマダラキジラミ	
546				ハンノキジラミ	
547				ベニキジラミ	
548				クストガリキジラミ	
549				クロトガリキジラミ	
550			アブラムシ科	ヨメナアミナシヒゲナガアブラム	シ
551				ヘクソカズラヒゲナガアブラムシ	
552				マメアブラムシ	
553				クリオオアブラムシ	
554				ハッカイボアブラムシ	
555				ウツギトックリアブラムシ	
556				イバラヒゲナガアブラムシ	
557				クヌギトゲマダラアブラムシ	
558				アザミヒゲナガアプラムシ	
559				クヌギハアブラムシ	
560			クビナガカメムシ科	アブラムシ科 ヒメクビナガカメムシ	
561			サシガメ科	マダラカモドキサシガメ	
562			97771 <del>1</del>	クロバアカサシガメ	
563				トビイロサシガメ	
564				クロモンサシガメ	
565				クビアカサシガメ	
566				アカヘリサシガメ	
567				アシナガサシガメ	
568				シマサシガメ	
569				ヒメトビサシガメ	
570				ヤニサシガメ	
				サシガメ科	
571			グンバイムシ科	オオウチワグンバイ	
572				マルミヤマグンバイ	
573				ヤナギグンバイ	
574				シキミグンバイ	
575				トサカグンバイ Stanbanitio屋	
576				Stephanitis属 ヒメグンバイ	
570				<u> </u>	
577			ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ	
578			7737-4711	ケシハナカメムシ	
579				ズイムシハナカメムシ	
580				ツヤヒメハナカメムシ	
581				ナミヒメハナカメムシ	
-				Orius属	
582				ユミアシハナカメムシ	
-				ハナカメムシ科	
583			トコジラミ科	トコジラミ科	
584			カスミカメムシ科	キエリフタモンカスミカメ	
585				ナカグロカスミカメ	
586				ブチヒゲクロカスミカメ	
587				フタモンカスミカメ	
588 589				マツノヒゲボソカスミカメ フタモンアカカスミカメ	
590				クロバカスミカメ	
591				モモアカハギカスミカメ	
592				ツマグロアオカスミカメ	
593				ツマグロハギカスミカメ	
				Apolygus属	
594				コミドリチビトビカスミカメ	
595				ミドリチビトビカスミカメ	
596				ヒメセダカカスミカメ	
597				アカホシカスミカメ	
598				マダラカスミカメ	
599				シロテンツヤカスミカメ	
600				オオクロトビカスミカメ	
601				ウスイロホソカスミカメ	
602				クロトビカスミカメ ズアカシダカスミカメ	
604				タバコカスミカメ	
605				クロマルカスミカメ	
606				モンキマキバカスミカメ	
607				キアシアカカスミカメ	
608				ホソヒョウタンカスミカメ	
609				ツヤヒョウタンカスミカメ	
610				ヒョウタンカスミカメ	
611				クロヒョウタンカスミカメ	
612				ズグロキベリカスミカメ	
613				オオクロセダカカスミカメ	
614				カシワトビカスミカメ	
615				ムギカスミカメ	
616				アカスジカスミカメ	
617				ウスモンミドリカスミカメ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 10/37)

No.	綱名	目名	が催り入り(P至. 料名	和名	流入河川
618	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	イネホソミドリカスミカメ	H15
-	LC TAWA	(1 <u>E</u> 1)	37.237.2711	カスミカメムシ科	
619			マキバサシガメ科	アカマキバサシガメ	
620				ベニモンマキバサシガメ	
621				ハラビロマキバサシガメ	
622				クロマキバサシガメ	
623				コバネマキバサシガメ	
624 625				ハネナガマキバサシガメ   キバネアシブトマキバサシガメ	
023				マキバサシガメ科	
626			オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ	
627				オオホシカメムシ	
628			ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ	
629			ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	
630				ヒメクモヘリカメムシ	
631				ホソヘリカメムシ	
632			ヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ科	
633			ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ  オオクモヘリカメムシ	
634				ホソハリカメムシ	
635				ハリカメムシ	
636				ハラビロヘリカメムシ	
637				ホシハラビロヘリカメムシ	
638				オオツマキヘリカメムシ	
639				ツマキヘリカメムシ	ļ
- 040			レストロカスととお	ヘリカメムシ科	
640 641			ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ アカヒメヘリカメムシ	
642				ケプカヒメヘリカメムシ	
643				プチヒゲヒメヘリカメムシ	l
644			イトカメムシ科	イトカメムシ	
				イトカメムシ科	
645			ナガカメムシ科	セスジナガカメムシ	
646				ヒョウタンナガカメムシ	
647 648				Dimorphopterus属 マダラナガカメムシ	
649				ホソコバネナガカメムシ	
650				オオモンシロナガカメムシ	
651				チャイロナガカメムシ	
652				ヒメナガカメムシ	
653				ヒラタヒョウタンナガカメムシ	
654				ヒゲナガカメムシ	
655				<u>クロスジヒゲナガカメムシ</u> モンシロナガカメムシ	
656 657				アムールシロヘリナガカメムシ	
658				キベリヒョウタンナガカメムシ	
659				アカアシホソナガカメムシ	
660				クロアシホソナガカメムシ	
661				オオメナガカメムシ	
662				ムラサキナガカメムシ	
663				イチゴチビナガカメムシ	
664				コバネヒョウタンナガカメムシ ナガカメムシ科	
665			メダカナガカメムシ科	メダカナガカメムシ	
666			ツノカメムシ科	オオツノカメムシ	
667				エサキモンキツノカメムシ	
668			ツチカメムシ科	コツチカメムシ	
669				ツチカメムシ	
- 070			+ 4 / 2.48	ツチカメムシ科	<b>.</b>
670 671			カメムシ科	ウズラカメムシ	1
672				シロヘリカメムシ トゲカメムシ	
673				ムラサキカメムシ	
674				アオクチブトカメムシ	
675				ハナダカカメムシ	
676				ナガメ	
677				トゲシラホシカメムシ	<b> </b>
678 679				ムラサキシラホシカメムシ	<b>—</b>
680				マルシラホシカメムシ シラホシカメムシ	
681				ツヤアオカメムシ	
682				エビイロカメムシ	
683				クサギカメムシ	
684				ヨツボシカメムシ	
685				ツマジロカメムシ	
686				アオクサカメムシ	
687				イチモンジカメムシ	
688				<u>チャパネアオカメムシ</u> カメムシ科	1
689			マルカメムシ科	ヒメマルカメムシ	
690			1777-4717	クズマルカメムシ	1
691				マルカメムシ	
-				マルカメムシ科	
692			キンカメムシ科	チャイロカメムシ	
			7.15.1279	キンカメムシ科	
693			アメンボ科	アメンボ	1
694 695				コセアカアメンボ	1
696				ヒメアメンボ   シマアメンボ	
050				アメンボ科	
697			イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 11/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
698	昆虫綱	  カメムシ目(半翅目)	ミズカメムシ科	ミズカメムシ	піэ
699		, , , , , , , , ,	カタビロアメンボ科	ケシカタビロアメンボ	
700			ミズムシ科	コチビミズムシ	
701				チビミズムシ	
702				ハラグロコミズムシ	
703				コミズムシ	
704			メミズムシ科	Sigara属 メミズムシ	
704			コオイムシ科	コオイムシ	
706			タイコウチ科	タイコウチ	
707			7 1 3 2 1 1	ミズカマキリ	
708			マツモムシ科	マツモムシ	
-				カメムシ幼虫	
-				カメムシ目	
709		アザミウマ目(総翅目)	シマアザミウマ科	ヒラズハナアザミウマ	
710 711			アザミウマ科 クダアザミウマ科	アザミウマ科 Psalidothrips属	
711			77792744	クダアザミウマ科	
_				アザミウマ目	
712		アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヘビトンボ科	クロスジヘビトンボ	
713				ヘビトンボ	
714			センブリ科	センブリ科	
715			コナカゲロウ科	マダラコナカゲロウ	
716			レロバカゲロウジ	シロコナカゲロウ	
717 718			ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ	
718				ウンモンヒロバカゲロウ スカシヒロバカゲロウ	
719				スカシヒロバカゲロウ	
721			ケカゲロウ科	ケカゲロウ	
722			カマキリモドキ科	ヒメカマキリモドキ	
723			ミズカゲロウ科	ミズカゲロウ	
724			クサカゲロウ科	キントキクサカゲロウ	
725				ニッポンクサカゲロウ	
726 727			 ヒメカゲロウ科	ホシクサカゲロウ	
728			ころカケロワ料	ヤマトヒメカゲロウ アシマダラヒメカゲロウ	
729				ホソバヒメカゲロウ	
730				チャバネヒメカゲロウ	
731				マルバネヒメカゲロウ	
732				ニセヒメカゲロウ	
-				ヒメカゲロウ科	
733			ツノトンボ科	ツノトンボ	
734 735			ウスバカゲロウ科	オオツノトンボ	
736			19XXXXX 1944	<u>ホシウスバカゲロウ</u> ウスバカゲロウ	
737		シリアゲムシ目(長翅目)	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ	
738				プライヤシリアゲ	
739			シリアゲモドキ科	スカシシリアゲモドキ	
740		トビケラ目(毛翅目)	カワトビケラ科	ニホンタニガワトビケラ	
			45 1 12 6 5 TV	カワトビケラ科	
741			イワトビケラ科	オンダケミヤマイワトビケラ イワトビケラ科	
742			クダトビケラ科	クダトピケラ科	
743			<u>- ア・ロックロ</u> ヒゲナガカワトビケラ科		
744				チャバネヒゲナガカワトビケラ	
745			ヤマトビケラ科	イノプスヤマトビケラ	
-				ヤマトビケラ科	
746			ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ科	
747 748			ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ ニッポンナガレトビケラ	
748				ニッポンナガレトビケラ トランスクィラナガレトビケラ	
750				ヤマナカナガレトビケラ	
				Rhyacophi Ia属	
-				ナガレトピケラ科	
751			コエグリトビケラ科	ヒラタコエグリトビケラ	
752			カクスイトビケラ科	クワヤマカクスイトビケラ	
753				マルツツトビケラ Micrasema属	
$\vdash \exists$				MICrasema属 カクスイトビケラ科	
754			 アシエダトビケラ科	コバントビケラ	
				アシエダトビケラ科	
755			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	
			·	Goera属	
				ニンギョウトビケラ科	
756			カクツツトビケラ科	フトヒゲカクツツトビケラ	
757				<u>ツダカクツツトビケラ</u> カクツツトビケラ科	
758			ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ	
759				ゴマダラヒゲナガトビケラ	
760				ヤマモトセンカイトビケラ	
-				ヒゲナガトビケラ科	
761			エグリトビケラ科	ニセウスバキトビケラ	
762				ウスバキトビケラ	
763			ホソバトビケラ科	エグリトビケラ科 ホソバトビケラ	
/63			小シハドログプ科 	ホソバトピケラ科	
764			フトヒゲトビケラ科	コツメトビケラ	
765				フタスジキソトビケラ	
766			トピケラ科	トビケラ科	
767			マルバネトビケラ科	マルバネトビケラ	
		1		マルバネトビケラ科	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 12/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
768	昆虫綱	トピケラ目(毛翅目)	ケトビケラ科	グマガトビケラ	H15
769				ケトビケラ科  クロツツトビケラ	
- 103				Uenoa属	
770			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	
771 772				<u>シロズシマトビケラ</u> イカリシマトビケラ	
773				ウルマーシマトビケラ	
774				セリーシマトビケラ	
775				ナカハラシマトビケラ Hydropovobo屋	
776				Hydropsyche属  オオシマトビケラ	
-				シマトピケラ科	
777		チョウ目(鱗翅目)	コウモリガ科	トビケラ目  キマダラコウモリ	
778		プログロ(解処ロ)	ムモンハモグリガ科	ムモンハモグリガ科	
779			ツヤコガ科	アジサイツヤコガ	
780			マガリガ科	ツヤコガ科  キオビクロヒゲナガ	
781			(73 5 7314	マガリガ亜科	
782			ホソガ科	ホシボシホソガ	
783				ホソガ亜科 ホソガ科	
784			 ハモグリガ科	ハモグリガ亜科	
-				ハモグリガ科	
785			コハモグリガ科	コハモグリガ科  カザリニセハマキ	
786 787			ニセハマキガ科 ヒロズコガ科	クロモンチビヒロズコガ	
788				マエモンヒロズコガ	
789 790				ウスモンツマオレガ アトモンヒロズコガ	
790				コクガ	
792				クロクモヒロズコガ	
793 794			ツツミノガ科  カザリバガ科	ツツミノガ科	
794				ホソカザリバ Cosmopterix属	
795				ベニモンマイコモドキ	
796			クサモグリガ科	カザリバガ科 クサモグリガ科	
797			キバガ科	ラッモンリガイ   ミドリチビキバガ	
798				ハイイロチビキバガ	
799				ハギノシロオビキバガ	
800 801				イモキバガ   ナラクロオビキバガ	
-				キバガ科	
802			ヒゲナガキバガ科	ゴマフシロキバガ	
803 804			  マルハキバガ科	ムモンヒロバキバガ コクサギヒラタマルハキバガ	
805			(707(17(75)-1	クロカギヒラタマルハキバガ	
806				ヨモギヒラタマルハキバガ	
807 808				ミツボシキバガ ホソオビキマルハキバガ	
809				モトグロヒラタマルハキバガ	
810				カタキマルハキバガ	
811 812				スジモンキマルハキバガ カレハチビマルハキバガ	
813				オビマルハキバガ亜科	
814				ヒラタマルハキバガ亜科	
815			  ニセマイコガ科	マルハキバガ科 カタアカマイコガ	$\vdash$
816			ニジュウシトリバガ科	ヤマトニジュウシトリバ	
817			シンクイガ科	モモノヒメシンクイ	
818 819			アトヒゲコガ科 メムシガ科	アトヒゲコガ科  オオキメムシガ	$\vdash$
-				メムシガ科	
820			ヒカリバコガ科	ヒカリバコガ科	
821 822			スガ科 	<u>ヒロバコナガ</u> ツヤギンバネスガ	
823				コナガ	
824				ツマグロハイスガ	
825				<u>ホソトガリクチブサガ</u> スガ亜科	$\vdash$
826				スガ科	
827			ホソハマキモドキガ科	ホソハマキモドキガ科	
828 829			スカシバガ科 ボクトウガ科	モモブトスカシバ   ゴマフボクトウ	
830			ハマキガ科	ハンノキミダレモンハマキ	
831				ギンヨスジハマキ	
832 833				ナラコハマキ チャモンシロハマキ	$\vdash$
833				チャノコカクモンハマキ	
835				リンゴコカクモンハマキ	
836				ネホシウスツマヒメハマキ	
837				グミウスツマヒメハマキ Apotomis属	
838				アトキハマキ	
839				ミダレカクモンハマキ	
840 841				オオアトキハマキ   マツアトキハマキ	
842				ナカジロヒメハマキ	
843				イグサヒメハマキ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 13/37)

846 出典 チョウ目 (	No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
346	844	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	フタモントガリバヒメハマキ	1110
346		DO 24/43	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
547						
848						
848						
39次とメバマキ   1952   1974   1974   1952   1974   1974   1974   1974   1975   1974   1975   1974   1975   1974   1975   1974   1975   1						
3811   3812   3814   3814   3815   3817					ヨツメヒメハマキ	
1852   日本の						
853						
884						
1						
1850   1850						
Eucossage					トレモノシロヒメハマナ	
887 888 889 880 880 881 882 883 886 887 887 888 887 888 887 887	000					
888	- 057					
おとはメンタイ						
880   881   マットビヒメハマキ   クロモンヒメハマキ   クロモンヒメハマキ   クロモンヒメハマキ   クロモンヒメハマキ   クロモンヒメハマキ   アットマナ   アットマキ   マットマナ   マットマ   マットマナ   マットマ						
881						
862					マットヒヒメハマキ	
883					グミオオウスツマヒメハマキ	
Eカヴヒメハマキ   1985   1986   1						
885 886 887						
886 887 マグラガ科 カンパマキガ科 カンパマキガ科 カンパマキガ科 カンパマキガ						
887						
868 869 870 871 871 872 871 872 873 874 874 875 876 877 877 878 876 877 877 878 877 878 887 877 87						
889   コー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィ						
889	868				スイカズラホソバヒメハマキ	
870					ニセアズキサヤヒメハマキ	
871 872 873 874 875 876 877 877 878 879 880 881 881 881 881 882 883 884 885 886 887 887 888 889 889 890 891 891 892 893 894 895 896 897 897 997 990 990 990 990 990 990 9						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
### 1873 ### 1874 ### 1875 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1876 ### 1877 ### 1878 ### 1878 ### 1878 ### 1879 #### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879 ### 1879						
875 876 877 878 877 878 879 880 881 881 882 883 884 884 885 886 887 886 887 888 889 889 891 891 891 892 893 894 895 897 897 897 898 899 990 900 901 901 902 903 904 905 907 907 908 909 909 909 909 901 901 902 903 904 905 907 907 908 909 909 909 909 909 900 901 901						
### 10						
### 1975   197	875					
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
お						
889   881   3						
880   日本日本					コエダオビホソハマキ	
881   882   883   884   885   886   886   887   888   888   889   890   890   890   890   890   80						
882   883   884   885   886   887   888   889   890   89						
883						
884   885   886   887   888   888   889   889   889   881						
885   886   887   888   888   888   888   888   889   908   909   900   907   906   907   908   908   909   909   909   909   909   909   909   900   901   90						
886   887   890   891						
887   888   889   880   880   880   880   881   882   882   883   882   883   885   885   885   885   885   886   886   886   887   888   888   886   887   888   888   888   886   887   888   888   888   889   899   899   899   899   899   899   899   899   899   899   899   899   89						
888   889   890   891						
889   890   891						
1						
B91						-
Nマキガ科						
892   おソハマキガ科   ホソハマキガ科   カラサキイラガ   カデバイラガ   カデバイラガ   カデバイラガ   カアイイラガ   カアイイラガ   カロマダライラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロスジイラガ   カロンタアオイラガ   カロンタアオイラガ   カロンタアオイラガ   カスプロマグラ   カスプロマグラ   カスパツバメガ   リンゴハマキクロバ   カロシタホタルガ   カロシタホタルガ   カロシタホタルガ   カロシタホタルガ   カロシタホタルガ   カロシタホタルガ   カロシタボタルガ   カロシタボタルガ   カロシャボタルガ   カロシャボタルガ   カロシャボネセセリ   カオチャバネセセリ   カオチャバネセセリ   カオチャバネセセリ   カオチャバネセセリ   カチャバネセセリ   カリシジミ   カラギンシジミ   カラギンシジミ   カラギンシジミ   カラギンシジミ   カラオミシジミ   カラオミシジミ   カラフェシジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンジミ   カラデンシジミ   カラデンシジミ   カラデンシジミ   カラデンシジミ   カラフェンジミ   カージ・フェー・フェー・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン	091					
893   894   895   7   7   7   7   7   7   7   7   7	- 000			ナンハフナギシ		
894   895   896   897   898   897   898   897   898   899   900   901   902   903   7カイラガ   7カイラカ						
895   896   897   898   899   900   901   901   902   903   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイチョウ   7カイラガチョウ   7カイラガチョウ   7カイチョウ   7カイラガ・アングイカーオーカーオーカーオーカーオーカーオーカーオーカーオーカーオーカーオーカーオ				1 7 1/4		
896   897   898   7-20   7-3   7						1
897   898   899   1					フロイグフ1フル	-
898   899   900   900   900   901   902   903   904   905   906   907   908   909   90						<b> </b>
899   900   901   77オイラガ   79シジミ   901   902   903   77カイラガ   904   905   906   907   907   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラガ   79カイラカバ   79の8   909   909   910   910   10   10   10						
900   901   902   903   7   7   7   7   9   9   9   9   9   9						<b> </b>
901   902   903   903   970   757   75						
902   903   7カイラガ   7カイラガ   7カイラガ   7カイラガ   7ラガ科   904   905   905   907   907   908   907   908   909   910   10   10   10   10   10						<b>—</b>
903						
イラガ科						<b>.</b>
904   905   906   907   908   907   908   909   90	903					L
905   906   907   リンゴハマキケロパ   907   907   908   909   909   910   セセリチョウ科   ダイミョウセセリ   タイチモンジセセリ   911   912   913   914   915   916   917   917   918   919   919   920   921   921   921   921   921   921   921   921   921   921   921   921   921   922   921   922   921   922   925   927   908   900   927   908   900   927   908   900   927   900   927   927   928   927   927   928   927   927   928   927   927   928   927   927   928   927   927   928   927   927   928   927   927   928   927	-			10-10-1		
906   907   908   909   909   セセリチョウ科				マダラガ科		
907   908   909   セセリチョウ科						
908     909       909     かソパセセリ       910     ヒメキマグラセセリ       911     イチモンジセセリ       912     オオディパネセセリ       913     コチャパネセセリ       914     コチャパネセセリ       915     マダラチョウ科       916     アングチョウ       917     シジミチョウ科       918     リリンジミ       919     ウラギンシジミ       920     ウラナミシジミ       921     ペニシジミ						ļ
1009   1010						
909	908			セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	
910     911       911     イチモンジセセリ       912     チャパネセセリ       913     オオチャパネセセリ       914     コチャパネセセリ       915     916       916     テングチョウ科       917     シジミチョウ科       918     ウラギンシジミ       919     920       920     ウラナミシジミ       921     ベニシジミ	909					
911     912       913     チャパネセセリ       914     フタラチョウ科       915     フタラチョウ科       917     アサギマダラ       918     フリア・アクチョウ       919     シジミチョウ科       919     ウラギンシジミ       920     ウラナミシジミ       921     ペニシジミ	910					
912       913       914       915       916       917       917       918       919       920       921						
913   13   14   17   17   17   17   17   17   17						
914						
915     マダラチョウ科     アサギマダラ       916     テングチョウ科     テングチョウ       917     シジミチョウ科     ルリシジミ       918     ウラギンシジミ       919     ウラインシジミ       920     ウラナミシジミ       921     ペニシジミ						
916     デングチョウ科     デングチョウ       917     シジミチョウ科     ルリシジミ       918     ウラギンシジミ       919     ツバメシジミ       920     ウラナミシジミ       921     ペニシジミ				マダラチョウ科		
917 918 919 920 921						
918 919 920 921 921						
919 920 921 921						
920 921 ウラナミシジミ ベニシジミ						l
921 ペニシジミ						1
						l
						<b>l</b>
923 924 7マトシジミ トラフシジミ						<del>                                     </del>

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 14/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
925	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	シルビアシジミ本土亜種	
926			タテハチョウ科	コムラサキ	
927				サカハチチョウ	
928				ミドリヒョウモン	
929				ツマグロヒョウモン	
930 931				ウラギンスジヒョウモン オオウラギンスジヒョウモン	
932				ヒメアカタテハ	
933				メスグロヒョウモン	
934				ルリタテハ本土亜種	
935				イチモンジチョウ	
936				アサマイチモンジ	
937				クモガタヒョウモン	
938				ミスジチョウ	
939 940				コミスジ	
940				<u>ヒオドシチョウ</u> キタテハ	
942				アカタテハ	
943			アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	
944				カラスアゲハ	
945				モンキアゲハ	
946				ミヤマカラスアゲハ	
947				キアゲハ	
948				オナガアゲハ	
949 950				ナガサキアゲハ クロアゲハ	
950				ナミアゲハ	
952			シロチョウ科	モンキチョウ	
953				キチョウ	
954				スジグロシロチョウ	
955				モンシロチョウ	
956			ジャノメチョウ科	クロヒカゲ	-
957 958				クロコノマチョウ ジャノメチョウ	-
959				コジャノメ	
960				ヒメジャノメ	
961				サトキマダラヒカゲ	
962				ヤマキマダラヒカゲ	
-				Neope属	
963			1 11 10 12 14	ヒメウラナミジャノメ	
964			トリバガ科	ヨモギトリバ	
965 966				ブドウトリバ フジマメトリバ	
967				ホソトリバガ亜科	
-				トリバガ科	
968			ツトガ科	ウスムラサキノメイガ	
969				クロウスムラサキノメイガ	
				Agrotera属	
970				ホソバソトグロキノメイガ	
971 972				シロヒトモンノメイガ ヒメトガリノメイガ	
973				ツトガ	
974					
975				シロモン / メイガ モンウスグロ / メイガ	
-				Bradina属	
976				ヒメキスジツトガ	
977				サツマツトガ	
978 979				ヘリアカキンノメイガ オオシロモンノメイガ	
980				ニカメイガモドキ	
981				ウスクロスジットガ	
982				キベリハネボソノメイガ	
983				キホソノメイガ	
984				カギバノメイガ	
985				ウスムラサキスジノメイガ	
986				コブノメイガ	
987 988				マツノゴマダラノメイガ クロスカシトガリノメイガ	<b>-</b>
989				シロスジットガ	
990				トガリキノメイガ	
991				シロアヤヒメノメイガ	
992				シロテンノメイガ	
993				マダラミズメイガ	
994				ヒメマダラミズメイガ	
995				スジボソヤマメイガ	-
996 997				アヤナミノメイガ ナノメイガ	
998				ヘリジロカラスノメイガ	
999				ミヤマエグリットガ	
1000				クワノメイガ	
1001				クロヘリキノメイガ	
1002				トピヘリキノメイガ	
1003				クロズノメイガ	
				ワタノメイガ	
1004				ハイマダラノメイガ	
1004 1005				ウスオビクロノメイガ	
1004 1005 1006					
1004 1005 1006 1007				モンキクロノメイガ	
1004 1005 1006 1007 1008				モンキクロノメイガ マエキノメイガ	
1004 1005 1006 1007				モンキクロノメイガ マエキノメイガ ミツテンノメイガ	
1004 1005 1006 1007 1008 1009				モンキクロノメイガ マエキノメイガ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 15/37)

No.	綱名	日名	科名	和名	流入河川
1013	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロテンキノメイガ	H15
1014				サツマキノメイガ	
1015 1016				<u>クロフキノメイガ</u> ミドロミズメイガ	
1017				ホシオピホソノメイガ	
1018				ワモンノメイガ	
1019				アトモンミズメイガ	
1020 1021				キバラノメイガ クロミスジノメイガ	
1021				シロアシクロノメイガ	
1023				アワノメイガ	
-				Ostrinia属	
1024 1025				ヨスジノメイガ ヘリジロキンノメイガ	
1025				マエウスモンキノメイガ	
1027				ヒメシロノメイガ	
1028				マエアカスカシノメイガ	
1029 1030				<u>ヒロバウスグロノメイガ</u> シバツトガ	
1031				ゼニガサミズメイガ	
1032				シロナミミズメイガ	
1033				クロマダラキノメイガ	
1034 1035				ク <u>ビシロノメイガ</u> コガタシロモンノメイガ	
1035				クロスジキンノメイガ	
1037				シロハラノメイガ	
1038				コヨツメノメイガ	
1039 1040				ウスイロキンノメイガ ウコンノメイガ	
1040				<u>フコンファイカ</u> キオビミズメイガ	
1042				ナカキトガリノメイガ	
1043				キムジノメイガ	
1044 1045				ミカエリソウノメイガ ホソスジツトガ	
1045				モンスカシキノメイガ	
1047				クロオビノメイガ	
1048				トモンノメイガ	
1049 1050				アトグロキノメイガ ナカキノメイガ	
1051				コガタシロオオメイガ	
1052				シロオビノメイガ	
1053				モンシロクロノメイガ	
1054 1055				クロスジノメイガ オオモンシロルリノメイガ	
1055				モンシロルリノメイガ	
1057				オオメイガ亜科	
1058				ノメイガ亜科	
1059 1060				ヤマメイガ亜科 ツトガ亜科	
1061			メイガ科	チピマエジロホソマダラメイガ	
1062			,	ウスアカムラサキマダラメイガ	
1063				マエグロツヅリガ	
1064 1065				ナシモンクロマダラメイガ ウスアカマダラメイガ	
1066				マツノマダラメイガ	
1067				オオマエジロホソメイガ	
1068				ウスオビトガリメイガ	
1069 1070				キモントガリメイガ キベリトガリメイガ	
1070				ウスベニトガリメイガ	
1072				カバイロトガリメイガ	
1073				チャマダラメイガ	
1074 1075				フタスジツヅリガ シロマダラメイガ	
1075				アカシマメイガ	
1077				マツムラマダラメイガ	
1078				ウスモンマルバシマメイガ	
1079 1080				トビイロシマメイガ キイフトメイガ	
1080				ナカムラサキフトメイガ	
1082				エグリミズメイガ	
1083				タンザワシダメイガ	
1084 1085				ミカドマダラメイガ アカマダラメイガ	
1085				ナカトピフトメイガ	
1087				ネアオフトメイガ	
1088				フタスジシマメイガ	
1089 1090				キンボシシマメイガ トビスジマダラメイガ	
1090				クロマダラメイガ	
1092				ギンモンシマメイガ	
1093				オオフトメイガ	
1094				<u>ムラサキシマメイガ</u> ヒメアカマダラメイガ	
1095 1096				トピイロフタスジシマメイガ	
1097				ネグロフトメイガ	
1098				マエモンシマメイガ	
1099				ナカアオフトメイガ	
1100 1101				キイロツヅリガ ミドリフトメイガ	-
				マダラズメイガ	
1102					

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 16/37

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
1104	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	シマメイガ亜科	1113
1105				ツヅリガ亜科	
1106				マダラメイガ亜科 メイガ科	<del> </del>
1107			マドガ科	チビマダラマドガ	1
1108			(1731)	ヒメマダラマドガ	
1109				マダラマドガ	
1110 1111	-			<u>アカジママドガ</u> マドガ	-
1112			 カギバガ科	マエキカギバ	<del> </del>
1113				ウスイロカギバ	
1114				オビカギバ	
1115				<u>アカウラカギバ</u> スカシカギバ	-
1116 1117				モンウスギヌカギバ	-
1118				ウスギヌカギバ	1
1119				アシベニカギバ	
1120				クロスジカギバ	
1121 1122				ヒメハイイロカギバ ウコンカギバ	-
1123			トガリバガ科	オオアヤトガリバ	
1124				オオバトガリバ	
1125				ホソトガリバ	
1126			フゲハエビナガ科	モントガリバ	-
1127 1128			アゲハモドキガ科 フタオガ科	キンモンガ  クロオビシロフタオ	<del>                                     </del>
1129			シャクガ科	チビトビスジエダシャク	
1130				アシブトチズモンアオシャク	
1131				ナカウスエダシャク	1
1132 1133				ウスイロオオエダシャク マルバトビスジエダシャク	<del>                                     </del>
1134				ゴマダラシロエダシャク	
1135				クロクモエダシャク	
1136				ヒョウモンエダシャク	
1137 1138				ヨモギエダシャク ムスジシロナミシャク	
1139				オオヨスジアカエダシャク	
1140				ホシスジトガリナミシャク	
1141				ヤマトエダシャク	
1142 1143	-			<u>ホソバハラアカアオシャク</u> ウスハラアカアオシャク	
1143				コウスアオシャク	-
-				Chlorissa属	
1145				クロスジアオナミシャク	
1146				ヒメシロフアオシャク	
1147 1148				ルリモンエダシャク ヘリジロヨツメアオシャク	-
1149				ギンスジアオシャク	
1150				クロモンアオシャク	
1151				ヨツテンアオシャク	
1152				ヨツモンマエジロアオシャク	-
1153 1154				<u>コヨツメアオシャク</u> ウコンエダシャク	
1155				ツマキエダシャク	
1156				マツオオエダシャク	
1157				ウスアオシャク	
1158 1159				<u>ナミスジコアオシャク</u> オオハガタナミシャク	-
1160				ウストビスジエダシャク	
1161				フトフタオビエダシャク	
1162				オオトビスジエダシャク	
1163 1164				ウスジロエダシャク ツマキリエダシャク	-
1164				モミジツマキリエダシャク	<del>                                     </del>
1166				サラサエダシャク	
1167				アミメオオエダシャク	
1168				ヘリスジナミシャク	
1169 1170				ウスオビヒメエダシャク ハコベナミシャク	1
1170				クロテンカバナミシャク	<del>                                     </del>
1172				ハラキカバナミシャク	
				Eupithecia属	$\perp$
1173				ミヤマアミメナミシャク	<del>                                     </del>
1174 1175				<u>ハガタナミシャク</u> セスジナミシャク	<del>                                     </del>
1176				エグリエダシャク	
1177				キマダラオオナミシャク	
1178				キバラエダシャク	
1179 1180				<u>カギシロスジアオシャク</u> フタテンオエダシャク	<del>                                     </del>
1181				ウスオエダシャク	
1182				コシロスジアオシャク	
1183				ナミガタエダシャク	
1184				ウラベニエダシャク	1
1185 1186				コウスグモナミシャク ウスクモナミシャク	<del>                                     </del>
1186	1			サザナミオビエダシャク	<del>                                     </del>
1188	]			シロシタトビイロナミシャク	
1189				ウラキトガリエダシャク	
1190				ナカシロオビエダシャク	1
1191				オオバナミガタエダシャク	<del>                                     </del>
1192			I .	ウスバミスジエダシャク	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 17/37)

1950   2世報	No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
1186	1102	見由網	   手ョウ日 / 謎翅日 \	シャクガ科	リルミフジエダシャク	піэ
1986		比五州	) コンロ ( 新20日 )	2 7 7 7347		+
198						
1997						
1980						+
1188	1197					+
1999	4400					-
1300						
1901						
3002						
1208						
1294						
1205						
1208	1204					
1207	1205				バラシロエダシャク	
1208	1206				トビカギバエダシャク	
1208	1207				ニッコウエダシャク	
1290	1208				ウスクモエダシャク	
20日本書と大学や9						
1211						
1212						
2131						1 1
1214						+
1215						+
1216					- ハー・・ ロー・ ファ フ - フンエンチ ビエグシャク	+
1217						+
1218						1
1219						1
1220						+
1221						+
1222  コース   コー						
1223						
1224						
1225						
1226						
1227						
1228	1226				クロフヒメエダシャク	
1229	1227				コカバスジナミシャク	
1230	1228				ウスグロナミエダシャク	
1230	1229				トビネオオエダシャク	
1231						
1232	1231				ナカキエダシャク	
1233						
1234						
1235						1 1
1236						1
1237						-
Protoboarmia						+
1238	1237					+
1239	1220					1
1240   1241   1241   1242   1244   1242   1243   1244   1243   1244   1245   1245   1246   1247   1248   1249   1249   1250   1250   1251   1252   1253   1254   1256   1256   1259   1258   1259   1250   1261   1262   1262   1262   1263   1264   1265   1265   1266   1267   1266   1267   1266   1267   1266   1266   1267   1268   1268   1268   1268   1266   1267   1268   1268   1266   1267   1268						
1241						-
1242						
1243						
1244   1245   1246   1247   1248   1247   1248   1248   1247   1248   1249   1250   1251   1252   1253   1254   1255   1256   1257   1258   1259   1260   1261   1262   1263   1264   1265   1266   1267   1268   1266   1267   1268   1268   1266   1267   1268   1266   1267   1268   1268   1268   1268   1268   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1267   1268   1268   1267   1268   1268   1267   1268   1268   1267   1268   1268   1268   1267   1268   1268   1267   1268   1268   1268   1267   1268   1268   1268   1267   1268   1268   1268   1267   1268						4
1245						
1246						
1247						4
1248						
1249						1
T250						
1251						
1251	1250				モントビヒメシャク	
1252	1251					
1253	1252					
1254					ウスサカハチヒメシャク	
1255						1
Scopula属						1
1256	-					1
1257	1256					1 1
1258						1 -
1259						1
1260						+
1261						+
1262						+
1263						1
1264						
1265       1266       1267       -       1268						
1266   ミヤマツバメエダシャク   1267   ウスベニスジヒメシャク   Timandra属   1268   ホソバナミシャク						1
1267   ウスペニスジヒメシャク   Timandra属   ホソパナミシャク						
- 1268 Timandra属 ホソパナミシャク						
1268 ホソバナミシャク	1267					$\perp$
	-					
1269 ヒロオビオオエダシャク						
	1269				ヒロオビオオエダシャク	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 18/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
1270	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	シロスジオオエダシャク	H15
1271		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		ツマグロナミシャク	
1272				フトジマナミシャク	
1273				フタクロテンナミシャク	
1274				モンシロツマキリエダシャク	
1275				ミスジツマキリエダシャク	
1276				トガリエダシャク	
1277				Zethenia属	
1278				ツマキリウスエダシャク	
1279	-			ヒメシャク亜科 シャクガ科	
1280			イカリモンガ科	イカリモンガ	
1281			カイコガ科	クワコ	
1282			オビガ科	オビガ	
1283			カレハガ科	マツカレハ	
1284				クヌギカレハ	
1285			ヤママユガ科	オナガミズアオ	
-				Actias属	
1286				ヤママユ	
1287 1288				クスサン ヒメヤママユ	
1289			スズメガ科	プドウスズメ	
1209				クルマスズメ	
1291				ホシヒメホウジャク	
1292				ウンモンスズメ	
1293				トビイロスズメ	
1294				ベニスズメ	
1295				サザナミスズメ	
1296				ヒメクロホウジャク	
1297 1298				ホシホウジャク	
1298				<u>モモスズメ</u> クチバスズメ	
1300				エゾシモフリスズメ	
1301				エゾスズメ	
1302				ピロードスズメ	
1303				ミスジビロードスズメ	
1304				ウチスズメ	
1305			> + + - ±51	コスズメ	
1306 1307			シャチホコガ科	ツマアカシャチホコ ホソバネグロシャチホコ	
1308				コトビモンシャチホコ	
1309				クロテンシャチホコ	
1310				ホソバシャチホコ	
1311				コフタオビシャチホコ	
1312				クワゴモドキシャチホコ	
1313				ギンシャチホコ	
1314 1315				プライヤエグリシャチホコ クロシタシャチホコ	
1315				ウスキシャチホコ	
1317				ヘリスジシャチホコ	
1318				ヒメシャチホコ	
1319				ナカスジシャチホコ	
1320				ネスジシャチホコ	
1321				ナカキシャチホコ	
1322				ルリモンシャチホコ	
1323 1324				<u>ツマキシャチホコ</u> モンクロシャチホコ	
1325				スズキシャチホコ	
1326				オオエグリシャチホコ	
1327				セダカシャチホコ	
1328				ウスイロギンモンシャチホコ	
1329				シャチホコガ	
1330				オオアオシャチホコ	
1331 1332				プライヤアオシャチホコ	
1332				<u>キシャチホコ</u> モンクロギンシャチホコ	
1334				ギンボシシャチホコ	
-	1			シャチホコガ科	
1335			ヒトリガ科	ホシオビコケガ	
1336				ハガタベニコケガ	
1337				スジベニコケガ	
1338				シロヒトリ	
1339				アカスジシロコケガ	
1340 1341				キシタホソバ ムジホソバ	
1341				ヤネホソバ	
1343				キマエホソバ	
1344				ニセキマエホソバ	
1345				クロテンハイイロコケガ	
1346				キマエクロホソバ	
1347				キベリネズミホソバ	
1348				ヨツボシホソバ	
1349				ヒメホシキコケガ	<b> </b>
1350				<u>ハガタキコケガ</u> ウスバフタホシコケガ	
	I.			スカシコケガ	
1351 1352	1				
1352					
				スジモンヒトリ キハラゴマダラヒトリ	
1352 1353				スジモンヒトリ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 19/37

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
1357	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	スカシドクガ	H15
1358				スギドクガ	
1359				アカヒゲドクガ	
1360				リンゴドクガ	
1361 1362				マメドクガ キドクガ	
1363				チャドクガ	
1364				ゴマフリドクガ	
1365				ドクガ	
1366				ブドウドクガ	
1367				スゲオオドクガ	
1368				マイマイガ	
1369 1370				<u>カシワマイマイ</u> ミノオマイマイ	
1371				シロオビドクガ	
1372				ヒメシロモンドクガ	
1373				ウチジロマイマイ	
1374			1 1051	ニワトコドクガ	
1375			ヤガ科	エゾマダラウワバ	
1376 1377				フジロアツバ シラナミクロアツバ	
1378				アケビコノハ	
1379				タマナヤガ	
1380				カプラヤガ	
1381				オオウスヅマカラスヨトウ	
1382				カラスヨトウ	
1383				オオシマカラスヨトウ	-
1384 1385				シマカラスヨトウ シロテンツマキリアツバ	
1385				サビイロコヤガ	+
1387				クロテンカバアツバ	1
1388				カバマダラヨトウ	
1389				ヒメキイロヨトウ	
1390				アカキリバ	
1391 1392				ヤマトコヤガ	
1393				<u>ハガタウスキヨトウ</u> フクラスズメ	
1394				ギンボシリンガ	
1395				シロテンウスグロヨトウ	
1396				テンウスイロヨトウ	
1397				シロモンオピヨトウ	
1398				ヒメサビスジョトウ	
1200				Athetis属	
1399 1400				クロハナコヤガ モクメヨトウ	
1401				ハジマヨトウ	
1402				コウンモンクチバ	
1403				ムラクモアツバ	
1404				ホシムラサキアツバ	
1405				ウスヅマアツバ	-
1406 1407				アイモンアツバ ヤマガタアツバ	
-				Bomolocha属	
1408				チャイロアツバ	
1409				ウスアオモンコヤガ	
1410				ヒメツマキリヨトウ	
1411 1412				ハイイロコヤガ	
1413				マメキシタバ アミメキシタバ	-
1414				シロシタバ	
1415				キシタバ	
1416				コガタキシタバ	
1417				カクモンキシタバ	
1418				ハナオイアツバ	+
1419 1420				キンスジアツバ フタスジシマコヤガ	+
1421				シマフコヤガ	+
1422				ツマベニシマコヤガ	1
1423				ベニシマコヤガ	
-				Corgatha属	
1424				ミツモンキンウワバ	
1425				エゾギクキンウワバ	1
1426 1427				リョクモンオオキンウワバ ウスアカヤガ	1
1427			I .	オオバコヤガ	1
1429					
1430					
1431				コウスチャヤガ アカフヤガ	
				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ	
1432				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオビアツバ	
1433				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオビアツバ クロモクメヨトウ	
1433 1434				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオピアツバ クロモクメヨトウ シロズアツバ	
1433 1434 1435				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオピアツバ クロモクメヨトウ シロズアツバ オオシラホシアツバ	
1433 1434 1435 1436				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオピアツバ クロモクメヨトウ シロズアツバ オオシラホシアツバ シンジュキノカワガ	
1433 1434 1435				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオピアツバ クロモクメヨトウ シロズアツバ オオシラホシアツバ シンジュキノカワガ キスジコヤガ	
1433 1434 1435 1436 1437				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオピアツバ クロモクメヨトウ シロズアツバ オオシラホシアツバ シンジュキノカワガ	
1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440				コウスチャヤガ アカフヤガ レラサキアツバ キイロソトオピアツバ クロモクメヨトウ シロズアツバ オオシラホシアツバ シンジュキノカワガ キスジコヤガ シロモンコヤガ モンムラサキクチバ オオトモエ	
1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアッパ キイロソトオピアッパ クロモクメヨトウ シロズアッパ オオシラホシアツパ シンジュキノカワガ キスジコヤガ シロモンコヤガ モンムラサキクチパ オオトモエ マダラウスムラサキクチパ	
1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441 1442				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアツバ キイロソトオピアツバ クロモクメヨトウ シロズアツバ オオシラホシアツバ シンジュキノカワガ キスジコヤガ シロモンコヤガ モンムラサキクチバ オオトモエ マダラウスムラサキクチバ アカテンクチバ	
1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441				コウスチャヤガ アカフヤガ ムラサキアッパ キイロソトオピアッパ クロモクメヨトウ シロズアッパ オオシラホシアツパ シンジュキノカワガ キスジコヤガ シロモンコヤガ モンムラサキクチパ オオトモエ マダラウスムラサキクチパ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 20/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
1446	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ホソバミドリヨトウ	H15
1447				フサヤガ	
1448 1449				<u>ウスグロヤガ</u> クロオビリンガ	
1449				ゴボウトガリヨトウ	
1451				フタキボシアツバ	
1452	1			Hadennia属	1
1453				フタテンヒメヨトウ	
1454				ナカジロアツバ	
1455				タバコガ	
1456				アトヘリヒトホシアツバ	
1457 1458	-			ウスキミスジアツバ フシキアツバ	
1459				クロスジアツバ	
1460				シラナミアツバ	
1461				トビスジアツバ	
-				Herminia属	
1462				クロクモヤガ	
1463				オオシラナミアツバ	
1464				ベニエグリコヤガ	
1465				ソトウスグロアツバ	
1466 1467				<u>ヒロオビウスグロアツバ</u> ウスズミケンモン	
1467	-			クロキシタアツバ	
1469				ソトムラサキアツバ	1
1409				トピモンアツバ	
1471				ウスチャモンアツバ	
1472				ムラサキミツボシアツバ	
1473				タイワンキシタアツバ	
				Hypena属	ļ
1474 1475				モンキコヤガ オオシロテンクチバ	
1475				オオシロテンクチバ  シロホシクロアツバ	1
1470				Idia属	
1477				マエキリンガ	
1478				キモンコヤガ	
1479				トビフタスジアツバ	
1480				チビアツバ	
1481				クビグロクチバ	
1482 1483				ヒメクビグロクチバ	
1484				<u>ヒメオビコヤガ</u> ヒメネジロコヤガ	
1485				シャクドウクチバ	
1486				エチゴチビコブガ	
-				Meganola属	
1487				ホシミミヨトウ	
1488				シロスジトモエ	
1489				フタホシコヤガ	
1490 1491				Micreremites属 ウスオビチビアツバ	
1492				ニセウンモンクチバ	
1493				ウンモンクチバ	
-				Mocis属	
1494				ゴマケンモン	
1495				アオバセダカヨトウ	
1496				フサキバアツバ	
1497				マダラキヨトウ	
1498 1499				<u>クサシロキヨトウ</u> ミヤマフタオビキヨトウ	
1500				クロシタキヨトウ	
1501				フタテンキヨトウ	
1502				マメチャイロキヨトウ	
1503				スジシロキヨトウ	
1504	-			フタオビキヨトウ	
1505	-			ベニトガリアツバ	<u> </u>
1506 1507				フタオビコヤガ フタテンチビアツバ	<del>                                     </del>
1507				ウチジロコヤガ	1
1509				マエモンコヤガ	
1510				ヒゲブトクロアツバ	
1511				ナミコブガ	
-				Nola属	
1512				ミヤマクロスジキノカワガ	ļ
1513				クロテンキノカワガ	ļ
1514 1515				マエジロヤガ ウスモモイロアツバ	<del>                                     </del>
1516				ツマムラサキアツバ	
1310	1			りくムフリイアラバ Olulis属	
1517	1			アカエグリバ	
1518				ノコメセダカヨトウ	
1519				クロミミキリガ	
1520				モンシロクルマコヤガ	
1521				アトキスジクルマコヤガ	ļ
1522				ヤジリモンコヤガ	<del>                                     </del>
1523 1524				ツマジロツマキリアツバ	<b> </b>
1524 1525				<u>ムラサキツマキリアツバ</u> リンゴツマキリアツバ	
1525				ウンモンツマキリアツバ	<del>                                     </del>
1020				シロモンツマキリアツバ	
1527					
1527 1528				シロテンムラサキアツバ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 21/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
1531	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	チャバネキボシアツバ	1113
-				Paragabara属	
1532				ウスグロセニジモンアツバ	
1533				ニセタマナヤガ テンモンシマコヤガ	
1534 1535				ウスベニコヤガ	
1536				モンキアカガネヨトウ	
1537				ヨモギコヤガ	
1538				マエテンヨトウ	
1539				イネキンウワバ	
1540				マダラエグリバ	
1541				シロマダラコヤガ	
1542				シロフコヤガ	
1543				Protodeltote属	
1544				フタスジョトウ トビモンコヤガ	
1545				アオスジアオリンガ	
1546				アカスジアオリンガ	
1547				マエテンアツバ	
1548				ヨシヨトウ	
1549				クロチャマダラキリガ	
1550				クロスジコブガ	
1551				マエシロモンアツバ	
1552				タケアツバ	
1553				テンクロアツバ Rivulo屋	
1554				Rivula属 サッポロチャイロヨトウ	
1554				トピイロトラガ	<u> </u>
1556				シロシタヨトウ	
1557				ハスオビヒメアツバ	
1558				イネヨトウ	
1559				テンオビヨトウ	
1560				オオアカマエアツバ	
1561				ニセアカマエアツバ	
-				Simplicia属	
1562				オオカバスジヤガ	
4500				Sineugraphe属	
1563 1564				ハグルマトモエ オスグロトモエ	
1304				Spirama属	
1565				スジキリヨトウ	
1566				ハスモンヨトウ	
1567				シロナヨトウ	
1568				ムモンキイロアツバ	
1569				ウスアオキノコヨトウ	
1570				シロスジキノコヨトウ	
1571				ニセシロフコヤガ	
1572				ネモンシロフコヤガ	
1573 1574				クロシラフクチバ シロスジアオヨトウ	
1575				オオシロテンアオヨトウ	
1576				キバラケンモン	
1577				シロオビクルマコヤガ	
1578				ナシケンモン	
1579				マダラヨトウ	
1580				シロモンヤガ	
1581				ウスチャヤガ	
1582				キシタミドリヤガ	
1583				ハイイロキシタヤガ	
1584 1585	1			ウスグロアツバ ツマオビアツバ	
1585 1586				<u>ツマオピアツバ</u> キイロアツバ	
1587				コブヒゲアツバ	<b>-</b>
1588				ヒメコブヒゲアツバ	
1589				ツマテンコプヒゲアツバ	
1590				チョウセンコウスグロアツバ	
-				Zanclognatha属	
1591				コウモンクチバ	
1592				アツバ亜科	
4500			コゴギジ	ヤガ科	-
1593			コブガ科	コブガ科	
1594			ヒゲナガガ科	<u>ヒゲナガガ亜科</u> ヒルガオハモグリガ亜科	-
1595			ヒルガオハモグリガ科	チョウ目	
1596		八工目(双翅目)	ガガンボ科	    ヒメウスバガガンボ	
1597		,,		ミカドガガンボ	
1598				ネグロクシヒゲガガンボ	
1599				ベッコウガガンボ	
1600				Dicranomyia属	
1601				オトヒメガガンボ	
1602				クロバネヒメガガンボ	
			1	ホシヒメガガンボ	
1603 1604				コマダラヒメガガンボ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 22/37)

No.	綱名	日名	科名	和名	流入河川
	昆虫綱	八工目(双翅目)	ガガンボ科	イツモンヒメガガンボ	H15
1606		八工日(从処日)	カカン かれ	ミスジガガンボ	
1607				クチバシガガンボ	
1608				ギフヒゲナガガガンボ	
1609				カスリヒメガガンボ	
4040				Limnophila属	
1610 1611				コモンヒメガガンボ マダラクロヒメガガンボ	
1612				ホソバネヒメガガンボ	
1613				セアカヒメガガンボ	
1614				タケウチマダラヒメガガンボ	
1615				ウスキバネヒメガガンボ	
1616				ツマジロヒメガガンボ	
-				Limonia属	
1617				Nephrotoma属	
1618				ハスオビガガンボ キリウジガガンボ	
1619 1620				マダラガガンボ	
1621				キアシガガンボ	
1622				マドガガンボ	
1623				クロキリウジガガンボ	
1624				ヤチガガンボ	
1625				マエキガガンボ	
4000				Tipula属	
1626 1627	-			シリプトガガンボ亜科 ヒメガガンボ亜科	
1027				ガガンボ科	
1628	1		ガガンボダマシ科	ニッポンフユガガンボ	
-				ガガンボダマシ科	
1629			アミカ科	シコクアミカ	
4000			<b>イーウパー</b> 型	アミカ科	
1630 1631			チョウバエ科	セベリンチョウバエ マツタケチョウバエ	
1632				ホシチョウバエ	
- 1002				チョウバエ科	
1633			ヌカカ科	ケヌカカ	
1634				ニワトリヌカカ	
1635				タンボツヤヌカカ	
1636 1637				シロフケブカヌカカ コンイロヌカカ	
1638				モリヌカカ	
1639				モンヌカカ	
1640				フトモモムシヒキヌカカ	
-				ヌカカ科	
1641			ケヨソイカ科	アカケヨソイカ	
1642 1643			ユスリカ科	セスジユスリカ セスジヒラアシユスリカ	
1644				セボシヒメユスリカ	
1645				ミツオビツヤユスリカ	
-	1			Cricotopus属	
1646				クロユスリカ	
1647				ボカシヌマユスリカ	
1648 1649				シロアシユスリカ ウスモンユスリカ	
1650				ニッポンカユスリカ	
1651				アカムシユスリカ	
1652				ウスギヌヒメユスリカ	
1653				カクスナガレユスリカ	
1654				ハスムグリユスリカ	ļ
1655				アキヅキユスリカ	
1656 1657				<u>カスリモンユスリカ</u> ミゾチビユスリカ	
1658				ミドリオオユスリカ	
1659				ニッポンケブカユスリカ	
-				ユスリカ科	
1660			力科	アカイエカ	
-				Culex属	
1661			ホソカ科	カ科 クロホソカ	
1662			<u> </u>	マガリスネカ科	
1663			ケバエ科	Bibio属	
-				ケバエ科	
1664			タマバエ科	Dasineura属	
1665				キクタマバエ	
1666				Lestremia属 タマバエ科	
1667			ニセケバエ科	タマハエ科  ナガサキニセケバエ	
1668			キノコバエ科	ナミトモナガキノコバエ	
1669				ヒメホソキノコバエ	
1670				ナミホソキノコバエ	
1671				クロヒラモモキノコバエ	
1672				ニセコシボソキノコバエ	ļ
1673 1674				Fungivora属 Macrocera属	-
1674				Macrocera属 イグチナミキノコバエ	
1676				ケプカマドキノコバエ	
1677	]			ケアシコンボウキノコバエ	
1678				オオムクゲキノコバエ	
1679				スジヒトヘダキノコバエ	
4000			ケブノカ科	キノコバエ科	ļ
1680			ケズメカ科	ツノケズメカ	
				ケズメカ科	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 23/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
1681	昆虫綱	八工目(双翅目)	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	H15
1682		, , , , , , ,	コガシラアプ科	シバカワコガシラアプ	
1683				セダカコガシラアブ	
1684			ナガレアプ科	クロモンシギアブ	
1685			シギアプ科	<u> ナガレアプ科</u>  フタモンキイロシギアブ	
1085	+		シャアノ科	シギアプ科	
1686			ミズアプ科	エゾホソルリミズアブ	
1687			2,7,7,11	ハラキンミズアブ	
1688				コウカアプ	
1689				ルリミズアブ	
-				ミズアブ科	
1690			アプ科	ホルバートアブ	
1691				マルガタアブ	
1692 1693				<u>アカウシアプ</u> ヤマトアプ	
1694				アカアブ	
1695				シロフアブ	
1696				ウシアブ	
-				Tabanus属	
1697			ムシヒキアプ科	カワムラヒゲボソムシヒキ	
1698				クロスジイシアブ	
1699 1700				アオメアブ	
1700				<u>ハラボソムシヒキ</u> オオイシアブ	
1701				チャイロオオイシアプ	
1703				ミノモホソムシヒキ	
1704				マガリケムシヒキ	
1705				シオヤアブ	
1706	-			サキグロムシヒキ	
1707			ツリアプ科	ムシヒキアブ科	-
1707			フリアン付	コウヤツリアブ ホシツリアブ	<del>                                     </del>
1709				ニトベハラボソツリアブ	
1710				スズキハラボソツリアブ	
1711			ツルギアブ科	ツルギアブ科	
1712			アシナガバエ科	アシナガキンバエ	
-				Do I i chopus属	
1713	-			マダラアシナガバエ アシナガバエ科	
1714			オドリバエ科	イトウマルバネオドリバエ	
1715			31 37(±14	メスジロナガレオドリバエ	
1716				カマキリナガレオドリバエ	
1717				スジプトナガレオドリバエ	
1718				モモブトセダカオドリバエ	
1719				イミャクオドリバエ	
1720	-			アカメセダカオドリバエ オドリバエ科	
1721			ヤリバエ科	ハコネヤリバエ	
1722			アタマアプ科	ツマグロキアタマアブ	
-				アタマアプ科	
1723			ハナアプ科	ツマグロコシボソハナアブ	
1724				オオマメヒラタアブ	
1725				<u>ナガヒラタアブ</u> マダラコシボソハナアブ	
1726 1727				ハシグロクロハナアブ	
1728				ヤマトヒゲナガハナアブ	
1729				オピヒラタアブ	
1730				ヨコジマオオヒラタアプ	
1731				Epistrophe nitidicollis	
1732				ホソヒラタアブ	
1733 1734				ホシメハナアブ シマハナアブ	-
1735				ハナアブ	
1736				マドヒラタアブ	
1737				ナミホシヒラタアブ	
1738				アシブトハナアブ	
1739				カクモンアシブトハナアブ	
1740				ホソツヤヒラタアブ	-
1741	-			ホシツヤヒラタアブ Melanostoma属	-
1742				Meranostoma属 シマアシブトハナアブ	
1743				シママメヒラタアブ	
1744				キアシマメヒラタアブ	
1745				ニセキアシマメヒラタアブ	
				Paragus属	
1746				オオハナアブ	
1747 1748				Pipiza属	-
1748		1		Pseudovolucella属 Sericomyia属	
			i .		<b>-</b>
				ナカヒメヒラタアフ	
1750 1751				ナガヒメヒラタアブ キタヒメヒラタアブ	
1750					
1750 1751 - 1752				キタヒメヒラタアブ Sphaerophoria属 ケヒラタアブ	
1750 1751 - 1752 1753				キタヒメヒラタアブ Sphaerophoria属 ケヒラタアブ キイロナミホシヒラタアブ	
1750 1751 - 1752 1753 1754				キタヒメヒラタアブ Sphaerophoria属 ケヒラタアブ キイロナミホシヒラタアブ ニトベナガハナアブ	
1750 1751 - 1752 1753 1754 1755				キタヒメヒラタアブ Sphaerophoria属 ケヒラタアブ キイロナミホシヒラタアブ ニトベナガハナアブ ベッコウハナアブ	
1750 1751 - 1752 1753 1754 1755 1756				キタヒメヒラタアブ Sphaerophor i a属 ケヒラタアブ キイロナミホシヒラタアブ ニトペナガハナアブ ベッコウハナアブ ヨツボシヒラタアブ	
1750 1751 - 1752 1753 1754 1755				キタヒメヒラタアブ Sphaerophoria属 ケヒラタアブ キイロナミホシヒラタアブ ニトペナガハナアブ ベッコウハナアブ ヨツボシヒラタアブ ルリイロナガハナアブ	
1750 1751 - 1752 1753 1754 1755 1756			ノミパエ科	キタヒメヒラタアブ Sphaerophor i a属 ケヒラタアブ キイロナミホシヒラタアブ ニトペナガハナアブ ベッコウハナアブ ヨツボシヒラタアブ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 24/37)

	12 0.0-1		`		
No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
	昆虫綱	八工目(双翅目)	ヒラタアシバエ科	ヒラタアシバエ	1113
1760			ハモグリバエ科	フジハモグリバエ	
1761 1762				ヨモギハモグリバエ スゲハモグリバエ	
1763				ムギキベリハモグリパエ	
1764 1765				オカザキハモグリバエ スイカズラハモグリバエ	
1766				ネギハモグリバエ	
1767 1768				カトウハモグリバエ ヨモギクキモグリバエ	
1768				タンポポハモグリバエ	
1770				ヨメナクロハモグリバエ	
1771 1772				ヨメナスジハモグリバエ ヤナギハモグリバエ	
1773				ニッポンキクハモグリバエ	
1774				ヤブジラミハモグリバエ	
1775				トガリハモグリバエ ハモグリバエ科	
1776			ニセミギワバエ科	ニセミギワパエ	
1777 1778			アプラコバエ科 キモグリバエ科	アプラコバエ科 イネキモグリバエ	
1779			T C 7 5 / 12/4	Disciphus subelongatus	
1780				ムギキモグリバエ	
1781				ササノアシブトキモグリバエ キモグリバエ科	
1782			クチキパエ科	キイロクチキバエ	
1783			メバエ科	クチキバエ科 オオズグロメバエ	
1784			Z-/\±13	クロフタオレメバエ	
1785			レゲゴレコパナ料	ウスグロメバエ	
1786 1787			ヒゲプトコバエ科 ホソショウジョウバエ科	クロメマトイ モンホソショウジョウバエ	
1788			<u> ショウジョウバエ科</u> ショウジョウバエ科	マダラメマトイ	
1789 1790				アシグロハシリショウジョウバエ ヒメホシショウジョウバエ	
1790				ダンダラショウジョウバエ	
1792				カオジロショウジョウバエ	
1793 1794				フタオビショウジョウバエ ヒョウモンショウジョウバエ	
1795				クロツヤショウジョウバエ	
1796 1797				カスリショウジョウバエ オオショウジョウバエ	
1798				トピクロショウジョウバエ	
1799				キハダショウジョウバエ	
1800 1801				キイロショウジョウバエ ススパネショウジョウバエ	
1802				クロショウジョウパエ	
1803				モンコガネショウジョウバエ	
1804 1805				カザリコガネショウジョウバエ オトヒメショウジョウバエ	
1806				クロキノコショウジョウバエ	
1807 1808				コフキヒメショウジョウバエ ツヤカブトショウジョウバエ	
-				ショウジョウバエ科	
1809 1810			ベッコウバエ科 ミギワバエ科	ベッコウバエ Brachydeutera longipes	
1010			<b>ヘイソハエ付</b>	ミギワバエ科	
1811			トゲハネバエ科	センチトゲハネバエ	
1812			シマバエ科	トゲハネパエ科 シモフリシマパエ	
1813				キイロシマパエ	
1814 1815				ヒラヤマシマバエ Homoneura unguiculata	
-				Homoneura属	
1816				ヤブクロシマバエ	
1817				Trigonometopus forficula シマバエ科	
1818			クロツヤバエ科	ヤマトクロツヤバエ	
1819 1820			ナガズヤセバエ科 ヒメコバエ科	ホシアシナガヤセバエ Geomyza advena	
-				ヒメコパエ科	
1821			ヒロクチバエ科	ヒロクチバエ科	
1822 1823			デガシラバエ科 ヤチバエ科	フトハチモドキバエ ヒゲナガヤチバエ	
-				ヤチバエ科	
1824			ツヤホソバエ科	ヒトテンツヤホソバエ ツヤホソバエ科	
1825			ハヤトビバエ科	ハヤトビバエ科	
1826			ミバエ科	ナツササハマダラミバエ	
1827 1828				チャイロハススジハマダラミバエ ヒラヤマアミメケブカミバエ	
1829				ノゲシケブカミバエ	
1830 1831				チャイロケブカミバエ ヨモギハマダラミバエ	
1831				ミスジハマダラミバエ	
1833				ミサキオナガミバエ	
1834			ハナバエ科	ミパエ科 ハコベハナパエ	
1835				タネバエ	
1836				アカザモグリハナバエ	
1837				ハコベモグリハナバエ ハナバエ科	
1838			クロバエ科	オオクロバエ	
1839				オビキンバエ ホホグロオビキンバエ	
1840 1841				キンパエ	
1842				ヒツジキンパエ	
1843				Lucilia属 イトウコクロパエ	
1844				ツマグロキンバエ	
-			14 1 1 T 10 - TV	クロバエ科	
1845		L	ヒメイエバエ科	ヒメイエバエ科	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 25/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河 H15
1846	昆虫綱	八工目(双翅目)	イエバエ科	セマダライエバエ	1
1847			' ' ' ' '	モモエグリイエバエ	
1848				ヒメクロバエ	
1849				トウヨウカトリバエ	1
				イエバエ	1
1850					-
1851				オオクロイエバエ	
1852				インドサシバエ	
-				イエバエ科	
1853			ニクバエ科	シリグロニクバエ	
1854				Miltogrammatinae亜科	
-				ニクバエ科	
1855			フンバエ科	ヒメフンバエ	1
1000			J J / 1 - 14		
-			- 10 11 10 - TN	フンバエ科	_
1856			ヤドリバエ科	チビハマキヤドリバエ	
1857				カイコノウジバエ	
1858				ノコギリハリバエ	
-	1			Compsilura属	
1859	i			セスジナガハリバエ	
1860				マルボシヒラタヤドリバエ	1
					+
1861			- 1° 11 10° - 73	クロツヤハリバエ	+
1862			ヤドリバエ科	クチナガハリバエ	1
1863	1			マダラヤドリバエ	
				Sturmia属	
1864				ヨコジマオオハリバエ	
1865				コガネオオハリバエ	1
1866				セスジハリバエ	1
				トガリハリバエ	-
1867					
-				Thecocarcelia属	
1868				アシナガハリバエ	
-				ヤドリバエ科	
-				八工目	
1869		コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ	
1870			1377 2 3 3 2 7 1 7 1 7 1	ミイデラゴミムシ	
1871			オサムシ科		
			3 9 4 9 44	キイロチビゴモクムシ	-
1872				タンゴヒラタゴミムシ	
1873				マルガタゴミムシ	
1874				コアオマルガタゴミムシ	
1875				ニセマルガタゴミムシ	
1876				ナガマルガタゴミムシ	
1877				イグチマルガタゴミムシ	
1878				ホシボシゴミムシ	
1879					
				ゴミムシ	
1880				キベリゴモクムシ	
1881				アキタクロナガオサムシ	
1882				フタモンクビナガゴミムシ	
1883				メダカチビカワゴミムシ	
1884				ヨツモンカタキバゴミムシ	
1885				オオフタモンミズギワゴミムシ	1
1886				アオミズギワゴミムシ	1
					+
1887				オオアオミズギワゴミムシ	-
1888				アトモンミズギワゴミムシ	1
1889	]			クロミズギワゴミムシ	
1890				ツマキミズギワゴミムシ	
1891				ヒメモンナガミズギワゴミムシ	
1892				キアシルリミズギワゴミムシ	
1893				オオズヒメゴモクムシ	1
					1
1894				ムネミゾマルゴミムシ	-
1895				キガシラアオアトキリゴミムシ	
1896	]			アオアトキリゴミムシ	
1897	1			オオオサムシ	
1898				イワワキオサムシ	
1899				ヒメオサムシ	1
					+
1900				ヤコンオサムシ	1
1901				ヤマトオサムシ	1
1902				アカガネアオゴミムシ	
1903				コキベリアオゴミムシ	1
1904				ヒメキベリアオゴミムシ	
1905				オオアトボシアオゴミムシ	1
					1
1906				アトボシアオゴミムシ	1
1907				アオゴミムシ	+
1908	1	i	1	キボシアオゴミムシ	1

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 26/37)

	1,0.0		(	<u> БДДД . 20701)</u>	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
	to		11111		H15
1909	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオヘリアオゴミムシ ツヤキベリアオゴミムシ	
1910				ムナビロアトボシアオゴミムシ	
1912				コガシラアオゴミムシ	
1913				アトワアオゴミムシ	
1914				ウスグロモリヒラタゴミムシ	
1915				チビモリヒラタゴミムシ	
1916 1917				オオアオモリヒラタゴミムシ ヤセモリヒラタゴミムシ	
1917				<u>アセモリヒラタコミムシ</u> ハラアカモリヒラタゴミムシ	
1919				チャイロホソヒラタゴミムシ	
1920				コハラアカモリヒラタゴミムシ	
1921				イクビモリヒラタゴミムシ	
1922				ヒラタマルゴミムシ	
1923				マイマイカブリ	
1924				ミズギワアトキリゴミムシ ルリヒラタゴミムシ	
1925 1926				スナハラゴミムシ	
1927				オオスナハラゴミムシ	
1928				ヒメカワチゴミムシ	
1929	)			セアカヒラタゴミムシ	
1930				ホソアトキリゴミムシ	
1931				アオヘリホソゴミムシ	
1932				キイロセマルコミズギワゴミムシ	
1933 1934				スジアオゴミムシ トゲアシゴモクムシ	
1934				オオゴモクムシ	
1936				ツヤアオゴモクムシ	
1937				ケウスゴモクムシ	
1938				ヒメケゴモクムシ	
1939				ニセケゴモクムシ	
1940 1941				ウスアカクロゴモクムシ アカアシマルガタゴモクムシ	
1941				コゴモクムシ	
1943				ハマベゴモクムシ	
1944				ケゴモクムシ	
1945	5			セグロツヤゴモクムシ	
1946				ナガホラアナヒラタゴミムシ	
1947				トックリゴミムシ	
1948 1949				フタホシアトキリゴミムシ ホシハネビロアトキリゴミムシ	
1949				ハネビロアトキリゴミムシ	
1951				ジュウジアトキリゴミムシ	
1952				オオクロナガオサムシ	
1953				クロナガオサムシ	
1954				オオゴミムシ	
1955				キノコゴミムシ	
1956				ノグチアオゴミムシ	
1957 1958				<u>ミヤマメダカゴミムシ</u> チャバネクビナガゴミムシ	
1959				オオトックリゴミムシ	
1960				ウスケゴモクムシ	
1961				クビナガゴモクムシ	
1962				クロオビコミズギワゴミムシ	
1963				ウスオビコミズギワゴミムシ	
1964				ヒラタアトキリゴミムシ	
1965 1966				<u>キアシヌレチゴミムシ</u> カドツブゴミムシ	
1967				ダイミョウツブゴミムシ	
1968				クロズホナシゴミムシ	
1969				オオヒラタゴミムシ	
1970				コヒラタゴミムシ	
1971				オオナガゴミムシ	
1972 1973				フジタナガゴミムシ マルムネヒメナガゴミムシ	
1973				コガシラナガゴミムシ	
1975				キンナガゴミムシ	
1976				オオクロナガゴミムシ	
1977				キイオオナガゴミムシ	
1978				ヒメホソナガゴミムシ	
1979				ヒョウゴナガゴミムシ	<b></b>
1980 1981				マルガタナガゴミムシ アシミゾナガゴミムシ	
1981				ウエノオオナガゴミムシ	
1983				ヨリトモナガゴミムシ	
-				Pterostichus属	
1984				ケブカヒラタゴミムシ	
1985				ミドリマメゴモクムシ	
1986				ムネアカマメゴモクムシ	
1987				ホソキバナガゴミムシ	
1988 1989				ニッポンツヤヒラタゴミムシ マルガタツヤヒラタゴミムシ	
1989				キアシツヤヒラタゴミムシ	
1991				クロツヤヒラタゴミムシ	
1992				ヒメツヤヒラタゴミムシ	
1993				コクロツヤヒラタゴミムシ	
1994				オオクロツヤヒラタゴミムシ	
1995				ヒメミヤマツヤヒラタゴミムシ	ļ
1996				クロチビカワゴミムシ	
1997				<u>ヒラタコミズギワゴミムシ</u> クリイロコミズギワゴミムシ	ļ
1998 1999				アトモンコミズギワゴミムシ	
1000					

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 27/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
2000	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツモンコミズギワゴミムシ	H15
2001		コラチュラロ(新翅ロ)	カリムノ行	ヨシイメクラチビゴミムシ	
2002				アトスジチビゴミムシ	
2003				ヒメツヤゴモクムシ	
2004				ナガツヤゴモクムシ	
2005				クロツヤゴモクムシ	
2006 2007				アカガネオオゴミムシ エビアカガネゴミムシ	
2007				フタホシヒメアオゴミムシ	
2009				オオモリヒラタゴミムシ	
2010			ハンミョウ科	ハンミョウ	
2011				アイヌハンミョウ	
2012				ニワハンミョウ	
2013			ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ	
2014				ゲンゴロウ	
2015				ハイイロゲンゴロウ	
2016 2017				シマゲンゴロウ コシマゲンゴロウ	
2018				ウスイロシマゲンゴロウ	
2019				チビゲンゴロウ	
2020				ケシゲンゴロウ	
2021	]			ツブゲンゴロウ	
2022				ヒメゲンゴロウ	
2023			コギンニンブノンジ	ニセケシゲンゴロウ	
2024			コガシラミズムシ科		
2025 2026			ガムシ科	コガシラミズムシ タマガムシ	
2027			~~~ 17	トゲバゴマフガムシ	
2028				ゴマフガムシ	
2029				アカケシガムシ	
2030				セマルケシガムシ	
2031				キベリヒラタガムシ	
2032 2033				キイロヒラタガムシ マルヒラタガムシ	
2033				ガムシ	
2035				シジミガムシ	
2036				マグソガムシ	
2037				マメガムシ	
2038				ヒメガムシ	
2039			エンマムシ科	ヤマトエンマムシ	
2040				コエンマムシ	
2041	-		アリヅカムシ科	エンマムシ アナズアリヅカムシ	
2042			)	オノヒゲアリヅカムシ	
2044				コヤマトヒゲブトアリヅカムシ	
2045				オオアシナガアリヅカムシ	
2046				マメダルマアリヅカムシ	
2047				オオズアリヅカムシ	
2048	4			ナミエンマアリヅカムシ	
2049	1		デオキノコムシ科	<u>アリヅカムシ科</u> デオキノコムシ科	
2050			<u>ッパイッコムッパー</u> シデムシ科	オオヒラタシデムシ	
2051				オオモモブトシデムシ	
2052				モモブトシデムシ	
2053				クロシデムシ	
2054				ヤマトモンシデムシ	
2055			ハネカクシ科	ヨツボシモンシデムシ	
2056 2057			ハイカソン科	オオアカバハネカクシ ツヤケシヒゲブトハネカクシ	
2058				セナガヒゲブトハネカクシ	
2059				ウスアカヒゲブトハネカクシ	
2060				ホソセスジヒゲブトハネカクシ	
2061				ムネビロハネカクシ	
2062				<u>キアシヒラタチビハネカクシ</u>	
2063 2064	-			<u>アカイクビハネカクシ</u> キバネニセユミセミゾハネカクシ	
2064				ニセユミセミゾハネカクシ	
2066				ムナクボヒラナガハネカクシ	
2067				オオヒョウタンメダカハネカクシ	
2068				コガシラホソハネカクシ	
2069				ハラモンムネクボハネカクシ	
2070				オオマルズハネカクシ	
2071 2072				コマルズハネカクシ ハイイロハネカクシ	
2072	-			<u>ハイイロハネカクシ</u> ウスチャセミゾハネカクシ	
2073				クロセミゾハネカクシ	
2075				ハマベオオハネカクシ	
2076	i			ツマグロアカバハネカクシ	
2077				チビツヤムネハネカクシ	
2078				ヤマトチビアリノスハネカクシ	
2079				キアシナガハネカクシ	
2080 2081				コバネナガハネカクシ アカフタミゾチビハネカクシ	
2082				クロズトガリハネカクシ	
2083				ハスオビキノコハネカクシ	
2084				チャバネトガリハネカクシ	
2085				ヤマトイクビハネカクシ	
000-	1			アカバヒメホソハネカクシ	
2086	7				
2087				ツマキツヤナガハネカクシ	
				ツマキツヤナカバネカクシ オオサビイロモンキバネカクシ サビバネカクシ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 28/37)

299日 日出版	No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
2002   1000	2091	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	 ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ	H15
2998   2908   2007	2092					
2006   1006						<b></b>
2000 200						
2000	2096				キアシチビコガシラハネカクシ	
1908						
200   20						
下ではシバネカウン     1908	2100				クロガネハネカクシ	
2000						-
206    アカバツヤムネルネカウン   206    アカバツヤムネルネカウン   206    アグボッドネコガラ   207    アグボッドネコガラ   207    アグボッドネコガラ   207    アグボッドネコガラ   207    アグド・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス						
2008	2104				アカバツヤムネハネカクシ	
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.						
L						
Sepecial luss	2108				ヒメキノコハネカクシ	
10	2109					
2011	2110					
2014	2111				ツヤケシシワチビハネカクシ	
2016					ホソフタホシメダカハネカクシ	
2115 2116 2117 2118 2118 2117 2118 2118 2119 2119 2119 2110 2110 2110 2110 2110						
Tachinus	2115				ヤマトマルクビハネカクシ	
2117	2116					
2118	2117					
Tachypousの						
コミセミソハネカクシ	-					
1/21						
2124						
キノコハネカクシ属						
2125  2126  2126  2127  2128  2129  21	- 2124					
2128	-					
2127				マルハナノミ科	キイロチビマルハナノミ  マルガタチビマルハナノミ	
2128		1				
2130					クロチビマルハナノミ	
2131				カン・エコガラ科		
2132				ピンテコル <b>ベ</b> 科		
2134				クワガタムシ科	コクワガタ	
アカアシクワガタ						
フェージリタ   フェージリタ						
2138						
				コガネムシ科		
2140   サクラコガネ   フィンコガスコガス   フィンコガスコガスコガスコガスコガスコガスコガスコガスコガスコガスコガスコガスコガスコ						
1						
2143   2144   2144   2145   2145   2146   2147   2146   2147   2148   2149   2149   2150   2151   2152   2153   2154   2155   2155   2156   2157   2158   2159   2160   2161   2161   2162   2163   2166   2166   2166   2166   2166   2166   2166   2166   2166   2167   2168   2168   2169   2170   2170   2171   2172   2171   2172   2173   2174   2175   2176   2176   2177						
マグソコガネ		-				<u> </u>
2146   2147   2148   2149   2150   2151   2152   2153   2155   2156   2157   2158   2160   2161   2161   2162   2161   2161   2162   2161   2161   2162   2160   2161   2160   2161   2162   2163   2164   2165   2166   2167   2168   2169   2160   2167   2168   2169   2167   2168   2169   2167   2168   2169   2167   2168   2169   2167   2168   2169   2167   2168   2169   2167   2168   2169   2167   2170   2171   2171   2171   2171   2171   2171   2171   2172   2173   2174   2175   2176						
とメコエンマコガネ   マエカドコエンマコガネ   マエカドコエンマコガネ   マエカドコエンマコガネ   マエカドコエンマコガネ   マオハナムグリ   アオハナムグリ   アオハナムグリ   コヒゲシマピロウドコガネ   コヒゲシマピロウドコガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロガネ   コロロガネ   コロヴェガネ   コロヴェガネ   コロヴェガネ   コロヴェガネ   コロヴェガネ   コロヴェガネ   コロヴェガネ   コロヴェガネ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コガネムシ   コブマルエンマコガネ   コブマルエンマコガネ   コブマルエンマコガネ   コブマルエンマコガネ   コブマルエンマコガネ   コアオハナムグリ   フェフィフカス・コアオハナムグリ   フェフィフカス・コアオハナムグリ   マスダルマコガネ   コアオハナムグリ   マスヴァコガネ   コアオハナムグリ   マスダルマコガネ   コアオハナムグリ   マスガネ   コアオハナムグリ   コアオハイムグリ   コアオハイムグリ   コアオハイムグロ   コアオハイムグロ   コアオハイムグロ   コアオハイムグロ   コアイムグロ   コアオハイムグロ   コアイムグ						
2148       2149         2150       フェリンマンガネ         2151       フェリンマンガネ         2152       コヒゲシマピロウドコガネ         2153       オオクロコガネ         2154       コクロコガネ         2155       コクロコガネ         2156       ピロウドコガネ         2157       オンピロウドコガネ         2158       ピロウドコガネ         2159       オオピロウドコガネ         2160       マルガタピロウドコガネ         2161       コフキコガネ         2162       オオスジコガネ         2163       コフキコガネ         2164       セメスジコガネ         2165       コガネムシ         2166       コガネムシ         2167       スジコガネ         2168       カバイロピロウドコガネ         2169       エラタハナムグリ         2170       コブマルエンマコガネ         2171       コブマルエンマコガネ         2172       マルエンマコガネ         2173       コアオハナムグリ         2175       マメダルマコガネ         2176       マメダルマコガネ						
2149   2150   2151   2151   2152   2153   2154   2155   2156   2157   2157   2158   2159   2150   2151   2159   2150					マエカドコエンマコガネ	
2151   2152   2153   2154   2153   2154   2155   2155   2155   2156   2157   2158   2159   2150   2160   2161   2162   2163   2164   2165   2166   2166   2167   2168   2168   2169   2160	2149				ハナムグリ	
2152   2153   2154   2155   2156   2156   2157   2157   2158   2159   2150						
2154   2155   2156   2157   2158   2157   2158   2159   2160   2161   2161   2161   2162   2163   2164   2165   2166   2167   2168   2164   2166   2167   2168   2168   2169   2169   2160   2161   2162   2163   2164   2165   2166   2167   2168   2169   2170   2170   2171   2171   2172   2173   2174   2175   2176   2176   2176   2177   2171   2171   2171   2172   2173   2174   2175   2176   2176   2176   2176   2176   2176   2176   2176   2176   2176   2176   2177						
2155   2156   2157   2157   2158   2159   2159   2160   2161   2162   2162   2163   2164   2165   2166   2166   2166   2166   2166   2166   2166   2167   2168   2169   2160	2153				クロコガネ	
2156   2157   2158   2159   2159   2150						
2157   2158   2159   2150   2150   2150   2150   2150   2160   2161   2161   2162   2163   2164   2165   2166   2166   2166   2167   2168   2168   2168   2169   2169   2170   2170   2171   2171   2172   2173   2174   2175   2176   2176   2176   2176   2177						
とメピロウドコガネ   2160   2161   2161   2162   2163   2164   2165   2166   2166   2166   2166   2166   2166   2167   2168   2168   2168   2168   2169   2170   2170   2171   2172   2173   2174   2175   2176   2177	2157				ピロウドコガネ	
2160						
マルガタビロウドコガネ   コフキコガネ   コフキコガネ   コフキコガネ   コフキコガネ   コフキコガネ   コフキコガネ   コフキコガネ   コフキコガネ   コガネンコガネ   ロボール					オオビロウドコガネ	
2163	2161	]			マルガタビロウドコガネ	
2164       2165         2165       セメスジコガネ         2166       コガネムシ         2167       スジコガネ         2168       スジコガネ         2169       セラタハナムグリ         2170       クロマルエンマコガネ         2171       コブマルエンマコガネ         2172       マルエンマコガネ         2173       マルエンマコガネ         2174       コアオハナムグリ         2175       マメダルマコガネ         2176       キスジコガネ						-
2165       2166       2167       2168       2169       2170       2171       2172       2173       2174       2175       2176						
2167   2168   275	2165				ヒメスジコガネ	
2168   カバイロピロウドコガネ   ヒラタハナムグリ   クロマルエンマコガネ   ロブマルエンマコガネ   コブマルエンマコガネ   コブマルエンマコガネ   コブマルエンマコガネ   コアスルエンマコガネ   コアスルエンマコガネ   マルエンマコガネ   マルエンマコガネ   コアオハナムグリ   マメダルマコガネ   マメダルマコガネ   マメダルマコガネ   マメダルマコガネ   マスダース・フィース・フィース・フィース・フィース・フィース・フィース・フィース・フィ						
2169 2170 2170 2171 2171 2172 2173 2174 2175 2176 2176						
2171       2172       2173       2174       2175       2176       コブマルエンマコガネ       マルエンマコガネ       コアオハナムグリ       マメダルマコガネ       キスジコガネ					ヒラタハナムグリ	
2172 2173 2174 2175 2176 2176					クロマルエンマコガネ	
2173 2174 2175 2175 2176						
2174       2175       2176       コアオハナムグリ       マメダルマコガネ       キスジコガネ						
2176 キスジコガネ	2174				コアオハナムグリ	
Z	2176 2177				キスシコカネ ヒゲコガネ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 29/37

27月   1928	No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
2779	2178	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マメコガネ	1113
288	2179		,,			
1989	2180				シロテンハナムグリ	
1988	2181					
2186 2186 2186 2186 2186 2187 2187 2188 2189 2189 2189 2189 2189 2189 2189	2182				アオカナブン	
2886						
2186						
2887						
2188						
2199						
2980						
2919						
1992				ヒメドロムシ科		
1918						
2994   ファッドドロムシ						+
2196 2197 2198 2197 2199 2197 2199 2199 2199 2190 2190 2190 2190 2190						
1916				土ガドロムシ科		+
1919				7 7 1 1 4 7 1 7		+
1988				ヒラタドロムシ科		1
2199				2271 44717		1
2200   タマムシ科				ナガハナノミ科		
Agr   IUS						
と大とラタタムシ   ウバタマムシ   マステビタマムシ   マステビタマムシ   マステビタマムシ   と30月でタマムシ   マステビタマムシ   と30月でタマムシ   マステビコリ   マスデビコリ   ロステンター						
2020   2020	2201					
2203   2204   2205   2206   2207   2207   2208   2207   2207   2208   2208   2209   2209   2209   2209   2209   2209   2209   2209   2200						
2205   2206   2207   2208   マメチとタスムシ   2208   マメチとタスムシ   2209   マメチとタスムシ   2209   マメチとタスムシ   2209   2209   2209   2209   2209   2200   2200   2200   2200   2200   2200   2200   2200   2200   2200   2200   2200   2201   2211   2211   2212   2213   2214   2215   2216   2216   2216   2217   2218   2218   2218   2218   2218   2219   2219   2220   222	2203				ヤマトタマムシ	
マナギデとタマムシ   マメチとタマムシ   マスチとタマムシ   マスチとタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アカガネチピタマムシ   アオナガネチピタマムシ   アオナガネチピタマムシ   アオナガネクション   アオナガカメッキ   アオナガカメッキ   アリイロアシブトコメッキ   アリイロアシブトコメッキ   アリイロアシブトコメッキ   アリイロアシブトコメッキ   アイロス・ア・インス・ア・イン						
2207					クズノチビタマムシ	
2208						
アカガネチピタスムシ   Tractys属						
Tractys属						
2210   2211   2212   2213   2214   2215   2216   2216   2217   2218   2216   2217   2218   2218   2218   2219   2218   2218   2219   2219   2219   2210	2209					
2211	- 0040			7.4.01 + 1.5.59	Irachys属	-
2212   2213   2214   2215   2216   2217   2216   2217   2216   2217   2218   2217   2218   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2220   2219   2221   2222   2223   2223   2223   2224   2225   2226   2227   2227   2228   2228   2228   2229				コスツキムシ科		
2213						+
2214   2215   2216   2217   2217   2218   2217   2218   2219   2219   2219   2219   2219   2219   2220   2220   2220   2220   2221   2222   2223   2224   2225   2226   2227   2228   2226   2227   2228   2228   2229						-
2216   2217   2218   2217   2218   2219   2219   2220   2221   2220   2221   2222						-
2216						-
次リハナコメッキ						
Card iophorus						
2218	-					1
2219	2218					
プロスター						
次リットケシコメツキ   三セクチブトコメツキ   三セクチブトコメツキ   三セクチブトコメツキ   三セクチブトコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクシコメツキ   クロツャクミスギワコメツキ   クロツャミスギワコメツキ   クロツャミスギワコメツキ   クロツャミスギワコメツキ   クロツャミスギワコメツキ   クロツャミスギワコメツキ   クロツャミスギワコメツキ   クロツャミスギロコメツキ   クロツャミスギロコメツキ   クロツャミスギロコメツキ   クロツャラ・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア					ムネスジダンダラコメツキ	
2223   2224   2225   2226   2227   2226   2227   2226   2227   2226   2227   2228   2228   2228   2229   2229   2229   2220	2221				チャイロコメツキ	
2224   2225   2226   2227					ホソツヤケシコメツキ	
2225   2226   2227   2227   2227   2228   2227   2227   2227   2227   2227   2227   2228   2227   2228   2229	2223				ニセクチブトコメツキ	
2226						
デャパネクシコメツキ     lelanotus					ハネナガオオクシコメツキ	
Mel anotus  属						
2228	2227					
2239   クロツヤミズギワコメツキ   ウパタマコメツキ   ウパタマコメツキ   ウパタマコメツキ   セグコメツキ   オオハナコメツキ   オオハナコメツキ   アロリア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	-					
2230   2231   2232   2233   2234   2235   2234   2235   2236   2237   2238   2238   2238   2239   2239   2239   2239   2230   2237   2238   2239   2240   2241   2242   2242   2244   2245   2246   2247   2248   2248						
とグコメツキ   オオハナコメツキ   オオハナコメツキ   フェック   フェ						
2232						+
Platynychus属						
とメホソキコメツキ   2233   2234   2244   2245   2246   2247   2248   2247   2235   2237   2238   2244   2247   2248   2247   2248   2247   2248   2247   2248   2257   2238   2247   2248   2247   2248   2247   2248   2247   2248   2247   2248   2248   2248   2253   2244   2247   2248   2247   2248   2248   2247   2248   2248   2247   2248   2248   2247   2248	-202					
2234   2235   2235   2237   2236   2237   2238   2237   2238   2239   2239   2240   2241   2241   2242   2244   2245   2244   2247   2248   2248	2233				ヒメホソキコメツキ	
コー・						
Quasimus属       2236     Scutel lathous属       2237     クチプトコメッキ       2238     オオッヤハダコメッキ       2239     オオットングメット       2240     イリムネマメコメッキ       2241     ウスイロカネコメッキ       -     ウスイロカネコメッキ       2242     セメフトコメッキグマシ       2243     セメフトコメッキグマシ       2244     アチトリコメッキグマシ       2245     アインメッキグマシ       2246     オオテャイロコメッキグマシ       2247     エノキコメッキグマシ       2248     オブコメッキグマシ       コメッキグマシ科     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマシ     コメッキグマシ       コメッキグマン     コメッキグマシ       コメッキグマン     コメッキグマシ       コメッキグマン     コメッキグマン       コメッキグマン     コメッキグマン       コメッキグマン     コメッキグマン						
Scute   lathous属	-					
2237   2238   2239   2240   2241   2241   2242   2244   2244   2244   2244   2244   2244   2244   2244   2244   2244   2245   2246   2247   2248   2247   2248   2247   2248   2247   2248   2248   2247   2248   2248   2247   2248	2236					
2238						
2239						
ウスイロカネコメツキ	2239				オオクシヒゲコメツキ	
2241     ウスイロカネコメッキ       -     コメッキムシ科       2242     ヒメフトコメッキダマシ       2243     キンケヒメフトコメッキダマシ       2244     フチトリコメッキダマシ       2245     ツヤヒメミソコメッキダマシ       2246     エノキコメッキダマシ       2247     エノキコメッキダマシ       2248     コメッキダマシ       2249     ナガコメッキダマシ       2240     コメッキダマシ       2241     コメッキダマシ       2242     カガコメッキダマシ       コメッキダマシ科						
2242       2243       2244       2244       2245       2246       2247       2248       -       2249       2240       2241       2242       2243       2244       2245       2247       2248       -       324       324       324       324       324       324       324       325       324       325       326       327       327       326       327       327       327       327       328       329       320       320       321       321       322       323       324       325       326       327       327       327       328       329       320       321       321       321       321       321       322       323       324       325 <t< td=""><td>2241</td><td></td><td></td><td></td><td>ウスイロカネコメツキ</td><td></td></t<>	2241				ウスイロカネコメツキ	
2243       2244       2245       2246       2247       2248       2249       2240       2241       2242       2243       2244       2245       2246       2247       2248       2248       3248       3249       3249       3240       3240       3241       3242       3243       3244       3246       3247       3248       3248       3249       3240       3240       3241       3251       3262       3272       3272       3282       3292 </td <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	-					
2244     フチトリコメツキダマシ       2245     フェンス・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン				コメツキダマシ科	ヒメフトコメツキダマシ	
2245       2246       2247       2248       -						
2246       2247       2248       1 ナカコメッキダマシ       1 ナガコメッキダマシ       1 オオチャイロコメッキダマシ       1 オオチャイロコメッキダマシ       1 オオチャイロコメッキダマシ       1 オーカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
2247       2248       -						
2248       ・       コメッキダマシ科						
- コメツキダマシ科						
	2248					
	-			1.43		
2250 チャイロヒゲブトコメツキ				ヒゲフトコメツキ科		1

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 30/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
2251	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ムネアカクロジョウカイ	H15
2252	比五洲	コラテュラロ(新翅ロ)	/ フョウガイ かンれ	クロホソジョウカイ	
2253				ウスチャジョウカイ	
2254				セスジジョウカイ	
2255				クビアカジョウカイ	
2256				ジョウカイボン	
2257				セボシジョウカイ	
2258				フタイロジョウカイ	
2259				コクロヒメジョウカイ	
2260				クロツマキジョウカイ	
2261				ウスパツマキジョウカイ Malthinus属	
2262				Martinus属 ムネミゾクロチビジョウカイ	
2202				Malthodes属	
2263				ヒメジョウカイ	
-				Mikadocantharis属	
2264				ミヤマクビボソジョウカイ	
2265				クロヒメクビボソジョウカイ	
-				Podabrus属	
2266				エグリマメジョウカイ	
2267				マルムネジョウカイ	
2268				クロヒメジョウカイ	
2260				Rhagonycha属	<b> </b>
2269 2270				<u>クリイロジョウカイ</u> キンイロジョウカイ	<b>—</b>
2210				<u>キノ1 ロショウガ1</u>  ジョウカイボン科	
2271			ホタル科	オバボタル	
2272				ゲンジボタル	
2273				ヘイケボタル	
2274			ベニボタル科	ユアサクロベニボタル	
2275				カクムネベニボタル	
2276				クロハナボタル	
2277				ニセクロハナボタル	ļ
2278				クロアミメボタル	
2270			カッチブンルンが	ベニボタル科	
2279 2280			カツオブシムシ科	カマキリタマゴカツオブシムシ チビケカツオブシムシ	
2281			シバンムシ科	タバコシバンムシ	
			7/17/47	シバンムシ科	
2282			ナガシンクイムシ科	ケヤキヒラタキクイムシ	
2283			カッコウムシ科	Opilo属	
2284			ジョウカイモドキ科	ホソヒメジョウカイモドキ	
2285				クギヌキヒメジョウカイモドキ	
2286				ヒロオビジョウカイモドキ	
2287				キアシオビジョウカイモドキ	
2288			31312 2 to 278	ツマキアオジョウカイモドキ	
2289			ツツシンクイ科	ツマグロツツシンクイ	
2290 2291			<u>ムクゲキスイムシ科</u> テントウムシ科	ハスモンムクゲキスイ  ウンモンテントウ	
2292			J J I J A J A A	ムーアシロホシテントウ	
2293				ナナホシテントウ	
2294				マクガタテントウ	
2295				オオニジュウヤホシテントウ	
2296				ナミテントウ	
2297				アトホシヒメテントウ	
-				Nephus属	
2298				ヨツボシテントウ	
2299 2300				ヒメカメノコテントウ	
2300				ハレヤヒメテントウ   クモガタテントウ	
2301				ベニヘリテントウ	
2302				パパヒメテントウ	
2304				パイゼヒメテントウ	
2305				オニヒメテントウ	
2306				クロヘリヒメテントウ	
2307				クロヒメテントウ	
2308				カワムラヒメテントウ	
2309				トピイロヒメテントウ	
2310 2311				コクロヒメテントウ  クロテントウ	<b> </b>
2311				クロナフトリ  テントウムシ	$\vdash$
2312			キスイムシ科	ケナガセマルキスイ	
2314			1.7.14717	キイロセマルキスイ	
2315				ウスパキスイ	
-				Cryptophagus属	
2316				マルガタキスイ	
2317				Henoticus属	
-				キスイムシ科	
2318			ヒラタムシ科	キボシチビヒラタムシ	
2319				ヒメヒラタムシ	<b> </b>
- 2222			ここう ノルン・ガート・エリ	ヒラタムシ科	
2320			ミジンムシダマシ科	クロミジンムシダマシ	
2321			テントウルングフンギ	コゲチャミジンムシダマシ  ヨツボシテントウダマシ	$\vdash$
2322 2323			テントウムシダマシ科	ヨツボンテントワダマシ   セダカテントウダマシ	
2323				チャイロケブカテントウダマシ	
2324				キボシテントウダマシ	
2326			オオキノコムシ科	カタモンオオキノコ	
2327				ヒメオビオオキノコ	
2328				ミヤマオビオオキノコ	
2329				クロハバビロオオキノコ	
2330			オオキスイムシ科	ヨツボシオオキスイ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 31/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
2331	昆虫綱	  コウチュウ目(鞘翅目)	  コメツキモドキ科	  キムネヒメコメツキモドキ	H15
2332	LU LL MT	コンノコンロ(新巡口)		ツマグロヒメコメツキモドキ	$\vdash$
2333				Cryptophi lus属	1
2334				ルイスコメツキモドキ	
2335				ケシコメツキモドキ	
2336				ケナガマルキスイ	
2337			ヒメマキムシ科	ウスチャケシマキムシ	
2338			ケシキスイ科	ドウイロムクゲケシキスイ	
2339				コクロムクゲケシキスイ	
2340				コゲチャセマルケシキスイ	
2341				クロハナケシキスイ	
2342				ウスチャデオキスイ	
2343				クリイロデオキスイ	
				Carpophi lus属	
2344				マルマルケシキスイ	
2345				ナミヒラタケシキスイ	
2346				Epuraea属   マメヒラタケシキスイ	-
2347				モンチビヒラタケシキスイ	
2348				キイロチビハナケシキスイ	
2349				クロヒラタケシキスイ	
2350				ヨツボシケシキスイ	
2351				マルヒラタケシキスイ	
2352				キノコヒラタケシキスイ	
2353				ウスオビカクケシキスイ	
2354				オオキマダラケシキスイ	
2355				クロキマダラケシキスイ	
2356				マルキマダラケシキスイ	
-			14.711 4.7.5 70	ケシキスイ科	
2357			ヒメハナムシ科	ベニモンアシナガヒメハナムシ	
2358				キイロアシナガヒメハナムシ	$\vdash$
2359				フタスジヒメハナムシ	$\vdash$
2360				エムモンチビヒメハナムシ	$\vdash$
2361 2362			ホソヒラタムシ科	チビヒメハナムシ ミツモンセマルヒラタムシ	$\vdash$
2363			<b>ポンピンタムシ</b> 科	ホソヒラタキスイ	<del>                                     </del>
2364				ミツカドコナヒラタムシ	1
2304				Silvanoprus属	1
2365				フタトゲホソヒラタムシ	
2366			ニセクビボソムシ科	クシヒゲニセクビボソムシ	
2367				セグロニセクビボソムシ	
2368			クチキムシ科	アオバクチキムシ	
2369				オオクチキムシ	
2370				クチキムシ	
2371				ホソクロクチキムシ	
2372				ウスイロクチキムシ	
2373				クリイロクチキムシ	
2374			71171145	クロツヤバネクチキムシ	
2375			アリモドキ科	アカホソアリモドキ	
2376				ツヤチビホソアリモドキ	
2377				コクロホソアリモドキ	
2378 2379				ホソクビアリモドキ  ヒゲナガクビボソムシ	<del></del>
2380				キアシクビボソムシ	1
2381				アカクビボソムシ	1
2301				Macratria属	1
2382				ヨツボシホソアリモドキ	1
2383				アカモンホソアリモドキ	
2384			ハムシダマシ科	アオハムシダマシ	
2385				ナガハムシダマシ	
2386			ナガクチキムシ科	ビロウドホソナガクチキ	
2387				Falsomordellina属	
2388				ハナノヒメハナノミ	
2389				Glipa属	igspace
2390				アマミヒメハナノミ	
2391				チャオビヒメハナノミ	$\vdash$
2392				カグヤヒメハナノミ	$\vdash$
2393				ミカドヒメハナノミ	$\vdash$
2394				ヤマモトヒメハナノミ Mordellina属	$\vdash$
2395				MOTOGETTINA属 クロヒメハナノミ	$\vdash$
2333				Mordellistena属	<del>                                     </del>
2396				キンオビハナノミ	$\vdash$
-				ハナノミ科	$\vdash$
2397			コキノコムシ科	ヒゲブトコキノコムシ	
2398			カミキリモドキ科	ルリカミキリモドキ	$\vdash$
2399			1	ハネアカカミキリモドキ	
2400				モモプトカミキリモドキ	
2401				キアシカミキリモドキ	
2402				キイロカミキリモドキ	
2403				キバネカミキリモドキ	
2404				アオカミキリモドキ	
-				Xanthochroa属	
2405			アカハネムシ科	アカハネムシ	
2406			ハナノミダマシ科 ゴミムシダマシ科	ホソフナガタハナノミ	
2407			ゴミムシダマシ科	ヒメゴミムシダマシ	
2408				ヨツボシゴミムシダマシ	
2409				ナガニジゴミムシダマシ	
2410				クロホシテントウゴミムシダマシ	
2411				モンキゴミムシダマシ	
2412				スナゴミムシダマシ	
2413				カクスナゴミムシダマシ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 32/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
2414	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ホソスナゴミムシダマシ	1110
2415			1	ヒメカクスナゴミムシダマシ	
2416				スジコガシラゴミムシダマシ	
2417				カプトゴミムシダマシ	
2418				マルツヤキノコゴミムシダマシ	
2419				オオメキノコゴミムシダマシ	<b>↓</b>
2420				クロツヤキノコゴミムシダマシ	
2421				キマワリ	
2422				ヒメマルムネゴミムシダマシ	<b>-</b>
2423				ニジゴミムシダマシ	<u> </u>
2424				モトヨツコブゴミムシダマシ	
2425				ヤマトエグリゴミムシダマシ	<del>                                     </del>
2426 2427				ヨツコブゴミムシダマシ エグリゴミムシダマシ	
2421				ゴミムシダマシ科	<del>                                     </del>
2428			カミキリムシ科	ピロウドカミキリ	<del>                                     </del>
2429			32134311	ムモンベニカミキリ	
2430				ツヤケシハナカミキリ	
2431				ゴマダラカミキリ	
2432				サビカミキリ	
2433				ムネツヤサビカミキリ	
2434				キクスイモドキカミキリ	
2435				ツシマムナクボカミキリ	
2436				エグリトラカミキリ	
2437				アカハナカミキリ	
2438				ホソカミキリ	<b>↓</b>
2439				ヨツキボシカミキリ	<b></b>
2440				アトモンマルケシカミキリ	<del>                                     </del>
2441				シロオビゴマフカミキリ	<del>                                     </del>
2442				シラホシカミキリ	<del>                                     </del>
2443 2444				ヨツスジハナカミキリ   オオヨッスジハナカミキリ	+
2444				オオヨツスジハナカミキリ  ヒシカミキリ	<del>                                     </del>
2445				ヘリグロリンゴカミキリ	<del>                                     </del>
2447				ラミーカミキリ	
2448				ニンフホソハナカミキリ	<b>†</b>
2449				チャイロヒメハナカミキリ	<b>†</b>
2450				フタオビチビハナカミキリ	
-				Pidonia属	
2451				ノコギリカミキリ	
2452				ワモンサビカミキリ	
2453				トガリシロオビサビカミキリ	
2454				アトモンサビカミキリ	
2455				ヒトオビアラゲカミキリ	
2456				クロカミキリ	
2457				ヨツボシカミキリ	<del>                                     </del>
2458				コウヤホソハナカミキリ	<del></del>
2459 2460			ハムシ科	アオスジカミキリ  キクビアオハムシ	<del>                                     </del>
2461			//ADA	ヒメカミナリハムシ	
2462				アザミカミナリハムシ	
2463				カミナリハムシ	<b>†</b>
2464				スジカミナリハムシ	<b>†</b>
2465				アカバナトビハムシ	
-				Altica属	
2466				キイロツブノミハムシ	
2467				ツブノミハムシ	
2468				サメハダツブノミハムシ	
2469				ホソルリトビハムシ	
2470				フタイロセマルトビハムシ	
2471				オオアカマルノミハムシ	
2472				ムナグロツヤハムシ	Ь——
2473				カクムネトビハムシ	
2474				オオキイロノミハムシ	+
2475				ウリハムシモドキ	<del>                                     </del>
2476 2477				ウリハムシ  クロウリハムシ	<del>                                     </del>
2477				アオバネサルハムシ	<del>                                     </del>
2478				アズキマメゾウムシ	<del>                                     </del>
2479				ハラグロヒメハムシ	<del>                                     </del>
2481				ヒメカメノコハムシ	<del>                                     </del>
2482				フタイロヒサゴトビハムシ	1
2483				ヒメドウガネトビハムシ	1
2484				ヒサゴトビハムシ	<b>—</b>
- 10-1				Chaetocnema属	<b>†</b>
2485				ムシクソハムシ	<del>                                     </del>
2486				ヤナギハムシ	
2487				ウエツキブナハムシ	1
2488				アオバミドリトビハムシ	
2489				パラルリツツハムシ	
2490				タテスジキツツハムシ	
2491				ヨツモンクロツツハムシ	
2492				クロボシツツハムシ	
-				Cryptocephalus属	
2493				マダラアラゲサルハムシ	
2494				イネネクイハムシ	
2495				キバラヒメハムシ	
-				Exosoma属	
2496				クワハムシ	
2497				ジュンサイハムシ	
2498				イタドリハムシ	<u> </u>
2499		1	I	ズグロキハムシ	1

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 33/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
2500	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤツボシハムシ	H15
2501	LO JAM'S		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	フジハムシ	
2502				キバネマルノミハムシ	
2503				ヒゲナガルリマルノミハムシ	
2504				ケプカクロナガハムシ	
2505				キオビクビボソハムシ	
2506				アカクビボソハムシ	
2507				ヤマイモハムシ	-
2508 2509				ルリハムシ   サシゲトビハムシ	
2510				イヌノフグリトビハムシ	
2511				オオバコトビハムシ	1
2512				クビアカトビハムシ	1
2513				キアシノミハムシ	
-				Luperomorpha属	
2514				クロウスバハムシ	
2515				コフキサルハムシ	
2516				フタスジヒメハムシ	
2517				セマルトビハムシ	
2518				ホタルハムシ ・	1
2519				ムネアカウスイロハムシ	1
2520				ヒメウスイロハムシ	1
2521				キイロクワハムシ Mono Lonta屋	+
2522				Mono lepta属 ルリマルノミハムシ	1
2522				コマルノミハムシ	1
2524				ドウガネツヤハムシ	1
2525				アオグロツヤハムシ	1
2526				ヒメツヤハムシ	1
2527				ブタクサハムシ	
2528				ヒメキバネサルハムシ	
2529				アトボシハムシ	
2530				ダイコンハムシ	
2531				チャバネツヤハムシ	
2532				ヤナギルリハムシ	
2533				フタホシオオノミハムシ	
2534				クビボソトビハムシ	
2535				ナトビハムシ	
2536				サンゴジュハムシ ニレハムシ	
2537 2538				_ レハムシ   ドウガネサルハムシ	+
2539				キボシルリハムシ	
2540				アケビタマノミハムシ	1
2541				キイロタマノミハムシ	1
2542				ルリウスバハムシ	
2543				ヒゲナガウスバハムシ	
2544				クロバヒゲナガハムシ	1
2545				イチモンジカメノコハムシ	
2546				トビサルハムシ	
2547				キカサハラハムシ	
2548				ムナグロナガハムシ	1
2549				アラハダトビハムシ	↓
2550				ガマズミトビハムシ	<b>↓</b>
2551				ヒソハギハムシ	1
2552 2553			ヒゲナガゾウムシ科	シリアカタマノミハムシ スネアカヒゲナガゾウムシ	+
2554			こノノカンクムン付	スペアガビグナガジウムシ   キノコヒゲナガゾウムシ	+
2555				ウスモンツツヒゲナガゾウムシ	<del>1</del>
2556				シロヒゲナガゾウムシ	1
2557				クロフヒゲナガゾウムシ	1
2558			ホソクチゾウムシ科	マメホソクチゾウムシ	
2559				ヒレルホソクチゾウムシ	
2560				アカクチホソクチゾウムシ	
2561			オトシブミ科	ウスモンオトシブミ	
2562				ヒメクロオトシブミ	
2563				ムツモンオトシブミ	1
2564				エゴツルクビオトシブミ	1
2565				コナライクビチョッキリ	<b></b>
2566				ナラルリオトシブミ	1
2567				ハギルリオトシブミ	<del>                                     </del>
2568				カシルリオトシブミ	+
2569				リュイスアシナガオトシブミ	1
2570				アシナガオトシブミ	+
2571 2572			ゾウムシ科	ヒメコプオトシブミ  Acallinus属	+
2572			ノリムシ付	ACATTINUS属  ナカグロカレキゾウムシ	1
2574				ウスモンカレキゾウムシ	+
2575				ナカスジカレキゾウムシ	+
2010				Acicnemis属	+
2576				トゲアシゾウムシ	<del>1                                    </del>
2577				イチゴハナゾウムシ	1
2011		I .	1	111 711 7 7 7 7 7 7	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 34/37)

No.	網名	目名	科名	和名	流入河川
2578	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クワヒメゾウムシ	H15
2579	DO 24/4/3			ホソクチカクシゾウムシ	
2580				ツヤチビヒメゾウムシ	
2581				ダイコンサルゾウムシ	
2582				カナムグラサルゾウムシ	
-				Ceutorhynchus属	
2583				ジュウジコブサルゾウムシ	
2584				セダカシギゾウムシ	
2585				コナラシギゾウムシ	
2586				ジュウジチビシギゾウムシ	
2587				クリシギゾウムシ	
2301					
0500				Curcul io属	
2588				チビクチカクシゾウムシ	
2589				タバゲササラゾウムシ	
2590				ヤナギイネゾウモドキ	
2591				コクロアナアキゾウムシ	
2592				トドマツアナアキゾウムシ	
2593				シロコプゾウムシ	
2594				コフキゾウムシ	
2595				タデサルゾウムシ	
2596				マツアナアキゾウムシ	
2597				サビノコギリゾウムシ	
2598				イネミズゾウムシ	
2599				ハスジカツオゾウムシ	
2600				ウスアオクチブトゾウムシ	
2601				ヒメクロツツキクイゾウムシ	
2602				ネジキトゲムネサルゾウムシ	
2603				ツツジトゲムネサルゾウムシ	
2604				ホホジロアシナガゾウムシ	-
2605				キスジアシナガゾウムシ	
2606				カシアシナガゾウムシ	
2607				クロアシナガゾウムシ	
2608				オジロアシナガゾウムシ	
2609				トゲハラヒラセクモゾウムシ	
2009					
0040				Metialmak	-
2610				カシワクチブトゾウムシ	
				Myllocerus属	
2611				チビヒョウタンゾウムシ	
2612				マツチャイロキクイゾウムシ	
2613				ヒレルクチブトゾウムシ	
2614				リンゴコフキゾウムシ	
2615				コヒゲボソゾウムシ	
2616				ツチイロヒゲボソゾウムシ	
2617				ヒラズネヒゲボソゾウムシ	
2618				リンゴヒゲナガゾウムシ	
2619				ウスイロヒゲボソゾウムシ	
2620				ハダカヒゲボソゾウムシ	
-				Phyllobius属	
2621				スグリゾウムシ	
2622				アラハダクチカクシゾウムシ	
2623				ギシギシクチプトサルゾウムシ	
2624				ムネスジノミゾウムシ	
2024					
				Rhynchaenus属	
2625				キイチゴトゲサルゾウムシ	-
2626				ニセマツノシラホシゾウムシ	
2627				Smicronyx属	
2628				イコマケシツチゾウムシ	
2629			オサゾウムシ科	キクイサビゾウムシ	
2630			L	オオゾウムシ	
2631			キクイムシ科	ネッカコキクイムシ	
<del>-</del>				Cryphalus属	
2632				フィリピンキクイムシ	
2633				ハイマツアトマルキクイムシ	
2634				タブノコキクイムシ	
2635				クワノキクイムシ	
2636				シイノホソキクイムシ	
2637				ハギキクイムシ	
2638				ハンノキキクイムシ	
2639				ザイノキクイムシ亜科	
				キクイムシ科	
2640		ハチ目(膜翅目)	ミフシハバチ科	アカスジチュウレンジ	$\vdash$
2641		/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- / / / / / / / / / / / / / / / / / /	チュウレンジパチ	
2642			L ハバチ科	テュラレンシバテ  セグロカブラハバチ	$\vdash$
			/ 1/ 17	ニホンカプラハバエ	$\vdash$
2643				ニホンカプラハバチ	$\vdash$
2644				クロムネハバチ	$\vdash$
2645				ヒゲナガハバチ	$\vdash \vdash$
2646				クロハバチ	igsquare
2647				アシブトヒゲナガハバチ	
2648				チャイロハバチ	
2649				ルイスアカマルハバチ	
2650				クロイロシマハバチ	
2651				ヒゲナガクロハバチ	
2652				Priophorus属	
2653				トムソンハムグリハバチ	
2654				セマダラハバチ	
2655				オオコシアカハバチ	$\vdash$
2656				サクツクリハバチ	$\vdash$
2657				ザンマイハバチ	$\vdash$
					$\vdash$
2658				ツノキクロハバチ  オメガアオハバチ	$\vdash \vdash$
2659				<b>クル</b>	$\vdash \vdash \vdash$
			E 12 L 12 L 10 - 40	ハバチ科	$\vdash$
2660			クビナガキバチ科	クビナガキバチ科	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 35/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川 H15
2661	昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	コマユバチ科	サクラスカシサムライコマユバチ	піз
2662		(	' ' ' ' ' ' '	モモクロサムライコマユバチ	
2663				アオムシサムライコマユバチ	
2664				クワノメイガサムライコマユバチ	
2665				ブランコサムライコマユバチ	
2666				キタカミキリコマユバチ	
2667				マルバラコマユバチ	
2668				ムナカタコウラコマユバチ	
2669				ヒメコウラコマユバチ	
-				Che I onus属	
2670				ヒメウマノオバチ	
2671				ヒゲナガコマユバチ	
2672				クロヒゲナガコマユバチ	
2673				サラサヒトリハラボソコマユバチ	
2674				クロオオサムライコマユバチ	
2675				タテハオオサムライコマユバチ	
2676				ヨトウオオサムライコマユバチ	
2677				ヨコハママダラコマユバチ	
2678				カモドキバチモドキ	
2679				カモドキバチ	
2680				ヨコハマコマユバチ	
2681				オオアメイロコンボウコマユバチ	
2682				チビキイロコウラコマユバチ	
-				コマユバチ科	
2683			ヒメバチ科	スジコンボウヒメバチ	T
2684			1	クロヒゲフシオナガヒメバチ	
2685				シロテントガリヒメバチ	
2686				イヨヒメバチ	
2687				ハラボソトガリヒメバチ	
2688				エゾフタオヒメバチ	
2689				スギハラチビアメバチ	
2690				シロモンヒラタヒメバチ	
2691				クロモンアメバチ	
2692				ムラサキウスアメバチ	
2693				クロヒラタアプヤドリバチ	
2694				シコクホシアメバチ	
2695				キマダラコシホソトガリヒメパチ	
2696				Habronyx heros	
2697				コンボウアメバチ	
2698				ヒョウモンヒメバチ	
2699				アマヒトリヤドリヒメバチ	
2700				マツケムシヒラタヒメバチ	
2701				アオムシヒラタヒメバチ	
2702				Megarhyssa属	
2703				ツバメシジミセアカヒメバチ	
2704				タカオウスグロアメバチ	
2705				ツマグロケンヒメバチ	
2706				シラホシオナガバチ	
2707				エゾフタオマルヒメバチ	
-				ヒメバチ科	
2708			カギバラバチ科	キスジセアカカギバラバチ	
2709			ヒゲナガクロバチ科	ヒゲナガクロバチ科	
2710			コンボウヤセバチ科	コンボウヤセバチ	
2711			ハエヤドリクロバチ科	八エヤドリクロバチ科	
2712			ハラビロクロバチ科	Inostemma属	
-				ハラビロクロバチ科	
2713			シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	——
2714			クシヅメクロバチ科	クシヅメクロバチ科	<b></b>
2715			イシハラクロバチ科	イシハラクロバチ科	<b>↓</b>
2716			タマゴクロバチ科	ズイムシクロタマゴバチ	Ь——
2717				ギフクロタマゴバチ	L
-				タマゴクロバチ科	<b></b>
2718			オオモンクロバチ科	オオモンクロバチ科	
2719			ツヤコバチ科	ツヤコバチ科	<b>├</b>
2720			アシブトコバチ科	キアシブトコバチ	<del>                                     </del>
0704			L ビコバエエN	アシブトコバチ科	<b>├</b>
2721			トビコバチ科	トビコバチ科	<b>↓</b>
2722			アリヤドリコバチ科	アリヤドリコバチ科	<del>                                     </del>
2723			ヒメコバチ科	ヒメコバチ科	<del>                                     </del>
2724			ナガコバチ科	マツケムシハネミジカタマゴバチ	+
0705			カカビロコパイヤ	ナガコバチ科	<b>├</b>
2725			カタビロコバチ科	カタビロコバチ科	<del>                                     </del>
2726			コガネコバチ科	コガネコバチ科	+
2727			オナガコバチ科	オナガアシブトコバチ	<del>                                     </del>
2700			カフプラバイジ	オナガコバチ科	<del>                                     </del>
2728			タマゴコバチ科	タマゴコバチ科	+
2729 2730			ホソハネコバチ科	ホソハネコバチ科	<del>                                     </del>
			ヤドリタマバチ科	ヤドリタマバチ科	<del></del>
2731			ツヤヤドリタマバチ科	ツヤヤドリタマバチ科	$\vdash$
2732			カノボウジ	コバチ上科	<del>                                     </del>
2733			セイボウ科	セイボウ科   ノコギリハリアリ	+
2734			アリ科		<del>                                     </del>
2735				アシナガアリ	+
2736				ヤマトアシナガアリ	<b>├</b>
2737				オオハリアリ	<del></del>
2738				ニシムネアカオオアリ	
2739				イトウオオアリ	L
2740				クロオオアリ	
2741				ミカドオオアリ	
2742				ナワヨツボシオオアリ	
2743				ヒラズオオアリ	
2744			1	ムネアカオオアリ	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 36/37)

No.	綱名	目名	科名	<sub>12</sub> 13 23/2 1 00/07/	流入河川
	昆虫綱		アリ科	「ウメマツオオアリ	H15
2745	比以們	ハチ目(膜翅目)	J 1) 14	ヤマヨツボシオオアリ	
2747				ツチクビレハリアリ	
2748				ツヤシリアゲアリ	
2749 2750				ハリブトシリアゲアリ キイロシリアゲアリ	
2751				テラニシシリアゲアリ	-
2752				トビイロシリアゲアリ	
2753				メクラハリアリ	
2754				ハヤシクロヤマアリ	
2755 2756				クロヤマアリ アカヤマアリ	
2757				ツヤクロヤマアリ	
2758				シベリアカタアリ	
2759				ルリアリ	
2760 2761				フシボソクサアリ クロクサアリ	
2762				ハヤシケアリ	
2763				トビイロケアリ	
2764 2765				クサアリモドキ アメイロケアリ	-
2766				ヒメムネボソアリ	
2767				ハリナガムネボソアリ	
2768				ハヤシムネボソアリ	
2769 2770				ミゾガシラアリ ヒメアリ	
2771				キイロヒメアリ	
2772				カドフシアリ	
2773				シワクシケアリ	
2774 2775				アメイロアリ   サクラアリ	<b>—</b>
- 2115				Paratrechina属	
2776				ヒラタウロコアリ	
2777				アズマオオズアリ	
2778 2779				オオズアリ  サムライアリ	
2780				トゲアリ	
2781				ヒメハリアリ	
2782 2783				アミメアリ   トフシアリ	
2784				メクラナガアリ	
2785				ウロコアリ	
-				Strumigenys属	
2786 2787				<u>ヒラフシアリ</u> オオシワアリ	
2788				トピイロシワアリ	
2789				ウメマツアリ	
2790				ハリアリ亜科	
2791 2792				フタフシアリ亜科 ヤマアリ亜科	-
-				アリ科	
2793			ドロバチ科	オオフタオビドロバチ本土亜種	
2794 2795				ミカドトックリバチ キアシトックリバチ	
2796				ムモントックリバチ	
2797				<b>サムライトックリバチ</b>	
2798 2799				ミカドドロバチ スズバチ	
2800				カバフドロバチ	
2801			スズメバチ科	ムモンホソアシナガバチ	
2802				トウヨウホソアシナガバチ	
2803 2804				セグロアシナガバチ ヤマトアシナガバチ	$\vdash$
2805				キボシアシナガバチ	
2806				コアシナガバチ	
2807 2808				コガタスズメバチ   オオスズメバチ	
2809				キイロスズメバチ	
2810				ヒメスズメバチ	
2811				クロスズメバチ	
2812				スズメバチ スズメバチ科	$\vdash$
2813			ベッコウバチ科	アケボノベッコウ	
2814				オオモンクロベッコウ	
2815				ヒラカタベッコウ	
2816 2817				ヒメベッコウ スギハラベッコウ	<del>                                     </del>
2818				ペレエヒゲベッコウ	
2819				キバネトゲアシベッコウ	
2820			アリバチ科	ベッコウバチ科  アリバチモドキ	<del>                                     </del>
- 2020			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	アリバチ科	
2821			コツチバチ科	Tiphia属	
2822			ツチバチ科	ヒメハラナガツチバチ	
2823 2824				キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ	<del>                                     </del>
2825				オオハラナガツチバチ	
2826				キオビツチバチ	
2827			アナバチ科	サトジガバチ Ammonbilo屋	
2828				Ammophila属 ミカドジガバチ	
2829				コクロアナバチ	
2830				Rhopa I um属	
2831				クロアナバチ	
2832 2833				オオハヤバチ ジガバチモドキ	<del>                                     </del>
2834				ヒメコシボソバチ亜科	

表 6.6-17 流入河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 37/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	流入河川
					H15
2835	昆虫綱	ハチ目 (膜翅目)	アナバチ科	ドロパチモドキ亜科	
2836				ギングチバチ亜科	
2837			ヒメハナバチ科	アブラナマメヒメハナバチ	
2838				キバナヒメハナバチ	
2839				ミカドヒメハナバチ	
2840				ムネアカハラビロヒメハナバチ	
2841				ウツギヒメハナバチ	
-				Andrena属	
2842			コシブトハナバチ科	スジボソコシブトハナバチ	
2843				ヤマトツヤハナバチ	
-				Ceratina属	
2844				Nomada属	
2845				ミツクリヒゲナガハナバチ	
2846			ミツバチ科	ニッポンヒゲナガハナバチ	
2847				クマバチ	
2848				ニホンミツバチ	
2849				コマルハナバチ	
2850				トラマルハナバチ	
-				Bombus属	
2851			ムカシハナバチ科	アシブトムカシハナバチ	
-				Colletes属	
2852				ヅグロチビムカシハナバチ	
2853				ヒメチビムカシハナバチ	
2854			コハナバチ科	アカガネコハナバチ	
-				Halictus属	
	昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ヅマルコハナバチ	
2856				ツヤハラナガコハナバチ	
-				Lasioglossum属	
-				コハナバチ科	
2857			ハキリバチ科	オオハキリバチ	
2858				キバラハキリバチ	
-				ハチ目	
		2綱24目	目406科2858種		396種

(下流河川確認種リスト)

表 6.6-18 下流河川確認種リスト(魚類)

No.	綱名	了。 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		種名	下	流河	Ш
				和名	Н8	H13	H19
	硬骨魚綱	コイ目	コイ科	コイ			
2				ゲンゴロウブナ			
3				ギンブナ			
4				ニゴロブナ			
5				オオキンブナ			
-				フナ属			
6				ワタカ			
7				ハス			
8				オイカワ			
9				カワムツ			
10				モツゴ			
11				タモロコ			
12				ホンモロコ			
13				カマツカ			
14				コウライニゴイ			
15				ニゴイ			
-				ニゴイ属			
16				スゴモロコ			
17				コウライモロコ			
-				スゴモロコ属			
18			ドジョウ科	ドジョウ			
19		ナマズ目	ナマズ科	ナマズ			
20			ギギ科	ギギ			
21		サケ目	サケ科	アマゴ			
22			アユ科	アユ			
23		ダツ目	メダカ科	メダカ			
24		タウナギ目	タウナギ科	タウナギ			
25		スズキ目	ハゼ科	スミウキゴリ			
26				ウキゴリ			
27				トウヨシノボリ			
28				カワヨシノボリ			
-				ヨシノボリ属			
29				ヌマチチブ			
30			サンフィッシュ科	ブルーギル			
31				オオクチバス (ブラックバス)			
			4/90 C 401 041 5		10種	8種	12種
			1綱6目10科31種			16種	'

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-19 下流河川確認種リスト(エビ・カニ・貝類)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流	河川
					Н8	H13
1	マキガイ綱(腹足綱)	ニナ目(中腹足目)	タニシ科	オオタニシ		
2				ヒメタニシ		
3			カワニナ科	カワニナ		
4				チリメンカワニナ		
5		モノアラガイ目 (基眼目)	モノアラガイ科	モノアラガイ		
6	ニマイガイ綱(二枚貝綱)	ハマグリ目(マルスダレガイ目)	シジミ科	マシジミ		
7	甲殼綱	エビ目(十脚目)	テナガエビ科	テナガエビ		
8				スジエビ		
9			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ		
10			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		
11			サワガニ科	サワガニ		
		3綱4目8科11種	_	_	7種	7種
					87	種

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.表中の数は、個体数を示す。

表 6.6-20 下流河川確認種リスト(底生動物 : 1/5)

1-	<b>4</b> 2 <b>4</b> 7		N 67	<b>任</b> 权	下	た 河ノ	/11
No.	綱名	目名	科名	<b>種名</b>	H5 H7		
1	普通海綿網	  ザラカイメン目(単骨海綿目)	<u></u> タンスイカイメン科	ヨワカイメン	110   117	114	/
-				タンスイカイメン科			
	ヒドロ虫綱	無鞘目(花クラゲ目)	ヒドラ科	ヒドラ科			
3	ウズムシ綱(渦虫綱)	ウズムシ目 (三岐腸目)	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	-		
-			-	ウズムシ目(三岐腸目)			
-			-	ウズムシ網(渦虫網)	$\overline{}$	$\rightarrow$	
4		-	-	ひも(紐)形動物門		$\rightarrow$	
5		-		線形動物門		_	
6	マキガイ綱(腹足綱)	ニナ目(中腹足目)	タニシ科	オオタニシ		_	
			+ n = + N	ヒメタニシ		$\rightarrow$	_
9			カワニナ科	カワニナ チリメンカワニナ		-	
9						+	_
10	-	モノアラガイ目(基眼目)	カワコザラガイ科	Semisulcospira属 カワコザラガイ	-	$\rightarrow$	
11		[こググラガイ日(基取日)	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	<del>-        </del>	-+	_
12			277 2751 14	コシダカヒメモノアラガイ		-	_
13				Radix属		-	_
-	1			モノアラガイ科		_	_
14			サカマキガイ科	サカマキガイ			_
15			ヒラマキガイ科 (+インドヒラマキ				_
16				ヒラマキガイモドキ			_
	ニマイガイ網(二枚貝網)	イシガイ目	イシガイ科	ドブガイ(タガイ、ヌマガイ)		$\neg$	_
18		マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ			_
-		1		Corbicula属		$\Box$	_
19			マメシジミ科	Pisidium属			_
20			ドブシジミ科	ドブシジミ			
	ミミズ綱(貧毛綱)	オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	オヨギミミズ科			
22		ナガミミズ目	ビワミミズ科	ヤマトヒモミミズ	$\Box$	$\Box$	
23			ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	$oldsymbol{oldsymbol{\sqcup}}$	[	
24		1	ナガミミズ科	ナガミミズ科	-		
25			ツリミミズ科	Allolobophora属	$\longrightarrow$	_	_
-			-1	ツリミミズ科		_	
26			フトミミズ科	Pheret ima属	$\longrightarrow$	$\dashv$	
-				フトミミズ科	$\longrightarrow$	$\dashv$	
27			ミズミミズ科	Chaetogaster属		_	_
28				Dero属		_	_
29				Nais属		$\rightarrow$	_
30 31				0phidonais属		$\rightarrow$	
				Slavina属		-	_
32				テングミズミミズ Stylaria属		$\rightarrow$	_
÷				ミズミミズ科		-+	_
33			イトミミズ科	エラミミズ		-	_
34			11 211	ユリミミズ		-	_
<del>-</del>				Limnodrilus属	<del></del>	-	_
35				イトミミズ		-	_
-				Tub i fex属	-	-	_
-				イトミミズ科		_	_
36			ヒモミミズ科	ヒモミミズ科		-	_
-			-	ナガミミズ目			_
-		-	-	ミミズ綱			_
37	ヒル綱	ノドビル目(咽蛭目)	イシビル科	ナミイシビル			_
-				イシビル科			
	クモ綱 (蛛形綱)	ダニ目	-	ダニ目			
39	甲殼綱	ワラジムシ目 (等脚目)	ミズムシ科	ミズムシ		$\perp$	
-				ミズムシ科	$oldsymbol{\bot}oldsymbol{\bot}oldsymbol{\bot}$	$\perp \downarrow$	
10		ヨコエビ目(端脚目)	ハマトビムシ科	ハマトビムシ科	$\longrightarrow$	_	_
11		エビ目(十脚目)	テナガエビ科	テナガエビ	$\longrightarrow$	$\dashv$	_
12			771144114-51	スジエビ	$\longrightarrow$	-	
13			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	$\longrightarrow$	+	_
14		カゲロウロ(極端ロ)	サワガニ科	サワガニ	$\longrightarrow$	+	_
<del>ر</del> ت	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ Ameletus属	<del>-      </del>	$\dashv$	
- 16			コカゲロウ科	AMETERUS属 ミツオミジカオフタバコカゲロウ	<del>-      </del>	+	_
₽0 17			コルプロジ行	ミジカオフタバコカグロウ	<del>-      </del>	+	_
+ <i>1</i>				フタバコカゲロウ	<del></del>	+	_
<i>د.</i>				フタバコガケロウ Baetiella属		+	_
- 19				トビイロコカゲロウ	<del>-      </del>	$\dashv$	_
50				サホコカゲロウ	-	+	_
51				フタモンコカゲロウ	-	-+	
52				シロハラコカゲロウ	<del>-      </del>	$\dashv$	_
3				ヤマトコカゲロウ	<del>-      </del>	+	_
4				ヨシノコカゲロウ		$\rightarrow$	_
55				D コカゲロウ	<del>-      </del>	$\dashv$	_
56				Eコカゲロウ		$\dashv$	_
57				Gコカゲロウ	<del></del>	$\dashv$	_
58				Hコカゲロウ		$\dashv$	_
59				I コカゲロウ		$\neg$ t	_
30				J コカゲロウ		$\Box$ †	_
-	1			Baetis属		$\neg$	_
31	1			Cloeon属		十	_
32				ウスイロフトヒゲコカゲロウ		$\Box$ †	_
63				Procloeon属			_
64			ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ		$\neg$	_
65			フタオカゲロウ科	Siphlonurus属			_
66			ヒラタカゲロウ科	オビカゲロウ		$\Box$	_
37				Cinygmula属			_
"		1		キブネタニガワカゲロウ			_
68				<u> </u>			

表 6.6-20 下流河川確認種リスト(底生動物 : 2/5)

No.	網名	目名	科名	種名	не		流河/ H12	
70	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	  ヒメフタオカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	Поп	п/	ПІЗІІ	пі/іг
-	EB JAM9	(ATAILL)	2777337174	Ecdyonurus属	+	_		-
71				ウエノヒラタカゲロウ	$\dashv$	_	$\vdash$	-
72				ナミヒラタカゲロウ	-	_		-+
73				エルモンヒラタカゲロウ	+	_	$\vdash$	-+
74				ユミモンヒラタカゲロウ	-	_	$\vdash$	-+
					-		$\vdash$	-+
-				Epeorus属	-		$\vdash$	_
75				キョウトキハダヒラタカゲロウ	-	_	$\perp$	
76				サツキヒメヒラタカゲロウ			ш	
77			チラカゲロウ科	チラカゲロウ				
78			トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ				
79				ウエストントビイロカゲロウ				
-				Paraleptophlebia属		_		
80			トビイロカゲロウ科	Thraulus属		_		$\neg$
81			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	-	_	$\vdash$	-
82			22/37 11 244	トウヨウモンカゲロウ	+	_	$\vdash$	-
					-	_	$\vdash$	-+
83			N. 다. 스마뉴 블 디스티	モンカゲロウ	-	_	$\vdash$	-+
84			シロイロカゲロウ科	オオシロカゲロウ	_		$\vdash$	_
85			カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	-		ш	_
86			マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ	$\perp$		$\sqcup$	_
87				オオクママダラカゲロウ				
-				Cincticostella属				
88				オオマダラカゲロウ			ШΤ	T
89				ヨシノマダラカゲロウ				
90				シリナガマダラカゲロウ		_		
91				ツノマダラカゲロウ	$\neg$	_	$\vdash$	$\dashv$
92				ホソバマダラカゲロウ	$\dashv$	_	$\vdash$	+
93				イマニシマダラカゲロウ	+	_	$\vdash$	+
					+	_	$\vdash$	+
94				クシゲマダラカゲロウ	$\dashv$		$\vdash$	$\dashv$
-				Ephemerella	$-\!$	_	$\vdash$	-
95				エラブタマダラカゲロウ		_	$\sqcup$	
96				アカマダラカゲロウ		_	$\sqcup$	
97			ヒメシロカゲロウ科	Caenis属				
98		トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	Cercion属				
99				アジアイトトンボ		_		
				Ischnura属				
-				イトトンボ科	-	_		-
100			カワトンボ科	ハグロトンボ	-	_	$\vdash$	_
			33 1 2 MAT		-	_	$\vdash$	-+
101				ミヤマカワトンボ	-	_	$\vdash$	-
				Calopteryx属	-		$\vdash$	_
102				アサヒナカワトンボ	-	_	$\vdash$	
103				ニホンカワトンボ	$\perp$		$\sqcup$	
-				Mnais属				
104			ムカシトンボ科	ムカシトンボ				
105			ヤンマ科	マルタンヤンマ				
106				ギンヤンマ	$\neg$			
107				コシボソヤンマ	$\neg$	_		
108				ミルンヤンマ	-	_	$\vdash$	-
100			サナエトンボ科	ミヤマサナエ	+	_	$\vdash$	-+
			りノエトンが料		-	_	$\vdash$	-+
110				ヤマサナエ	-		$\vdash$	_
111				キイロサナエ	-		$\vdash$	_
-				As i agomphus属				
112				クロサナエ				
113				ダビドサナエ				
-				Davidius属				
114				ホンサナエ	$\neg$	_		$\neg$
115				アオサナエ	$\neg$	_	$\vdash$	$\dashv$
116				オナガサナエ	$\dashv$	_	$\vdash$	-+
117				コオニヤンマ	+	_	$\vdash$	-+
					$\dashv$	_	$\vdash$	+
118				オジロサナエ	$\dashv$		$\vdash$	+
4 4 4				サナエトンボ科	-	_	$\vdash$	$\rightarrow$
119			オニヤンマ科	オニヤンマ	$\dashv$	_	$\vdash$	_
120			エゾトンボ科	オオヤマトンボ	$\dashv$	_	$\sqcup$	_
121				コヤマトンボ	$\perp$		$\perp \perp$	
-				エゾトンボ科			L∏	
122			トンボ科	ショウジョウトンボ				П
123				シオカラトンボ	$\neg$	_		$\neg$
124				オオシオカラトンボ	$\neg$	_		$\neg$
125				コシアキトンボ	$\dashv$	_	$\vdash$	$\dashv$
126				マイコアカネ	+	_	$\vdash$	+
120					+	_	$\vdash$	+
407		104=0 (++***0 )	クロカワゲラ科	Sympetrum属	+	_	$\vdash$	+
127		カワゲラ目(セキ翅目)		クロカワゲラ科	-		$\vdash$	$\rightarrow$
128			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	$-\!\!\!\!\!-$	_	$\sqcup$	$\rightarrow$
129			ハラジロオナシカワゲラ科	ハラジロオナシカワゲラ科	$oldsymbol{\perp}$		$\perp \perp$	
130			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	┸		┙	[
				Nemoura属			L_T	
131				オナシカワゲラ科				
			ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	$\neg$			$\neg$
			カワゲラ科	Gibosia属	$\neg$	_		$\neg$
131 - 132				Kamimuria属	$\dashv$	_	$\vdash$	-+
131 - 132 133		i .			+		$\vdash$	+
131 - 132 133 134			i i	マエキフタツメカワゲラモドキ	+		$\vdash$	+
131 - 132 133								- 1
131 - 132 133 134 135				Kiotina属	-		$\vdash$	+
131 - 132 133 134				ヤマトフタツメカワゲラ	丗		$\exists$	
131 - 132 133 134 135 - 136				ヤマトフタツメカワゲラ Neoperla属		_		_
131 - 132 133 134 135				ヤマトフタツメカワゲラ		_		
131 - 132 133 134 135 - 136 -				ヤマトフタツメカワゲラ Neoperla属 ヤマトカワゲラ		_ _		
131 - 132 133 134 135 - 136 - 137				ヤマトフタツメカワゲラ Neoperla属 ヤマトカワゲラ Oyamia属				=
131 - 132 133 134 135 - 136 -				ヤマトフタツメカワゲラ Neoperla属 ヤマトカワゲラ				

表 6.6-20 下流河川確認種リスト(底生動物 : 3/5)

No.	綱名	目名	科名	種名		下	流河	Ш	
					H5	H7	H12	H17	7 H
	昆虫綱	カワゲラ目(セキ翅目)	アミメカワゲラ科	Isoperla属		匚	匚		Ī
142				Ost rovus属		╙	▙	╙	+
143				Stavsolus属		-	₩	├	+
144		カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	アミメカワゲラ科 アメンポ		$\vdash$	₩	$\vdash$	+
144		パクムノロ(十四日)	ノハノハヤイ	コセアカアメンボ	-	$\vdash$	+	H	+
146				ヒメアメンボ		-	_		+
147				シマアメンボ			<del>                                     </del>		t
-				アメンボ亜科		-	$\vdash$		T
-				アメンボ科					Т
148			ミズムシ科	Micronecta属					I
149				コミズムシ					Ι
-				Sigara属				1	L
150			コオイムシ科	コオイムシ		$\vdash$	₩	₩	¥
151			タイコウチ科	オオコオイムシ		-	₩	$\vdash$	+
152			タイコリチ科	タイコウチ ミズカマキリ	$ \vdash$	-	₩	$\vdash$	+
153 154			ナベブタムシ科	ナベブタムシ	_	-	+	├-	+
155			マツモムシ科	マツモムシ		-	$\vdash$	$\vdash$	+
156		アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヘビトンボ科	クロスジヘビトンボ	_	-	$\vdash$		t
-		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		Parachauliodes属		$\vdash$			t
157				ヘビトンボ					T
158			ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科					Τ
159			ミズカゲロウ科	ミズカゲロウ					Ι
160		トピケラ目(毛翅目)	ムネカクトビケラ科	Ecnomus属		$\perp$	$\vdash$	$\Box$	1
161			カワトビケラ科	Do l oph i l odes属		$\vdash$	₩	Щ	4
162	1	アミメカゲロウ目(脈翅目)	ミズカゲロウ科	Wormaldia kWA	$-\!$	<del></del>	+	$\vdash$	+
163			イワトビケラ科	Plectrocnemia属	-	$\vdash$	+-	$\vdash$	+
164			クダトビケラ科	Psychomyia属 クダトピケラ科	$-\vdash$	$\vdash$	+-	H	+
165	1		ヒゲナガカワトピケラ科	クタトピクラ科   ヒゲナガカワトビケラ	-	$\vdash$	+	H	+
166				チャパネヒゲナガカワトピケラ	-	$\vdash$	$\vdash$		+
167			キブネクダトビケラ科	キブネクダトピケラ	-	$\vdash$	$\vdash$		+
168			ヤマトビケラ科	Agapetus属		Т			T
169				イノプスヤマトビケラ					Ι
				Glossosoma属					Ι
-				ヤマトビケラ科		<u> </u>	╙	<u> </u>	┸
170			ツメナガナガレトピケラ科	ツメナガナガレトビケラ		Ь.	Ь.	Щ.	1
171			ヒメトビケラ科	Hydropti la属		$\vdash$	┷	₩	1
172			ナガレトビケラ科	ヒロアタマナガレトビケラ		-	₩	├-	$^{+}$
173 174				クレメンスナガレトビケラ カロケラナガレトビケラ		_	+	$\vdash$	+
175				カワムラナガレトビケラ キソナガレトビケラ		$\vdash$	₩	$\vdash$	+
176				レゼイナガレトビケラ		$\vdash$	╁	<u> </u>	$^{+}$
177				ムナグロナガレトビケラ		-	<del>                                     </del>		+
178				シコツナガレトビケラ	_	-	1		t
179				トランスクィラナガレトピケラ		-	-		Ť
180				ヤマナカナガレトビケラ					T
181				Rhyacophila sp.RA					T
182				Rhyacophila sp.RK					
-				Rhyacoph i la属		_	╙	ш	1
183			コエグリトピケラ科	Apatania, E		ـــــ	₩	₩	4
184			カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ		⊢	₩	—	+
185				ウエノマルツツトビケラ Micrasema属		⊢	₩	⊢	+
186			アシエダトピケラ科	Anisocentropus属	_	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+
187			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ		$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	t
188			カクツツトビケラ科	コカクツツトピケラ	_	-	+		t
-			337371 27311	Lepidostoma属		-	-		†
189			ヒゲナガトピケラ科	Ceraclea属		T	T		t
190				Leptocerus属			Γ		1
191			1	Mystacides属					Ī
92			1	Oecetis属		匚	ட	ட	I
193			1	Setodes属		ட	Ļ	┙	1
194			1	Triaenodes属	$\perp$	$\vdash$	$\vdash$	$\Box$	1
-			T RUL 125-19	ヒゲナガトビケラ科	$-\!$	₩	₩	⊢	1
95			エグリトビケラ科	トピイロトピケラ	$-\!$	<del></del>	$\vdash$	<del></del>	4
96 97			マルバネトビケラ科	Phryganopsyche属	-	$\vdash$	+	<del>-</del>	+
9/			ケトビケラ科	グマガトビケラ Gumana属		$\vdash$	+-		+
98			シマトピケラ科	Gumaga属 コガタシマトビケラ	-+	$\vdash$	$\vdash$	$\vdash$	+
99			2 X 1 C 2 2 14	ナミコガタシマトピケラ	-	$\vdash$	+	H	+
-				Cheumatopsyche属	-	$\vdash$	+		†
00				Diplectrona属		$\vdash$	t		†
201	1			オオヤマシマトビケラ		П	П		†
202				ギフシマトビケラ					Ī
203				ウルマーシマトビケラ		$\vdash$	$\vdash$	匚	_[
04				ナカハラシマトビケラ		$\perp$	$\perp$	ட	_[
205				Hydropsyche属HB		$\vdash$	₩	$\vdash$	4
-			1	Hydropsyche属		$\vdash$	₩	$\vdash$	+
06			1	オオシマトビケラ	$-\!$	$\vdash$		$\vdash$	+
207			<u> </u>	エチゴシマトビケラ	-	$\vdash$	+	$\vdash$	+
- 08		チョウ目(鱗翅目)	ットガ科	トピケラ目 (毛翅目) キオピミズメイガ	-	$\vdash$	+-	<del></del>	+
08		ノコンロ(桝型日)	メイガ科	メイガ科	-	$\vdash$	+	H	+
210		八工目(双翅目)	ガガンボ科	トイカ科   ヒメウスパガガンボ	-	+	+		+
- 10		ハエロ(从四日)	カルノ かft	E メリスパカカラホ Antocha属	-	$\vdash$	+	$\vdash$	+
211			1	Antocna属 Dicranota属	-	$\vdash$	$\vdash$	H	+
212			1	Eriocera属	-	+	+		+
	昆虫綱	八工目(双翅目)	ガガンボ科	Hexatoma属EB	-	$\vdash$	T	H	+
214	DO LAMO	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		Hexatoma属ED	-	+	+		+
- 14				Hexa toma属	-+	$\vdash$	+		+
215			1	Limnophila属	-	+	<del>                                     </del>	H	+
			1	Pilaria属	-	$\vdash$	$\vdash$		+
216					-	+	+	$\overline{}$	+
				Scleroprocta属		1			1

表 6.6-20 下流河川確認種リスト(底生動物 : 4/5)

No.	綱名	目名	科名	種名			ト流 河		
					Н5	H7	H12	2 H17	7 H2
219	昆虫綱	八工目(双翅目)		Tipula属TC	—		╄	₩	4
				Tipula属 ガガンボ亜科	+	$\vdash$	+	+	+
_				ガガンボ科	+	$\vdash$	+	+	+
220			チョウバエ科	チョウバエ科	1		$^{+}$	$\top$	$^{+}$
221			ヌカカ科	ヌカカ科			T		T
222			ユスリカ科	Ablabesmyia longistyla					$\perp$
-				Ablabesmyia属	┸		Ц.	Ц.	$\perp$
223				Anatopynia属AA	╄	╄	+	+	+
224				Brillia属BC	┿	-	+	+-	+
225				Brillia属 Calopsectra属CA	╁		+	+-	+
225				Calopsectra属CA Calopsectra属	+	$\vdash$	+	+	+
226				Cardiocladius属CF	+		+	+	+
-				Cardiocladius属	1		T	T	$^{+}$
227				Chironomus bathophilus	L				$oxed{oxed}$
228				フチグロユスリカ	╨		╄	╄	+
229				Chironomus strenzkei	₩	-	+	+-	+
230				セスジュスリカ Chironomus属	╆		+	+	+
231				Cladotanytarsus属	+	$\vdash$	+	+	+
232				Conchape I op i a属	+	t	+	+	+
233				Corynoneura属	1		T		$\top$
234				Cricotopus属CN					L
235				Cryptochi ronomus属BC	┷		₩	_	+
236				Cryptochironomus属DC	╨	-	╄	┿	+
237				Cryptochironomus属 Demicryptochironomus属	+	1	+	+	+
238				Diamesa属GA	+	1	+	+	+
239				Diamesa属GC	1		+	+	+
240				Diamesa属PB-3	1		T	T	$\perp$
241				Dicrotendipes属	$oldsymbol{\perp}$		上		I
242				Einfeldia属EA	<b>↓</b>	1	匸	匸	工
243				Einfeldia属EB	+	-	+	+	+
244				Einfeldia属 Eukiefferiella属ED	+	1	+	+	+
244				Fissimentum属FA	+		+	+	+
246				Glyptotendipes属	+		+	+	+
247				Heterotrissocladius属EC	1	Т	+	$\top$	$^{+}$
-				Heterotrissocladius属	1		T	T	Т
248				Hydrobaenus属	L		oxdot		T
249				Limnophyes属	┸		1	<u> </u>	
250				Macropelopia属	╨	-	╄	+	+
251 252				Micropsectra属 Microtendipes属MA	+		+	+	+
253				Microtendipes@MB	+	$\vdash$	+	+	+
-				Microtendipes属	+		+	+	+
254				Neobrillia属			T	T	T
255				Orthocladius属CA	1				T
256				Orthocladius属CC			L		I
-				Orthocladius属	┸		Щ.	Щ.	$\perp$
257				Pagastia属	╄	-	╄	+	+
258				Pantaneura KFA	+	$\vdash$	₩	┿	+
259 260				Paracladopelma属 Paratendipes属PB	╁		+	+-	+
200				Paratendipes属FB	+	$\vdash$	+	+	+
261				Polypedilum属PA	+	$\vdash$	+	+	+
262				Polypedilum属PD	1	Т	+	$\top$	+
263				Polypedilum属PE					T
-				Polypedilum属			Ш.	Ш.	
264				Potthastia属	┷		╄	╄	_
265				Procladius属PA	+	$\vdash$	+	+	+
266				Procladius属PB Procladius属	+	$\vdash$	+	+	+
267				Psectrocladius属	+	+	+	+	+
268				Rheocricotopus属RB	1		T	$\top$	$\dagger$
269				Rheocricotopus属RE			I	I	Ι
-				Rheocricotopus属	厂		匚	厂	Г
270				Rheotanytarsus属	+	1	+	+	+
271				Stempellinella属	+	-	+	+	+
272 273				Stenochironomus属 Stictochironomus属SA	+	+	+	+	+
274				Stictochironomus属SC	+	1	+	+	+
-,4				Stictochironomus属	1		+	+	+
275				Tanytarsus (EM)	J	L	I	I	J
-				Tanytarsus属	I		oxdot	$\perp$	T
276				Thienemanniella属			Ī	Ľ	Ţ
277				Tvetenia属	1		$\perp$	$\perp$	4
-				モンユスリカ亜科	+	-	+	+	+
-				エリユスリカ亜科 コスリカ亜科	+	$\vdash$	+	+	+
-				コスリカ亜科 コスリカ科	+	1	+	+	+
278			力科	Culex属	T		$^{+}$	+	+
279				ハマダラカ亜科	1		T	$\top$	T
280			ホソカ科	Dixa属	1		Ι	Ι	I
				ホソカ科	厂		匚	F	I
281			プユ科	Prosimulium属	4	$\perp$	$\perp$	$\perp$	4
282				キアシツメトゲブユ	₩	1	+	+	4
200			ナガレマゴ科	Simulium属 ハフダラナガレマブ	+	-	+	+	+
283			ナガレアプ科	ハマダラナガレアブ	+	+	+	+	+
284 285				コモンナガレアブ クロモンナガレアブ	+	$\vdash$	+	+	+
200				ナガレアブ科	+		+	+	+
286			ミズアブ科	ミズアブ科	+	1	+	+	+
287			アシナガバエ科	アシナガバエ科	1		$\top$	$\top$	+
288			オドリバエ科	オドリバエ科	1	L	1	1	J
289			ミギワバエ科	ミギワバエ科	L		L	L	Ι
203				八工目					

表 6.6-20 下流河川確認種リスト(底生動物 : 5/5)

No. 網名 目名 科名 種名 種名					,					
15	No.	綱名	目名	科名	種名		下	流河	IJI	
290   昆虫螺   コウチュウ目(鞘翅目)		M3 II		1110	1= 1	H5	H7	H12	H17	Н2
マスゲンゴロウ	290	昆中綱	コウチュウ日(鞘翅日)	ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ	1	T	1		
タロゲンゴロウ		ED TIMES	コンノコンロ(新起ロ)	7 2 4 4 7 1 7 1 7 1 7 1		╁				Н
シマゲンゴロウ	_					$\vdash$	-	-		Н
コンマがンゴロウ						╁	-	-		Н
タングンゴロウ						+-	$\vdash$			Н
モンキマメゲンゴロウ						+-	$\vdash$	1		Н
Exがプロウ亜科						╁	-		_	Н
EXグンゴロウ亜科						$\vdash$	-	-	-	Н
プンゴロの亜科	297					₩	_			H
サンゴロウ科						⊢	-	-	-	H
グルマガムシ科   グルマガムシ科   ブルンシ   1	-					<u> </u>	_			L
### 15   15   15   15   15   15   15   1	-					ـــــ	_			L
カムシ   フルバナノミ科   Elodes属   フルバナノミ科   Elodes属   フルバナノミ科   Elodes属   フルバナノミ科   Elodes属   フルバナノミ科   Elodes属   フルバナノミ科   Elodes属   フルバナノミ科   フルバナノミ科   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガロンシー   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガドロムシ   ファンナガンカン科   ファンナガンオース   ファンナガンオース   ファンナガンナノミ   ファンナガンオース   ファンオガンオース   ファンオガンオース   ファンオガンカンド   ファンオブ・ファンオガンカンド   ファンオブ・ファンカンシ   ファンオブ・ファンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカンカ						ـــــ	_			L
Eメガムシ ガムシ科				ガムシ科		<u> </u>				
カムシ科						_				L
マルハナノミ科   Elodes属	301					<u> </u>				
Hydrocyphon属	-									
マルハナノミ科	302			マルハナノミ科	Elodes属					
Eメドロムシ科   ウヤナガアシドロムシ   1   1   1   1   1   1   1   1   1	303				Hydrocyphon属					Г
100   10					マルハナノミ科					Г
306   307   307   308   309   309   310   2   2   2   2   2   2   2   2   2	304			ヒメドロムシ科	ツヤナガアシドロムシ	T				Г
イブシアシナガドロムシ	305				ツヤヒメドロムシ					Г
イブシアシナガドロムシ	306				ゴトウミゾドロムシ	t				Г
Zaitzevia属	307					T				Г
マルヒメツヤドロムシ	308					t				Г
マルヒメツヤドロムシ	309				ホソヒメツヤドロムシ	1	-			Г
						t				Т
ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ科   ヒラタドロムシ   ヒステンコケムシ科   ナガハナノミ科   ナガハナノミ科   ナガハナノミ科   ナガハナノミ科   ナカバカンシ科   ナカバカンシ科   ドマミドロコケムシ科   ドマミドロコケムシ科   ドマミドロコケムシ科   ドマミドロコケムシ   ヒラマンロケムシ科   ドマミドロコケムシ科   ドマミドロコケムシ科   ドマミドロコケムシ科   ドマミドロコケムシ科   トマミドロコケムシ科   トマミドロコケムシ科   トマミドロコケムシ	-					1				Н
Eラタドロムシ科   Cophaesthetus属						+				Н
デビヒゲナガハナノミ	311			レラタドロムシ科		<del>                                     </del>	_			Н
Ectopria   Ectopria   Ectopria   Ectopria   Ectopria   Eutoria				C ) )   L D )		╁	-	-		H
Eubrianax属	312			レラタドロムシ科		╁	1	-		H
1314   1315   1316   1316   1316   1316   1316   1317	212			C ) )   L D )		+	$\vdash$	<u> </u>		H
Eラダドロムシ						<del>                                     </del>	-			H
Mataeopsephus属						₩	-	-	-	H
マスダチビヒラタドロムシ	313					₩	-	-		H
- 1317     Psephenoides属     ウェック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファ						₩	₩	-	-	H
カガハナノミ科 カガハナノミ科 カガハナノミ科   カガハナノミ科   カガハナノミ科   ホタル科   ゲンジボタル   日本曜日   ヒメテンコケムシ科   ヒメテンコケムシ   日本曜日   ドマミドロコケムシ科   ハネコケムシ科   ハネコケムシ科   カスコケムシ科	316					<u> </u>	_			L
ボタル科 ゲンジボタル   198	-			1 10 11 1 1 5 71		₩	₩	<u> </u>	_	L
319 コケムシ網   推帳目   ヒメデンコケムシ科   ヒメデンコケムシ   1320   1321						₩	_	1	_	L
320   パネコケムシ科   パネコケムシ科   321   櫛口目   チャミドロコケムシ科   チャミドロコケムシ   13編28日112対321編   10種 0種 08種 78種 1						₩	_	<u> </u>		L
321 櫛口目 チャミドロコケムシ科 チャミドロコケムシ 10種 6種 68種 78種 1		コケムシ綱	掩喉目			Щ				L
12編28日112於221編 10種 46種 68種 78種 1						Ь.	_	1		L
	321		櫛口目	チャミドロコケムシ科	<b> チャミドロコケムシ</b>	丄				L
				13綱28目112科321種		10種				10

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。
2.種名に「・・・・属」「・・・・科」「・・・亜科」「・・・目」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。
3.表中の数は個体数を示す。
なお、個体数は定量採集及び定性採集で確認された個体数の合計を示している。なお、報告書中に「>100」と記載してあるものについては100として扱った。
4.表中の「\*」は、群体性の種であることを示す。ただし、実数で記載されているものについては、実数を記載した。

表 6.6-21 下流河川確認種リスト(植物プランクトン : 1/3)

No.	綱名	科名	種名	1/	,	河川	
140.	州町口	1110		H5	H11	H16	H18
1	藍藻	クロオコックス	Aphanocapsa elachista				
-			Aphanocapsa sp.				
2			Aphanothece sp.				
3			Chroococcus sp.				
4			Dactylococcopsis fascicularis				
5			Merismopedia elegans				
6 7			Merismopedia tenuissima				
8			Microcystis aeruginosa Microcystis wesenbergii				
9		ネンジュモ	Anabaena flos-aquae				
10		ホンノュし	Anabaena spiroides				
-			Anabaena sp.				
11			Aphanizomenon flos-aquae				
12			Raphidiopsis sp.				
13		ユレモ	Oscillatoria agardhii				
14			Oscillatoria tenuis				
_			Oscillatoria sp.				
15			Phormidium autumnale				
16			Phormidium retzii	1			
17			Phormidium tenue				
- 40	紅藻	ナナジェノラニ	Phormidium sp.	+	-		
	紅澡 クリプト藻	オオジュイネラ クリプトモナス	Audouinella chalybea				
19	プリノF凛 	グリントモノス	Cryptomonas ovata				
20			Cryptomonas sp. Rhodomonas sp.				
	渦鞭毛藻	ギムノディニウム	Gymnodinium helveticum				
22		グレノディニウム	Glenodinium pulvisculus				
-			Glenodinium sp.				
23		ケラティウム	Ceratium hirundinella				
24		ペリディニウム	Peridinium bipes f.occultatum				
25			Peridinium elpatiewskyi				
26			Peridinium volzii				
-			Peridinium sp.				
	黄金色藻	ディノブリオン	Dinobryon cylindricum				
28			Dinobryon divergens				
29		2.7=	Dinobryon sertularia				
30 31		シヌラ	Mallomonas akrokomos Mallomonas fastigata				
32			Mallomonas tonsurata				
33			Synura uvella				
	珪藻	タラシオシラ	Cyclotella asterocostata				
35	- 1/10		Cyclotella glomerata	1			
36			Cyclotella meneghiniana	1			
37			Cyclotella radiosa				
38			Cyclotella stelligera				
-			Cyclotella sp.				
39			Skeletonema subsalsum				
40		45.5	Stephanodiscus carconensis	1			
41		メロシラ	Aulacoseira distans	-	-		
42			Aulacoseira granulata		-		
43 44			Aulacoseira granulata var.angustissima	-			
44			Aulacoseira granulata var.angustissima t.spiralis Aulacoseira italica	+	-		
46			Melosira varians				
47		リゾソレニア	Rhizosolenia setigera	+			
48		ビドルフィア	Acanthoceros zachariasi				
49		ディアトマ	Asterionella formosa	1			
50		[ , . , ,	Diatoma vulgare	1			
51			Fragilaria capucina				
52			Fragilaria crotonensis				
53			Fragilaria tenera				
			Fragilaria sp.				
54			Hannaea arcus				
55			Staurosira construens var.binodis				

表 6.6-21 下流河川確認種リスト(植物プランクトン : 2/3)

No.	綱名	科名	種名		下流	河川	
			学名	H5	H11	H16	H18
	珪藻	ディアトマ	Synedra acus				
57			Synedra rumpens				
58			Synedra ulna				
59			Synedra ulna var.oxyrhynchus				
60		アクナンテス	Achnanthes brevipes				
61			Achnanthes japonica				
62			Achnanthes lanceolata				
-			Achnanthes sp.				
63			Cocconeis placentula				
-		1 1 2 4 -	Cocconeis sp.				
64		ナビクラ	Amphora ovalis				
65			Cymbella aspera				
66			Cymbella tumida				
67			Cymbella turgidula				
-			Cymbella sp.				
68			Encyonema minutum				
69			Gomphoneis quadripunctatum				
70			Gomphonema acuminatum				
71			Gomphonema angustatum				
72			Gomphonema clevei				
73			Gomphonema helveticum				
74			Gomphonema parvulum				
75			Gomphonema tetrastigmatum				
-			Gomphonema sp.				
76			Navicula cinctaeformis				
77 78			Navicula cryptocephala				
			Navicula exigua				
79			Navicula gregaria				
80			Navicula pupula				
81			Navicula radiosa				
82			Navicula viridula				
83			Navicula sp.				
			Pinnularia sp.				
84 85		ーッチフ	Stauroneis sp.				
86		ニッチア	Bacillaria paradoxa Nitzschia acicularis				
87			Nitzschia agnita				
88			Nitzschia amphibia				
89			Nitzschia clausii				
90			Nitzschia dissipata				
91			Nitzschia inconspicua				
92			Nitzschia linearis				
93			Nitzschia palea				
94			Nitzschia paleacea				
95			Nitzschia parvula				
- 33			Nitzschia sp.	1			
96		スリレラ	Surirella tenera	l			
			Surirella sp.	l			
97	ミドリムシ藻	ミドリムシ	Euglena sp.	l			
98	11,77,7		Phacus sp.				
99			Trachelomonas sp.				
	緑藻	クラミドモナス	Carteria cordiformis				
101			Carteria globulosa	1			
102			Carteria klebsii				
103			Carteria peterhofiensis				
			Carteria sp.				
104			Chlamydomonas sp.	1			
105			Chlorogonium elongatum				
106		オオヒゲマワリ	Eudorina elegans	l			
107			Pandorina morum	1			
101	I	1	Volvox aureus	1		-	

表 6.6-21 下流河川確認種リスト(植物プランクトン : 3/3)

No.	綱名	科名	種名		下流	河川	
			学名	H5	H11	H16	H18
	緑藻	ヨツメモ	Tetraspora lacustris				
110		パルメロプシス	Chlamydocapsa gigas				
111		キャラキウム	Ankyra ancora				
112		クロロコックム	Schroederia ancora				
113			Schroederia setigera				
114			Tetraedron minimum				
115		パルメラ	Sphaerocystis schroeteri				
116		オオキスティス	Ankistrodesmus falcatus				
117			Chodatella sp.				
118			Closteriopsis longissima				
119			Kirchneriella contorta				
120			Oocystis borgei				
121			Oocystis parva				
-			Oocystis sp.				
122		ゴレンキニア	Golenkinia radiata				
123		ミクラクティニウム	Micractinium pusillum				
124		セネデスムス	Actinastrum hantzschii				
125			Coelastrum cambricum				
126			Coelastrum microporum				
127			Coelastrum sphaericum				
128			Crucigenia curcifera				
129			Crucigenia tetrapedia				
130			Crucigeniella rectangularis	+			
131			Scenedesmus acuminatus	1			
132			Scenedesmus arcuatus	-			
133			Scenedesmus ecornis				
134			Scenedesmus quadricauda				
104			Scenedesmus sp.				
135		アミミドロ	Pediastrum biwae	_			
136		7 3 7 1	Pediastrum duplex				
137			Pediastrum simplex				
138			Pediastrum tetras				
139		コッコミクサ	Elakatothrix gelatinosa	-			
140		コッコミクサ ヒビミドロ					
141		CCSTH	Klebsormidium sp. Koliella elongata				
142		シカロスポニ		_			
143		ミクロスポラ カエトフォラ	Microspora sp. Cloniophora plumosa	_			
143		カエトノオノ					
144		+++> ! □	Stigeoclonium sp.  Oedogonium sp.	_			
		サヤミドロ ツヅミモ	b .				
146		ツツミモ	Arthrodesmus sp.				
147			Closterium aciculare	-	-	-	
148			Closterium aciculare var.subpronum		-	-	
149			Closterium acutum var.variabile	-	-	-	
450			Closterium sp.				
150			Staurastrum dorsidentiferum var.ornatum	_			
151			Staurastrum mucronatum	_			
152			Staurastrum mucronatum var.subtriangulare	_	-		
-			Staurastrum sp.	0.77	1575	2575	0547
		7門	8綱16目39科152種	30種		22種 2種	35種

注) 1.種名及び分類は、「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-22 下流河川確認種リスト(動物プランクトン: 1/2)

		<b>/</b> □ ←	<b>41 4</b>	種名		下济	河川	
No.	門名	綱名	科名	学名	H5	H11	H16	H18
1	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	アルケラ	Arcella vulgaris	110		1110	1110
2			ディフルギア	Difflugia corona				
3			42.1 D 12+2.7	Difflugia limnetica				
4 5			ケントロピキシス キフォデリア	Centropyxis aculeata Cyphoderia sp.				
6		N-MIRAL II	エウグリファ	Euglypha sp.				
7		真正太陽虫	-	Acanthocystis pectinata				
8	6+h			Acanthocystis sp.				
	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	ホロフリア	Askenasia volvox Didinium nasutum				-
10 11			トラケリウス	Paradileptus robustus				
-				Paradileptus sp.				
12			アンフィレプス	Amphileptus claparedeii				
13				Dileptus anser				
14				Dileptus sp. Lionotus lamella				
15		少膜	パラメキウム	Colpidium sp.				
16				Glaucoma scintillans				
17				Leucophrydium putrinum				
18			エピスティリス	Paramecium sp.				
19			エレス アイリス	Epistylis plicatilis Epistylis sp.				<del>                                     </del>
20			ボルティケラ	Carchesium polypinum				
-				Carchesium sp.				
21				Vorticella campanula				
22		多膜	ストロンビディウム	Vorticella sp. Strombidinopsis gyrans				
23		夕跃	Xru/C/1/A	Strombidium viride				
24			フデヅツカラムシ	Tintinnidium cylindrata				
25				Tintinnidium fluviatile				
-			7-4-15	Tintinnidium sp.				
26		_	スナカラムシ	Codonella cratera CILIOPHORA				
27	輪形動物	単生殖巣	ツボワムシ	Brachionus angularis angularis				
28				Brachionus angularis bidens				
29				Brachionus calyciflorus				
30 31				Brachionus forficula Kellicottia longispina longispina				
32				Keratella cochlearis f.cochlearis				
33				Keratella cochlearis f.macracantha				
34				Keratella cochlearis f.micracantha				
35 36				Keratella cochlearis f. tecta				
37				Keratella quadrata quadrata Keratella valga valga				
38				Notholca labis				
-				Notholca sp.				
39			n → u□ / S:	Schizocerca diversicornis				├──
40 41			ハオリワムシ	Colurella obtusa Colurella uncinata	-	-		$\vdash$
-				Colurella sp.				
42				Dipleuchlanis propatula				
43				Euchlanis dilatata				
44				Lepadella oblonga Lepadella sp.				
45				Trichotria tetractis	+			<del>                                     </del>
46			ツキガタワムシ	Lecane Iudwigii				
47				Lecane luna				
48				Monostyla bulla				
49				Monostyla lunaris Monostyla sp.				
50			セナカワムシ	Cephalodella sp.				
51				Notommata sp.				
52			+	Scaridium longicaudum				
53 54			ネズミワムシ	Diurella rousseleti	-			
55 55				Diurella porcellus Diurella stylata				<del>                                     </del>
56				Trichocerca birostris				
57				Trichocerca capucina				
58				Trichocerca cylindrica				<del>                                     </del>
59				Trichocerca elongata Trichocerca sp.	-	<u> </u>		<del>                                     </del>
-	L	1	1	ι πισπουστισα δμ.		1		

表 6.6-22下流河川確認種リスト(動物プランクトン: 2/2)

No.	門名	綱名	科名	種名		下流	河川	
				学名	H5	H11	H16	H18
60	輪形動物	単生殖巣	ハラアシワムシ	Chromogaster ovalis				
61			ヒゲワムシ	Ploesoma truncatum				
62				Polyarthra euryptera				
63				Polyarthra trigla vulgaris				
64				Synchaeta stylata				
-				Synchaeta sp.				
65			フクロワムシ	Ásplanchna priodonta				
-				Asplanchna sp.				
66			ミジンコワムシ	Hexarthra mira				
67			ヒラタワムシ	Filinia longiseta longiseta				
68				Pompholyx complanata				
69				Pompholyx sulcata				
70				Testudinella patina				
71				Tetramastix opoliensis				
72			テマリワムシ	Conochiloides coenobass				
			, ,,,,,,	Conochiloides sp.				
73				Conochilus unicornis				
				Conochilus sp.				
74		ヒルガタワムシ	ミズヒルガタワムシ	Philodina roseola				
75		2,77,37,747	27(27/3) 323	Rotaria rotatoria				
-				Rotaria sp.				
76			ドロヒルガタワムシ	Habrotrocha sp.	-			
	節足動物	顎脚	ヒゲナガケンミジンコ	Eodiaptomus japonicus				
- ' '	印化到初	5只 10사		Calanoida				
78			カントカンプタス	Canthocamptus sp.	-			
79			キクロプス	Cyclops kikuchii				
80			77077	Cyclops strenuus				
81					<del>-  </del>			
82				Mesocyclops leuckarti				
82				Thermocyclops hyalinus				
			-	Cyclopoida				
83		±± 0+n	-  -	Copepoda				
		葉脚	シダ	Diaphanosoma brachyurum				
84			ミジンコ	Ceriodaphnia pulchella				
85				Ceriodaphnia quadrangula				
86				Ceriodaphnia reticulata				
87				Daphnia galeata				
88				Daphnia hyalina				
89				Daphnia longispina				
90				Daphnia pulex				
-				Daphnia sp.				
91				Moina macrocopa				
-				Daphniidae				
92			ゾウミジンコ	Bosmina fatalis				
93				Bosmina longirostris				
-				Bosmina sp.				
94				Bosminopsis deitersi				
95			マルミジンコ	Alona guttata				
-				Alona sp.				
96				Chydorus gibbus				
97				Chydorus ovalis				
98				Chydorus sphaericus				
99			ノロ	Leptodora kindtii				
100	線形動物	-	-	NEMATODA				
			<b>5日144四46日07174001</b> 年		7種	35種	33種	21種
			5門11綱16目37科100種				5種	

注) 1.種名及び分類は、「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・属」、「・・・・科」、「・・・目」、「・・・・門」、とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 1/15)

No.	分類	科名	和名	下流河川
1	シダ植物	  ヒカゲノカズラ科	  ヒカゲノカズラ	H16
2			トウゲシバ	
3		イワヒバ科	ヒメクラマゴケ	
4			カタヒバ	
5			クラマゴケ	
6 7		トクサ科	イワヒバ スギナ	
8		F 9 9 <del>14</del>	トクサ	
9			イヌドクサ	
10		ハナヤスリ科	オオハナワラビ	
11			フユノハナワラビ	
12			ナツノハナワラビ	
13		ゼンマイ科	ゼンマイ	
14 15		キジノオシダ科	オオキジノオ  キジノオシダ	
16		ウラジロ科	コシダ	i
17		333 614	ウラジロ	
18		フサシダ科	カニクサ	
19		コケシノブ科	アオホラゴケ	
20			ウチワゴケ	
21			コウヤコケシノブ	
22		コバノイシカグマ科	ハイホラゴケ   マランダ	
23 24		コハノインガンマ件	イヌシダ  コバノイシカグマ	
25			イワヒメワラビ	i
26			フモトシダ	
27			ワラビ	
28		ホングウシダ科	ホラシノブ	
29		シノブ科	シノブ	
30		ミズワラビ科	ホウライシダ	
31			ハコネシダ   クジャクシダ	
33			<u>クラドラ</u> ララ	
34			ウラゲイワガネ	
35			イワガネソウ	
36			タチシノブ	
37		シシラン科	シシラン	
38		イノモトソウ科	オオバノイノモトソウ	
39 40		チャセンシダ科	イノモトソウ ホウビシダ	
41		7 6 6 2 9 9 44	トラノオシダ	
42			コバノヒノキシダ	
43			イワトラノオ	
44			チャセンシダ	
45			イヌチャセンシダ	
46		5.5.45.=EV	アオガネシダ	
47 48		シシガシラ科 	シシガシラ コモチシダ	
49		オシダ科	ホソバカナワラビ	
50			ナンゴクナライシダ	
51			ミドリカナワラビ	
52			ハカタシダ	
53			オニカナワラビ	
54			リョウメンシダ	
55 56			キヨスミヒメワラビ メヤブソテツ	
57			ヤブソテツ	
58			ヤマヤブソテツ	
59			ミヤコヤブソテツ	
60			イワヘゴ	
61			サイゴクベニシダ	
62			ミサキカグマ	
63 64			ベニシダ マルバベニシダ	
65			オオベニシダ	
66			クマワラビ	
67			ミヤマイタチシダ	
68			オクマワラビ	
69			ナンカイイタチシダ	
70			オオイタチシダ	
71 72			ヒメイタチシダ ヤマイタチシダ	
12		<u> </u>	r 3 1 7 1 2 7	ш

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 2/15)

		3 20 「 がにとうだけ 神田中心 1主	フバー (温度 : 2710)	下流
No. 5	類	科名	和名	河川
73 シダ村	直物	オシダ科	アイノコクマワラビ	H16
74	且170	3 2 7 14	アイアスカイノデ	
75			カタイノデ	
76			ツヤナシイノデ	
77			イノデ	
78			サイゴクイノデ	
79			イノデモドキ	
80			ジュウモンジシダ	
81			ヒメカナワラビ	
82		ヒメシダ科	ゲジゲジシダ	
83			ミゾシダ	
84			ホシダ	
85			イブキシダ	
86			ハシゴシダ	
87			コハシゴシダ	
88			ハリガネワラビ	
89			イワハリガネワラビ	
90			ヤワラシダ	
91			ヒメシダ	
92			ヒメワラビ	
93		J > . H = 1	ミドリヒメワラビ	
94		メシダ科	カラクサイヌワラビ	
95			サトメシダ	
96			ホソバイヌワラビ	
97			ヌリワラビ	
98 99			イヌワラビ ヤマイヌワラビ	
			ヒロハイヌワラビ	
100			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
101			シケチシダ ホソバシケシダ	
102				
103			セイタカシケシダ シケシダ	
104			オオヒメワラビ	
105				
106 107			ミヤマシケシダ ハクモウイノデ	
107			オニヒカゲワラビ	
109			キヨタキシダ	
110			ノコギリシダ	
111			イヌガンソク	
112			クサソテツ	
113			コウヤワラビ	
114		ウラボシ科	ミツデウラボシ	
115		3 3 3 3 4 4	マメヅタ	
116			ノキシノブ	
117			イワヤナギシダ	
118			ヒトツバ	
119 裸子村	直物	マツ科	モミ	
120			アカマツ	
121		スギ科	スギ	
122		ヒノキ科	ヒノキ	
123			サワラ	
124			カイヅカイブキ	
125			ネズ	
126		イヌガヤ科	イヌガヤ	
127		イチイ科	カヤ	
128 離弁社	<b></b> 芝類	クルミ科	オニグルミ	
129		ヤナギ科	ヤマナラシ	
130			サイコクキツネヤナギ	
131			バッコヤナギ	
132			アカメヤナギ	
133			ジャヤナギ	
40.4				
134			カワヤナギ	
135			ネコヤナギ	
			ネコヤナギ イヌコリヤナギ	
135			ネコヤナギ イヌコリヤナギ タチヤナギ	
135 136			ネコヤナギ イヌコリヤナギ タチヤナギ マルバヤナギ	
135 136 137		カバノキ科	ネコヤナギ イヌコリヤナギ タチヤナギ マルバヤナギ ケヤマハンノキ	
135 136 137 138		カバノキ科	ネコヤナギ イヌコリヤナギ タチヤナギ マルバヤナギ	
135 136 137 138 139		カパノキ科	ネコヤナギ イヌコリヤナギ タチヤナギ マルバヤナギ ケヤマハンノキ	
135 136 137 138 139 140		カパノキ科	ネコヤナギ イヌコリヤナギ タチヤナギ マルバヤナギ ケヤマハンノキ ヤマハンノキ	
135 136 137 138 139 140 141		カパノキ科	ネコヤナギ イヌコリヤナギ タチヤナギ マルバヤナギ ケヤマハンノキ ヤマハンノキ ヒメヤシャブシ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 3/15)

No.	分類	科名	和名	下流 河川 H16
145	離弁花類	 カバノキ科	アカシデ	0
146	ł	757 (741)	イヌシデ	
147		プナ科	クリ	
148		3 3 17	クヌギ	
	ł			
149	1		ナラガシワ	-
150			アラカシ	
151			シラカシ	
152			ウラジロガシ	
153			コナラ	
154			アベマキ	
155	ł	ニレ科	コバノチョウセンエノキ	
156	ł		エゾエノキ	
157			エノキ	
			アキニレ	
158	1			
159	1	. = 51	ケヤキ	
160	l .	クワ科	ヒメコウゾ	
161			コウゾ	
162			クワクサ	
163			イヌビワ	
164	1		イタビカズラ	
165			カナムグラ	
			ヤマグワ	
166		/= h # M		
167		イラクサ科	クサコアカソ	
168	ł		ヤブマオ	
169	ł		カラムシ	
170			ナンバンカラムシ	
171			メヤブマオ	
172			ナガバヤブマオ	
173	1		コアカソ	
174	l .		アカソ	
	1			
175	ł		ヤマトキホコリ	
176	ł		ウワバミソウ	
177	1		ムカゴイラクサ	
178			カテンソウ	
179			サンショウソウ	
180			ミズ	
181	ł		ヤマミズ	
182	ł		ミヤコミズ	
183	1		アオミズ	
	ł	12. 5 67.51		
184	ł	ビャクダン科	カナビキソウ	
185	1	タデ科	ミズヒキ	
186	ł		シンミズヒキ	
187			シャクチリソバ	
188			ミヤマタニソバ	
189			ヤナギタデ	
190	1		オオイヌタデ	
191			イヌタデ	
192	ł		ヤノネグサ	
	ł			
193	ł		イシミカワ	
194	1		ハナタデ	
195	1		ボントクタデ	
196			サナエタデ	
197			アキノウナギツカミ	
198	1		ミゾソバ	
199	1		ヤマミゾソバ	
200			ハルタデ	
			イタドリ	
201				
202	ł		スイバ	
203	ł		ヒメスイバ	
204			アレチギシギシ	
205			ナガバギシギシ	
206			ギシギシ	
207	1		エゾノギシギシ	
208	1	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	
	ł	1 1 1 2 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	マルミノヤマゴボウ	
209	1	18 5 D 1 4 5 2		
210	1	ザクロソウ科	ザクロソウ	
	ĺ		クルマバザクロソウ	
211		TN	スベリヒユ	
		スベリヒユ科	X 17C4	
211		ナデシコ科	ノミノツヅリ	
211 212				
211 212 213			ノミノツヅリ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 4/15)

		科名	和名	下流 河川 H16
217	離弁花類	ナデシコ科	カワラナデシコ	0
218	METTIONS	7 7 3 4 4	フシグロセンノウ	
219			ツメクサ	
220			ノミノフスマ	1
221			ウシハコベ	<b>-</b>
222			サワハコベ	-
223			コハコベ	ļ
224			ミドリハコベ	
225			ミヤマハコベ	
226		アカザ科	シロザ	
227			アカザ	
228			アリタソウ	
229			ケアリタソウ	1
230		ヒユ科	ヒカゲイノコズチ	1
231		C-11	ヒナタイノコズチ	1
232			ホソバツルノゲイトウ	<del>                                     </del>
233			イヌビユ	
234			ホソアオゲイトウ	
235			ホナガアオゲイトウ	
236		モクレン科	ホオノキ	
237			タムシバ	
238		マツブサ科	サネカズラ	
239			マツブサ	1
240		シキミ科	シキミ	
241		クスノキ科	カゴノキ	
		/ ^ / Tft		1
242			クスノキ	1
243			ヤブニッケイ	
244			カナクギノキ	
245			ヤマコウバシ	
246			ダンコウバイ	
247			クロモジ	
248			ヒメクロモジ	
249			ホソバタブ	1
250			シロダモ	1
251			アプラチャン	1
		7447=11		
252		フサザクラ科	フサザクラ	
253		キンポウゲ科	イヌショウマ	
254			ボタンヅル	
255			ハンショウヅル	
256			センニンソウ	
257			シロバナハンショウヅル	
258			トウゴクサバノオ	
259			ウマノアシガタ	1
260			タガラシ	1
261			キツネノボタン	
				1
262		ノギむ	アキカラマツ	-
263		メギ科	ヒイラギナンテン	<b> </b>
264			ナンテン	
265		アケビ科	アケビ	
266			ミツバアケビ	
267			ムベ	
268		ツヅラフジ科	アオツヅラフジ	
269			ツヅラフジ	
270		ドクダミ科	ドクダミ	
271		センリョウ科	フタリシズカ	1
272		ウマノスズクサ科	ホソバウマノスズクサ	1
273			ミヤコアオイ	<b></b>
274		マタタビ科	サルナシ	
275			シナサルナシ	
276			ウラジロマタタビ	
277			マタタビ	
278		ツバキ科	ヤブツバキ	
279			サカキ	
280			ヒサカキ	1
				1
281		+   +*111/1-==1	チャノキ	1
282		オトギリソウ科	オトギリソウ	<u> </u>
283			コケオトギリ	
284		モウセンゴケ科	モウセンゴケ	
===		ケシ科	クサノオウ	
285			キケマン	
286				
			ムラサキケマン ミヤマキケマン	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 5/15)

No.	分類	科名	和名	下流 河川 H16
290	離弁花類	フウチョウソウ科	セイヨウフウチョウソウ	1110
291	METTIONS	アプラナ科	ヤマハタザオ	
		J J J J 144		
292			セイヨウカラシナ	
293			ナズナ	
294			ニシノオオタネツケバナ	
295			タネツケバナ	
296			タチタネツケバナ	
297			ジャニンジン	
298			オオバタネツケバナ	
299			オランダガラシ	
			コイヌガラシ	
300				
301			ミチバタガラシ	
302			イヌガラシ	
303			スカシタゴボウ	
304		ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	
305			メノマンネングサ	
306			オノマンネングサ	
307			マルバマンネングサ	
				1
308			ツルマンネングサ	1
309			ヒメレンゲ	
310		ユキノシタ科	チダケサシ	
311			アカショウマ	
312			クサアジサイ	
313			イワボタン	
314			タチネコノメソウ	
				1
315			ウツギ	
316			マルバウツギ	
317			コアジサイ	
318			コガクウツギ	
319			ヤマアジサイ	
320			ノリウツギ	
321			ゴトウヅル	
322			ガクウツギ	
323			ヤハズアジサイ	
324			チャルメルソウ	
325			コチャルメルソウ	
326			タコノアシ	
327			ジンジソウ	
328			ダイモンジソウ	
329			ユキノシタ	
330			イワガラミ	
331		バラ科	キンミズヒキ	
332			ヒメキンミズヒキ	
333			ザイフリボク	
334			ヘビイチゴ	
335			ヤブヘビイチゴ	
336			ダイコンソウ	
337			カナメモチ	
338			ミツバツチグリ	
339			オヘビイチゴ	
340			カマツカ	
341			イヌザクラ	
342			ウワミズザクラ	
343			ヤマザクラ	
344			エドヒガン	1
345			カスミザクラ	l
				1
346			ノイバラ	
347			ニオイイバラ	ļ
348			ミヤコイバラ	
349			ヤマイバラ	
350			テリハノイバラ	
351			フユイチゴ	
352			クマイチゴ	1
				<b> </b>
353			ミヤマフユイチゴ	1
354			クサイチゴ	
355			ニガイチゴ	
356			ナガバモミジイチゴ	
357			ナワシロイチゴ	
358			エビガライチゴ	l
359			ワレモコウ	1
				<del>                                     </del>
360			ウラジロノキ	<b></b>
361			ユキヤナギ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 6/15)

363 364 365	離弁花類			U1C
363 364 365	門ドアナ 1七大只	マメ科	クサネム	H16
364 365		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ネムノキ	1
365			イタチハギ	1
			ヤブマメ	1
366			ホドイモ	
			ゲンゲ	1
367				<b>-</b>
368			ジャケツイバラ	-
369			ユクノキ ヒメノハギ	-
370				<b>!</b>
371			フジカンゾウ	<b>!</b>
372			アレチヌスビトハギ	
373			ケヤブハギ	
374			ヌスビトハギ	
375			ヤブハギ	
376			アメリカヌスビトハギ	
377			ノササゲ	
378			ノアズキ	
379			ツルマメ	
380			コマツナギ	
381			マルバヤハズソウ	
382			ヤハズソウ	
383			イタチササゲ	
384			ヤマハギ	
385			キハギ	
386			メドハギ	
387			マルバハギ	
388			ネコハギ	1
389			ビッチュウヤマハギ	1
390			ミヤコグサ	
391			イヌエンジュ	
			イスエンシュ ハネミイヌエンジュ	
392				-
393			コメツブウマゴヤシ	-
394			クズ	
395			オオバタンキリマメ	4
396			ハリエンジュ	
397			クララ	
398			コメツブツメクサ	
399			ムラサキツメクサ	
400			シロツメクサ	
401			ヤハズエンドウ	
402			スズメノエンドウ	
403			カスマグサ	
404			ヤマフジ	
405			フジ	
406		カタバミ科	カタバミ	
407			アカカタバミ	
408			ムラサキカタバミ	
409			エゾタチカタバミ	
410			ミヤマカタバミ	
411		カタバミ科	オッタチカタバミ	
412		フウロソウ科	ヒメフウロ	
413			ゲンノショウコ	<del>                                     </del>
414		 	エノキグサ	
414		1 フノコフッ作  	オオニシキソウ	1
				<del> </del>
416			コニシキソウ	1
417			アカメガシワ	1
418			ヤマアイ	<b></b>
419			コバンノキ	1
420			ヒメミカンソウ	<u> </u>
421			シラキ	<u> </u>
422			ナンキンハゼ	<b></b>
423		ミカン科	マツカゼソウ	
424			コクサギ	
425			キハダ	
426			ミヤマシキミ	
427			カラスザンショウ	
428			フユザンショウ	
429			サンショウ	
430			イヌザンショウ	1
431		ニガキ科	シンジュ	t
432		' ' '	ニガキ	
433		ヒメハギ科	ヒメハギ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 7/15)

No.	分類	科名	和名	下流 河川 H16
434	離弁花類	ウルシ科	ツタウルシ	0
435			ヌルデ	
436			ハゼノキ	
437			ヤマハゼ	
438			ヤマウルシ	
439			ウルシ	
440		カエデ科	チドリノキ	
		77 1 14		
441			ウリカエデ	
442			ウラゲエンコウカエデ	
443			エンコウカエデ	
444			イロハモミジ	
445			オオモミジ	
446			コハウチワカエデ	
447		ムクロジ科	ムクロジ	
448		ツリフネソウ科	キツリフネ	
449			ツリフネソウ	
450		モチノキ科	イヌツゲ	
451			モチノキ	
452			アオハダ	
453			ケナシアオハダ	
454	1		タマミズキ	
455			ソヨゴ	
456			ウメモドキ	
457			クロソヨゴ	
458		ニシキギ科	ツルウメモドキ	
459			ニシキギ	
460				
460	-		コマユミ	
			ツルマサキ	
462			サワダツ	
463			ツリバナ	
464			マユミ	
465		ミツバウツギ科	ゴンズイ	
466			ミツバウツギ	
467		クロウメモドキ科	クマヤナギ	
468			イソノキ	
469			ケンポナシ	
470			ケケンポナシ	
471		ブドウ科	ノブドウ	
472			キレバノブドウ	
473			ヤブガラシ	
474			ツタ	
475			ヤマブドウ	
476			エビヅル	
477			サンカクヅル	
478			アマヅル	
479		シナノキ科	カラスノゴマ	
480			ヘラノキ	
481		ジンチョウゲ科	コショウノキ	
482			ガンピ	
483			キガンピ	
		ガニも	ツルグミ	
484		グミ科		
485			ナツグミ	
486			ナワシログミ	
487			アキグミ	
488		スミレ科	ナガバノスミレサイシン	
489			アメリカスミレサイシン	
490			タチツボスミレ	
491			アオイスミレ	
492			コスミレ	
493		スミレ科	スミレ	
494			コミヤマスミレ	
495			フモトスミレ	
496			アケボノスミレ	
497			ツボスミレ	
498			アギスミレ	
499			シハイスミレ	
500		キブシ科	キブシ	
501		ミゾハコベ科	ミゾハコベ	
501	1	ヘノハコ: VIT	->/\\·\	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 8/15)

No.	分類	科名	和名	下流河川
	±₽ /\ ++ ×∓	- 117N		H16
	離弁花類	ウリ科	ゴキヅル	
503			アマチャヅル	
504			スズメウリ	
505			アレチウリ	
506			カラスウリ	
507			キカラスウリ	
508			モミジカラスウリ	
509		ミソハギ科	キカシグサ	
510			ミズマツバ	
511		アカバナ科	ウシタキソウ	
512			ミズタマソウ	
513			アカバナ	
514			チョウジタデ	
515			メマツヨイグサ	
516			オオマツヨイグサ	
517			マツヨイグサ	
518		アリノトウグサ科	アリノトウグサ	
519			ホザキノフサモ	
520		ウリノキ科	ウリノキ	
521		ミズキ科	アオキ	
522			ミズキ	
523			クマノミズキ	
524			ハナイカダ	
525		 ウコギ科	コシアブラ	
526		J = 1.17	ヤマウコギ	
527			ウド	
528			タラノキ	
529			メダラ	
530			タカノツメ	
531			キヅタ	
532		1 1170	トチバニンジン	
533		セリ科	ノダケ	
534			シラネセンキュウ	
535			シシウド	
536			ミツバ	
537			ウシミツバ	
538			ハナウド	
539			オオバチドメ	
540			ノチドメ	
541			オオチドメ	
542			チドメグサ	
543			ヒメチドメ	
544			セリ	
545			ヤブニンジン	
546			ウマノミツバ	
547			カノツメソウ	
548			ヤブジラミ	
549			オヤブジラミ	
	合弁花類	リョウブ科	リョウブ	
551		イチヤクソウ科	ギンリョウソウ	
552			イチヤクソウ	
553		ツツジ科	ネジキ	
554		[	アセビ	
555			ミツバツツジ	
556			レンゲツツジ	
557			モチツツジ	
558			ヤマツツジ	
559			コバノミツバツツジ	
560			シャシャンボ	
561			ウスノキ	
562			アクシバ	
563			ケアクシバ	
564			ナツハゼ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 9/15)

No.	分類	科名	和名	下流 河川 H16
565	合弁花類	ツツジ科	スノキ	1110
566	<b>Д</b> Л 16.08	ヤブコウジ科	マンリョウ	
567			ヤブコウジ	
568		サクラソウ科	ミヤマタゴボウ	
569		3 3 3 3 3 1 1	オカトラノオ	
570			ヌマトラノオ	
571			コナスビ	
572		カキノキ科	カキノキ	
573		M + 7 + 14	マメガキ	
		エゴノキ科	オオバアサガラ	
574		エコノナ科	エゴノキ	
575		11 / 1 + 51		
576		ハイノキ科	サワフタギ	
577		T 6 1- 258	タンナサワフタギ	
578		モクセイ科	マルバアオダモ	
579			ネズミモチ	
580			イボタノキ	
581			ヒイラギ	
582		リンドウ科	リンドウ	
583			アケボノソウ	
584			センブリ	
585			ツルリンドウ	
586		キョウチクトウ科	テイカカズラ	
587			ツルニチニチソウ	
588		ガガイモ科	イケマ	
589			キジョラン	
590			ガガイモ	
591			オオカモメヅル	
592		アカネ科	クルマバソウ	
593		7 75 1114	メリケンムグラ	
594			ヒメヨツバムグラ	
			キクムグラ	
595				
596			ヤマムグラ	
597			オオバノヤエムグラ	
598			ヤエムグラ	
599			ヨツバムグラ	
600			フタバムグラ	
601			ハシカグサ	
602			ツルアリドオシ	
603			ヘクソカズラ	
604			アカネ	
605		ヒルガオ科	ヒルガオ	
606			ネナシカズラ	
607			アメリカネナシカズラ	
608			マメアサガオ	
609			アサガオ	
610		ムラサキ科	サワルリソウ	
611			ハナイバナ	
612			オニルリソウ	
613			ヤマルリソウ	
614 615			コンフリー ミズタビラコ	
616		クフッパー科	キュウリグサ / ニ+++シナブ	
617		クマツヅラ科	ムラサキシキブ	
618			ヤブムラサキ	
619			カリガネソウ	
620			クサギ	
621			ヤナギハナガサ	
622		シソ科	カワミドリ	
623			キランソウ	
624			クルマバナ	
625			トウバナ	
626			イヌトウバナ	
627			ヤマトウバナ	
628			ナギナタコウジュ	
629			フトボナギナタコウジュ	
630			ミズトラノオ	
631			カキドオシ	
632			マネキグサ	
633			オドリコソウ	
634			ヒメオドリコソウ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 10/15)

627 4		科名	和名	河川
	合弁花類	シソ科	ヒメシロネ	H16
638	口升16块	2 2 14	ラショウモンカズラ	
639			ハッカ	
640			ヒメジソ	
641			イヌコウジュ	
642			エゴマ	
643			シソ	
644			レモンエゴマ	
645			アオジソ	
646			ウツボグサ	
647			ヤマハッカ	
648			ヒキオコシ	
649			アキチョウジ	
-				
650			アキノタムラソウ	
651			キバナアキギリ	
652			オカタツナミソウ	
653			タツナミソウ	
654			コバノタツナミソウ	
655			イヌゴマ	
656			ニガクサ	
657			ツルニガクサ	
658		 ナス科	クコ	
659		2.217	ホオズキ	
660			アメリカイヌホオズキ	
661			ヒヨドリジョウゴ	
662			マルバノホロシ	
663			イヌホオズキ	
664			テリミノイヌホオズキ	
665			ハダカホオズキ	
666		フジウツギ科	フサフジウツギ	
667			フジウツギ	
668		ゴマノハグサ科	ツタバウンラン	
669		1 ( ) / ( ) J 1 1	サワトウガラシ	
670			マツバウンラン	
671			スズメノトウガラシ	
672			ウリクサ	
673			タケトアゼナ	
674			アメリカアゼナ	
675			アゼトウガラシ	
676			アゼナ	
677			ムラサキサギゴケ	
678			サギゴケ	
679			トキワハゼ	
680			ママコナ	
681			ミゾホオズキ	
682			コシオガマ	
683			オオヒナノウスツボ	
684			オオヒキヨモギ	
685			オオカワヂシャ	
686			タチイヌノフグリ	
687			ムシクサ	
688			オオイヌノフグリ	
689		ノウゼンカズラ科	キリ	
690		キツネノマゴ科	キツネノマゴ	
691		1 2 17 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	イグボンマコ ハグロソウ	
692		4 D A II D 4 I	スズムシバナ	
693		イワタバコ科	イワタバコ	
694		ハエドクソウ科	ハエドクソウ	
695			ナガバハエドクソウ	
696		オオバコ科	オオバコ	
697		スイカズラ科	コツクバネウツギ	
698			ツクバネウツギ	
699			ヤマウグイスカグラ	
700			ウグイスカグラ	
701			スイカズラ	
_				
702			ニワトコ	
703			ガマズミ	
704			コバノガマズミ	
705			オオカメノキ	
706			ヤブデマリ	
707			ミヤマガマズミ	
708			ヤブウツギ	
709			タニウツギ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 11/15)

No.	分類	科名	和名	下流 河川 H16
710	合弁花類	オミナエシ科	オミナエシ	пто
711			オトコエシ	
712	ł		ノヂシャ	
713	ł	キキョウ科	ツリガネニンジン	
714			ホタルブクロ	
715 716	ł		ツルニンジン バアソブ	
716	ł		スァッフ ミゾカクシ	
718	1		タニギキョウ	
719	ł	キク科	ノブキ	
720			ヌマダイコン	
721			キッコウハグマ	
722			ブタクサ	
723			オオブタクサ	
724			ヨモギ	
725	ł		イナカギク	
726			シロヨメナ	
727 728			/コンギク オオホウキギク	
729			シラヤマギク	
730			ヒロハホウキギク	
731	1		ホウキギク	
732	ł		オケラ	
733	1		アメリカセンダングサ	
734	1		タウコギ	
735	ł		モミジガサ	
736	ł		ヤブタバコ	
737	ł		ガンクビソウ サジガンクビソウ	
738 739	1		ヒメガンクビソウ	
740	ł		トキンソウ	
741			ヒメアザミ	
742			ノアザミ	
743			ヨシノアザミ	
744	1		ノハラアザミ	
745	ł		アレチノギク	
746			オオアレチノギク	
747 748			ベニバナボロギク リュウノウギク	
749	ł		アメリカタカサブロウ	
750	ł		タカサブロウ	
751			ダンドボロギク	
752			ヒメムカシヨモギ	
753			ケナシヒメムカシヨモギ	
754	ł		ヒヨドリバナ	
755			サワヒヨドリ	
756			ヤマヒヨドリ	
757 758	ł		サケバヒヨドリ ハキダメギク	
758 759	ł		ハイダメキグ	
760	ł		チチコグサ	
761	ł		チチコグサモドキ	
762	ł		ウスベニチチコグサ	
763			キクイモ	
764	ł		キツネアザミ	
765	ł		オオヂシバリ	
766	ł		ニガナ	
767			ハナニガナ	
768	ł		イワニガナ オオユウガギク	
769 770	ł		オオユワカキク   ユウガギク	
771	1		ヨメナ	
772	ł		アキノノゲシ	
773	1		ホソバアキノノゲシ	
774			ヤマニガナ	
775	ł		ムラサキニガナ	
776			コオニタビラコ	
777			ヤブタビラコ	
778			センボンヤリ	
779	1		カシワバハグマ	
780			コウヤボウキ	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 12/15)

No.	分類	科名	和名	下流河川
704	合弁花類	<u></u> キク科	フキ	H16
	口升化规	+9#4 	コウゾリナ	
782 783			シュウブンソウ	
			オオハンゴンソウ	
784			オオハンコンソワ サワギク	
785			ナゾキク ノボロギク	
786				
787			コメナモミ	
788			メナモミ	
789			セイタカアワダチソウ	
790			アキノキリンソウ オニノゲシ	
791			オープラシ ノゲシ	
792				
793			ヒメジョオン	
794			ヤマボクチ	
795			カンサイタンポポ	
796			セイヨウタンポポ	
797			オオオナモミ	
798			ヤクシソウ	
799			ハナヤクシソウ	
800	出フ芸芸芸	ナナゲナジ	オニタビラコ	
	単子葉植物	タイグ 刀科	ヘラオモダカ	
802			ウリカワ	
803		1 - 1 10 - 51	オモダカ	
804		トチカガミ科	オオカナダモ	
805		コリ科	ノギラン	
806			ソクシンラン	
807			ノビル	
808			ホウチャクソウ	
809			チゴユリ	
810			ショウジョウバカマ	
811			ヤブカンゾウ	
812			ノカンゾウ	
813			イワギボウシ	
814			オオバギボウシ	
815			トウギボウシ	
816			ウバユリ	
817 818			ササユリコオニユリ	
819 820			ヒメヤブラン ヤブラン	
821			ジャノヒゲ	
822			ナガバジャノヒゲ	
823			オオバジャノヒゲ	
824			ナルコユリ	
825			ミヤマナルコユリ	
826			アマドコロ	
827			オモト	
828			サルトリイバラ	
829			タチシオデ	
830			シオデ	
831			ヤマジノホトトギス	
832			ホトトギス	
833			ヤマホトトギス	
834		  ヒガンバナ科	ヒガンバナ	
835			キツネノカミソリ	
836		  ヤマノイモ科	タチドコロ	
837			ヤマノイモ	
838			カエデドコロ	
839			キクバドコロ	
840			ヒメドコロ	
841			オニドコロ	
842		ミズアオイ科	ホテイアオイ	
843			ミズアオイ	
844			コナギ	
845		アヤメ科	ヒオウギ	
846			シャガ	
847			キショウブ	
848			ニワゼキショウ	
849			ヒメヒオウギズイセン	
850		 ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ	
550		L, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 13/15)

### ### ### ### #####################	T 下流 和名 河川 H16
852   853   354   355   355   355   355   355   355   355   355   356   357   35	
853   お54   お55   お54   お55   お55   お55   お55   かりけん   お55   お55   かりけん   スズメノヤリ   ヤマスズメノヒュ   スガッソウ   ヤマスズメノヒュ   スガッソウ   ヤブミョウガ   お66   ヤブミョウガ   カモジグサ   タチカモジグサ   タチカモジグサ   カモジグサ   カモジグサ   カモジグサ   カモジグサ   カススメノテッポ   スズメノテッポ   スズメブテッポ   スズメブカリヤス   スガルカヤ   オリヤス   オガルカヤ   オリヤス   オガルカヤ   オリヤス   オエシバ   カモガヤ   タッノヒゲ   スとシバ   アブラススキ   イヌビエ   ケイヌビエ   ヒメイヌビエ   カゼクサ   カゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   コゴメカゼクサ   ファホコリ	
株式	- ع أ
855   タサイ   コゴメイ   スズメノヤリ   ヤマスズメノヒ   スポシソウ   ヤマスズメノヒ   スカボシソウ   イボクサ   ヤブミョウガ   イボクサ   ヤブミョウガ   ゼロハイヌノヒ   イネ科   アオカモジグサ   タチカモジグサ   タチカモジグサ   フヌカグサ   ヤマヌカボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スズメノテッボ   スブナグサ   トダシバ   エフナグサ   トダシバ   エスカボンフウ   イヌムギ   キツネガヤ   ノガリヤス   オガルカヤ   オブルカヤ   オブルカヤ   ボョウギシバ   カモガヤ   タッノヒゲ   スポース   スポ	
856   857   858   3	
857   858   2   2   2   2   2   2   2   2   2	
858	
859   860   タカボシソウ   タカボシソウ   タコクサ   イボクサ   ヤブミョウガ   ヤブミョウガ   ヤブミョウガ   マカカモジグサ   タチカモジグサ   カモジグサ   カモジグサ   コヌカグサ   ヤマヌカボ   スズメノテッポ   スズメノテッポ   スズメノテッポ   スプメクラカルカ   スプナグサ   トダシバ   ヒメコバンソウ   イヌムギ   キツネガヤ   ノガリヤス   オガルカヤ   オカルカマカ   オンシバ   カモガヤ   カェブラススキ   イヌビエ   セメイヌビエ   セメイヌビエ   セメイヌビエ   セメイヌビエ   センバ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカサ   カェブカナ   カェブカナ   カーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカ	г
860 861 862 863 864 865 866 865 866 867 868 869 870 871 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 881 882 883 884 885 886 887 887 887 888 889 881 882 883 884 885 886 887 887 888 889 881 882 883 884 885 886 887 887 888 889 889 889 890 890 891 892 893 894	
861	
862   ヤブミョウガ   セロハイヌノビ   863   ホシクサ科   セロハイヌノビ   865   866   カモジグサ   タチカモジグサ   カモジグサ   カモジグサ   マヌカボ   スズメノテッポ   スボンカボンカルカヤ   イヌムギ   キッネガヤ   イヌムギ   キッネガヤ   イガルカヤ   ギョウギシバ   カモガヤ   タッノビゲ   スズメガ   スポンド   スポ	
863   ボシクサ科   ヒロハイヌノビ   1	-
864 865 866 867 868 869 870 871 871 872 873 874 875 876 877 878 880 881 882 883 884 885 885 886 887 888 888 889 889 890 891 892 893 894	
865 866 867 868 869 869 870 871 871 872 873 874 875 876 877 877 878 887 887 887 880 881 882 881 882 883 884 885 886 887 887 887 888 881 882 883 884 885 886 887 887 887 888 889 889 890 891 891 892 893 894	<b>,</b>
866 867 868 869 870 871 871 872 873 874 875 876 877 877 877 878 887 887 887	
867 868 869 870 871 871 872 873 874 875 876 877 877 878 879 880 881 881 882 883 884 885 886 887 887 888 887 888 887 888 887 889 890 891 891 892 893 894	
868 869 870 871 871 871 872 873 874 875 876 877 877 878 880 881 881 882 883 884 885 885 886 887 888 887 888 889 890 891 891 893 894	
869	
870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 881 882 883 884 885 886 887 887 888 887 888 889 889 890 891 891 892 893 894	
871 872 873 874 875 876 876 877 878 879 880 881 882 881 882 883 884 885 886 887 887 887 888 889 889 890 391 392 393 894	
872 873 874 875 876 877 877 878 879 880 881 881 882 881 882 883 884 884 885 886 887 886 887 887 887 887 888 889 890 891 891 892 893 894	ל
873       トダシバ         874       ヒメコバンソウ         875       イヌムギ         876       キツネガヤ         877       とメノガリヤス         878       ヒメノガリヤス         879       オガルカヤ         880       ギョウギシバ         881       カモガヤ         882       メとシバ         883       メとシバ         885       アキメヒシバ         886       アブラススキ         4スピエ       ケイヌピエ         887       オセシバ         889       オセシバ         890       オセシバ         891       カゼクサ         892       カゴメカゼクサ         893       コゴメカゼクサ         894       コブメカゼクサ	P
874       とメコバンソウ         875       イヌムギ         876       キツネガヤ         877       ノガリヤス         878       ヒメノガリヤス         879       オガルカヤ         880       第81         881       カモガヤ         882       タツノヒゲ         883       メヒシバ         884       コメヒシバ         885       アブラススキ         886       アブラススキ         887       ケイヌビエ         888       セメイヌビエ         890       オヒシバ         891       シナダレスズメガカゼクサ         893       コゴメカゼクサ         894       コブメカゼクサ	
874       とメコバンソウ         875       イヌムギ         876       キツネガヤ         877       ノガリヤス         878       ヒメノガリヤス         879       オガルカヤ         880       第1         881       カモガヤ         882       タツノヒゲ         883       メヒシバ         884       コメヒシバ         885       アブラススキ         886       アブラススキ         887       ケイヌビエ         888       ケイヌビエ         890       オヒシバ         891       シナダレスズメガカゼクサ         893       コゴメカゼクサ         894       コブメカゼクサ	
875 876 877 878 879 880 881 881 882 882 883 884 885 886 887 886 887 888 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
#76 877 878 879 880 881 881 882 883 884 885 886 887 886 887 888 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
877 878 879 880 881 881 882 883 884 885 886 887 886 887 888 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
878 879 879 880 881 881 882 881 882 883 884 885 886 887 888 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
879 880 881 881 882 883 884 884 885 886 887 888 889 889 890 891 891 892 893 894	
880 881 882 883 884 885 886 886 887 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
881 882 883 884 885 886 886 887 887 888 889 889 890 891 891 892 893 894	
882 883 884 885 886 886 887 888 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
883   メヒシバ   コメヒシバ   コメヒシバ   フォヒシバ   アキメヒシバ   アキメヒシバ   アブラススキ   イヌピエ   タイヌピエ   タイヌピエ   セメイヌピエ   センイヌピエ   センイヌピエ   オヒシバ   シナダレスズメガ   カゼクサ   892   893   894   コゴメカゼクサ   ニワホコリ	-
884 885 886 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
885 886 887 888 888 889 890 891 891 892 893 894	
886 887 888 889 890 891 891 892 893 894	
887 888 889 890 891 891 892 893 894	
888       ケイヌビエ         889       ヒメイヌビエ         890       オヒシバ         891       シナダレスズメカガウサ         892       カゼクサ         893       コゴメカゼクサ         894       ニワホコリ	
889 890 891 892 893 894	
890 891 892 893 894 オヒシバ シナダレスズメカ カゼクサ コゴメカゼクサ ニワホコリ	
891 892 893 894 タイプション・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファ	
892 893 894 カゼクサ ニフホコリ	
893 894 コゴメカゼクサ ニワホコリ	ガヤ
<b>894</b> 二ワホコリ	
894 二ワホコリ	
895 オオニワホコリ	- I
896 コスズメガヤ	
897 コススパガヤ ナルコビエ	
898 オニウシノケグt	+
899 カシノケグサ ウシノケグサ	<del>*************************************</del>
900 トボシガラ	
901 902 ヒロハノウシノケ オオウシノケグ・	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 14/15)

903 ± 904 905			和名	河川 H16
904	単子葉植物	イネ科	ドジョウツナギ	1110
	十〕未旧初	1 1144	チガヤ	
			チゴザサ	
906			ハイチゴザサ	
907			サヤヌカグサ	
908			アゼガヤ	
909			ネズミムギ	
910			ササクサ	
			コメガヤ	
911				
912			ササガヤ	
913			ヒメアシボソ	
914			アシボソ	
915			トキワススキ	
916			オギ	
917				
			ススキ	
918			ヌマガヤ	
919			オオネズミガヤ	
920			ケチヂミザサ	
921			コチヂミザサ	
922			ヌカキビ	
923			オオクサキビ	
				<b>-</b>
924			シマスズメノヒエ	
925			キシュウスズメノヒエ	
926			スズメノヒエ	
927			チカラシバ	
928			クサヨシ	
929			ヨシ	
930			ツルヨシ	
931			ホテイチク	
932			マダケ	
933			ハチク	
934			モウソウチク	
935			ネザサ	
936			ケネザサ	
937			メダケ	
938			ミゾイチゴツナギ	
939			スズメノカタビラ	
940			オオイチゴツナギ	
941			ナガハグサ	
942			イチゴツナギ	
943			オオスズメノカタビラ	
944			ヒエガエリ	
945			ウキシバ	
946			ヤダケ	
947			チシマザサ	
948			ミヤコザサ	
949			チマキザサ	
950			スズタケ	
951			アキノエノコログサ	
952			キンエノコロ	
953			エノコログサ	
954			ムラサキエノコロ	
955			オオエノコロ	
956			セイバンモロコシ	
957			ネズミノオ	
958			カニツリグサ	
			12 2 2 2 2	
959			ナギナタガヤ	
960			マコモ	
961			シバ	
962		ヤシ科	シュロ	
963		サトイモ科	セキショウ	
964			キシダマムシグサ	
_				
965			ヤマトテンナンショウ	<b>—</b>
966			マムシグサ	
967			ムロウテンナンショウ	
968			カラスビシャク	
969		ウキクサ科	アオウキクサ	
970			ウキクサ	
		ガマ科	ヒメガマ	
971			/ · ·	

表 6.6-23 下流河川確認種リスト(植物: 15/15)

	表 6.6	-23 下流河川催認種	リスト(植物 : 15/15)	T 14		
No.	分類	科名	和名	下流 河川 H16		
973	単子葉植物	カヤツリグサ科	エナシヒゴクサ			
974			クロカワズスゲ			
975			マツバスゲ			
976			アオスゲ			
977			メアオスゲ			
978			ミヤマシラスゲ			
979			ヒメカンスゲ			
980			ナルコスゲ			
981			カサスゲ			
982			シラスゲ	i i		
983			イトスゲ			
984			マスクサ	1		
985			カワラスゲ			
986			ジュズスゲ			
-			ヒゴクサ			
987				<del> </del>		
988			テキリスゲ			
989			ヒカゲスゲ	<u> </u>		
990			ナキリスゲ			
991			タチスゲ			
992			ゴウソ	1		
993			ヒメシラスゲ	1		
994			カンスゲ	$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}}$		
995			ミヤマカンスゲ			
996			アオゴウソ			
997			コカンスゲ			
998			ヤブスゲ			
999			クサスゲ			
000			オオイトスゲ			
001			タガネソウ			
002			アゼスゲ	1		
003			ヤワラスゲ			
004			ヒメモエギスゲ			
1005			アイダクグ	1		
006			ヒメクグ	1		
$\overline{}$			クグガヤツリ			
1007				1		
8001			タマガヤツリ	<u> </u>		
1009			ヒナガヤツリ	-		
010			アゼガヤツリ	1		
1011			コアゼガヤツリ			
1012			コゴメガヤツリ	-		
1013			カヤツリグサ	ļ		
014			アオガヤツリ	_		
015			ウシクグ			
016			シロガヤツリ			
017			カワラスガナ			
018			マツバイ			
019			ハリイ			
020			シカクイ	$L^{-}$		
021			コアゼテンツキ			
022			ヒメヒラテンツキ			
023			テンツキ	1		
024			クロテンツキ	T		
025			ヒデリコ	1		
026			メアゼテンツキ	t		
027			ヒンジガヤツリ	1		
027			コマツカサススキ	1		
			イヌホタルイ	1		
029				1		
030		シュウザ科	アプラガヤ	┢		
031		ショウガ科 ラン科	ミョウガ	ऻ		
032		ノンヤキ	シュンラン	1		
033			ツチアケビ	1		
034			ミヤマウズラ	1—		
035			ムヨウラン	1		
036			ジガバチソウ			
037			クモキリソウ			
038			コクラン			
039			オオバノトンボソウ			
040			カヤラン			
041			ネジバナ	1		
042			クモラン	1		
				1		
	141科1042種 14					

注) 1.種名および分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。

表 6.6-24 下流河川確認種リスト(鳥類 : 1/2)

	12 0.0-2	1 77/07 37 11/1-4-0	作出リスト(病規・	1/2)	1
No.	目名	科名	種名	下流	河川
			和名	H14	H18• 19
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ		
2			アカエリカイツブリ		
	ペリカン目	ウ科	カワウ		
4		サギ科	ゴイサギ		
5	<b>-</b>	> 1 1T	ササゴイ		
6			アマサギ		
7			ダイサギ		
8			チュウサギ		
9			コサギ		
10			アオサギ		
11	カモ目	カモ科	オシドリ		
12			マガモ		
13			カルガモ		
14			コガモ		
15			ヒドリガモ		
16			カワアイサ		
	タカ目	タカ科	ミサゴ		
	プルロ	フルイ			
18			ハチクマ		
19			トビ		
20			オオタカ		
21			ツミ		
22			ハイタカ		
23			オオノスリ		
24			ノスリ		
25			サシバ		
26			クマタカ		
	キジ目	キジ科	コジュケイ		
28		1 / 11	キジ		
29			ヤマドリ		
		カノナジ			
30	ツル目	クイナ科	バン		
	チドリ目	チドリ科	コチドリ		
32			イカルチドリ		
33			ケリ		
34		シギ科	キアシシギ		
35			イソシギ		
36			ヤマシギ		
37			オオジシギ		
	ハト目	ハト科	キジバト		
39			アオバト		
	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ		
41	/J J J J D	/J ノ コ ノバイ	ツツドリ		
42		コカロムシ	ホトトギス		
	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク		
44			アオバズク		
45			フクロウ		
	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ		
47	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ		
48			ヤマセミ		
49	1		カワセミ		
	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ		
51			アカゲラ		
52			オオアカゲラ		
53			コゲラ		
		ハルンチ			
	スズメ目	ツバメ科	ツバメ		
55			コシアカツバメ		
56			イワツバメ		
57		セキレイ科	キセキレイ		
58			ハクセキレイ		
59			セグロセキレイ		
				_	_

表 6.6-24 下流河川確認種リスト(鳥類 : 2/2)

10	No.	目名	科名	種名	下流	河川
60   スズメ目   セキレイ科   ピンズイ   サンショウケイ   サンショウケイ   セミドリ   ヒョドリ科   ヒョドリ   モズ科   カワガラス科   カワガラスス   ラッサザイ   カワガラスス   カワガラスス   カワガラスス   カワガラスス   カワガラスス   カヤクグリ   ツグミ科   ショウピタキ   ルリピタキ   トラツグミ   アカハラ   フェース   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカハラ   ファカルラ   ファカルラ   ファカルラ   ファカルラ   ファカルラ   ファカルラ   ファカル   ファル				和名	H14	H18• 19
62   日子リ科   日子リ   日子リ   日子以   日子	60	スズメ目	セキレイ科	ビンズイ		
<ul> <li>E ズ科</li></ul>	61		サンショウクイ科			
64   カワガラス科 カワガラス   ミソサザイ科   ミソサザイ科   ミソサザイ   ミソサザイ   マウヒパリ科   カヤクグリ   カマクグリ   カマクグリ   カッグミ科   カリピタキ   ジョウピタキ   カリカラ   カッグミ   カリカラ   カッグ・ス   カササギヒタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンピタキ   エンガ科   エナガ   エカララ   スジュウカランカー   スジュウカラ   スジュウカラ   スジュウカラ   スジュウカラ   スジュウカラ   スジュウカラ   スジュウカランカ   スジュウカランカ   スジュウカランカ   スジュウカランス   スジュース   スジ	62			ヒヨドリ		
S	63		モズ科			
66	64		カワガラス科	カワガラス		
67	65		ミソサザイ科	ミソサザイ		
68	66		イワヒバリ科	カヤクグリ		
69   70   70   70   70   70   70   70   7	67		ツグミ科	ルリビタキ		
下ラツグミ   アカハラ   アカハラ   シロハラ   ツグミ   フカハラ   ツグミ   フガイス科   ヤブサメ   ウグイス   スポソムシケイ   センダイムシケイ   センダイムシケイ   センダイムシケイ   センダイムシケイ   セクキ科   キピタキ   オオルリ   サメピタキ   エゾピタキ   エゾピタキ   コサメピタキ   コサメピタキ   コガラ   ヒガラ   ヤマガラ   シジュウカラ   シジュウカラ   シジュウカラ   シジュウカラ   シジュウカラ   シジュウカラ   タリ   タリ   タリ   タリ   タリ   タリ   タリ   タ	68			ジョウビタキ		
71   72   73   74   75   76   77   78   76   77   78   77   78   79   80   81   82   83   84   85   86   87   88   89   90   91   91   92   93   94   95   96   97   98   99   100   101   102   103   104   105   104   105   104   105   104   105   105   104   105   105   104   105   105   104   105   105   104   105   1	69			ノビタキ		
72	70			トラツグミ		
73	71					
73	72			シロハラ		
74       ウグイス科       ヤブサメ ウグイス         76       メボソムシクイ       センダイムシクイ         77       キクイタダキ       セタキ科         80       81       キピタキ         82       コサメビタキ       コサメビタキ         83       カササギヒタキ科       エナガ         86       87       エナガ科       エナガ         88       シジュウカラ科       レガラ         89       シジュウカラ       シジュウカラ         90       タリカラダカ       フリンラダカ         91       カシラダカ       ミヤマホオジロ         92       93       アトリ科       アトリ         96       アトリ科       アトリ       カワラヒワ         マヒワ       マヒワ       マヒワ         ベニマシコ       ウソ       イカル         シメ       100       101         100       102       スズメ         103       ハタオリドリ科       ムクドリ         105       カラス科       カケス						
75   76   77   78   76   77   78   77   78   79   79   79   79	74		ウグイス科	ヤブサメ		
76						
T77						
キケイタダキ						
T9   80   81   82   83   84   85   86   87   88   89   90   91   92   93   94   95   96   97   98   99   100   101   102   103   104   105   104   105   105   104   105						
80   81   82   83   84   1   1   1   1   1   1   1   1   1			ヒタキ科			
81   82			_ , , , ,			
S2   S3   S4   コサメビタキ   コサメビタキ   コサメビタキ   コサメビタキ   S5   S6   S7   S8   S9   S9   SP   SP   SP   SP   SP   SP						
384						
84						
R5   R6   P			カササギヒタキ科			
86   87   88   2   2   2   2   2   2   2   2						
87   88   89   7   7   7   7   7   7   7   7   7						
88   89   90   90   90   90   91   91   92   93   94   95   96   97   98   99   100   101   102   103   104   105			7 7 7 7 7 7 1 1	ヒガラ		
89   90   90   タジュウカラ   タジュウカラ   タジュウカラ   タジュウカラ   タジュウカラ   タジュウカラ   カシラダカ   カシラダカ   ミヤマホオジロ   アオジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   クロジ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファナリカ   ファスカ						
90       メジロ科       メジロ         91       ホオジロ科       ホオジロ         92       カシラダカ       ミヤマホオジロ         93       クロジ       クロジ         95       96       アトリ科       アトリ         97       98       マヒワ       マヒワ         99       ベニマシコ       ウソ       イカル         100       イカル       シメ         103       ハタオリドリ科       スズメ         104       ムクドリ科       ムクドリ         105       カラス科       カケス						
91     ホオジロ科     ホオジロ       92     93       94     ミヤマホオジロ       95     クロジ       96     アトリ科       97     98       99     マヒワ       100     イカル       101     シメ       102     ハタオリドリ科     ムクドリ       104     カラス科     カケス			メジロ科			
92       93       94       95       96       97       98       99       100       101       102       103       104       105						
93   94   95   96   7トリ科   7トリ   7トカ			W 2 D 11			
94       95       96       97       98       99       100       101       102       103       104       105         アトリ科       アトリ       カラス科       アトリ       カラス科						
95     96       96     アトリ科       97     カワラヒワ       98     マヒワ       99     ベニマシコ       100     ウソ       101     イカル       102     シメ       103     ハタオリドリ科     スズメ       104     ムクドリ科     ムクドリ       105     カラス科     カケス						
96       97       98       99       100       101       102       103       104       105         アトリ科       フトリ科       ブトリ       マヒワ       マヒワ       マニマシコ       ウソ       イカル       シメ       ハタオリドリ科       ムクドリ科       カラス科       カケス						
97   98   2   カワラヒワ   マヒワ   マヒワ   マヒワ   ロロ   ロロ   ロロ   ロロ   ロロ   ロロ   ロロ			アトロ科			
98   マヒワ   ベニマシコ   ウソ   イカル   シメ   103   104   ムクドリ科   ムクドリ科   ムクドリ   カラス科   カケス			7 1 717			
99   100						
100       101       102       103       104       105       カラス科       ウソ       イカル       シメ       スズメ       ムクドリ科       カケス						
101     イカル       102     シメ       103     ハタオリドリ科 スズメ       104     ムクドリ科 ムクドリ       105     カラス科 カケス						-
102     シメ       103     ハタオリドリ科 スズメ       104     ムクドリ科 ムクドリ       105     カラス科 カケス						-
103     ハタオリドリ科 スズメ       104     ムクドリ科 ムクドリ       105     カラス科 カケス						
104     ムクドリ科     ムクドリ       105     カラス科     カケス			ハカオロドロむ			
105 カラス科 カケス						
			カラ人作			
106   ハシボソガラス   リンプトガラス						-
107 ハシブトガラス	107					-
カラス属				刀フ人禺	oote.	001T
16目36科107種			16目36科107種			1
4種   10月30月107月   4種   12月30月107月   12月30日	L = 0 /	*****		Dの日勃迦木のナルのル (と)		<u>·</u>

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-25 下流河川確認種リスト(両生類)

1				
No.	目名	科名	和名	下流河川 H15
1	サンショウウオ	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	
2		イモリ	イモリ	
3	カエル	ヒキガエル	ニホンヒキガエル	
4		アマガエル	アマガエル	
5		アカガエル	タゴガエル	
6			ヤマアカガエル	
7			トノサマガエル	
8			ヌマガエル	
9			ウシガエル	
10			ツチガエル	
11		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	
12			カジカガエル	
2目6科12種				

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2. :「平成19年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その2)(室生ダム)(魚類調査)」6月、8月調査時に確認された。

表 6.6-26 下流河川確認種リスト(哺乳類)

No.	目名	科名	和名	下流河川 H15
1	モグラ	モグラ	ヒミズ	
2			コウベモグラ	
-			モグラ属	
3	コウモリ	キクガシラコウモ	キクガシラコウモリ	
4		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	
5			ユビナガコウモリ	
6			テングコウモリ	
-			ヒナコウモリ科	
7	サル	オナガザル	ニホンザル	
	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	
9	ネズミ	リス	ニホンリス	
10			ムササビ	
11		ネズミ	アカネズミ	
12			ヒメネズミ	
13			カヤネズミ	
-			ネズミ科	
1/	ネコ	イヌ	タヌキ	
15	1 · -1		キツネ	
16		イタチ	テン	
		197		
17			イタチ属	
18			アナグマ	
	ウシ	イノシシ	イノシシ	
20		シカ	ホンドジカ	
7目11科20種				

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・属」「・・・科」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 1/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
1	クモ綱	クモ目	ジグモ科	ジグモ	1
2			ガケジグモ科	ガケジグモ科	
3			ハグモ科	ヒナハグモ	1
			/\ / L14		
<b>—</b>			エロガエジ	八グモ科	1
4			チリグモ科	チリグモ	
5			ウズグモ科	オウギグモ	1
6				マネキグモ	1
7				ウズグモ	
8			マシラグモ科	マシラグモ	1
				マシラグモ科	1
9			タマゴグモ科	タマゴグモ科	1
					1
10			ユウレイグモ科	ユウレイグモ	1
11				アケボノユウレイグモ	
12				シモングモ	
13			エンマグモ科	コマツエンマグモ	
14			タナグモ科	クサグモ	
15			7 7 214	コクサグモ	
13					
-				Age I ena属	1
16				ヤマヤチグモ	1
17				クロヤチグモ	
18				シモフリヤチグモ	
19				ヒメヤマヤチグモ	
20				カメンヤチグモ	1
21				デベソヤチグモ	1
					1
22				カミガタヤチグモ	1
				Coelotes属	1
23				カチドキナミハグモ	
-				Cybaeus属	
-				タナグモ科	
24			コガネグモ科	キジロオヒキグモ	
25			3347 244	キザハシオニグモ	
				<b>キリハンオーソモ</b>	
26				ヌサオニグモ	1
27				アオオニグモ	
28				ヤマオニグモ	
29				カラオニグモ	
-				Araneus属	
30				ムツボシオニグモ	1
31				コガネグモ	1
32				コガネグモ   チュウガタコガネグモ	1
					1
33				ナガコガネグモ	1
				Argiope属	1
34				ヤマトカナエグモ	
35				ギンメッキゴミグモ	
36				カラスゴミグモ	
37				ギンナガゴミグモ	1
38				ヤマトゴミグモ	1
39				ゴミグモ	1
				コルプモ	1
40				ヨツデゴミグモ	1
-				Cyclosa属	
41				トリノフンダマシ	
42				オオトリノフンダマシ	
43				シロオビトリノフンダマシ	1
44				クロトリノフンダマシ	1
				<u>クロトリナフンタマシ</u>  アカイロトリナフンダマシ	1
45					1
-				Cyrtarachne属	
46				トガリオニグモ	
47				ヨツボシショウジョウグモ	
48				シロスジショウジョウグモ	
49				コガネグモダマシ	1
					1
50				ゴマジロオニグモ	1
51				ワキグロサツマノミダマシ	1
52				コゲチャオニグモ	<u></u>
53				ヤマシロオニグモ	
54				サツマノミダマシ	
55				ヘリジロオニグモ	1
- 55					1
<u> </u>				Neoscona属	1
56				サガオニグモ	1
57				カラフトオニグモ	
58				ヤマキレアミグモ	
				コガネグモ科	
59			ミズグモ科	ミズグモ	1
60					1
• 60			ハタケグモ科	ヤマハタケグモ ハタケグモ科	
- 00					

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 2/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
61	クモ綱	クモ目	サラグモ科	クロケシグモ	1110
62	) CM3	, 51	222211	コサラグモ	
63				オオスギヤミサラグモ	
64				マルサラグモ	
65				ハラジロムナキグモ	
66				デーニッツサラグモ	
				ナニワナンキングモ	
67					
68				ノコギリヒザグモ	
69				ハナサラグモ	
70				ニセアカムネグモ	
71				アリマケズネグモ	
72				ヤマトケズネグモ	
73				ズキンヌカグモ	
74				クロナンキングモ	
75				アショレグモ	
76				ハガタヤセサラグモ	
77				クボミケシグモ	
78				チビサラグモ	
79				ツリサラグモ	
80				ヘリジロサラグモ	
81				ツノケシグモ	
82				チビアカサラグモ	
83				クスミサラグモ	
84				ムネグロサラグモ	
85				コウシサラグモ	
86				イマダテテングヌカグモ	
87				ナラヌカグモ	
88					
				フタスジサラグモ	
89			- + + + - 11	アシナガサラグモ	
90			コガネグモ科	シロブチサラグモ	
91				アリマネグモ	
92				ヨツボシサラグモ	
93				ヌカグモ	
94				ユノハマサラグモ	
95				セスジアカムネグモ	
96				オオサカアカムネグモ	
97				テングヌカグモ	
-				サラグモ科	
98			コモリグモ科	チリコモリグモ	
			コレックモイヤチ		
99				スジプトコモリグモ	
100				カガリビコモリグモ	
101				エビチャコモリグモ	
102				ヒノマルコモリグモ	
103				カワベコモリグモ	
104				ハラクロコモリグモ	
105				ウヅキコモリグモ	
106				ヤマハリゲコモリグモ	
107				イサゴコモリグモ	
108				ハリゲコモリグモ	
				ナカバナコエリガエ	
109				キクヅキコモリグモ	
-				Pardosa属	
110				クラークコモリグモ	
111				ミナミコモリグモ	
112				カイゾクコモリグモ	
113				イモコモリグモ	
114				チビコモリグモ	
115				キバラコモリグモ	
116				コガタコモリグモ	
117				ナミコモリグモ	
117					
- 440				Pirata属	
118				アライトコモリグモ	
-				コモリグモ科	
119			センショウグモ科	センショウグモ	
120				オオセンショウグモ	
121			コツブグモ科	ナンブコツブグモ	
122			ササグモ科	ササグモ	
123			キシダグモ科	シノビグモ	1
124			1.222	スジプトハシリグモ	
124				スジアカハシリグモ	
126				イオウイロハシリグモ	
				Dolomedes属	
127				ハヤテグモ	
128				アズマキシダグモ	
				Pisaura属	
- 120				キシダグモ科	
-				<u> </u>	
-					1
- - 129			アシナガグモ科		
- - 129 130			アシテカクモ科	オオシロカネグモ	
129 130 131			アシテカグモ科	オオシロカネグモ コシロカネグモ	
- - 129 130			アシアカクモ科	オオシロカネグモ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 3/37)

133 134 135 136 137 138		クモ目	アシナガグモ科	キンヨウグモ	H15
134 135 136 137		1			
135 136 137				ヤマジドヨウグモ	
136 137				タニマノドヨウグモ	
137				<u>ノニマティコンテと</u> メガネドヨウグモ	
400				ジョロウグモ	
138				トガリアシナガグモ	
139				ハラビロアシナガグモ	
140				キヌアシナガグモ	
				ナステンテカフ L	
141				ヤサガタアシナガグモ	
142				ミドリアシナガグモ	
143				アシナガグモ	
144				ウロコアシナガグモ	
145	l			シコクアシナガグモ	
145					
-				Tetragnatha属	
-				アシナガグモ科	
146			ヒメグモ科	ツリガネヒメグモ	
				Achaearanea属	
447					-
147				ヒメグモ	
148				コンピラヒメグモ	
149				オオヒメグモ	
150				アシブトヒメグモ	
151				オナガグモ	
152				フタオイソウロウグモ	
153				ヤリグモ	
154				ヤホシサヤヒメグモ	
155				ヨロイヒメグモ	
156				ボカシミジングモ	
				<b>ホルフミンファモ</b> キーラバン <i>は</i> エ	
157				カニミジングモ	
158				シモフリミジングモ	
-				Dipoena属	
159				カレハヒメグモ	
160				ヒシガタグモ	
161				ハラナガヒシガタグモ	
-				Episinus属	
162				ツクネグモ	
163				スネグロオチバヒメグモ	
164				バラギヒメグモ	
165				ヒロハヒメグモ	
166				ムナボシヒメグモ	
167				タカユヒメグモ	
-				Theridion属	
				ヒメグモ科	
168			カラカラグモ科	ヤマジグモ	
169				カラカラグモ	
170				ナルコグモ	
171			イヅツグモ科	ナガイヅツグモ	
			1 2 2 2 2 144		
172				イヅツグモ	
173			フクログモ科	オビジガバチグモ	
174				カバキコマチグモ	
175				ヤマトコマチグモ	
					<del>-  </del>
176				ヤサコマチグモ	$\longrightarrow$
-				Cheiracanthium属	
177				コフクログモ	
178				イナフクログモ	
179				ヤハズフクログモ	<del></del>
					-
180				ヒメフクログモ	
181				トビイロフクログモ	
182				マイコフクログモ	
183				ムナアカフクログモ	
103					
				Clubiona属	
184				イタチグモ	
185				オトヒメグモ	I
186				コムラウラシマグモ	
187				ウラシマグモ	<del></del>
101					<del>-  </del>
				Phrurol i thus属	$\longrightarrow$
188				ネコグモ	
-				フクログモ科	
189			シボグモ科	シボグモ	
190			ワシグモ科	チャクロワシグモ	
			J J J T M		
191				トラフワシグモ	
-]				Drassodes属	
192				エビチャヨリメケムリグモ	
193					
				クロチャケムリグモ	
194				マエトビケムリグモ	
				Zelotes属	
- 157				ワシグモ科	
-		i .	i		
-			マンガー ヴァい	フンガカガエ	
- - 195			アシダカグモ科	アシダカグモ	
- 195 196			アシダカグモ科	ツユグモ	
- - 195			アシダカグモ科		

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 4/37)

199	No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
200	199	クモ綱	クモ目	エビグモ科	キンイロエビグモ	
201		, -,,,	,			
The internal content of th						
2022   1						
203	202					
ATFU						+
205   206   207   20				リエトリ <i>は</i> エジ		-
206				ハエトリクモ科		
ボチブロハエトリ						
Evaribalism						
208 209 210	207				ホオジロハエトリ	
209   ファイン	-				Evarcha属	
209   ファイン	208				アダンソンハエトリ	
子ピウロハエトリ   日日   日日   日日   日日   日日   日日   日日						
T						1
T	210					-
2012   1	244					+
Narpissam					ユキスハエトリ コガン: リエトリ	-
サハズルエトリ	212					
フェート   フェート	-					
ササアリグモ	213					
フリケモ	214					
フリケモ	215					
1						I
217   218   219   14				ハエトリグモ科		1
218	217					1
200   201   202   20						1
Phintellag						-
220   221   222   223   224   225   224   225   226   227   228   227   228   227   228   227   228   227   228   227   228   227   228   229   22	219					1
221   222   223   224   225   225   226   227   226   227   226   227   228   226   227   228   228   228   228   228   228   228   228   228   228   228   228   228   228   229   22	-					
222   224   225   226   227   228   226   227   228   228   227   228   229   22						
223   224   225   226   227   226   227   228   228   229   229   229   229   230   231   232   231   232   233   232   234   235   236   237   238   238   238   238   239   240   239   240   241   242   242   242   243   244   245   246   246   246   247   248   247   248   247   248   247   248   247   248   247   248   247   248   249   250   251   253   254   255   25	221				イナズマハエトリ ( キツネハエトリ )	
223   224   225   226   227   228   228   228   229   229   229   229   229   229   229   230   231   232   231   232   232   233   234   235   236   237   238   238   238   238   238   238   238   238   238   239   240   239   240   241   242   242   242   242   242   243   244   244   245   246   246   247   248   247   248   247   248   247   248   247   248   249   250   251   253   254   255   25	222				ヒメカラスハエトリ	
224   225   226   227   228   229   229   230   231   232   232   233   234   235   236   237   238   237   238   237   238   237   238   237   238   237   238   239   240   240   242   242   243   242   243   242   243   245   246   246   248   249   249   249   240   24	223				アオオビハエトリ	
A					ウススジハエトリ	-
ハエトリグモ科						1
226   227   228   229   22	223					_
227   228				+ - # + TV		
228				カークモ科		
Lysiteles属						
1	228					
230   231   232   233   234   235   236   237   238   237   238   239   240   240   241   242   242   245   246   247   248   247   248   249   250   25	-				Lysiteles属	
230   231   232   233   234   235   236   237   238   237   238   239   240   240   241   242   245   246   247   248   247   248   249   250   25	229				八ナグモ	
231   232   233   234   235   236   237   238   236   237   238   238   237   238   238   239   240   240   240   241   241   242   243   245   246   246   246   246   246   246   246   248   248   249   249   250   25						
232   233   234   235   236   237   238   237   238   239   240   239   240   241   昆虫網						
233   234   235   236   237   238   236   237   238   238   238   238   239   240   240   241   昆虫網						1
トラフカニグモ   セマルトラフカニグモ   セマルトラフカニグモ   セマルトラフカニグモ   ヤミイロカニグモ   アズマカニグモ   オオヤミイロカニグモ   アズマカニグモ   オオヤミイロカニグモ   大火はい3属   シボグモモドキ   シボグモモドキ   コクナグモ   クモ目   セメトビムシ科   イボトビムシ科   イボトビムシ科   イボトビムシ科   セメトビムシ科   ヤギシロトビムシ   シロトビムシ科   シェット・ビムシ科   マッフト・ビムシ   マッフト・ビムシ科   マッフト・ビムシ科   マッフト・ビムシ科   マッフト・ビムシ科   マッフト・ビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ科   ロスギストビムシ   ロスギストビムシ科   ロスドス・ビムシ科   ロスドス・ビムシー   ロスドス・ビムシー   ロスドス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス						1
セマルトラフカニグモ   ヤミイロカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   オオヤミイロカニグモ   オオヤミイロカニグモ   オオヤミイロカニグモ   オオヤミイロカニグモ   オオヤミイロカニグモ   スysticus属   シボグモモドキ   コクナグモ   クモ目   セメトビムシ科   セメトビムシ科   セメトビムシ科   セメトビムシ科   セメトビムシ科   セメトビムシ科   セメトビムシ科   ヤボシロトビムシ科   シロトビムシ科   シロトビムシ科   シロトビムシ科   シロトビムシ科   ション・ビュン科   ション・ビュン科   ション・ビュン科   ション・ビュン科   ファヤトビムシ科   ファヤトビムシ科   ファヤトビムシ科   エオフシトビムシ   ウスギヌトビムシ科   セゲナガトビムシ   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ   ヤボシマルトビムシ   ヤボシマルトビムシ   セガトビムシ科   セガトビムシ科   セガトビムシ科   セガトビムシ科   セガトビムシ科   セゲナガトビムシ科   セゲナガトビムシ   セガトビムシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレンシ科   セブレトビムシ   セブレムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレトビムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレトビムシ   セブレトビムシ   セブレービムシービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシ   セブレービムシービムシービムシービムシービムシービムシービムシービムシービムシービムシ						
236						
237   238   249   239   240   241   昆虫網   1						
フェート   フェート						
Nysticus属   シボグモモドキ   シボグモモドキ   コクナグモ   フィー	237				アズマカニグモ	
Nysticus属   シボグモモドキ   シボグモモドキ   コクナグモ   フィー				1	オオヤミイロカニグモ	
239   240   240   241   242   243   242   243   244   245   246   246   246   246   246   246   246   247   248   249   250   251   252   253   253   253   254   255   254   255   254   255   254   255   254   255   256   25	-					1
240	239			シボグモモドキ科		
241   昆虫綱				3.7 2 2 1 1 1 7		1
日本編	240				カギ日	1
242       243       イボトビムシ科       イボトビムシ科         244       シロトビムシ科       ヤギシロトビムシ科         245       ミズトピムシ科       シマツノトビムシ         246       Sinella属       アヤトビムシ科         247       248       ニセフシトビムシ         249       ウスギヌトビムシ科       ウスギヌトビムシ科         250       セゲナガトピムシ科       トウアヒゲナガトビムシ         251       アヤヒゲナガトビムシ       トヴアヒゲナガトビムシ         -       セゲナガトビムシ科       オオトゲトビムシ科         -       マルトビムシ科       キボシマルトビムシ         -       マルトビムシ科       マルトビムシ         -       マルトビムシ       マルトビムシ	044	日山畑	しばんシロ(野祭日)	LJ L L J L 3.53		1
243       ・ <td></td> <td>比出綱</td> <td>  「「こムン日(柏官日)</td> <td></td> <td></td> <td></td>		比出綱	「「こムン日(柏官日)			
シロトビムシ科   ラズトビムシ   ラズトビムシ   フヤトビムシ科   ラズトビムシ   フヤトビムシ科   シマツノトビムシ   Sinella属   アヤトビムシ科   ファヤトビムシ科   ファヤトビムシ科   ファヤトビムシ   ファヤトビムシ   ファナトビムシ   ファナトビムシ   ファナトビムシ   ファナトビムシ   ファナトビムシ   ファナトビムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ科   ファナービムシ科   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ科   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービムシ科   ファナービムシ   ファナービービージ   ファナービービービージ   ファナービービージ   ファナービービービージ   ファナービービージ   ファナービービージ   ファナービージ   ファナービービージ   ファナービージ   ファナービービージ   ファナージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   ファナービージ   フ						
244       245         245       246         246       シマツノトビムシ         5inella属       アヤトビムシ科         247       ジスラトビムシ         248       ニセフシトピムシ         -       ツチトビムシ科         249       ウスギヌトピムシ科         250       アヤヒゲナガトビムシ         とゲナガトピムシ科       トヴァヒゲナガトピムシ         上ゲナガトピムシ科       トゲトビムシ科         252       トゲトビムシ科         -       オオトゲトビムシ         マルトビムシ科       キボシマルトビムシ         マルトビムシ科       マルトビムシ科	243			シロトビムシ科		
245       246						
245       246	244			ミズトビムシ科	ミズトビムシ	
Sine   la属					シマツノトビムシ	1
アヤトビムシ科						1
247   248   247   248   249   249   250   251   252   253   254   254   257   249   250   251   253   254   255   254   257   258   25	240					1
コープ・ドピムシ	247			Wエトビ / こご		1
フェー				フテトレムン科		1
249     ウスギヌトビムシ科     ウスギヌトビムシ科       250     トウアヒゲナガトビムシ       251     アヤヒゲナガトビムシ       -     ヒゲナガトビムシ科       252     トゲトビムシ科       -     トゲトビムシ科       253     マルトビムシ科       254     キボシマルトビムシ       -     マルトビムシ科	248					+
250     251       -     トウアヒゲナガトビムシ       -     トゲトビムシ科       252     トゲトビムシ科       -     トゲトビムシ科       253     マルトビムシ科       254     キボシマルトビムシ       -     マルトビムシ科       マルトビムシ科     マルトビムシ科	_				ツチトビムシ科	
アヤヒゲナガトビムシ   ヒゲナガトビムシ科   ヒゲナガトビムシ科   トゲトビムシ科   オオトゲトビムシ   トゲトビムシ科   オオトゲトビムシ   トゲトビムシ科   キボシマルトビムシ   キマルトビムシ   マルトビムシ科   マルトビムシ科   マルトビムシ科						
アヤヒゲナガトビムシ   ヒゲナガトビムシ科   ヒゲナガトビムシ科   トゲトビムシ科   オオトゲトビムシ   トゲトビムシ科   オオトゲトビムシ   トゲトビムシ科   キボシマルトビムシ   キマルトビムシ   マルトビムシ科   マルトビムシ科   マルトビムシ科	250			ヒゲナガトビムシ科		
ヒゲナガトビムシ科						T
252	_					1
トゲトピムシ科   253   マルトピムシ科   キボシマルトピムシ   キマルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ科   マルトピムシ科	252			トゲトビムシ科		1
253   マルトピムシ科   キボシマルトピムシ   キマルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ科   マルトピムシ科   マルトピムシ科	202			1 1		+
キマルトビムシ   マルトビムシ科	050			711 1 12 / 2 / 21		1
- マルトピムシ科				ベルトロムン科		
	254					<b></b>
255 ヤマシタホソウロコトビムシ						
	255			1		

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 5/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
	昆虫綱	トビムシ目(粘管目)	マルトビムシ科	クモマルトビムシ亜科	H15
257		+77°./°.	h > . + ¬ ¬ > . / > . 4 \	クモトビムシ亜科	
258		カマアシムシ目	クシカマアシムシ科	<u> ヨシイムシ</u>	
259 260		<u>コムシ目</u> イシノミ目	ナガコムシ科 イシノミ科	イシイナガコムシ Pedetontinus属	
		インノミ日	127314		
261				Pedetontus属 イシノミ科	
262		カゲロウ目(蜉蝣目)	<u></u> コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	
263		カグログロ(野郷日)	1777 1774	Baet is属	
203				コカゲロウ科	
264			フタオカゲロウ科	フタオカゲロウ科	
265			ヒラタカゲロウ科	オビカゲロウ	
266				チャイロミヤマタニガワカゲロウ	
267				エルモンヒラタカゲロウ	
268				ユミモンヒラタカゲロウ	
269				ヒメヒラタカゲロウ	
270				タテヤマヒメヒラタカゲロウ	
-				ヒラタカゲロウ科	
271			チラカゲロウ科	チラカゲロウ	
272			ヒトリガカゲロウ科	ヒトリガカゲロウ科	
273			トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ	
-				トビイロカゲロウ科	
274			モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	
275				モンカゲロウ	
			+D+&D+*	モンカゲロウ科	
276			カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ   カロスダラカゲロウ	
277			マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ	
<u> </u>				マダラカゲロウ科 カゲロウ目	
278		トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	カケロウロ   ホソミオツネントンボ	
279		「フか日(期取日)		アオイトトンボ	
280				オオアオイトトンボ	
281			イトトンボ科	アジアイトトンボ	
282			1112344	アオモンイトトンボ	
283			カワトンボ科	ハグロトンボ	
284				ミヤマカワトンボ	
285				ニホンカワトンボ	
286				アサヒナカワトンボ	
287			ヤンマ科	コシボソヤンマ	
288				ミルンヤンマ	
289			サナエトンボ科	ヤマサナエ	
290				ダビドサナエ	
291				オナガサナエ	
292				コオニヤンマ	
293				オグマサナエ	
294			ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	
295 296			<u>オニヤンマ科</u> エゾトンボ科	オニヤンマ	
296			トンボ科	コヤマトンボ  ハラビロトンボ	
298			1 2 3347	シオカラトンボ	
299				シオヤトンボ	
300				オオシオカラトンボ	
301				ウスバキトンボ	
302				コシアキトンボ	
303				ナツアカネ	
304				マユタテアカネ	
305				アキアカネ	
306				ノシメトンボ	
307				ネキトンボ	
308		ゴキブリ目(網翅目)	ヒメクロゴキブリ科	ヒメクロゴキブリ	
309			オオゴキブリ科	オオゴキブリ	
310			チャバネゴキブリ科	エリチャバネゴキブリ	
311		カマキリ目(蟷螂目)	レメカフキリジ	チャバネゴキブリ科  ヒメカマキリ	
311		ハメイリロ ( 踊聊日 )	ヒメカマキリ科 カマキリ科	ヒメカマキリ   ハラビロカマキリ	
312			ハステンイイ	コカマキリ	
314				コカマモリ   チョウセンカマキリ	
315				オオカマキリ	
- 515				カマキリ科	
316		シロアリ目(等翅目)	ミゾガシラシロアリ科	ヤマトシロアリ	
-		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		シロアリ目	
317		ハサミムシ目(革翅目)	クロハサミムシ科	クロハサミムシ科	
318		,	マルムネハサミムシ科	コヒゲジロハサミムシ	
-				マルムネハサミムシ科	
319			クギヌキハサミムシ科	コブハサミムシ	
320				キバネハサミムシ	
				クギヌキハサミムシ科	
321		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	ヤスマツクロカワゲラ	
-				クロカワゲラ科	
322			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	
323				ハラジロオナシカワゲラ科	
324			オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ科	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 6/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
325	昆虫綱	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	キベリオスエダカワゲラ	1
326				カミムラカワゲラ	
327				ヤマトフタツメカワゲラ	
328				ヤマトカワゲラ	
-				カワゲラ科	
329			アミメカワゲラ科	セスジミドリカワゲラモドキ	
-				アミメカワゲラ科	
330		15 · . 4 ·	+ - 11	カワゲラ	
331		バッタ目(直翅目)	コロギス科	ハネナシコロギス	
332				コロギス  コロギス科	_
333			カマドウマ科	クチキウマ	1
333			73 ( 1 ) (14	Anoplophilus属	+
334				Atachycines属	1
335				カマドウマ	
336				マダラカマドウマ	
337				モリズミウマ	1
-				Diestrammena属	
338				クラズミウマ	
				Tachycines属	
-				カマドウマ科	
339			キリギリス科	コバネヒメギス	
340				ウスイロササキリ	
341				オナガササキリ	
342				コバネササキリ	
343				ホシササキリ	
344				ササキリ	1
345				エゾツユムシ	-
346 347				セスジツユムシ ヒメギス	1
348				<u> </u>	+
349				キリギリス	+
350				ウマオイ	1
-				Hexacentrus属	1
351				クダマキモドキ	1
352				ヤマクダマキモドキ	
353				ツユムシ	
354				アシグロツユムシ	
355				クサキリ	
356				ヤブキリ	
357				ササキリモドキ	
358				ササキリ亜科	
359				ツユムシ亜科	
-			L - 11	キリギリス科	4
360			ケラ科	ケラ	
361 362			コオロギ科	マダラスズ	1
363				ヒゲシロスズ	+
364				カワラスズ	+-+
365				シバスズ	++
366				ヤマトヒバリ	$\dagger$
367				ハラオカメコオロギ	
368				ミツカドコオロギ	
369				モリオカメコオロギ	
				Loxoblemmus属	
370				タンボコオロギ	
371				クマコオロギ	
372				カンタン	
-				Oecanthus属	1
373				クサヒバリ	4
374				リュウキュウマダラスズ	4
375				ヒメスズ	1
376				エゾスズ	++
377				ヤチスズ	++
378				クマスズムシ	+
379				エンマコオロギ To Loogry J. Luc屋	++
380				Teleogryllus属	++
380				キアシヒバリモドキ   ツヅレサセコオロギ	+
381				ツッレサセコオロキ   コオロギ科	+
382			力之々々土利	コカロキ科   カネタタキ	+
382			カネタタキ科	ルイプグナ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 7/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
383	昆虫綱	バッタ目(直翅目)	アリツカコオロギ科	アリツカコオロギ科	піэ
384	比立河	ハラフロ(直翅ロ)	バッタ科	ショウリョウバッタ	
			113714	マダラバッタ	
385 386				ヒナバッタ	-
387				ヒロバネヒナバッタ	
388				カワラバッタ	
389				クルマバッタモドキ	
390				ハネナガイナゴ	
391				コバネイナゴ	
-				0xya属	-
392				イナゴモドキ	
393					
				ダイリフキバッタ	
394				ミカドフキバッタ	
395				キンキフキバッタ	
396				ヤマトフキバッタ	
-				Parapodisma属	
397				ツチイナゴ	
398				ツマグロイナゴモドキ	
399				イボバッタ	
333					
400			ナン・プログ・・・ カエリ	バッタ科	_
400			オンブバッタ科	オンブバッタ	
401			ヒシバッタ科	トゲヒシバッタ	
402				ハネナガヒシバッタ	
403				コバネヒシバッタ	
404				ハラヒシバッタ	
405				ヤセヒシバッタ	
406				モリヒシバッタ	
-700				Tetrix属	<del>-  </del>
				ヒシバッタ科	
			1 - 11 - 174		
407			ノミバッタ科	ノミバッタ	
408		ナナフシ目(竹節虫目)	ナナフシ科	トゲナナフシ	
409				エダナナフシ	
-				ナナフシ科	
410		チャタテムシ目(噛虫目)	ケブカチャタテ科	ウスベニチャタテ	
411			ケチャタテ科	キモンケチャタテ	
				ケチャタテ科	_
412			ホソチャタテ科	ハグルマチャタテ	
			<b>ホンテヤタテ科</b>		
413				ホソチャタテ	
414			スカシチャタテ科	スカシチャタテ	
415			ヒメチャタテ科	ヒメチャタテ	
416			マドチャタテ科	ヒメマドチャタテ	
-				マドチャタテ科	
417			チャタテ科	オオチャタテ	
418				カバイロチャタテ	
419				オオスジチャタテ	_
420				スジチャタテ	
420					
				チャタテ科	
421		L ( ) E ( ) ( PE )	コチャタテ科	コチャタテ科	
422		カメムシ目(半翅目)	コガシラウンカ科	ナワコガシラウンカ	
423				スジコガシラウンカ	
424			ヒシウンカ科	オビカワウンカ	
425				ヤナギカワウンカ	
426				キガシラヒシウンカ	
427				イボタヒシウンカ	
428				ヨスジヒシウンカ	
429			ウンカ科	タケウンカ	
-			ウンカ科		
430				フタスジオオウンカ	
431				クロスジオオウンカ	
432				ナガラガワウンカ	
433				クワヤマウンカ	
434				ヒメトビウンカ	
435				トビイロウンカ	
436				ホソミドリウンカ	1
437				ハコネホソウンカ	
438					
				セジロウンカ	
439				ハリマナガウンカ	
440				タマガワナガウンカ	
441				セスジウンカ	
442				コブウンカ	
-				ウンカ科	
443			ハネナガウンカ科	アカハネナガウンカ	
444			7.51.2 73 22 7317	アヤヘリハネナガウンカ	
445				アカメガシワハネビロウンカ	
446				マエグロハネナガウンカ	
447			テングスケバ科	テングスケバ科	
448			アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	
449			マルウンカ科	マルウンカ	
450			1,0,0,0,17	キボシマルウンカ	
450					-
			U = 0 = 19	クサビウンカ	-
452			ハゴロモ科	スケバハゴロモ	
453				ベッコウハゴロモ	
454		İ.	i i	アミガサハゴロモ	1

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 8/37)

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
### ### ### ### #### ################	455	昆虫綱	  カメムシ目(半翅目)	グンバイウンカ科	  タテスジグンバイウンカ	H15
589	456					
### 1997	457			セミ科	チッチゼミ	
140   14	458				クマゼミ	
### 1						
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.	460				ミンミンゼミ	
Add	461				ニイニイゼミ	
### 1	462				ヒグラシ	
### 49777 # 19777 # 1988 # 19777 # 1988 # 19777 # 1988 # 19787 # 197	463				ハルゼミ	
### STATE ST	464					
1407				アワフキムシ科		
468						
### (1977)						
日本						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
### 1						
473 475 476 477 476 477 477 477 477 477 478 477 479 479 479 479 480 480 481 482 482 484 485 486 487 487 487 487 487 488 489 489 489 489 489 489 489 489 489						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
### 1						
1797年入24日						
### 1977   1977   1977   1977   1977   1977   1977   1977   1978   1977   1977   1977   1977   1978   1977   197	4/5					
### 1976 #	470			コガシラマロコナルン科		
1						l
### ### ### ### #####################				<del>                                    </del>		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
#85						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
485						
#86						
### 487						
### (Shlorita属						
### 490	488				Chlorita属	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	489					
### 192					オオトガリヨコバイ	
#99					トガリヨコバイ	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
495 496 497 7クスシトガリョルイ 498 499 499 499 500 500 501 502 503 503 503 504 505 506 507 507 507 508 509 509 509 509 501 501 501 501 502 502 503 503 503 503 503 504 505 505 506 507 507 507 508 509 509 509 509 509 500 500 500 500 500						
496 497 498 499 500 500 501 502 503 503 504 505 505 507 508 509 509 509 509 500 500 501 502 503 504 505 507 508 509 509 509 500 500 500 500 500						
497						
498					ンロビアココハイ	
### ### ### ### ### ### ### ### ### #						
500   1						
501						
SO2   SETUCH						
503   SEPUEDBING   SEX						
SEX						
5006   フタテンヨコパイ   フタテンヨコパイ   フタテンヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファヤイロヨコパイ   ファフロョコパイ   ファフロッコルパイ   ファフロッショコパイ   ファフロッショコパイ   ファフロッショコパイ   ファフロッショコパイ   ファフロッショコパイ   ファフロッショコパイ   ファフロッショコパイ   ファフロッショコパイ   ファコンボイ   ファイ・亜科   ファンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファコンボイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファコンボイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファイ   ファブ・ファブ・ファブ・ファブ・ファブ・ファブ・ファブ・ファブ・ファブ・ファブ・						
1	505				コミミズク	
S08   S09   S0						
509						
510						
511						
512   対ビメヨコバイ   ツマグロヨコバイ   アクショコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッサジョコバイ   ボッカショコバイ   ボッカショコバイ   ボッカショコバイ   ボッカショコバイ   ボッカショコバイ   ボッカンボー   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボー   ボッカンボイ   ボッカンボー   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボー   ボッカンボイ   ボッカンボイ   ボッカンボー   ボッカンボイ   ボッカンボー						
513       ツマグロヨコバイ         514       ホソサジョコバイ         515       10         516       ミナミマグラコバイ         517       クワキョコバイ         518       モモグロョコバイ         519       ラロレラタョコバイ         520       クロサジョコバイ         521       シロスオーショバイ         522       シスナショコバイ         523       シスナショコバイ         524       シアオンショコバイ         525       イオスダラョコバイ         526       イネマグラョコバイ         527       シラホシスカショコバイ         528       オフョンバイ         529       オフョンバイ         531       オフョンバイ         532       カンコンバイ         533       カンコンバイ         534       フロモンヤマトョコバイ         535       カンコンバイ         536       ヤマシロとメョコバイ         537       ションバイ 亜科         539       ションバイ 亜科         540       カンコンバイ 亜科         541       ヒメョコバイ 亜科         542       オオョコバイ 亜科         543       オヨコバイ 亜科         543       オオョコバイ 亜						
514					3 L L A コ   1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
1515   516   517   518   517   7   7   7   7   7   7   7   7   7						
また   また   また   また   また   また   また   また						
517						
518   19   19   19   19   19   19   19						
519       19         520       クロピラタヨコバイ         521       とトツタヨコバイ         522       クロザジョコバイ         523       シスオショコバイ         524       シスオショコバイ         525       イナズマョコバイ         526       シラホシスカショコバイ         527       オサョコバイ         528       チマダラヒメョルイ         530       キイロヒメョコバイ         531       イグチホショコバイ         532       カンコンバイ         533       コンロウホショコバイ         534       クロモンヤマトョコバイ         535       クロモンヤマトョコバイ         536       タカサゴヒメョコバイ         537       マフェンマートョコバイ         538       ショコバイ亜科         540       ホショコバイ亜科         541       ヒンヨコバイ亜科         542       オオョコバイ亜科         543       コバイ科						
クロピラタヨコバイ   とトツメヨコバイ   クロピラタヨコバイ   とトツメヨコバイ   クロピラタヨコバイ   クロピラタヨコバイ   クロピラタコバイ   クログラココバイ   クログラココバイ   クログラココバイ   クログラココバイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンコンドイ   グロボーンマンロンボーンコンドイ   グロボーンマンロンボーン   グロボーンマンロンボーン   グロボーンマンロンボーイ   グロボーンマンロンボーイ   グロボーンマンロンボーイ   グロボーンマンロンボーイ   グロボーンマンロンボーイ   グロボーンマンロンボーイ   グロボーンマンロンボーズ   グロボーンマンロンボーズ   グロボーンマンロンボーズ   グロボーンマンロンボー   グロボーンド・カリョコバイ 亜科   グロボーンマンロンボー   グロボーの   グロボーの   グロボーの   グロボーの   グロボーの   グロボーの   グロボーの   グロボーンド・ロンド・ロンマンロンボー   グロボーの   グロボーンド・ロンド・ロンド・ロンド・ロンド・ロンド・ロンド・ロンド・ロンド・ロンド・ロ						
E トツメヨコバイ						
522       クロサジョコバイ         523       シマサジョコバイ         524       シロズキショコバイ         525       イナズマョコバイ         526       シラホシスカショコバイ         527       カサョコバイ         528       オサョコバイ         530       キイロヒメョコバイ         531       イグチホショコバイ         532       ホショコバイ         533       コリウボシャマトョコバイ         534       クロモンヤマトョコバイ         535       ヤフトガリョコバイ         536       タカサゴとメョコバイ         537       タカサゴとメョコバイ         538       ミズク亜科         539       ヒロズョコバイ亜科         540       ホンサジョコバー亜科         541       ヒメョコバイ亜科         542       オオココバー亜科         543       コバイ科						
523       シマサジョコバイ         524       シロズキンョコバイ         525       イナズマョコバイ         526       イネマダラョコバイ         527       シラホシスカショコバイ         528       オサョコバイ         529       オナョコバイ         530       キイロヒメョコバイ         531       イグチホショコバイ         532       カショコバイ         533       クロモンヤマトョコバイ         534       クロモンヤマトョコバイ         535       ヤマシロヒメョコバイ         536       タカサゴヒメョコバイ         537       フリカショコバイ亜科         539       ヒロズョコバイ亜科         541       ナンサジョコバー亜科         542       オオョコバイ亜科         543       コバイ科					クロサジヨコバイ	
524         525         526         527         527         528         529         530         531         532         533         534         535         536         537         538         539         540         541         542         543         -         -					シマサジヨコバイ	
525       526       527       527       528       529       530       531       532       533       534       535       536       537       538       539       540       541       542       543       -       541       542       543       -					シロズキンヨコバイ	
526       527       528       528       529       530       531       531       532       533       533       534       535       536       537       538       539       541       542       543       -       -					イナズマヨコバイ	
528     オサヨコバイ       529     デマダラとメョコバイ       530     キイロとメヨコバイ       531     イグチホショコバイ       532     ニッコウホショコバイ       533     コッカショコバイ       534     クロモンヤマトョコバイ       535     ヤノトガリョコバイ       536     マカサゴヒメョコバイ       537     シカゴビメョコバイ       538     ミズク亜科       539     ヒロズョコバイ亜科       540     ホンサジョコバイ亜科       541     ヒメョコバイ亜科       542     オオココバイ亜科       543     オオココバイ亜科       34     オココバイ亜科       35     オオコバイ亜科       36     オオコバイ亜科       37     コバイ科	526				イネマダラヨコバイ	
529       デマダラヒメヨコバイ         530       キイロヒメヨコバイ         531       イグチルショコバイ         532       ホショコパイ         533       コッコウホショコバイ         534       クレモンヤマトヨコバイ         535       ヤノトガリヨコバイ         536       タカサゴヒメョコバイ         537       フェッロ・メョコバイ         538       タカサゴヒメョコバイ         539       ヒロズョコバイ亜科         541       ホンサジョコバイ亜科         542       オオョコバイ亜科         543       オオョコバイ亜科         343       コバイ科						
キイロヒメヨコバイ						
531					チマダラヒメヨコバイ	
ホショコパイ						
533						
534     クロモンヤマトヨコバイ       535     ヤノトガリョコバイ       536     ヤマシロヒメョコバイ       537     タカサゴヒメョコバイ       538     ミズク亜科       539     ヒロズョコバイ亜科       540     ホシサジョコバイ亜科       541     セメョコバイ亜科       542     オオココバイ亜科       543     オココバイ亜科       -     ココバイ科						
535   セノトガリヨコバイ   マットガリヨコバイ   マットガリヨコバイ   マットガリョコバイ   マットガリョンバイ   マットガリニンバイ   マットガリニンバイ   マットガリニンバイ   マットガリニンバイ亜科   エッコンバイ亜科   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カー・   エッカリンド・カート   エッカリンド・カード・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カード・カート   エッカリンド・カード・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カート   エッカリンド・カリンド・カート   エッカリンド・カート   エート・カート   エ					ーツコリルンゴコハ1 クロエンセフトココバイ	
ママシロヒメヨコバイ   タカサゴヒメヨコバイ   タカサゴヒメヨコバイ   タカサゴヒメヨコバイ   ランス						
537       538       539       540       541       542       543       -						
538     ミミズク亜科       539     ヒロズヨコバイ亜科       540     ホショコバイ亜科       541     ホンサジョコバイ亜科       542     ヒメョコバイ亜科       543     オオココバイ亜科       -     ココバイ科						
539     ヒロズヨコバイ亜科       540     ホショコバイ亜科       541     ホソサジョコバイ亜科       542     ヒメョコバイ亜科       543     オオョコバイ亜科       -     ヨコバイ科						
540     ホショコパイ亜科       541     ホソサジョコパイ亜科       542     ヒメョコパイ亜科       543     オオョコパイ亜科       -     ヨコパイ科						
541     ホソサジョコパイ亜科       542     ヒメョコパイ亜科       543     オオココパイ亜科       -     ヨコパイ科						
542     ヒメヨコバイ亜科       543     オオヨコバイ亜科       -     ヨコバイ科						
543     オオヨコバイ亜科       -     ヨコバイ科					ヒメヨコバイ亜科	
- ヨコバイ科					オオヨコバイ亜科	
- カメムシ目 . 同翅目 . 頭吻群					ヨコバイ科	
					カメムシ目.同翅目.頚吻群	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 9/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
544	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	キジラミ科	オビキジラミ	
545	10 14 M	77 47 4 (124)	1,2,2,11	イタドリマダラキジラミ	
546				ハンノキジラミ	_
547				ベニキジラミ	1
548				クストガリキジラミ	_
549				クロトガリキジラミ	-
			アプラムシ科		
550			アフラムシ料	ヨメナアミナシヒゲナガアブラムシ	_
551				ヘクソカズラヒゲナガアブラムシ	
552				マメアプラムシ	
553				クリオオアプラムシ	
554				ハッカイボアブラムシ	
555				ウツギトックリアブラムシ	
556				イバラヒゲナガアプラムシ	
557				クヌギトゲマダラアプラムシ	
558				アザミヒゲナガアブラムシ	
559				クヌギハアブラムシ	
- 555				アプラムシ科	_
560			クビナガカメムシ科	ヒメクビナガカメムシ	-
					_
561			サシガメ科	マダラカモドキサシガメ	
562				クロバアカサシガメ	4
563				トビイロサシガメ	
564				クロモンサシガメ	1
565				クビアカサシガメ	
566				アカヘリサシガメ	
567				アシナガサシガメ	
568				シマサシガメ	1
569				ヒメトビサシガメ	
570				ヤニサシガメ	1
310				サシガメ科	1
571			グンバイムシ科	オオウチワグンバイ	+
			DOMINA	マルミヤマグンバイ	_
572					-
573				ヤナギグンバイ	
574				シキミグンバイ	
575				トサカグンバイ	
-				Stephanitis属	
576				ヒメグンバイ	
-				グンバイムシ科	
577			ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ	
578				ケシハナカメムシ	
579				ズイムシハナカメムシ	
580				ツヤヒメハナカメムシ	_
581				ナミヒメハナカメムシ	+
301				りことがバケガグムシ Orius属	_
-				UTIUS属	-
582				ユミアシハナカメムシ	
				ハナカメムシ科	
583			トコジラミ科	トコジラミ科	
584			カスミカメムシ科	キエリフタモンカスミカメ	
585				ナカグロカスミカメ	
586				プチヒゲクロカスミカメ	
587				フタモンカスミカメ	
588				マツノヒゲボソカスミカメ	
589				フタモンアカカスミカメ	
590				クロバカスミカメ	
591				モモアカハギカスミカメ	
592				ツマグロアオカスミカメ	1
593				ツマグロハギカスミカメ	1
333				Apolygus属	1
594				Apolygus属 コミドリチビトビカスミカメ	+
					+
595				ミドリチビトビカスミカメ	1
596				ヒメセダカカスミカメ	1
597				アカホシカスミカメ	4
598				マダラカスミカメ	
599				シロテンツヤカスミカメ	1
600				オオクロトビカスミカメ	
601				ウスイロホソカスミカメ	
602				クロトビカスミカメ	
603				ズアカシダカスミカメ	
604				タバコカスミカメ	1
605				クロマルカスミカメ	1
					1
606				モンキマキバカスミカメ	
607				キアシアカカスミカメ	_
608				ホソヒョウタンカスミカメ	4
609				ツヤヒョウタンカスミカメ	4
610				ヒョウタンカスミカメ	
611				クロヒョウタンカスミカメ	
612				ズグロキベリカスミカメ	
613				オオクロセダカカスミカメ	1
614				カシワトビカスミカメ	1
615				ムギカスミカメ	+
					1
616				アカスジカスミカメ	<b>-</b>
617				ウスモンミドリカスミカメ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 10/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
618	昆虫綱	  カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	  イネホソミドリカスミカメ	H15
-	-2-0-3			カスミカメムシ科	
619			マキバサシガメ科	アカマキバサシガメ	
620				ベニモンマキバサシガメ	
621				ハラビロマキバサシガメ	
622				クロマキバサシガメ	
623				コバネマキバサシガメ	
624				ハネナガマキバサシガメ	
625				キバネアシブトマキバサシガメ	<b></b>
-			+++>.+.//>.51	マキバサシガメ科	1
626			オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ	
627 628			ホシカメムシ科	オオホシカメムシ  フタモンホシカメムシ	
629			ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	1
630			かり へりカスムフィー	ヒメクモヘリカメムシ	
631				ホソヘリカメムシ	
- 001				ホソヘリカメムシ科	
632			ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ	
633				オオクモヘリカメムシ	
634				ホソハリカメムシ	
635				ハリカメムシ	
636				ハラビロヘリカメムシ	
637				ホシハラビロヘリカメムシ	
638				オオツマキヘリカメムシ	
639				ツマキヘリカメムシ	
				ヘリカメムシ科	
640			ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ	
641				アカヒメヘリカメムシ	
642				ケブカヒメヘリカメムシ	1
643			L	ブチヒゲヒメヘリカメムシ	
644			イトカメムシ科	イトカメムシ	1
-				イトカメムシ科	
645			ナガカメムシ科	セスジナガカメムシ	<b></b>
646				ヒョウタンナガカメムシ	
647				Dimorphopterus属	-
648				マダラナガカメムシ	1
649				ホソコバネナガカメムシ	
650				オオモンシロナガカメムシ	
651				チャイロナガカメムシ	1
652 653				ヒメナガカメムシ	1
654				<u>ヒラタヒョウタンナガカメムシ</u> ヒゲナガカメムシ	
655				クロスジヒゲナガカメムシ	
656				モンシロナガカメムシ	
657				アムールシロヘリナガカメムシ	
658				キベリヒョウタンナガカメムシ	
659				アカアシホソナガカメムシ	
660				クロアシホソナガカメムシ	
661				オオメナガカメムシ	
662				ムラサキナガカメムシ	
663				イチゴチビナガカメムシ	
664				コバネヒョウタンナガカメムシ	
-				ナガカメムシ科	
665			メダカナガカメムシ科	メダカナガカメムシ	
666			ツノカメムシ科	オオツノカメムシ	
667				エサキモンキツノカメムシ	
668			ツチカメムシ科	コツチカメムシ	
669				ツチカメムシ	1
			+ J 1. 2.4N	ツチカメムシ科	1
670			カメムシ科	ウズラカメムシ	1
671				シロヘリカメムシ	1
672 673				トゲカメムシ ムラサキカメムシ	<b>—</b>
674				アオクチプトカメムシ	1
675				ハナダカカメムシ	
676				ナガメ	
677				トゲシラホシカメムシ	
678				ムラサキシラホシカメムシ	
679				マルシラホシカメムシ	
680				シラホシカメムシ	
681				ツヤアオカメムシ	
682				エビイロカメムシ	
683				クサギカメムシ	
684				ヨツボシカメムシ	
685				ツマジロカメムシ	
686				アオクサカメムシ	
687				イチモンジカメムシ	
688				チャバネアオカメムシ	
			L .	カメムシ科	
689			マルカメムシ科	ヒメマルカメムシ	
690				クズマルカメムシ	
691				マルカメムシ	
-			L	マルカメムシ科	1
692			キンカメムシ科	チャイロカメムシ	1
-				キンカメムシ科	1
693			アメンボ科	アメンボ	
694				コセアカアメンボ	
695				ヒメアメンボ	1
696				シマアメンボ	
-			71 775 ±50	アメンボ科	<b></b>
697			イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 11/37)

No.	網名	目名	科名	和名	下流河川 H15
	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	ミズカメムシ科	ミズカメムシ	
699			カタビロアメンボ科	ケシカタビロアメンボ	
700			ミズムシ科	コチビミズムシ	
701				チビミズムシ	
702				ハラグロコミズムシ	ì
703				コミズムシ	-
703					-
			15 - 0 1 5 51	Sigara属	
704			メミズムシ科	メミズムシ	
705			コオイムシ科	コオイムシ	
706			タイコウチ科	タイコウチ	
707				ミズカマキリ	1
708			マツモムシ科	マツモムシ	1
700			() (4)	カメムシ幼虫	-
-					<b>I</b>
-				カメムシ目	
709		アザミウマ目(総翅目)	シマアザミウマ科	ヒラズハナアザミウマ	
710			アザミウマ科	アザミウマ科	
711			クダアザミウマ科	Psalidothrips属	
-				クダアザミウマ科	
				アザミウマ目	
712		アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヘビトンボ科	クロスジヘビトンボ	
		アミスカグログロ(脈翅ロ)	ベニトンホイ		<b>.</b>
713				ヘビトンボ	
714			センブリ科	センブリ科	
715			コナカゲロウ科	マダラコナカゲロウ	
716				シロコナカゲロウ	1
717			ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ	1
717			CH//37 H 244		1
				ウンモンヒロバカゲロウ	<b>-</b>
719				スカシヒロバカゲロウ	
720				キマダラヒロバカゲロウ	
721			ケカゲロウ科	ケカゲロウ	
722			カマキリモドキ科	ヒメカマキリモドキ	1
723			ミズカゲロウ科	ミズカゲロウ	1
					1
724			クサカゲロウ科	キントキクサカゲロウ	1
725				ニッポンクサカゲロウ	<u> </u>
726				ホシクサカゲロウ	
727			ヒメカゲロウ科	ヤマトヒメカゲロウ	
728				アシマダラヒメカゲロウ	1
					1
729				ホソバヒメカゲロウ	
730				チャバネヒメカゲロウ	
731				マルバネヒメカゲロウ	
732				ニセヒメカゲロウ	
				ヒメカゲロウ科	<b>†</b>
733			ツノトンポ科	ツノトンボ	1
			ファ I・フ がれて		
734			1 - 10 1 10 - 151	オオツノトンボ	
735			ウスバカゲロウ科	ホシウスバカゲロウ	
736				ウスバカゲロウ	
737		シリアゲムシ目(長翅目)	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ	
738				プライヤシリアゲ	1
739			シリアゲモドキ科	スカシシリアゲモドキ	1
		1 1/4=0 / 4 10 0 0			
740		トビケラ目(毛翅目)	カワトビケラ科	ニホンタニガワトビケラ	
-				カワトビケラ科	
741			イワトビケラ科	オンダケミヤマイワトビケラ	
-				イワトビケラ科	
742			クダトビケラ科	クダトビケラ科	1
					-
743			ヒゲナガカワトビケラ科		
744				チャバネヒゲナガカワトビケラ	
745			ヤマトビケラ科	イノプスヤマトビケラ	
				ヤマトビケラ科	
746			ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ科	
747			ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	1
			ノルレドレンノ村		1
748				ニッポンナガレトビケラ	1
749				トランスクィラナガレトピケラ	I
750				ヤマナカナガレトビケラ	<u> </u>
-				Rhyacoph i Ia属	
-				ナガレトビケラ科	
751			コエグリトビケラ科	ヒラタコエグリトビケラ	1
					ł —
752			カクスイトビケラ科	クワヤマカクスイトビケラ	1
753				マルツツトピケラ	
				Micrasema属	
-				カクスイトビケラ科	
754			アシエダトビケラ科	コバントビケラ	Î
134			) / L / 1 L / / / / /		1
				アシエダトビケラ科	1
755			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	1
				Goera属	
-				ニンギョウトビケラ科	
			カクツツトビケラ科	フトヒゲカクツツトビケラ	l
756			137771 67714	ツダカクツツトピケラ	<b>i</b>
756 757		I .			1
756 757				カクツツトビケラ科	<b>!</b>
757 -					
757 - 758			ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ	
757 -			ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ ゴマダラヒゲナガトビケラ	
757 - 758 759			ヒゲナガトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトピケラ	
757 - 758			ヒゲナガトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトビケラ	
757 - 758 759 760				ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトビケラ ヒゲナガトビケラ科	
757 - 758 759 760 - 761			ヒゲナガトピケラ科 エグリトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトピケラ ヒゲナガトピケラ科 ニセウスパキトピケラ	
757 - 758 759 760				ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトビケラ ヒゲナガトビケラ科	
757 - 758 759 760 - 761				ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトピケラ ヒゲナガトピケラ科 ニセウスパキトピケラ	
757 - 758 759 760 - 761 762			エグリトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトビケラ ヒゲナガトビケラ科 ニセウスバキトビケラ ウスバキトビケラ エグリトピケラ科	
757 - 758 759 760 - 761				ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトビケラ ヒゲナガトビケラ科 ニセウスバキトビケラ ウスバキトビケラ エグリトビケラ科 ホソバトピケラ	
757 - 758 759 760 - 761 762 - 763			エグリトピケラ科ホソバトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトピケラ ヤマモトセンカイトピケラ ヒゲナガトピケラ科 ニセウスパキトピケラ ウスパキトピケラ エグリトピケラ科 ホソパトピケラ ホソパトピケラ科	
757 - 758 759 760 - 761 762 - 763 - 764			エグリトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトビケラ ヒゲナガトビケラ科 ニセウスパキトピケラ ウスパキトピケラ エグリトピケラ科 ホソバトピケラ オソバトピケラ科 ヨツメトピケラ	
757 - 758 759 760 - 761 762 - 763			エグリトピケラ科ホソバトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトピケラ ヤマモトセンカイトピケラ ヒゲナガトピケラ科 ニセウスパキトピケラ ウスパキトピケラ エグリトピケラ科 ホソパトピケラ ホソパトピケラ科	
757  758 759 760  761 762  763  764 765			エグリトピケラ科 ホソパトピケラ科 フトヒゲトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトピケラ ヒゲナガトピケラ科 ニセウスパキトピケラ ウスパキトピケラ オンパトピケラ ホンパトピケラ オンパトピケラ科 ヨッメトピケラ フタスジキソトピケラ	
757 - 758 759 760 - 761 762 - 763 - 764			エグリトピケラ科ホソバトピケラ科	ゴマダラヒゲナガトビケラ ヤマモトセンカイトビケラ ヒゲナガトビケラ科 ニセウスパキトピケラ ウスパキトピケラ エグリトピケラ科 ホソバトピケラ オソバトピケラ科 ヨツメトピケラ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 12/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
768	昆虫綱	トピケラ目(毛翅目)	ケトビケラ科	グマガトビケラ	піэ
760			カロッツトビケー科	ケトビケラ科	
769			クロツツトビケラ科	クロツツトビケラ Uenoa属	
770			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	
771				シロズシマトビケラ	
772				イカリシマトビケラ ウルマーシマトビケラ	
773 774				ウルマーシマトピケラ   セリーシマトピケラ	
775				ナカハラシマトピケラ	
-				Hydropsyche属	
776				オオシマトビケラ	
-				シマトビケラ科  トビケラ目	
777		チョウ目(鱗翅目)	コウモリガ科	キマダラコウモリ	
778		) I ) II ( MAZEII )	ムモンハモグリガ科	ムモンハモグリガ科	
779			ツヤコガ科	アジサイツヤコガ	
780			フギロギ科	ツヤコガ科	
781			マガリガ科	キオビクロヒゲナガ マガリガ亜科	
782			ホソガ科	ホシボシホソガ	
783				ホソガ亜科	
-			11 - 40 11 40 51	ホソガ科	
784			ハモグリガ科	ハモグリガ亜科	1
785			コハモグリガ科	ハモグリガ科  コハモグリガ科	1
786			ニセハマキガ科	カザリニセハマキ	
787			ヒロズコガ科	クロモンチビヒロズコガ	
788				マエモンヒロズコガ	
789				ウスモンツマオレガ	<b></b>
790 791				アトモンヒロズコガ   コクガ	
791				コラガ   クロクモヒロズコガ	<del>                                     </del>
793			ツツミノガ科	ツツミノガ科	
794			カザリバガ科	ホソカザリバ	
705				Cosmopterix属	
795				ベニモンマイコモドキ カザリバガ科	
796			クサモグリガ科	クサモグリガ科	
797			キバガ科	ミドリチビキバガ	
798				ハイイロチビキバガ	
799				ハギノシロオビキバガ	
800 801				イモキバガ   ナラクロオビキバガ	
- 001				キバガ科	
802			ヒゲナガキバガ科	ゴマフシロキバガ	
803				ムモンヒロバキバガ	
804			マルハキバガ科	コクサギヒラタマルハキバガ	
805 806				クロカギヒラタマルハキバガ ヨモギヒラタマルハキバガ	
807				ミツボシキバガ	
808				ホソオビキマルハキバガ	
809				モトグロヒラタマルハキバガ	
810				カタキマルハキバガ	
811 812				スジモンキマルハキバガ カレハチビマルハキバガ	
813				オビマルハキバガ亜科	
814				ヒラタマルハキバガ亜科	
-			_ 1 _ 7 _ 1000	マルハキバガ科	<u> </u>
815			ニセマイコガ科	カタアカマイコガ	1
816 817			<u>ニシュワシトリハカ科</u> シンクイガ科	ヤマトニシュワシトリバ  モモノヒメシンクイ	
818			アトヒゲコガ科	アトヒゲコガ科	
819			メムシガ科	オオキメムシガ	
-			14 + 11 10 - 1244	メムシガ科	
820			ヒカリバコガ科	ヒカリバコガ科	1
821 822			スガ科	ヒロバコナガ   ツヤギンバネスガ	1
823				コナガ	
824				ツマグロハイスガ	
825				ホソトガリクチプサガ	
826				スガ亜科	
- 007			ホソハフナエドナギ料	スガ科	1
827 828			<u>ホソハマキモドキガ科</u> スカシバガ科	ホソハマキモドキガ科  モモブトスカシバ	1
829			ボクトウガ科	ゴマフボクトウ	
830			ハマキガ科	ハンノキミダレモンハマキ	
831				ギンヨスジハマキ	
832				ナラコハマキ	
833				チャモンシロハマキ	<b>-</b>
834 835				<u>チャノコカクモンハマキ</u> リンゴコカクモンハマキ	1
836				カンココガクモンハマキ   ネホシウスツマヒメハマキ	1
837				グミウスツマヒメハマキ	
-				Apotomis属	
838				アトキハマキ	
839				ミダレカクモンハマキ	
840				オオアトキハマキ	1
841				マツアトキハマキ ナカジロヒメハマキ	<del>                                     </del>
842				17 71 71 11 ANYT	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 13/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
0.1.1	日本 郷		11 - 2 - 271		H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	フタモントガリバヒメハマキ	
845				ハイイロウスモンハマキ	
846 847				ウスモンハマキ	
	-			ウスキカクモンハマキ	
848				アシブトヒメハマキ	
849				オオアシブトヒメハマキ	
850				ヨツメヒメハマキ	
851				ヨモギネムシガ	
852				ヒノキカワモグリガ	
853				シロズスソモンヒメハマキ	
854				カバイロスソモンヒメハマキ	
855				トビモンシロヒメハマキ	
856				ニセコシワヒメハマキ	
-				Eucosma属	
857				アカオビホソハマキ	
858				ウスキシロヒメハマキ	
859				ナシヒメシンクイ	
860				マツトビヒメハマキ	
861				グミオオウスツマヒメハマキ	
862	1			シロモンヒメハマキ	
863				シラフオオヒメハマキ	
864				ヒカゲヒメハマキ	
865	1			チャハマキ	1
866	1			マメノヒメシンクイ	
867				ホソバチビヒメハマキ	1
868	-			スイカズラホソバヒメハマキ	<b>!</b>
869				ニセアズキサヤヒメハマキ	
870				コホソスジハマキ	
871				フタモンコハマキ	<b>.</b>
872				ウスシロモンヒメハマキ	
873				ニセバラシロヒメハマキ	
874				バラシロヒメハマキ	
875				クローバヒメハマキ	
876				ウツギヒメハマキ	
877				ナツハゼヒメハマキ	
878				ウストビハマキ	
879				コエダオビホソハマキ	
880				コホソハマキ	
881				マツズアカシンムシ	
882				キカギヒメハマキ	
883	1			モチツツジマダラヒメハマキ	
884				クロネハイイロヒメハマキ	
885				マツツマアカシンムシ	
886				クシヒゲムラサキハマキ	
887				シロスジマダラヒメハマキ	
888				GriseIda属	
889	1			テングハマキガ亜科	
890				ハマキガ亜科	
891				ヒメハマキガ亜科	
- 091	-				
	-		ナンハフナギジ	ハマキガ科	
892			ホソハマキガ科	ホソハマキガ科	
893			イラガ科	ムラサキイラガ	
894				カギバイラガ	
895				クロマダライラガ	
896	1			テングイラガ	
897				イラガ	
898				ナシイラガ	
899	1			クロスジイラガ	
900				アオイラガ	
901				クロシタアオイラガ	
902				タイワンイラガ	
903				アカイラガ	
				イラガ科	
904	1		マダラガ科	ウスグロマダラ	
905				ウスバッバメガ	
906				リンゴハマキクロバ	
907				シロシタホタルガ	
908			セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	1
909			J J J J J T	ホソバセセリ	1
				ヒメキマダラセセリ	1
040	i e				1
910		İ		イチモンジセセリ	1
911			1	チャバネセセリ	1
911 912					
911 912 913				オオチャバネセセリ	
911 912 913 914				コチャバネセセリ	
911 912 913 914 915			マダラチョウ科	コチャバネセセリ アサギマダラ	
911 912 913 914 915 916			テングチョウ科	コチャバネセセリ アサギマダラ テングチョウ	
911 912 913 914 915 916 917				コチャパネセセリ アサギマダラ テングチョウ ルリシジミ	
911 912 913 914 915 916			テングチョウ科	コチャバネセセリ アサギマダラ テングチョウ	
911 912 913 914 915 916 917			テングチョウ科	コチャパネセセリ アサギマダラ テングチョウ ルリシジミ	
911 912 913 914 915 916 917 918 919			テングチョウ科	コチャパネセセリ アサギマダラ テングチョウ ルリシジミ ウラギンシジミ ツパメシジミ	
911 912 913 914 915 916 917 918 919			テングチョウ科	コチャパネセセリ アサギマダラ テングチョウ ルリシジミ ウラギンシジミ ツパメシジミ ウラナミシジミ	
911 912 913 914 915 916 917 918 919 920			テングチョウ科	コチャパネセセリ アサギマダラ テングチョウ ルリシジミ ウラギンシジミ ツパメシジミ ウラナミシジミ ベニシジミ	
911 912 913 914 915 916 917 918 919			テングチョウ科	コチャパネセセリ アサギマダラ テングチョウ ルリシジミ ウラギンシジミ ツパメシジミ ウラナミシジミ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 14/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
925	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	シルビアシジミ本土亜種	1113
926			タテハチョウ科	コムラサキ	
927				サカハチチョウ	
928				ミドリヒョウモン	
929				ツマグロヒョウモン	
930				ウラギンスジヒョウモン	
931				オオウラギンスジヒョウモン	
932				ヒメアカタテハ	<b>!</b>
933				<u>メスグロヒョウモン</u>	1
934				ルリタテハ本土亜種	1
935				イチモンジチョウ	1
936				アサマイチモンジ	1
937 938				クモガタヒョウモン	<del>                                     </del>
938				コミスジチョウ	<del>                                     </del>
939				コミスン ヒオドシチョウ	<del>                                     </del>
941				キタテハ	
942				アカタテハ	1
943			アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	
944			1	カラスアゲハ	l .
945				モンキアゲハ	
946				ミヤマカラスアゲハ	
947				キアゲハ	
948				オナガアゲハ	
949				ナガサキアゲハ	
950				クロアゲハ	
951				ナミアゲハ	
952			シロチョウ科	モンキチョウ	ļ
953				キチョウ	
954				スジグロシロチョウ	1
955			**	モンシロチョウ	1
956			ジャノメチョウ科	クロヒカゲ	1
957				グロコノマチョウ	<del>                                     </del>
958				ジャノメチョウ	1
959 960				コジャノメ ヒメジャノメ	<del> </del>
961				サトキマダラヒカゲ	1
962				ヤマキマダラヒカゲ	
- 302				Neope属	1
963				ヒメウラナミジャノメ	Ì
964			トリバガ科	ヨモギトリバ	Ī .
965			1	ブドウトリバ	
966				フジマメトリバ	
967				ホソトリバガ亜科	
-				トリバガ科	
968			ツトガ科	ウスムラサキノメイガ	
969				クロウスムラサキノメイガ	
				Agrotera属	1
970				ホソバソトグロキノメイガ	1
971				シロヒトモンノメイガ	1
972				ヒメトガリノメイガ	1
973 974				ツトガ シロモンノメイガ	1
974				<u>シロモンノメイカ</u> モンウスグロノメイガ	1
- 313				Eフラスクロノスイカ Bradina属	1
976				ヒメキスジツトガ	1
977				サツマツトガ	1
978				ヘリアカキンノメイガ	
979				オオシロモンノメイガ	
980				ニカメイガモドキ	
981				ウスクロスジツトガ	
982				キベリハネボソノメイガ	
983				キホソノメイガ	<u> </u>
984				カギバノメイガ	1
985				ウスムラサキスジノメイガ	1
986				コブノメイガ マツノゴマダラノメイガ	1
987 988				<u>マツノコマタラノメイカ</u>   クロスカシトガリノメイガ	1
988				シロスジットガ	<del>                                     </del>
989				ンロスシットカ トガリキノメイガ	<del>                                     </del>
990				シロアヤヒメノメイガ	1
992				シロテンノメイガ	1
993				マダラミズメイガ	1
994				ヒメマダラミズメイガ	1
995				スジボソヤマメイガ	Ì
996				アヤナミノメイガ	1
997				ナノメイガ	i –
998				ヘリジロカラスノメイガ	
999				ミヤマエグリツトガ	
1000				クワノメイガ	
1001				クロヘリキノメイガ	
1002				トビヘリキノメイガ	
1003				クロズノメイガ	
1004				ワタノメイガ	
1005				ハイマダラノメイガ	1
				ウスオビクロノメイガ	
1006		1		モンキクロノメイガ	
1006 1007					
1006 1007 1008				マエキノメイガ	
1006 1007 1008 1009				ミツテンノメイガ	
1006 1007 1008 1009 1010				ミツテン ノメイガ マメノメイガ	
1006 1007 1008 1009				ミツテンノメイガ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 15/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
					H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロテンキノメイガ	
1014				サツマキノメイガ	1
1015 1016				クロフキノメイガ ミドロミズメイガ	<del></del>
1017				ホシオピホソノメイガ	
1018				ワモンノメイガ	
1019				アトモンミズメイガ	
1020				キバラノメイガ	
1021				クロミスジノメイガ	
1022				シロアシクロノメイガ	
1023				アワノメイガ	
-				Ostrinia属	
1024				ヨスジノメイガ	
1025				ヘリジロキン / メイガ マエウスモンキ / メイガ	
1026 1027				ヒメシロノメイガ	
1027				マエアカスカシノメイガ	1
1029				ヒロバウスグロノメイガ	
1030				シバツトガ	
1031				ゼニガサミズメイガ	
1032				シロナミミズメイガ	1
1033				クロマダラキノメイガ	
1034				クビシロノメイガ	
1035				コガタシロモンノメイガ	
1036				クロスジキンノメイガ	
1037				シロハラノメイガ	
1038				コヨツメノメイガ	1
1039				ウスイロキンノメイガ	<del>                                     </del>
1040 1041				ウコン / メイガ キオビミズメイガ	<del></del>
1042				ナカキトガリノメイガ	
1043				キムジノメイガ	
1044				ミカエリソウノメイガ	1
1045				ホソスジツトガ	
1046				モンスカシキノメイガ	
1047				クロオビノメイガ	
1048				トモンノメイガ	
1049				アトグロキノメイガ	
1050				ナカキノメイガ	
1051				コガタシロオオメイガ	
1052 1053				<u>シロオビノメイガ</u> モンシロクロノメイガ	
1053				クロスジノメイガ	
1055				オオモンシロルリノメイガ	
1056				モンシロルリノメイガ	
1057				オオメイガ亜科	
1058				ノメイガ亜科	
1059				ヤマメイガ亜科	
1060				ツトガ亜科	
1061			メイガ科	チビマエジロホソマダラメイガ	
1062				ウスアカムラサキマダラメイガ	
1063				マエグロツヅリガ	
1064				ナシモンクロマダラメイガ	
1065				ウスアカマダラメイガ	
1066 1067				マツノマダラメイガ	
1067				オオマエジロホソメイガ ウスオビトガリメイガ	
1069				キモントガリメイガ	
1070				キベリトガリメイガ	
1071				ウスベニトガリメイガ	
1072				カバイロトガリメイガ	
1073				チャマダラメイガ	
1074				フタスジツヅリガ	
1075				シロマダラメイガ	
1076				アカシマメイガ	<b>!</b>
1077				マツムラマダラメイガ	
1078 1079				ウスモンマルバシマメイガ トピイロシマメイガ	1
1079				<u> </u>	
1080				ナカムラサキフトメイガ	
1082				エグリミズメイガ	
1083				タンザワシダメイガ	1
1084				ミカドマダラメイガ	
1085				アカマダラメイガ	
1086				ナカトピフトメイガ	
1087				ネアオフトメイガ	
1088				フタスジシマメイガ	
1089				キンボシシマメイガ	
1090				トピスジマダラメイガ	
1091 1092				クロマダラメイガ ギンモンシマメイガ	1
1092				オオフトメイガ	
1093				<u> </u>	1
1094				ヒメアカマダラメイガ	1
1096				トピイロフタスジシマメイガ	1
1097				ネグロフトメイガ	
1098				マエモンシマメイガ	
1099				ナカアオフトメイガ	
1100				キイロツヅリガ	
1101				ミドリフトメイガ	
1102				マダラズメイガ	
1103				キボシヒマメイガ	<u> </u>

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 16/37

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
1104	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	シマメイガ亜科	
1105				ツヅリガ亜科	
1106				マダラメイガ亜科	
1107			マドガ科	メイガ科 エピフダラフドガ	
1107 1108			イトルサ	チビマダラマドガ ヒメマダラマドガ	_
1109				マダラマドガ	
1110				アカジママドガ	
1111				マドガ	
1112			カギバガ科	マエキカギバ	
1113				ウスイロカギバ	
1114				オビカギバ アカウラカギバ	_
1115 1116				スカシカギバ	_
1117				モンウスギヌカギバ	_
1118				ウスギヌカギバ	
1119				アシベニカギバ	
1120				クロスジカギバ	
1121				ヒメハイイロカギバ	
1122			1 421110,4544	ウコンカギバ	
1123 1124			トガリバガ科	オオアヤトガリバ オオバトガリバ	_
1124				ホソトガリバ	_
1125				モントガリバ	_
1127			アゲハモドキガ科	キンモンガ	1
1128			フタオガ科	クロオビシロフタオ	
1129			シャクガ科	チビトビスジエダシャク	
1130				アシブトチズモンアオシャク	
1131				ナカウスエダシャク	
1132 1133				ウスイロオオエダシャク マルバトビスジエダシャク	+
1133				ゴマダラシロエダシャク	
1135				クロクモエダシャク	_
1136				ヒョウモンエダシャク	
1137				ヨモギエダシャク	
1138				ムスジシロナミシャク	
1139				オオヨスジアカエダシャク	_
1140 1141				ホシスジトガリナミシャク ヤマトエダシャク	
1141				ホソバハラアカアオシャク	_
1143				ウスハラアカアオシャク	-
1144				コウスアオシャク	-
-				Chlorissa属	
1145				クロスジアオナミシャク	
1146				ヒメシロフアオシャク	
1147 1148				ルリモンエダシャク ヘリジロヨツメアオシャク	
1149				ギンスジアオシャク	-
1150				クロモンアオシャク	-
1151				ヨツテンアオシャク	
1152				ヨツモンマエジロアオシャク	
1153				コヨツメアオシャク	
1154				ウコンエダシャク	
1155 1156				ツマキエダシャク マツオオエダシャク	-
1157				ウスアオシャク	-
1158				ナミスジコアオシャク	_
1159				オオハガタナミシャク	
1160				ウストビスジエダシャク	
1161				フトフタオビエダシャク	
1162				オオトビスジエダシャク	
1163 1164				ウスジロエダシャク ツマキリエダシャク	
1165				サマキリエダジャク モミジツマキリエダシャク	_
1166				サラサエダシャク	+
1167				アミメオオエダシャク	
1168				ヘリスジナミシャク	
1169				ウスオビヒメエダシャク	
1170				ハコベナミシャク	
1171				クロテンカバナミシャク	+
1172				ハラキカバナミシャク Eupithecia属	-
1173				EUPITNECIA属 ミヤマアミメナミシャク	+
1173				スポタナミシャク ハガタナミシャク	1
1175				セスジナミシャク	
1176				エグリエダシャク	
1177				キマダラオオナミシャク	
1178				キバラエダシャク	
1179				カギシロスジアオシャク	+
1180 1181				フタテンオエダシャク ウスオエダシャク	+
1182				コシロスジアオシャク	_
1183				ナミガタエダシャク	1
1184				ウラベニエダシャク	1
1185				コウスグモナミシャク	
1186				ウスクモナミシャク	
1187				サザナミオビエダシャク	
				シロシタトビイロナミシャク	
1188					
1189				ウラキトガリエダシャク ナカシロオビエダシャク	_
				ウラキトガリエダシャク ナカシロオピエダシャク オオバナミガタエダシャク	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 17/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
1193	昆虫綱	虫綱 チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ハミスジエダシャク	1113
1194				ヨスジキヒメシャク	
1195				ウスキヒメシャク	
1196				ウスモンキヒメシャク	
1197			]	オオウスモンキヒメシャク	
-				Idaea属	1
1198				チャノウンモンエダシャク	1
1199				コガタヒメアオシャク	
1200					+
				マルモンヒメアオシャク	
1201				アトクロナミシャク	
1202				オオフタスジシロエダシャク	
1203				クロズウスキエダシャク	
1204				ウスフタスジシロエダシャク	
1205				バラシロエダシャク	
1206				トビカギバエダシャク	
1207				ニッコウエダシャク	
1208				ウスクモエダシャク	
1209				フタモンクロナミシャク	
1210				クロオオモンエダシャク	
1211				クロミスジシロエダシャク	
1212				ウチムラサキヒメエダシャク	
1213				オオマエキトビエダシャク	
1214			マエキトビエダシャク	t	
1215				テンモンチピエダシャク	<del>                                     </del>
1215				エグリヅマエダシャク	<del>                                     </del>
1216				コヨツメエダシャク	<del>                                     </del>
1218				シロツバメエダシャク	<del>                                     </del>
1219				ウスキツバメエダシャク	
1220				ウスアオエダシャク	
1221				ヒロバウスアオエダシャク	
1222				シナトビスジエダシャク	
1223				オオゴマダラエダシャク	
1224				ツマキリウスキエダシャク	
1225				ウラモンアカエダシャク	
1226				クロフヒメエダシャク	
1227				コカバスジナミシャク	
1228				ウスグロナミエダシャク	
1229				トビネオオエダシャク	
1230				リンゴツノエダシャク	
1231				ナカキエダシャク	
1232				コナフキエダシャク	
1233				マエキオエダシャク	1
1234				クロフオオシロエダシャク	
1235				ヒトツメオオシロヒメシャク	
1236				ニセオレクギエダシャク	
1237				オレクギエダシャク	
1231					
4000				Protoboarmia属	
1238				クロテントビイロナミシャク	
1239				フタナミトビヒメシャク	
1240				フタスジオエダシャク	
1241				フタヤマエダシャク	<b>}</b>
1242				フタマエホシエダシャク	
1243				クロテンシロヒメシャク	<b>!</b>
1244				ウスキトガリヒメシャク	
1245				ギンバネヒメシャク	
1246				ヤスジマルバヒメシャク	
1247				ハイイロヒメシャク	
1248				サツマヒメシャク	
1249				チビシロヒメシャク	
1250				モントビヒメシャク	
1251				マエキヒメシャク	
1252				ナミスジチビヒメシャク	
1253				ウスサカハチヒメシャク	
1254				ヨツボシウスキヒメシャク	t
1255				キナミシロヒメシャク	<b>t</b>
1200					<del>                                     </del>
1050				Scopula属	-
1256				<u> </u>	1
1257				ビロードナミシャク	<b></b>
1258				ウンモンオオシロヒメシャク	<b></b>
1259				ツマトビシロエダシャク	
1260				クロハグルマエダシャク	<u> </u>
1261				ハグルマエダシャク	
1262				マルハグルマエダシャク	
1263				スジハグルマエダシャク	
1264				カギバアオシャク	
1265				キマダラツバメエダシャク	
1266				ミヤマツバメエダシャク	
1267				ウスベニスジヒメシャク	1
120/					1
4000				Timandra属	1
1268				ホソバナミシャク	
1269			1	ヒロオビオオエダシャク	L

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 18/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
	L				H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	シロスジオオエダシャク	
1271	]			ツマグロナミシャク	
1272				フトジマナミシャク	
1273				フタクロテンナミシャク	
1273				モンシロツマキリエダシャク	
1275				ミスジツマキリエダシャク	
1276				トガリエダシャク	
1277				Zethenia属	
1278				ツマキリウスエダシャク	
1279	4			ヒメシャク亜科	
-				シャクガ科	
1280			イカリモンガ科	イカリモンガ	
1281			カイコガ科	クワコ	
1282			オビガ科	オビガ	
1283			カレハガ科	マツカレハ	
			73 D / (7344		
1284			1 1851	クヌギカレハ	
1285			ヤママユガ科	オナガミズアオ	
-				Actias属	
1286				ヤママユ	
1287				クスサン	
				ヒメヤママユ	
1288			1251		
1289			スズメガ科	ブドウスズメ	
1290				クルマスズメ	
1291				ホシヒメホウジャク	
1292				ウンモンスズメ	
					-
1293				トピイロスズメ	<del>-  </del>
1294				ベニスズメ	
1295	1			サザナミスズメ	
1296	1			ヒメクロホウジャク	
1297				ホシホウジャク	
1298				モモスズメ	
1299				クチバスズメ	
1300				エゾシモフリスズメ	
1301				エゾスズメ	
1302				ピロードスズメ	
1303				ミスジビロードスズメ	
1304				ウチスズメ	
1305				コスズメ	
1306			シャチホコガ科	ツマアカシャチホコ	
1307				ホソバネグロシャチホコ	
1308				コトビモンシャチホコ	
1309				クロテンシャチホコ	
1310				ホソバシャチホコ	
1311				コフタオビシャチホコ	
1312				クワゴモドキシャチホコ	
1313				ギンシャチホコ	
				プライヤエグリシャチホコ	
1314					
1315				クロシタシャチホコ	
1316				ウスキシャチホコ	
1317				ヘリスジシャチホコ	
1318				ヒメシャチホコ	
1319				ナカスジシャチホコ	
1320				ネスジシャチホコ	
1321				ナカキシャチホコ	
1322				ルリモンシャチホコ	
1323				ツマキシャチホコ	
1324				モンクロシャチホコ	
1325				スズキシャチホコ	
1326				オオエグリシャチホコ	
1327				セダカシャチホコ	
1328				ウスイロギンモンシャチホコ	
1329				シャチホコガ	T I
1330				オオアオシャチホコ	
1331				プライヤアオシャチホコ	
1332				キシャチホコ	
1333	1			モンクロギンシャチホコ	
1334				ギンポシシャチホコ	
.504	1			シャチホコガ科	
400=	1		F 11 4844		
1335			ヒトリガ科	ホシオビコケガ	
				ハガタベニコケガ	
1336		i .	l l	スジベニコケガ	
1336 1337	1	1		シロヒトリ	
1337					
1337 1338					
1337 1338 1339				アカスジシロコケガ	
1337 1338 1339 1340				アカスジシロコケガ キシタホソバ	
1337 1338 1339				アカスジシロコケガ	
1337 1338 1339 1340 1341				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ ニセキマエホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ ニセキマエホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345				アカスジシロコケガ キシタホンパ ムジホンパ ヤネホンパ キマエホンパ ニセキマエホンパ クロテンハイイロコケガ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホンバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キベリネズミホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホンバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347				アカスジシロコケガ キシタホンパ ムジホンパ ヤネホンパ キマエホンパ ニセキマエホンパ クロテンハイイロコケガ キマエクロホンパ オペリネズミホンパ ヨツボシホンパ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キペリネズミホソバ ヨツボシホソバ ヒメホシキコケガ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホンバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キベリネズミホソバ ヨツボシホソバ ヒメホシキコケガ ハガタキコケガ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キペリネズミホソバ ヨツボシホソバ ヒメホシキコケガ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キマエクロホソバ キペリネズミホソバ ヨツボシホソバ ヒメホシキコケガ ハガタキコケガ ウスパフタホシコケガ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1350				アカスジシロコケガ キシタホンパ ムジホンパ ヤネホソパ キマエホソパ ニセキマエホソパ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソパ キベリネズミホソパ ヨツボシホソパ ヒメホシキコケガ バガタキコケガ ウスパフタホシコケガ スカシコケガ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1351 1351				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホンバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キベリネズミホソバ ヨツボシホソバ ヒメホシキコケガ ハガタキコケガ ウスパフタホシコケガ スカシロケガ スジモンヒトリ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1350 1351 1351				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホソバ キマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キマエクロホソバ キペリネズミホソバ ヨツボシホソバ ヒメホシキコケガ ハガタキコケガ ウスパフタホシコケガ スカシコケガ スガモンヒトリ キハラゴマダラヒトリ	
1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1351 1351				アカスジシロコケガ キシタホソバ ムジホソバ ヤネホンバ キマエホソバ ニセキマエホソバ クロテンハイイロコケガ キマエクロホソバ キベリネズミホソバ ヨツボシホソバ ヒメホシキコケガ ハガタキコケガ ウスパフタホシコケガ スカシロケガ スジモンヒトリ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 19/37

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
1257	昆虫綱	  チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	  スカシドクガ	H15
1358	比五洲	プログロ(新校ロ)	1.77344	スギドクガ	_
1359				アカヒゲドクガ	1
1360				リンゴドクガ	1
1361	1			マメドクガ	
1362				キドクガ	
1363				チャドクガ	
1364				ゴマフリドクガ	
1365				ドクガ	
1366				ブドウドクガ	
1367				スゲオオドクガ	
1368				マイマイガ	
1369				カシワマイマイ	
1370				ミノオマイマイ	
1371				シロオビドクガ	
1372				ヒメシロモンドクガ	_
1373				ウチジロマイマイ	
1374			1-141V	ニワトコドクガ	_
1375			ヤガ科	エゾマダラウワバ	_
1376				フジロアツバ	
1377 1378				シラナミクロアツバ アケビコノハ	1
1378				タマナヤガ	+
1379				カプラヤガ	+
1380				オオウスヅマカラスヨトウ	+
1382				カラスヨトウ	1
1383				オオシマカラスヨトウ	1
1384				シマカラスヨトウ	1
1385				シロテンツマキリアツバ	1
1386				サビイロコヤガ	1
1387				クロテンカバアツバ	1
1388				カバマダラヨトウ	1
1389				ヒメキイロヨトウ	
1390				アカキリバ	
1391				ヤマトコヤガ	
1392				ハガタウスキヨトウ	
1393				フクラスズメ	
1394				ギンボシリンガ	
1395				シロテンウスグロヨトウ	
1396				テンウスイロヨトウ	
1397				シロモンオビヨトウ	
1398				ヒメサビスジョトウ	
-				Athetis属	_
1399				クロハナコヤガ	_
1400				モクメヨトウ	_
1401				ハジマヨトウ	_
1402 1403				コウンモンクチバ /= カエマッパ	_
1403				ムラクモアツバ	_
1404				<u>ホシムラサキアツバ</u> ウスヅマアツバ	-
1405				アイモンアツバ	
1407				ヤマガタアツバ	
1407				Bomolocha属	
1408				チャイロアツバ	-
1409				ウスアオモンコヤガ	_
1410				ヒメツマキリヨトウ	
1411				ハイイロコヤガ	
1412				マメキシタバ	
1413				アミメキシタバ	
1414				シロシタバ	
1415				キシタバ	
1416				コガタキシタバ	
1417				カクモンキシタバ	
1418				ハナオイアツバ	
1419				キンスジアツバ	
1420				フタスジシマコヤガ	
1421				シマフコヤガ	
1422				ツマベニシマコヤガ	
1423				ベニシマコヤガ	
-				Corgatha属	
1424				ミツモンキンウワバ	
1425				エゾギクキンウワバ	_
1426				リョクモンオオキンウワバ	
1427				ウスアカヤガ	_
1428				オオバコヤガ	
1429				コウスチャヤガ	
1430				アカフヤガ	
1431				ムラサキアツバ	_
1432				キイロソトオビアツバ	
1433				クロモクメヨトウ	
1434				シロズアツバ	
1435				オオシラホシアツバ	
1436				シンジュキノカワガ	1
1437				キスジコヤガ	
1438				シロモンコヤガ	
1439				モンムラサキクチバ	
1440				オオトモエ	
1441				マダラウスムラサキクチバ	
1442				アカテンクチバ	
1443				ギンスジキンウワバ	
1444				カザリツマキリアツバ	
1445				アカガネヨトウ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 20/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
1446	昆虫綱	  チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ホソバミドリヨトウ	H15
1447				フサヤガ	
1448				ウスグロヤガ	
1449				クロオビリンガ	
1450				ゴボウトガリヨトウ	1
1451 1452				フタキボシアツバ Hadennia属	
1453				フタテンヒメヨトウ	
1454				ナカジロアツバ	
1455				タバコガ	
1456				アトヘリヒトホシアツバ	
1457				ウスキミスジアツバ	
1458				フシキアツバ   クロスジアツバ	_
1459 1460	-			シラナミアツバ	+
1461				トピスジアツバ	
-				Herminia属	
1462	1			クロクモヤガ	
1463				オオシラナミアツバ	
1464				ベニエグリコヤガ	
1465				ソトウスグロアツバ	_
1466				ヒロオビウスグロアツバ	_
1467 1468				ウスズミケンモン クロキシタアッパ	+
1468				クロキシタアツバ ソトムラサキアツバ	+
1470	1			トビモンアツバ	1
1471	1			ウスチャモンアツバ	1
1472				ムラサキミツボシアツバ	
1473				タイワンキシタアツバ	
4 1				Hypena属	
1474				モンキコヤガ	-
1475 1476	1			オオシロテンクチバ   シロホシクロアツバ	1
1470				Idia属	_
1477				マエキリンガ	_
1478				キモンコヤガ	
1479				トビフタスジアツバ	
1480				チビアツバ	_
1481				クビグロクチバ	
1482 1483	-			ヒメクビグロクチバ ヒメオビコヤガ	_
1484				ヒメネジロコヤガ	-
1485				シャクドウクチバ	_
1486				エチゴチピコプガ	
-				Meganola属	
1487				ホシミミヨトウ	
1488				シロスジトモエ	_
1489 1490	-			フタホシコヤガ Micreremites属	
1491				ウスオビチビアツバ	-
1492				ニセウンモンクチバ	_
1493				ウンモンクチバ	
-				Mocis属	
1494				ゴマケンモン	
1495				アオバセダカヨトウ	
1496 1497	-			フサキバアツバ	_
1498				マダラキヨトウ クサシロキヨトウ	_
1499	1			ミヤマフタオビキヨトウ	1
1500				クロシタキヨトウ	
1501				フタテンキヨトウ	
1502				マメチャイロキヨトウ	
1503				スジシロキヨトウ	_
1504 1505	-			フタオビキヨトウ ベニトガリアツバ	1
1505	1			フタオピコヤガ	1
1507	1			フタテンチビアツバ	1
1508	]			ウチジロコヤガ	
1509				マエモンコヤガ	
1510				ヒゲブトクロアツバ	
1511	1			ナミコブガ	
1512	1			Nola属 ミヤマクロフジキノカロガ	-
1512				ミヤマクロスジキノカワガ クロテンキノカワガ	1
1514				マエジロヤガ	1
1515				ウスモモイロアツバ	
1516	]			ツマムラサキアツバ	
-	1			Olulis属	
1517				アカエグリバ	
1518				<u>ノコメセダカヨトウ</u>	1
1519 1520				クロミミキリガ モンシロクルマコヤガ	1
1520	1			アトキスジクルマコヤガ	1
1522	1			ヤジリモンコヤガ	1
1523				ツマジロツマキリアツバ	
1501				1	
1524				ムラサキツマキリアツバ	
1525				リンゴツマキリアツバ	
1525 1526				リンゴツマキリアツバ ウンモンツマキリアツバ	
1525 1526 1527				リンゴツマキリアツバ ウンモンツマキリアツバ シロモンツマキリアツバ	
1525 1526				リンゴツマキリアツバ ウンモンツマキリアツバ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 21/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
1531	昆虫綱	  チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	  チャバネキボシアツバ	H15
- 1331	EC 114 세계	/	1 /217	Paragabara属	1
1532				ウスグロセニジモンアツバ	
1533				ニセタマナヤガ	
1534				テンモンシマコヤガ	
1535 1536				ウスベニコヤガ モンキアカガネヨトウ	_
1536				モンキアガガネヨトウ  ヨモギコヤガ	
1538				マエテンヨトウ	
1539				イネキンウワバ	
1540				マダラエグリバ	
1541				シロマダラコヤガ	
1542				シロフコヤガ	1
-				Protode I to te K	
1543				フタスジョトウ	
1544 1545				トビモンコヤガ アオスジアオリンガ	
1546				アカスジアオリンガ	-
1547				マエテンアツバ	
1548				ヨシヨトウ	
1549				クロチャマダラキリガ	
1550				クロスジコプガ	
1551				マエシロモンアツバ	1
1552				タケアツバ	1
1553				テンクロアツバ Rivulo属	
1554				Rivula属 サッポロチャイロヨトウ	
1555				トピイロトラガ	
1556				シロシタヨトウ	
1557				ハスオビヒメアツバ	
1558				イネヨトウ	
1559				テンオビヨトウ	1
1560				オオアカマエアツバ	
1561				ニセアカマエアツバ	
1562				Simplicia属 オオカバスジヤガ	-
1362				Sineugraphe属	
1563				ハグルマトモエ	
1564				オスグロトモエ	
-				Spirama属	
1565				スジキリヨトウ	
1566				ハスモンヨトウ	
1567				シロナヨトウ	
1568				ムモンキイロアツバ	
1569 1570				ウスアオキノコヨトウ	
1571				シロスジキノコヨトウ ニセシロフコヤガ	+
1572				ユピノロノコドガ   ネモンシロフコヤガ	-
1573				クロシラフクチバ	
1574				シロスジアオヨトウ	
1575				オオシロテンアオヨトウ	
1576				キバラケンモン	
1577				シロオビクルマコヤガ	
1578				ナシケンモン	
1579 1580				マダラヨトウ シロモンヤガ	
1580				ウスチャヤガ	
1582				ラステャドガ   キシタミドリヤガ	
1583				ハイイロキシタヤガ	
1584				ウスグロアツバ	
1585				ツマオビアツバ	
1586				キイロアツバ	
1587				コブヒゲアツバ	
1588				ヒメコブヒゲアツバ	
1589				ツマテンコプヒゲアツバ チョウセンコウスグロアツバ	
1590				チョウセクコウスクロアツバ   Zanclognatha属	
1591				コウモンクチバ	
1592				アツバ亜科	
				ヤガ科	
1593			コブガ科	コブガ科	
1594			ヒゲナガガ科	ヒゲナガガ亜科	
1595			ヒルガオハモグリガ科	ヒルガオハモグリガ亜科	
4=00		U = B ( 20140 B )	42 42 \ . 42 54	チョウ目	
1596		八工目(双翅目)	ガガンボ科	ヒメウスバガガンボ	
1597 1598				ミカドガガンボ   セグロクシレゲガガンボ	
1598				ネグロクシヒゲガガンボ ベッコウガガンボ	1
1600				Dicranomyia属	
1601				オトヒメガガンボ	
1602				クロバネヒメガガンボ	
		1		ホシヒメガガンボ	
1603 1604				コマダラヒメガガンボ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 22/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
	昆虫綱	八工目(双翅目)	ガガンボ科	イツモンヒメガガンボ	H15
1606 1607				ミスジガガンボ  クチバシガガンボ	1
1607				クチハシカカンホ   ギフヒゲナガガガンボ	1
1609				カスリヒメガガンボ	1
-				Limnophila属	1
1610				コモンヒメガガンボ	
1611				マダラクロヒメガガンボ	
1612				ホソバネヒメガガンボ	
1613				セアカヒメガガンボ	_
1614 1615				タケウチマダラヒメガガンボ ウスキバネヒメガガンボ	-
1616				ツマジロヒメガガンボ	+
-				しimonia属	
1617				Nephrotoma属	
1618				ハスオビガガンボ	
1619				キリウジガガンボ	
1620				マダラガガンボ	
1621 1622				キアシガガンボ マドガガンボ	1
1623				クロキリウジガガンボ	-
1624				ヤチガガンボ	
1625				マエキガガンボ	
-				Tipula属	
1626				シリプトガガンボ亜科	
1627				ヒメガガンボ亜科	1
1000			ガガンボダマシ科	ガガンボ科	1
1628			カカノかダ マン科	ニッポンフユガガンボ   ガガンボダマシ科	1
1629			アミカ科	シコクアミカ	1
-			[ ]	アミカ科	
1630			チョウバエ科	セベリンチョウバエ	
1631				マツタケチョウバエ	
1632				ホシチョウバエ	
4000			フカナジ	チョウバエ科	1
1633			ヌカカ科	ケヌカカ	-
1634 1635				ニワトリヌカカ タンボツヤヌカカ	1
1636				シロフケブカヌカカ	
1637				コンイロヌカカ	1
1638				モリヌカカ	
1639				モンヌカカ	
1640				フトモモムシヒキヌカカ	
-			<del></del>	ヌカカ科	
1641 1642			<u>ケヨソイカ科</u> ユスリカ科	アカケヨソイカ   セスジユスリカ	-
1643			ユスリル村	セスジヒラアシュスリカ	-
1644				セボシヒメユスリカ	1
1645				ミツオビツヤユスリカ	
-				Cricotopus属	
1646				クロユスリカ	
1647				ボカシヌマユスリカ	
1648				シロアシコスリカ	
1649 1650				ウスモンユスリカ ニッポンカユスリカ	1
1651				アカムシユスリカ	1
1652				ウスギヌヒメユスリカ	1
1653				カクスナガレユスリカ	
1654				ハスムグリユスリカ	
1655				アキヅキユスリカ	
1656				カスリモンユスリカ	
1657 1658				ミゾチビユスリカ ミドリオオユスリカ	1
1659				ニッポンケブカユスリカ	1
-				ユスリカ科	
1660			力科	アカイエカ	
				Culex属	
				力科	
1661			ホソカ科	クロホソカ	
1662			マガリスネカ科	マガリスネカ科	ļ
1663			ケバエ科	Bibio属 ケバエ科	1
1664			タマバエ科	アハエ科 Dasineura属	1
1665			/ \/\ <del>_</del> ***	Pastneura属 キクタマバエ	1
1666				Lestremia属	† †
-				タマバエ科	1
1667			ニセケバエ科	ナガサキニセケバエ	
1668			キノコバエ科	ナミトモナガキノコバエ	
1669				ヒメホソキノコバエ	
1670				ナミホソキノコバエ	1
1671				クロヒラモモキノコバエ	1
1672 1673				ニセコシボソキノコバエ Fungivora属	1
1674				Fungivora属 Macrocera属	1
1675				Macrocera属 イグチナミキノコバエ	
1676				ケプカマドキノコバエ	
1677				ケアシコンボウキノコバエ	1
1678				オオムクゲキノコバエ	
1679				スジヒトヘダキノコバエ	
-				キノコバエ科	
1680			ケズメカ科	ツノケズメカ ケズメカ科	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 23/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
1681	昆虫綱	八工目(双翅目)	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバ工科	
1682		,	コガシラアプ科	シバカワコガシラアプ	
1683				セダカコガシラアブ	
1684			ナガレアブ科	クロモンシギアブ	1
-				ナガレアプ科	
1685			シギアブ科	フタモンキイロシギアブ	
-				シギアプ科	-
1686			ミズアプ科	エゾホソルリミズアブ	
1687			2000	ハラキンミズアブ	
1688				コウカアブ	
1689				ルリミズアブ	
1009				ルグミスアン	
4000			→ <b>→ 4</b> 1	ミズアブ科	
1690			アプ科	ホルバートアブ	
1691				マルガタアブ	
1692				アカウシアブ	_
1693				ヤマトアブ	
1694				アカアブ	
1695				シロフアブ	
1696				ウシアブ	
-				Tabanus属	
1697			ムシヒキアブ科	カワムラヒゲボソムシヒキ	
1698				クロスジイシアプ	
1699				アオメアブ	
1700				ハラボソムシヒキ	
1701				オオイシアブ	
1702				チャイロオオイシアプ	
1703				ミノモホソムシヒキ	1
1704				マガリケムシヒキ	1
1705				シオヤアブ	1
1706				サキグロムシヒキ	_
				ムシヒキアプ科	1
1707			ツリアプ科	コウヤツリアプ	_
1707			17	ホシツリアプ	+
1709				ニトベハラポソツリアプ	
1710				スズキハラボソツリアブ	_
1711			ツルギアプ科	ツルギアプ科	
1711			アシナガバエ科	アシナガキンバエ	
1712			J D J JJ N T MA		
4740				Dolichopus属	_
1713				マダラアシナガバエ	
4744			+ 1:11 1° + 51	アシナガバエ科	_
1714			オドリバエ科	イトウマルバネオドリバエ	_
1715				メスジロナガレオドリバエ	
1716				カマキリナガレオドリバエ	
1717				スジプトナガレオドリバエ	
1718				モモブトセダカオドリバエ	
1719				イミャクオドリバエ	
1720				アカメセダカオドリバエ	
-				オドリバエ科	
1721			ヤリバエ科	ハコネヤリバエ	
1722			アタマアプ科	ツマグロキアタマアブ	_
				アタマアプ科	
1723			ハナアプ科	ツマグロコシボソハナアブ	
1724			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	オオマメヒラタアブ	_
1725				ナガヒラタアプ	
1726				マダラコシボソハナアブ	_
1727				ハシグロクロハナアブ	_
1728				ヤマトヒゲナガハナアブ	
1729				オビヒラタアブ	-
1730				ヨコジマオオヒラタアプ	-
1731				Epistrophe nitidicollis	
1732				ホソヒラタアプ	1
1733				ホシメハナアブ	
1734				シマハナアブ	_
1735				ハナアブ	
1736				マドヒラタアブ	
1737				ナミホシヒラタアブ	
1738				アシプトハナアプ	
1739				カクモンアシブトハナアブ	
1740				ホソツヤヒラタアブ	
1741				ホシツヤヒラタアブ	
-				Melanostoma属	1
1742				シマアシブトハナアブ	1
1743				シママメヒラタアプ	1
1744				キアシマメヒラタアプ	1
1745				ニセキアシマメヒラタアブ	1
1740				ー ピイアクマスピンタアク Paragus属	-
1746				ranagus属 オオハナアプ	1
1746					
				Pipiza属	-
1748				Pseudovolucella属	-
1749				Sericomyia属	
1750				ナガヒメヒラタアブ	
1751				キタヒメヒラタアブ	
				Sphaerophoria属	
1752				ケヒラタアプ	
1753				キイロナミホシヒラタアプ	
1754				ニトベナガハナアブ	1
1755				ベッコウハナアブ	1
					+
1756				ヨツボシヒラタアブ	
1757				ルリイロナガハナアブ	
			1 - 110	Xylota属	
		ĺ.	ノミバエ科	オオキモンノミバエ	1
1758			/ _ / \ _ 1-1	ノミバエ科	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 24/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
	昆虫綱	八工目(双翅目)	ヒラタアシバエ科	ヒラタアシバエ	1110
1760 1761			ハモグリバエ科	フジハモグリバエ ヨモギハモグリバエ	
1762				スゲハモグリバエ	
1763				ムギキベリハモグリバエ	
1764				オカザキハモグリバエ	
1765 1766				スイカズラハモグリバエ ネギハモグリバエ	1
1767				カトウハモグリバエ	
1768				ヨモギクキモグリバエ	
1769				タンポポハモグリバエ	
1770 1771				ヨメナクロハモグリバエ コメナスジルエグリバエ	
1772				ヨメナスジハモグリバエ   ヤナギハモグリバエ	1
1773				ニッポンキクハモグリバエ	
1774				ヤブジラミハモグリバエ	
1775				トガリハモグリバエ ハモグリバエ科	
1776			ニセミギワバエ科	ニセミギワバエ	
1777			アブラコバエ科	アプラコバエ科	
1778			キモグリバエ科	イネキモグリバエ	
1779 1780				Disciphus subelongatus	
1781				<u>ムギキモグリバエ</u> ササノアシブトキモグリバエ	
-				キモグリバエ科	
1782			クチキバエ科	キイロクチキバエ	
1783			メバエ科	クチキバエ科	1
1783			ヘハエ科	オオズグロメバエ クロフタオレメバエ	
1785				ウスグロメバエ	
1786			ヒゲブトコバエ科	クロメマトイ	
1787				**モンホソショウジョウバエ	
1788 1789			ショウジョウバエ科	マダラメマトイ アシグロハシリショウジョウバエ	1
1790				ヒメホシショウジョウバエ	
1791				ダンダラショウジョウバエ	
1792				カオジロショウジョウバエ	
1793 1794				フタオビショウジョウバエ ヒョウモンショウジョウバエ	
1795				クロツヤショウジョウバエ	
1796				カスリショウジョウバエ	
1797				オオショウジョウバエ	
1798 1799				トピクロショウジョウバエ キハダショウジョウバエ	
1800				キイロショウジョウバエ	
1801				ススパネショウジョウバエ	
1802				クロショウジョウバエ	
1803 1804				<u>モンコガネショウジョウバエ</u> カザリコガネショウジョウバエ	
1805				オトヒメショウジョウバエ	
1806				クロキノコショウジョウバエ	
1807				コフキヒメショウジョウバエ	
1808				ツヤカブトショウジョウバエ ショウジョウバエ科	
1809			ベッコウバエ科	ベッコウバエ	
1810			ミギワバエ科	Brachydeutera longipes	
-			しせいさパージ	ミギワバエ科	
1811			トゲハネパエ科	センチトゲハネバエ トゲハネバエ科	
1812			シマバエ科	シモフリシマパエ	
1813				キイロシマバエ	
1814				ヒラヤマシマバエ	
1815				Homoneura unguiculata Homoneura属	
1816				ヤブクロシマバエ	
1817				Trigonometopus forficula	
-			カロットル・ーベ	シマバエ科	<b>↓</b>
1818 1819			クロツヤバエ科 ナガズヤセバエ科	ヤマトクロツヤバエ ホシアシナガヤセバエ	1
1820			ヒメコパエ科	Geomyza advena	
-				ヒメコバエ科	
1821			ヒロクチバエ科	ヒロクチバエ科	
1822 1823			デガシラバエ科 ヤチバエ科	フトハチモドキバエ  ヒゲナガヤチバエ	
1023			ドノハ土行	ヤチバエ科	1
1824			ツヤホソバエ科	ヒトテンツヤホソパエ	
-				ツヤホソバエ科	
1825			ハヤトビバエ科	ハヤトビバエ科	
1826 1827			ミバエ科	ナツササハマダラミバエ チャイロハススジハマダラミバエ	╂──┤
1828				ヒラヤマアミメケブカミバエ	
1829				ノゲシケブカミバエ	
1830				チャイロケブカミバエ	<b>——</b> ]
1831 1832				ヨモギハマダラミパエ ミスジハマダラミパエ	╂──┤
1833				ミサキオナガミパエ	1
-				ミパエ科	
1834			ハナバエ科	ハコベハナバエ	$\Box$
1835 1836				タネバエ アカザモグリハナバエ	<b>.</b>
1837				ハコベモグリハナバエ	1
-				ハナバエ科	
1838			クロバエ科	オオクロバエ	
1839				オビキンバエ	
1840 1841				ホホグロオビキンバエ キンバエ	1
1842				ヒツジキンバエ	
-				Lucilia属	
1843				イトウコクロバエ	<b>.</b>
1844				ツマグロキンバエ クロバエ科	
1845			ヒメイエバエ科	ヒメイエバエ科	1

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 25/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
1846	昆虫綱	八工目(双翅目)	イエバエ科	セマダライエバエ	1110
1847		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, ,	モモエグリイエバエ	
1848				ヒメクロバエ	
1849				トウヨウカトリバエ	
1850				イエバエ	
1851				オオクロイエバエ	
1852				インドサシバエ	
-				イエバエ科	
1853			ニクバエ科	シリグロニクバエ	
1854				Miltogrammatinae亜科	
				ニクバエ科	
1855			フンバエ科	ヒメフンバエ	
4050			<u> </u>	フンバエ科	
1856			ヤドリバエ科	チビハマキヤドリバエ カイコノウジバエ	
1857				<u>/ コイリンパエ</u>   ノコギリハリバエ	
1858				フコイリハリハエ Compsilura属	
1859				セスジナガハリバエ	
1860				マルボシヒラタヤドリバエ	
1861				クロツヤハリバエ	
1862	1		ヤドリバエ科	クチナガハリバエ	
1863				マダラヤドリバエ	
-				Sturmia属	
1864	1			ヨコジマオオハリバエ	
1865				コガネオオハリバエ	
1866				セスジハリバエ	
1867				トガリハリバエ	
-				Thecocarcelia属	
1868				アシナガハリバエ	
-				ヤドリバエ科	
-				八工目	
1869		コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ	
1870			1111111111	ミイデラゴミムシ	
1871			オサムシ科	キイロチビゴモクムシ	
1872				タンゴヒラタゴミムシ	
1873				マルガタゴミムシ コアオマルガタゴミムシ	
1874 1875				ニセマルガタゴミムシ	
1876				ナガマルガタゴミムシ	
1877				イグチマルガタゴミムシ	
1878				ホシボシゴミムシ	
1879				ゴミムシ	
1880				キベリゴモクムシ	
1881				アキタクロナガオサムシ	
1882				フタモンクビナガゴミムシ	1
1883				メダカチビカワゴミムシ	
1884				ヨツモンカタキバゴミムシ	
1885				オオフタモンミズギワゴミムシ	
1886				アオミズギワゴミムシ	
1887				オオアオミズギワゴミムシ	
1888				アトモンミズギワゴミムシ	
1889				クロミズギワゴミムシ	
1890				ツマキミズギワゴミムシ	
1891				ヒメモンナガミズギワゴミムシ	
1892				キアシルリミズギワゴミムシ ************************************	-
1893 1894				オオズヒメゴモクムシ	
1894				<u>ムネミゾマルゴミムシ</u> キガシラアオアトキリゴミムシ	<del>                                     </del>
1895				<del>イカンファオアトイリコミムン</del>   アオアトキリゴミムシ	
1897				オオオサムシ	
1898				イワワキオサムシ	
1899				ヒメオサムシ	
1900				ヤコンオサムシ	
1901				ヤマトオサムシ	
1902	1			アカガネアオゴミムシ	
1903	1			コキベリアオゴミムシ	
1904				ヒメキベリアオゴミムシ	
1905				オオアトボシアオゴミムシ	
1906				アトボシアオゴミムシ	
1907				アオゴミムシ	
1908		i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	1	キボシアオゴミムシ	. —

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 26/37)

No	個々	日夕	利夕	¥0.47	下流河川
No.	綱名	目名	科名	和名	H15
	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオヘリアオゴミムシ	
1910				ツヤキベリアオゴミムシ	
1911	-			<u>  ムナビロアトボシアオゴミムシ</u>	
1912 1913	1			<u>コガシラアオゴミムシ</u>  アトワアオゴミムシ	
1914				ウスグロモリヒラタゴミムシ	
1915				チピモリヒラタゴミムシ	
1916				オオアオモリヒラタゴミムシ	
1917				ヤセモリヒラタゴミムシ	
1918				ハラアカモリヒラタゴミムシ	
1919				<u>チャイロホソヒラタゴミムシ</u> コハラアカモリヒラタゴミムシ	
1920 1921				イクビモリヒラタゴミムシ	
1922				ヒラタマルゴミムシ	
1923				マイマイカブリ	
1924				ミズギワアトキリゴミムシ	
1925				ルリヒラタゴミムシ	
1926				スナハラゴミムシ	
1927				オオスナハラゴミムシ	
1928 1929				<u>ヒメカワチゴミムシ</u> セアカヒラタゴミムシ	
1930				ホソアトキリゴミムシ	
1931				アオヘリホソゴミムシ	
1932	]			キイロセマルコミズギワゴミムシ	
1933				スジアオゴミムシ	
1934				トゲアシゴモクムシ	
1935				オオゴモクムシ	
1936 1937				ツヤアオゴモクムシ ケウスゴモクムシ	
1937				プリスコモクムシ   ヒメケゴモクムシ	
1939	1			ニセケゴモクムシ	
1940	]			ウスアカクロゴモクムシ	
1941				アカアシマルガタゴモクムシ	
1942				コゴモクムシ	<b></b>
1943				ハマベゴモクムシ	
1944 1945				<u>ケゴモクムシ</u> セグロツヤゴモクムシ	
1946				ナガホラアナヒラタゴミムシ	
1947				トックリゴミムシ	
1948				フタホシアトキリゴミムシ	
1949				ホシハネビロアトキリゴミムシ	
1950				ハネピロアトキリゴミムシ	
1951				<u>ジュウジアトキリゴミムシ</u>	
1952 1953				オオクロナガオサムシ   クロナガオサムシ	
1954				オオゴミムシ	
1955				キノコゴミムシ	
1956				ノグチアオゴミムシ	
1957				ミヤマメダカゴミムシ	
1958				チャバネクビナガゴミムシ	
1959				オオトックリゴミムシ	
1960 1961	•			<u>ウスケゴモクムシ</u> クビナガゴモクムシ	
1962	1			クロオビコミズギワゴミムシ	
1963				ウスオビコミズギワゴミムシ	
1964				ヒラタアトキリゴミムシ	
1965				キアシヌレチゴミムシ	
1966				カドツブゴミムシ	
1967				ダイミョウツブゴミムシ	
1968 1969				クロズホナシゴミムシ オオヒラタゴミムシ	
1969				コヒラタゴミムシ	
1971				オオナガゴミムシ	
1972	]			フジタナガゴミムシ	
1973				マルムネヒメナガゴミムシ	
1974				コガシラナガゴミムシ	
1975	4			キンナガゴミムシ	
1976 1977	1			オオクロナガゴミムシ   キイオオナガゴミムシ	-
1977	1			<u>+1                                   </u>	1
1979	1			ヒョウゴナガゴミムシ	
1980	1			マルガタナガゴミムシ	
1981				アシミゾナガゴミムシ	
1982				ウエノオオナガゴミムシ	
1983				ヨリトモナガゴミムシ	<b></b>
4004				Pterost ichus属	
1984 1985				<u>ケブカヒラタゴミムシ</u> ミドリマメゴモクムシ	
1986	1			ムネアカマメゴモクムシ	
1987	1			ホソキバナガゴミムシ	
1988	j			ニッポンツヤヒラタゴミムシ	
1989				マルガタツヤヒラタゴミムシ	
1990				キアシツヤヒラタゴミムシ	
1991				クロツヤヒラタゴミムシ	
1992	-			ヒメツヤヒラタゴミムシ	
1993 1994				コクロツヤヒラタゴミムシ   オオクロツヤヒラタゴミムシ	
1994	1			ヒメミヤマツヤヒラタゴミムシ	
1996	1			クロチビカワゴミムシ	
1997	]			ヒラタコミズギワゴミムシ	
1998				クリイロコミズギワゴミムシ	
1999				アトモンコミズギワゴミムシ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 27/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
2000	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツモンコミズギワゴミムシ	H15
2001		コングエンロ(新起ロ)	3 9 4 2 14	ヨシイメクラチビゴミムシ	
2002				アトスジチビゴミムシ	
2003				ヒメツヤゴモクムシ	
2004	1			ナガツヤゴモクムシ	
2005				クロツヤゴモクムシ	
2006				アカガネオオゴミムシ	
2007				エビアカガネゴミムシ	
2008				フタホシヒメアオゴミムシ	
2009				オオモリヒラタゴミムシ	
2010			ハンミョウ科	ハンミョウ	
2011				アイヌハンミョウ	
2012				ニワハンミョウ	
2013			ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ	
2014				ゲンゴロウ	
2015				ハイイロゲンゴロウ	
2016				シマゲンゴロウ	
2017				コシマゲンゴロウ	
2018	-			ウスイロシマゲンゴロウ チビゲンゴロウ	<del></del>
2019 2020				ケシゲンゴロウ	
2020				ツブゲンゴロウ	
2022				ヒメゲンゴロウ	
2023	1			ニセケシゲンゴロウ	
2023	1		コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	<del>                                     </del>
2025	1		7/1/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	コガシラミズムシ	
2026	1		ガムシ科	タマガムシ	
2027	1			トゲバゴマフガムシ	
2028	1			ゴマフガムシ	
2029				アカケシガムシ	
2030				セマルケシガムシ	
2031				キベリヒラタガムシ	
2032				キイロヒラタガムシ	
2033				マルヒラタガムシ	
2034				ガムシ	
2035				シジミガムシ	
2036				マグソガムシ	
2037				マメガムシ	
2038				ヒメガムシ	
2039			エンマムシ科	ヤマトエンマムシ	
2040				コエンマムシ	
2041				エンマムシ	
2042			アリヅカムシ科	アナズアリヅカムシ	
2043				オノヒゲアリヅカムシ	
2044				コヤマトヒゲブトアリヅカムシ	
2045	-			オオアシナガアリヅカムシ	
2046				マメダルマアリヅカムシ	
2047 2048				オオズアリヅカムシ	
2046				ナミエンマアリヅカムシ アリヅカムシ科	
2049			デオキノコムシ科	デオキノコムシ科	
2050			シデムシ科	オオヒラタシデムシ	
2051			2 7 4 2 14	オオモモブトシデムシ	
2052	1			モモプトシデムシ	
2053				クロシデムシ	
2054				ヤマトモンシデムシ	
2055				ヨツボシモンシデムシ	
2056	1		ハネカクシ科	オオアカバハネカクシ	
2057	1			ツヤケシヒゲブトハネカクシ	
2058				セナガヒゲブトハネカクシ	
2059				ウスアカヒゲブトハネカクシ	
2060				ホソセスジヒゲプトハネカクシ	
2061				ムネビロハネカクシ	
2062				キアシヒラタチビハネカクシ	
2063				アカイクビハネカクシ	
2064				キバネニセユミセミゾハネカクシ	
2065				ニセユミセミゾハネカクシ	<b></b>
2066				ムナクボヒラナガハネカクシ	
2067				オオヒョウタンメダカハネカクシ	
2068				コガシラホソハネカクシ	
2069				ハラモンムネクボハネカクシ	ļ
2070	-			オオマルズハネカクシ	<b> </b>
2071	1			コマルズハネカクシ	<del></del>
2072				ハイイロハネカクシ	<del> </del>
2073				ウスチャセミゾハネカクシ	<b></b>
2074				クロセミゾハネカクシ	<b>├</b>
2075	1			ハマベオオハネカクシ	<b>—</b>
2076	1			ツマグロアカバハネカクシ	<del></del>
2077	1			チビツヤムネハネカクシ	
2078 2079				ヤマトチビアリノスハネカクシ キアシナガハネカクシ	<del> </del>
2079	1			コバネナガハネカクシ	1
2080	1			コハネナカハネカクシ   アカフタミゾチビハネカクシ	<del>                                     </del>
				<u>アガノダミソチヒハネガクシ</u> クロズトガリハネカクシ	1
2082 2083	1			// ハスオピキノコハネカクシ	<del>                                     </del>
	1				1
2084	1			チャバネトガリハネカクシ	<b>!</b>
2085	1			ヤマトイクビハネカクシ	1
2086	-			アカバヒメホソハネカクシ	
2087	1			ツマキツヤナガハネカクシ	<b>├</b>
2088				オオサビイロモンキハネカクシ	l '
2089				サビハネカクシ	1
2090	l	1		ツノフトツツハネカクシ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 28/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
					H15
	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ	
2092 2093				<u>アラハダドウナガハネカクシ</u>   ルリコガシラハネカクシ	
2093				クロコガシラハネカクシ	
2095				マルコガシラハネカクシ	
2096				キアシチビコガシラハネカクシ	
2097				ミイロチビハネカクシ	
2098				アカバクビブトハネカクシ	
2099				ドウガネハネカクシ	
2100				クロガネハネカクシ	
2101				アカバハネカクシ	
2102				トビムシハネカクシ	
2103				チビハバビロハネカクシ	
2104				アカバツヤムネハネカクシ	
2105				ホソチャバネコガシラハネカクシ	
2106				クビポソハネカクシ	
2107				ハスモンヒメキノコハネカクシ	
2108				ヒメキノコハネカクシ	
2109	-			ヒメクロキノコハネカクシ Sepedophi lus属	
2110				ヒゲブトチピハネカクシ	
2111				ツヤケシシワチビハネカクシ	
2112				ホソフタホシメダカハネカクシ	
2113				アシマダラメダカハネカクシ	
2114				コクロマルクビハネカクシ	
2115				ヤマトマルクビハネカクシ	
2116				クロズマルクビハネカクシ	
-				Tachinus属	
2117				キベリシリホソハネカクシ	
2118				ツヤグロシリホソハネカクシ	
				Tachyporus属	
2119				アカアシユミセミゾハネカクシ	
2120				ユミセミゾハネカクシ	
2121 2122				キバネナガハネカクシ ホソガタナガハネカクシ	
2122				<u>                                    </u>	
2123				ウス1 ロホソナガハネカクシ  キノコハネカクシ属	
2124				ハネカクシ幼虫	
_	•			ハネカクシ科	
2125			マルハナノミ科	キイロチビマルハナノミ	
2126				マルガタチビマルハナノミ	
2127				ウスチャチビマルハナノミ	
2128				クロチビマルハナノミ	
2129				トビイロマルハナノミ	
2130			センチコガネ科	オオセンチコガネ	
2131				センチコガネ	
2132			クワガタムシ科	コクワガタ	
2133				ミヤマクワガタ	
2134				スジクワガタ	
2135 2136				<u>アカアシクワガタ</u>   ノコギリクワガタ	
2137			コガネムシ科	コイチャコガネ	
2138			137A271	カプトムシ	
2139				ドウガネブイブイ	
2140				サクラコガネ	
2141				ツヤコガネ	
2142				ハンノヒメコガネ	
2143				ヒメコガネ	
2144				マグソコガネ	
2145				オピマグソコガネ	
2146				セマダラコガネ	
2147				ヒメコエンマコガネ	
2148				マエカドコエンマコガネ	
2149				ハナムグリ マオハナムグリ	<b>I</b>
2150 2151				アオハナムグリ   コヒゲシマビロウドコガネ	1
2151				<u>コピケジマピロワトコガネ</u> ナガチャコガネ	<b>-</b>
2152				フガデャコガネ   クロコガネ	
2153				オオクロコガネ	
2155				コクロコガネ	
2156				アカビロウドコガネ	
2157				ピロウドコガネ	
2158				カミヤビロウドコガネ	
2159				ヒメビロウドコガネ	
2160				オオビロウドコガネ	
2161				マルガタビロウドコガネ	
2162				コフキコガネ	
2163				オオスジコガネ	
2164				ツヤスジコガネ	
2165				ヒメスジコガネ	
2166				コガネムシ	
C	I			スジコガネ	
2167		1		カバイロビロウドコガネ ヒラタハナムグリ	
2168					
2168 2169					
2168 2169 2170				クロマルエンマコガネ	
2168 2169 2170 2171				クロマルエンマコガネ コプマルエンマコガネ	
2168 2169 2170 2171 2172				クロマルエンマコガネ コプマルエンマコガネ シナノエンマコガネ	
2168 2169 2170 2171 2172 2173				クロマルエンマコガネ コブマルエンマコガネ シナノエンマコガネ マルエンマコガネ	
2168 2169 2170 2171 2172 2173 2174				クロマルエンマコガネ コプマルエンマコガネ シナノエンマコガネ マルエンマコガネ コアオハナムグリ	
2168 2169 2170 2171 2172 2173				クロマルエンマコガネ コブマルエンマコガネ シナノエンマコガネ マルエンマコガネ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 29/37

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
2178	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マメコガネ	
2179				ナラノチャイロコガネ	
2180				シロテンハナムグリ	
2181				カナブン	
2182				アオカナブン	
2183				ヒゲナガビロウドコガネ	
2184				ツヤチャイロコガネ	
2185				イマダテチャイロコガネ	
2186				ナエドコチャイロコガネ	
2187				オオヒラチャイロコガネ	
2188				ホソケシマグソコガネ	
2189			マルトゲムシ科	シラフチビマルトゲムシ	
2190			ヒメドロムシ科	キベリナガアシドロムシ	
2191				キスジミゾドロムシ	
2192				イプシアシナガドロムシ	
2193				アシナガミゾドロムシ	
2194				アワツヤドロムシ	
2195			ナガドロムシ科	ナガドロムシ	
2196				タテスジナガドロムシ	
2197			ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	
2198				マスダチビヒラタドロムシ	
2199			ナガハナノミ科	コヒゲナガハナノミ	
2200			タマムシ科	アオグロナガタマムシ	
-				Agrilus属	
2201				ビメヒラタタマムシ	
2202				ウバタマムシ	
2203				ヤマトタマムシ	
2204				ヒラタチビタマムシ	
2205				クズノチビタマムシ	
2206				ヤナギチビタマムシ	
2207				マメチビタマムシ	
2208				ズミチビタマムシ	
2209				アカガネチビタマムシ	
-				Trachys属	
2210			コメツキムシ科	マダラチビコメツキ	
2211				サビキコリ	
2212				ムナビロサビキコリ	
2213				ホソサビキコリ	
2214				ヒメサビキコリ	
2215				ミヤマホソチャバネコメツキ	
2216				クリイロアシブトコメツキ	
2217				ホソハナコメツキ	
-				Cardiophorus属	
2218				キバネホソコメツキ	
2219				オオナガコメツキ	
2220				ムネスジダンダラコメツキ	
2221				チャイロコメツキ	
2222				ホソツヤケシコメツキ	
2223				ニセクチブトコメツキ	
2224				クロツヤクシコメツキ	
2225				ハネナガオオクシコメツキ	
2226				クシコメツキ	
2227				チャバネクシコメツキ	
-				Melanotus属	
2228				ミズギワコメツキ	
2229				クロツヤミズギワコメツキ	
2230				ウバタマコメツキ	
2231				ヒゲコメツキ	
2232				オオハナコメツキ	
-				Platynychus属	
2233				ヒメホソキコメツキ	
2234				カタモンチビコメツキ	
2235				ニホンチビマメコメツキ	
-				Quasimus属	
2236				Scutellathous属	
2237				クチプトコメツキ	
2238				オオツヤハダコメツキ	
2239				オオクシヒゲコメツキ	
2240				ヘリムネマメコメツキ	
2241				ウスイロカネコメツキ	
				コメツキムシ科	
2242			コメツキダマシ科	ヒメフトコメツキダマシ	
2243				キンケヒメフトコメツキダマシ	_
2243				フチトリコメツキダマシ	_
2245				ツヤヒメミゾコメツキダマシ	_
2246				オオチャイロコメツキダマシ	_
2247				エノキコメツキダマシ	_
2248				ナガコメツキダマシ	-
2248				コメツキダマシ科	_
2249			ヒゲブトコメツキ科	コスソキタマン科   ナガヒゲプトコメツキ	_
2249			[こソフトコスツ十科	<u> </u>	
4200		I .	1	ノ * 1 ロレノノドコグンギ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 30/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
2251	昆虫綱	  コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイポン科	ムネアカクロジョウカイ	піз
2252				クロホソジョウカイ	
2253				ウスチャジョウカイ	
2254				セスジジョウカイ	
2255				クビアカジョウカイ	
2256				ジョウカイボン	
2257				セボシジョウカイ	
2258				フタイロジョウカイ	
2259				コクロヒメジョウカイ	
2260				クロツマキジョウカイ	
2261				ウスバツマキジョウカイ	
-				Malthinus属	
2262				ムネミゾクロチビジョウカイ	
-				Mal thodes属	
2263				ヒメジョウカイ	
-				Mikadocantharis属	
2264				ミヤマクビボソジョウカイ	
2265				クロヒメクビボソジョウカイ Dadah was 屋	
2266				Podabrus属	
2266 2267				エグリマメジョウカイ マルムネジョウカイ	_
2268				クロヒメジョウカイ	
4400				クロピスショウガイ Rhagonycha属	_
2269				// クリイロジョウカイ	1
2270				キンイロジョウカイ	
				ジョウカイボン科	
2271			ホタル科	オバボタル	
2272				ゲンジボタル	
2273				ヘイケボタル	
2274			ベニボタル科	ユアサクロベニボタル	
2275				カクムネベニボタル	
2276				クロハナボタル	
2277				ニセクロハナボタル	
2278				クロアミメボタル	
-				ベニボタル科	
2279			カツオブシムシ科	カマキリタマゴカツオブシムシ	
2280			> 100 / 2 74	チビケカツオブシムシ	
2281			シバンムシ科	タバコシバンムシ	
2282			ナガシンクイムシ科	シバンムシ科 ケヤキヒラタキクイムシ	-
2283			カッコウムシ科	Opilo属	
2284			ジョウカイモドキ科	ホソヒメジョウカイモドキ	
2285			2 3 2 3 7 2 1 1 1 1 1 1	クギヌキヒメジョウカイモドキ	
2286				ヒロオビジョウカイモドキ	
2287				キアシオビジョウカイモドキ	
2288				ツマキアオジョウカイモドキ	
2289			ツツシンクイ科	ツマグロツツシンクイ	
2290			ムクゲキスイムシ科	ハスモンムクゲキスイ	
2291			テントウムシ科	ウンモンテントウ	
2292				ムーアシロホシテントウ	
2293				ナナホシテントウ	
2294				マクガタテントウ	
2295				オオニジュウヤホシテントウ	
2296				ナミテントウ アトホシヒメテントウ	
2297					
2298				Nephus属 ヨツボシテントウ	
2299				ヒメカメノコテントウ	
2300				ハレヤヒメテントウ	
2301				クモガタテントウ	
2302				ベニヘリテントウ	
2303				ババヒメテントウ	
2304				バイゼヒメテントウ	
2305				オニヒメテントウ	
2306				クロヘリヒメテントウ	
2307				クロヒメテントウ	
2308				カワムラヒメテントウ	
2309				トビイロヒメテントウ	
2310				コクロヒメテントウ	
2311				クロテントウ	
2312			+= (1 : 5)	テントウムシ	
2313			キスイムシ科	ケナガセマルキスイ	
2314				キイロセマルキスイ	
2315				ウスパキスイ Cryptophogue屋	_
2316				Cryptophagus属 フルガタキフィ	
2316				マルガタキスイ Henoticus属	1
/ادے				Henoticus属 キスイムシ科	_
2318			ヒラタムシ科	キボシチビヒラタムシ	
2319				ヒメヒラタムシ	
				ヒラタムシ科	
2320			ミジンムシダマシ科	クロミジンムシダマシ	1
2321			3	コゲチャミジンムシダマシ	
2322			テントウムシダマシ科	ヨツボシテントウダマシ	
2323				セダカテントウダマシ	
2324				チャイロケブカテントウダマシ	
				キボシテントウダマシ	
2325			オオキノコムシ科	カタモンオオキノコ	
2326				11. 1 - 12 1 -	
2326 2327				ヒメオビオオキノコ	
2326				Eメオビオオキノコ   ミヤマオビオオキノコ   クロハバビロオオキノコ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 31/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
2331	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキモドキ科	キムネヒメコメツキモドキ	1113
2332				ツマグロヒメコメツキモドキ	1
2333				Cryptophi lus属	
2334				ルイスコメツキモドキ	1
2335				ケシコメツキモドキ	
2336				ケナガマルキスイ	
2337			ヒメマキムシ科	ウスチャケシマキムシ	
2338			ケシキスイ科	ドウイロムクゲケシキスイ	
2339				コクロムクゲケシキスイ	
2340				コゲチャセマルケシキスイ	
2341				クロハナケシキスイ	1
2342				ウスチャデオキスイ	1
2343				クリイロデオキスイ	1
-				Carpophilus属	1
2344				マルマルケシキスイ	1
2345				ナミヒラタケシキスイ	-
-				Epuraea属	
2346				マメヒラタケシキスイ	
2347				モンチビヒラタケシキスイ	
2348				キイロチビハナケシキスイ	
2349				クロヒラタケシキスイ	1
2350				ヨツボシケシキスイ	1
2351				マルヒラタケシキスイ	1
2352				キノコヒラタケシキスイ	1
2353				ウスオビカクケシキスイ	1
2354				オオキマダラケシキスイ	1
2355				クロキマダラケシキスイ	
2356				マルキマダラケシキスイ	
-				ケシキスイ科	
2357			ヒメハナムシ科	ベニモンアシナガヒメハナムシ	
2358				キイロアシナガヒメハナムシ	T
2359				フタスジヒメハナムシ	
2360				エムモンチビヒメハナムシ	
2361				チビヒメハナムシ	
2362			ホソヒラタムシ科	ミツモンセマルヒラタムシ	
2363				ホソヒラタキスイ	
2364				ミツカドコナヒラタムシ	
-				Silvanoprus属	
2365				フタトゲホソヒラタムシ	
2366			ニセクビボソムシ科	クシヒゲニセクビボソムシ	
2367				セグロニセクビボソムシ	
2368			クチキムシ科	アオバクチキムシ	
2369				オオクチキムシ	
2370				クチキムシ	
2371				ホソクロクチキムシ	
2372				ウスイロクチキムシ	
2373				クリイロクチキムシ	
2374				クロツヤバネクチキムシ	
2375			アリモドキ科	アカホソアリモドキ	
2376				ツヤチビホソアリモドキ	
2377				コクロホソアリモドキ	
2378				ホソクビアリモドキ	
2379				ヒゲナガクビボソムシ	
2380				キアシクビボソムシ	
2381				アカクビボソムシ	
-				Macratria属	
2382				ヨツボシホソアリモドキ	
2383				アカモンホソアリモドキ	
2384			ハムシダマシ科	アオハムシダマシ	
2385				ナガハムシダマシ	
2386			ナガクチキムシ科	ビロウドホソナガクチキ	
2387				Falsomordellina属	
2388				ハナノヒメハナノミ	
2389				Glipa属	
2390				アマミヒメハナノミ	
2391				チャオビヒメハナノミ	<b></b>
2392				カグヤヒメハナノミ	1
2393				ミカドヒメハナノミ	
2394				ヤマモトヒメハナノミ	1
-				Mordellina属	1
2395				クロヒメハナノミ	
-				Mordellistena属	
2396				キンオビハナノミ	1
-				ハナノミ科	
2397			コキノコムシ科	ヒゲブトコキノコムシ	
2398			カミキリモドキ科	ルリカミキリモドキ	
2399				ハネアカカミキリモドキ	4
2400				モモブトカミキリモドキ	
2401				キアシカミキリモドキ	1
2402				キイロカミキリモドキ	
2403				キバネカミキリモドキ	
2404				アオカミキリモドキ	
				Xanthochroa属	
2405			アカハネムシ科	アカハネムシ	
2406			ハナノミダマシ科	ホソフナガタハナノミ	
2407			ゴミムシダマシ科	ヒメゴミムシダマシ	
2408				ヨツボシゴミムシダマシ	
2409				ナガニジゴミムシダマシ	
2410				クロホシテントウゴミムシダマシ	
2411				モンキゴミムシダマシ	
2412				スナゴミムシダマシ	
2413				カクスナゴミムシダマシ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 32/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
2/1/	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ホソスナゴミムシダマシ	H15
2414		コンノコンロ(新巡日)		ヒメカクスナゴミムシダマシ	
2416				スジコガシラゴミムシダマシ	
2417				カプトゴミムシダマシ	
2418				マルツヤキノコゴミムシダマシ	
2419				オオメキノコゴミムシダマシ	
2420				クロツヤキノコゴミムシダマシ	
2421				キマワリ	
2422				ヒメマルムネゴミムシダマシ	
2423				ニジゴミムシダマシ	
2424				モトヨツコブゴミムシダマシ	
2425				ヤマトエグリゴミムシダマシ	
2426				ヨツコブゴミムシダマシ	
2427				エグリゴミムシダマシ	<b>.</b>
			+>+11/>*	ゴミムシダマシ科	
2428			カミキリムシ科	ピロウドカミキリ	<b> </b>
2429				ムモンベニカミキリ	-
2430				<u>ツヤケシハナカミキリ</u> ゴマダラカミキリ	<b>-</b>
2431					
2432 2433				サビカミキリ ムネツヤサビカミキリ	
2434				<b>キクスイモドキカミキリ</b>	
2435				ツシマムナクボカミキリ	
2436				エグリトラカミキリ	i e
2437				アカハナカミキリ	
2438				ホソカミキリ	
2439				ヨツキボシカミキリ	
2440	1			アトモンマルケシカミキリ	
2441				シロオビゴマフカミキリ	1
2442				シラホシカミキリ	
2443				ヨツスジハナカミキリ	
2444				オオヨツスジハナカミキリ	
2445				ヒシカミキリ	1
2446				ヘリグロリンゴカミキリ	
2447				ラミーカミキリ	
2448				ニンフホソハナカミキリ	<b></b>
2449				チャイロヒメハナカミキリ	<b>.</b>
2450				フタオビチビハナカミキリ	<b></b>
-				Pidonia属	<b></b>
2451				ノコギリカミキリ	
2452				ワモンサビカミキリ	<b> </b>
2453				トガリシロオビサビカミキリ	<b> </b>
2454				アトモンサビカミキリ	
2455				ヒトオビアラゲカミキリ	1
2456				クロカミキリ	
2457				ヨツボシカミキリ	-
2458				コウヤホソハナカミキリ	<b></b>
2459 2460			ハムシ科	アオスジカミキリ   キクピアオハムシ	<b>-</b>
2460			NA 244	<u> キクピアオハムシ</u>  ヒメカミナリハムシ	<del></del>
2461				アザミカミナリハムシ	
2463				カミナリハムシ	
2464				スジカミナリハムシ	<b></b>
2465				アカバナトビハムシ	
-				Altica属	
2466				キイロツブノミハムシ	
2467				ツブノミハムシ	
2468				サメハダツブノミハムシ	
2469				ホソルリトビハムシ	
2470				フタイロセマルトビハムシ	
2471				オオアカマルノミハムシ	
2472				ムナグロツヤハムシ	
2473				カクムネトビハムシ	
2474				オオキイロノミハムシ	
2475				ウリハムシモドキ	
2476				ウリハムシ	
2477				クロウリハムシ	L
2478				アオバネサルハムシ	<b></b>
2479				アズキマメゾウムシ	<b>——</b>
2480				ハラグロヒメハムシ	L
2481				ヒメカメノコハムシ	<b>└</b>
2482				フタイロヒサゴトビハムシ	<b>└</b>
2483				ヒメドウガネトビハムシ	<b>—</b>
2484				ヒサゴトビハムシ	<b>-</b>
L				Chaetocnema属	<b>—</b>
2485				ムシクソハムシ	<del>                                     </del>
2486				ヤナギハムシ	<del>                                     </del>
2487				ウエツキブナハムシ	<del>                                     </del>
2488				アオバミドリトビハムシ	<del>                                     </del>
2489				バラルリツツハムシ	<del>                                     </del>
2490				タテスジキツツハムシ	<del>                                     </del>
2491				ヨツモンクロツツハムシ	1
2492				クロボシツツハムシ	<del>                                     </del>
2400				Cryptocephalus属	1
2493				マダラアラゲサルハムシ	1
2494				イネネクイハムシ	<del>                                     </del>
2495				キバラヒメハムシ	<b></b>
-				Exosoma属	<del> </del>
2496				クワハムシ	1
2497				ジュンサイハムシ	<b></b>
2498				イタドリハムシ	<b>├</b>
2499				ズグロキハムシ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 33/37)

Table   Ta	No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川 H15
297.1点シー   297.1んシー   297.1んシ	2500	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤツボシハムシ	
Eサナルルマン   1970 日	2501					
カーカー   カーカー						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
アカウにボリハムシ						
ママイモルムシ   1970年						
近り八ムシ   1970						
2890	2507					
	2508					
2511	2509					
2513						
Lucertonorphome						
2515 2516 27 クロタスパルムシ 2517 27 クロタスパルムシ 2518 27 クロタスパルムシ 2518 27 クロタスパルムシ 2519 2519 2519 2519 2519 2519 2519 2519	2513					
コフキサルバムシ	-					
フタスジメハムシ						
セプルトビルムシ   1						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
Aネアカウスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイロハムシ   上次フスイルムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスインハムシ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスイントンフェ   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィントン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィントンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートンフィン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次フスクレートン   上次   上次   上次   上入口						
とグフスイロハムシ						
#41277人なシ						
Monolepta機						
### 19	2521					
コマルノミハムシ	-					
下ウガネッヤハムシ   アガロッヤハムシ   アガロッヤハムシ   アガロッヤハムシ   アガロッヤハムシ   アガロッヤハムシ   アガロッヤハムシ   アオロッヤハムシ   アカアリハムシ   アカアリハムシ   アカアリハムシ   アカアリハムシ   アカアリハムシ   アカアリハムシ   アカアメリハムシ   アカアメリハムシ   アカアメリハムシ   アカアメリハムシ   アカアメリカムシ   アカアメリカムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアダフスバルムシ   アカアダフスバルムシ   アカアダフスバルムシ   アカアダフスバルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリルムシ   アカアメリカンカン   アカアオルクテソウムシ   アカアオルクテソウムシ   アカアオルクテソウムシ   アカアオルクテソウムシ   アカアオルクアメリカムシ   アカアオルクアメリカムシ   アカアオルクアメリカムシ   アカアオルカアドカースシー   アカアメリカオトカアミ   アカアオカアオトカアミ   アカアオカアオトカアミ   アカアオカアオトカアミ   アカアカオトカアミ   アカアカオトカアミ   アカアカカトオンブミ   アカアカカトオンブミ   アカアカカトオンブムシ   アカアカカトオンブムシ   アカアカカトオンブムシ   アカアカカトオンブムシ   アカアカカトオンブムシ   アカアカカトオンブニ   アカアカカトオンブニ   アカアカカトオンブニ   アカアカカトオンブニ   アカアカカトオンブニ   アカアカカトオンブニ   アカアカカトオンブニ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガムシ   アカアカカトオンガスシ   アカアカカトオンガスシ   アカアカカトオンガスシ   アカアカカトオンガスシ   アカアカトオンガスシ   アカトオンガスシ						
アオグロッドハムシ   2525   アオグロッドハムシ   2527   2528   アオグロッドハムシ   2529   アナボットハムシ   2529   アナボットハムシ   2529   アナボットハムシ   2520   アナボットハムシ   2520   アナボットハムシ   2520   アナボットハムシ   2520   アナボットハムシ   2520   アナボットハムシ   2520   アナボットハムシ   2520   アナボットアとバムシ   2520   アナボットアとバムシ   2520   アナボットアとバムシ   2520   アナブットとバムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・ハムシ   2520   アングラマ・ス・アングラ・オーバムシ   2520   アングラマ・アングラ・アングラン   2520   アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング・アングラング   2520   アンブラング・アンブラング   2520   アンブラング・アンブラング   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラ   2520   アンブカンドンブラン   2520   アンブカンドンブラン   2520   アンブカンドンブラン   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンデンガレッグロシ   2520   アンブカンドンブロシ   2520   アンブカンデンガレッグロシ   2520   アンブカンデンガレッグロシ   2520   アンブカンブカンドンブロシ   2520   アンブカンブカンドンブロシ   2520   アンブカンブカンドンブロシ   2520   アンブカンブカンドンブロシー   2520   アンブカンブカンブカンブカンブカンブカンブカンブカンブカンブカンブカンブカンブカン						
とメッヤハムシ   フタウサハムシ   フタウサハムシ   フタウサハムシ   フタウサハムシ   フタウサハムシ   フタウサハムシ   フタウサハムシ   フタウサスイス   フタウサス   フタウサスイス   フタウサスイス   フタウサス   フタ						
フタウサハムシ						
とメキパネサルハムシ   ファボットムシ   ファボットムシ   ファボットムシ   ファボットムシ   ファボットムシ   ファボットムシ   ファボットムシ   ファボットス						_
ファーボッハムシ   ファーボック・   フ						
2530						
デャパネットルムシ						
マナボルルシ   マカッタオ / ミルムシ   フタボッタオ / ミルムシ   フタボッタオ / ミルムシ   フタボッタオ / ミルムシ   フとボットビルムシ   フェバル / ヒバムシ   フェバルムシ   フェバルムシ   フェバルムシ   フェバルムシ   フェバルムシ   フェバルムシ   フェバルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   エボッルリルムシ   エボッルリルムシ   エボッルリルムシ   エボッルリルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファケビタマ / ミルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルムシ   ファルタル / ファルムシ   ファルタル / ファルタル / ファルタル / ファルタル   ファルタル / ファルタル   ファルタルタル / ファルタルタル   ファルタルタル / ファルタルタル   ファルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタルタ						_
29m3						
2534						
カードハムシ					フタホシオオノミハムシ	
サンゴジュハムシ						
この						
上ウガオルルムシ						
キボシルリハムシ						
2540						
キイロタマノミハムシ						
おけった						
とグナガウスバルムシ   2544   2545   2546   2546   2547   2546   2546   2547   2548   2548   2549   2550					キイロダイノミハムシ	
2544   2545   2546   2547   24						
2545   2546   2547   2548   1						
トピサルハムシ						_
キカサハラハムシ						
Aナプロナガハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アラハダトピハムシ   アク・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・						_
アラハダトビハムシ   フラングラトシ   カマズミトビハムシ   センハギハムシ   センハギハムシ   センハギハムシ   セグナガゾウムシ   セグナガゾウムシ   シリアカタマノミハムシ   シリアカタマノミハムシ   シリアカタマノミハムシ   シリアカタマノミハムシ   シリアカタマノミハムシ   カスモンカンウムシ   ウスモンツッヒゲナガゾウムシ   ウスモンツッヒゲナガゾウムシ   ウスモンツッヒゲナガゾウムシ   ウスモンガッウムシ   センルボックチゾウムシ   センルボックチゾウムシ   センルボックチゾウムシ   マメボックチゾウムシ   マスボックチゾウムシ   フカイデングラン   フカイデングラン   センボックチゾウムシ   フカイデングラン   フカイデングラン   センボックビオトシブミ   セメウロオトシブミ   セメウロオトシブミ   エゴッルクビオトシブミ   エゴッルクビオトシブミ   フライクビチョッキリ   カシルリオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオトシブラ   セメコブオーシブス   セメコブログログ   セメコブログログ   セメコブログ   セスアングログ   セスアングログログ   セスアングログ   セス						-
ガマズミトピハムシ     2551     2552     2553     2554     2555     2555     2555     2555     2555     2556     2557     2558     2558     2559     2559     2550     2550     2550     2551     2560     2561     2561     2562     2563     2564     2565     2566     2567     2568     2568     2569     2560     2571     2572     2573     2574     2576     2576     2576     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2576     2577     2576     2577     2578     2579     2570     2570     2571     2572     2576     2576     2576     2577     2578     2579     2570     2570     2571     2572     2576     2576     2577     2578     2578     2579     2570     2570     2571     2572     2576     2576     2577     2578     2578     2579     2570     2570     2571     2572     2576     2576     2577     2578     2578     2579     2570     2570     2570     2571     2572     2576     2576     2577     2578     2578     2579     2570     257						
Eソハギハムシ   2552   2553   2554   2555   27   27   27   27   27   27						
シリアカタマノミハムシ   2553   2553   2554   2555						
とデオリウムシ科						_
キノコピゲナガゾウムシ   ウスモンツツピゲナガゾウムシ   ウスモンツツピゲナガゾウムシ   クロフピゲナガゾウムシ   クロフピゲナガゾウムシ   クロフピゲナガゾウムシ   クロフピゲナガゾウムシ   クロフピゲナガゾウムシ   クロフピゲナガゾウムシ   グロフピゲナガゾウムシ   グロフピゲナガゾウムシ   グロフピゲナガゾウムシ   グロフピゲナカゾウムシ   グログログログログログログログログログログログログログログログログログログ				レゲナガバウノンが		
ウスモンツツヒゲナガゾウムシ   シロヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   マメホソクチゾウムシ   マメホソクチゾウムシ   マメホソクチゾウムシ   マステンオトシブミ   フェンオトシブミ   フェンオトシブミ   フェンオトシブミ   フェンオトシブミ   フェーン・フェーン・フェーン・フェーン・フェーン・フェーン・フェーン・フェーン・				しつ アカソリムシ科		
シロヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロフヒゲナガゾウムシ   クロスシオトシブミ   クスモンオトシブミ   クスモンオトシブミ   クスモンオトシブミ   クスモンオトシブミ   クスモンオトシブミ   クスモンオトシブミ   クロス・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・						
カーフ・ピケナガソウムシ   カンド・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン						_
カーステンカレキゾウムシ   マメボソクチゾウムシ   マスボソクチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックチゾウムシ   アカクチボックデミ   エゴツルクピオトシブミ   エゴツルクピオトシブミ   エゴツルクピオトシブミ   アラルリオトシブミ   アラルリオトシブミ   アラルリオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガストシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガオトシブミ   アシナガストシブミ   アカグロカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   カスミのは、 アグアシゾウムシ   アグアシブロムシ   アグアシブロムシ   アグアシブロムシ   アグアシブロムシ   アグアン						
Eレルホソクチゾウムシ				ナソカイパナノンベ		
ファクチボソクチゾウムシ   ファクチボソクチゾウムシ   ファクチボソクチゾウムシ   ファクチボソクチゾウムシ   ファクチボソクチゾウムシ   ファクチボソクチゾラ   ファク・ファット   ファク・ファッ				小ソクナソワムシ科		
カトシブミ科   ウスモンオトシブミ   とメウロオトシブミ   とメウロオトシブミ   とメウロオトシブミ   エゴツルクピオトシブミ   エゴツルクピオトシブミ   エゴツルクピオトシブミ   エゴツルクピオトシブミ   エゴツルクピオトシブミ   ファライクビチョッキリ   ファールリオトシブミ   ファールリオトシブミ   ファールリオトシブミ   ファンナガオトシブミ   ファンナガオトシブミ   ファンナガオトシブミ   ファンナガオトシブミ   エスコブオトシブラ   エスコブオトシブシ   カクロカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   カスジカレキゾウムシ   エスコブロスジカレキゾウムシ   スコブロスジースジースジースジースジースジースジースジースジースジースジースジースジース						
Eメクロオトシブミ				+12.72		
Aツモンオトシブミ				オーンノミ科		
エゴツルクピオトシブミ   2564   2565   コナライクピチョッキリ   2566   コナライクピチョッキリ   2567   フラルリオトシブミ   ハギルリオトシブミ   ハギルリオトシブミ   2568   フランナガオトシブミ   2570   フシナガオトシブミ   2571   2572   2573   2574   2575   2576						
コナライクビチョッキリ   フライクビチョッキリ   フライクビチョッキリ   フライクビチョッキリ   フライクビチョッキリ   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   フライフ・ロット   ファン・ファン・ロット   ファン・ファン・ロット   ファン・ファン・ロット   ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・						
プラルリオトシブミ						_
ハギルリオトシブミ						
カシルリオトシブミ						_
リュイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアシナガオトシブミ   フェイスアンカレキゾウムシ   フェイスアンカレキゾウムシ   フェイスジカレキゾウムシ   フェイスジカレキゾウムシ   フェイスジカレキゾウムシ   フェイスジカレキゾウムシ   フェイスジカレー・   フェイスジカレー・   フェイスジカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカレー・   フェイスアンカント・   フェイスアンカンカント・   フェイスアンカント・   フェイスアンカント・   フェイスアンカンカント・   フェイスアンカンカント・   フェイスアンカンカンカント・   フェイスアンカンカンカ						
アシナガオトシブミ						
Eメコブオトシブミ						
2572   2573   2574   Acallinus属   ナカグロカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   ウスモンカレキゾウムシ   ナカスジカレキゾウムシ   ナカスジカレキゾウムシ   Acicnemis属   トゲアシゾウムシ						_
2573     ナカゲロカレキゾウムシ       2574     ウスモンカレキゾウムシ       2575     ナカスジカレキゾウムシ       -     Acionemis属       2576     トゲアシゾウムシ				1.2± 1.5.55		
2574     ウスモンカレキゾウムシ       2575     ナカスジカレキゾウムシ       -     Acionemis属       トゲアシゾウムシ				ソリムン科		
2575     ナカスジカレキゾウムシ       -     Acicnemis属       2576     トゲアシゾウムシ						
- Acicnemis属 2576 トゲアシゾウムシ						
2576	2575					
	-					
2577						
	2577				イチゴハナソウムシ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 34/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
					H15
2578 2579	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クワヒメゾウムシ ホソクチカクシゾウムシ	
2579	•			ホソクチカクシゾウムシ  ツヤチビヒメゾウムシ	
2581				ダイコンサルゾウムシ	
2582	1			カナムグラサルゾウムシ	
-				Ceutorhynchus属	
2583				ジュウジコブサルゾウムシ	
2584				セダカシギゾウムシ	
2585				コナラシギゾウムシ	
2586				ジュウジチビシギゾウムシ	
2587				クリシギゾウムシ	
-				Curculio属	
2588				チビクチカクシゾウムシ	
2589				タバゲササラゾウムシ	
2590				ヤナギイネゾウモドキ	
2591				コクロアナアキゾウムシ	
2592	-			トドマツアナアキゾウムシ	
2593 2594				<u>シロコブゾウムシ</u>  コフキゾウムシ	
2595				タデサルゾウムシ	
2596				マツアナアキゾウムシ	
2597				サビノコギリゾウムシ	
2598				イネミズゾウムシ	
2599	1			ハスジカツオゾウムシ	
2600				ウスアオクチプトゾウムシ	
2601				ヒメクロツツキクイゾウムシ	
2602				ネジキトゲムネサルゾウムシ	
2603				ツツジトゲムネサルゾウムシ	
2604				ホホジロアシナガゾウムシ	
2605				キスジアシナガゾウムシ	
2606				カシアシナガゾウムシ	
2607 2608	-			クロアシナガゾウムシ オジロアシナガゾウムシ	
2608	1			オジロアシナガゾウムシ   トゲハラヒラセクモゾウムシ	
2009				Metialma属	
2610				カシワクチプトゾウムシ	
-				My l locerus属	
2611				チビヒョウタンゾウムシ	
2612	1			マツチャイロキクイゾウムシ	
2613				ヒレルクチブトゾウムシ	
2614				リンゴコフキゾウムシ	
2615				コヒゲボソゾウムシ	
2616				ツチイロヒゲボソゾウムシ	
2617				ヒラズネヒゲポソゾウムシ	
2618				リンゴヒゲナガゾウムシ	
2619				ウスイロヒゲボソゾウムシ	
2620				ハダカヒゲボソゾウムシ	
2621				Phyl lobius属 スグリゾウムシ	
2622				アラハダクチカクシゾウムシ	
2623	1			ギシギシクチブトサルゾウムシ	
2624				ムネスジノミゾウムシ	
-				Rhynchaenus属	
2625				キイチゴトゲサルゾウムシ	
2626				ニセマツノシラホシゾウムシ	
2627				Smicronyx属	
2628				イコマケシツチゾウムシ	
2629			オサゾウムシ科	キクイサビゾウムシ	
2630	1		ナカノノンが	オオゾウムシ	
2631	-		キクイムシ科	ネッカコキクイムシ Crypholype屋	<b>-</b>
2632	1			Cryphalus属 フィリピンキクイムシ	
2632				フィリピンキケイムシ   ハイマツアトマルキクイムシ	
2634	1			タブノコキクイムシ	
2635				クワノキクイムシ	
2636	1			シイノホソキクイムシ	
2637	1			ハギキクイムシ	
2638				ハンノキキクイムシ	
2639	]			ザイノキクイムシ亜科	
-				キクイムシ科	
2640		ハチ目(膜翅目)	ミフシハバチ科	アカスジチュウレンジ	
2641			11 110-11	チュウレンジバチ	
2642			ハバチ科	セグロカブラハバチ	
2643				ニホンカブラハバチ	
2644	1			クロムネハバチ	
2645	1			ヒゲナガハバチ   クロハバチ	
2646 2647	1			アシブトヒゲナガハバチ	
2648	1			チャイロハバチ	
2649	1			ルイスアカマルハバチ	
2650				クロイロシマハバチ	
2651				ヒゲナガクロハバチ	
2652	1			Priophorus属	
2653				トムソンハムグリハバチ	
2654	1			セマダラハバチ	
2655				オオコシアカハバチ	
2656				サクツクリハバチ	
2657				ゼンマイハバチ	
2658				ツノキクロハバチ	
2659				オメガアオハバチ	<b></b>
-			512142 1 10 mm	ハバチ科	
2660		1	クビナガキバチ科	クビナガキバチ科	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 35/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
2661	昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	コマユバチ科	サクラスカシサムライコマユバチ	H15
2662	LU LLAMO	/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	\_/\/	モモクロサムライコマユバチ	t :
2663	1			アオムシサムライコマユバチ	
2664	1		1	クワノメイガサムライコマユバチ	
2665	1		1	プランコサムライコマユバチ	
2666	]			キタカミキリコマユバチ	
2667				マルバラコマユバチ	
2668	1			ムナカタコウラコマユバチ	
2669				ヒメコウラコマユバチ	ļ
-	1			Che I onus属	
2670				ヒメウマノオバチ	<b></b>
2671	-		1	ヒゲナガコマユバチ	
2672	-		1	クロヒゲナガコマユバチ	1
2673	-		1	サラサヒトリハラボソコマユバチ	1
2674 2675			1	クロオオサムライコマユバチ タテハオオサムライコマユバチ	1
2676				ヨトウオオサムライコマユバチ	<del> </del>
2677				ヨコハママダラコマユバチ	
2678				カモドキバチモドキ	
2679			1	カモドキバチ	t
2680	1			ヨコハマコマユバチ	
2681	1		1	オオアメイロコンボウコマユバチ	
2682	1		1	チビキイロコウラコマユバチ	
-	1		1	コマユバチ科	
2683	]		ヒメバチ科	スジコンボウヒメバチ	
2684	]		1	クロヒゲフシオナガヒメバチ	
2685			1	シロテントガリヒメバチ	
2686	1			イヨヒメバチ	
2687				ハラボソトガリヒメバチ	
2688			1	エゾフタオヒメバチ	
2689	-		1	スギハラチビアメバチ	
2690	-		1	シロモンヒラタヒメバチ	<b>.</b>
2691	-		1	クロモンアメバチ	-
2692 2693	1		1	<u>ムラサキウスアメバチ</u> クロヒラタアプヤドリバチ	1
2694	1		1	シコクホシアメバチ	1
2695	1		1	キマダラコシホソトガリヒメバチ	1
2696	1		1	Habronyx heros	
2697	1		1	コンボウアメバチ	
2698	1			ヒョウモンヒメバチ	
2699	]		1	アマヒトリヤドリヒメバチ	
2700			1	マツケムシヒラタヒメバチ	
2701			1	アオムシヒラタヒメバチ	
2702	1			Megarhyssa属	
2703			1	ツバメシジミセアカヒメバチ	
2704	1			タカオウスグロアメバチ	
2705	-		1	ツマグロケンヒメバチ	
2706	-		1	シラホシオナガバチ	1
2707	-			エゾフタオマルヒメバチ	<del>                                     </del>
2708	1		カギバラバチ科	ヒメバチ科  キスジセアカカギバラバチ	1 -
2708			ヒゲナガクロバチ科	ヒゲナガクロバチ科	
2710	1		コンボウヤセバチ科	コンボウヤセバチ	1
2711	1		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	
2712	1		ハラビロクロバチ科	Inostemma属	
-	1			ハラビロクロバチ科	
2713	]		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	
2714			クシヅメクロバチ科	クシヅメクロバチ科	
2715			イシハラクロバチ科	イシハラクロバチ科	
2716			タマゴクロバチ科	ズイムシクロタマゴバチ	
2717			1	ギフクロタマゴバチ	
-				タマゴクロバチ科	
2718	1		オオモンクロバチ科	オオモンクロバチ科	
2719			ツヤコバチ科	ツヤコバチ科	++
2720	1		アシブトコバチ科	キアシブトコバチフシブトコバチ科	
2721	1		トビコバチ科	アシブトコバチ科  トビコバチ科	1
2722	1		アリヤドリコバチ科	アリヤドリコバチ科	
2723	1		ヒメコバチ科	ヒメコバチ科	
2724	1		ナガコバチ科	マツケムシハネミジカタマゴバチ	+
- 2124	1		, ,, ,, ,, ,, ,,	ナガコバチ科	1 1
2725	1		カタビロコバチ科	カタビロコバチ科	
2726	1		コガネコバチ科	コガネコバチ科	
2727	]		オナガコバチ科	オナガアシブトコバチ	
-	]			オナガコバチ科	
2728			タマゴコバチ科	タマゴコバチ科	
2729			ホソハネコバチ科	ホソハネコバチ科	
2730			ヤドリタマバチ科	ヤドリタマバチ科	
2731			ツヤヤドリタマバチ科	ツヤヤドリタマバチ科	
2732			L	コバチ上科	
2733			セイボウ科	セイボウ科	
2734			アリ科	ノコギリハリアリ	
2735			1	アシナガアリ	
2736			1	ヤマトアシナガアリ	1
2737				オオハリアリ	1
2738			1	ニシムネアカオオアリ	1
2739			1	イトウオオアリ クロオオアリ	<b>-</b>
2740 2741	1				<del></del>
2741	1		1	<u>ミカドオオアリ</u> ナワヨツボシオオアリ	1
2742				ヒラズオオアリ	1
2744				ムネアカオオアリ	1
2144		l .	I	14コン ルタタナン	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 36/37)

No.	網名	目名	科名	和名 na	下流河川
					H15
2745	昆虫綱	八チ目(膜翅目)	アリ科	ウメマツオオアリ	
2746				ヤマヨツボシオオアリ ツチクビレハリアリ	1
2748				ツヤシリアゲアリ	
2749				ハリブトシリアゲアリ	
2750				キイロシリアゲアリ	
2751				テラニシシリアゲアリ	
2752				トビイロシリアゲアリ	
2753				メクラハリアリ	
2754				ハヤシクロヤマアリ	
2755 2756				クロヤマアリ アカヤマアリ	
2757				ツヤクロヤマアリ	
2758				シベリアカタアリ	
2759				ルリアリ	
2760				フシボソクサアリ	
2761				クロクサアリ	
2762				ハヤシケアリ	
2763				トビイロケアリ	ļ
2764				クサアリモドキ	
2765 2766				アメイロケアリ ヒメムネボソアリ	
2767				ハリナガムネボソアリ	
2768				ハヤシムネボソアリ	
2769				ミゾガシラアリ	
2770				ヒメアリ	
2771				キイロヒメアリ	
2772				カドフシアリ	ļ
2773 2774				シワクシケアリ アメイロアリ	1
2775				サクラアリ	1
-				Paratrechina属	1
2776				ヒラタウロコアリ	
2777				アズマオオズアリ	
2778				オオズアリ	
2779				サムライアリ	
2780				トゲアリ	
2781				ヒメハリアリ	
2782 2783				アミメアリ トフシアリ	
2784				メクラナガアリ	
2785				ウロコアリ	
-				Strumigenys属	
2786				ヒラフシアリ	
2787				オオシワアリ	
2788				トビイロシワアリ	
2789				ウメマツアリ	
2790				ハリアリ亜科	
2791 2792				フタフシアリ亜科 ヤマアリ亜科	1
- 2192				アリ科	1
2793			ドロバチ科	オオフタオビドロバチ本土亜種	
2794			, ,	ミカドトックリバチ	
2795				キアシトックリバチ	
2796				ムモントックリバチ	
2797				サムライトックリバチ	
2798				ミカドドロバチ	
2799 2800				スズバチ カバフドロバチ	
2801			スズメバチ科	ムモンホソアシナガバチ	
2802			7,7,7,7,1,7	トウヨウホソアシナガバチ	
2803				セグロアシナガバチ	1
2804				ヤマトアシナガバチ	
2805				キボシアシナガバチ	
2806				コアシナガバチ	
2807				コガタスズメバチ	1
2808 2809				オオスズメバチ キイロスズメバチ	1
2810				ヒメスズメバチ	
2811				クロスズメバチ	
2812				スズメバチ	
-				スズメバチ科	
2813			ベッコウバチ科	アケボノベッコウ	
2814				オオモンクロベッコウ	1
2815				ヒラカタベッコウ	1
2816				ヒメベッコウ	1
2817 2818				スギハラベッコウ ペレエヒゲベッコウ	1
	1			キバネトゲアシベッコウ	1
/x1u			I	ベッコウバチ科	
2819					1
2819			アリバチ科	アリバチモドキ	
2820				アリバチモドキ アリバチ科	
2820 - 2821			コツチバチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属	
2820 - 2821 2822				アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ	
2820 - 2821 2822 2823			コツチバチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824			コツチバチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825			コツチバチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825 2826			コツチバチ科 ツチパチ科	アリパチモドキ アリパチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチパチ キンケハラナガツチパチ ハラナガツチパチ オオハラナガツチパチ キオピッチパチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825			コツチバチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ オオピッチバチ サトジガバチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825 2826			コツチバチ科 ツチパチ科	アリパチモドキ アリパチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチパチ キンケハラナガツチパチ ハラナガツチパチ オオハラナガツチパチ キオピッチパチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825 2826 2827			コツチバチ科 ツチパチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ キオピツチバチ Ammophila属	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825 2826 2827 - 2828 2829 2830			コツチバチ科 ツチパチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ キオピツチバチ 4mmophila属 ミカドジガバチ Rhopalum属	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825 2826 2827 - 2828 2829 2830 2831			コツチバチ科 ツチパチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ サオピッチバチ サトジガバチ Ammophila属 ミカドジガバチ ロロアナバチ Rhopalum属 クロアナバチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825 2826 2827 - 2828 2828 2830 2831			コツチバチ科 ツチパチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ オンケハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ サトジガバチ Ammophila属 ミカドジガバチ Rhopalum属 クロアナバチ オオハヤバチ	
2820 - 2821 2822 2823 2824 2825 2826 2827 - 2828 2829 2830 2831			コツチバチ科 ツチパチ科	アリバチモドキ アリバチ科 Tiphia属 ヒメハラナガツチバチ キンケハラナガツチバチ ハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ サオピッチバチ サトジガバチ Ammophila属 ミカドジガバチ ロロアナバチ Rhopalum属 クロアナバチ	

表 6.6-27 下流河川確認種リスト(陸上昆虫類 : 37/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	下流河川
					H15
	昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	ドロバチモドキ亜科	
2836				ギングチバチ亜科	
2837			ヒメハナバチ科	アプラナマメヒメハナバチ	
2838				キバナヒメハナバチ	
2839				ミカドヒメハナバチ	
2840				ムネアカハラビロヒメハナバチ	
2841				ウツギヒメハナバチ	
-				Andrena属	
2842			コシブトハナバチ科	スジボソコシブトハナバチ	
2843				ヤマトツヤハナバチ	
-				Ceratina属	
2844				Nomada属	
2845				ミツクリヒゲナガハナバチ	
2846				ニッポンヒゲナガハナバチ	
2847				クマバチ	
2848			ミツバチ科	ニホンミツバチ	
2849				コマルハナバチ	
2850				トラマルハナバチ	
-				Bombus属	
2851			ムカシハナバチ科	アシブトムカシハナバチ	
-				Colletes属	
2852				ヅグロチビムカシハナバチ 	
2853				ヒメチビムカシハナバチ	
2854			コハナバチ科	アカガネコハナバチ	
-				Halictus属	
2855	昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ヅマルコハナバチ	
2856				ツヤハラナガコハナバチ	
-				Lasioglossum属	
-				コハナバチ科	
2857			ハキリバチ科	オオハキリバチ	
2858				キバラハキリバチ	
-				八チ目	
		2綱24目	目406科2858種	12. 12.	391種

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・属」「・・・科」「・・・亜科」「・・・目」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

(ダム湖周辺確認種リスト)

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 1/15)

1   2   7   2   7   2   2   3   4   4   5   6   6   6   7   7   7   7   7   7   7		Na Awa	科女		ダム湖周辺		
1 シダ格物 とかゲノカズラ科 とかグラマゴケ	No.	分類	科名	和名			
1	1	シダ植物	<u></u> ヒカゲノカズラ科	ヒカゲノカズラ	ПО	nH	піб
1		1213					
5	3		イワヒバ科	ヒメクラマゴケ			
6				カタヒバ			
トゥサ							
9			トクサ科	· · · ·			
101 111 112 112 113 114 114 115 115 116 117 117 118 119 119 119 119 119 119 119 119 119							
111			ハナヤスリ科				
12							
15   世ンマイ科   世ンマイ   15   15   15   15   15   15   15   1	_						
15			ゼンマイ科				
16	14		キジノオシダ科				
17							
15日 カラシグ科 カニクサ カテンプ科 アオホラゴケ フチワゴケ コウ・コウシノブ科 アオホラゴケ フチワゴケ コウ・コウシノブ ハイホラゴケ コバノイシカグマ科 イヌシグ コバノイシカグマ イワとメワラビ フモトシダ フラヒ ホラグ・ノブ科 シンプ フラヒ ホラシ・ノブ シンプ科 シンプ フラ・ビー マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ			ウラジロ科				
19 コケシノブ科			- 11 > APT				
20							
21			コソンノノ <b>イ</b> チ 				
1.イボラゴケ							
23	_						
10			コバノイシカグマ科				
フモトシダ   フラピ   フラピ   フラピ   フラピ   フラピ   フラピ   フラピ   フラピ   フラ グ   フラピ   フラピ   フラピ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ   フラ グ							
フラピ   ボングウンダ科   ボラシノブ   ファピ   ボックインダ   ファピ   ファピ   ファピ   ファ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ   ファピ   ファブ	25			イワヒメワラビ			
次グウシダ科   ホラシノブ   ファ   ファ   ファ   ファ   ファ   ファ   ファ   フ							
29   シノブ   シノブ   カウラインダ   カウラインダ   カウラインダ   カウライクシダ   カラゲイクガネ   カラゲイクガネ   カラゲイクガネ   カラゲイクガネ   カラゲイクガネ   カラゲイクガネ   カラゲイクガネ   カラゲイクガネ   カラゲイク   カーゲーグ   カーゲー	_						
30     まズワラビ科							
31   32   33   34   7ジャクシグ   33   4   7グェクシグ   33   4   7グェクシグ   34   7グェクシグ   35   36   7グェクシグ   37   70   70   70   70   70   70   70							
32   カジャウシダ   イワガネセンマイ   カラゲイワガネ   カラゲイワガネ   カラヴィアガネ   カララン   カチシノブ   カチシノブ   カチシノブ   カオパノイノモトソウ   オオパノイノモトソウ   オオパノイノモトソウ   オオパノイノモトソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートソウ   カーパートリカ   カーパー			ミスソラヒ科				
33   34   1   1   1   1   1   1   1   1   1							
34   35   36   37   38   47   37   38   47   37   38   47   37   38   47   47   47   47   47   47   47   4							
35   36   36   37   38   39   39   39   39   39   41   41   42   42   43   44   44   45   46   47   48   49   49   49   49   49   49   49							
37   38   イノモトソウ科				-			
38   39   イノモトソウ科	36			タチシノブ			
39   40							
### ### #############################			イノモトソウ科				
41   42   43   44   44   44   44   44   44			- 1 - 2 4871				
42 43 44 44 45 46 47 48 47 48 48 49 49 49 40 50 51 52 52 53 54 55 56 57 57 58 59 60 61 61 62 63 64 65 66 67 68 68 69 67 68 68 69 67 70 71			チャセンシタ科 				
43 44 45 46 47 46 47 48 49 49 49 40 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71							
### ### ### #########################							
45 46 47 48 48 49 49 50 51 50 51 52 53 53 55 56 57 58 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71							
47       48         48       オシダ科         オンダ科       ホソバカナワラビ         50       ミドリカナワラビ         51       52         53       オニカナワラビ         54       リョウメンシダ         55       キョスミヒメワラビ         56       メヤブソテツ         57       58         59       セマヤブソテツ         60       イワヘゴ         61       サイゴクベニシダ         62       マルパベニシダ         63       イエシダ         64       マルパベニシダ         65       66         67       68         69       オオイタチシダ         70       オオイタチシダ         71       ヒメイタチシダ							
48 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49	46			アオガネシダ			
49	47		シシガシラ科	シシガシラ			
カンゴクナライシダ   まドリカナワラピ   1							
51       ミドリカナワラピ         52       ハカタシダ         53       オニカナワラピ         54       リョウメンシダ         55       大アブソテツ         56       メヤブソテツ         57       ヤマヤブソテツ         58       ミヤコヤブソテツ         59       イワヘゴ         60       サイゴクベニシダ         61       サイゴクベニシダ         62       マルバベニシダ         63       オオペニシダ         64       マルバベニシダ         65       クマワラビ         67       ミヤマイタチシダ         70       オオイタチシダ         71       ヒメイタチシダ			オシダ科				
52							
53							
54       リョウメンシダ         55       キヨスミヒメワラビ         56       メヤブソテツ         57       ヤマヤブソテツ         58       ミヤコヤブソテツ         60       イワヘゴ         61       サイゴクペニシダ         62       ミサキカグマ         63       マルパペニシダ         64       マルパペニシダ         65       クマワラビ         67       68         69       オクマワラビ         70       オオイタチシダ         71       ヒメイタチシダ							
キョスミヒメワラピ   メヤブソテツ   ヤブソテツ   ヤブソテツ   ヤマヤブソテツ   ヤマヤブソテツ   ママヤブソテツ   ラ							
Section							
57       58       59       60       61       62       63       64       65       66       67       70       70       71							
59       59         60       イワヘゴ         61       サイゴクペニシダ         62       ミサキカグマ         63       ベニシダ         64       オオペニシダ         65       クマワラビ         66       ミヤマイタチシダ         70       オオイタチシダ         71       ヒメイタチシダ							
60 61 62 63 64 65 66 66 67 68 69 70 71	_58						
61 62 63 64 64 65 66 66 67 68 69 70 71							
62       63       64       65       66       67       68       69       70       71							
63							
64         65         65         66         67         68         69         70         71							
65   オオペニシダ   クマワラピ   ミヤマイタチシダ   オクマワラピ   ランカイイタチシダ   オクマワラピ   カンカイイタチシダ   オオイタチシダ   オオイタチシダ   オオイタチシダ   ヒメイタチシダ   カオイタチャタ   カオイタチャタ   カオイタチャタ   カオイタチャタ							
66     クマワラピ       67     ミヤマイタチシダ       68     オクマワラピ       69     ナンカイイタチシダ       70     オオイタチシダ       71     ヒメイタチシダ							
67     ミヤマイタチシダ       68     オクマワラビ       69     ナンカイイタチシダ       70     オオイタチシダ       71     ヒメイタチシダ							
68							
69       70       71							
70 71 セメイタチシダ							
71 ヒメイタチシダ							
72 ヤマイタチシダ							
	72			ヤマイタチシダ			

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 2/15)

				5	「ム湖周	iЛ
No.	分類	科名	和名			
	> 4×2+44-			Н6	H11	H16
	シダ植物	オシダ科	アイノコクマワラビ			
74			アイアスカイノデ			
75			カタイノデ			
76			ツヤナシイノデ			
77			イノデ			
78			サイゴクイノデ			
79			イノデモドキ			
80			ジュウモンジシダ			
81			ヒメカナワラビ			
82		ヒメシダ科	ゲジゲジシダ			
83			ミゾシダ			
84			ホシダ			
85			イブキシダ			
86			ハシゴシダ			
87			コハシゴシダ			
88			ハリガネワラビ			
89			イワハリガネワラビ			
90			ヤワラシダ			
91			ヒメシダ			
92			ヒメワラビ			
93		J > . H'SI	ミドリヒメワラビ			
94		メシダ科	カラクサイヌワラビ			
95			サトメシダ	ļ		
96			ホソバイヌワラビ			
97			ヌリワラビ			
98			イヌワラビ			
99			ヤマイヌワラビ			
100			ヒロハイヌワラビ			
101			シケチシダ			
102			ホソバシケシダ			
103			セイタカシケシダ			
104			シケシダ			
105			オオヒメワラビ			
106			ミヤマシケシダ			
107			ハクモウイノデ			
107			オニヒカゲワラビ			
109			キヨタキシダ			
110			ノコギリシダ			
111			イヌガンソク			
112			クサソテツ			
113			コウヤワラビ			
114		ウラボシ科	ミツデウラボシ			
115			マメヅタ			
116			ノキシノブ			
117			イワヤナギシダ			
118			ヒトツバ			
	裸子植物	マツ科	モミ			
120			アカマツ			
121		スギ科	スギ			
122		ヒノキ科	ヒノキ			
123			サワラ			
124			カイヅカイブキ			
125			ネズ			
125		イヌガヤ科	イヌガヤ			
127		イチイ科	カヤ	-		
	離弁花類	クルミ科	オニグルミ	-		
129		ヤナギ科	ヤマナラシ			
130			サイコクキツネヤナギ			
131			バッコヤナギ			
132			アカメヤナギ			
133			ジャヤナギ			
134			カワヤナギ			
135			ネコヤナギ			
136			イヌコリヤナギ			
137			タチヤナギ			
138			マルバヤナギ			
139		カバノキ科	ケヤマハンノキ			
140			ヤマハンノキ			
141			ヒメヤシャブシ			
141			カワラハンノキ			
143			オオバヤシャブシ クマシデ			
144						

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 3/15)

N.	八老五	科名	III 67	5	「ム湖周	辺
No.	分類	科名	和名	H6	H11	H16
145	離弁花類	カバノキ科	アカシデ	110		1110
146			イヌシデ			
147		ブナ科	クリ			
148			クヌギ			
149			ナラガシワ			
150 151			アラカシ シラカシ			
152			ウラジロガシ			
153			コナラ			
154			アベマキ			
155		ニレ科	コバノチョウセンエノキ			
156			エゾエノキ			
157			エノキ			
158			アキニレ ケヤキ			
159 160		クワ科	ヒメコウゾ			
161		7 314	コウゾ			
162			クワクサ			
163			イヌビワ			
164			イタビカズラ			
165			カナムグラ			
166			ヤマグワ			
167		イラクサ科	クサコアカソ			
168			ヤブマオ			
169 170			カラムシ ナンバンカラムシ			
171			メヤブマオ			
172			ナガバヤブマオ			
173			コアカソ			
174			アカソ			
175			ヤマトキホコリ			
176			ウワバミソウ			
177			ムカゴイラクサ			
178 179			カテンソウ サンショウソウ			
180			ミズ			
181			ヤマミズ			
182			ミヤコミズ			
183			アオミズ			
184		ビャクダン科	カナビキソウ			
185		タデ科	ミズヒキ			
186			シンミズヒキ			
187 188			シャクチリソバ ミヤマタニソバ			
189			ヤナギタデ			
190			オオイヌタデ			
191			イヌタデ			
192			ヤノネグサ			
193			イシミカワ			
194			ハナタデ			
195			ボントクタデ			
196			サナエタデ			
197 198			アキノウナギツカミ ミゾソバ			
199			ヤマミゾソバ			
200			ハルタデ			
201			イタドリ			
202			スイバ			
203			ヒメスイバ			
204			アレチギシギシ			
205			ナガバギシギシ			
206			ギシギシ エゾノギンギン			
207		ヤマゴボウ科	エゾノギシギシ ヨウシュヤマゴボウ			
208		トスコかフ付	マルミノヤマゴボウ			
210		ザクロソウ科	マルミノヤマコホワ   ザクロソウ			
211			クルマバザクロソウ			
212		スベリヒユ科	スベリヒユ			
213		ナデシコ科	ノミノツヅリ			
214			オランダミミナグサ			
215			ミミナグサ			
216			ナンバンハコベ			

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 4/15)

		N <sub>2</sub>		ダム湖周辺		
No.	分類	科名	和名	H6	H11	H16
217	離弁花類	ナデシコ科	カワラナデシコ	110	1111	1110
218	4		フシグロセンノウ			
219	1		ツメクサ			
220	-		ノミノフスマ			
221	-		ウシハコベ			
222	1		サワハコベ コハコベ			
223	4		ミドリハコベ			<del>                                     </del>
225	-		ミヤマハコベ			
226		アカザ科	シロザ			
227	]		アカザ			
228			アリタソウ			
229	-		ケアリタソウ			
230	1	ヒユ科	ヒカゲイノコズチ			
231			ヒナタイノコズチ ホソバツルノゲイトウ			
233	4		イヌビユ			
234	-		ホソアオゲイトウ			
235			ホナガアオゲイトウ			
236	4	モクレン科	ホオノキ			
237			タムシバ			
238	-	マツブサ科	サネカズラ			
239	-		マツブサ			
240	4	シキミ科	シキミ			
241	1	クスノキ科	カゴノキ			
242	1		クスノキ			-
243 244			ヤブニッケイ カナクギノキ			<b> </b>
245	1		ヤマコウバシ			
246	-		ダンコウバイ			
247	4		クロモジ			
248			ヒメクロモジ			
249	]		ホソバタブ			
250	1		シロダモ			
251	4		アプラチャン			
252	-	フサザクラ科	フサザクラ			
253	1	キンポウゲ科	イヌショウマ			<b>-</b>
254 255	4		ボタンヅル ハンショウヅル			
256	-		センニンソウ			
257	-		シロバナハンショウヅル			
258	-		トウゴクサバノオ			
259	1		ウマノアシガタ			
260	]		タガラシ			
261			キツネノボタン			
262			アキカラマツ			
263	4	メギ科	ヒイラギナンテン			ļ
264	1	フケビ対	ナンテン			
265 266		アケビ科	アケビ ミツバアケビ			
267	1		ムベ			
268		ツヅラフジ科	アオツヅラフジ			
269	4		ツヅラフジ			
270	-	ドクダミ科	ドクダミ			
271	4	センリョウ科	フタリシズカ			
272	1	ウマノスズクサ科	ホソバウマノスズクサ			
273	1		ミヤコアオイ			
274	-	マタタビ科	サルナシ			
275	1		シナサルナシ ウラジロマタタビ			
276 277			ウラジロマタタビ マタタビ			
278		ツバキ科	ヤブツバキ			
279			サカキ			
280			ヒサカキ			
281	]		チャノキ			
282	1	オトギリソウ科	オトギリソウ			
283	-		コケオトギリ			
284	-	モウセンゴケ科	モウセンゴケ			
285	1	ケシ科	クサノオウ			
286			キケマン			
287			ムラサキケマン			
288 289			ミヤマキケマン タケニグサ			
∠69			フノーソソ			

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 5/15)

No.	分類	科名	和名	ダ	ム湖周	辺
				H6	H11	H16
-	離弁花類	フウチョウソウ科	セイヨウフウチョウソウ			
291		アブラナ科	ヤマハタザオ			
292			セイヨウカラシナ			
293			ナズナ			
294			ニシノオオタネツケバナ			
295			タネツケバナ			
296			タチタネツケバナ			
297			ジャニンジン			
298			オオバタネツケバナ オランダガラシ			
299 300			コイヌガラシ			
300			コ1 メガブシ   ミチバタガラシ			
302			イヌガラシ	-		
303			スカシタゴボウ			
304		ベンケイソウ科	コモチマンネングサ			
305			メノマンネングサ			
306			オノマンネングサ			
307			マルバマンネングサ			
308			ツルマンネングサ			
309			ヒメレンゲ			
310		ユキノシタ科	チダケサシ			
311			アカショウマ			
312			クサアジサイ			
313			イワボタン			
314			タチネコノメソウ			
315			ウツギ			
316			マルバウツギ			
317			コアジサイ			
318			コガクウツギ			
319			ヤマアジサイ			
320			ノリウツギ			
321			ゴトウヅル			
322			ガクウツギ			
323			ヤハズアジサイ			
324			チャルメルソウ			
325			コチャルメルソウ			
326			タコノアシ			
327			ジンジソウ			
328			ダイモンジソウ			
329			ユキノシタ			
330			イワガラミ			
331		バラ科	キンミズヒキ			
332			ヒメキンミズヒキ	<u> </u>		
333			ザイフリボク			
334			ヘビイチゴ			
335			ヤブヘビイチゴ			
336			ダイコンソウ			
337 338			カナメモチ ミッパッチグリ			
339			オヘビイチゴ			
340			カマツカ			
341			イヌザクラ			
342			ウワミズザクラ			
343			ヤマザクラ			
344			エドヒガン			
345			カスミザクラ			
346			ノイバラ			
347			ニオイイバラ			
348			ミヤコイバラ			
349			ヤマイバラ			
350			テリハノイバラ			
351			フユイチゴ			
352			クマイチゴ			
353			ミヤマフユイチゴ			
354			クサイチゴ			
355			ニガイチゴ			
356			ナガバモミジイチゴ			
357			ナワシロイチゴ			
			エビガライチゴ			
358						
358 359			ワレモコウ			
358			ワレモコウ ウラジロノキ ユキヤナギ			

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 6/15)

No.	分類	科名	和名	ダ	ム湖周	IJ
				Н6	H11	H16
	離弁花類	マメ科	クサネム			
363			ネムノキ			
364			イタチハギ			
365			ヤブマメ			
366			ホドイモ			
367			ゲンゲ			
368			ジャケツイバラ			
369			ユクノキ			
370			ヒメノハギ			
371			フジカンゾウ			
372			アレチヌスビトハギ			
373			ケヤブハギ			
374			ヌスビトハギ			
375			ヤブハギ			
376			アメリカヌスビトハギ			
377			ノササゲ			
378						
			ノアズキ			
379			ツルマメ			
380			コマツナギ			
381			マルバヤハズソウ			
382			ヤハズソウ			
383			イタチササゲ			
384			ヤマハギ	]		
385			キハギ			
386			メドハギ			
387			マルバハギ			
388			ネコハギ			
389			ビッチュウヤマハギ			
390			ミヤコグサ	1		
391			イヌエンジュ			
392			ハネミイヌエンジュ			
393			コメツブウマゴヤシ			
394			クズ			
395			オオバタンキリマメ			
396			ハリエンジュ			
397			クララ			
398			コメツブツメクサ			
399			ムラサキツメクサ			
400			シロツメクサ			
401			ヤハズエンドウ			
402			スズメノエンドウ			
403			カスマグサ			
404			ヤマフジ			
405			フジ			
406		カタバミ科	カタバミ			
407			アカカタバミ			
408			ムラサキカタバミ			
409			エゾタチカタバミ			
410			ミヤマカタバミ	<del>   </del>		
410		カタバミ科	オッタチカタバミ			
411		カタバミ科 フウロソウ科		<b> </b>		
		/ / U / /1T	ヒメフウロ  ゲンノショウコ			
413		니 <b></b>				
414		トウダイグサ科	エノキグサ			
415			オオニシキソウ			
416			コニシキソウ			
417			アカメガシワ			
418			ヤマアイ			
419			コバンノキ			
420			ヒメミカンソウ			
421			シラキ			
422			ナンキンハゼ			
423		ミカン科	マツカゼソウ			
424			コクサギ			
425			<b>キハダ</b>	<b> </b>		
426			ミヤマシキミ	<del>   </del>		
426			カラスザンショウ	<b> </b>		
428			フユザンショウ			
			サンショウ			
429						
430		10.1.21	イヌザンショウ			
430 431		ニガキ科	シンジュ			
430		ニガキ科				

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物 : 7/15)

No. 分類	科名	和名	3	ダム湖周辺		
			Н6	H11	H16	
434 離弁花類	ウルシ科	ツタウルシ				
435		ヌルデ				
436		ハゼノキ				
437		ヤマハゼ				
438		ヤマウルシ				
439		ウルシ				
440	カエデ科	チドリノキ				
441	73 - 27 14	ウリカエデ				
442		ウラゲエンコウカエデ				
443		エンコウカエデ				
444		イロハモミジ				
445		オオモミジ				
446		コハウチワカエデ				
447	ムクロジ科	ムクロジ				
448	ツリフネソウ科	キツリフネ				
449		ツリフネソウ				
450	モチノキ科	イヌツゲ				
451		モチノキ				
452		アオハダ				
		*	_	-	-	
453		ケナシアオハダ		1		
454		タマミズキ		1	<u> </u>	
455		ソヨゴ				
456		ウメモドキ				
457		クロソヨゴ				
458	ニシキギ科	ツルウメモドキ				
459		ニシキギ				
460		コマユミ				
461		ツルマサキ				
462		サワダツ				
463		ツリバナ				
464	4	マユミ				
465	ミツバウツギ科	ゴンズイ				
466		ミツバウツギ				
467	クロウメモドキ科	クマヤナギ				
468		イソノキ				
469		ケンポナシ				
470		ケケンポナシ				
471	ブドウ科	ノブドウ				
472	21 241	キレバノブドウ				
473						
		ヤブガラシ				
474		ツタ				
475		ヤマブドウ				
476		エビヅル				
477		サンカクヅル				
478		アマヅル				
479	シナノキ科	カラスノゴマ				
480		ヘラノキ				
481	ジンチョウゲ科	コショウノキ				
482	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ガンピ	1			
483		キガンピ				
	H = 11				-	
484	グミ科	ツルグミ		ļ	-	
485		ナツグミ				
486		ナワシログミ		ļ		
487		アキグミ				
488	スミレ科	ナガバノスミレサイシン			<u> </u>	
489		アメリカスミレサイシン				
190		タチツボスミレ				
491		アオイスミレ	i			
192		コスミレ		1		
	7 = 1.49					
493	スミレ科	スミレ		-	-	
494		コミヤマスミレ		1	-	
495		フモトスミレ				
496		アケボノスミレ				
497		ツボスミレ				
498		アギスミレ	1			
		シハイスミレ		1		
199		レンハーヘーレ			1	
499 500	キブシ科	キブシ				

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 8/15)

No. 分類	科名	和名	4	ダム湖周辺		
				H6	H11	H16
	離弁花類	ウリ科	ゴキヅル			
503			アマチャヅル			
504			スズメウリ			
505			アレチウリ			
506			カラスウリ			
507			キカラスウリ			_
508			モミジカラスウリ			+
		ミソハギ科	キカシグサ			1
509		こうハイヤ				-
510		- 1 10 1 51	ミズマツバ			
511		アカバナ科	ウシタキソウ			
512			ミズタマソウ			
513			アカバナ			
514			チョウジタデ			
515			メマツヨイグサ			
516			オオマツヨイグサ			t
517			マツヨイグサ			$\vdash$
		711 / L 4 ###				-
518		アリノトウグサ科	アリノトウグサ			1
519			ホザキノフサモ			1
520		ウリノキ科	ウリノキ			
521		ミズキ科	アオキ			
522			ミズキ			
523			クマノミズキ			<del>†                                      </del>
524			ハナイカダ			+
		+ - +***1				-
525		ウコギ科	コシアブラ			<u> </u>
526			ヤマウコギ			
527			ウド			
528			タラノキ			
529			メダラ			
530			タカノツメ			
531			キヅタ			+
						-
532			トチバニンジン			_
533		セリ科	ノダケ			
534			シラネセンキュウ			
535			シシウド			
536			ミツバ			
537			ウシミツバ			<del>                                     </del>
538			ハナウド			<del>                                     </del>
						-
539			オオバチドメ			
540			ノチドメ			
541			オオチドメ			
542			チドメグサ			
543			ヒメチドメ			
544			セリ			
545			ヤブニンジン			+
			ウマノミツバ		1	+
546					-	+
547			カノツメソウ		1	1
548			ヤブジラミ			
549			オヤブジラミ			
550	合弁花類	リョウブ科	リョウブ			
551		イチヤクソウ科	ギンリョウソウ			
552			イチヤクソウ			
553		ツツジ科	ネジキ			+
		) ) ) ÎT	アセビ			+
554						-
555			ミツバツツジ			1
556			レンゲツツジ			
557			モチツツジ			
558			ヤマツツジ			
559			コバノミツバツツジ		<u> </u>	+
_					1	+
560			シャシャンボ		-	1
561			ウスノキ			_
562			アクシバ		<u></u>	L
563			ケアクシバ			
		1	ナツハゼ		-	+

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 9/15)

565 66						
				Н6	H11	H16
200	弁花類	ツツジ科 ヤブコウジ科	スノキ			
567		ヤノコワシ科	マンリョウ ヤブコウジ			
568		 サクラソウ科	ミヤマタゴボウ			
569			オカトラノオ			
570			ヌマトラノオ			
571			コナスビ			
572		カキノキ科	カキノキ			
573			マメガキ			
574		エゴノキ科	オオバアサガラ			
575		ハイノキ科	エゴノキ			
576 577		/\1	サワフタギ タンナサワフタギ			
578		モクセイ科	マルバアオダモ			
579			ネズミモチ			
580			イボタノキ			
581			ヒイラギ			
582		リンドウ科	リンドウ			
583			アケボノソウ			
584			センブリ			
585		<u>+ - + 7 5 1 + 70</u>	ツルリンドウ			
586		キョウチクトウ科	テイカカズラ ツルニチニチソウ			
587 588		ガガイモ科	イケマ			
589			キジョラン			
590			ガガイモ			
591			オオカモメヅル			
592		アカネ科	クルマバソウ			
593			メリケンムグラ			
594			ヒメヨツバムグラ			
595			キクムグラ			
596			ヤマムグラ			
597			オオバノヤエムグラ			
598			ヤエムグラ ヨツバムグラ			
599 600			フタバムグラ			
601			ハシカグサ			
602			ツルアリドオシ			
603			ヘクソカズラ			
604			アカネ			
605		ヒルガオ科	ヒルガオ			
606			ネナシカズラ			
607			アメリカネナシカズラ			
608			マメアサガオ			
609 610		ムラサキ科	アサガオ サワルリソウ			
611			ハナイバナ			
612			オニルリソウ			
613			ヤマルリソウ			
614			コンフリー			
615			ミズタビラコ			
616			キュウリグサ		$\Box$	
617		クマツヅラ科	ムラサキシキブ			
618 619			ヤブムラサキ カリガネソウ			
620			カリカネソワ クサギ	$\vdash$		
621			フリキ ヤナギハナガサ			
622		シソ科	カワミドリ			
623			キランソウ			
624			クルマバナ			
625			トウバナ			
626			イヌトウバナ			
627			ヤマトウバナ			
628			ナギナタコウジュ			
629			フトボナギナタコウジュ			
630			ミズトラノオ カキドオシ			
631 632			マネキグサ	$\vdash$		
633			オドリコソウ			
634			ヒメオドリコソウ			
635			メハジキ			
636			ミカエリソウ			

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物 : 10/15)

No.	分類	科名	和名	ダム湖周辺		
	22.0%			Н6	H11	H16
637	合弁花類	シソ科	ヒメシロネ			
638			ラショウモンカズラ			
639			ハッカ			
640			ヒメジソ			
641			イヌコウジュ			
642			エゴマ			
643			シソ			
644			レモンエゴマ			
645			アオジソ			
646			ウツボグサ			
647			ヤマハッカ			
648			ヒキオコシ			
649			アキチョウジ			
650			アキノタムラソウ			
651			キバナアキギリ			
652			オカタツナミソウ			
653			タツナミソウ			
654			コバノタツナミソウ			
655			イヌゴマ			
656			ニガクサ			
657			ツルニガクサ			
658		ナス科	クコ	1		
659			ホオズキ			
660			アメリカイヌホオズキ			
661			ヒヨドリジョウゴ			
662			マルバノホロシ			
663			イヌホオズキ			
664			テリミノイヌホオズキ			
665			ハダカホオズキ			
666		フジウツギ科	フサフジウツギ			
667			フジウツギ			
668		ゴマノハグサ科	ツタバウンラン			
669			サワトウガラシ			
670			マツバウンラン			
671			スズメノトウガラシ			
672			ウリクサ			
673			タケトアゼナ			
674			アメリカアゼナ			
675			アゼトウガラシ			
676			アゼナ			
677			ムラサキサギゴケ			
678			サギゴケ			
679			トキワハゼ			
680			ママコナ			
681			ミゾホオズキ			
682			コシオガマ			
683			オオヒナノウスツボ			
684			オオヒキヨモギ	1		
685			オオカワヂシャ	1		<b>†</b>
686			タチイヌノフグリ	1		
687			ムシクサ	1		<del>                                     </del>
688			オオイヌノフグリ	1		<b>†</b>
689		 ノウゼンカズラ科	キリ	1		
690		キツネノマゴ科	キッネノマゴ	1		
691		12123311	ハグロソウ	1		
692			スズムシバナ	1		
693		イワタバコ科	イワタバコ	1		
694		ハエドクソウ科	ハエドクソウ	1		
695		// <del>-   / / / / /  </del>	ナガバハエドクソウ	1		
696		オオバコ科	オオバコ	1		1
696		オオバコ科 スイカズラ科		1	-	
698		A 1 1/1 / 1/11	ツクバネウツギ	1	-	
			ヤマウグイスカグラ	+		
699				-	-	
700			ウグイスカグラ	1	-	
701			スイカズラ	1	-	<u> </u>
702			ニワトコ	1		<u> </u>
703			ガマズミ	1		<u> </u>
704			コバノガマズミ	1		<u> </u>
705			オオカメノキ	1		
706			ヤブデマリ	1		1
707			ミヤマガマズミ			
708			ヤブウツギ			
		i .	タニウツギ			

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物 : 11/15)

No.	分類	科名	和名	9	「ム湖周」	辺
	7370			H6	H11	H16
710	合弁花類	オミナエシ科	オミナエシ			
711			オトコエシ			
712			ノヂシャ			
713		キキョウ科	ツリガネニンジン			
714			ホタルブクロ			
715			ツルニンジン			
716 717			バアソブ ミゾカクシ			
718			タニギキョウ			
719		キク科	ノブキ			
720		1 2 1 1	ヌマダイコン			
721			キッコウハグマ			
722			ブタクサ			
723			オオブタクサ			
724			ヨモギ			
725			イナカギク			
726			シロヨメナ			
727			ノコンギク			
728			オオホウキギク			
729			シラヤマギク			
730 731			ヒロハホウキギク ホウキギク			
731			オケラ			
733			アメリカセンダングサ			
734			タウコギ			-
735			モミジガサ			
736			ヤブタバコ			
737			ガンクビソウ			
738			サジガンクビソウ			
739			ヒメガンクビソウ			
740			トキンソウ			
741			ヒメアザミ			
742			ノアザミ			
743 744			ヨシノアザミ   ノハラアザミ			
745			アレチノギク			
746			オオアレチノギク			
747			ベニバナボロギク			
748			リュウノウギク			
749			アメリカタカサブロウ			
750			タカサブロウ			
751			ダンドボロギク			
752			ヒメムカシヨモギ			
753			ケナシヒメムカシヨモギ			
754			ヒヨドリバナ			
755 756			サワヒヨドリ ヤマヒヨドリ			
757			サケバヒヨドリ			
758			ハキダメギク			
759			ハハコグサ			
760			チチコグサ			
761			チチコグサモドキ			
762			ウスベニチチコグサ			
763			キクイモ			
764			キツネアザミ			
765			オオヂシバリ			
766 767			ニガナ ハナニガナ			
768			イワニガナ			
769			オオユウガギク			
770			コウガギク			
771			ヨメナ			
772			アキノノゲシ			
773			ホソバアキノノゲシ			
774			ヤマニガナ			
775			ムラサキニガナ			
776			コオニタビラコ			
777			ヤブタビラコ			
778			センボンヤリ			
779			カシワバハグマ			
780			コウヤボウキ			

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物: 12/15)

	() #T	NA	TO 67	ダム湖周辺			
No.	分類	科名	和名	H6	H11	H16	
781	合弁花類	キク科	フキ	110	11111	1110	
782			コウゾリナ				
783			シュウブンソウ				
784			オオハンゴンソウ				
785			サワギク				
786			ノボロギク				
787			コメナモミ				
788 789			メナモミ セイタカアワダチソウ				
790			アキノキリンソウ				
791			オニノゲシ				
792			ノゲシ				
793			ヒメジョオン				
794			ヤマボクチ				
795			カンサイタンポポ				
796			セイヨウタンポポ				
797			オオオナモミ				
798			ヤクシソウ				
799			ハナヤクシソウ ナータビニコ				
800		オモダカ科	オニタビラコ ヘラオモダカ				
802	一 」 未但彻	-3 - 2 /317	ウリカワ				
803			オモダカ				
804		トチカガミ科	オオカナダモ				
805		ユリ科	ノギラン				
806			ソクシンラン				
807			ノビル				
808			ホウチャクソウ				
809			チゴユリ				
810			ショウジョウバカマ				
811			ヤブカンゾウ				
812			ノカンゾウ イワギボウシ				
813 814			オオバギボウシ				
815			トウギボウシ				
816			ウバユリ				
817			ササユリ				
818			コオニユリ				
819			ヒメヤブラン				
820			ヤブラン				
821			ジャノヒゲ				
822			ナガバジャノヒゲ				
823			オオバジャノヒゲ				
824			ナルコユリ				
825 826			ミヤマナルコユリ アマドコロ				
827			オモト				
828			サルトリイバラ				
829			タチシオデ				
830			シオデ				
831			ヤマジノホトトギス				
832			ホトトギス				
833			ヤマホトトギス				
834		ヒガンバナ科	ヒガンバナ				
835			キツネノカミソリ				
836		ヤマノイモ科	タチドコロ				
837 838			ヤマノイモ カエデドコロ				
839			<u> カエテトコロ</u> キクバドコロ				
840			ヒメドコロ				
841			オニドコロ				
842		ミズアオイ科	ホテイアオイ				
843			ミズアオイ				
844			コナギ				
845		アヤメ科	ヒオウギ				
846			シャガ				
847			キショウブ				
848			ニワゼキショウ				
849			ヒメヒオウギズイセン				
850		ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ				

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物 : 13/15)

No. 分類	科名	和名	Ś	ダム湖周辺		
			Н6	H11	H16	
851 単子葉植	物 イグサ科	ハナビゼキショウ				
852		1				
853		コウガイゼキショウ				
854		ホソイ				
855		クサイ				
856		コゴメイ				
857		スズメノヤリ				
858		ヤマスズメノヒエ				
859		ヌカボシソウ				
860	ツユクサ科	ツユクサ				
861		イボクサ				
862		ヤブミョウガ				
863	ホシクサ科	ヒロハイヌノヒゲ				
864	イネ科	アオカモジグサ				
865		タチカモジグサ				
866		カモジグサ				
867		コヌカグサ				
868		ヤマヌカボ				
869		ヌカボ				
870		スズメノテッポウ				
871		メリケンカルカヤ				
872		コブナグサ				
873		トダシバ				
874		ヒメコバンソウ		<del>                                     </del>		
875		イヌムギ				
876		キツネガヤ				
877		ノガリヤス				
878		ヒメノガリヤス				
879		オガルカヤ	<del></del>			
880		ギョウギシバ			-	
881		カモガヤ	<b> </b>			
882		タツノヒゲ				
883		メヒシバ				
884		コメヒシバ				
885		アキメヒシバ				
886		アブラススキ				
887		イヌビエ				
888		ケイヌビエ			-	
889		ヒメイヌビエ		ļ		
890		オヒシバ				
891		シナダレスズメガヤ				
892		カゼクサ				
893		コゴメカゼクサ			ļ	
894		ニワホコリ	_			
895		オオニワホコリ				
896		コスズメガヤ				
897		ナルコビエ				
898		オニウシノケグサ				
899		ウシノケグサ				
900		トボシガラ				
901		ヒロハノウシノケグサ				
902		オオウシノケグサ				

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物 : 14/15)

No.	分類	科名	和名	ダム湖周辺		
	73 AX	114		H6	H11	H16
903	単子葉植物	イネ科	ドジョウツナギ			
904			チガヤ			
905			チゴザサ			
906			ハイチゴザサ			
907			サヤヌカグサ			
908			アゼガヤ			
909			ネズミムギ			
910			ササクサ			
911			コメガヤ			
912			ササガヤ			
913			ヒメアシボソ			
914			アシボソ			
915			トキワススキ			
916			オギ			
917			ススキ			
918			ヌマガヤ	_		
919			オオネズミガヤ	_		
920			ケチヂミザサ			
921			コチヂミザサ			
922			ヌカキビ	+		-
923			オオクサキビ	-		
924			シマスズメノヒエ	+		
925			キシュウスズメノヒエ フブメノレエ	-		-
926 927			スズメノヒエ チカラシバ	-		-
927				_		
929			クサヨシ ヨシ	_		
930			ツルヨシ	+		
930			ホテイチク	+		
932			マダケ	+		
933			ハチク	-		
934			モウソウチク	+		
935			ネザサ	+		
936			ケネザサ	-		
937			メダケ	_		
938			ミゾイチゴツナギ			
939			スズメノカタビラ			
940			オオイチゴツナギ	_		
941			ナガハグサ	_		
942			イチゴツナギ	1		
943			オオスズメノカタビラ			
944			ヒエガエリ	1		
945			ウキシバ			
946			ヤダケ	1		
947			チシマザサ			
948			ミヤコザサ	1		
949			チマキザサ	1		
950			スズタケ			
951			アキノエノコログサ			
952			キンエノコロ			
953			エノコログサ			
954			ムラサキエノコロ			
955			オオエノコロ			
956			セイバンモロコシ			
957			ネズミノオ			
958			カニツリグサ			
959			ナギナタガヤ			
960			マコモ			
961			シバ			
962		ヤシ科	シュロ			
963		サトイモ科	セキショウ			
964			キシダマムシグサ			
965			ヤマトテンナンショウ			
966			マムシグサ			
967			ムロウテンナンショウ			
968			カラスビシャク			
969		ウキクサ科	アオウキクサ			
970			ウキクサ			
971		ガマ科	ヒメガマ			
972		l .	コガマ	1	1	1

表 6.6-28 ダム湖周辺確認種リスト(植物 : 15/15)

o. 分類	科名	和名	5	がム湖周	辺
			H6	H11	H1
73 単子葉植	物 カヤツリグサ科	エナシヒゴクサ			
974		クロカワズスゲ			
75		マツバスゲ			
976		アオスゲ			
77		メアオスゲ			
978		ミヤマシラスゲ			
979		ヒメカンスゲ			
980		ナルコスゲ			
981		カサスゲ			
982		シラスゲ			
983		イトスゲ			
984		マスクサ			
985		カワラスゲ			
986		ジュズスゲ			
987		ヒゴクサ			
988		テキリスゲ			
989		ヒカゲスゲ			
990		ナキリスゲ			
991		タチスゲ			
992		ゴウソ			
993		ヒメシラスゲ			
994		カンスゲ			
995		ミヤマカンスゲ			
996		アオゴウソ			
997		コカンスゲ			
998		ヤブスゲ			
999		クサスゲ			
000		オオイトスゲ			
001		タガネソウ			
002		アゼスゲ			
003		ヤワラスゲ			
004		ヒメモエギスゲ			
005		アイダクグ			
006		ヒメクグ			
007		クグガヤツリ			
008		タマガヤツリ			
009		ヒナガヤツリ			
010		アゼガヤツリ			
)11		コアゼガヤツリ			
)12		コゴメガヤツリ			
013		カヤツリグサ			
)14		アオガヤツリ			
)15		ウシクグ			
016		シロガヤツリ			
)17		カワラスガナ			
018		マツバイ			
019		ハリイ	<del>  </del>		
020		シカクイ			1
)21		コアゼテンツキ			1
)22		ヒメヒラテンツキ			1
		テンツキ			
023		クロテンツキ	<del></del>		
		ヒデリコ			1
)25			<del></del>		
)26		メアゼテンツキ ヒンジガヤツリ	<b></b>		<u> </u>
)27			<del></del>		1
)28		コマツカサススキ	<b></b>		1
)29		イヌホタルイ			-
)30	2 스 #1	アブラガヤ			1
)31	ショウガ科	ミョウガ			1
)32	ラン科	シュンラン			_
)33		ツチアケビ			1
)34		ミヤマウズラ			1
)35		ムヨウラン			_
036		ジガバチソウ			1
)37		クモキリソウ			<u> </u>
)38		コクラン			<u> </u>
)39		オオバノトンボソウ			
)40		カヤラン			
)41		ネジバナ			
		クモラン			
)42					

注) 1.種名および分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。

表 6.6-29 ダム湖周辺確認種リスト(鳥類: 1/2)

No.	目名	科名	種名		ダム沽	胡周辺	
			和名	H5	H9	H14	H18• 19
		カイツブリ科	カイツブリ				
2			アカエリカイツブリ				
3	ペリカン目	ウ科	カワウ				
	コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ				
5			ササゴイ				
6			アマサギ				
7			ダイサギ				
8			チュウサギ				
9			コサギ				
10			アオサギ				
	カモ目	カモ科	オシドリ				
12			マガモ				
13			カルガモ				
14			コガモ				
15			ヒドリガモ				
16			カワアイサ				
17	タカ目	タカ科	ミサゴ				
18			ハチクマ				
19			トビ				
20			オオタカ				
21			ツミ				
22			ハイタカ				
23			オオノスリ				
24			ノスリ				
25			サシバ				
26			クマタカ				
	キジ目	キジ科	コジュケイ				
28			キジ				
29			ヤマドリ				
	ツル目	クイナ科	バン				
	チドリ目	チドリ科	コチドリ				
32			イカルチドリ				
33			ケリ				
34		シギ科	キアシシギ				
35			イソシギ				
36			ヤマシギ				
37			オオジシギ				
	ハト目	ハト科	キジバト				
39			アオバト				
	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ				
41			ツツドリ				
42			ホトトギス				
	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク				
44		- / <del>-</del> / 11	アオバズク				
45			フクロウ				
	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ				
	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ				
	ブッポウソウ目		ヤマセミ				
49		7.07	カワセミ				
	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ				
51	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 / / 117	アカゲラ				
52			オオアカゲラ				
53			コゲラ				
	スズメ目	ツバメ科	ツバメ				
55		ノハハガイ	コシアカツバメ				
56			イワツバメ				
57		セキレイ科	キセキレイ				
58		ヒナレイイ	ハクセキレイ				
59			セグロセキレイ				
ეყ			ピノロピエレイ				

表 6.6-29 ダム湖周辺確認種リスト(鳥類: 2/2)

No.	目名	科名	種名		ダム	湖周辺	
			和名	H5	H9	H14	H18• 19
60	スズメ目	セキレイ科	ビンズイ				
61		サンショウクイ科	サンショウクイ				
62		ヒヨドリ科	ヒヨドリ				
63		モズ科	モズ				
64		カワガラス科	カワガラス				
65		ミソサザイ科	ミソサザイ				
66		イワヒバリ科	カヤクグリ				
67		ツグミ科	ルリビタキ				
68			ジョウビタキ				
69			ノビタキ				
70			トラツグミ				
71			アカハラ				
72			シロハラ				
73			ツグミ				
74		ウグイス科	ヤブサメ				
75	1		ウグイス				
76			メボソムシクイ				
77			センダイムシクイ				
78			キクイタダキ				
79		ヒタキ科	キビタキ	1			
80			オオルリ				
81			サメビタキ				
82			エゾビタキ				
83			コサメビタキ				
84		カササギヒタキ科	サンコウチョウ				
85			エナガ				
		エナガ科 シジュウカラ科					
86		ンシュリカフ科	コガラ	-			
87			ヒガラ	-			
88			ヤマガラ				
89		/ >> = 1×	シジュウカラ				
90		メジロ科	メジロ				
91		ホオジロ科	ホオジロ				
92			カシラダカ				
93			ミヤマホオジロ				
94			アオジ				
95			クロジ				
96		アトリ科	アトリ				
97	1		カワラヒワ				
98			マヒワ				
99			ベニマシコ				
100			ウソ				
101			イカル				
102			シメ				
103		ハタオリドリ科	スズメ				
104		ムクドリ科	ムクドリ				
105		カラス科	カケス				
106			ハシボソガラス				
107			ハシブトガラス				
	1		カラス属				
		40 - 001140717	1	62種	67種	44種	37種
		16目36科107種		I	-	 5種	1

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-30 ダム湖周辺確認種リスト(両生類)

No.	目名	科名	和名		ダム湖周辺	1
				H5	H10	H15
1	サンショウウオ	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ			
2		イモリ	イモリ			
3	カエル	ヒキガエル	ニホンヒキガエル			
4		アマガエル	アマガエル			
5		アカガエル	タゴガエル			
6			ヤマアカガエル			
7			トノサマガエル			
8			ヌマガエル			
9			ウシガエル			
10			ツチガエル			
11		アオガエル	シュレーゲルアオガエル			
12			カジカガエル			
	_	2目6科12種		11種	10種	10種
		とロの行うと作出			11種	

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2. :「平成19年度 木津川ダム群河川水辺の国勢調査(その2)(室生ダム)(魚類調査)」6月、8月調査時に確認された。

表 6.6-31 ダム湖周辺確認種リスト(爬虫類)

No.	目名	科名	和名	•	ダム湖周辺	1
				H5	H10	H15
1	カメ	イシガメ	クサガメ			
2			ミシシッピアカミミガメ			
3			イシガメ			
4	トカゲ	トカゲ	トカゲ			
5		カナヘビ	カナヘビ			
6		ヘビ	シマヘビ			
7			ジムグリ			
8			アオダイショウ			
9			シロマダラ			
10			ヒバカリ			
11			ヤマカガシ			
12		クサリヘビ	マムシ			
		2目5科12種		12種	10種	10種
		스피어기 121호			12種	

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。

表 6.6-32 ダム湖周辺確認種リスト(哺乳類)

No.	目名	科名	和名		ダム湖周辺	1
				H5	H10	H15
1	モグラ	モグラ	ヒミズ			
2			コウベモグラ			
-			モグラ属			
3	コウモリ	キクガシラコウモ	キクガシラコウモリ			
4		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ			
5			ユビナガコウモリ			
6			テングコウモリ			
-			ヒナコウモリ科			
	サル	オナガザル	ニホンザル			
	ウサギ	ウサギ	ノウサギ			
9	ネズミ	リス	ニホンリス			
10			ムササビ			
11		ネズミ	アカネズミ			
12			ヒメネズミ			
13			カヤネズミ			
-			ネズミ科			
14	ネコ	イヌ	タヌキ			
15			キツネ			
16		イタチ	テン			_
17			イタチ属			
18			アナグマ			
19	ウシ	イノシシ	イノシシ			
20		シカ	ホンドジカ			
		7目11科20種		11種	17種	18種
		7 日 1 1 1 1 1 1 7 2 0 1 里			20種	

注) 1.種名および分類は「河川環境データーベース 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省)に準拠した。 2.種名に「・・・・属」「・・・・科」とあるもので、他の種と重複する可能性がある場合は、種数の合計から除外した。

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 1/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	クモ綱	クモ目	ジグモ科	ジグモ			
2			ガケジグモ科	ガケジグモ科			
3			ハグモ科	ヒナハグモ			
-				ハグモ科			
4			チリグモ科	チリグモ			
5			ウズグモ科	オウギグモ			
6			JX 7 24-1	マネキグモ			
7							
			コンニガエい	ウズグモ		_	
8			マシラグモ科	マシラグモ		-	
-				マシラグモ科			
9			タマゴグモ科	タマゴグモ科			
10			ユウレイグモ科	ユウレイグモ			
11				アケボノユウレイグモ			
12				シモングモ			
13			エンマグモ科	コマツエンマグモ			
14			タナグモ科	クサグモ		+	
			) ) L14				
15				コクサグモ		_	
-				Agelena属			
16				ヤマヤチグモ			
17				クロヤチグモ			
18				シモフリヤチグモ			
19				ヒメヤマヤチグモ	1		
20				カメンヤチグモ	1	1	
21				デベソヤチグモ		+	<b>-</b>
						+	<b>-</b>
22				カミガタヤチグモ		1	ļ
-				Coelotes属		1	<b>—</b>
23				カチドキナミハグモ			
-				Cybaeus属			
-				タナグモ科			
24			コガネグモ科	キジロオヒキグモ			
25			333117 214	キザハシオニグモ			
						_	
26				ヌサオニグモ		_	
27				アオオニグモ			
28				ヤマオニグモ			
29				カラオニグモ			
-				Araneus属			
30				ムツボシオニグモ			
31				コガネグモ		+	
				コルネソモ エーカギカコギネ <i>ゲ</i> エ		+	
32				チュウガタコガネグモ			
33				ナガコガネグモ			
-				Argiope属			
34				ヤマトカナエグモ			
35				ギンメッキゴミグモ			
36				カラスゴミグモ			
37				ギンナガゴミグモ		+	
				ヤマトゴミグモ		+	<b>—</b>
38			1			+	<b>—</b>
39				ゴミグモ		1	L
40				ヨツデゴミグモ			
-				Cyclosa属			
41				トリノフンダマシ			
42				オオトリノフンダマシ			
43				シロオビトリノフンダマシ	1		
44				クロトリノフンダマシ		1	
						+	<del>                                     </del>
45				アカイロトリノフンダマシ Cyrtorophos屋		+	<b>-</b>
-				Cyrtarachne属		1	
46				トガリオニグモ		1	L
47				ヨツボシショウジョウグモ			
48			1	シロスジショウジョウグモ			l
49				コガネグモダマシ			
50				ゴマジロオニグモ		1	
51				ワキグロサツマノミダマシ	<del>- 1</del>	+	
			1			+	<del></del>
52				コゲチャオニグモ		1	ļ
53				ヤマシロオニグモ			
54				サツマノミダマシ			
55				ヘリジロオニグモ			
-				Neoscona属	1		
56				サガオニグモ			
				カラフトオニグモ		+	<b>-</b>
						+	<b>-</b>
57			1	ヤマキレアミグモ		1	
57 58				10 1 10 - 21			
57 58				コガネグモ科			
57 58			ミズグモ科	コガネグモ科 ミズグモ			
57 58 -			ミズグモ科 ハタケグモ科				

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 2/37)

No.	網名	目名	科名	和名	. ,	ダム湖周辺	
110.	H Chi	11	1114	7H LI	H6	H10	H15
61	クモ綱	クモ目	サラグモ科	クロケシグモ			
62				コサラグモ			<b></b>
63				オオスギヤミサラグモ			<b></b>
64 65				マルサラグモ ハラジロムナキグモ			
66				デーニッツサラグモ			
67				ナニワナンキングモ			
68				ノコギリヒザグモ			
69				ハナサラグモ			1
70				ニセアカムネグモ			
71				アリマケズネグモ			
72 73				ヤマトケズネグモ ズキンヌカグモ			
74				クロナンキングモ			
75				アショレグモ			
76				ハガタヤセサラグモ			
77				クボミケシグモ			<b></b>
78				チビサラグモ			<del></del>
79				ツリサラグモ			l
80 81				ヘリジロサラグモ ツノケシグモ			
82				チビアカサラグモ			
83				クスミサラグモ			
84				ムネグロサラグモ			
85				コウシサラグモ			
86				イマダテテングヌカグモ			
87				ナラヌカグモ			
88				フタスジサラグモ			
89 90			コガネグモ科	アシナガサラグモ シロブチサラグモ			
91			33.1.7 517	アリマネグモ			
92				ヨツボシサラグモ			
93				ヌカグモ			
94				ユノハマサラグモ			
95				セスジアカムネグモ			
96				オオサカアカムネグモ			
97				テングヌカグモ サラグモ科			
98			コモリグモ科	チリコモリグモ			
99				スジプトコモリグモ			
100				カガリビコモリグモ			
101				エビチャコモリグモ			
102				ヒノマルコモリグモ			1
103 104				カワベコモリグモ			
104				ハラクロコモリグモ ウヅキコモリグモ			
106				ヤマハリゲコモリグモ			
107				イサゴコモリグモ			
108				ハリゲコモリグモ			
109				キクヅキコモリグモ			
- 440				Pardosa属			
110 111				クラークコモリグモ ミナミコモリグモ			
112				カイゾクコモリグモ			
113				イモコモリグモ			
114				チビコモリグモ			
115				キバラコモリグモ			
116				コガタコモリグモ			
117				ナミコモリグモ Directo屋			
118				Pirata属 アライトコモリグモ			
- 118				コモリグモ科			
119			センショウグモ科	センショウグモ			
120				オオセンショウグモ			
121			コツブグモ科	ナンブコツブグモ			
122			ササグモ科	ササグモ			-
123			キシダグモ科	シノビグモ			
124 125				スジブトハシリグモ スジアカハシリグモ			
125				スシアカバシリグモ イオウイロハシリグモ			
- 120				Dolomedes属			
127				ハヤテグモ			
128				アズマキシダグモ			
-				Pisaura属			
- 40-			フンナギガナバ	キシダグモ科			
129 130			アシナガグモ科	チュウガタシロカネグモ オオシロカネグモ			
130				オオンロガネグモ   コシロカネグモ			
131				キララシロカネグモ			
-				トランプログネッと Leucauge属			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 3/37)

						ダム湖周辺	
No.	綱名	目名	科名	和名			
400	4 T / M	5-0			H6	H10	H15
	クモ綱	クモ目	アシナガグモ科	キンヨウグモ	<b>——</b>		
134 135				ヤマジドヨウグモ タニマノドヨウグモ			
136				メガネドヨウグモ			
137				ジョロウグモ			
138				トガリアシナガグモ			
139				ハラビロアシナガグモ			
140				キヌアシナガグモ			
141				ヤサガタアシナガグモ			
142				ミドリアシナガグモ			
143				アシナガグモ			
144				ウロコアシナガグモ			
145				シコクアシナガグモ			
-				Tetragnatha属			
				アシナガグモ科			
146			ヒメグモ科	ツリガネヒメグモ			
4.47				Achaearanea属			
147				ヒメグモ			
148 149				コンピラヒメグモ オオヒメグモ			
150				アシブトヒメグモ			
151				オナガグモ			
152				フタオイソウロウグモ			
153				ヤリグモ			
154				ヤホシサヤヒメグモ			
155	]			ヨロイヒメグモ			
156				ボカシミジングモ			
157				カニミジングモ			
158				シモフリミジングモ			
-				Dipoena属			
159				カレハヒメグモ			
160				ヒシガタグモ			
161				ハラナガヒシガタグモ			
100				Episinus属	-		
162 163				ツクネグモ スネグロオチバヒメグモ			
164				バラギヒメグモ			
165				ヒロハヒメグモ			
166				ムナボシヒメグモ			
167				タカユヒメグモ			
-				Theridion属			
_				ヒメグモ科			
168			カラカラグモ科	ヤマジグモ			
169				カラカラグモ			
170				ナルコグモ			
171			イヅツグモ科	ナガイヅツグモ			
172				イヅッグモ			
173			フクログモ科	オビジガバチグモ			
174				カバキコマチグモ			
175				ヤマトコマチグモ			
176				ヤサコマチグモ Chaireagathium屋	<b>—</b>		
177				Cheiracanthium属 コフクログモ	$\vdash$		
177				コノグログモ   イナフクログモ			
178				ヤハズフクログモ			
180				ヒメフクログモ			
181				トビイロフクログモ			
182				マイコフクログモ			
183				ムナアカフクログモ			
				Clubiona属			
184				イタチグモ			
185				オトヒメグモ			
186				コムラウラシマグモ			
187				ウラシマグモ_			
-				Phrurol i thus属			
188				ネコグモ			
			1. # #T1	フクログモ科			
189			シボグモ科	シボグモ			
190			ワシグモ科	チャクロワシグモ			
191				トラフワシグモ Draggedos 屋	<b>—</b>		
192				Drassodes属			
192				エビチャヨリメケムリグモ クロチャケムリグモ			
193				マエトビケムリグモ			
194				マエトピッムリクモ Zelotes属			
-				フシグモ科			
195			アシダカグモ科	アシダカグモ			
196				ツユグモ			
197				コアシダカグモ			
198				カマスグモ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 4/37)

1989	No.	網名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
1989 クモ朝		H tm	""	1714	7#1	H6	H10	H15
201	199	クモ綱	クモ目	エビグモ科	キンイロエビグモ			
Philotronum	200				キタエビグモ			
2020   2040	201				アサヒエビグモ			
ATFUJTER   ATTULT	-							
ATF ) グラ科   ATF ) グラ科   ATF ) グラ科   ATF ) グラ科   ATF ) グラ科   ATF ) グラ科   ATF ) グラグ   AT								
2005   1006								
200				ハエトリグモ科				
Parchase								
208	207							
200   10	200							
デビクロハエトリ								
10   1   1   1   1   1   1   1   1   1								
211   12	210							
3月	211							
13   13   13   14   14   15   15   15   15   15   15								
213	- 212							
214	213							
1215								
プリグモ								
ATトリグを科								
### 10				ハエトリグモ科				
Aロテハエトリ(マオネアサヒハエトリ)	217							
大力ネアサビハエトリ   Phintell編								
Phintellage								
### 1200	-							
### 1	220							
とメカラスバトリ   フスギストピムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドビムシ科   アイドドレムシ   アイギアトビムシ   アイギアトビムシ   アイギアトビムシ   アイギアトビムシ   アイボアトビムシ   アイボアトビムシ   アイボアトビムシ   アイボアトビムシ   アイボアトビムシ   アイボアトビムシ   アイボアトビムシ   アイデービムシ   アイデービムシ   アイデービムシ   アイデービムシ   アイドビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシ科   アイボアビムシャイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビムシャイズ   アイボアビスジア   アイボアビスジア   アイボアビスジア   アイボアビスジア   アイボアビスジア   アイボアビスジア   アイボアビスジア   アイボアビスジア   アイボアグボア   アイボアグボア   アイボアグボア   アイボアグボア   アイボアグボア   アイボア								
225	222							
Ay/(ハエトリ   1	223				アオオビハエトリ			
ハエトリグモ科	224							
カーグモ科	225				ムツバハエトリ			
アシナガカニグモ   アシナガカニグモ   アジナガルニグモ   アマモレスグモ   Lysiteles属   N.ナグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カグアモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カバグモ   T.カイグモ	-				ハエトリグモ科			
Pマギエとガモ	226			カニグモ科				
Lysi teles					アシナガカニグモ			
1	228				アマギエビスグモ			
230   231   232   232   233   234   235   234   235   236   236   236   236   237   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   238   239   239   239   239   239   240   240   240   240   240   241   242   243   242   243   244   244   245   245   246   246   246   246   246   246   247   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   249   249   249   250   251   250   251   250   251   252   252   253   254   255   254   255   25	-							
231								
フノジグモ   フノジグモ   フノジグモ   フノジグモ   フスデヤモ   コクラカニグモ   セマルトラフカニグモ   セマルトラフカニグモ   セマルトラフカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファズマカニグモ   ファイレ   フ								
233								
トラフカニグモ   セマルトラカニグモ   セマルトラカニグモ   セマルトラカニグモ   セマルトラカニグモ   セマルトラカニグモ   セマルトラカニグモ   セストビスシ科   セストビスシ   セストビスシス   セストビスシストビスシス   セスオア   セスカス								
セマルトラフカニグモ   1								
セミイロカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズマカニグモ   アズグモモドキ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグモ   フゥナグエシ   ファナビムシ科   ファナビムシ科   ファナビムシ科   ファナビムシ科   ファナビムシ科   ファナビムシ   ファナビムシ科   ファナビムシストビムシストビムシストビムシストビムシストビムシストビムシストビムシスト								
アズマカニグモ   オオヤミィロカニグモ   大水ではは原属   シボグモモドキ科   シボグモモドキ   シボグモエドムシ科   オボトビムシ科   マボトビムシ科   マボトビムシ科   シェンシード・カン・   シェンシード・カン・   シェンシード・カン・   シェンシード・カン・   シェンシード・カンド・カン・   シェンシード・カン・   シェンシード・カン・   シボケービムシ科   カオトゲービムシ   シボケービムシ科   カオトゲービムシ科   カオトゲービムシ科   カオトゲービムシ科   キボシマルトビムシ   キボシマルトビムシ   キボシマルトビムシ   キボシマルトビムシキ   マルトビムシ科   キボシマルトビムシ   マルトビムシ科   キボシマルトビムシ								
オオヤミイロカニグモ								
239   240   241   242   243   243   244   242   243   243   244   245   245   245   246   246   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   248   249   250   250   251   252   253   253   253   255   25	238					<b>ļ</b>		
240				ンボガファいナが		1		
D				ンかソモモト十科			-	
241   日本網	240					<del> </del>		
242       243	2/11	昆中綱	トビムシ目(粘管目)	ヒメトビムシ科		1		
243       ・ <td></td> <td>다</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>+</td> <td></td>		다				1	+	
シロトビムシ科   シロトビムシ科   マストビムシ科   マストビムシ科   マストビムシ   マストビムシ   マストビムシ   マストビムシ   マストビムシ   マスプシトビムシ   マスプシトビムシ   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスドアドビムシ   マスドアドビムシ   マスドアドビムシ   マスドアドビムシ   マスドアドビムシ   マスドアドビムシ   マスドアドビムシ   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ科   マスドアビムシ								
244   245   246   246   246   246   246   246   246   246   246   247   248   247   248   247   248   247   248   249   250   250   251   252   252   253   253   254   255   25	243			7 11 24/17		<del>                                     </del>		
245     246       246     Sine II a属       -     アヤトビムシ科       247     ツチトビムシ科       248     ニセフシトビムシ       -     ツチトビムシ科       249     ウスギヌトビムシ科       250     ヒゲナガトビムシ科       251     アヤヒゲナガトビムシ       252     ヒゲナガトビムシ科       -     セゲナガトビムシ       -     トゲトビムシ科       253     オオトゲトビムシ       -     オオトゲトビムシ       マルトビムシ科     キボシマルトビムシ       マルトビムシ科     マルトビムシ科	24/			ミズトビムシ科		<del>                                     </del>		
Sine   Ia属						t		
アヤトビムシ科   フマトビムシ科   マスフシトビムシ   マスフシトビムシ   マンテトビムシ   マンテトビムシ科   マスデストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マスギストビムシ科   マンド・ガトビムシ   マヤヒゲナガトビムシ   マヤヒゲナガトビムシ   マンド・ガトビムシ科   マルトビムシ科   マルトビムシ科   マルトビムシ科   マルトビムシ   マルトビムシ   マスト・ビスシスト・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・								
247       248       -       -       249       250       251       -       -       252       -       -       253       254       -	2-70					1		
248     ニセフシトピムシ       - 249     ウスギヌトピムシ科     ウスギヌトピムシ科       250     ヒゲナガトピムシ科     トウアヒゲナガトピムシ       251     アヤヒゲナガトピムシ       - 252     ヒゲナガトピムシ科       - 53     マルトピムシ科       253     キボシマルトピムシ       254     マルトピムシ科       - 70     マルトピムシ科       - 70     マルトピムシ科       - 70     マルトピムシ科	247			ツチトビムシ科				
フェー・								
249       250       251       251       -       252       -       -       253       254       -       -       252       -       -       253       254       -       <								
250   251	249			ウスギヌトビムシ科				
アヤヒゲナガトビムシ								
- Eゲナガトピムシ科								
トゲトピムシ科   オオトゲトピムシ   トゲトピムシ科   マルトピムシ科   マルトピムシ科   キボシマルトピムシ   キマルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ   マルトピムシ科   マルトピムシ科   マルトピムシ科								
- トゲトビムシ科 253 マルトビムシ科 キボシマルトビムシ 4 キマルトビムシ 7 アルトビムシ 7 アルトビムシ科 マフルトビムシ 1 マルトビムシ 1 マルトビムシ 1 マルトビムシ科 1 マルトビムシ	252			トゲトビムシ科				
253     マルトピムシ科     キボシマルトピムシ       254     キマルトピムシ科       -     マルトピムシ科				1				
キマルトピムシ   マルトピムシ科	253			マルトビムシ科				
マルトピムシ科								
	-							
	255				ヤマシタホソウロコトビムシ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 5/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
NO.	利型 🎞		111	7H TI	H6	H10	H15
	昆虫綱	トピムシ目(粘管目)	マルトビムシ科	クモマルトビムシ亜科			
257 258		カマアシムシ目	クシカマアシムシ科	クモトビムシ亜科 ヨシイムシ			
259		コムシ目	ナガコムシ科	イシイナガコムシ			
260		イシノミ目	イシノミ科	Pede ton tinus属			
261				Pedetontus属			
-				イシノミ科			
262		カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ			
263				Baetis属 コカゲロウ科			
264			フタオカゲロウ科	フタオカゲロウ科			
265			ヒラタカゲロウ科	オビカゲロウ			
266				チャイロミヤマタニガワカゲロウ			
267				エルモンヒラタカゲロウ			
268 269				ユミモンヒラタカゲロウ  ヒメヒラタカゲロウ			
270				タテヤマヒメヒラタカゲロウ			
-				ヒラタカゲロウ科			
271			チラカゲロウ科	チラカゲロウ			
272			ヒトリガカゲロウ科	ヒトリガカゲロウ科			
273			トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ			
274			モンカゲロウ科	トビイロカゲロウ科 フタスジモンカゲロウ			
275			-2.00 - 217	モンカゲロウ			
-				モンカゲロウ科			
276			カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ			
277			マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ			
-				マダラカゲロウ科 カゲロウ目			
278		  トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	ホソミオツネントンボ			
279		1 2 3 1 (2624 1)	7.31112341	アオイトトンボ			
280				オオアオイトトンボ			
281			イトトンボ科	アジアイトトンボ			
282			+ D   \.##	アオモンイトトンボ			<b> </b>
283 284			カワトンボ科	ハグロトンボ ミヤマカワトンボ			
285				ニホンカワトンボ			
286				アサヒナカワトンボ			
287			ヤンマ科	コシボソヤンマ			
288			11 1 - 1 > 4579	ミルンヤンマ			
289			サナエトンボ科	ヤマサナエ			
290 291				ダビドサナエ オナガサナエ			
292				コオニヤンマ			
293				オグマサナエ			
294			ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ			
295			オニヤンマ科	オニヤンマ			
296 297			エゾトンボ科 トンボ科	コヤマトンボ  ハラビロトンボ			
298			1 7 1/14	シオカラトンボ			
299				シオヤトンボ			
300				オオシオカラトンボ			
301				ウスバキトンボ			
302				コシアキトンボ			
303 304				ナツアカネ マユタテアカネ			
305				アキアカネ			
306				ノシメトンボ			
307				ネキトンボ			
308		ゴキブリ目(網翅目)	ヒメクロゴキブリ科	ヒメクロゴキブリ			
309 310			オオゴキブリ科 チャバネゴキブリ科	オオゴキブリ モリチャバネゴキブリ			
310			」、 ドハベコナノリ付	チャバネゴキブリ科			
311		  カマキリ目(蟷螂目)	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ			
312			カマキリ科	ハラビロカマキリ			
313				コカマキリ			
314				チョウセンカマキリ			
315				オオカマキリ カマキリ科			
316		シロアリ目(等翅目)	ミゾガシラシロアリ科	カマキリ科  ヤマトシロアリ			
- 310			22322221344	シロアリ目			
317		ハサミムシ目(革翅目)	クロハサミムシ科	クロハサミムシ科			
318			マルムネハサミムシ科	コヒゲジロハサミムシ			
-			<u></u>	マルムネハサミムシ科			
319			クギヌキハサミムシ科	コブハサミムシ		1	
320				キバネハサミムシ クギヌキハサミムシ科			
321		  カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	ヤスマツクロカワゲラ			
-			1. 2.2.2.17	クロカワゲラ科			
322			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科			
323			ハラジロオナシカワゲラ	ハラジロオナシカワゲラ科			
324			オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ科			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 6/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	_
					H6	H10	H15
325	昆虫綱	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	キベリオスエダカワゲラ			
326				カミムラカワゲラ			
327				ヤマトフタツメカワゲラ			
328				ヤマトカワゲラ			
-				カワゲラ科			
329			アミメカワゲラ科	セスジミドリカワゲラモドキ			
-				アミメカワゲラ科			
330				カワゲラ			
331		バッタ目(直翅目)	コロギス科	ハネナシコロギス			
332		, (227)		コロギス			
- 002				コロギス科			
333			カマドウマ科	クチキウマ			
333			73 ( 1 ) (14	Anoplophilus属			
334							
				Atachycines属 カマドウマ	1		
335					1		
336				マダラカマドウマ			
337				モリズミウマ			
				Diestrammena属	1	1	
338				クラズミウマ	ļ		
-				Tachycines属			
-				カマドウマ科	<u> </u>		
339			キリギリス科	コバネヒメギス	L		
340				ウスイロササキリ			
341				オナガササキリ			
342				コバネササキリ	1		
343				ホシササキリ			
344				ササキリ			
345				エゾツユムシ	1	1	
346				セスジツユムシ			
347				ヒメギス			
348				クビキリギス			
349				キリギリス			
350				ウマオイ			
-				Hexacent rus属			
351				クダマキモドキ			
352				ヤマクダマキモドキ			
353				ツユムシ			
354				アシグロツユムシ			
355				クサキリ			
356				ヤブキリ	1		
357				ササキリモドキ			
358				ササキリ亜科			
				ツユムシ亜科	1		
359							
-			L = 11	キリギリス科			
360			ケラ科	ケラ			
361			コオロギ科	キンヒバリ	1	1	
362				マダラスズ	ļ		
363				ヒゲシロスズ	1		
364				カワラスズ			
365				シバスズ			
366				ヤマトヒバリ			
367				ハラオカメコオロギ			
368				ミツカドコオロギ	I		
369				モリオカメコオロギ	1		
200				Loxob I emmus属	1	1	
370				タンボコオロギ	<del>                                     </del>	1	
371				クマコオロギ	1	+	
372				カンタン	1	+	
312					1		
				0ecanthus属	1	+	
373				クサヒバリ	1	+	
374				リュウキュウマダラスズ	ļ		
375				ヒメスズ	1		
376				エゾスズ			
377				ヤチスズ			
378				クマスズムシ			
379				エンマコオロギ	1		
5.0				Teleogryllus属	1		
380				キアシヒバリモドキ	1	+	
					1	+	
381				ツヅレサセコオロギ	1	1	
-				コオロギ科		1	
382			カネタタキ科	カネタタキ		1	_

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 7/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	バッタ目(直翅目)	アリツカコオロギ科	アリツカコオロギ科			
384			バッタ科	ショウリョウバッタ マダラバッタ			
385 386				ヒナバッタ			
387				ヒロバネヒナバッタ			
388				カワラバッタ			
389				クルマバッタモドキ			
390				ハネナガイナゴ			
391				コバネイナゴ			
392				0xya属   イナゴモドキ			
393				ダイリフキバッタ			
394				ミカドフキバッタ			
395				キンキフキバッタ			
396				ヤマトフキバッタ			
397				Parapodisma属 ツチイナゴ			
398				ツマグロイナゴモドキ			
399				イボバッタ			
-				バッタ科			
400			オンブバッタ科	オンブバッタ			
401 402			ヒシバッタ科	トゲヒシバッタ ハネナガヒシバッタ			
402				コバネヒシバッタ			
404				ハラヒシバッタ			
405				ヤセヒシバッタ			
406				モリヒシバッタ			
-				Tetrix属			
407			ノミバッタ科	ヒシバッタ科  ノミバッタ			
408		ナナフシ目(竹節虫目)	ナナフシ科	トゲナナフシ			
409			, , , , , , ,	エダナナフシ			
-				ナナフシ科			
410		チャタテムシ目(噛虫目)	ケブカチャタテ科	ウスベニチャタテ			
411			ケチャタテ科	キモンケチャタテ			
412			ホソチャタテ科	<u>ケチャタテ科</u> ハグルマチャタテ			
413			N 2 3 1 7 3 1 1 1	ホソチャタテ			
414			スカシチャタテ科	スカシチャタテ			
415			ヒメチャタテ科	ヒメチャタテ			
416			マドチャタテ科	ヒメマドチャタテ			
417			チャタテ科	マドチャタテ科 オオチャタテ			
418			J 7 7 J 14	カバイロチャタテ			
419				オオスジチャタテ			
420				スジチャタテ			
-				チャタテ科			
421		+ // > D ( )/+77 D )	コチャタテ科	コチャタテ科			
422 423		カメムシ目(半翅目)	コガシラウンカ科	ナワコガシラウンカ スジコガシラウンカ			
423			ヒシウンカ科	オビカワウンカ			
425			25 55 7511	ヤナギカワウンカ			
426				キガシラヒシウンカ			
427				イボタヒシウンカ			
428			ウンカ科	ヨスジヒシウンカ			
429 430			ウンカ科	タケウンカ フタスジオオウンカ			
431				クロスジオオウンカ			
432				ナガラガワウンカ			
433				クワヤマウンカ			
434				ヒメトビウンカ			
435				トビイロウンカ			
436 437				ホソミドリウンカ ハコネホソウンカ			
437				セジロウンカ			
439				ハリマナガウンカ			
440				タマガワナガウンカ			
441				セスジウンカ			
440			1	コプウンカ			
442							
-			ハネナガウンカ科	アカハネナガウンカ			
442 - 443 444			ハネナガウンカ科	アカハネナガウンカ			
443			ハネナガウンカ科				
- 443 444 445 446				アカハネナガウンカ アヤヘリハネナガウンカ アカメガシワハネビロウンカ マエグロハネナガウンカ			
- 443 444 445 446 447			テングスケバ科	アカハネナガウンカ アヤヘリハネナガウンカ アカメガシワハネビロウンカ マエグロハネナガウンカ テングスケバ科			
443 444 445 446 447 448			テングスケバ科 アオバハゴロモ科	アカハネナガウンカ アヤヘリハネナガウンカ アカメガシワハネピロウンカ マエグロハネナガウンカ テングスケバ科 アオバハゴロモ			
- 443 444 445 446 447 448 449			テングスケバ科	アカハネナガウンカ アヤヘリハネナガウンカ アカメガシワハネピロウンカ マエグロハネナガウンカ テングスケバ科 アオバハゴロモ マルウンカ			
- 443 444 445 446 447 448 449 450			テングスケバ科 アオバハゴロモ科	アカハネナガウンカ アヤヘリハネナガウンカ アカメガシワハネピロウンカ マエグロハネナガウンカ テングスケバ科 アオバハゴロモ マルウンカ キボシマルウンカ			
- 443 444 445 446 447 448 449			テングスケバ科 アオバハゴロモ科	アカハネナガウンカ アヤヘリハネナガウンカ アカメガシワハネピロウンカ マエグロハネナガウンカ テングスケバ科 アオバハゴロモ マルウンカ			
- 443 444 445 446 447 448 449 450			テングスケバ科 アオバハゴロモ科 マルウンカ科	アカハネナガウンカ アヤヘリハネナガウンカ アカメガシワハネピロウンカ マエグロハネナガウンカ テングスケバ科 アオバハゴロモ マルウンカ キボシマルウンカ クサビウンカ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 8/37)

No.	綱名	目名	科名	和名	1	ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	グンバイウンカ科	タテスジグンバイウンカ	1		
456 457			セミ科	<u>ヒシウンカモドキ</u> チッチゼミ	1		
457			-17	クマゼミ	1		
459				アプラゼミ	1		
460				ミンミンゼミ	1		
461 462				ニイニイゼミ ヒグラシ	+		
462				ピクラシ ハルゼミ	1		
464			ツノゼミ科	トビイロツノゼミ			
465			アワフキムシ科	マツアワフキ			
466				シロオビアワフキ	1		
467 468				モンキアワフキ ハマベアワフキ	1		
469				マエキアワフキ	1		
470				ヒメモンキアワフキ	1		
471				ホシアワフキ			
472 473				クロスジアワフキ マダラアワフキ	1		
473				コミヤマアワフキ	1		
475				ホソアワフキ			
-				アワフキムシ科			
476			コガシラアワフキムシ科		1		
477 478			ヨコバイ科	<u>カシヒメヨコバイ</u> トバヨコバイ	1		
479				モジョコバイ モジョコバイ	1		
480				カンキツヒメヨコバイ	1		
481				フタテンヒメヨコバイ			
482 483				スズキヒメヨコバイ クサビヨコバイ	1		
483				クサヒョコバイ   ミドリカスリヨコバイ	1		
485				タケナガヨコバイ			
486				ホシアオズキンヨコバイ			
487				ツマグロオオヨコバイ Chlorita屋	1		
488 489				Chlorita属 オオヨコバイ	1		
490				オオトガリヨコバイ	1		
491				トガリヨコバイ	1		
492				ミドリヒメヨコバイ	1		
493 494				バラヒメヨコバイ ヨツモンヒメヨコバイ	+		
494				ヨッモンとメヨコバイ   ヨモギヒメヨコバイ	1		
496				シロヒメヨコバイ			
497				フタスジトガリヨコバイ			
498				ウスイロヒロヨコバイ	1		
499 500				サジヨコバイ ヒシモンヨコバイ	1		
501				シダヨコバイ	1		
502				マエジロオオヨコバイ			
503				ミドリヒロヨコバイ	1		
504 505				ミミズク	1		
505				コミミズク フタテンヨコバイ	1		
507				ヨツテンヨコバイ			
508				ムツテンヨコバイ			
509				コチャイロヨコバイ	1		
510 511				<u>チャイロヨコバイ</u> ムナグロズキンヨコバイ	1		
512				オビヒメヨコバイ	1		
513				ツマグロヨコバイ			
514				ホソサジョコバイ	1		
515 516				ハン / ヒロズヨコバイ ミナミマダラヨコバイ	1		
517				クワキヨコバイ	1		
518				アカシヒメヨコバイ			
519				モモグロヨコバイ	1		
520				クロヒラタヨコバイ	1		
521 522				ヒトツメヨコバイ クロサジヨコバイ	1		
523				シマサジヨコバイ	1		
524				シロズキンヨコバイ			
525				イナズマヨコバイ			
526				イネマダラヨコバイ	1		
527 528				シラホシスカシヨコバイ オサヨコバイ	1		
529				チマダラヒメヨコバイ	1		
530				キイロヒメヨコバイ			
531				イグチホショコバイ	1		
532 533				<u>ホシヨコバイ</u> ニッコウホシヨコバイ	1		
534				クロモンヤマトヨコバイ	1		
535				ヤノトガリヨコバイ			
536				ヤマシロヒメヨコバイ	1		
537				タカサゴヒメヨコバイ	+		
538 539				ミミズク亜科 ヒロズヨコバイ亜科	1		
540				ホショコバイ亜科	1		
541				ホソサジヨコバイ亜科			
542				ヒメヨコバイ亜科	1		
543				オオヨコバイ亜科	1		
<u> </u>				ヨコバイ科 カメムシ目.同翅目.頚吻群	1		
			1	ルノ・4 / 日・1922日・現物計			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 9/37)

No.	綱名		科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	キジラミ科	オビキジラミ			
545				イタドリマダラキジラミ			
546				ハンノキジラミ			
547				ベニキジラミ			
548				クストガリキジラミ			
549 550			アブラムシ科	クロトガリキジラミ ヨメナアミナシヒゲナガアブラムシ			
551			77747	ヘクソカズラヒゲナガアプラムシ			
552				マメアプラムシ			
553				クリオオアブラムシ			
554				ハッカイボアプラムシ			
555				ウツギトックリアブラムシ			
556				イバラヒゲナガアブラムシ			
557				クヌギトゲマダラアブラムシ			
558				アザミヒゲナガアブラムシ			
559				クヌギハアブラムシ			
-			カプエギエフリンボ	アプラムシ科			
560			クビナガカメムシ科	ヒメクビナガカメムシ			
561 562			サシガメ科	マダラカモドキサシガメ クロバアカサシガメ			
563				トビイロサシガメ			
564				クロモンサシガメ			
565				クビアカサシガメ			
566				アカヘリサシガメ			
567				アシナガサシガメ			
568				シマサシガメ			
569				ヒメトビサシガメ			
570				ヤニサシガメ			
			10° 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	サシガメ科			
571			グンバイムシ科	オオウチワグンバイ			
572				マルミヤマグンバイ			
573 574				ヤナギグンバイ シキミグンバイ			
575				トサカグンバイ			
3/3				Stephanitis属			
576				ヒメグンバイ			
-				グンバイムシ科			
577			ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ			
578				ケシハナカメムシ			
579				ズイムシハナカメムシ			
580				ツヤヒメハナカメムシ			
581				ナミヒメハナカメムシ			
-				Orius属			
582				ユミアシハナカメムシ			
583			トコジラミ科	ハナカメムシ科			
584			カスミカメムシ科	トコジラミ科 キエリフタモンカスミカメ			
585			カスミカスムノ行	ナカグロカスミカメ			
586				プチヒゲクロカスミカメ			
587				フタモンカスミカメ			
588				マツノヒゲボソカスミカメ			
589				フタモンアカカスミカメ			
590				クロバカスミカメ			
591				モモアカハギカスミカメ			
592				ツマグロアオカスミカメ			
593				ツマグロハギカスミカメ			
594				Apolygus属			
594				コミドリチビトビカスミカメ ミドリチビトビカスミカメ			
596				ヒメセダカカスミカメ			
597				アカホシカスミカメ			
598				マダラカスミカメ			
599				シロテンツヤカスミカメ			
600				オオクロトビカスミカメ			
601				ウスイロホソカスミカメ			
602				クロトビカスミカメ			
603				ズアカシダカスミカメ			
604				タバコカスミカメ			
605				クロマルカスミカメ			
606				モンキマキバカスミカメ + アシアカカスミカメ			
607				キアシアカカスミカメ ホソヒョウタンカスミカメ			
608				ツヤヒョウタンカスミカメ			
610				ヒョウタンカスミカメ			
611				クロヒョウタンカスミカメ			
612				ズグロキベリカスミカメ			
613				オオクロセダカカスミカメ			
614				カシワトビカスミカメ			
615				ムギカスミカメ			
616				アカスジカスミカメ			
617				ウスモンミドリカスミカメ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 10/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
NO.	神石	HT	1715	ΛH 13	Н6	H10	H15
618	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	イネホソミドリカスミカメ			
619	-		マキバサシガメ科	カスミカメムシ科 アカマキバサシガメ			
620			マキハリシカメ科	ベニモンマキバサシガメ		++	
621				ハラビロマキバサシガメ		+	
622				クロマキバサシガメ			
623				コバネマキバサシガメ			
624				ハネナガマキバサシガメ			
625				キバネアシブトマキバサシガメ マキバサシガメ科		-	
626	-		オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ		+	
627			3330737471	オオホシカメムシ		+	
628			ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ			
629			ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ			
630				ヒメクモヘリカメムシ ホソヘリカメムシ		++	
631	+			ホソヘリカメムシ科		+	
632			ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ		1	
633				オオクモヘリカメムシ			
634				ホソハリカメムシ			
635				ハリカメムシ			
636 637				ハラビロヘリカメムシ ホシハラビロヘリカメムシ			
638				オオツマキヘリカメムシ		+	
639				ツマキヘリカメムシ			
-				ヘリカメムシ科			
640			ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ			
641				アカヒメヘリカメムシ		+	
642 643				ケブカヒメヘリカメムシ ブチヒゲヒメヘリカメムシ		++	
644			イトカメムシ科	イトカメムシ		+	
-	1			イトカメムシ科			
645			ナガカメムシ科	セスジナガカメムシ			
646				ヒョウタンナガカメムシ		$\bot$	
647	-			Dimorphopterus属 マダラナガカメムシ		+	
648 649				ボソコバネナガカメムシ		+	
650				オオモンシロナガカメムシ		+	
651				チャイロナガカメムシ			
652				ヒメナガカメムシ			
653				ヒラタヒョウタンナガカメムシ			
654 655				ヒゲナガカメムシ			
656				クロスジヒゲナガカメムシ モンシロナガカメムシ		+	
657				アムールシロヘリナガカメムシ			
658				キベリヒョウタンナガカメムシ			
659				アカアシホソナガカメムシ			
660				クロアシホソナガカメムシ		+	
661 662				オオメナガカメムシ ムラサキナガカメムシ		+	
663				イチゴチビナガカメムシ			
664				コバネヒョウタンナガカメムシ			
-				ナガカメムシ科			
665				メダカナガカメムシ			
666 667			ツノカメムシ科	オオツノカメムシ		+	
668			ツチカメムシ科	エサキモンキツノカメムシ コツチカメムシ		+	
669				ツチカメムシ			
-				ツチカメムシ科			
670			カメムシ科	ウズラカメムシ		+	
671				シロヘリカメムシ	-	+	
672 673				トゲカメムシ ムラサキカメムシ		+	
674				アオクチブトカメムシ		+	
675				ハナダカカメムシ			
676				ナガメ		+	
677	-			トゲシラホシカメムシ	<b>-</b>	+	
678 679				<u>ムラサキシラホシカメムシ</u> マルシラホシカメムシ		+	
680				シラホシカメムシ		+ +	
681				ツヤアオカメムシ			
682				エビイロカメムシ		$\perp \Box$	
683				クサギカメムシ		+	
684 685				ヨツボシカメムシ ツマジロカメムシ		++	
686				アオクサカメムシ		+	
687				イチモンジカメムシ			
688				チャバネアオカメムシ			
-			- 11 ± 12 × 500	カメムシ科		$\bot$	
689			マルカメムシ科	ヒメマルカメムシ		+	
690 691				クズマルカメムシ マルカメムシ		+	
-	1			マルカメムシ科		+	
692	1		キンカメムシ科	チャイロカメムシ			
-				キンカメムシ科			
693			アメンボ科	アメンボ		$\perp$	
694				コセアカアメンボ		+	
695				ヒメアメンボ シマアメンボ		++	
696	1			ンマアメンホ アメンボ科		+	1
697	1		イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ		+	
201	i.			the second secon			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 11/37)

	和名	網名 目名 科名	ダム湖周	辺
100   10	1 1 1	M50   170	H6 H10	H15
TOP				
Tube				
Time		ミズムシ科		
755   757   75			<b> </b>	
25 大人と称   35 大人と   37 人と				
74 (4 2 分 7		メミズムシ科		
下の   下の   下の   下の   下の   下の   下の   下の				
79年以上日   79年以上日		タイコウチ科		
カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスムショップ   カスカップ				
アザミウマ目(極端目)		マツモムシ科		
709   7ヴェラマ目(展題目)   シスアザミウマ科   フラックスの   アヴェラマス   アヴェラ				_
770		アザミウマ日 (総捌日) シマアザミウマ科		
75				
フラスカグロウ目(種類目)				
75.2   75.2				
17:30   12:70   13:70   14:70   15				
1714		アミメカケロワ目(脈翅目)		
775		センブロ科		
1716   1717   1716   1717   1716   1717   1716   1717   1716   1717   1716   1717   1716   1717   1716   1717   1716   1717   1716   1717				
1717   1718   1718   1718   1718   1719		1, 2, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,		
778 779 770 770 770 770 770 770 771 770 771 770 771 771	科 ヒロバカゲロウ	ヒロバカゲロウ科		
	ウンモンヒロバカゲロウ			
772				
万字型				1
			<b>—</b>	+
794			<u> </u>	
一次の			+ +	
ボックサカゲロつ   ドスカゲロウ科   ドスカゲロウ科   ドスカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲロウ   ドスカゲルカゲルトビウラ   ドンカドビウラ科   ドンカドビウラ科   ドンカドビウラ科   ドンカドビウラ科   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルガルドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルカカドビウラ   ドスカゲルビウラ   ドスカゲルビウラ   ドスカゲルビウラ   ドスカゲルビウラ   ドスカゲルビウラ   ドスカゲルビウラ   ドスカゲルビウラ   ドスカゲルドボルドボルドボルドボルドボルドボルドボルドボルドボルドボルドボルドボルドボル		7 9 77 11 744	<u> </u>	
E メカゲロウ科   ヤマトヒメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメメカゲロウ   アンダクミメスがカゲロウ   アンダクミメスがカゲロウ   アンダクミメスがカゲロウ   アンダクミメスがカゲロウ   アンダクミメスがカゲロウ   アンダクシングがロウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシンググウ   アンダクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アンググクシアングウ   アングググク   アンググクシアングウ   アンググクシアンググウ   アンググクシアンググウ   アンググクシアンググク   アングググク   アンググク   アンググクシアングウ   アンググク   アンググク   アンググク   アンググク   アングググク   アンググク   アンググク   アングググク   アンググク   アンググク   アングググク   アンググク   アンググク   アングググク   アンググク   アンググク   アンググク   アンググク   アンググク   アンググク   アンググク   アングググ   アングググ   アンググク   アングググ   アンググク   アンググク   アングググ   アン			1	
アシマダラヒメカゲロウ	ヤマトヒメカゲロウ	ヒメカゲロウ科		
デャバネとよかがロウ				
マルベル				
T32				
E				
733				+
734		ツノトンボ科		
735		77173.11		
フリアゲムシ目(長翅目		ウスバカゲロウ科		
738				
739		シリアゲムシ目(長翅目) シリアゲムシ科		
1		- 11 - 12 - 10 1 5 H		
カワトピクラ科				
741		トピケフ目(毛翅目)		_
イワトピケラ科   クダトピケラ科   フタトピケラ科   フタトピケラ科   フタトピケラ科   フタトピケラ科   アナバス・グナガカワトピケラ   アナバス・グナガカワトピケラ   アナバス・グナガカワトピケラ   アナバス・グナガカワトピケラ   アナバス・グナガカワトピケラ   アナバス・グナガカワトピケラ   アナバス・グナガルトピケラ   アナガルトピケラ科   アナガルトピケラ   アオピゲカトピケラ   アオピゲカトピケラ   アオピゲカトピケラ   アオピゲカトピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオピゲカドピケラ   アオバトピケラ科   アオピゲカドピケラ   アオバトピケラ科   アオピゲカドピケラ   アオバトピケラ科   アオバトピケラ科   アオバトピケラ科   アオバトピケラ科   アオバトピケラ科   アオバトピケラ科   アオバドトピケラ科   アイバネトピケラ科   アイバネトピケラ科   アイバネトピケラ科   アイバネトピケラ科   アオバネトピケラ科   アイバネトピケラ科   アイバネトピケラ科   アイバネトピケラ科   アイバネトピケーラ   アイバネービゲーター   アイゲーター   アイバネービゲーター   アイバネービゲーター   アイバネービゲーター   アイバイボーム・バーベーム・バーベーム・バーム・バーム・バーム・バーム・バーム・バーム・バーム・バーム・バーム・バ		イワトビケラ科	75	
742		17127711		
### ### #############################		クダトビケラ科		
1		ヒゲナガカワトビケラ利		
マストピケラ科			ビケラ	
T46		ヤマトビケラ科		
747		10 11 12 = 51		-
748			<del>,    </del>	
トランスクィラナガレトピケラ		ノルレトにソラ科	<del>*  </del>	1
ママナカナガレトピケラ			ビケラ	1
Rhyacophi la属				
751   752   752   753   752   753   755   754   754   755   755   755   755   756   757   756   757   75	Rhyacoph i Ia属			
カクスイトピケラ科	ナガレトビケラ科			
マルツットピケラ			_	
Micrasema属		カクスイトビケラ科	7	1
カクスイトピケラ科			<u> </u>	
アシエダトピケラ科			1	
アシエダトピケラ科		アシTダトビケラ科		
T755		77 = 71 = 711	1	
コンギョウトピケラ科		ニンギョウトビケラ科		
カクツリトピケラ科				
ファイン   ファイン				
カクツツトピケラ科		カクツツトビケラ科	7	
758   758   759   759   759   760   760   761   761   762   763   764   765   766   766   767   766   767   76			<u> </u>	
T59   T759   T760   T760   T760   T760   T761   T761   T761   T761   T761   T761   T761   T762   T762   T762   T763   T763   T764   T764   T764   T765   T766   T766   T766   T767   T766   T767		レゲナガトビケニ科	1	
ヤマモトセンカイトピケラ		こう カル こう ラ科	<del>,</del>	
-				
Tグリトピケラ科			1	
762     ウスパキトピケラ       -     エグリトピケラ科       763     ホソバトピケラ       -     ホソバトピケラ科       764     フトヒゲトピケラ科       765     コタスジキソトピケラ       766     トピケラ科       767     マルバネトピケラ科	科 ニセウスバキトビケラ	エグリトビケラ科		
ホソパトピケラ科   ホソパトピケラ   ホソパトピケラ科   ホソパトピケラ科   フトヒゲトピケラ科   コッメトピケラ   フタスジキソトピケラ   フタスジキソトピケラ   トピケラ科   トピケラ科   マルパネトピケラ科   マルパネトピケラ	ウスバキトビケラ			
- ホソバトピケラ科 フトヒゲトピケラ科 ヨツメトピケラ フタスジキソトピケラ フタスジキソトピケラ トピケラ科 トピケラ科 マルバネトピケラ科 マルバネトピケラ				
764   フトヒゲトピケラ科   ヨツメトピケラ   フタスジキソトピケラ   フタスジキソトピケラ   トピケラ科   トピケラ科   トピケラ科   マルパネトピケラ科   マルパネトピケラ   マルパネトピケラ	.,	ホソバトビケラ科		
765     フタスジキソトピケラ       766     トピケラ科       767     マルバネトピケラ科		-11.421.121	<u> </u>	
766   トピケラ科   トピケラ科   マルバネトピケラ科   マルバネトピケラ		フトヒゲトビケラ科	<u> </u>	
767 マルパネトピケラ科 マルパネトピケラ		トレケニ科	<b> </b>	+
			1	+
- フルバネトビケラ科	マルバネトビケラ科	マルハイドとグラ科	1	

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 12/37)

No.	網名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
768	昆虫綱	トピケラ目(毛翅目)	ケトビケラ科	グマガトビケラ			
-				ケトビケラ科			
769			クロツツトビケラ科	クロツツトビケラ		<b>—</b>	
770			 シマトビケラ科	Uenoa属  コガタシマトビケラ			
771			7 4 1 6 7 7 14	シロズシマトピケラ			
772				イカリシマトビケラ			
773				ウルマーシマトビケラ			
774				セリーシマトビケラ			
775				ナカハラシマトビケラ			
-				Hydropsyche属			
776				オオシマトビケラ		$\vdash$	
-				シマトビケラ科 トビケラ目			
777		チョウ目(鱗翅目)	コウモリガ科	キマダラコウモリ			
778		) 1 ) II ( 1104	ムモンハモグリガ科	ムモンハモグリガ科			
779			ツヤコガ科	アジサイツヤコガ			
-				ツヤコガ科			
780			マガリガ科	キオビクロヒゲナガ			
781			+114311	マガリガ亜科		$\vdash$	
782			ホソガ科	ホシボシホソガ			
783				ホソガ亜科  ホソガ科			
784			 ハモグリガ科	ハモグリガ亜科			
				ハモグリガ科			
785			コハモグリガ科	コハモグリガ科			
786			ニセハマキガ科	カザリニセハマキ			
787			ヒロズコガ科	クロモンチビヒロズコガ		$\Box$	
788				マエモンヒロズコガ		$\vdash$	
789				ウスモンツマオレガ			
790 791				アトモンヒロズコガ コクガ		$\vdash$	
792				クロクモヒロズコガ			
793			ツツミノガ科	ツツミノガ科			
794			カザリバガ科	ホソカザリバ			
-				Cosmopterix属			
795				ベニモンマイコモドキ			
			L 11 = L011 1075	カザリバガ科		$\vdash$	
796			クサモグリガ科	クサモグリガ科			
797 798			キバガ科	ミドリチビキバガ			
798				ハイイロチビキバガ ハギノシロオビキバガ			
800				イモキバガ			
801				ナラクロオビキバガ			
-				キバガ科			
802			ヒゲナガキバガ科	ゴマフシロキバガ			
803				ムモンヒロバキバガ			
804			マルハキバガ科	コクサギヒラタマルハキバガ			
805				クロカギヒラタマルハキバガ		$\vdash$	
806 807				ヨモギヒラタマルハキバガ   ミツボシキバガ			
808				ホソオビキマルハキバガ			
809				モトグロヒラタマルハキバガ			
810				カタキマルハキバガ			
811				スジモンキマルハキバガ			
812				カレハチビマルハキバガ			
813				オビマルハキバガ亜科		$\vdash$	
814				<u>ヒラタマルハキバガ亜科</u> マルハキバガ科		$\vdash$	
815			 ニセマイコガ科	マルハキハカ科   カタアカマイコガ		$\vdash$	
816			ニジュウシトリバガ科	ヤマトニジュウシトリバ			
817			シンクイガ科	モモノヒメシンクイ			
818			アトヒゲコガ科	アトヒゲコガ科			
819			メムシガ科	オオキメムシガ		$\Box$	
-			1× ± 11 1/2 = ±27·1	メムシガ科		<b></b>	
820			ヒカリバコガ科	ヒカリバコガ科		$\vdash$	
821			スガ科	ヒロバコナガ ツセギンバネフガ			
822 823				ツヤギンバネスガ コナガ		$\vdash$	
824				ツマグロハイスガ			
825				ホソトガリクチブサガ			
826				スガ亜科			
-				スガ科			
827			ホソハマキモドキガ科	ホソハマキモドキガ科		$\vdash$	
828			スカシバガ科	モモブトスカシバ		$\vdash$	
829 830			ボクトウガ科 ハマキガ科	ゴマフボクトウ  ハンノキミダレモンハマキ			
830			ハステルや	インフィミタレモンバマキ   ギンヨスジハマキ			
832				ナラコハマキ			
833				チャモンシロハマキ			
834				チャノコカクモンハマキ			
835				リンゴコカクモンハマキ			
836				ネホシウスツマヒメハマキ			
837				グミウスツマヒメハマキ		$\longmapsto$	
				Apotomis属		$\vdash$	
200	i l		I	アトキハマキ		$\vdash$	
838							
839				ミダレカクモンハマキ オオアトキハマキ			
839 840				オオアトキハマキ			
839							

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 13/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					Н6	H10	H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	フタモントガリバヒメハマキ			
845				ハイイロウスモンハマキ			
846 847				ウスモンハマキ ウスキカクモンハマキ			
848				アシブトヒメハマキ			
849				オオアシブトヒメハマキ			
850				ヨツメヒメハマキ			
851				ヨモギネムシガ			
852				ヒノキカワモグリガ			
853				シロズスソモンヒメハマキ			
854				カバイロスソモンヒメハマキ			
855				トビモンシロヒメハマキ			
856				ニセコシワヒメハマキ			
-				Eucosma属			
857				アカオビホソハマキ			
858				ウスキシロヒメハマキ			
859				ナシヒメシンクイ		-	
860				マットビヒメハマキ			
861				グミオオウスツマヒメハマキ			
862				シロモンヒメハマキ			
863				シラフオオヒメハマキ			
864				ヒカゲヒメハマキ			
865				チャハマキ	1		
866				マメノヒメシンクイ	1		<u> </u>
868				ホソバチビヒメハマキフィカブラホソバヒメハマキ	1		-
868 869				スイカズラホソバヒメハマキ	1		-
870				ニセアズキサヤヒメハマキ コホソスジハマキ	1		
871				フタモンコハマキ	1		
872				ウスシロモンヒメハマキ	1		
873				ニセバラシロヒメハマキ	1		
874				バラシロヒメハマキ			
875				クローバヒメハマキ			
876				ウツギヒメハマキ			
877				ナツハゼヒメハマキ			
878				ウストビハマキ			
879				コエダオビホソハマキ			
880				コホソハマキ			
881				マツズアカシンムシ			
882				キカギヒメハマキ			
883				モチツツジマダラヒメハマキ			
884				クロネハイイロヒメハマキ			
885				マツツマアカシンムシ			
886				クシヒゲムラサキハマキ			
887				シロスジマダラヒメハマキ			
888				Griselda属			
889				テングハマキガ亜科			
890				ハマキガ亜科			
891				ヒメハマキガ亜科			
			1	ハマキガ科			
892			ホソハマキガ科	ホソハマキガ科			
893			イラガ科	ムラサキイラガ			ļ
894				カギバイラガ			
895				クロマダライラガ	1		
896				テングイラガ	1		
897				イラガ	1		
898 899				ナシイラガ クロスジイラガ	1		
900				アオイラガ	1		
900				<u>アオイラガ</u> クロシタアオイラガ	1		
901				タイワンイラガ タイワンイラガ	1		
903				アカイラガ	1		
303				イラガ科	1		
904			マダラガ科	ウスグロマダラ	1		
905			. / / / / 7	ウスパツバメガ	1		l
906				リンゴハマキクロバ	1		
907				シロシタホタルガ	1		
908			セセリチョウ科	ダイミョウセセリ			
909				ホソバセセリ			
910				ヒメキマダラセセリ			
911				イチモンジセセリ			
912				チャバネセセリ			
913				オオチャバネセセリ			
914				コチャバネセセリ			
915			マダラチョウ科	アサギマダラ			
916			テングチョウ科	テングチョウ			
917			シジミチョウ科	ルリシジミ			
918				ウラギンシジミ			
919				ツバメシジミ			
920				ウラナミシジミ			
921				ベニシジミ			
922				ムラサキシジミ			
	I	1	[	ヤマトシジミ	1		
923				1 (1)			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 14/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
	M3 L1		114	14.1	H6	H10	H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	シルビアシジミ本土亜種			
926			タテハチョウ科	コムラサキ			
927 928				サカハチチョウ ミドリヒョウモン			
929				ツマグロヒョウモン			
930				ウラギンスジヒョウモン			
931				オオウラギンスジヒョウモン			
932				ヒメアカタテハ			
933				メスグロヒョウモン			
934				ルリタテハ本土亜種			
935				イチモンジチョウ			
936 937				<u>アサマイチモンジ</u> クモガタヒョウモン			
938				ミスジチョウ			
939				コミスジ			
940				ヒオドシチョウ			
941				キタテハ			
942				アカタテハ			
943			アゲハチョウ科	アオスジアゲハ			
944 945				カラスアゲハ モンキアゲハ			
946				ミヤマカラスアゲハ			
947				キアゲハ			
948				オナガアゲハ			
949				ナガサキアゲハ			
950				クロアゲハ			
951			N = 2 121	ナミアゲハ		$\perp$	
952			シロチョウ科	モンキチョウ		1	
953				キチョウフジグロシロチョウ		+ -	
954 955				スジグロシロチョウ モンシロチョウ	_	+ -	
956			ジャノメチョウ科	クロヒカゲ		+ -	
957	1		7 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	クロコノマチョウ		+ +	
958	1			ジャノメチョウ			
959				コジャノメ			
960				ヒメジャノメ			
961				サトキマダラヒカゲ			
962				ヤマキマダラヒカゲ			
963				Neope属			
964			トリバガ科	ヒメウラナミジャノメ ヨモギトリバ			
965			1 97(7514	プドウトリバ			
966				フジマメトリバ			
967				ホソトリバガ亜科			
-				トリバガ科			
968			ツトガ科	ウスムラサキノメイガ			
969				クロウスムラサキノメイガ			
070				Agrotera属			
970 971				ホソバソトグロキノメイガ シロヒトモンノメイガ			
972				ヒメトガリノメイガ			
973				ツトガ			
974				シロモンノメイガ			
975				モンウスグロノメイガ			
-				Bradina属			
976				ヒメキスジツトガ			
977	-			サツマツトガ			
978				ヘリアカキンノメイガ	-	+ -	
979 980				オオシロモンノメイガ ニカメイガモドキ	-	+ -	
981				ウスクロスジツトガ		1	
982	-			キベリハネボソノメイガ			
983				キホソノメイガ			
984				カギバノメイガ			
985				ウスムラサキスジノメイガ		1	
986	1			コブノメイガ	_	+	
987 988	1			マツノゴマダラノメイガ クロスカシトガリノメイガ		+ -	
200						1	
989 990				シロスジツトガ			
989							
989 990 991 992				シロスジツトガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ			
989 990 991 992 993				シロスジツトガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マダラミズメイガ			
989 990 991 992 993 994				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ			
989 990 991 992 993 994 995				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マダラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996				シロスジツトガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロアンノメイガ マダラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ナノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ナノメイガ ヘリジロカラスノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998				シロスジットガ トガリキ」メイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マダラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ナノメイガ ヘリジロカラスノメイガ ミヤマエグリットガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ナノメイガ ヘリジロカラスノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロアヤヒメノメイガ マダラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ナノメイガ ヘリジロカラスノメイガ ケワノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマグラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ヘリジロカラスノメイガ ミヤマエグリットガ クロノメイガ クロノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ヘリジロカラスノメイガ ミヤマエグリットガ クロノメイガ クロノメイガ トピヘリキノメイガ トピヘリキノメイガ ワタノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 1000 1001 1002 1003 1004				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ アヤナミノメイガ カリジロカラスノメイガ ミヤマエグリットガ クロノメイガ クロスノメイガ クロズノメイガ クロズノメイガ ワロメイガ ワロメノオガ ワロメノメイガ ワロメノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 1000 1001 1002 1003 1004 1005				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マダラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボツヤマメイガ アヤナミノメイガ ナノメイガ カリメイガ クワノメイガ クロヘリキノメイガ クロベリキノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ スジボソヤマメイガ アヤナミノメイガ ヘリジロカラスノメイガ ミヤマエグリットガ クロノメイガ クロスノメイガ トピヘリキノメイガ トロズノメイガ ワロズノメイガ ワカメイガ ワカメイガ ウスオピクロノメイガ ロスオピクロノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ アヤナミノメイガ アヤナミノメイガ アヤナミノメイガ フリンロカラスノメイガ ラロノメイガ クロノメイガ クロスノメイガ クロズノメイガ クロズノメイガ ワタノメイガ ワスオビクロノメイガ ウスオビクロノメイガ ウスオビクロノメイガ マエキノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ アヤナミノメイガ アヤナミノメイガ ヘリジロカラスノメイガ ミヤマエグリットガ クロへリキノメイガ クロへリキノメイガ トピヘリキノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワタノメイガ ワススチガ ウスオピクロノメイガ モンキクロノメイガ モンキクロノメイガ マニキノメイガ マニキノメイガ			
989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008				シロスジットガ トガリキノメイガ シロアヤヒメノメイガ シロテンノメイガ マグラミズメイガ ヒメマダラミズメイガ アヤナミノメイガ アヤナミノメイガ アヤナミノメイガ フリンロカラスノメイガ ラロノメイガ クロノメイガ クロスノメイガ クロズノメイガ クロズノメイガ ワタノメイガ ワスオビクロノメイガ ウスオビクロノメイガ ウスオビクロノメイガ マエキノメイガ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 15/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロテンキノメイガ			
1014 1015				サツマキノメイガ クロフキノメイガ			
1015				ミドロミズメイガ			
1017				ホシオビホソノメイガ			
1018				ワモンノメイガ			
1019				アトモンミズメイガ			
1020				キバラノメイガ			
1021				クロミスジノメイガ			
1022 1023				シロアシクロノメイガ アワノメイガ			
1023				アクノスイカ Ostrinia属			
1024				ヨスジノメイガ			
1025				ヘリジロキンノメイガ			
1026				マエウスモンキノメイガ			
1027				ヒメシロノメイガ			
1028 1029				マエアカスカシノメイガ ヒロバウスグロノメイガ			
1030				シバツトガ			
1031				ゼニガサミズメイガ			
1032				シロナミミズメイガ			
1033				クロマダラキノメイガ			
1034 1035				クビシロノメイガ コガタシロモンノメイガ			
1035				クロスジキンノメイガ			
1037	1			シロハラノメイガ			
1038				コヨツメノメイガ			
1039				ウスイロキンノメイガ		$\Box$	
1040	-			ウコンノメイガ			
1041 1042	1			キオビミズメイガ   ナカキトガリノメイガ			
1042	1			ナガイドカリノベイカ キムジノメイガ			
1044				ミカエリソウノメイガ			
1045				ホソスジツトガ			
1046				モンスカシキノメイガ			
1047 1048	-			クロオビノメイガ トモンノメイガ			
1048				アトグロキノメイガ			
1050				ナカキノメイガ			
1051				コガタシロオオメイガ			
1052				シロオビノメイガ			
1053	-			モンシロクロノメイガ クロフジ / メイガ			
1054 1055				クロスジノメイガ オオモンシロルリノメイガ			
1056				モンシロルリノメイガ			
1057				オオメイガ亜科			
1058				ノメイガ亜科			
1059				ヤマメイガ亜科			
1060 1061	-		メイガ科	ツトガ亜科 チビマエジロホソマダラメイガ			
1061	-		A1 7344	ウスアカムラサキマダラメイガ			
1063				マエグロツヅリガ			
1064				ナシモンクロマダラメイガ			
1065				ウスアカマダラメイガ			
1066				マツノマダラメイガ			
1067 1068				オオマエジロホソメイガ ウスオビトガリメイガ			
1069	1			キモントガリメイガ			
1070				キベリトガリメイガ			
1071				ウスベニトガリメイガ		$\Box$	
1072 1073	-			カバイロトガリメイガ チャマダラメイガ			
1073	-			テャマタラメイガ フタスジツヅリガ			
1074	1			シロマダラメイガ			
1076				アカシマメイガ			
1077				マツムラマダラメイガ		$\Box$	
1078				ウスモンマルバシマメイガ			
1079 1080	1			トビイロシマメイガ キイフトメイガ			
1080				ナカムラサキフトメイガ			
1082	1			エグリミズメイガ			
1083	]			タンザワシダメイガ			
1084				ミカドマダラメイガ			
1085	-			アカマダラメイガ			
1086 1087	1			ナカトビフトメイガ ネアオフトメイガ			
1088	1			フタスジシマメイガ			
1089	1			キンボシシマメイガ			
1090				トビスジマダラメイガ			
1091	1			クロマダラメイガ		<b></b>	
1092	-			ギンモンシマメイガ オオフトメイガ		-	
1093 1094	-			<u> </u>			
1094	1			ヒメアカマダラメイガ			
1096	]			トビイロフタスジシマメイガ			
1097				ネグロフトメイガ			
1098				マエモンシマメイガ		$\Box$	
1099				ナカアオフトメイガ		-	
1100				キイロツヅリガ   ミドリフトメイガ			
			1				
1101 1102				マダラズメイガ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 16/37

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
	E I		17 🗆	18 🖂	H6	H10	H15
1104	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	シマメイガ亜科			
1105				ツヅリガ亜科			
1106				マダラメイガ亜科	-		
1107			マドガ科	メイガ科 チビマダラマドガ			
1107			X 1.7344	ヒメマダラマドガ	1		
1109				マダラマドガ			
1110				アカジママドガ			
1111			1 15 16 15 47	マドガ	_		
1112 1113			カギバガ科	マエキカギバ ウスイロカギバ			
1114				オピカギバ			
1115				アカウラカギバ	1		
1116				スカシカギバ			
1117				モンウスギヌカギバ			
1118 1119				ウスギヌカギバ アシベニカギバ	+		
1120				クロスジカギバ			
1121				ヒメハイイロカギバ			
1122				ウコンカギバ			
1123			トガリバガ科	オオアヤトガリバ			
1124				オオバトガリバ	1		
1125 1126				ホソトガリバ モントガリバ	1		
1127			アゲハモドキガ科	キンモンガ	1		
1128			フタオガ科	クロオビシロフタオ			
1129			シャクガ科	チビトビスジエダシャク			
1130				アシブトチズモンアオシャク			
1131 1132				ナカウスエダシャク ウスイロオオエダシャク	1	<del>                                     </del>	
1132				マルバトビスジエダシャク	1		
1134				ゴマダラシロエダシャク	1		
1135				クロクモエダシャク			
1136				ヒョウモンエダシャク	1	1	
1137				ヨモギエダシャク ムスジシロナミシャク			
1138 1139				オオヨスジアカエダシャク			
1140				ホシスジトガリナミシャク			
1141				ヤマトエダシャク			
1142				ホソバハラアカアオシャク			
1143				ウスハラアカアオシャク	-		
1144				コウスアオシャク Chlorissa属	-		
1145				クロスジアオナミシャク			
1146				ヒメシロフアオシャク			
1147				ルリモンエダシャク			
1148				ヘリジロヨツメアオシャク	1		
1149 1150				ギンスジアオシャク クロモンアオシャク			
1151				ヨツテンアオシャク	1		
1152				ヨツモンマエジロアオシャク			
1153				コヨツメアオシャク			
1154				ウコンエダシャク			
1155 1156				ツマキエダシャク マツオオエダシャク	-		
1157				ウスアオシャク			
1158				ナミスジコアオシャク			
1159				オオハガタナミシャク			
1160				ウストビスジエダシャク			
1161 1162				フトフタオビエダシャク オオトビスジエダシャク	1		
1163				ウスジロエダシャク	1		
1164				ツマキリエダシャク			
1165				モミジツマキリエダシャク			
1166				サラサエダシャク			
1167 1168				アミメオオエダシャク ヘリスジナミシャク	1	+	
1169				ウスオビヒメエダシャク	1		
1170				ハコベナミシャク	1		
1171				クロテンカバナミシャク			
1172				ハラキカバナミシャク	1		
-				Eupithecia属	1		
1173 1174				ミヤマアミメナミシャク ハガタナミシャク	1	+	
1174				セスジナミシャク	1		
1176				エグリエダシャク			
1177				キマダラオオナミシャク			
1178				キバラエダシャク	1		
1179 1180				カギシロスジアオシャク フタテンオエダシャク	1		
1180				フタテンオエタシャク ウスオエダシャク	1		
1182				コシロスジアオシャク			
1183				ナミガタエダシャク			
1184				ウラベニエダシャク			_
1185				コウスグモナミシャク	1	1	
1186 1187				ウスクモナミシャク サザナミオビエダシャク	1		
1187				シロシタトビイロナミシャク	1		
1189				ウラキトガリエダシャク	1		
1190				ナカシロオビエダシャク			
1191				オオバナミガタエダシャク			
1192		1		ウスバミスジエダシャク	1		

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 17/37)

1193   昆虫網	No.	綱名	目名	科名	和名	ダム湖周辺
1154						H6 H10 H15
1186		昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科		
1988						
1970						
	1196				ウスモンキヒメシャク	
### 1988	1197				オオウスモンキヒメシャク	
### 1988	-					
1999	1198					
マルドンとメアオシャク   1920						
7						<del>-  </del>
2020						
1202   1202						<del></del>
72.79						
(75) ロエダシャク						
PETAPITE Symp   1200						
1307   1308   1309	1205				バラシロエダシャク	
1288	1206				トビカギバエダシャク	
1288	1207				ニッコウエダシャク	
79年シクロアミシャク						
20日本モンドグシャク   1211   1212   1212   1212   1213   1214   1215						
20回						
2月点   2月						
21214						
マエキトビアジャク   1216   1216   1216   1217						
プンピンドビエグシャク						
プンピンドビエグシャク	1214				マエキトビエダシャク	
エグリツマエグシャク	1215					
コヨツメエダシャク						
20 回						<del></del>
ウスキリバスエグシャク						
220						<del></del>
EDITOスタオエダシャク						
シナトビスシェク     1223						$\longrightarrow$
223						
ツマキリウスキエダシャク						
プラモンアカエダシャク	1223				オオゴマダラエダシャク	
プラモンアカエダシャク	1224				ツマキリウスキエダシャク	
プロフヒメエヴシャク					ウラモンアカエダシャク	
コカバスジナミシャク						
1228						
上とネオエダシャク						<del>-   -   -   -   -   -   -   -   -   -  </del>
リンゴッノエダシャク						
プリティーダンドゥ						
コナフキエグシャク						
2333						
20日本オシロエダシャク						
上・	1233					
1236	1234				クロフオオシロエダシャク	
1237	1235				ヒトツメオオシロヒメシャク	
1237	1236				ニセオレクギエダシャク	
Protoboarmia						
1238	-					
1239	1238					
1240						
1241						<del>-   -   -   -   -   -   -   -   -   -  </del>
1242   フタマエホシエダシャク						
1243						
1244   1245   1246   1246   1247   1248   1247   1248   1249   1247   1248   1249   1249   1249   1250   1250   1250   1251   1252   1253   1254   1255   1256   1257   1258   1259   1259   1259   1259   1259   1259   1250   1251   1252   1252   1253   1254   1255   1255   1256   1257   1258   1259   1259   1259   1250						
主						
ヤスジマルバヒメシャク						
ヤスジマルバヒメシャク	1245				ギンバネヒメシャク	
1247						
1248   1249   1249   1250   1250   1251   1252   1252   1253   1254   1255   1255   1255   1255   1256   1257   1258   1258   1258   1258   1258   1258   1258   1259   1258   1259   1258   1259   1250						
### 1250						
T250   T251   T252   T251   T252   T252   T253   T253   T253   T254   T255						
251						<del>-   -   -   -   -   -   -   -   -   -  </del>
1252   1253   1254   1254   1255   1255   1255   1255   1255   1255   1256   1256   1256   1257   1258   1259   1259   1259   1259   1260   1261   1262   1262   1263   1264   1266   1266   1266   1266   1267   1268   1268   1268   1268   1268   1268   1269   1260						
ウスサカハチヒメシャク						
ヨツボシウスキヒメシャク						
1255						
1255	1254					
Scopula    Scopula						
1256	-					
1257	1256					
1258						<del>-   -   -   -   -   -   -   -   -   -  </del>
1259						+ + +
1260   クロハグルマエダシャク						<del></del>
1261						
1262       1263       1264       1265       1266       1267       1268       1269       127       1260       1261       1262       1263       1264       1265       1266       1267       1268       ホンパナミシャク       1268						
1263   スジハグルマエダシャク   1264   カギバアオシャク   1270   1	1261					
1263   スジハグルマエダシャク   1264   カギバアオシャク   1270   1	1262				マルハグルマエダシャク	
1264   カギバアオシャク   1285   1286   キマダラツバメエダシャク   1287   1287   1287   1288   カギバアオシャク   1287   1288   カンパナミシャク   1288   ホンパナミシャク   1288   ホンパナミシャク   1288						
1265       1266       1267       1268       キマツバメエダシャク       ウスベニスジヒメシャク       Timandra属       ホソバナミシャク						
1266						
1267     ウスペニスジヒメシャク       - 1268     ボソバナミシャク						
- Timandra属 ホソパナミシャク						
ホソバナミシャク	1267					
	-					
	1268				ホソバナミシャク	
	1269					

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 18/37)

No.	網名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	シロスジオオエダシャク			
1271				ツマグロナミシャク			
1272 1273				フトジマナミシャク フタクロテンナミシャク			
1273				モンシロツマキリエダシャク 			
1275				ミスジツマキリエダシャク			
1276				トガリエダシャク			
1277				Zethenia属			
1278				ツマキリウスエダシャク			
1279				ヒメシャク亜科			
1280			イカリモンガ科	シャクガ科 イカリモンガ			
1281			カイコガ科	クワコ			
1282			オビガ科	オビガ			
1283			カレハガ科	マツカレハ			
1284			1041	クヌギカレハ			
1285			ヤママユガ科	オナガミズアオ			
1286				Actias属 ヤママユ			
1287				クスサン			
1288				ヒメヤママユ			
1289			スズメガ科	ブドウスズメ			
1290				クルマスズメ			
1291				ホシヒメホウジャク			
1292 1293				ウンモンスズメ トビイロスズメ			
1293				ベニスズメ			
1295				サザナミスズメ			
1296				ヒメクロホウジャク			
1297				ホシホウジャク		$\Box$	
1298				モモスズメ カエバフブメ			
1299 1300				クチバスズメ エゾシモフリスズメ			
1301				エゾスズメ			
1302				ピロードスズメ			-
1303				ミスジビロードスズメ			
1304				ウチスズメ			
1305			シャチャコガゼ	コスズメ			
1306 1307			シャチホコガ科	ツマアカシャチホコ ホソバネグロシャチホコ			
1307				コトビモンシャチホコ			
1309				クロテンシャチホコ			
1310				ホソバシャチホコ			_
1311				コフタオビシャチホコ			
1312				クワゴモドキシャチホコ ボンシェイキコ			
1313 1314				ギンシャチホコ プライヤエグリシャチホコ			
1315				クロシタシャチホコ			
1316				ウスキシャチホコ			
1317				ヘリスジシャチホコ			
1318				ヒメシャチホコ			
1319				ナカスジシャチホコ			
1320 1321				ネスジシャチホコ   ナカキシャチホコ			
1322				ルリモンシャチホコ			
1323				ツマキシャチホコ			
1324				モンクロシャチホコ			
1325				スズキシャチホコ			
1326				オオエグリシャチホコ			
1327 1328				セダカシャチホコ ウスイロギンモンシャチホコ			
1329				シャチホコガ			
1330				オオアオシャチホコ			
1331				プライヤアオシャチホコ	-		
1332				キシャチホコ			
1333				モンクロギンシャチホコ ギンボシシャチホコ			
1334				ギンボシシャチホコ シャチホコガ科			
1335			ヒトリガ科	ホシオビコケガ			
1336				ハガタベニコケガ			
1337				スジベニコケガ			
1338				シロヒトリ			
1339				アカスジシロコケガ			
1340 1341				キシタホソバ ムジホソバ			
1341				ヤネホソバ			
1343				キマエホソバ			
1344				ニセキマエホソバ			
1345				クロテンハイイロコケガ			
1346				キマエクロホソバ			
1347 1348				キベリネズミホソバ   ヨツボシホソバ			
1348				ローラン・カンバ ヒメホシキコケガ			
1350				ハガタキコケガ			
1351				ウスバフタホシコケガ			
1352				スカシコケガ			
1353				スジモンヒトリ			
1354				キハラゴマダラヒトリ			
1355 1356				アカハラゴマダラヒトリ クロスジチビコケガ			
1336	<u> </u>	<u>I</u>	1	ノロヘンノ レコソル			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 19/37

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
1357	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	スカシドクガ			
1358				スギドクガ			
1359				アカヒゲドクガ			
1360				リンゴドクガ			
1361				マメドクガ	_		
1362				キドクガ			
1363				チャドクガ			
1364				ゴマフリドクガ			
1365				ドクガ ブルウドクギ			
1366 1367				ブドウドクガ スゲオオドクガ			
1368				マイマイガ			
1369				カシワマイマイ			
1370				ミノオマイマイ			
1371				シロオビドクガ			
1372				ヒメシロモンドクガ			
1373				ウチジロマイマイ			
1374				ニワトコドクガ			
1375			ヤガ科	エゾマダラウワバ			
1376			1	フジロアツバ			
1377				シラナミクロアツバ			
1378				アケビコノハ			
1379				タマナヤガ			
1380				カブラヤガ			
1381				オオウスヅマカラスヨトウ			
1382				カラスヨトウ			
1383				オオシマカラスヨトウ			
1384	ļ			シマカラスヨトウ			
1385				シロテンツマキリアツバ			
1386				サビイロコヤガ			
1387				クロテンカバアツバ			
1388				カバマダラヨトウ		1	
1389				ヒメキイロヨトウ		1	
1390 1391				アカキリバ   ヤマトコヤガ	_	1	
				バストコドガ ハガタウスキヨトウ			
1392 1393				フクラスズメ			
1393				ブクラススト   ギンボシリンガ			
1395				シロテンウスグロヨトウ			
1396				テンウスイロヨトウ			
1397				シロモンオピヨトウ			
1398				ヒメサビスジョトウ			
-				Athetis属			
1399				クロハナコヤガ			
1400				モクメヨトウ			
1401				ハジマヨトウ			
1402				コウンモンクチバ			
1403				ムラクモアツバ			
1404				ホシムラサキアツバ			
1405				ウスヅマアツバ			
1406				アイモンアツバ			
1407				ヤマガタアツバ			
-				Bomolocha属			
1408				チャイロアツバ			
1409				ウスアオモンコヤガ			
1410				ヒメツマキリヨトウ			
1411				ハイイロコヤガ			
1412				マメキシタバ			
1413				アミメキシタバ		+	
1414				シロシタバ キシタバ			
1415 1416				コガタキシタバ	_	+	
1416				コガダキシダバ  カクモンキシタバ	-	+	
1417				ハナオイアツバ			
1418						+	
1420				フタスジシマコヤガ			
1421				シマフコヤガ			
1422				ツマベニシマコヤガ			
1423				ベニシマコヤガ			
-				Corgatha属			
1424				ミツモンキンウワバ			
1425				エゾギクキンウワバ			
1426				リョクモンオオキンウワバ			
1427				ウスアカヤガ			
1428				オオバコヤガ			
1429				コウスチャヤガ			
1430				アカフヤガ			
1431	ļ			ムラサキアツバ			
1432				キイロソトオビアツバ			
1433				クロモクメヨトウ			
1434				シロズアツバ			
1435				オオシラホシアツバ			
1436				シンジュキノカワガ			
1437				キスジコヤガ			
1438				シロモンコヤガ			
1439				モンムラサキクチバ			
1440				オオトモエ			
1441 1442				マダラウスムラサキクチバ	_	+	
			1	アカテンクチバ ギンスジキンウワバ			
1443				カザリツマキリアツバ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 20/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ホソバミドリヨトウ			
1447				フサヤガ			
1448				ウスグロヤガ			
1449 1450				クロオビリンガ ゴボウトガリヨトウ			
1450				フタキボシアツバ			
1452				Hadennia属			
1453				フタテンヒメヨトウ			
1454				ナカジロアツバ			
1455				タバコガ			
1456 1457				アトヘリヒトホシアツバ ウスキミスジアツバ			
1458				フシキアツバ			
1459				クロスジアツバ			
1460				シラナミアツバ			
1461				トビスジアツバ			
				Herminia属			
1462 1463				クロクモヤガ オオシラナミアツバ			
1464				ベニエグリコヤガ			
1465				ソトウスグロアツバ			
1466				ヒロオビウスグロアツバ			
1467				ウスズミケンモン			
1468				クロキシタアツバ			
1469 1470				ソトムラサキアツバ トビモンアツバ			
1470				ウスチャモンアツバ			
1472				ムラサキミツボシアツバ			
1473				タイワンキシタアツバ			
-	]			Hypena属	·		
1474				モンキコヤガ			
1475				オオシロテンクチバ			
1476	<del>' </del>			シロホシクロアツバ Idia属			
1477	†			マエキリンガ			
1478				キモンコヤガ			
1479				トビフタスジアツバ			
1480				チビアツバ			
1481 1482				クビグロクチバ ヒメクビグロクチバ			
1483				ヒメオビコヤガ			
1484				ヒメネジロコヤガ			
1485				シャクドウクチバ			
1486	i			エチゴチビコブガ			
-	_			Meganola属			
1487 1488				<u>ホシミミヨトウ</u> シロスジトモエ			
1489				フタホシコヤガ			
1490				Micreremites属			
1491				ウスオビチビアツバ			
1492				ニセウンモンクチバ			
1493	1			ウンモンクチバ Nation			
1494	+			Mocis属 ゴマケンモン			
1495				アオバセダカヨトウ			
1496				フサキバアツバ			
1497				マダラキヨトウ			
1498				クサシロキヨトウ			
1499 1500				ミヤマフタオビキヨトウ クロシタキヨトウ			
1500				フタテンキヨトウ			
1502				マメチャイロキヨトウ			
1503				スジシロキヨトウ			
1504				フタオビキヨトウ			
1505				ベニトガリアツバ			
1506 1507				フタオビコヤガ フタテンチビアツバ			
1507				ウチジロコヤガ			
1509				マエモンコヤガ			
1510				ヒゲブトクロアツバ			
1511	4			ナミコブガ			
4540	4			Nola属			
1512 1513				ミヤマクロスジキノカワガ クロテンキノカワガ			
1513				マエジロヤガ			
1515				ウスモモイロアッパ			
1516				ツマムラサキアツバ			
	1			Olulis属			
1517				アカエグリバ			
1518 1519				<u>ノコメセダカヨトウ</u> クロミミキリガ			
1519				プロミミキリガ モンシロクルマコヤガ			
1521				アトキスジクルマコヤガ			
1522				ヤジリモンコヤガ			
1523				ツマジロツマキリアツバ			
1524				ムラサキツマキリアツバ			
1525 1526				リンゴツマキリアツバ ウンモンツマキリアツバ			
1526				シロモンツマキリアツバ			
1527				シロテンムラサキアツバ			
		ĺ	I.				
1529				ミスジアツバ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 21/37)

19   19   19   19   19   19   19   19	No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
Paraghar All						H6	H10	H15
1525   1525   1527   1527   1525	1531	昆虫綱	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科				
1933	1532	-						
1935	1533				ニセタマナヤガ			
1982   1983   1984								1
1937								
1938	1537				ヨモギコヤガ			
1940   マクエアリバ   1940   194								-
1941   1942   1943   1944								
1952   1952   1953   1954   1955   1956								
1940	1542				シロフコヤガ			
1940   1940	4540	-						
1946								
1547								
1940   1950								<b> </b>
1940   1950								
1950   1950								
1952   1953   1954   1955   1956   1957   1957   1959	1550				クロスジコブガ			
1959   1959		-					<del>                                     </del>	
Rivolage							<del>                                     </del>	
1955	-				Rivula属			
1956   1957   1958   1959							$\Box$	
1557								
1558   1559   1560   1561   1561   1561   1562   1562   1562   1563   1564   1565   1565   1566							<del>                                     </del>	
5960								
1561   1562   1562   1563   1563   1563   1563   1563   1564   1564   1564   1564   1564   1564   1566								<b>——</b>
Simplicia								
1562   オオカバスジヤガ   1568   1568   1566   1567   1	-	1						
1983	1562				オオカバスジヤガ			
1594	4500	-						
1985   1986   1986   1986   1988   1989								
1566	-							
1567								
1588								
1598		-						
1571								
1572   1573   1574   1575   1574   1575   1574   1575   1576   1576   1576   1577   1576   1577   1577   1578   1579   1579   1580   1581   1582   1588   1588   1588   1588   1588   1588   1589   1599   1599   1599   1599   1599   1599   1600								<b>——</b>
1573   1574   1575   1576   1576   1577   1577   1578   1579   1588   1589   1599   1599   1599   1599   1599   1599   1599   1599   1599   1500   1600		-						
1574								
1576	1574				シロスジアオヨトウ			
1577   1578   1578   1579   1579   1580   1580   1581   1582   1583   1584   1585   1586   1587   1589   1599   1599   1599   1599   1599   1590   1600   1589   1599   1600								
1578								
1580   1581   1582   1583   1584   1585   1586   1586   1586   1586   1588   1588   1588   1588   1589   1590   1591   1592   1596   1596   1597   1598   1599   1598   1599   1598   1598   1599   1598   1599   1598   1599								
1581   1582   1583   1584   1585   1586   1586   1587   1588   1589   1589   1591   1591   1593   1594   1595   1596   1596   1596   1597   1598   1599   1599   1598   1599   1599   1598   1599							$\perp = \equiv$	
1582   1583   1584   1585   1586   1586   1587   1598   1596   1597   1598   1599		-					<del>                                     </del>	
1583   1584   1585   1586   1586   1586   1587   1588   1589   1590   1590   1592   1593   1594   1595   1596   1596   1597   1598   1599   1600		1					<del>                                     </del>	
1585   1586   1587   1587   1588   1588   1589   1589   1589   1590   1591   1592   1594   1595   1596   1596   1599   1599   1599   1599   1599   1599   1600	1583				ハイイロキシタヤガ			
1586   1587   1588   1589   1589   1590   1590   1591   1592   1593   1594   1595   1596   1596   1597   1598   1599   1600							$\Box$	
1587   1588   1588   1589   1590   1590   1591   1592   1593   1594   1595   1596   1596   1597   1598   1599   1600							$\vdash$	
1588   1589   1590   1590   1590   1591   1592   1593   1594   1596   1597   1598   1599   1600							$\vdash$	
1590   1591   1591   1591   1592   1592   1593   1594   1595   1596   1596   1597   1598   1599   1600	1588				ヒメコブヒゲアツバ			
Zanc lognatha属							<del>                                     </del>	
1591	1590	1					<del>                                     </del>	
T592	1591	1						
1593					アツバ亜科			
1594   1595   1596   1596   1597   1598   1599   1600	4500	-		コプガジ			<del>                                     </del>	
Eルガオハモグリガ科				<u>コノル付</u> ヒゲナガガ科			<del>                                     </del>	
Fョウ目								
1597	-				チョウ目			
1598			八工目(双翅目)	ガガンボ科			$\vdash$	
1599							$\vdash$	
1600   Dicranomyia属   1601   オトヒメガガンボ   1602   クロバネヒメガガンボ   1603   ホシヒメガガンボ   1603   ホシヒメガガンボ   1603   カンピスカガンボ   16								
1602   クロバネヒメガガンボ   1603   ホシヒメガガンボ   1	1600				Dicranomyia属			
1603 ホシヒメガガンボ								<u> </u>
							$\vdash$	
					コマダラヒメガガンボ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 22/37)

No.	網名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
NO.	T PR		111	741	H6	H10	H15
1605	昆虫綱	八工目(双翅目)	ガガンボ科	イツモンヒメガガンボ			
1606				ミスジガガンボ			
1607				クチバシガガンボ			
1608				ギフヒゲナガガガンボ	—		<del></del>
1609	1			カスリヒメガガンボ	<b>_</b>		<del></del>
-	-			Limnophila属	-		
1610				コモンヒメガガンボ		_	
1611 1612				マダラクロヒメガガンボ ホソバネヒメガガンボ		+	
1613				ホッパネピスカカンボ   セアカヒメガガンボ		+	
1614				タケウチマダラヒメガガンボ		+	
1615				ウスキバネヒメガガンボ		+	
1616				ツマジロヒメガガンボ	+	+	
1010	†			Limonia属	1	_	f
1617				Nephrotoma属		+	
1618				ハスオビガガンボ	1		
1619				キリウジガガンボ			
1620				マダラガガンボ			
1621	]			キアシガガンボ			ĺ
1622	]			マドガガンボ			ĺ
1623				クロキリウジガガンボ			<u> </u>
1624				ヤチガガンボ			
1625	1			マエキガガンボ			
-	1			Tipula属	<b>↓</b>	$\perp$	-
1626				シリブトガガンボ亜科	↓	+	-
1627	1			ヒメガガンボ亜科	<b>↓</b>	+	-
400-	4		12 12 \ . 12 17 - \ 7 1	ガガンボ科		+	
1628	4		ガガンボダマシ科	ニッポンフユガガンボ		+	
4000	1		고=+티	ガガンボダマシ科	+	+	
1629	4		アミカ科	シコクアミカ	+	+	
1000	†		エュウバナジ	アミカ科	+	+	
1630			チョウバエ科	セベリンチョウバエ マツタケチョウバエ	1	+	
1631 1632				マツタクチョウバエ ホシチョウバエ	+	+	
1032	1			チョウバエ科	+	+	
1633	+		ヌカカ科	ケヌカカ	+	+	
1634			XXX14	ニワトリヌカカ	1	+	
1635				タンボツヤヌカカ	1	_	
1636				シロフケブカヌカカ	1	+ -	
1637				コンイロヌカカ	1	+ -	
1638				モリヌカカ	1		
1639				モンヌカカ	1		
1640				フトモモムシヒキヌカカ	1		
-	1			ヌカカ科			
1641			ケヨソイカ科	アカケヨソイカ			
1642			ユスリカ科	セスジユスリカ			
1643				セスジヒラアシユスリカ			
1644	]			セボシヒメユスリカ			
1645				ミツオビツヤユスリカ			
-	]			Cricotopus属			i
1646				クロユスリカ			
1647				ボカシヌマユスリカ			
1648				シロアシユスリカ			
1649				ウスモンユスリカ			
1650				ニッポンカユスリカ	<b>_</b>		
1651				アカムシユスリカ	<b>_</b>		
1652				ウスギヌヒメユスリカ			
1653				カクスナガレユスリカ	-	+	
1654				ハスムグリユスリカ	+	+ -	
1655				アキヅキユスリカ	+	+	
1656 1657				カスリモンユスリカ ミゾチビユスリカ	1	+	
1658				ミドリオオユスリカ	+	+	
1658				<u>ニッポンケブカユスリカ</u>	+	+	
1009	†			コスリカ科	<del>                                     </del>	+ -	
1660	†		力科	アカイエカ	1	+	
-	1			Culex属	1	1	
-	1			力科	1		
1661	1		ホソカ科	クロホソカ			
1662	1		マガリスネカ科	マガリスネカ科			
1663			ケバエ科	Bibio属			
	]			ケバエ科			
1664	]		タマバエ科	Dasineura属			
1665				キクタマバエ			
1666				Lestremia属			
-				タマバエ科			
1667			ニセケバエ科	ナガサキニセケバエ			
1668			キノコバエ科	ナミトモナガキノコバエ			
1669				ヒメホソキノコバエ		$oldsymbol{oldsymbol{\sqcup}}$	_
1670				ナミホソキノコバエ	<b>↓</b>	$\perp$	-
1671				クロヒラモモキノコバエ	↓	$\perp$	-
1672				ニセコシボソキノコバエ	—		
4070				Fungivora属		$\perp$	
1673				Macrocera属	—	$\perp$	
1674				イグチナミキノコバエ	—	$\perp$	-
1674 1675			1	ケブカマドキノコバエ			
1674 1675 1676	]						
1674 1675 1676 1677				ケアシコンボウキノコバエ			<u> </u>
1674 1675 1676 1677 1678				オオムクゲキノコバエ			
1674 1675 1676 1677				オオムクゲキノコバエ スジヒトヘダキノコバエ			
1674 1675 1676 1677 1678 1679				オオムクゲキノコバエ スジヒトへダキノコバエ キノコバエ科			
1674 1675 1676 1677 1678			ケズメカ科	オオムクゲキノコバエ スジヒトヘダキノコバエ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 23/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
NU.	刷了口	日日	1111	THT	H6	H10	H15
1681	昆虫綱	八工目(双翅目)		クロバネキノコバエ科			
1682			コガシラアプ科	シバカワコガシラアブ			
1683				セダカコガシラアブ			
1684			ナガレアプ科	クロモンシギアブ		+	
1685			シギアプ科	ナガレアブ科 フタモンキイロシギアブ		+	
- 1003			217717	シギアプ科		+	
1686			ミズアプ科	エゾホソルリミズアブ		1	
1687				ハラキンミズアブ			
1688				コウカアブ			
1689				ルリミズアブ			
-				ミズアプ科			
1690			アプ科	ホルバートアブ マルガタアブ		+	
1691 1692				アカウシアプ		+	
1693				ヤマトアブ		+	
1694				アカアプ			
1695				シロフアブ			
1696				ウシアプ			
-			12.14.4.7.451	Tabanus属		+	
1697 1698			ムシヒキアブ科	カワムラヒゲボソムシヒキ クロスジイシアブ		+	
1699				アオメアブ		+	
1700				ハラボソムシヒキ		+	
1701				オオイシアプ			
1702				チャイロオオイシアブ			
1703				ミノモホソムシヒキ			
1704				マガリケムシヒキ		++	
1705				シオヤアブ サキグロムシヒキ	-	+	
1706				サキクロムシヒキ ムシヒキアブ科		+	
1707			ツリアプ科	コウヤツリアプ		+	
1707				ホシツリアブ		+ + +	
1709				ニトベハラボソツリアブ			
1710				スズキハラボソツリアブ			
1711			ツルギアプ科	ツルギアブ科			
1712			アシナガバエ科	アシナガキンバエ		$\perp$	
1713				Do I i chopus属		+	
1/13				マダラアシナガバエ アシナガバエ科		+	
1714			オドリバエ科	イトウマルバネオドリバエ		+	
1715			31 27.	メスジロナガレオドリバエ			
1716				カマキリナガレオドリバエ			
1717				スジブトナガレオドリバエ			
1718				モモブトセダカオドリバエ			
1719				イミャクオドリバエ			
1720				アカメセダカオドリバエ オドリバエ科		+	
1721			ヤリバエ科	ハコネヤリバエ		+	
1722			アタマアプ科	ツマグロキアタマアブ		+	
-			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	アタマアプ科		++	
1723			ハナアプ科	ツマグロコシボソハナアブ			
1724				オオマメヒラタアプ			
1725				ナガヒラタアプ			
1726				マダラコシボソハナアブ		++	
1727 1728				ハシグロクロハナアブ ヤマトヒゲナガハナアブ		+	
1729				オピヒラタアプ		+	
1730				ヨコジマオオヒラタアブ			
1731				Epistrophe nitidicollis			
1732				ホソヒラタアブ			
1733				ホシメハナアブ		$\perp$	
1734				シマハナアブ		+	
1735				ハナアブ マドヒラタアブ	1	++	
1736 1737				ナミホシヒラタアブ	l	+	
1738				アシブトハナアブ		+	
1739				カクモンアシブトハナアブ		+ +	
1740				ホソツヤヒラタアブ			
1741				ホシツヤヒラタアブ			
=				Me lanos toma属		$\perp = \Box$	
1742				シマアシブトハナアブ			
1743 1744				シママメヒラタアブ	-	++	
1744				キアシマメヒラタアブ ニセキアシマメヒラタアブ	1	+	
- 11-13				Paragus属		+ + +	
1746				オオハナアブ		<del>                                     </del>	-
1747				Pipiza属			
1748				Pseudovolucella属			-
1749				Sericomyia属		$\perp = \Box$	
1750				ナガヒメヒラタアブ		+	
1751				キタヒメヒラタアブ Coboo coppor i o屋		+	
1752				Sphaerophoria属	<b>-</b>	+	
1752				ケヒラタアブ キイロナミホシヒラタアブ		+	
				ニトベナガハナアブ		+	
17541				ベッコウハナアブ		+	
1754 1755				ヨツボシヒラタアプ		1	
1754 1755 1756							
1755				ルリイロナガハナアブ			
1755 1756							
1755 1756			ノミバエ科	ルリイロナガハナアブ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 24/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	1
NO.	神石	日刊	1111	THE	H6	H10	H15
	昆虫綱	八工目(双翅目)	ヒラタアシバエ科	ヒラタアシバエ			
1760 1761			ハモグリバエ科	フジハモグリバエ  ヨモギハモグリバエ			
1762				スゲハモグリバエ			
1763				ムギキベリハモグリバエ			
1764 1765				オカザキハモグリバエ スイカズラハモグリバエ			
1766				ネギハモグリバエ			
1767				カトウハモグリバエ			
1768				ヨモギクキモグリバエ			
1769				タンポポハモグリバエ			
1770 1771				ヨメナクロハモグリバエ  ヨメナスジハモグリバエ			
1772				ヤナギハモグリバエ			
1773				ニッポンキクハモグリバエ			
1774 1775				ヤブジラミハモグリバエ トガリハモグリバエ	<b>.</b>		
- 1775				ハモグリバエ科			
1776			ニセミギワバエ科	ニセミギワバエ			
1777			アプラコバエ科	アブラコバエ科			
1778 1779			キモグリバエ科	イネキモグリバエ Disciphus subelongatus			
1780				ムギキモグリバエ			
1781				ササノアシブトキモグリバエ			
1700			カチナパナ科	キモグリバエ科			
1782			クチキバエ科	キイロクチキパエ  クチキバエ科	1	1	
1783			メバエ科	オオズグロメバエ			
1784				クロフタオレメバエ			
1785			レゲゴトコパナ科	ウスグロメバエ	1		
1786 1787			ヒゲブトコバエ科 ホソショウジョウバエ科	クロメマトイ   モンホソショウジョウバエ	1		
1788			ショウジョウバエ科	マダラメマトイ		<u> </u>	
1789				アシグロハシリショウジョウバエ			=
1790 1791				ヒメホシショウジョウパエ ダンダラショウジョウパエ	1	1	-
1791				ダンダラショウジョウバエ カオジロショウジョウバエ	1		<del>                                     </del>
1793				フタオビショウジョウバエ			
1794				ヒョウモンショウジョウバエ			
1795 1796				クロツヤショウジョウパエ			
1796				カスリショウジョウバエ オオショウジョウバエ			
1798				トピクロショウジョウバエ			
1799				キハダショウジョウバエ			
1800 1801				キイロショウジョウバエ   ススパネショウジョウバエ			
1802				ススパネショウジョウバエ クロショウジョウバエ			
1803				モンコガネショウジョウバエ			
1804				カザリコガネショウジョウバエ			
1805				オトヒメショウジョウバエ			-
1806 1807				クロキノコショウジョウバエ コフキヒメショウジョウバエ			
1808				ツヤカプトショウジョウバエ			
-				ショウジョウパエ科			
1809 1810			ベッコウバエ科 ミギワバエ科	ベッコウバエ Brachydeutera longipes			<del></del>
1010			ミキツ八工科	Sギワバエ科			
1811			トゲハネバエ科	センチトゲハネバエ			
-				トゲハネパエ科			
1812 1813			シマバエ科	シモフリシマバエ キイロシマバエ			
1814				ヒラヤマシマバエ			
1815				Homoneura unguiculata			
-				Homoneura属			
1816				ヤブクロシマバエ			
1817				Trigonometopus forficula シマパエ科	1		<del></del>
1818			クロツヤバエ科	ヤマトクロツヤバエ			
1819			ナガズヤセバエ科	ホシアシナガヤセバエ			
1820			ヒメコバエ科	Geomyza advena ヒメコパエ科	1		<del></del>
1821			ヒロクチバエ科	ヒロクチパエ科	1		<b>—</b>
1822			デガシラバエ科	フトハチモドキバエ			
1823			ヤチバエ科	ヒゲナガヤチバエ			
1824			ツヤホソバエ科	ヤチパエ科 ヒトテンツヤホソバエ	1		<del></del>
1624			ファルノハ土村	ツヤホソパエ科	1		<del></del>
1825			ハヤトビバエ科	ハヤトビバエ科			
1826			ミパエ科	ナツササハマダラミバエ			$\vdash$
1827 1828				チャイロハススジハマダラミバエ ヒラヤマアミメケブカミバエ	1	1	<del></del>
1828				ビラヤマアミメケフカミバエ   ノゲシケブカミバエ	1		
1830				チャイロケブカミバエ			
1831				ヨモギハマダラミバエ			
1832 1833				ミスジハマダラミバエ ミサキオナガミバエ	-		<del></del>
- 1000				ミバエ科	1		
1834	]		ハナバエ科	ハコベハナバエ			
1835				タネパエ			$\vdash$
1836 1837				アカザモグリハナバエ ハコベモグリハナバエ	1	-	<del></del>
163/				ハコペモグリハテハエ  ハナパエ科	1		
1838			クロバエ科	オオクロバエ			
1839				オビキンバエ			
1840				ホホグロオビキンバエ	1		-
1841 1842				キンパエ ヒツジキンバエ	1		<del></del>
- 1042				Lucilia属			
1843				イトウコクロパエ			
1844				ツマグロキンバエ			$\vdash$
-			レメイナパナギ	クロバエ科 ヒメイエバエ科	1		
1845			ヒメイエバエ科	ロークラ エハエが		1	1

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 25/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	八工目(双翅目)	イエバエ科	セマダライエバエ			
1847				モモエグリイエバエ			
1848				ヒメクロバエ			
1849				トウヨウカトリバエ			
1850				イエパエ			
1851				オオクロイエバエ			
1852				インドサシバエ			
-				イエバエ科			
1853			ニクバエ科	シリグロニクバエ			
1854				Miltogrammatinae亜科			
-				ニクバエ科			
1855			フンバエ科	ヒメフンバエ			
-				フンバエ科			
1856			ヤドリバエ科	チビハマキヤドリバエ			
1857				カイコノウジバエ			
1858				ノコギリハリバエ			
-				Compsilura属			
1859				セスジナガハリバエ			
1860				マルボシヒラタヤドリバエ			
1861				クロツヤハリバエ			
1862			ヤドリバエ科	クチナガハリバエ			
1863			1 2 / 1 - 17	マダラヤドリバエ			
1003				マグラヤトリバエ Sturmia属		1	
4004							
1864				ヨコジマオオハリバエ			
1865				コガネオオハリバエ			
1866				セスジハリバエ		-	
1867				トガリハリバエ			
-				Thecocarcelia属			
1868				アシナガハリバエ			
-				ヤドリバエ科			
-				八工目			
1869		コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ			
1870				ミイデラゴミムシ			
1871			オサムシ科	キイロチビゴモクムシ			
1872				タンゴヒラタゴミムシ			
1873				マルガタゴミムシ			
1874				コアオマルガタゴミムシ			
1875				ニセマルガタゴミムシ			
1876				ナガマルガタゴミムシ			
1877				イグチマルガタゴミムシ			
1878				ホシボシゴミムシ			
1879				ゴミムシ			
1880				キベリゴモクムシ			
1881				アキタクロナガオサムシ			
				フタモンクビナガゴミムシ			
1882						+ -	
1883				メダカチビカワゴミムシ			
1884				ヨツモンカタキバゴミムシ			
1885				オオフタモンミズギワゴミムシ			
1886				アオミズギワゴミムシ		1	
1887				オオアオミズギワゴミムシ		1	
1888				アトモンミズギワゴミムシ			
1889				クロミズギワゴミムシ	ļ		
1890				ツマキミズギワゴミムシ			
1891				ヒメモンナガミズギワゴミムシ			
1892				キアシルリミズギワゴミムシ			
1893				オオズヒメゴモクムシ			
1894				ムネミゾマルゴミムシ			
1895				キガシラアオアトキリゴミムシ			
1896				アオアトキリゴミムシ			
1897				オオオサムシ			
1898	1			イワワキオサムシ			
1899				ヒメオサムシ			
1900				ヤコンオサムシ			
1901				ヤマトオサムシ			
1901				アカガネアオゴミムシ			
						<del> </del>	
1903				コキベリアオゴミムシ	<b></b>	+	
1904				ヒメキベリアオゴミムシ	ļ		
1905				オオアトボシアオゴミムシ		1	
1906				アトボシアオゴミムシ			
		1	1	アオゴミムシ			
1907 1908				キボシアオゴミムシ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 26/37)

No.	綱名	目名	£\  <\	和名		ダム湖周辺	!
NO.	脚石	# <del>1</del>	科名	↑H1=	Н6	H10	H15
1909	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオヘリアオゴミムシ	110		1113
1910				ツヤキベリアオゴミムシ			
1911				ムナビロアトボシアオゴミムシ			
1912				コガシラアオゴミムシ	_		
1913				アトワアオゴミムシ			
1914				ウスグロモリヒラタゴミムシ	_	1	
1915				チビモリヒラタゴミムシ			
1916				オオアオモリヒラタゴミムシ			
1917				ヤセモリヒラタゴミムシ			
1918				ハラアカモリヒラタゴミムシ			
1919 1920				チャイロホソヒラタゴミムシ コハラアカモリヒラタゴミムシ		-	
1920						+	
1922				イクビモリヒラタゴミムシ   ヒラタマルゴミムシ		+	
1923				マイマイカブリ			
1924				ミズギワアトキリゴミムシ			
1925				ルリヒラタゴミムシ			
1926				スナハラゴミムシ			
1927				オオスナハラゴミムシ			
1928				ヒメカワチゴミムシ			
1929				セアカヒラタゴミムシ			
1930				ホソアトキリゴミムシ			
1931				アオヘリホソゴミムシ			
1932				キイロセマルコミズギワゴミムシ			
1933		1		スジアオゴミムシ			
1934		1		トゲアシゴモクムシ			
1935				オオゴモクムシ			
1936				ツヤアオゴモクムシ			
1937				ケウスゴモクムシ			
1938				ヒメケゴモクムシ	_	+	
1939				コセケゴモクムシ		1	
1940 1941				ウスアカクロゴモクムシ アカアシマルガタゴモクムシ		1	
1941 1942		1			-	+	
1942				コゴモクムシ  ハマベゴモクムシ		1	
944				ケゴモクムシ		+	
945				セグロツヤゴモクムシ			
946				ナガホラアナヒラタゴミムシ			
947				トックリゴミムシ			
948				フタホシアトキリゴミムシ			
949				ホシハネビロアトキリゴミムシ			
950				ハネビロアトキリゴミムシ			
951				ジュウジアトキリゴミムシ			
1952				オオクロナガオサムシ			
1953				クロナガオサムシ			
1954				オオゴミムシ			
1955				キノコゴミムシ			
1956				ノグチアオゴミムシ			
1957				ミヤマメダカゴミムシ			
1958				チャバネクビナガゴミムシ			
1959				オオトックリゴミムシ			
1960				ウスケゴモクムシ			
1961				クピナガゴモクムシ			
962				クロオビコミズギワゴミムシ			
963				ウスオビコミズギワゴミムシ			
964				ヒラタアトキリゴミムシ			
965				キアシヌレチゴミムシ			
966		1		ガドツブゴミムシ	$\rightarrow$	1	
967		1		ダイミョウツブゴミムシ	-	+	
968		1		クロズホナシゴミムシ オオヒラタゴミムシ	-	+	
969 970		1		オオヒフタコミムシ   コヒラタゴミムシ		+	
970 971	4	1		オオナガゴミムシ	-	1	
971 972		1		オオテカコミムシ   フジタナガゴミムシ	-	+	
972		1		マルムネヒメナガゴミムシ	-	+	
973		1		コガシラナガゴミムシ	-	+	
975		1		キンナガゴミムシ	1	+	
976		1		オオクロナガゴミムシ	1	1	
977		1		キイオオナガゴミムシ	1		
978		1		ヒメホソナガゴミムシ	1	1	
979		1		ヒョウゴナガゴミムシ	1		
980		1		マルガタナガゴミムシ			
981		1		アシミゾナガゴミムシ			
982				ウエノオオナガゴミムシ			
983				ヨリトモナガゴミムシ			
-	]			Pterostichus属			
984				ケブカヒラタゴミムシ			
985				ミドリマメゴモクムシ			
986				ムネアカマメゴモクムシ			
987				ホソキバナガゴミムシ			
988				ニッポンツヤヒラタゴミムシ		1	
989				マルガタツヤヒラタゴミムシ			
1990		1		キアシツヤヒラタゴミムシ		1	
1991		1		クロツヤヒラタゴミムシ			
1992		1		ヒメツヤヒラタゴミムシ			
1993				コクロツヤヒラタゴミムシ			
				オオクロツヤヒラタゴミムシ			
1994	1	1		ヒメミヤマツヤヒラタゴミムシ			<u> </u>
1995							1
1995 1996				クロチビカワゴミムシ			
1994 1995 1996 1997 1998				クロチピカリコミムシ ヒラタコミズギワゴミムシ クリイロコミズギワゴミムシ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 27/37)

					T	ダム湖周辺	
No.	綱名	目名	科名	和名	110		
2000	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツモンコミズギワゴミムシ	H6	H10	H15
2001		コップュッロ(新畑ロ)	3 9 4 2 14	ヨシイメクラチビゴミムシ	1	+	
2002				アトスジチビゴミムシ	1	+	
2003				ヒメツヤゴモクムシ		+	
2004				ナガツヤゴモクムシ	1	+	
2005				クロツヤゴモクムシ		1	
2006	1			アカガネオオゴミムシ	1		
2007				エビアカガネゴミムシ			
2008	1			フタホシヒメアオゴミムシ	1		
2009				オオモリヒラタゴミムシ			
2010			ハンミョウ科	ハンミョウ	T		
2011				アイヌハンミョウ			
2012				ニワハンミョウ			
2013			ゲンゴロウ科	クロズマメゲンゴロウ			
2014				ゲンゴロウ			
2015				ハイイロゲンゴロウ			
2016				シマゲンゴロウ			
2017				コシマゲンゴロウ			
2018				ウスイロシマゲンゴロウ			
2019				チビゲンゴロウ	1		
2020				ケシゲンゴロウ			
2021				ツブゲンゴロウ			
2022				ヒメゲンゴロウ			
2023				ニセケシゲンゴロウ			
2024			コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	4		
2025			13.1.5.5	コガシラミズムシ	4		
2026			ガムシ科	タマガムシ	4		
2027				トゲバゴマフガムシ	4		
2028				ゴマフガムシ	1		
2029				アカケシガムシ			
2030				セマルケシガムシ	4		
2031				キベリヒラタガムシ	4		
2032				キイロヒラタガムシ	<b>↓</b>		
2033				マルヒラタガムシ	1		
2034				ガムシ			
2035				シジミガムシ			
2036				マグソガムシ			
2037				マメガムシ			
2038				ヒメガムシ		$\perp$	
2039			エンマムシ科	ヤマトエンマムシ			
2040				コエンマムシ		$\perp$	
2041				エンマムシ			
2042			アリヅカムシ科	アナズアリヅカムシ			
2043				オノヒゲアリヅカムシ		$\perp$	
2044				コヤマトヒゲプトアリヅカムシ		$\perp$	
2045				オオアシナガアリヅカムシ		$\perp$	
2046				マメダルマアリヅカムシ			
2047				オオズアリヅカムシ			
2048				ナミエンマアリヅカムシ			
-				アリヅカムシ科			
2049			デオキノコムシ科	デオキノコムシ科			
2050			シデムシ科	オオヒラタシデムシ			
2051				オオモモブトシデムシ			
2052				モモブトシデムシ		$\perp$	
2053				クロシデムシ			
2054				ヤマトモンシデムシ			
2055				ヨツボシモンシデムシ		$\perp$	
2056			ハネカクシ科	オオアカバハネカクシ			
2057				ツヤケシヒゲブトハネカクシ	4	+	
2058				セナガヒゲブトハネカクシ	4		
2059				ウスアカヒゲブトハネカクシ	4		
2060	1			ホソセスジヒゲブトハネカクシ	<b>↓</b>		
2061				ムネビロハネカクシ	4	+	
2062				キアシヒラタチビハネカクシ		+	
2063				アカイクビハネカクシ	₩	+	
2064	-			キバネニセユミセミゾハネカクシ	+	+	
2065	-			ニセユミセミゾハネカクシ	₩		
2066	1			ムナクボヒラナガハネカクシ	+		
2067				オオヒョウタンメダカハネカクシ	<b>↓</b>		
2068				コガシラホソハネカクシ			
2069				ハラモンムネクボハネカクシ	<b>↓</b>		
2070	1			オオマルズハネカクシ	+	+	
2071	1			コマルズハネカクシ	+	+	_
2072				ハイイロハネカクシ	<del>                                     </del>	+	
2073				ウスチャセミゾハネカクシ	+	+	
2074				クロセミゾハネカクシ	<b>↓</b>		
2075				ハマベオオハネカクシ	+		
2076				ツマグロアカバハネカクシ			
2077				チビツヤムネハネカクシ			
2078				ヤマトチピアリノスハネカクシ	<b>↓</b>		
2079				キアシナガハネカクシ	+		
2080				コバネナガハネカクシ	4		
2081				アカフタミゾチビハネカクシ	<b>↓</b>		
2082	1			クロズトガリハネカクシ			
2083				ハスオビキノコハネカクシ			
2084				チャバネトガリハネカクシ	<b>↓</b>		
2085				ヤマトイクビハネカクシ			
2086				アカバヒメホソハネカクシ			
2087				ツマキツヤナガハネカクシ			
2088				オオサビイロモンキハネカクシ			
2089				サビハネカクシ			
2090				ツノフトツツハネカクシ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 28/37)

						ダム湖周辺	
No.	綱名	目名	科名	和名	110		
2001	昆虫綱	  コウチュウ目(鞘翅目)	  ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ	H6	H10	H15
2092	CC TY MA	コンノユンロ(新起ロ)	714737714	アラハダドウナガハネカクシ			
2093				ルリコガシラハネカクシ			
2094				クロコガシラハネカクシ			
2095				マルコガシラハネカクシ			
2096				キアシチビコガシラハネカクシ			
2097				ミイロチビハネカクシ			
2098				アカバクビブトハネカクシ			
2099				ドウガネハネカクシ			
2100				クロガネハネカクシ			
2101				アカバハネカクシ			
2102				トビムシハネカクシ			
2103				チビハバビロハネカクシ			
2104				アカバツヤムネハネカクシ			
2105				ホソチャバネコガシラハネカクシ			
2106				クビボソハネカクシ			
2107				ハスモンヒメキノコハネカクシ			
2108				ヒメキノコハネカクシ			
2109				ヒメクロキノコハネカクシ			
-				Sepedoph i lus属			
2110				ヒゲブトチビハネカクシ			
2111				ツヤケシシワチビハネカクシ			
2112				ホソフタホシメダカハネカクシ		<b></b>	
2113				アシマダラメダカハネカクシ		<b>↓</b>	
2114				コクロマルクビハネカクシ		<b></b>	
2115				ヤマトマルクビハネカクシ		<b>↓</b>	
2116				クロズマルクビハネカクシ			
				Tachinus属		$\vdash$	
2117				キベリシリホソハネカクシ		<b></b>	-
2118				ツヤグロシリホソハネカクシ		++	
-				Tachyporus属			
2119				アカアシユミセミゾハネカクシ		$\vdash$	
2120				ユミセミゾハネカクシ		++	
2121				キバネナガハネカクシ			
2122				ホソガタナガハネカクシ			
2123				ウスイロホソナガハネカクシ			
2124				キノコハネカクシ属			
				ハネカクシ幼虫			
-				ハネカクシ科		$\longrightarrow$	
2125			マルハナノミ科	キイロチビマルハナノミ			
2126				マルガタチビマルハナノミ			
2127				ウスチャチビマルハナノミ			
2128				クロチビマルハナノミ			
2129			1	トビイロマルハナノミ			
2130			センチコガネ科	オオセンチコガネ			
2131			. = 10	センチコガネ			
2132			クワガタムシ科	コクワガタ			
2133				ミヤマクワガタ			
2134				スジクワガタ			
2135				アカアシクワガタ			
2136			_ 12 1 1 2 73	ノコギリクワガタ			
2137			コガネムシ科	コイチャコガネ			
2138				カプトムシ			
2139				ドウガネブイブイ			
2140				サクラコガネ			
2141				ツヤコガネ			
2142				ハンノヒメコガネ			
2143 2144				<u>ヒメコガネ</u> マグソコガネ		<del>                                     </del>	
2144						+	
2145				オビマグソコガネ セマダラコガネ			
					-	+	
2147 2148				ヒメコエンマコガネ マエカドコエンマコガネ		+	
2148				マエカトコエクマコカネ ハナムグリ		+	-
2149				アオハナムグリ		+	
2150				コヒゲシマピロウドコガネ	1	+	
2151				ナガチャコガネ	1	+	
2152				<u> </u>		+	
2153				グロコガネ オオクロコガネ	<b>-</b>	+	
2155				コクロコガネ		+	-
2156				アカビロウドコガネ		+	
2157				ピロウドコガネ		+ +	
2158				カミヤビロウドコガネ		<del>                                     </del>	
2159				レメビロウドコガネ ヒメビロウドコガネ		+	
2160				オオピロウドコガネ		+	
2161				マルガタビロウドコガネ	l	+	
2162				コフキコガネ		+	-
2163				オオスジコガネ		<del>                                     </del>	
2164				ツヤスジコガネ		+	
2165				レメスジコガネ ヒメスジコガネ		+	
2166				コガネムシ		+-+	
2167				スジコガネ		+	
2168				スショガネ カバイロビロウドコガネ		+	
2169				ヒラタハナムグリ		+	
2170				クロマルエンマコガネ	1	+	
2170				コプマルエンマコガネ		+	
				<u>コノマルエノマコガネ</u> シナノエンマコガネ		+	
2172						<del>                                     </del>	
2173				マルエンマコガネ		+	
2174				コアオハナムグリ		++	
2175				マメダルマコガネ	-		
2176				キスジコガネ			
2177		1	I.	ヒゲコガネ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 29/37

No	烟夕			10 Ang		ダム湖周辺	
No.	綱名	目名	科名	和名	H6	H10	H15
2178	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マメコガネ	110	1110	1110
2179				ナラノチャイロコガネ			
2180				シロテンハナムグリ			
2181				カナブン アオカナブン	-		
2182 2183	-			<u> アオガテブブ</u> ヒゲナガビロウドコガネ			
2184				ツヤチャイロコガネ			
2185				イマダテチャイロコガネ			
2186				ナエドコチャイロコガネ			
2187				オオヒラチャイロコガネ			
2188	•		フリトゲノンが	ホソケシマグソコガネ  シラフチビマルトゲムシ			
2189 2190			マルトゲムシ科 ヒメドロムシ科	シラファビマルトケムシ   キベリナガアシドロムシ			
2191			C/ T HZ/ II	キスジミゾドロムシ			
2192				イプシアシナガドロムシ			-
2193				アシナガミゾドロムシ			
2194				アワツヤドロムシ			
2195 2196	-		ナガドロムシ科	<u>ナガドロムシ</u> タテスジナガドロムシ			
2197			ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ			
2198				マスダチビヒラタドロムシ			
2199			ナガハナノミ科	コヒゲナガハナノミ			
2200			タマムシ科	アオグロナガタマムシ	1		
2201	-			Agri lus属 ヒメヒラタタマムシ	1		
2201				ウバタマムシ	l		
2203				ヤマトタマムシ			
2204				ヒラタチビタマムシ			
2205				クズノチビタマムシ			
2206				マメチビタマムシ			
2207 2208				ズミチビタマムシ			
2209				アカガネチビタマムシ			
-				Trachys属			
2210			コメツキムシ科	マダラチビコメツキ			
2211				サビキコリ ムナビロサビキコリ			
2212 2213				ホソサビキコリ			
2214				ヒメサビキコリ			
2215				ミヤマホソチャバネコメツキ			
2216				クリイロアシブトコメツキ			
2217				ホソハナコメツキ			
2218	-			Cardiophorus属 キバネホソコメツキ			
2219				オオナガコメッキ			
2220				ムネスジダンダラコメツキ			
2221				チャイロコメツキ			
2222				ホソツヤケシコメツキ			
2223 2224				ニセクチプトコメツキ クロツヤクシコメツキ			
2224				ハネナガオオクシコメツキ			
2226				クシコメツキ			
2227				チャバネクシコメツキ			
-				Me lanotus属			
2228				ミズギワコメッキ	<b>-</b>		
2229 2230				クロツヤミズギワコメツキ ウバタマコメツキ	1		
2231				ヒゲコメツキ			
2232				オオハナコメツキ			
				Platynychus属			
2233				ヒメホソキコメツキ			
2234 2235	1			カタモンチビコメツキ ニホンチビマメコメツキ			
2235				ニホンテヒマメコスツキ Quas i mus属	l		
2236				Scutellathous属			
2237				クチプトコメツキ			
2238				オオツヤハダコメツキ			
2239				オオクシヒゲコメツキ	-		
2240 2241				<u>ヘリムネマメコメツキ</u> ウスイロカネコメツキ	<del> </del>		
- 2241				コメツキムシ科			
2242			コメツキダマシ科	ヒメフトコメツキダマシ			
2243				キンケヒメフトコメツキダマシ			
2244				フチトリコメツキダマシ			
2245				ツヤヒメミゾコメツキダマシ	-		
2246 2247				オオチャイロコメツキダマシ エノキコメツキダマシ	1		
2247				ナガコメツキダマシ	1		
-				コメツキダマシ科			
2249			ヒゲブトコメツキ科	ナガヒゲブトコメツキ			
2250				チャイロヒゲブトコメツキ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 30/37)

No.	H6	H10	H15
2252   2253   2254   2255   2256   2255   2256   2255   2256   2257   2257   2258   2257   2258   2259			
2253   2254   2255   2256   2255   2256   2257   2258   2257   2258   2259   2259   2260   2260   2261   2261   2261   2261   2262   2263   2263   2264   2266   2267   2268   2266   2267   2268   2267   2268   2267   2268   2267   2268   2267   2277   2278			
セスジジョウカイ クビアカジョウカイ クビアカジョウカイ クビアカジョウカイ フライ ジョウカイボン セボシジョウカイ フライロジョウカイ フタイロジョウカイ フタロジョウカイ フタロジョウカイ フタロジョウカイ フタロジョウカイ フタロジョウカイ クロツマキジョウカイ ウロツマキジョウカイ ウロツマキジョウカイ 地間 thinous属 上来ショウカイ Mal thinous属 ヒメジョウカイ Mikadocantharis属 ミヤマクビボソジョウカイ クロとメグョウカイ クロとメジョウカイ クロとメジョウカイ フロシャクビボソジョウカイ フロシャクビボソジョウカイ フロシャクビボソジョウカイ フロショウカイ フロショウカイ マルムネジョウカイ マルムネジョウカイ マルムネジョウカイ マルムネジョウカイ マルムネジョウカイ マルムネジョウカイ スポケッカ カー ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・			
2255   2256   2257   2258   2257   2258   2257   2258   2259   2259   2259   2259   2259   2259   2250			
2256   2257   2258   2259   2260   2259   2260   2260   2260   2260   2261   2261   2261   2262   2262   2263   2263   2263   2263   2263   2264   2265   2266   2266   2266   2267   2268   2267   2268   2267   2268   2267   2268   2270   2271   2272   2273   2274   2275   2276   2277   2278   2277   2278   2277   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2276   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278			
セボシジョウカイ   フタイロジョウカイ   フタロンジョウカイ   フタロンジョウカイ   フタロンジョウカイ   フタロンジョウカイ   フタロンジョウカイ   フタロンジョウカイ   フタロングマキジョウカイ   フスパツマキジョウカイ   フスパツマキジョウカイ   フスパツマキジョウカイ   Mal thinus属   エネミゾクロチビジョウカイ   Mal thindes属   ヒメジョウカイ   Mikadocantharis属   モンジョウカイ   フロング・アクはポソジョウカイ   フロング・アクはポソジョウカイ   フロング・アクはポソジョウカイ   フロング・アクはカンジョウカイ   フロング・ファングョウカイ   フロング・ファングョウカイ   フロングョウカイ   フロングョウカイ   フロングョウカイ   フロングョウカイ   ファングョウカイ   ファングョウカイ   ファングョウカイ   ファングョウカイ   ファングョウカイ   ファング・ファング・アクロンボタル   ファンボタル   ファンボタル   ファンボタル   ファンボタル   ファンボタル   フロハナボタル   ファンド・ブロハナボタル   ファンド・ブロハナボイル   ファンド・ブロハナイル   ファンド・ブロハナイル   ファンド・ブロハナイル   ファンド・ブロハナイル   ファンド・ブロハナイル   ファンド・ブロハナイル   ファンド・ブロハナイル   ファンド・ブロハナイル   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール   ファンゲール			
2258   2259   2250   2260   2261   2260   2261   2262   2262   2262   2262   2262   2262   2263   2263   2264   2265   2266   2266   2266   2266   2266   2266   2266   2266   2266   2267   2268   2270   2270   2272   2273   2277   2278   2277   2277   2277   2277   2277   2277   2277   2278   2277   2277   2278   2277   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2288   2288   2288   2288   2288   2288   2288   2288   2288   2288			
2259   2260   2260   2261   2261   2261   2261   2261   2262   2262   2262   2263   2263   2263   2264   2265   2266   2267   2268   2267   2268   2269   2270   2271   2272   2273   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2278   2279   2279   2277   2278   2278   2278   2279   2277   2278   2278   2278   2278   2278   2278   2279   2278   2288   2288   2288   2288   2288   2288   2288   2288			
2260   クロツマキジョウカイ   ウスパッマキジョウカイ   ウスパッマキジョウカイ			
2261			
Mal thinus属			
- 2263 - 2264 2265 - 2266 2267 - 2268 2267 2269 2270 - 2271 2272 2273 2276 2277 2278			
とメジョウカイ   Mikadocantharis属   2264   2265   2265   2266   2267   2268   2267   2268   2269   2270   2271   2272   2273   2275   2276   2277   2278   2277   2278   2277   2277   2278   2277   2278   2277   2278   2277   2277   2277   2277   2278   2277   2278   2277   2278			
- 2264 2265			
2264   2265			
2265   クロヒメクピポソジョウカイ   Podabrus属   エグリマメジョウカイ   Podabrus属   エグリマメジョウカイ   マルムネジョウカイ   マルムネジョウカイ   マルムネジョウカイ   フロヒメジョウカイ   フロヒメジョウカイ   Podapnycha属   フリイロジョウカイ   Podapnycha属   フリイロジョウカイ   Podapnycha属   Podapnycha属   Podapnycha属   Podapnycham   Podapnych			
- 2266 2267 2267 2268 - 2268 - 2269 2270 - 2270 - 2271 2271 2271 2272 2273 2274 2275 2276 2277 2277 2277 2277 2277 2277			
2266   2267   2268   2267   2268   2268   2268   2268   2269   2269   2270   2270   2271   2272   2273   2275   2276   2277   2278   2277   2278   2277   2278			
マルムネジョウカイ   マルムネジョウカイ   クロヒメジョウカイ   クロヒメジョウカイ   クロヒメジョウカイ   Rhagonycha属   クリイロジョウカイ   キンイロジョウカイ   キンイロジョウカイ   キンイロジョウカイ   キンイロジョウカイ   キンイロジョウカイ   タリカイボン科   オバボタル   タリカイボン科   オバボタル   イケボタル   スデケクロペニボタル   スデケクロペニボタル   カクムネペニボタル   クロハナボタル   フロハナボタル   フロハナボタル   フロアシメボタル   クロアミメボタル   クロアミメボタル   クロアミメボタル   クロアミメボタル   フロアミメボタル   ド   フロア・コード			
2268			
- 2269 2270 - 2270 - 2271 2271 2272 2272 2273 2273 2274 2275 2276 2277 2277 2278			
キンイロジョウカイ   ジョウカイボン科   ジョウカイボン科   ファイフ   ファイブ   ファミメボタル   ファミメボタル   ファミメボタル   ファミメボタル   ファミメボタル   ファミメボタル   ファミメボタル   ファミス・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン			
- ジョウカイボン科			
- ジョウカイボン科			
2272   グンジボタル   ヘイケボタル   2274   ペニボタル科   ユアサクロベニボタル   カクムネベニボタル   カクムネベニボタル   クロハナボタル   2276   2277   2278   クロアミメボタル   クロアミメボタル   クロアミメボタル   クロアミメボタル   カクロアミメボタル   カクロアミメボタル   カクロアミメボタル   カウロアミメボタル   カロアミメボタル   ド   カロア・コード			
2273			
2274   2275   2276   2277   2278   2278   279   27			
カウムネペニボタル   カウムネペニボタル   クロハナボタル   ニセクロハナボタル   ニセクロハナボタル   フロアミメボタル   クロアミメボタル   フロアミメボタル   フロアミメボタル   フロアミメボタル   フロアミメボタル   フロアミメボタル   フロアミメボタル   フロアミメボタル   フェース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1	
2276 2277 2278 クロハナボタル クロアミメボタル			
2277 2278 ニセクロハナボタル クロアミメボタル		1	
2278		+	
	-	+	
-		1	
2279 カツオブシムシ科 カマキリタマゴカツオブシムシ			
2280     チピケカツオブシムシ       2281     タバコシバンムシ			
2281   シバンムシ科   タバコシバンムシ   シバンムシ科   シバンムシ科		-	
2282   ナガシンクイムシ科   ケヤキヒラタキクイムシ		+	
プランティーフャーファーファースラー			
2284   ジョウカイモドキ科   ホソヒメジョウカイモドキ			
2285			
2286 ヒロオビジョウカイモドキ			
2287			
2288			
2289 ツツシンクイ科 ツマグロツッシンクイ			
2290 ムクゲキスイムシ科 ハスモンムクゲキスイ			
2291 テントウムシ科 ウンモンテントウ			
2292 ムーアシロホシテントウ			
2293 ナナホシテントウ			
2294 マクガタテントウ			
2295 オオニジュウヤホシテントウ			
2296 ナミテントウ			
2297 アトホシヒメテントウ			
- Nephus属			
2298 ヨツボシテントウ			
2299		1	
2300 ハレヤヒメテントウ		+	
2301 クモガタテントウ		1	
2302 ベニヘリテントウ		1	
2303   パパヒメテントウ   アイザンマニントウ		+	
2304 パイゼヒメテントウ		+	-
2305   オニヒメテントウ   クロヘリヒメテントウ		+	
2306 クロヘリヒメテントウ 2307 クロヒメテントウ		+	-
2308 カワムラヒメテントウ		+	
2306		+	<del></del>
2310 コクロヒメテントウ		+	
3310   2311   クロテントウ		1	
2312 プログライン フログラ フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログラ フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログライン フログラ フログラ フログラ フログラ フログラ フログラ フログラ フログラ		1	
1		1	
2314 コープラングにファイン コープラングにファイン コープラングにファイン コープラング ローディー コープラング ローディー コープラング ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープラン ロープラン ロープ ロープラ ロープラン ロープラン ロープ ロープラン ロープ ロープ ロープ ロープ ローク ロープ ロープ ロープラン ロープ ロー ロープ ローク ロープ ロープ ローク ロー	1	1	
2315		1	
Cryp tophagus属	İ	1	
2316 マルガタキスイ			
2317 Henoticus属			
- キスイムシ科			
2318   ヒラタムシ科   キボシチピヒラタムシ			
2319			
- ヒラタムシ科			
2320 ミジンムシダマシ科 クロミジンムシダマシ			
2321 コゲチャミジンムシダマシ			
テントウムシダマシ科   ヨツボシテントウダマシ			
2323 セダカテントウダマシ			
2324 チャイロケブカテントウダマシ			
2325 キボシテントウダマシ			
2326 オオキノコムシ科 カタモンオオキノコ			
2327   カタモフィルチンコ レメオピオオキノコ			
2327 ヒメオピオオキノコ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 31/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
					H6	H10	H15
	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキモドキ科	キムネヒメコメツキモドキ			
2332				ツマグロヒメコメツキモドキ Crumtonbillus屋			
2333 2334				Cryptophilus属 ルイスコメツキモドキ			
2335				ケシコメツキモドキ			
2336				ケナガマルキスイ			
2337			ヒメマキムシ科	ウスチャケシマキムシ			
2338			ケシキスイ科	ドウイロムクゲケシキスイ			
2339				コクロムクゲケシキスイ			
2340 2341				コゲチャセマルケシキスイ			
2341				クロハナケシキスイ ウスチャデオキスイ			
2343				クリイロデオキスイ			
-				Carpophilus属			
2344				マルマルケシキスイ			
2345				ナミヒラタケシキスイ			
2346				Epuraea属 マメヒラタケシキスイ			
2347				モンチビヒラタケシキスイ			
2348				キイロチビハナケシキスイ			
2349				クロヒラタケシキスイ			
2350				ヨツボシケシキスイ			
2351				マルヒラタケシキスイ			
2352				キノコヒラタケシキスイ			
2353 2354			1	ウスオビカクケシキスイ オオキマダラケシキスイ		+ +	-
2355				クロキマダラケシキスイ			
2356				マルキマダラケシキスイ			
-			1. (1) 1 ( 5 %)	ケシキスイ科			
2357			ヒメハナムシ科	ベニモンアシナガヒメハナムシ			
2358 2359			1	キイロアシナガヒメハナムシ フタスジヒメハナムシ			
2360				エムモンチビヒメハナムシ			
2361				チビヒメハナムシ			
2362			ホソヒラタムシ科	ミツモンセマルヒラタムシ			
2363				ホソヒラタキスイ			
2364				ミツカドコナヒラタムシ			
2365				Silvanoprus属 フタトゲホソヒラタムシ			
2366			ニセクビボソムシ科	クシヒゲニセクビボソムシ			
2367				セグロニセクビボソムシ			
2368			クチキムシ科	アオバクチキムシ			
2369				オオクチキムシ			
2370				クチキムシ			
2371 2372				ホソクロクチキムシ ウスイロクチキムシ			
2373				クリイロクチキムシ			
2374				クロツヤバネクチキムシ			
2375			アリモドキ科	アカホソアリモドキ			
2376				ツヤチビホソアリモドキ			
2377 2378				コクロホソアリモドキ ホソクビアリモドキ			
2379				ヒゲナガクビボソムシ			
2380				キアシクビボソムシ			
2381				アカクビボソムシ			
-				Macratria属			
2382				ヨツボシホソアリモドキ			
2383 2384			ハムシダマシ科	アカモンホソアリモドキ アオハムシダマシ			
2385			1,1477 X 714	ナガハムシダマシ			
2386			ナガクチキムシ科	ビロウドホソナガクチキ			
2387			1	Falsomordellina属			
2388			1	ハナノヒメハナノミ		$\perp$	
2389				Glipa属			
2390 2391				アマミヒメハナノミ チャオビヒメハナノミ			
2392			1	カグヤヒメハナノミ			
2393			1	ミカドヒメハナノミ			
2394				ヤマモトヒメハナノミ			
-			1	Mordellina属			
2395				クロヒメハナノミ Wordel Listens屋			
2396				Mordellistena属 キンオビハナノミ			
2390			1	インオレバナノミ ハナノミ科			
2397	1		コキノコムシ科	ヒゲブトコキノコムシ			
2398			カミキリモドキ科	ルリカミキリモドキ			
2399				ハネアカカミキリモドキ			
2400			1	モモブトカミキリモドキ			
2401 2402				キアシカミキリモドキ キイロカミキリモドキ			
2402				キバネカミキリモドキ			
2404			1	アオカミキリモドキ			
-				Xanthochroa属			
2405			アカハネムシ科	アカハネムシ			
2406			ハナノミダマシ科	ホソフナガタハナノミ			
2407 2408			ゴミムシダマシ科	<u>ヒメゴミムシダマシ</u> ヨツボシゴミムシダマシ			
2408				ナガニジゴミムシダマシ			
2410				クロホシテントウゴミムシダマシ			
2411			1	モンキゴミムシダマシ			
2412				スナゴミムシダマシ			
2413			I .	カクスナゴミムシダマシ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 32/37)

No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
	AD LI	H H	17.6	78 🖬	H6	H10	H15
	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ホソスナゴミムシダマシ			
2415				ヒメカクスナゴミムシダマシ			
2416				スジコガシラゴミムシダマシ			
2417				カブトゴミムシダマシ			
2418 2419				マルツヤキノコゴミムシダマシ オオメキノコゴミムシダマシ			
2420				クロツヤキノコゴミムシダマシ			
2421				キマワリ			
2422				ヒメマルムネゴミムシダマシ			
2423				ニジゴミムシダマシ			
2424				モトヨツコプゴミムシダマシ			
2425				ヤマトエグリゴミムシダマシ			
2426				ヨツコブゴミムシダマシ	1		
2427				エグリゴミムシダマシ ゴミムシダマシ科	1	+	
2428			カミキリムシ科	ビロウドカミキリ	1		
2429			132111	ムモンベニカミキリ			
2430				ツヤケシハナカミキリ			
2431				ゴマダラカミキリ			
2432				サビカミキリ			
2433				ムネツヤサビカミキリ			
2434				キクスイモドキカミキリ			
2435 2436				ツシマムナクボカミキリ エグリトラカミキリ		1	
2437				アカハナカミキリ			
2438	İ			ホソカミキリ	1		
2439				ヨツキボシカミキリ			
2440				アトモンマルケシカミキリ			
2441				シロオビゴマフカミキリ	1		
2442				シラホシカミキリ	-		
2443 2444				<u>ヨツスジハナカミキリ</u> オオヨツスジハナカミキリ	1		
2444				   とうカミキリ	1		
2446				ヘリグロリンゴカミキリ	1		
2447				ラミーカミキリ			
2448				ニンフホソハナカミキリ			
2449				チャイロヒメハナカミキリ			
2450				フタオビチビハナカミキリ			
-				Pidonia属			
2451				ノコギリカミキリ	-		
2452 2453				ワモンサビカミキリ トガリシロオビサビカミキリ			
2454				アトモンサビカミキリ			
2455				ヒトオビアラゲカミキリ			
2456				クロカミキリ			
2457				ヨツボシカミキリ			
2458				コウヤホソハナカミキリ			
2459				アオスジカミキリ			
2460			ハムシ科	キクビアオハムシ	1		
2461 2462				ヒメカミナリハムシ アザミカミナリハムシ		+	
2463				カミナリハムシ			
2464				スジカミナリハムシ			
2465				アカバナトビハムシ			
-				Altica属			
2466				キイロツブノミハムシ			
2467				ツブノミハムシ			
2468				サメハダツブノミハムシ		1	
2469 2470				ホソルリトビハムシ フタイロセマルトビハムシ	1	+	
2471				オオアカマルノミハムシ	1	+	
2472				ムナグロツヤハムシ	1		
2473				カクムネトビハムシ			
2474				オオキイロノミハムシ			
2475				ウリハムシモドキ	1		
2476				ウリハムシ	1		
2477 2478				クロウリハムシ アオバネサルハムシ	1		
2478 2479				アズキマメゾウムシ	1	+	
2480				ハラグロヒメハムシ	1		
2481	İ			ヒメカメノコハムシ			
2482				フタイロヒサゴトビハムシ			
2483				ヒメドウガネトビハムシ			
2484				ヒサゴトビハムシ			
2405				Chaetocnema属	1	+ -	
2485 2486	-			ムシクソハムシ	1		
2486 2487	1			ヤナギハムシ ウエツキブナハムシ	1		
2487 2488				アオバミドリトビハムシ	1		
2489	İ			バラルリツツハムシ			
2490				タテスジキツツハムシ			
2491				ヨツモンクロツツハムシ			
2492				クロボシツツハムシ			
-				Cryptocephalus属			
2493				マダラアラゲサルハムシ			
2494				イネネクイハムシ	1		
2495				キバラヒメハムシ	1		
2496				Exosoma属 クワハムシ	1	+ -	
2496 2497				グリバムシ ジュンサイバムシ	1	+ -	
			1				
2498				イタドリハムシ			

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 33/37)

						点,细用油	
No.	綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺	
2500	昆虫綱	757-50/########	11 / 2.48	オルボンルトン	H6	H10	H15
2500	<b>E</b> 出網	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤツボシハムシ フジハムシ			
2502	1			キバネマルノミハムシ			
2503	1			ヒゲナガルリマルノミハムシ			
2504	1			ケプカクロナガハムシ			
2505	İ			キオビクビボソハムシ			
2506				アカクビボソハムシ			
2507	İ			ヤマイモハムシ			
2508	Ī			ルリハムシ			
2509				サシゲトビハムシ			
2510	1			イヌノフグリトビハムシ			
2511	<u> </u>			オオバコトビハムシ			
2512				クビアカトビハムシ			<u> </u>
2513	ł			キアシノミハムシ Luperomorpha属			
2514	1			クロウスパハムシ			
2515				コフキサルハムシ			
2516				フタスジヒメハムシ			
2517				セマルトビハムシ			
2518				ホタルハムシ			
2519				ムネアカウスイロハムシ			
2520				ヒメウスイロハムシ			
2521	-			キイロクワハムシ	<b>.</b>		
-	1			Monolepta属	1		
2522	+			ルリマルノミハムシ	1		
2523 2524	1			コマルノミハムシ ドウガネツヤハムシ	<b>l</b>		
2525				アオグロツヤハムシ	1		
2526				ヒメツヤハムシ	l		
2527	1			プタクサハムシ			
2528	İ			ヒメキバネサルハムシ			
2529				アトボシハムシ			
2530	Ī			ダイコンハムシ			
2531	[			チャバネツヤハムシ			
2532				ヤナギルリハムシ			
2533	<u> </u>			フタホシオオノミハムシ			
2534	ļ			クビボソトビハムシ			
2535				ナトビハムシ			
2536 2537	<u> </u>			サンゴジュハムシ ニレハムシ			
2538	1			ドウガネサルハムシ			
2539				キボシルリハムシ			
2540				アケビタマノミハムシ			
2541	İ			キイロタマノミハムシ			
2542	İ			ルリウスバハムシ			
2543	j			ヒゲナガウスバハムシ			
2544				クロバヒゲナガハムシ			
2545				イチモンジカメノコハムシ			
2546	<u> </u>			トビサルハムシ			
2547	ļ			キカサハラハムシ			
2548 2549				ムナグロナガハムシ アラハダトビハムシ	}		
2549				ガマズミトビハムシ	<del> </del>		
2551	1		ヒゲナガゾウムシ科	ヒソハギハムシ	l		
2552	1			シリアカタマノミハムシ	l		
2553	†			スネアカヒゲナガゾウムシ			
2554				キノコヒゲナガゾウムシ			
2555	İ			ウスモンツツヒゲナガゾウムシ			
2556				シロヒゲナガゾウムシ			
2557				クロフヒゲナガゾウムシ			
2558			ホソクチゾウムシ科	マメホソクチゾウムシ			
2559	1			ヒレルホソクチゾウムシ			
2560			ナレンプンジ	アカクチホソクチゾウムシ	<b>!</b>		
2561 2562			オトシブミ科	ウスモンオトシブミ			
2562				ヒメクロオトシブミ ムツモンオトシブミ	1		
2564				エゴツルクビオトシブミ			
2565				コナライクビチョッキリ	l		
2566				ナラルリオトシブミ			
2567	†			ハギルリオトシブミ			
2568	1			カシルリオトシブミ			
2569				リュイスアシナガオトシブミ			
2570				アシナガオトシブミ			
2571	]			ヒメコブオトシブミ			
2572			ゾウムシ科	Acallinus属			
2573				ナカグロカレキゾウムシ			
2574				ウスモンカレキゾウムシ			
2575	-			ナカスジカレキゾウムシ			
2570	-			Acionemis属	<b>.</b>		
2576 2577				トゲアシゾウムシ イチゴハナゾウムシ			
<b>4311</b>	1	İ	I .	ココテ ヨハテ ノンムン		1	

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 34/37)

M-	<b>4</b> ⊠ <b>4</b> 7		1147	1047		ダム湖周辺	
No.	網名	目名	科名	和名	Н6	H10	H15
2578	昆虫綱	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クワヒメゾウムシ			
2579				ホソクチカクシゾウムシ			
2580				ツヤチビヒメゾウムシ			
2581				ダイコンサルゾウムシ			
2582				カナムグラサルゾウムシ Ceutorhynchus属			
2583				ジュウジコプサルゾウムシ			
2584				セダカシギゾウムシ			
2585				コナラシギゾウムシ			
2586				ジュウジチビシギゾウムシ			
2587				クリシギゾウムシ			
-				Curculio属			
2588				チビクチカクシゾウムシ タバゲササラゾウムシ			
2589 2590				ヤナギイネゾウモドキ			
2591				コクロアナアキゾウムシ			
2592				トドマツアナアキゾウムシ			
2593				シロコブゾウムシ			
2594				コフキゾウムシ			
2595				タデサルゾウムシ			
2596				マツアナアキゾウムシ			
2597				サビノコギリゾウムシ			
2598 2599				イネミズゾウムシ ハスジカツオゾウムシ			
2600				ウスアオクチプトゾウムシ	1		
2601	İ			ヒメクロツツキクイゾウムシ	l		
2602				ネジキトゲムネサルゾウムシ			
2603				ツツジトゲムネサルゾウムシ			
2604				ホホジロアシナガゾウムシ			
2605				キスジアシナガゾウムシ		-	
2606 2607				カシアシナガゾウムシ クロアシナガゾウムシ			
2608				オジロアシナガゾウムシ			
2609				トゲハラヒラセクモゾウムシ			
-				Metialma属			
2610				カシワクチプトゾウムシ			
-				Myllocerus属			
2611				チビヒョウタンゾウムシ			
2612				マツチャイロキクイゾウムシ			
2613 2614				<u>ヒレルクチブトゾウムシ</u> リンゴコフキゾウムシ			
2615				コヒゲボソゾウムシ			
2616				ツチイロヒゲボソゾウムシ			
2617				ヒラズネヒゲボソゾウムシ			
2618				リンゴヒゲナガゾウムシ			
2619				ウスイロヒゲボソゾウムシ			
2620				ハダカヒゲボソゾウムシ			
2621				Phyllobius属			
2622				スグリゾウムシ アラハダクチカクシゾウムシ			
2623				ギシギシクチプトサルゾウムシ			
2624				ムネスジノミゾウムシ			
-				Rhynchaenus属			
2625				キイチゴトゲサルゾウムシ			
2626				ニセマツノシラホシゾウムシ			
2627				Smicronyx属			
2628			オサゾウムシ科	イコマケシツチゾウムシ			
2629 2630			3 9 7 7 4 7 14	キクイサビゾウムシ オオゾウムシ	1	<del>                                     </del>	
2631			キクイムシ科	ネッカコキクイムシ	1		
				Cryphalus属			
2632				フィリピンキクイムシ			
2633				ハイマツアトマルキクイムシ			
2634				タブノコキクイムシ			
2635				クワノキクイムシ	1		
2636 2637	1			シイノホソキクイムシ ハギキクイムシ	1		
2638				ハンノキキクイムシ	1		
2639				ザイノキクイムシ亜科	l		
				キクイムシ科			
2640		ハチ目(膜翅目)	ミフシハバチ科	アカスジチュウレンジ			
2641				チュウレンジバチ			
2642			ハバチ科	セグロカブラハバチ			
2643 2644				ニホンカブラハバチ クロムネハバチ			
2644				クロムネババチ ヒゲナガババチ	1		
2646				クロハバチ	1		
2647				アシブトヒゲナガハバチ			
2648				チャイロハバチ			
2649				ルイスアカマルハバチ			
2650				クロイロシマハバチ		$oxed{\Box}$	
2651				ヒゲナガクロハバチ			
2652				Priophorus属 トムソンハムグリハバチ			
2653 2654				セマダラハバチ			
2655				オオコシアカハバチ			
2656				サクツクリハバチ	1		
2657				ゼンマイハバチ			
2658				ツノキクロハバチ			
2659				オメガアオハバチ			
-			6 1 2 1 12 1 13 1 13 1 13 1 13 1 13 1 13	ハバチ科			
2660	I		クビナガキバチ科	クビナガキバチ科	I		

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 35/37)

日本語画	lo.	個々			11 (FIII LIDING : 00)		ダム湖周辺	
### 1991 ( # 1991	NO.	綱名	目名	科名	和名	Н6	H10	H15
1900	2661	昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	コマユバチ科	サクラスカシサムライコマユバチ		<del> </del>	
1994								
792 19 45 74 3 2 3 1 (字						<u> </u>	+	
# ** *** *** *** *** *** *** *** *** **							+	
マリン   マ							+	
3888							1 1	
1980								
EXPT_PICE   STATE	2669							
E	-							
クロピケナカコマスパケ						<b></b>	1	
### 1975 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *						<b>!</b>	+	
2017年						<b>!</b>	+ +	
### 1973 ### 25 7 3 2 1 1 1							+ +	
国力(マグラコマコ//年   1975年)   1975年   19							1	
### 1985	2676							
カモドキバチ					ヨコハママダラコマユバチ		1	
ヨコハマコマコバケ					カモドキバチモドキ	<b>-</b>	+	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						<del>                                     </del>	+	
F ビキ ( 口 コウラコマコ ( F )							+	
1							1	
20日でアラメオガにメバチ   2005   201	-				コマユバチ科			
20mm   20mm				ヒメバチ科	スジコンボウヒメバチ			
2886						<u> </u>	$\perp$	
( ) カボバテガリとメバテ						<del>                                     </del>	+	
2888						1	+	
2899   スギハラチビアメバテ   2980   シロモンとうタビスバテ   2981   2011ととうタビスバテ   2011ととうタブアドリバテ   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とのカンド・   2011とからから   2011とから   201						l	+	
20日ととうすとババテ							+	
2891								
2893								
2004   日本の						<del>                                     </del>	+	
本文グラコシボリトガリヒメバチ						<b>!</b>		
Rebrowy, heros						<del> </del>	+ +	
20m/ウアメバチ							+	
とログモンドンド   1							1	
アマトトリヤドリとババチ								
アオムシとラクとバ/テ								
27703								
タカオウスグロアメバチ   1705   1706   1707						<b>!</b>	+ +	
2706   2707   2708   2月か2オナガバチ   2708   2月か2オナガバチ   2708   2709   2709   2700   2707   2708   2月か2カナガル   2709   2700						i e	+ +	
2706							+	
エゾフタオルとメバチ   12708								
2708					エゾフタオマルヒメバチ			
とグナガクロパチ科   フナガクロパチ科   フナガクロパチ科   フナガクロパチ科   フナガウロロパチ科   フナガウロのパチ科   フナガウロのパチ科   フナガウロのパチ科   フナガウロのパチ科   フナガウロのパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロパチ科   フナガウロアリ   フナガウロアリ   フナガウのアリカオカフリ   フナガカフリ   フナガカカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカカフリ   フナガカカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガカフリ   フナガイアリカイアリカイアリカイアリカイアリカイアリカイアリカイアリカイアリカイアリカ	-							
コンボウヤセバチ科						<b></b>	+	
2711						<b></b>	+	
プラピロクロパチ科						1	+	
ファーマー							1	
2714	-							
イシハラクロバチ科								
タマゴクロバチ科						<b></b>	+	
2717						<del>                                     </del>	+	
タマゴクロパチ科   オオモンクロパチ科   タマゴクロパチ科   タマゴクロパチ科   タヤコパチ科   タヤコパチ科   タヤコパチ科   タヤコパチ科   タヤコパチ科   アシブトコパチ科   アシブトコパチ科   アシブトコパチ科   アシブトコパチ科   アシブトコパチ科   アシブトコパチ科   アシブトコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カナガアンブトコパチ   オナガコパチ科   オナガコパチ科   オナガコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   アンガーコパチ科   アンガーカイアリタマパチ科   アリオーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカ				フィコクロハナ科		<del>                                     </del>	+	
2718						t e	+	
2719   2720   2720   2721   2721   2721   2722   2722   2722   2722   2722   2722   2723   2724   2727   2725   2726   2726   2726   2727   2728   2728   2728   2728   2729   2730   2731   2732   2734   2735   2736   2737   2738   2739	2718			オオモンクロバチ科			+	
アシブトコバチ科	2719			ツヤコバチ科	ツヤコバチ科			
トピコパチ科	2720			アシブトコバチ科			$\perp$	
アリヤドリコバチ科   アリヤドリコバチ科   アリヤドリコバチ科   アリケドリコバチ科   アリケドリコバチ科   アリケムシハネミジカタマゴバチ   アリケムシハネミジカタマゴバチ   アリカン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	-			1 12 10 - 11		<u> </u>	$\bot$	
とメコパチ科						<del>                                     </del>	+	
プロストラー   ファッチング						<del>                                     </del>	+	
カタピロコパチ科 カタピロコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フガネコパチ科   フオカコパチ科   フオカコパチ科   フィンパチオ   フィンパチオ   フィンパクアリカアリ   フィンパクアリカアリ   フィンパクアカオカアリ   フィンパクアカオアリ   フィンパクアカオアリ   フィンパイトウオオアリ   フィンパクアカオアリ   フィンパイトウオオアリ   フィンパクアカオカアリ   フィンパクアカオアリ   フィンパイトウオオアリ   フィンパクアカオカアリ   フィンパクアカオカアリ   フィンパクアカオカアリ   フィンパクアカオカアリ   フィンパクアカオカアリ   フィンパクアカイオアリ   フィンパクアカイオアリ   フィンパクアカイオアリ   フィンパイトカイアリ   フィンパイトカイアリ   フィンパイトカイアリ   フィンパイトカイアリ   フィンパクアカイオアリ   フィンパイトカイアリ   フィンパイトカイアリ   フィンパイトカイアカイアリ   フィンパイトカイアカイアカイアリ   フィンパイトカイアカイアカイアカイアカイアカイアカイアカイアカイアカイアカイアカイアカイアカ						l	+	
カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   カタピロコパチ科   コガネコパチ科   コガネコパチ科   コガネコパチ科   コガネコパチ科   オナガコパチ科   オナガコパチ科   オナガコパチ科   オナガコパチ科   オナガコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   タマゴコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オソハネコパチ科   オンカースコパチ科   オンカースコパチル   オアリタマパチ科   コパチ上科   オポリカアリ   オオリカアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオハリアリ   オオカリオオアリ   オオカリカアイオアリ   カロオオオアリ   カロオオオオアリ   カロオオオオアリ   カロオオオオアリ   カロオオオオオアリ   カロオオオオアリ   カロオオオオオオアリ   カロオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ						l	+ + +	
2726   2727   2738   2739   2739   2739   2739   2739   2739   2739   2739   2739   2739   2737   2738   2739   2739   2737   2738   2739   2739   2737   2738   2739   2739   2739   2737   2738   2739	2725			カタビロコバチ科				
オナガコバチ科   タマゴコバチ科   タマゴコバチ科   タマゴコバチ科   タマゴコバチ科   タマゴコバチ科   タマゴコバチ科   オンバネコバチ科   オンバネコバチ科   オンバネコバチ科   オンバネコバチ科   ヤドリタマバチ科   ヤドリタマバチ科   ヤドリタマバチ科   フィジュス   フィボウ科   セイボウ科   セイボウ科   フィボウ科   フィボウ科   フィボウ科   フィボウオブリ   フィボウンナガアリ   フィボクンナガアリ   フィボクンナガアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンカイオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンオオアリ   フィボクンフィアリファンデンオオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンフィオアリ   フィボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクンブ・フィアンボクロンブ・フィアンボクロンブ・フィアンブァンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブァアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブァアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブ・フィアンブァンブ・フィアンブァンブアンブ・フィアンブアンブアンブアンブアンブアンブアンブアンブアンブアンブアンブアンブアンブア	2726				コガネコバチ科			
2728     タマゴコパチ科     タマゴコパチ科       2729     ホソハネコパチ科     ホソハネコパチ科       2730     ヤドリタマパチ科     サドリタマパチ科       2731     ツヤヤドリタマパチ科     ツヤヤドリタマパチ科       2732     コパチ科       2733     セイボウ科     セイボウ科       2734     フッサアリカアリ     アシナガアリ       2735     マフィアシナガアリ     オオハリアリ       2736     マフィアシナガアリ     フェイリハリアリ       2737     フェイリカイオアリ     イトウオオアリ       2739     マンステカオオアリ     フロオオアリ       2740     ラカドオオアリ     テフヨツボシオオアリ       2741     ナフヨツボシオオアリ	2727			オナガコバチ科		<u> </u>	+	
ボソハネコバチ科   ボソハネコバチ科   ボソハネコバチ科   アドリタマバチ科   アドリタマバチ科   アドリタマバチ科   アドリタマバチ科   アヤドリタマバチ科   アヤドリタマバチ科   アヤドリタマバチ科   アリス   フボウ科   フボウ科   フボウ科   フボウ科   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   フボウバ   ファシナガアリ   フェンス・アウナガアリ   フェンス・アウナガアリ   フェンス・アウオオアリ   フェンス・アウオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   フロオオアリ   ファッボシオオアリ   ファッボシオオアリ   ファッボシオオアリ   ファッボシオオアリ   ファッボシオオアリ   ファッボシオオアリ   ファッボシオオアリ   ファッボシオオアリ	- 2700			カフゴコバエ의		<b>├</b> ──	+	
2730     ヤドリタマパチ科     ヤドリタマパチ科       2731     ツヤヤドリタマパチ科     フパチ上科       2732     セイボウ科     セイボウ科       2733     セイボウ科     セイボウ科       2734     アリ科     ノコギリハリアリ       2735     アシナガアリ     マシナガアリ       2736     マントアシナガアリ     コオハリアリ       2737     ニシムネアカオオアリ     イトウオオアリ       2739     マロオオアリ     フロオオアリ       2740     ミカドオオアリ       2741     テフヨツボシオオアリ						<del>                                     </del>	+	
2731     ツヤヤドリタマパチ科       2732     コパチ上科       2733     セイボウ科       2734     ノコギリハリアリ       2735     アリ科       2736     アシナガアリ       2737     オオハリアリ       2738     コイトウオオアリ       2739     イトウオオアリ       2740     クロオオアリ       2741     ラフョッボシオオアリ       2742     ナワヨツボシオオアリ						l	+	
2732   2733   2733   セイボウ科						Ì	+ +	-
2733   セイボウ科   セイボウ科   アリ科   アリ科   アリ科   アリオ   アリオ   アリオ   アリオ   アリオ   アリオ   アリオ   アシナガアリ   アシナガアリ   アシナガアリ   アシナガアリ   オオハリアリ   ア38   ア39   ア39   ア39   ア4   アカオオアリ   アカオオアリ   アカオオアリ   アカオオアリ   アカオオアリ   アカオオアリ   アカオオアリ   アカオオアリ   アカオオアリ   アカリアオカアリ   アカリアオカアリ   アカリアオカアリ   アカリアオカアリ   アカリアオカアリ   アカリアオカアリ   アカリアオカアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシオオアリ   アカリアボシャブ・アカリアリア・アカリア・アカリアリア・アカリア・アカリア・アカリア・アカリア	2732				コバチ上科			
2735       2736       2737       2738       2739       2739       2740       2741       2742       2742	2733							
2736       2737       2738       2739       2740       2741       2742				アリ科				
2737     オオハリアリ       2738     ニシムネアカオオアリ       2739     イトウオオアリ       2740     クロオオアリ       2741     ミカドオオアリ       2742     ナワヨツボシオオアリ						<b> </b>	+	
2738       ニシムネアカオオアリ         2739       イトウオオアリ         2740       ウロオオアリ         2741       ミカドオオアリ         2742       ナワヨツボシオオアリ						<del>                                     </del>	++	
2739 2740 2741 2741 2742						<del>                                     </del>	+	
2740       2741       2742       クロオオアリ       ミカドオオアリ       ナワヨツボシオオアリ						t e	+	
2741 2742 ミカドオオアリ ナワヨツボシオオアリ							+	
	2741				ミカドオオアリ			
07/01   L= ++ II								
2743 2744	2743				ヒラズオオアリ		4	

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 36/37)

NI-	49.67		되죠	£0.67		ダム湖周辺	
No.	網名	目名	科名	和名	Н6	H10	H15
2745	昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ウメマツオオアリ	110		0
2746				ヤマヨツボシオオアリ			
2747 2748				ツチクビレハリアリ ツヤシリアゲアリ			-
2748				ハリプトシリアゲアリ			
2750				キイロシリアゲアリ			
2751				テラニシシリアゲアリ			
2752				トビイロシリアゲアリ			
2753				メクラハリアリ			
2754 2755				ハヤシクロヤマアリ クロヤマアリ			
2756				アカヤマアリ			
2757				ツヤクロヤマアリ			
2758				シベリアカタアリ			
2759				ルリアリ			
2760 2761				フシボソクサアリ クロクサアリ			<b>-</b>
2762				ハヤシケアリ			
2763				トビイロケアリ			
2764				クサアリモドキ			
2765				アメイロケアリ			
2766				ヒメムネボソアリ ハリナガムネボソアリ			<b></b>
2767 2768				ハウナガムネがシアウ ハヤシムネボソアリ			<del>                                     </del>
2769				ミゾガシラアリ			
2770				ヒメアリ			
2771				キイロヒメアリ			
2772				カドフシアリ			
2773 2774				シワクシケアリ アメイロアリ			1
2775				サクラアリ			
-				Paratrechina属			
2776				ヒラタウロコアリ			
2777				アズマオオズアリ			
2778 2779				オオズアリ サムライアリ			
2779				サムライアリ トゲアリ			
2781				ヒメハリアリ			
2782				アミメアリ			
2783				トフシアリ			
2784				メクラナガアリ			<del> </del>
2785				ウロコアリ Strumigenys属			
2786				ヒラフシアリ			
2787				オオシワアリ			
2788				トビイロシワアリ			
2789				ウメマツアリ			
2790 2791				ハリアリ亜科 フタフシアリ亜科			<b>—</b>
2792				ヤマアリ亜科			
-				アリ科			
2793			ドロバチ科	オオフタオビドロバチ本土亜種			
2794				ミカドトックリバチ			
2795 2796				キアシトックリバチ ムモントックリバチ			
2797				サムライトックリバチ			
2798				ミカドドロバチ			
2799				スズバチ			
2800				カバフドロバチ			
2801 2802			スズメバチ科	<u>ムモンホソアシナガバチ</u> トウヨウホソアシナガバチ			<b></b>
2803				セグロアシナガバチ			
2804				ヤマトアシナガバチ			
2805				キボシアシナガバチ			
2806				コアシナガバチ			
2807				コガタスズメバチ			
2808 2809				オオスズメバチ キイロスズメバチ			
2810				ヒメスズメバチ			
2811				クロスズメバチ			
2812				スズメバチ			
-			* ¬ + 10*~ **	スズメバチ科			
2813 2814			ベッコウバチ科	アケボノベッコウ オオモンクロベッコウ			
2814				オオモングロヘッコリ   ヒラカタベッコウ			
2816				ヒメベッコウ			
2817				スギハラベッコウ			
2818				ペレエヒゲベッコウ			
2819				キバネトゲアシベッコウ			
2820			アリバチ科	ベッコウバチ科 アリバチモドキ			
			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	アリバチ科			
2821			コツチバチ科	Tiphia属			
2822			ツチバチ科	ヒメハラナガツチバチ			
2823				キンケハラナガツチバチ			-
2824 2825				ハラナガツチバチ オオハラナガツチバチ			
2825 2826				オオハラナガツチハチ   キオビツチバチ			
2827			アナバチ科	サトジガバチ			
-				Ammophila属			
2828				ミカドジガバチ			
2829				コクロアナバチ			
2830				Rhopalum属			
2831				クロアナバチ オオハヤバチ			
2832 2833				ジガバチモドキ			
2834				ヒメコシボソバチ亜科			
_004							

表 6.6-33 ダム湖周辺確認種リスト(陸上昆虫類 : 37/37)

No. 綱名	目名	科名	和名		ダム湖周辺		
	I	1111	THE II	Н6	H10	H15	
2835 昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	ドロバチモドキ亜科				
2836			ギングチバチ亜科				
2837		ヒメハナバチ科	アプラナマメヒメハナバチ				
2838			キバナヒメハナバチ				
2839			ミカドヒメハナバチ				
2840			ムネアカハラビロヒメハナバチ				
2841			ウツギヒメハナバチ				
-			Andrena属				
2842		コシブトハナバチ科	スジボソコシブトハナバチ				
2843			ヤマトツヤハナバチ				
-			Ceratina属				
2844			Nomada属				
845			ミツクリヒゲナガハナバチ				
846			ニッポンヒゲナガハナバチ				
2847			クマバチ				
2848		ミツバチ科	ニホンミツバチ				
2849		257,541	コマルハナバチ				
2850			トラマルハナバチ				
-			Bombus属				
851		ムカシハナバチ科	アシブトムカシハナバチ				
-			Colletes属				
852			ヅグロチビムカシハナバチ				
853			ヒメチビムカシハナバチ				
854		コハナバチ科	アカガネコハナバチ				
-		17.57.511	Halictus属				
2855 昆虫綱	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ヅマルコハナバチ				
2856	八八百(决是百)	3/13/13/14	ツヤハラナガコハナバチ				
-			Lasioglossum属				
_			コハナバチ科				
2857		ハキリバチ科	オオハキリバチ				
2858		/\frac{1}{2}/\frac{1}{2} \frac{1}{4}	キバラハキリバチ				
			ハチ目				
	1		IVV H	1347種	1319種	1539	
		2綱24目406科2858種		13471生	2744種	1000	